

綾瀬市

高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業
計画に関するアンケート調査結果報告書

令和5年3月

綾 瀬 市

目次

I	調査の概要	9
1	調査の目的	11
2	調査期間	11
3	調査方法	11
4	調査の実施概要	11
5	調査結果の表示方法	12
6	調査結果の概要	13
II	一般調査（40～64歳）	19
1	回答者属性	21
2	仕事や社会参加活動について	24
3	身体と健康の状況について	28
4	介護予防について	33
5	日常生活の状況について	36
	（1）暮らしぶり	36
	（2）運動機能	38
	（3）閉じこもり	40
	（4）栄養状態	41
	（5）口腔機能	42
	（6）認知機能	43
	（7）うつ傾向	44
6	地域とのかかわりについて	46
7	今後希望する暮らしについて	50
8	綾瀬市の保健福祉サービス等について	53
9	意見・要望	55
	（1）制度・行政	55
	（2）将来への不安	57
	（3）情報入手・提供	58
	（4）日常生活・介護	58
	（5）アンケート調査	59

Ⅲ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	61
1 回答者の属性	63
2 家族や生活状況	65
(1) 家族構成	65
(2) 介護・介助の必要性	66
(3) 暮らしの状況	69
(4) 住まい	71
(5) 家にひとりであることの有無	72
(6) 行動範囲	72
(7) よく使う連絡手段	73
(8) 友人・知人との連絡頻度	73
(9) 友人・知人との交流頻度	74
(10) スマホ教室・スマホ相談会の認知度	74
(11) スマホ教室・スマホ相談会の利用状況	74
3 運動	75
(1) 運動機能	75
(2) 転倒	80
(3) 閉じこもりについて	83
4 栄養・口腔	88
(1) 栄養状態	88
(2) 口腔機能	91
(3) 食事の状況	95
5 日常生活	96
(1) 認知機能	96
(2) 手段的自立度（IADL）	100
(3) 知的能動性	105
(4) 社会的役割	109
(5) 趣味・生きがい	113
6 地域活動	115
(1) 会・グループ活動への参加	115
7 たすけあい	118
(1) 愚痴を聞いてくれる人、あげる人	118
(2) 看病や世話をしてくれる人、あげる人	119
(3) 何かあったときの相談相手	120
(4) 友人・知人	121
8 健康	123
(1) 健康状態	123
(2) 幸福感	123

(3) うつ傾向.....	124
(4) 飲酒習慣.....	128
(5) 喫煙習慣.....	128
(6) 現在治療中または後遺症のある病気.....	129
(7) 新型コロナウイルス感染症予防.....	130
9 仕事.....	131
(1) 仕事の有無.....	131
(2) 仕事の継続、再就職の希望.....	131
(3) 仕事を継続する、再就職を希望する理由.....	132
(4) 新型コロナウイルス感染症が与えた仕事への影響.....	133
(5) 「アクティブ・シニア応援窓口」の認知度.....	133
10 今後希望する暮らし.....	134
11 意見・要望.....	135
(1) 制度・行政.....	135
(2) 情報入手・提供.....	138
(3) 経済的支援・負担.....	139
(4) 将来への不安・問題.....	140
(5) アンケート調査.....	140
(6) その他.....	141

IV 在宅介護実態調査 143

1 回答者属性.....	145
2 本人（介護を受ける側）の状況.....	147
3 介護者の状況.....	157
4 要介護認定データ.....	164
5 クロス集計分析.....	170
6 意見・要望.....	246
(1) 本人（介護を受ける側）.....	246
①制度・行政.....	246
②将来への不安.....	247
③情報入手・提供.....	247
④日常生活・介護.....	247
⑤アンケート調査.....	249
(2) 介護者.....	250
①制度・行政.....	250
②将来への不安.....	253
③情報入手・提供.....	255
④日常生活・介護.....	255
⑤アンケート調査.....	258

V	居所変更実態調査	259
1	回答事業所の属性	261
	(1) サービス種別	261
	(2) 施設の概要	261
	(3) 入所・入居者の要支援・要介護度	262
	(4) 医療処置	262
	(5) 地域内の居所移動の実態	263
	(6) 退去者の要介護度	268
	(7) 退去の理由	268
2	意見・要望	269
VI	介護人材実態調査	271
1	回答者の属性	273
	(1) 事業所数・職員数	273
	(2) 事業所の開設時期	273
	(3) 職員の性別	274
	(4) 職員の年齢	274
2	介護職員の勤務状況	275
	(1) 資格保有状況	275
	(2) 雇用形態	276
	(3) 勤務時間	278
	(4) 訪問介護サービス提供状況	279
3	介護職員の流入出	281
	(1) 勤務年数	281
	(2) 採用者数・離職者数	281
	(3) 採用者の直前の職場	282
	(4) 従業員の過不足状況	283
4	意見・要望	285
	(1) 施設系・通所系事業所	285
	(2) 訪問系職員	285
VII	在宅生活改善調査	287
1	事業所票	289
	(1) 所属するケアマネジャーの人数、および利用者数	289
	(2) 居場所を変更した利用者数の要介護度	290
	(3) 居場所を変更した利用者の行き先	290

2	利用者票.....	291
	(1) 自宅での生活の維持が難しくなっている人の属性.....	291
	(2) 自宅での生活の維持が難しくなっている理由.....	292
	(3) 在宅生活の維持が難しくなっている人に必要な支援・サービス.....	298
	(4) 特養やその他施設等に入所・入居できていない理由.....	300
3	意見・要望.....	301
	(1) 事業所票.....	301
	(2) 利用者票.....	301
VIII	調査票.....	303
	(1) 一般調査(40～64歳).....	305
	(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	311
	(3) 在宅介護実態調査.....	317
	(4) 居所変更実態調査.....	321
	(5) 介護人材実態調査.....	324
	(6) 在宅生活改善調査.....	330

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に向け、その基礎資料となる各種調査を実施し、調査対象者の意向、要望、現状を把握することを目的とする。

2 調査期間

<調査種別1～3の期間>

・令和4年12月12日（月）～令和4年12月28日（水）

<調査種別4～6の期間>

・令和4年12月12日（月）～令和5年1月16日（月）

3 調査方法

・郵送による調査（介護予防・日常生活圏ニーズ調査、在宅介護実態調査は記名式）

4 調査の実施概要

	調査種別	調査項目	調査対象	有効回収数・率
1	一般調査 (40～64歳)	・本人と家族の状況 ・仕事や社会参加活動 ・身体と健康の状況 ・介護予防 ・日常生活の状況 ・地域とのかかわり ・今後希望する暮らし ・綾瀬市の保険福祉サービス等	40歳以上64歳以下の市民(無作為抽出) 950人	318人 33.5%
2	介護予防・日常生活圏ニーズ調査	・家族や生活状況 ・運動 ・栄養・食生活 ・日常生活 ・地域活動 ・たすけあい ・健康 ・仕事 ・今後希望する暮らし	要介護認定1～5を受けていない65歳以上の市民 (無作為抽出) 990人	707人 71.4%
3	在宅介護実態調査	・本人の状況 ・介護者の状況	要介護認定1～5を受けている65歳以上で在宅の市民 1,120人	665人 59.4%
4	居所変更実態調査	・サービス種別、施設等の概要 ・入所居者の要支援、介護度 ・医療処置の状況 ・新規の入所・入居者、退去者の状況	施設・居住系サービス 27事業所	23事業所 85.2%
5	介護人材実態調査	(施設系・通所事業票) ・サービス種別 ・採用者、離職の状況 ・所属する介護職員全の状況 (訪問系事業所票) ・サービス種別 ・採用者、離職の状況 (職員票) ・所属事業のサービス種別 ・所有資格、研修の状況 ・雇用形態、勤務の状況、以前の職場	・施設系・居住系・通所系・短期サービス 55事業所	40事業所 72.7%
			・訪問系サービス施設 9事業所	6事業所 66.7%
			・訪問介護・訪問サービスを行っている介護職員 約90人	72人
6	在宅生活改善調査	(事業者票) ・ケアマネジャーの人数及び利用者・自宅等から居場所を変更した利用者数 (利用者票) ・利用者の状況 ・生活の維持が難しくなっている理由 ・状況を改善するための変更等	・居宅介護支援小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護の事業所 14事業所	14事業所 100.0%
			・介護支援専門員 約50人	35人

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

6 調査結果の概要

(1) 一般調査 (40～64 歳)

●仕事や社会参加活動について

現在、収入を伴う仕事をしているかについてみると、「週4回以上」の割合が70.1%と高く、令和元年度調査と比較すると、5.1ポイント増加しています。

また、人との交流を伴う自主的な活動への参加についてみると、「自治会」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループや習い事」の割合が1割以上となっていますが、「特にない」の割合が最も高くなっており、令和元年度調査と比較しても高くなっており、65歳以降で行いたい社会参加活動についてみても、「特にない」の割合が高くなっています。

●身体と健康の状態について

自分の健康状態についてみると、「とても健康だと思う」と「まあまあ健康だと思う」の割合を合わせると77.1%と高くなっていますが、令和元年度調査と比較すると6.0ポイント減少しています。この1年間に健康診査を受けたかについてみると、「受けなかった」の割合が26.7%と令和元年度調査から増加しています。

現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、「高血圧」の割合が19.2%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が10.4%となっており、令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

●日常生活の状況について

運動や栄養改善について、「既に行っている（6ヶ月以上）」と「既に行っている（6ヶ月未満）」を合わせた割合が48.7%となっており、令和元年度調査と比較すると、5.7ポイント減少しています。

高齢者の外出頻度を評価する設問について、閉じこもりの傾向が見られる選択肢の回答割合をみると、昨年と比べて外出が減っているとの人は25.5%、週に1回以上外出していない人は3.5%となっています。前回の調査結果との比較では、「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」で「はい」が13.7ポイント増加しています。

●地域とのかかわりについて

近所とのつきあいの程度についてみると、「あいさつをする程度」、「近所づきあいはほとんどない」の割合が令和元年度調査と比較すると高くなっています。また、友人・知人と会う頻度においても、「年に何度かある」、「ほとんどない」の割合が高くなっています。

●相談先について

日常生活の健康について相談するかかりつけ医の有無についてみると、「いる」の割合が37.7%となっており、令和元年度調査と比較すると、5.8ポイント減少しており、「(とても・まあまあ)健康だと思う」といった健康である人ほど、かかりつけ医が「いない」の割合が高くなっています。

また、包括支援センターの認知度についてみると、年齢が若い人ほど、「知らない・名前も聞いたことがない」の割合が高くなっています。

(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

●仕事について

現在、収入のある仕事をしている人は、27.2%となっており、また、今の仕事を継続もしくは新たに仕事を始めたいと思っている人は29.4%となっており、仕事をしたい理由としては、「収入のため」の割合が50.5%と高くなっています。

仕事やボランティア、地域活動、サークルなど活動・交流の場を紹介している「アクティブ・シニア応援窓口」について知っている人の割合は27.4%となっています。

高齢者でも、約3人に1人は働きたいと考えており、働くことは、健康づくりにも寄与することからも、働きたい高齢者への支援を行っていくことが必要です。

●交流の促進について

趣味や生きがいの有無についてみると、幸福度が高い人ほど「趣味あり」、「生きがいあり」の割合が高くなっており、趣味や生きがいを持つことが、幸福度につながっていることがうかがえます。

また、地域活動の参加状況をみると、幸福度が高い人ほど「週1回以上活動している」の割合が高くなっています。

コロナ禍において、地域住民との交流が少なくなってきた中で、趣味や生きがいを持ち、生活していくためにも、地域活動を活性化させていくことが必要となります。

●生活リスク判定について

各生活リスクの判定についてみると、「該当者」の割合は、認知機能の低下が43.8%と最も高く、うつ傾向が40.3%、口腔機能の低下が21.6%、閉じこもりのリスクが16.8%となっています。

●高齢者の生活機能について

高齢者の生活機能についてみると、「低下者」の割合は、社会的役割が68.4%と最も高く、次いで知的能動性が45.4%、手段的自立度が9.7%となっています。

●性別と生活リスク判定、高齢者の生活機能について

性別ごとに生活リスク判定と高齢者の生活機能をみると、運動機能の低下、転倒リスクは女性の割合が高く、手段的自立度と社会的役割の低下者は男性の割合が高くなっています。抱える課題は男性と女性で異なってくるため、対象者を絞った予防啓発を推進していくことが重要となります。

(3) 在宅介護実態調査

●施設の検討状況について

施設の検討状況についてみると、要介護度3以上で、介護保険サービスを訪問系を含めた組み合わせを利用している人では「検討していない」の割合が76.7%、訪問系のみを利用している人は74.1%と高くなっており、通所系・短期系のみを利用している人では40.4%となっており、「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

また、施設の検討状況で現在、検討中の人、申請済みの人で「通所系・短期系のみ」のサービス利用者が多くなっていることから、訪問系サービスを受けることができる環境が整うことで、施設利用をせずに自宅での生活を続けることができることがうかがえます。

●介護者が不安に感じる介護について

介護者が不安に感じる介護についてみると、「認知症状への対応」「外出の付き添い、送迎など」「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

「外出の付き添い、送迎等」や「認知症状への対応」などの割合は、要介護3以上と日常生活自立度（認知症）Ⅲ以上で共に、「訪問系のみ」を利用している人より「通所系・短期系のみ」を利用している人の方が割合は高くなっています。

介護者全般が感じる不安の解消が期待できる訪問系サービスは、介護者の負担を大きく軽減できていることがうかがえます。

●介護者の勤務形態と就労の継続見込みについて

介護者の勤務形態について、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」の割合は、回答者が単身世帯、介護者が回答者の子の場合で高くなっています。

また、就労の継続見込みについて、「続けていくのを（やや・かなり）難しい」と感じている人は、介護保険サービスを利用していない割合が高くなっており、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」「認知症上への対応」といった介護を不安に感じる割合が高くなっています。

介護負担により、働くことができないということがないよう、介護をしながらでも働き続けることのできる支援を行っていくことが重要となります。

●訪問診療について

訪問診療の利用割合についてみると、夫婦のみ世帯で最も高く、要介護度が上がるにつれて、訪問診療を利用する割合が高くなる傾向にあります。

また、訪問診療を利用している人の57.7%が、訪問系のみ、訪問系を含む組み合わせで介護保険サービスを利用しており、訪問診療を利用していない人では28.8%となっており、訪問診療と訪問系サービスで連携を取ることが重要となります。

(4) 居所変更実態調査

●退去について

退去者（314名）のうち死亡（128名）は約4割を占めており、今後、高齢化の進展に伴う死亡者数の増加が見込まれることから、施設・居住系サービスにおいても看取りを担う役割がますます求められると想定されます。

●退去者の要介護度と退去理由

退去者の要介護度についてみると、要介護度が高いほど退去者の人数が多い傾向にあり、退去の理由についてみると「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が第1位の理由として最も多くなっています。

●居所変更先について

居所変更者の退所後の流れをみると、市外へ変更した方が8割半ばと多く、市内が1割半ばであり、住み慣れた地域で暮らし続ける観点では、市内に居所変更の必要性が生じたときの受け皿が不足している可能性があります。サービス付き高齢者向け住宅の場合は、居所変更者の全てが市外となっています。

また、居所変更先をみると、地域密着型特別養護老人ホームや介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅が多くなっていることから、「生活施設」としての機能を提供できる施設の充実が求められていると考えられます。

●居所変更者等の要介護度

居所変更者の要支援・要介護度の分布を見ると、要介護3から5でそれぞれ2割半ばとなっており、要介護度が重くなることが、居所変更の要因であると想定されます。

(5) 介護人材実態調査

●資格取得率について

資格取得率についてみると、「介護福祉士」の割合は、訪問系サービスでは83.3%と最も高く、通所系サービスでは50.0%、施設・居住系サービスでは44.2%となっています。

また、20歳代では、資格や研修修了等をしていない割合が38.2%と他の年代に比べて高くなっており、年齢の若い職員の資格取得を支援することが、サービスの質の向上に寄与すると想定されます。

●介護職員の雇用形態について

介護職員の雇用形態についてみると、「正規職員」の割合は訪問系サービスが77.8%と最も少なく、通所系サービスで51.9%、施設・居住系サービスで56.9%となっています。

また、性年齢別での雇用形態をみると、通所系サービスで女性40歳以上の「非正規職員」の人数が多くなっています。一方、訪問系サービス、施設・居住系サービスで女性40歳代、50歳代の「正規職員」の人数が多くなっています。

●介護職員の勤務時間について

介護職員の1週間の勤務時間についてみると、施設・居住系サービスで「40時間以上50時間未満」の割合が58.0%と最も高くなっており、「50時間以上」も4.0%となっており、長時間労働をしている介護職員がいることがうかがえます。

●介護職員の勤務年数について

介護職員の勤務年数についてみると、全体では「1年以上」が75.5%、「1年未満」が24.3%となっており、施設系・通所系事業所では、「1年未満」の割合が施設系・居住系サービス、通所系サービスともに20%を超えています。

●介護職員の採用者数・離職者数について

過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数についてみると、全体では採用者数が210人、離職者数が164人となっており、施設・居住系サービスの採用者が多くなっていますが、通所系サービス、訪問系サービスでは30~40人程度の採用人数となっています。

(6) 在宅生活改善調査

●自宅等での生活の維持が難しくなっている利用者数について

回答を行った居宅介護支援事業所の利用者総数内、現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっていると判断される人は、1,410人中62人となっています。

●自宅等での生活の維持が難しくなっている理由について

自宅等での生活の維持が難しくなっている理由についてみると、本人の状態では「必要な身体介護の増大」、「認知症の症状の悪化」、「必要な生活支援の発生・増大」の割合が高くなっています。本人の意向では「生活不安が大きいため」「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」の割合が高く、家族等介護者の意向では「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」「本人と家族等の関係性に課題があるから」の割合が高くなっています。

本人の身体的介護が必要になったことに伴い、介護者の身体的、精神的な負担が増加していることがうかがえます。

●増大している身体介護について

増大している身体介護の種類についてみると、全体では「入浴」、「排泄（日中）」、「見守り・付き添い」の割合が高くなっています。介護度別でみると、要支援1～要介護2では「見守り・付き添い」「入浴」の割合が高い一方、要介護3～要介護5では「排泄（日中）」の割合が高くなっています。

●悪化している認知症の症状

悪化している認知症の症状についてみると、全体では「家事に支障がある」、「薬の飲み忘れ」、「一人での外出が困難」などの割合が高くなっています。

介護度別でみると、要介護3～5では「薬の飲み忘れ」、「一人での外出が困難」の割合が高く、要支援1～要介護2では「金銭管理が困難」の割合が高くなっています。

今後、高齢者数の増加に伴い、認知症高齢者数も増加することがうかがえ、今以上に介護者への負担が多くなることが考えられるため、介護者への支援を強化していくことが重要であると考えます。

●在宅生活の維持が難しくなっている人に必要な支援・サービス

在宅生活の維持が難しくなっている人62人のうち、生活の改善に必要な支援・サービスは、「より適切な住まい・施設等」が約半数の33人となっています。

Ⅱ 一般調査（40～64歳）

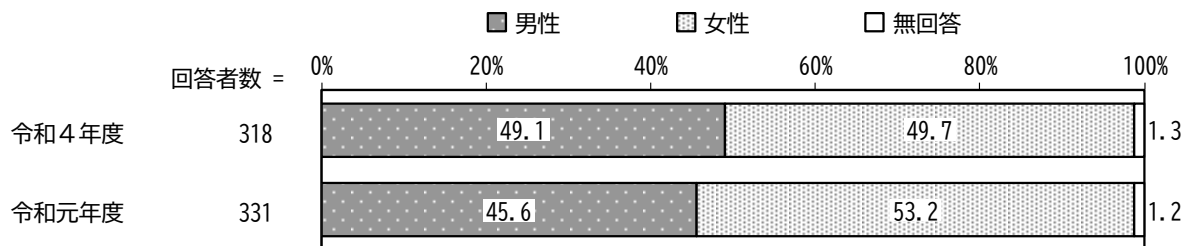
Ⅱ 一般調査（40～64歳）

1 回答者属性

問1 あなたの性別と令和4年12月1日現在の満年齢をお答えください。

①性別

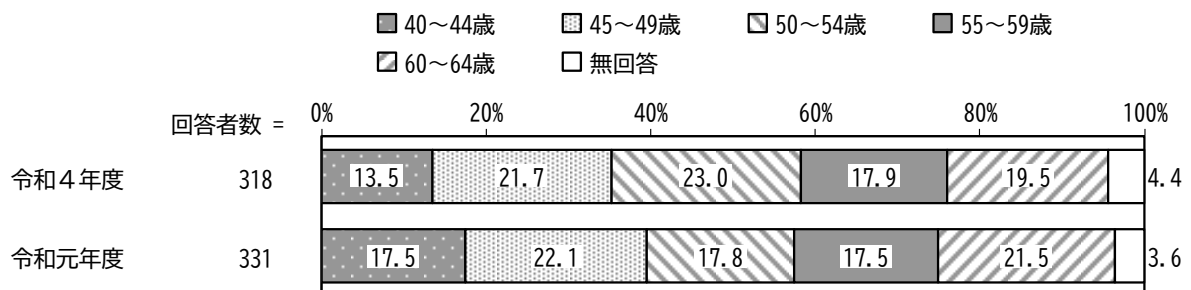
「男性」の割合が49.1%、「女性」の割合が49.7%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②現在の満年齢

「50～54歳」の割合が23.0%と最も高く、次いで「45～49歳」の割合が21.7%、「60～64歳」の割合が19.5%となっています。

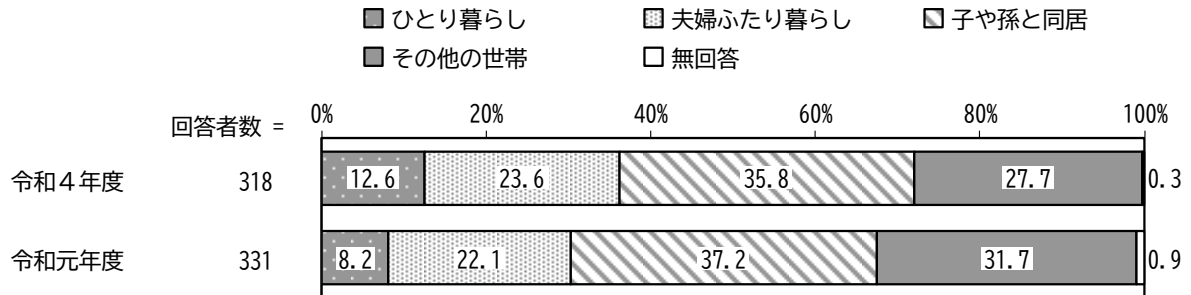
前回調査と比較すると、「50～54歳」が5.2ポイント増加しています。



問2 ご家族の構成について、あてはまるものをお選びください。(1つに○)

「子や孫と同居」の割合が35.8%と最も高く、次いで「その他の世帯」の割合が27.7%、「夫婦ふたり暮らし」の割合が23.6%となっています。

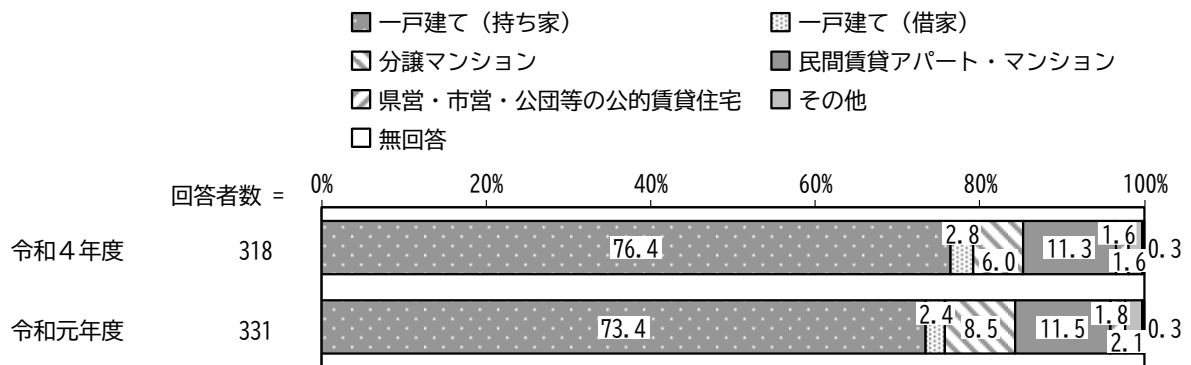
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問3 あなたのお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

「一戸建て(持ち家)」の割合が76.4%と最も高く、次いで「民間賃貸アパート・マンション」の割合が11.3%となっています。

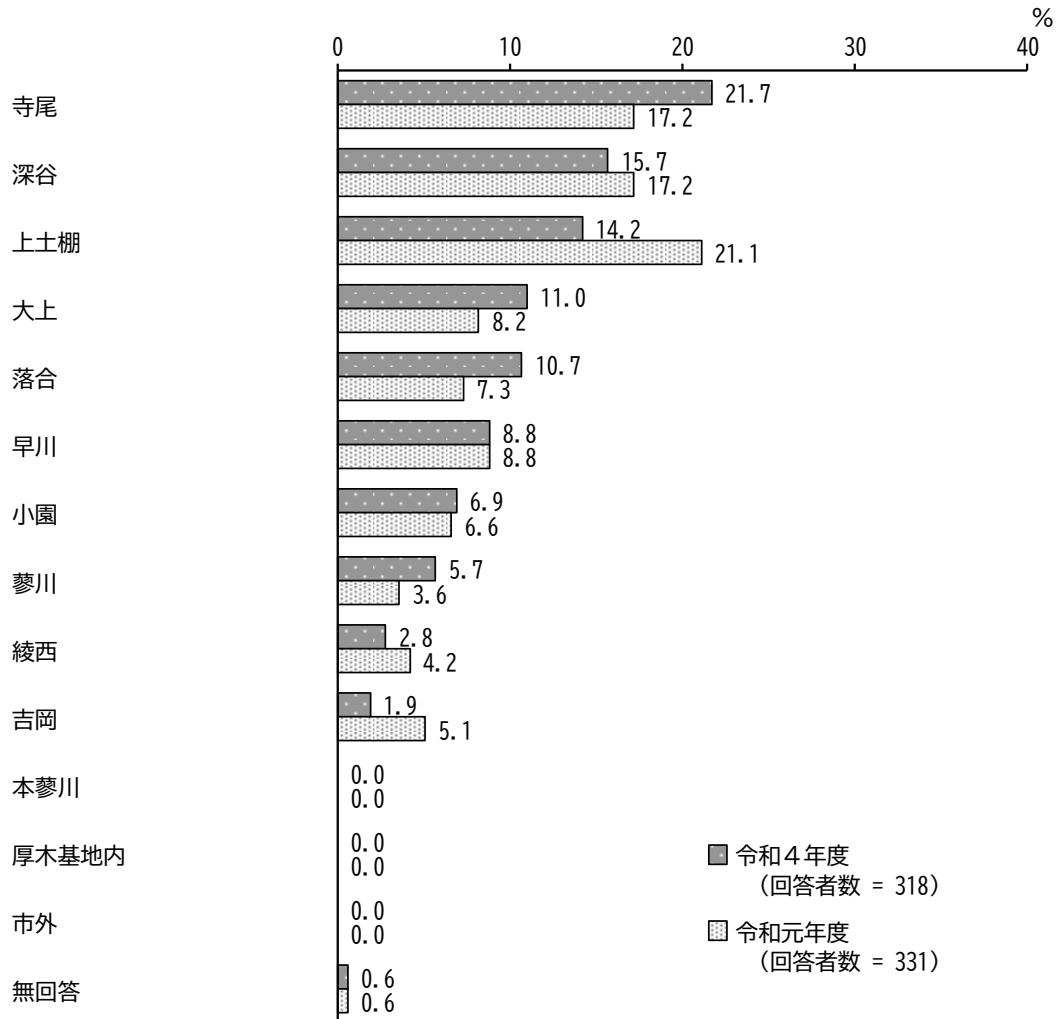
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

「寺尾」の割合が21.7%と最も高く、次いで「深谷」の割合が15.7%、「上土棚」の割合が14.2%となっています。

前回調査と比較すると、「上土棚」が6.9ポイント減少しています。



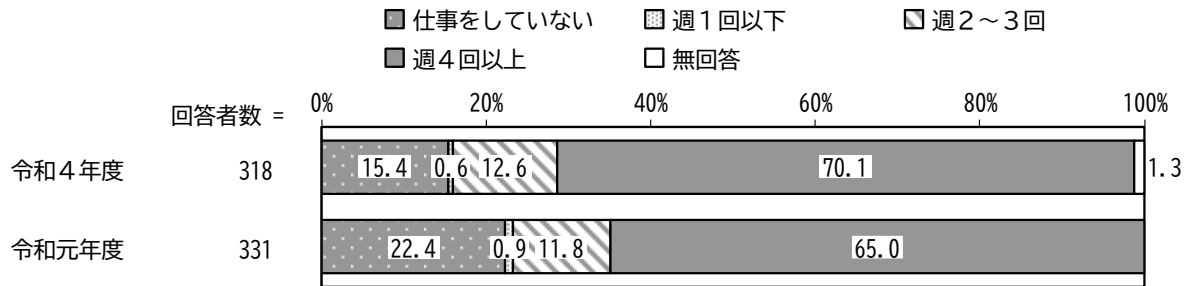
地区	回答数	構成比
寺尾	69	21.7%
深谷	50	15.7%
上土棚	45	14.2%
大上	35	11.0%
落合	34	10.7%
早川	28	8.8%
小園	22	6.9%
蓼川	18	5.7%
綾西	9	2.8%
吉岡	6	1.9%
本蓼川	0	0.0%
厚木基地内	0	0.0%
市外	0	0.0%
無回答	2	0.6%
全体	318	100.0%

2 仕事や社会参加活動について

問5 あなたは、現在、収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

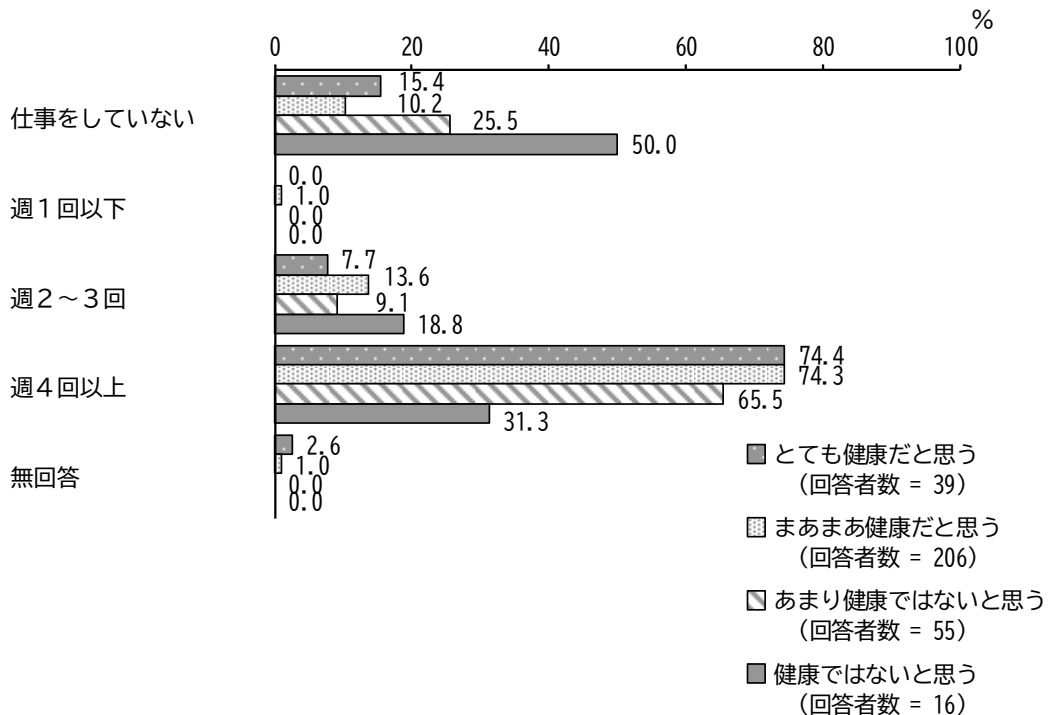
「週4回以上」の割合が70.1%と最も高く、次いで「仕事をしていない」の割合が15.4%、「週2～3回」の割合が12.6%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事をしていない」が7.0ポイント減少し、「週4回以上」が5.1ポイント増加しています。



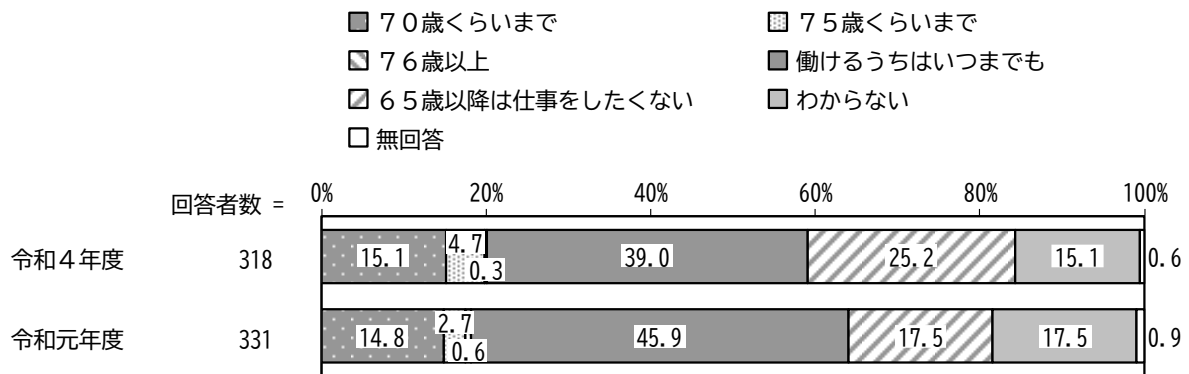
【健康観別】

健康観別にみると、健康観がよい人ほど「週4日以上」の割合が高くなっています。



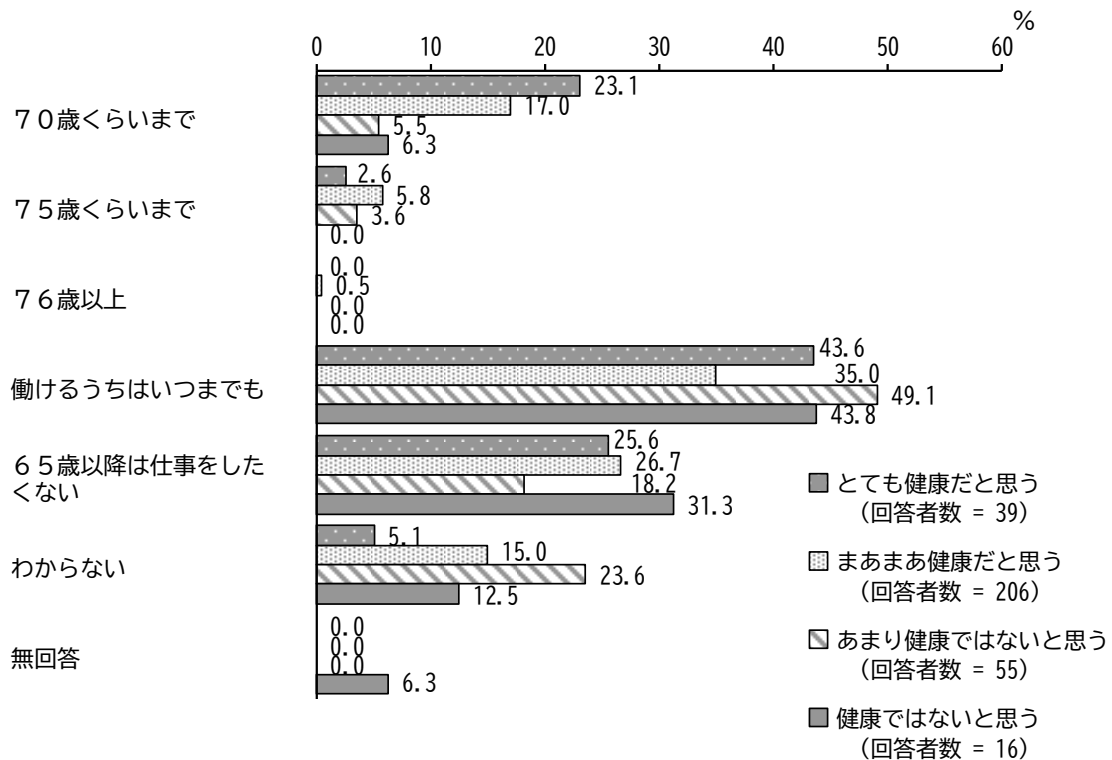
問6 あなたは、現在仕事をしているかどうかにかかわらず、65歳以降に収入を伴う仕事をしたいですか。仕事をしたい場合は、何歳までしたいかを併せてお答えください。(1つに○)

「働けるうちはいつまでも」の割合が39.0%と最も高く、次いで「65歳以降は仕事をしたくない」の割合が25.2%、「70歳くらいまで」、「わからない」の割合が15.1%となっています。前回調査と比較すると、「働けるうちはいつまでも」が6.9ポイント減少し、「65歳以降は仕事をしたくない」が7.7ポイント増加しています。



【健康観別】

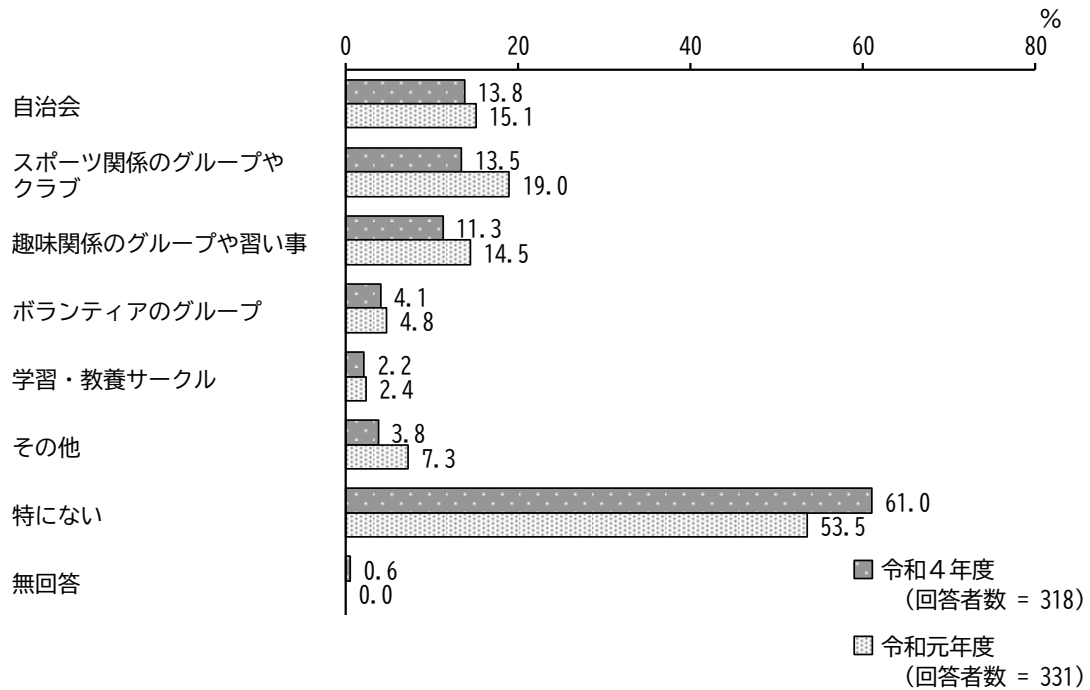
健康観別にみると、健康観がよい人ほど「70歳くらいまで」の割合が概ね高くなる傾向がみられます。また、健康ではないと思う人で「65歳以降は仕事をしたくない」の割合が高くなっています。



問7 あなたは、人との交流を伴う自主的な活動のうち、現在どのようなものに参加していますか。(あてはまるものいくつでも○)

「特にない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「自治会」の割合が13.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」の割合が13.5%となっています。

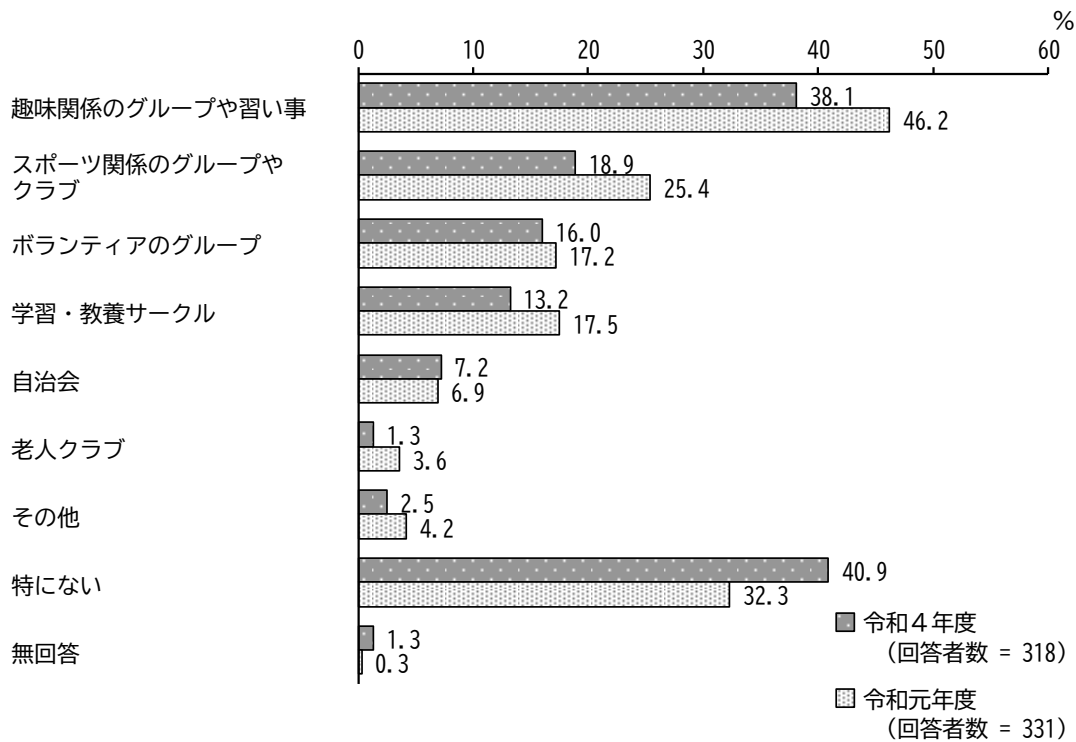
前回調査と比較すると、「スポーツ関係のグループやクラブ」が5.5ポイント減少し、「特にない」が7.5ポイント増加しています。



問8 あなたは、65歳以降、どのような社会参加活動をおこないたいと思いますか。
(あてはまるものいくつかでも○)

「特にない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「趣味関係のグループや習い事」の割合が38.1%、「スポーツ関係のグループやクラブ」の割合が18.9%となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツ関係のグループやクラブ」が6.5ポイント減少し、「特にない」が8.6ポイント増加しています。

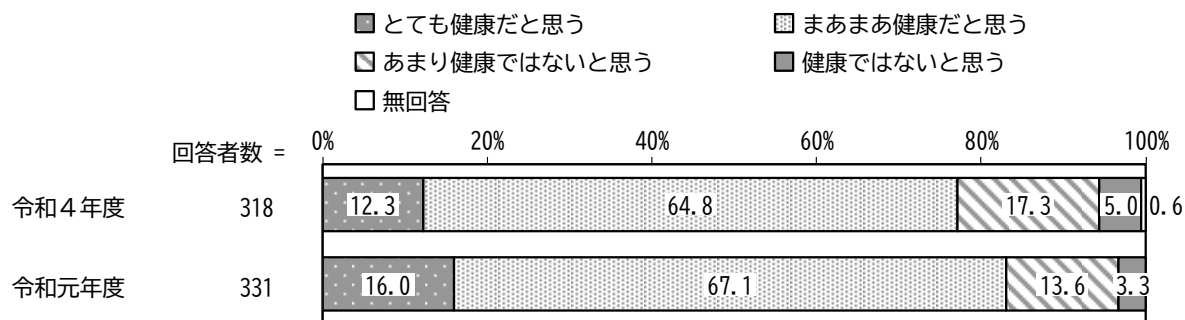


3 身体と健康の状況について

問9 あなたは、ご自分の健康状態について、どのように感じていますか。(1つに○)

「まあまあ健康だと思う」の割合が64.8%と最も高く、次いで「あまり健康ではないと思う」の割合が17.3%、「とても健康だと思う」の割合が12.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

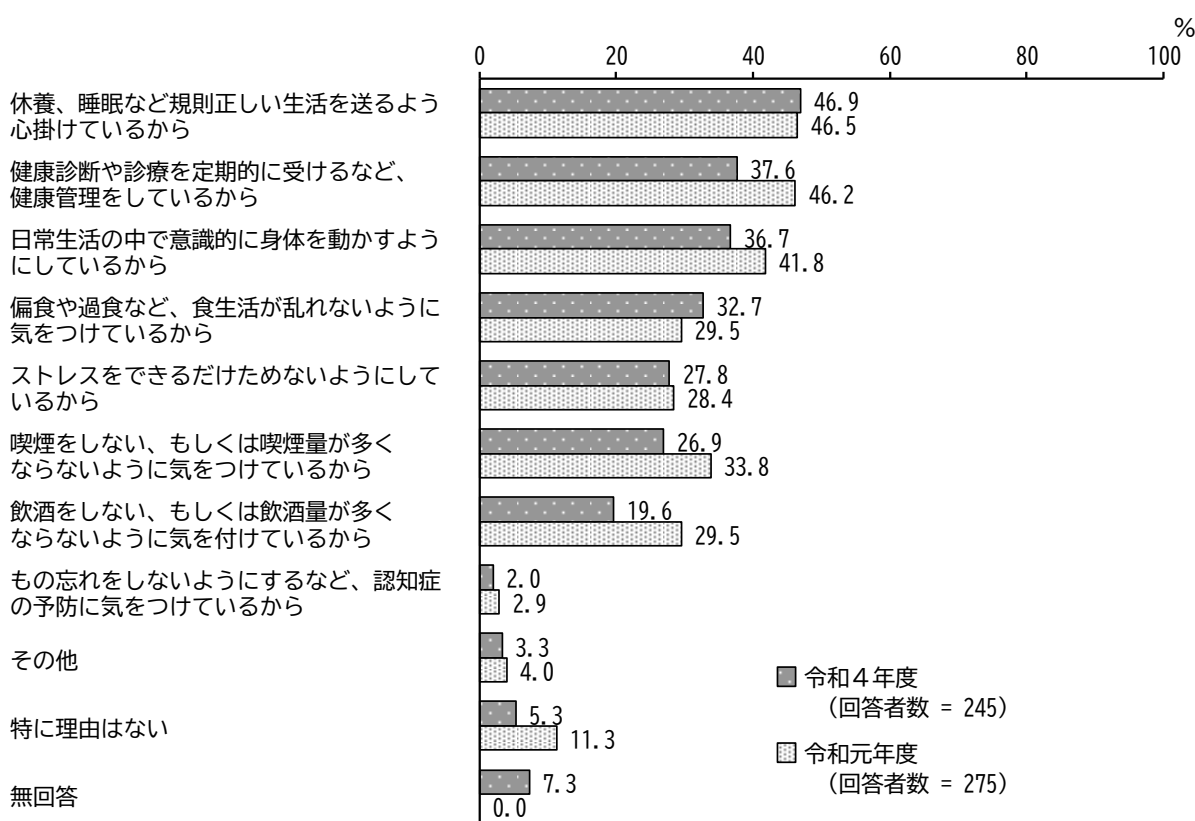


問9で「とても健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」と回答された方に伺います。

問9-1 あなたが健康だと感じることができるのはどのような理由からですか。(主な理由としてあてはまるものを3つお選びください)

「休養、睡眠など規則正しい生活を送るよう心掛けているから」の割合が46.9%と最も高く、次いで「健康診断や診療を定期的に受けるなど、健康管理をしているから」の割合が37.6%、「日常生活の中で意識的に身体を動かすようにしているから」の割合が36.7%となっています。

前回調査と比較すると、「健康診断や診療を定期的に受けるなど、健康管理をしているから」が8.6ポイント、「日常生活の中で意識的に身体を動かすようにしているから」が5.1ポイント、「喫煙をしない、もしくは喫煙量が多くならないように気をつけているから」が6.9ポイント、「飲酒をしない、もしくは飲酒量が多くならないように気を付けているから」が9.9ポイント、「特に理由はない」が6.0ポイント減少しています。

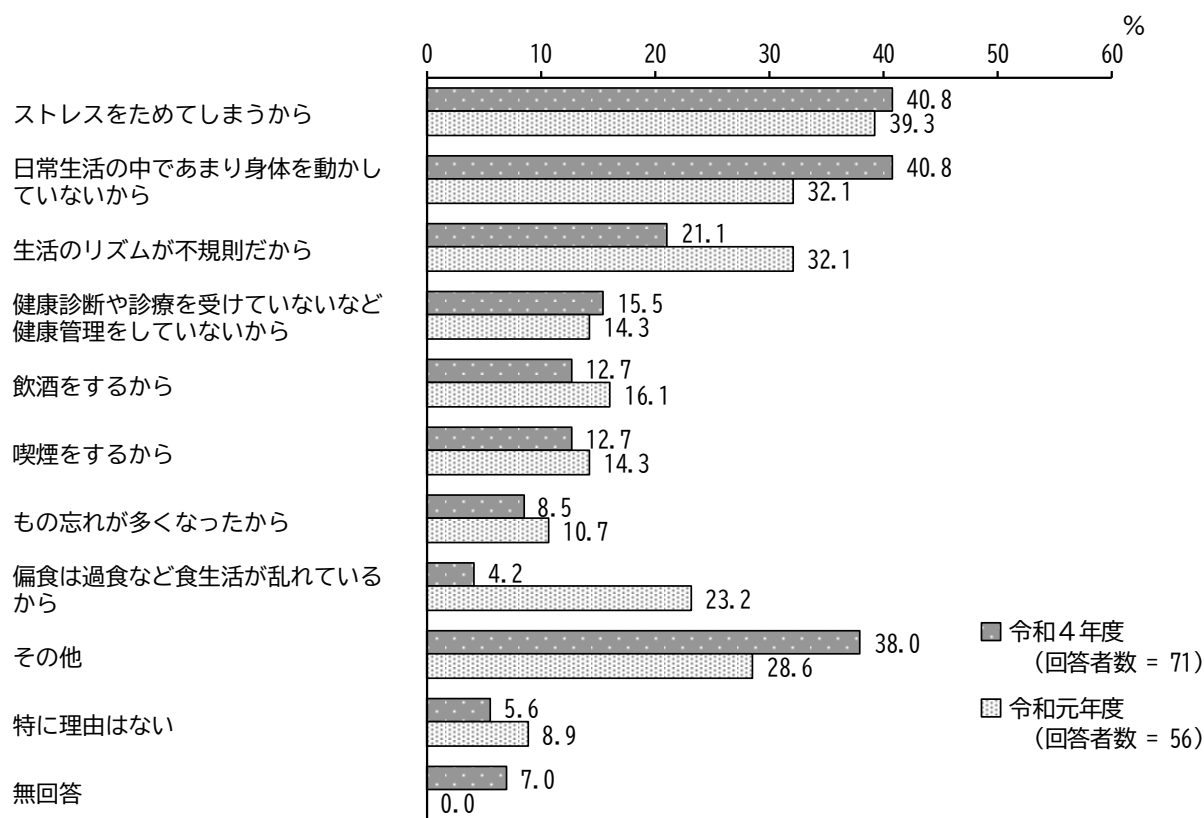


問9で「あまり健康ではないと思う」または「健康ではないと思う」と回答された方に伺います。

問9-2 あなたが健康だと感じるができないのはどのような理由からですか。(主な理由としてあてはまるものを3つお選びください)

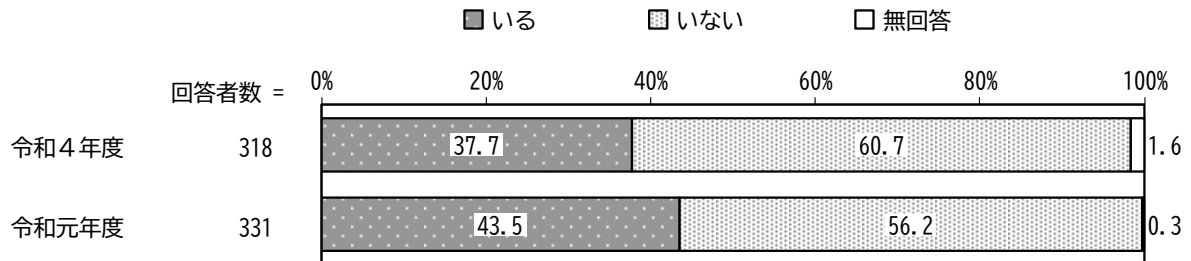
「ストレスをためてしまうから」、「日常生活の中であまり身体を動かしていないから」の割合が40.8%と最も高く、次いで「生活のリズムが不規則だから」の割合が21.1%となっています。

前回調査と比較すると、「生活のリズムが不規則だから」が11.0ポイント、「偏食は過食など食生活が乱れているから」が19.0ポイント減少し、「日常生活の中であまり身体を動かしていないから」が8.7ポイント、「その他」が9.4ポイント増加しています。



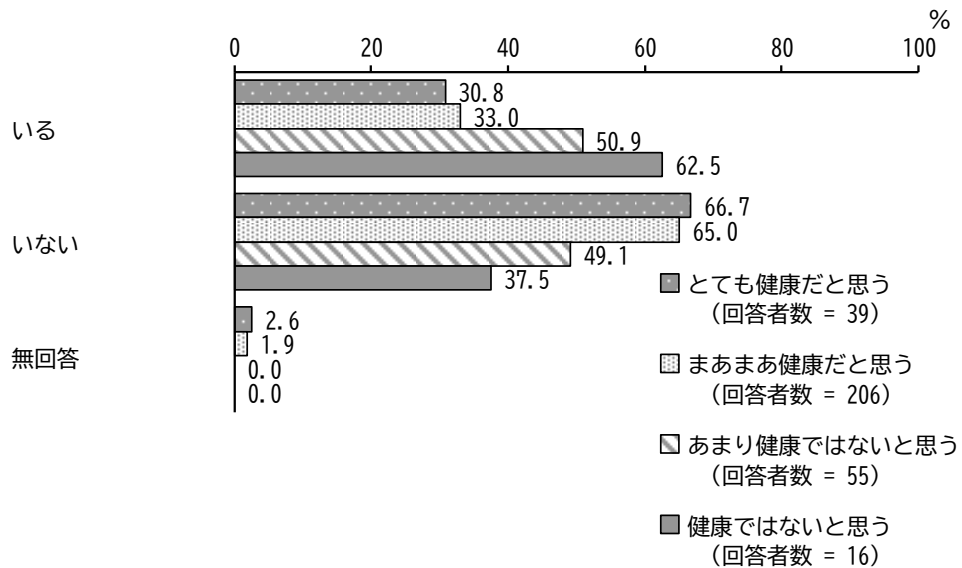
問10 あなたには、日常生活の健康について相談するかかりつけの医師はいますか。
(1つに○)

「いる」の割合が37.7%、「いない」の割合が60.7%となっています。
前回調査と比較すると、「いる」が5.8ポイント減少しています。



【健康観別】

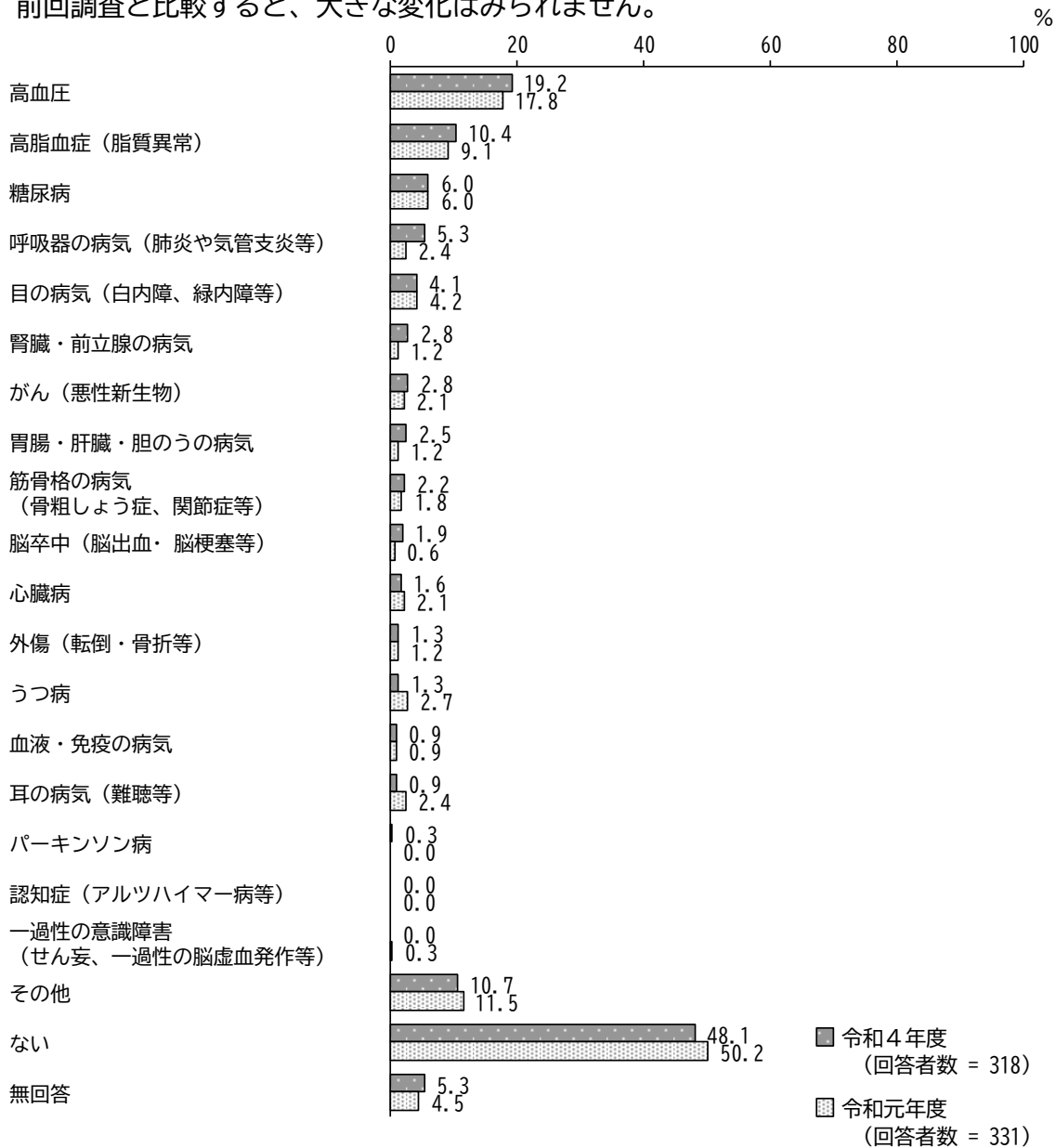
健康観別にみると、健康観が悪い人ほど「いる」の割合が高くなっています。



問11 あなたには、現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。
(あてはまるものいくつかでも○)

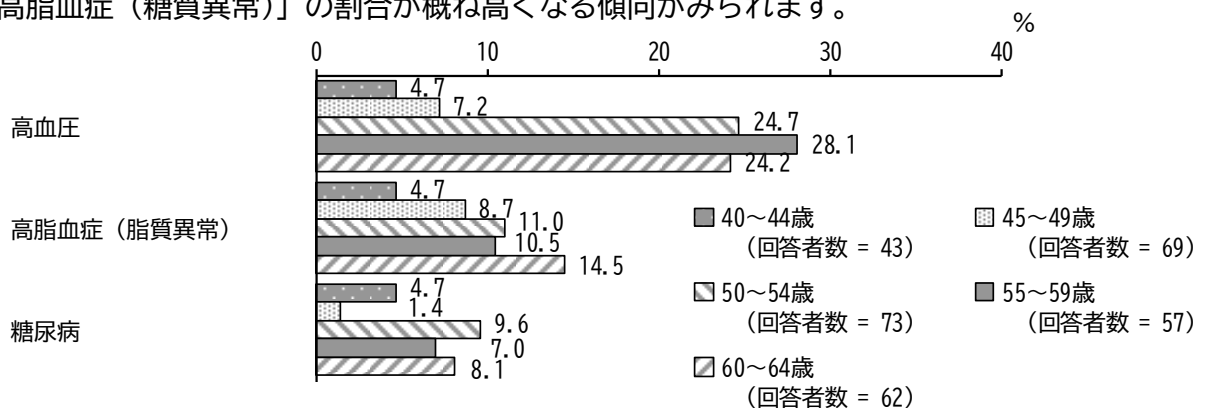
「ない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「高血圧」の割合が19.2%、「高脂血症（脂質異常）」の割合が10.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳以上で「高血圧」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるほど「高脂血症（糖質異常）」の割合が概ね高くなる傾向がみられます。

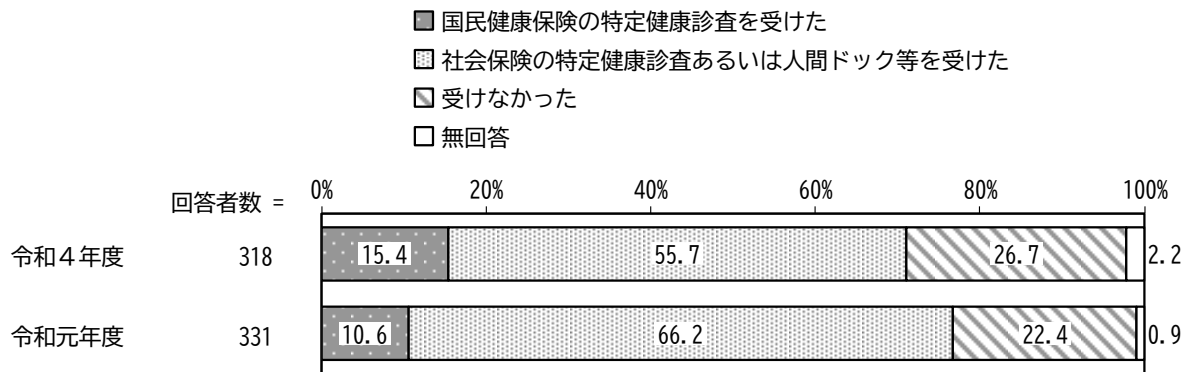


4 介護予防について

問 12 あなたは、この1年間に、健康診査を受けましたか。(1つに○)

「社会保険の特定健康診査あるいは人間ドック等を受けた」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「受けなかった」の割合が 26.7%、「国民健康保険の特定健康診査を受けた」の割合が 15.4%となっています。

前回調査と比較すると、「社会保険の特定健康診査あるいは人間ドック等を受けた」が 10.5 ポイント減少しています。



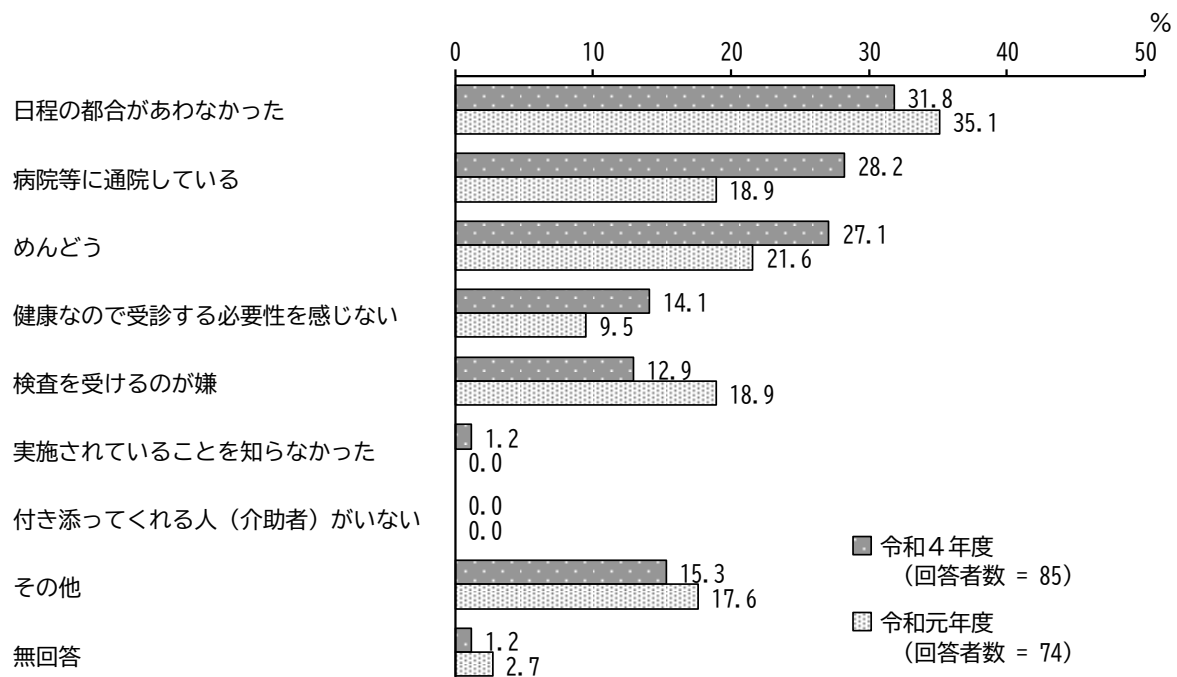
※「国民健康保険の特定健康診査を受けた」の選択肢は、令和元年度では「市の特定健康診査を受けた」でした。

問 12 で「受けなかった」と回答された方に伺います。

問 12-1 その理由は何ですか。(あてはまるものいくつかでも○)

「日程の都合があわなかった」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「病院等に通院している」の割合が 28.2%、「めんどう」の割合が 27.1%となっています。

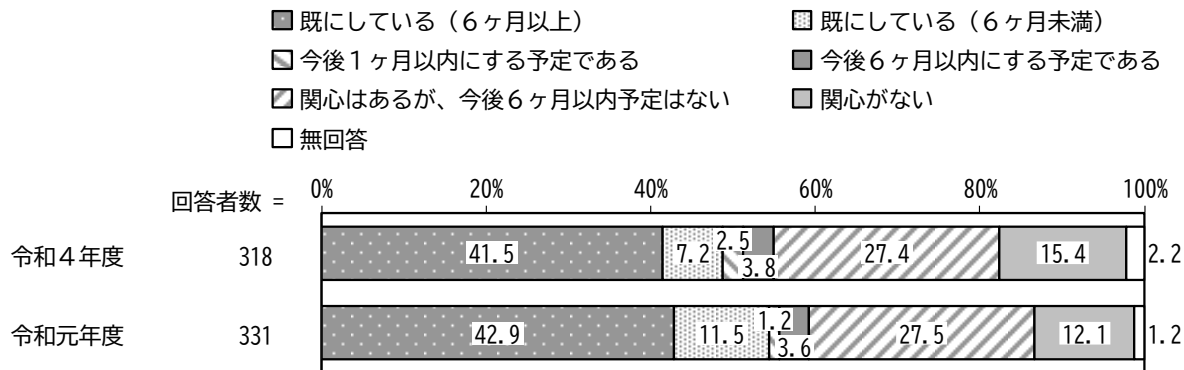
前回調査と比較すると、「検査を受けるのが嫌」が 6.0 ポイント減少し、「病院等に通院している」が 9.3 ポイント、「めんどう」が 5.5 ポイント増加しています。



問13 あなたは、現在、運動や栄養改善をしていますか。(1つに○)

「既に行っている(6ヶ月以上)」の割合が41.5%と最も高く、次いで「関心はあるが、今後6ヶ月以内予定はない」の割合が27.4%、「関心がない」の割合が15.4%となっています。

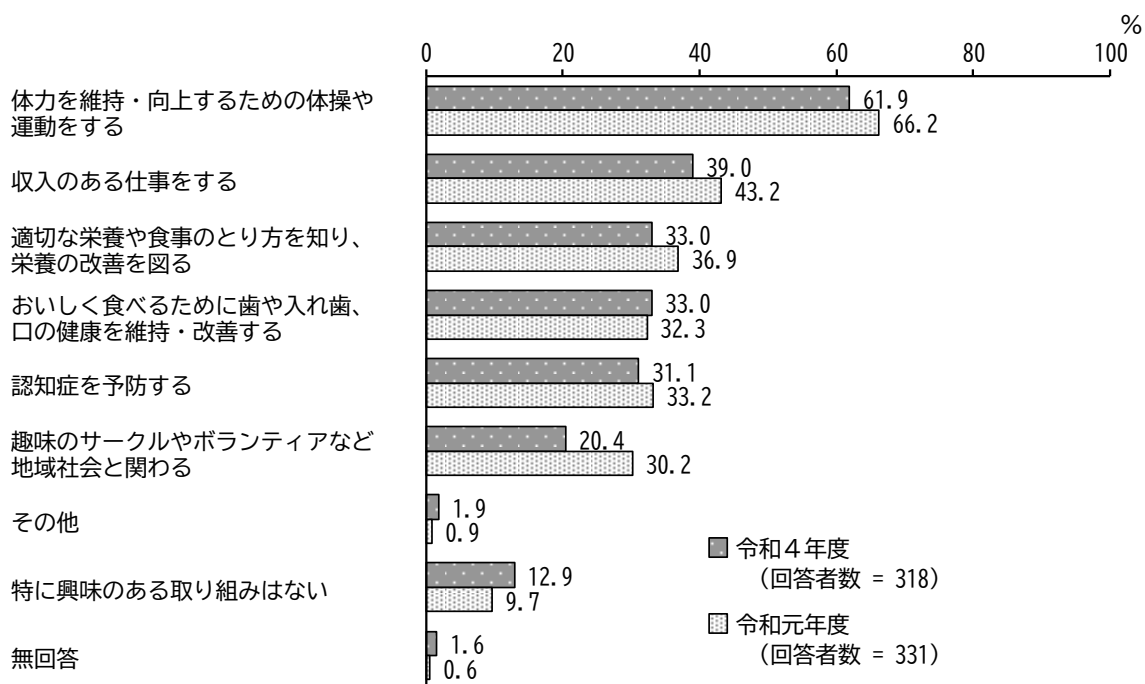
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問14 あなたは、介護予防について、どのような取り組みに興味がありますか。(あてはまるものいくつかでも○)

「体力を維持・向上するための体操や運動をする」の割合が61.9%と最も高く、次いで「収入のある仕事をする」の割合が39.0%、「適切な栄養や食事のとり方を知り、栄養の改善を図る」、「おいしく食べるために歯や入れ歯、口の健康を維持・改善する」の割合が33.0%となっています。

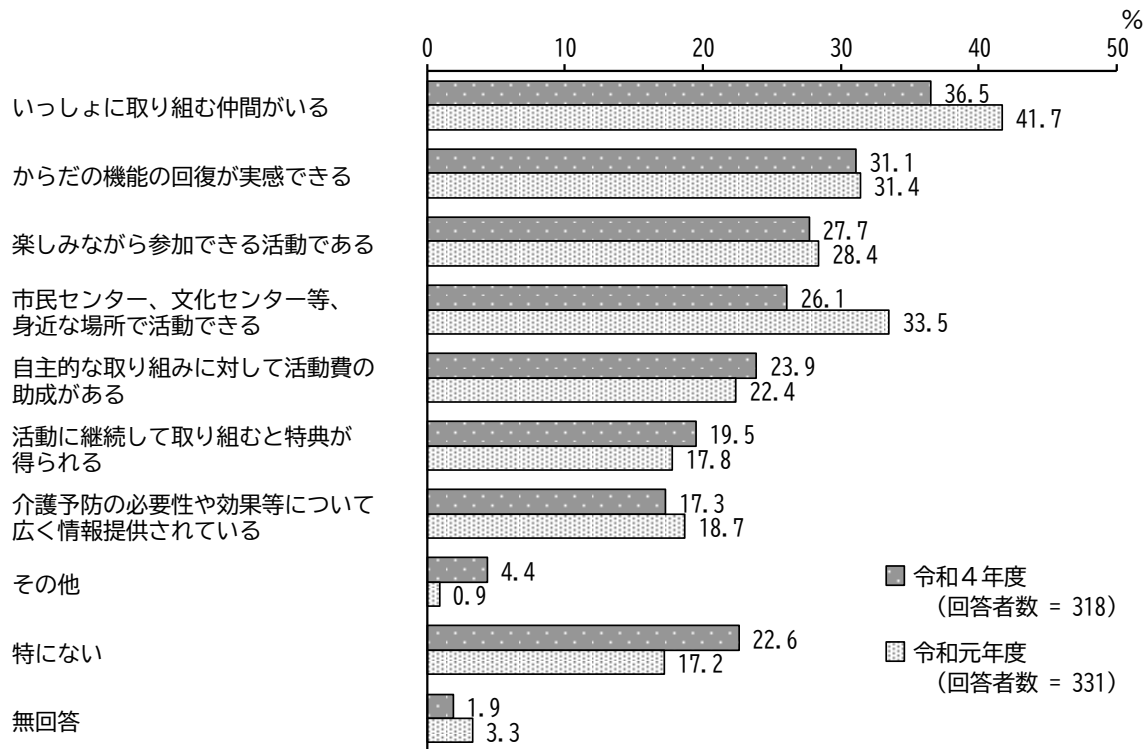
前回調査と比較すると、「趣味のサークルやボランティアなど地域社会と関わる」が9.8ポイント減少しています。



問15 どのような条件があれば、介護予防のための取り組みに参加しやすい・参加したいと思いますか。(あてはまるものいくつかでも○)

「いっしょに取り組む仲間がいる」の割合が36.5%と最も高く、次いで「からだの機能の回復が実感できる」の割合が31.1%、「楽しみながら参加できる活動である」の割合が27.7%となっています。

前回調査と比較すると、「いっしょに取り組む仲間がいる」が5.2ポイント、「市民センター、文化センター等、身近な場所で活動できる」が7.4ポイント減少し、「特にない」が5.4ポイント増加しています。



5 日常生活の状況について

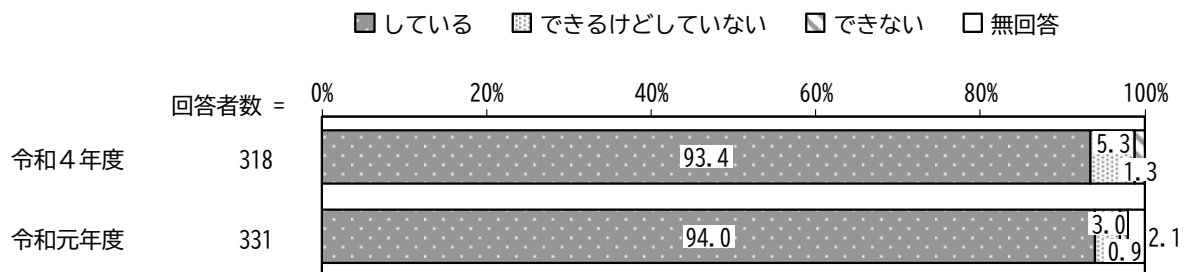
問16 以下の(ア) - (ヒ)のすべてについて、あなたに「あてはまる」ものに○をしてください。(それぞれの質問ごとに1つに○)

(1) 暮らしぶり

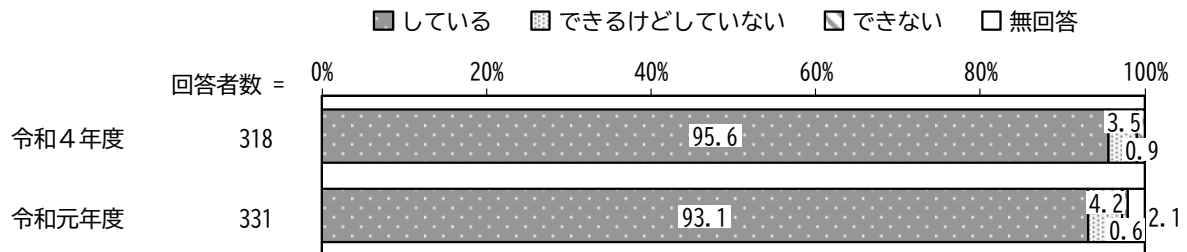
外出や買い物、食事などの暮らしぶりについてみると、「している」または「はい」との回答が80%に満たない設問は「(ウ) 自分で食事の用意をしていますか」「(オ) 健康についての記事や番組に関心がありますか」「(カ) 友人の家を訪ねていますか」の3項目となっています。

前回調査と比較すると、「(ウ) 自分で食事の用意をしていますか」で「している」が5.8ポイント増加、「(オ) 健康についての記事や番組に関心がありますか」で「はい」が8.0ポイント、「(カ) 友人の家を訪ねていますか」で「はい」が12.0ポイント減少しています。

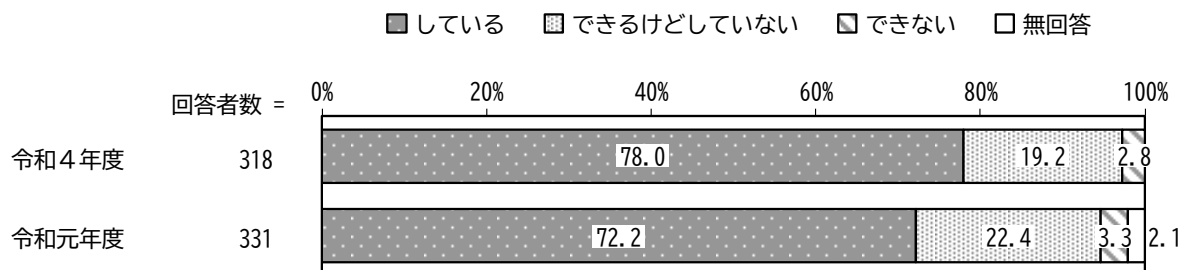
(ア) バスや電車でひとりで外出していますか（自家用車でも可）



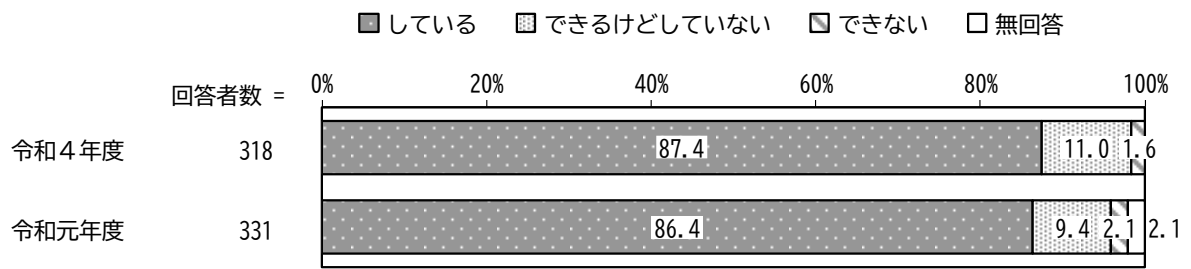
(イ) 日用品の買い物をしていますか



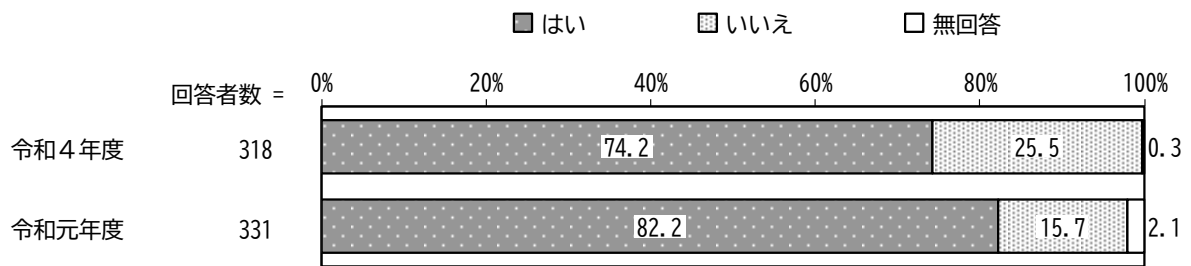
(ウ) 自分で食事の用意をしていますか



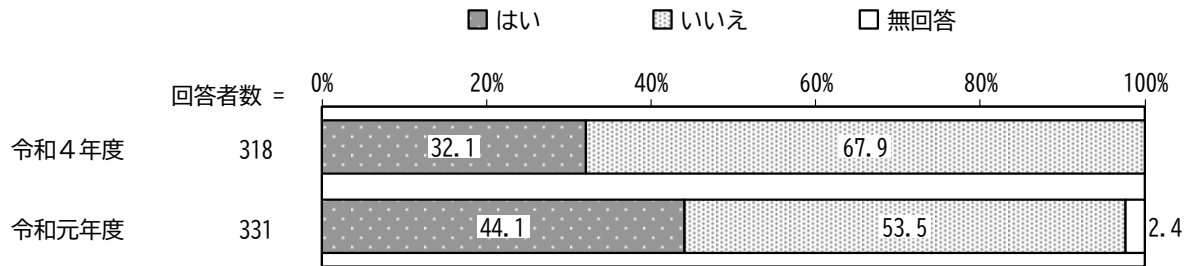
(工) 預貯金の出し入れをしていますか



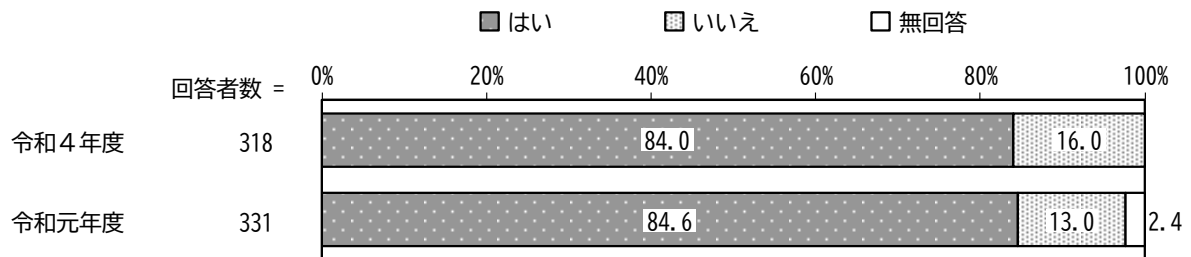
(オ) 健康についての記事や番組に関心がありますか



(カ) 友人の家を訪ねていますか



(キ) 家族や友人の相談にのっていますか

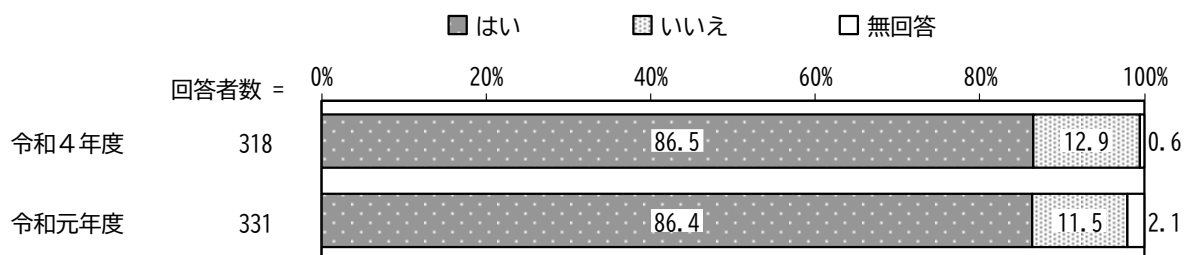


(2) 運動機能

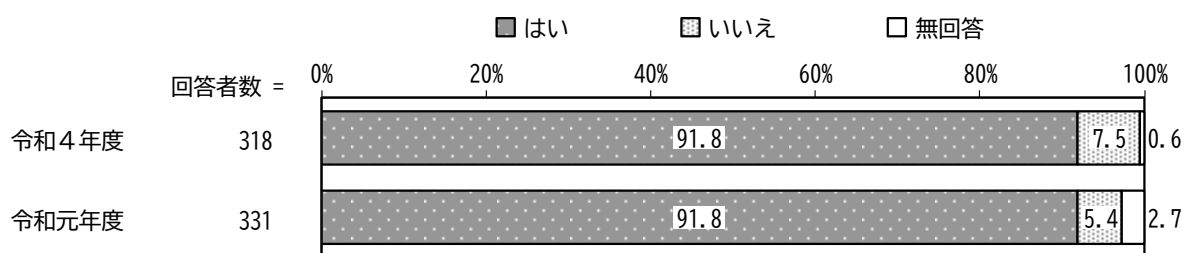
高齢者の運動機能を評価する設問について、運動機能の低下が見られる選択肢(ク、ケ、コでは「いいえ」、サ、シでは「はい」)の回答割合をみると、「転倒に対する不安は大きいですか」が24.2%と最も高くなっています。

前回の調査結果と比較すると、大きな変化はみられません。

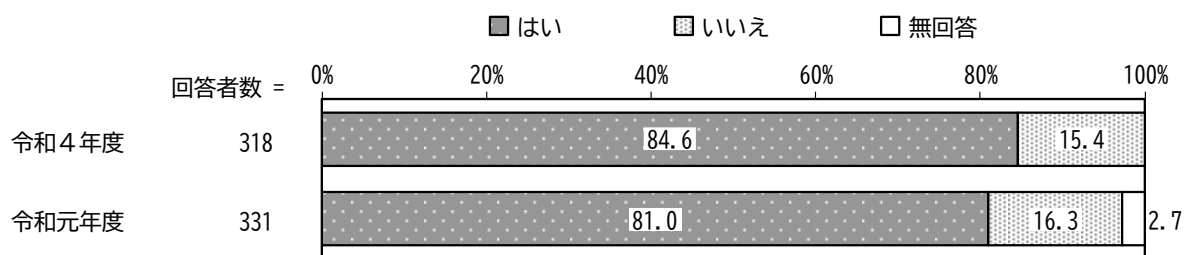
(ク) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



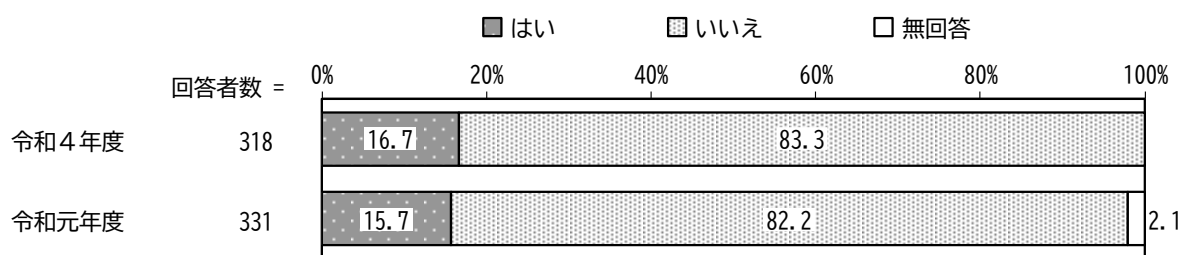
(ケ) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



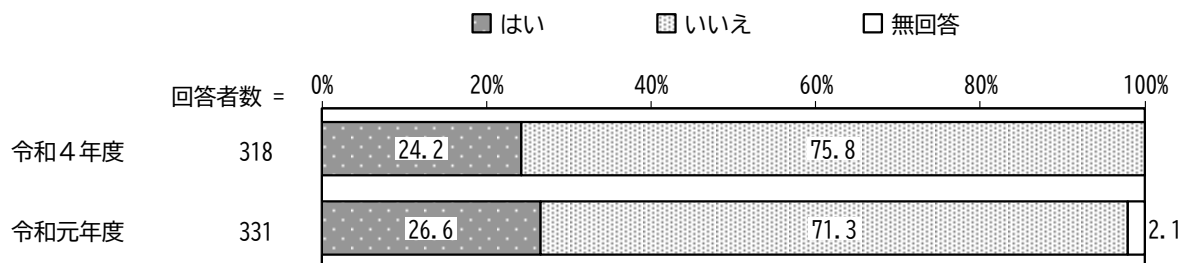
(コ) 15分位続けて歩いていますか



(サ) この1年間に転んだことがありますか



(シ) 転倒に対する不安は大きいですか

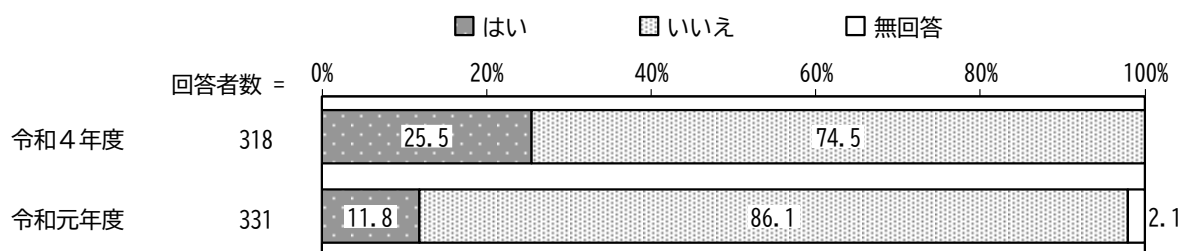


(3) 閉じこもり

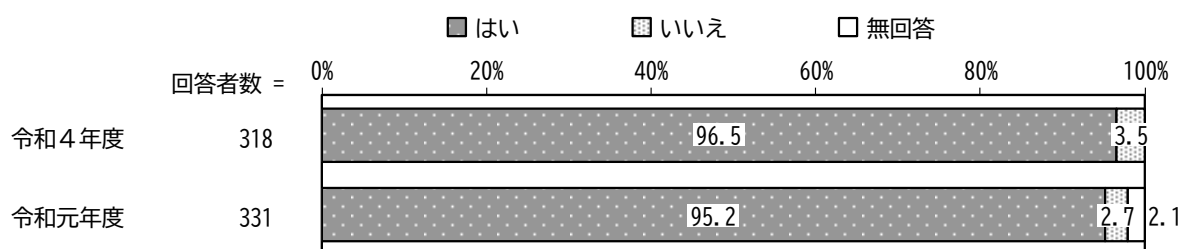
高齢者の外出頻度を評価する設問について、閉じこもりの傾向が見られる選択肢(スでは「いいえ」、セでは「はい」)の回答割合をみると、昨年と比べて外出が減っているとの人は25.5%、週に1回以上外出していない人は3.5%となっています。

前回の調査結果との比較では、「(ス) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか」で「はい」が13.7ポイント増加しています。

(ス) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



(セ) 週に1回以上は外出をしていますか



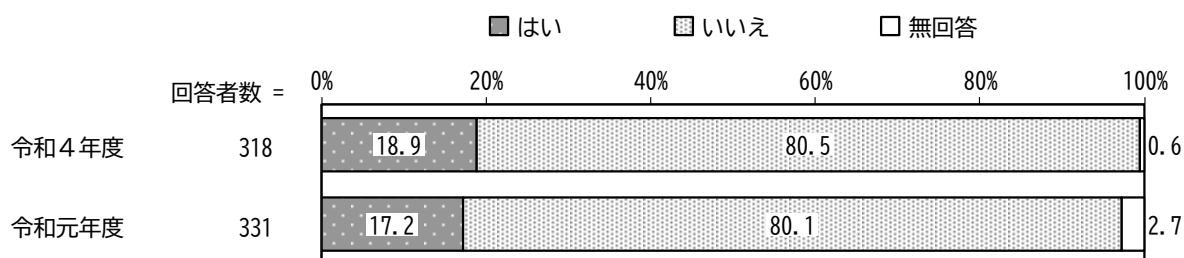
(4) 栄養状態

高齢者の栄養状態を評価する設問についてみると、「6ヵ月間で2～3kgの体重減少がありましたか」との設問に「はい」と回答した割合が18.9%となっており、低栄養の傾向が見られます。

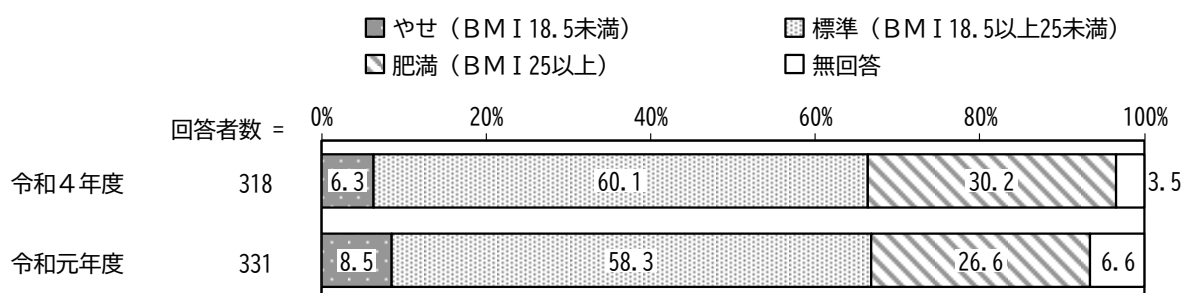
また、身長、体重の回答から計算された肥満指数（BMI）が18.5未満の「低体重」の割合は6.3%となっています。

前回の調査結果と比較すると、大きな変化はみられません。

(ソ) 6ヶ月間で2～3kgの体重減少がありましたか



(タ) BMI

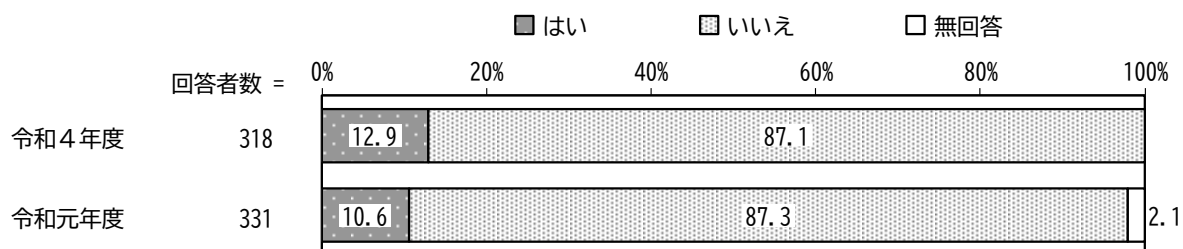


(5) 口腔機能

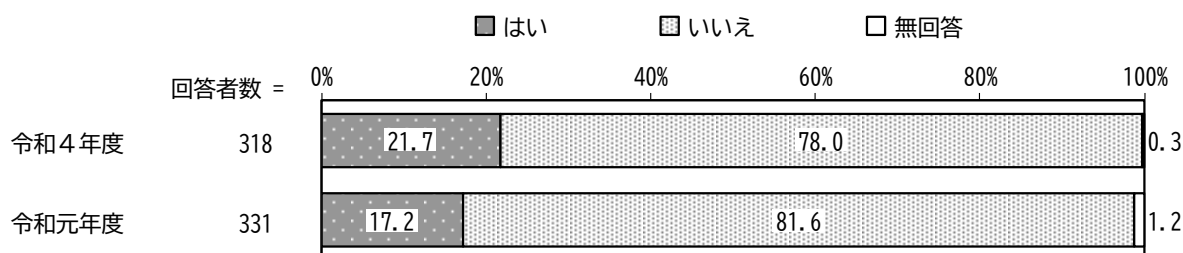
高齢者の口腔機能を評価する設問について、口腔機能の低下が見られる選択肢である「はい」の回答割合をみると、「(ツ) お茶や汁物等でむせることがありますか」「(テ) 口の渇きが気になりますか」で20%を超えています。

前回の調査結果との比較では、大きな変化はみられません。

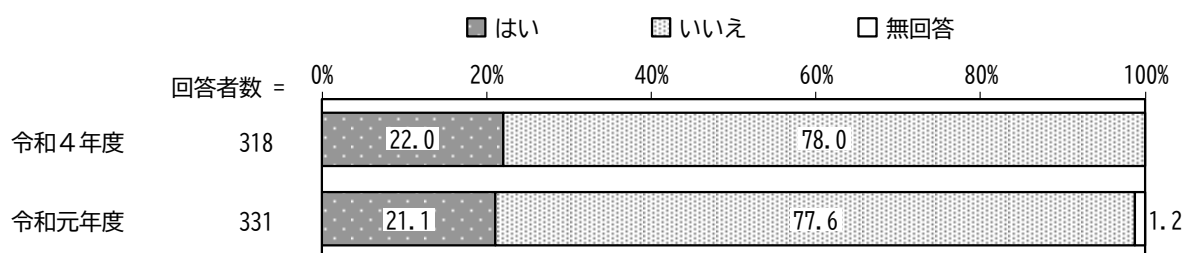
(チ) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



(ツ) お茶や汁物等でむせることがありますか



(テ) 口の渇きが気になりますか

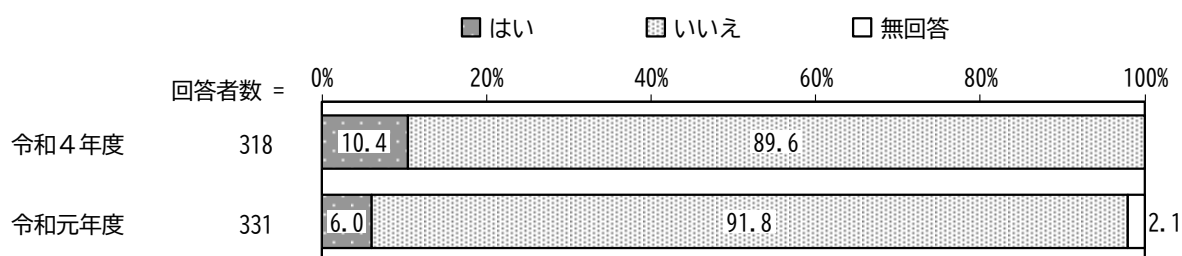


(6) 認知機能

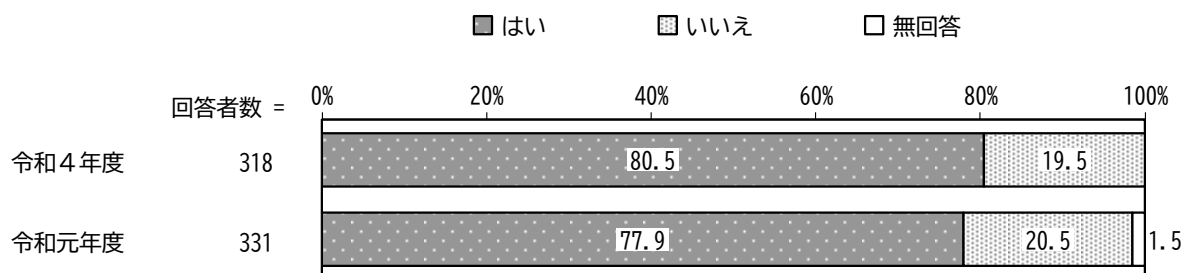
高齢者の認知機能を評価する設問について、認知機能の低下が見られる選択肢(ト、ニでは「はい」、ナでは「いいえ」)の回答割合をみると、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」が19.5%と最も高くなっています。

前回の調査結果と比較すると、大きな変化はみられません。

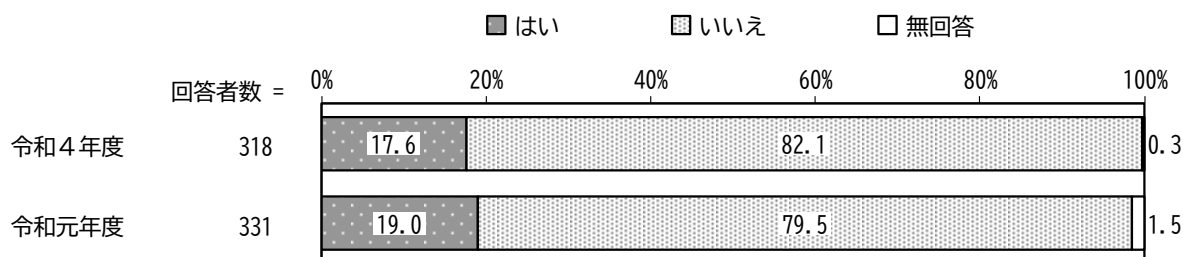
(ト) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか



(ナ) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか



(ニ) 今日が何月何日かわからない時がありますか

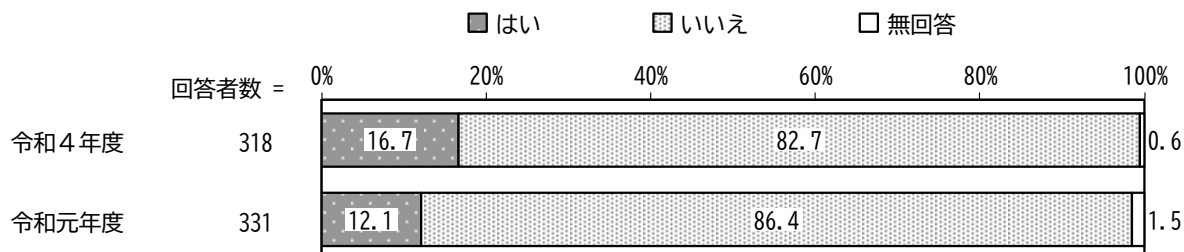


(7) うつ傾向

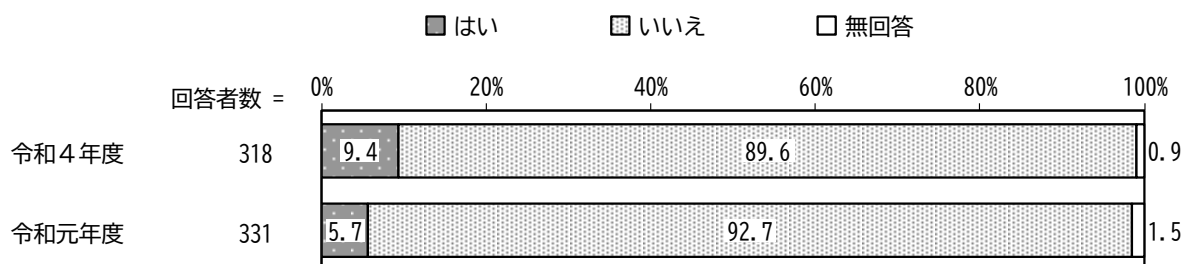
高齢者のうつ傾向を把握する設問について、うつ傾向が見られる選択肢である「はい」の回答割合をみると、「(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする」が23.3%と最も高くなっています。

前回の調査結果と比較すると、「(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」の設問で「はい」が6.3ポイント増加しています。

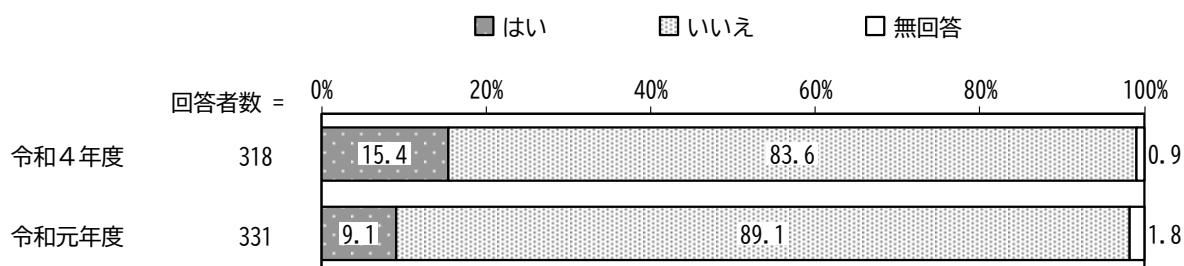
(ヌ) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない



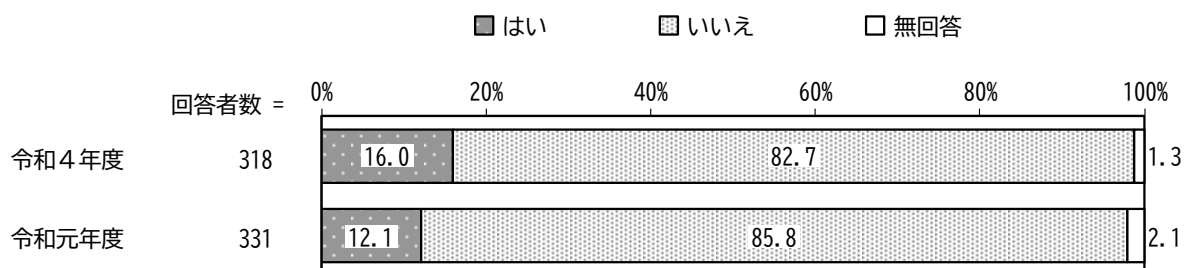
(ネ) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった



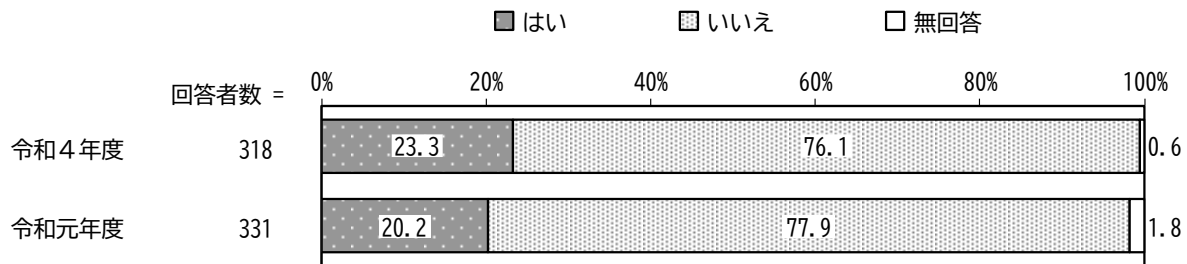
(ノ) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる



(ハ) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない



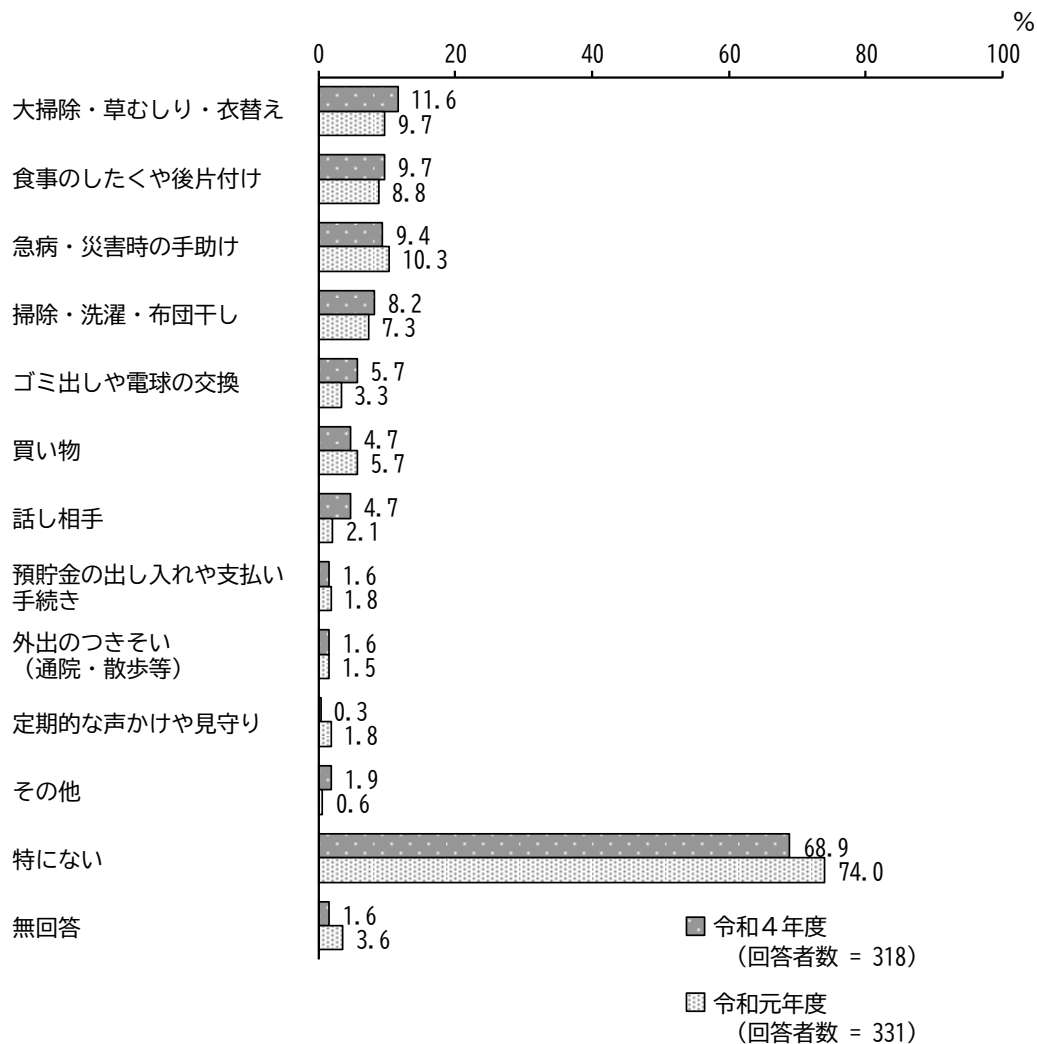
(ヒ) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする



問17 あなたは、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか。(あてはまるものいくつかでも○)

「特にない」の割合が68.9%と最も高く、次いで「大掃除・草むしり・衣替え」の割合が11.6%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」が5.1ポイント減少しています。

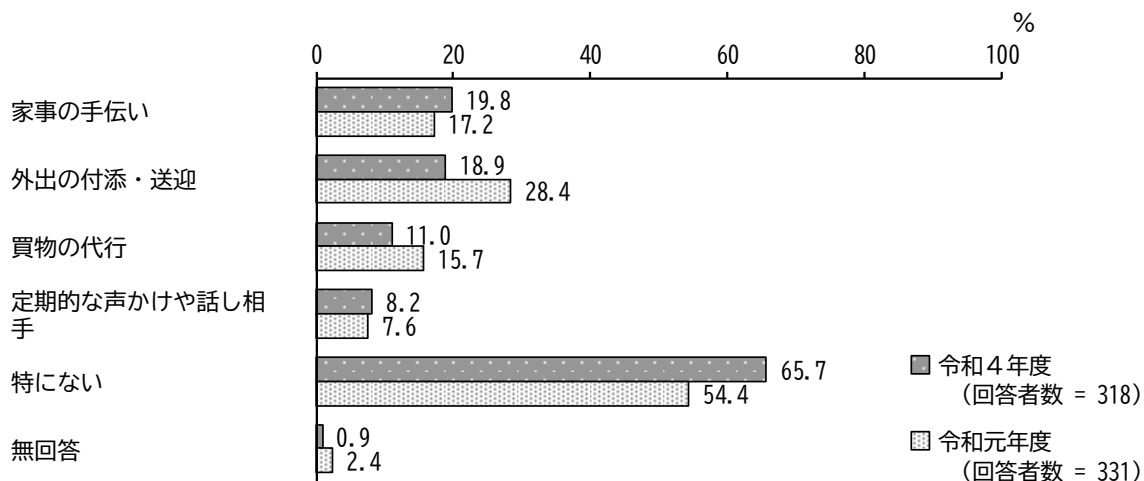


6 地域とのかかわりについて

問 18 あなたが今後参加し（続け）たいと思う支援が必要な方への支援活動はどれですか。（あてはまるものいくつかでも○）

「特にない」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「家事の手伝い」の割合が 19.8%、「外出の付添・送迎」の割合が 18.9%となっています。

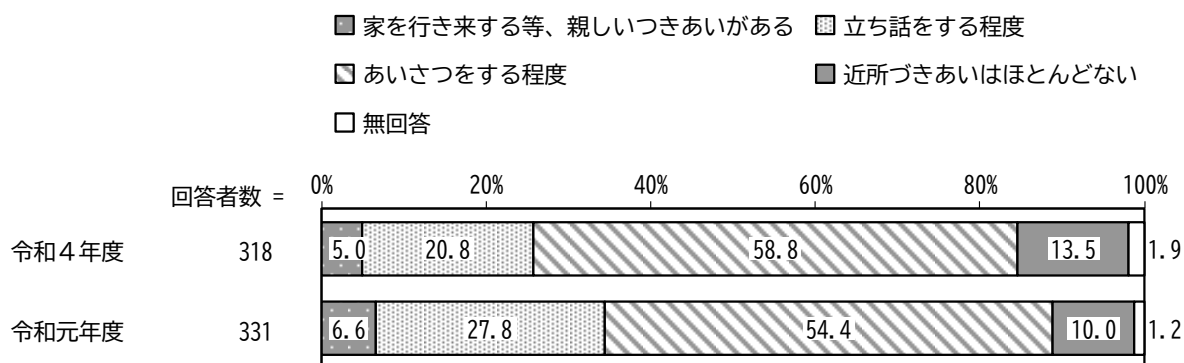
前回調査と比較すると、「外出の付添・送迎」が 9.5 ポイント減少し、「特にない」が 11.3 ポイント増加しています。



問 19 あなたは、ご近所の方との程度のつきあいをしていますか。（1つに○）

「あいさつをする程度」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「立ち話をする程度」の割合が 20.8%、「近所づきあいはほとんどない」の割合が 13.5%となっています。

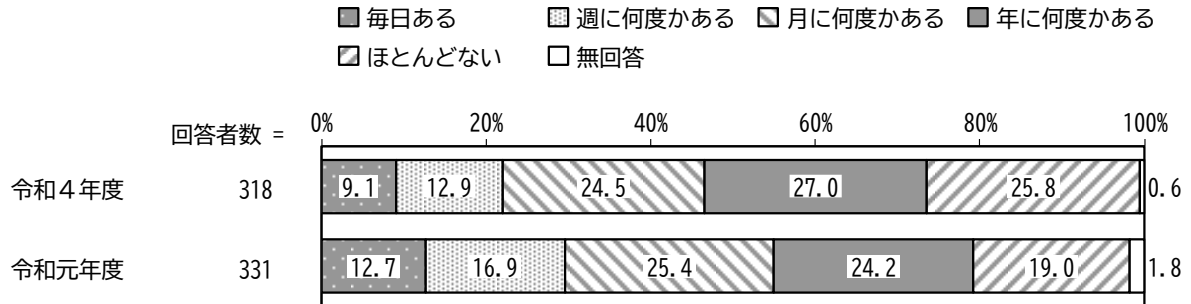
前回調査と比較すると、「立ち話をする程度」が 7.0 ポイント減少しています。



問 20 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

「年に何度かある」の割合が 27.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 25.8%、「月に何度かある」の割合が 24.5%となっています。

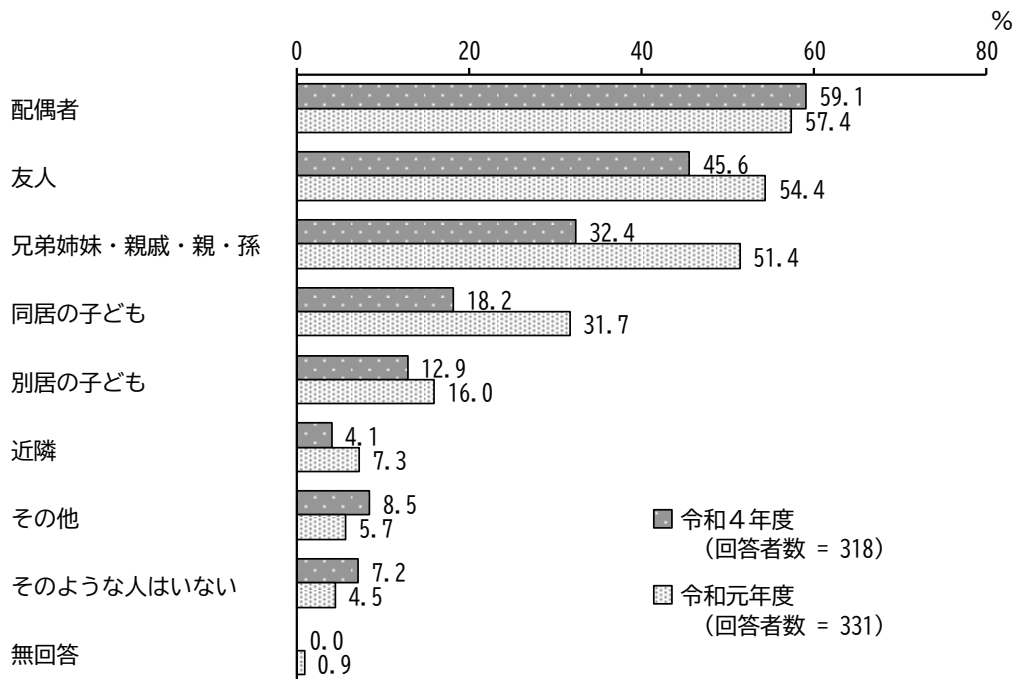
前回調査と比較すると、「ほとんどない」が 6.8 ポイント増加しています。



問 21 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はだれですか。(あてはまるものいくつかでも○)

「配偶者」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「友人」の割合が 45.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 32.4%となっています。

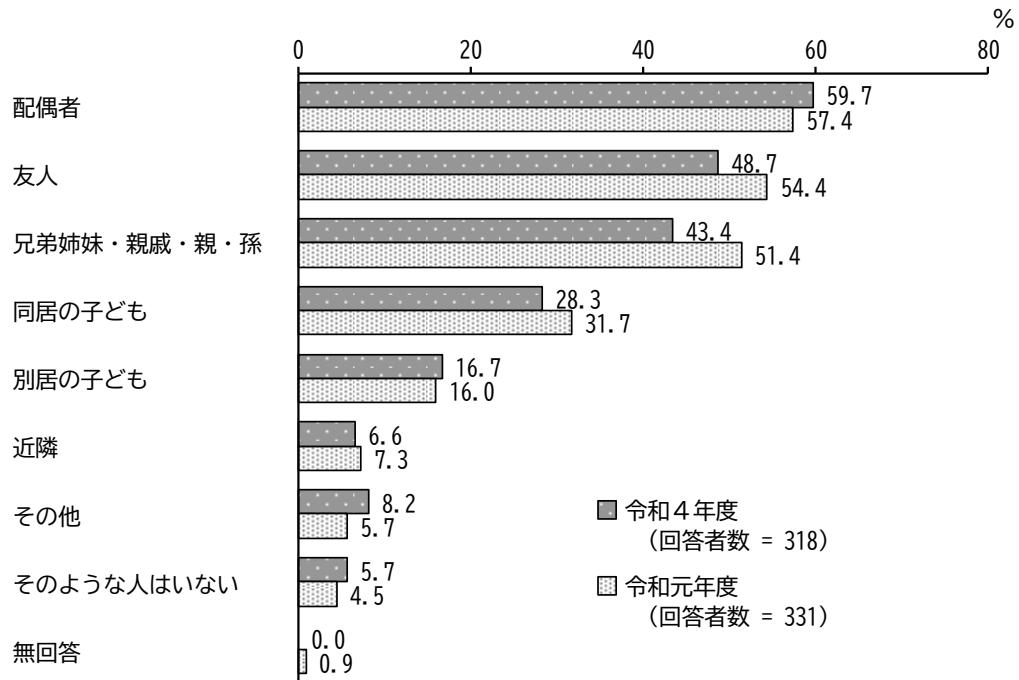
前回調査と比較すると、「友人」が 8.8 ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 19.0 ポイント、「同居の子ども」が 13.5 ポイント減少しています。



問 22 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰ですか。
（あてはまるものいくつかでも○）

「配偶者」の割合が59.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が48.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が43.4%となっています。

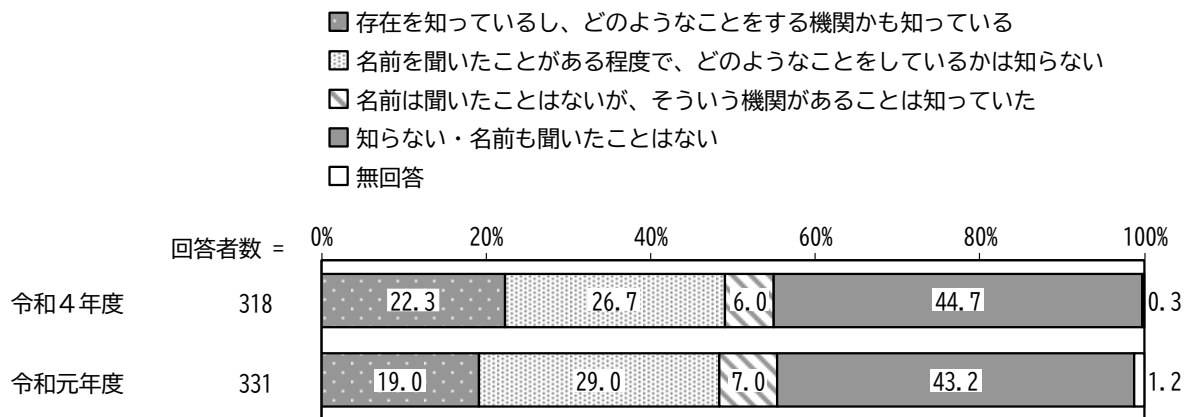
前回調査と比較すると、「友人」が5.7ポイント、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が8.0ポイント減少しています



問 23 あなたは、高齢者にかかる総合的な相談窓口として「地域包括支援センター」が市内に4ヶ所あることや、必要に応じた支援・サービスを提供してくれることを知っていますか。(1つに○)

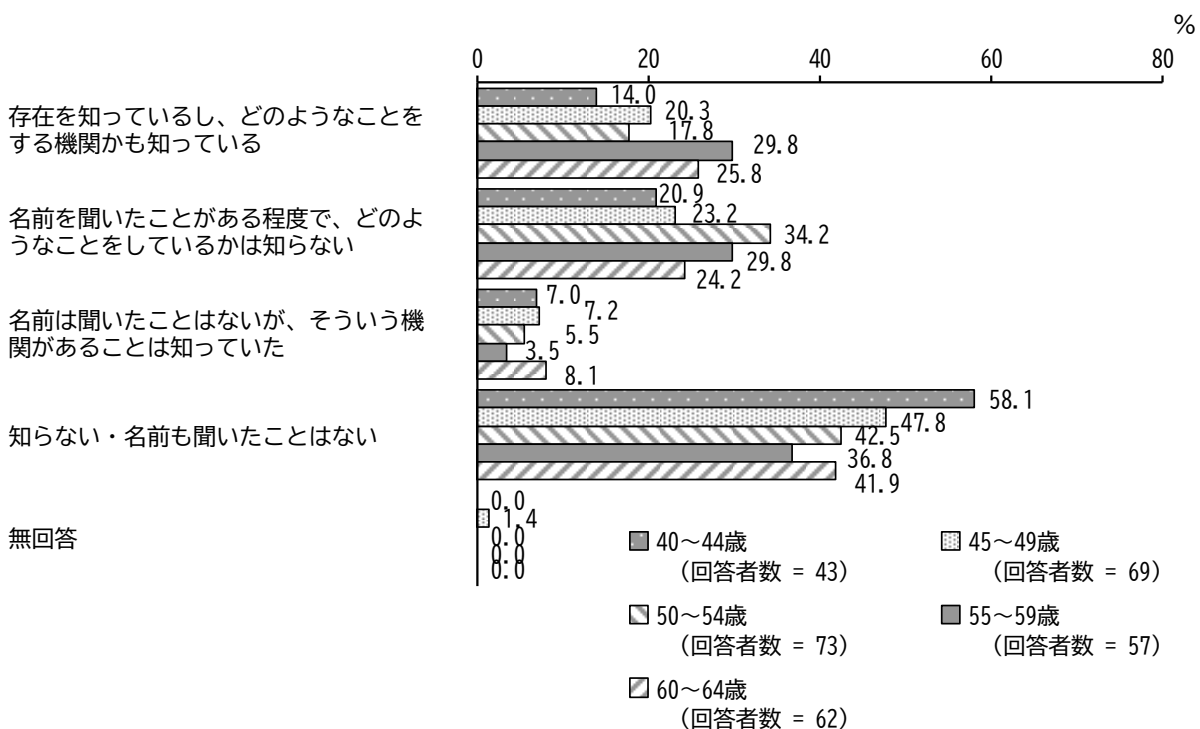
「知らない・名前も聞いたことはない」の割合が44.7%と最も高く、次いで「名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない」の割合が26.7%、「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」の割合が22.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「知らない・名前も聞いたことはない」の割合が概ね高くなる傾向がみられます。また、55歳以上で「存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている」の割合が、50～54歳で「名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない」の割合が高くなっています。

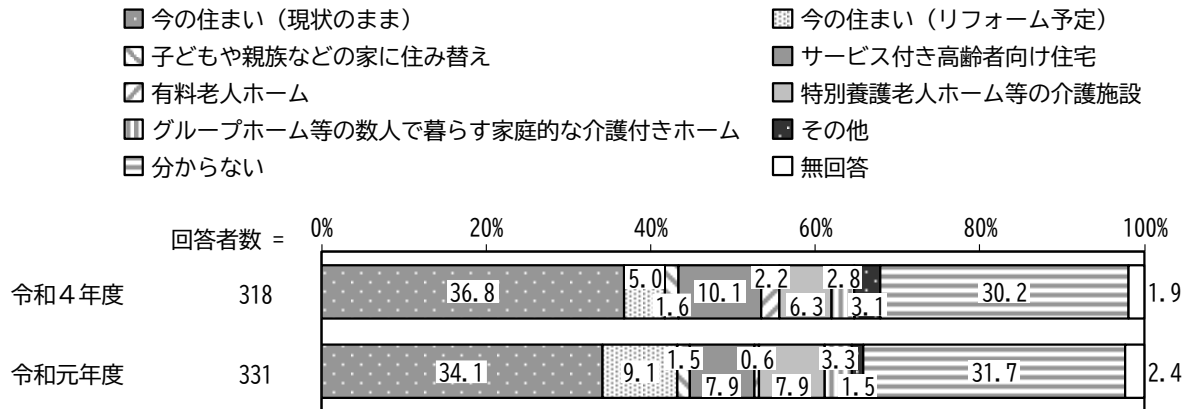


7 今後希望する暮らしについて

問 24 あなたは、今後、万が一介護が必要となった場合のお住まいの希望は次のどれにあたりますか。(1つに○)

「今の住まい(現状のまま)」の割合が36.8%と最も高く、次いで「分からない」の割合が30.2%、「サービス付き高齢者向け住宅」の割合が10.1%となっています。

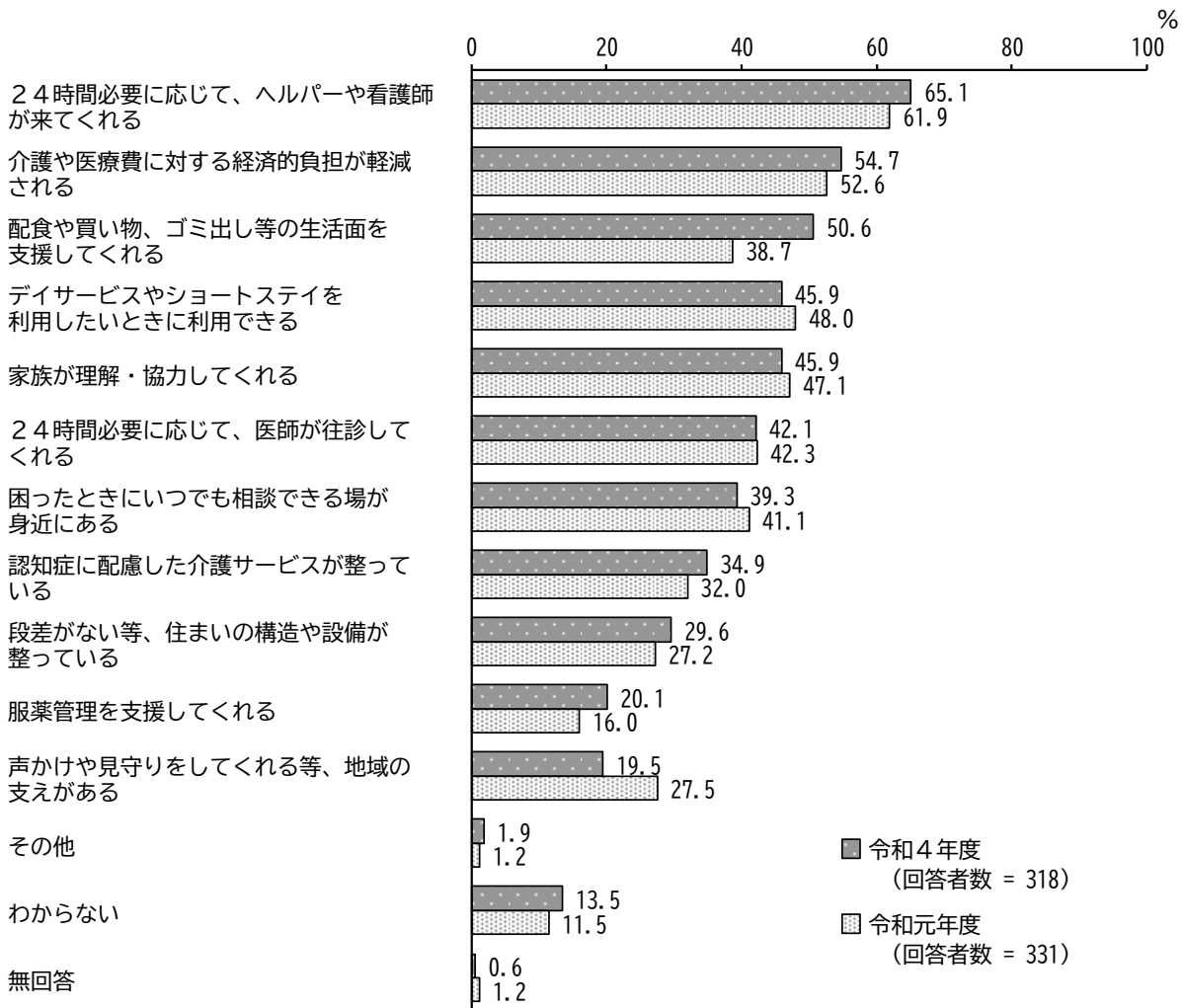
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 25 どのようなサービスや条件が整えば、介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けることができますか。(あてはまるものいくつかでも○)

「24時間必要に応じて、ヘルパーや看護師が来てくれる」の割合が65.1%と最も高く、次いで「介護や医療費に対する経済的負担が軽減される」の割合が54.7%、「配食や買い物、ゴミ出し等の生活面を支援してくれる」の割合が50.6%となっています。

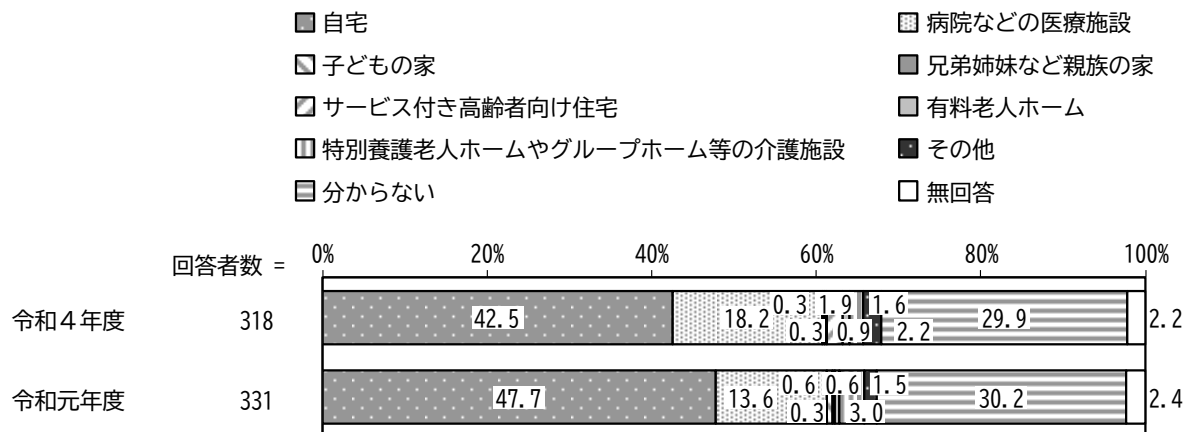
前回調査と比較すると、「声かけや見守りをしてくれる等、地域の支えがある」が8.0ポイント減少し、「配食や買い物、ゴミ出し等の生活面を支援してくれる」が11.9ポイント増加しています。



問 26 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

「自宅」の割合が42.5%と最も高く、次いで「分からない」の割合が29.9%、「病院などの医療施設」の割合が18.2%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」の割合が減少しています。



8 綾瀬市の保健福祉サービス等について

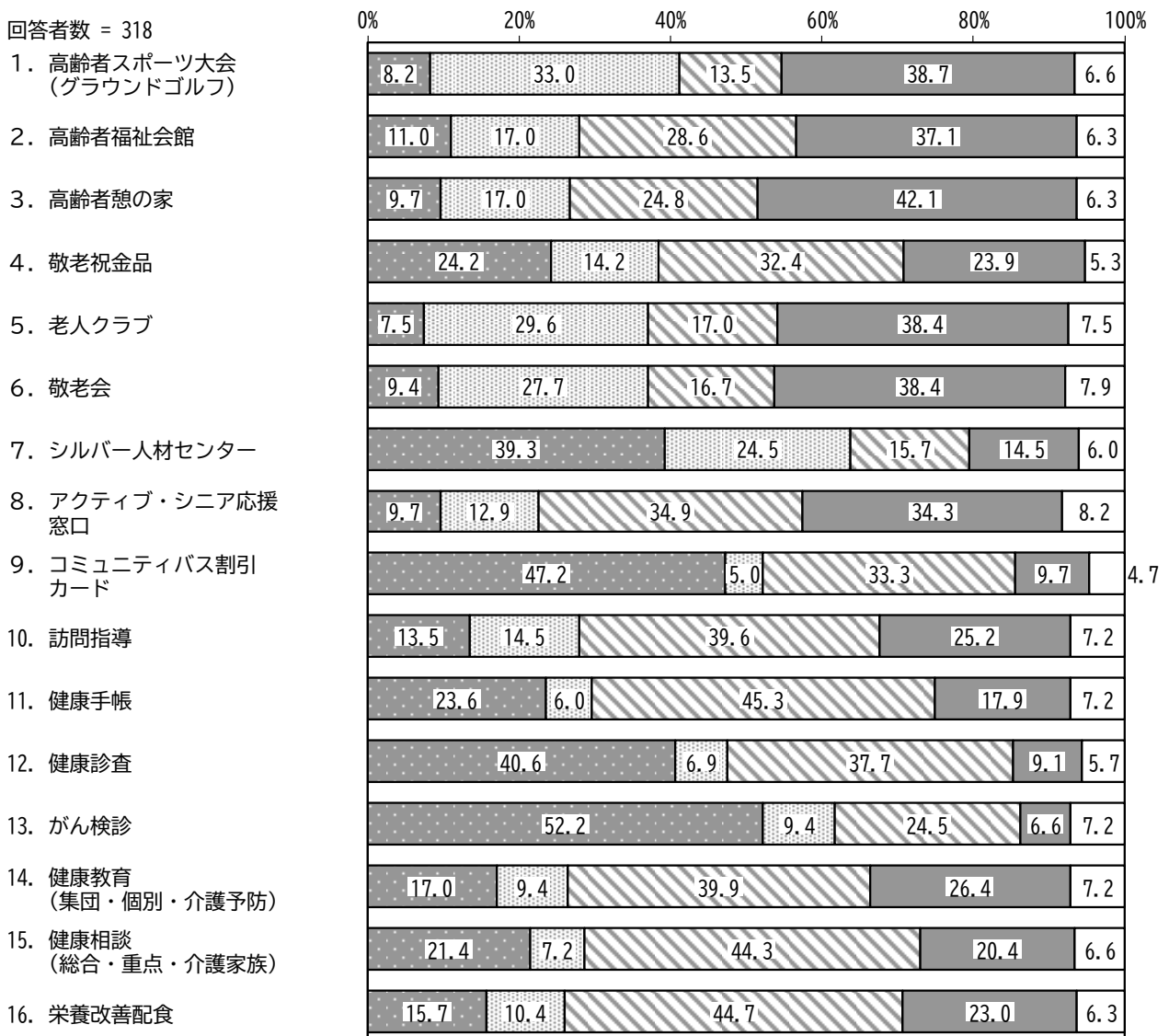
問 27 以下の保健福祉サービスについて、該当する項目に○をつけてください。
(それぞれの項目ごとに1つに○)

綾瀬市の保健福祉サービス等の認知度・利用希望について、「知っており、対象年齢になったら利用したい」の割合をみると、「がん検診」が52.2%と最も高く、次いで「コミュニティバス割引カード」が47.2%、「健康診査」が40.6%となっています。

また、「知らなかったが、対象年齢になったら利用したい」の割合をみると、「家族介護慰労金」の割合が73.9%と最も高く、次いで「救急医療情報キットの配布」の割合が67.9%、「認知症等行方不明位置探索サービス事業」の割合が65.4%となっています。

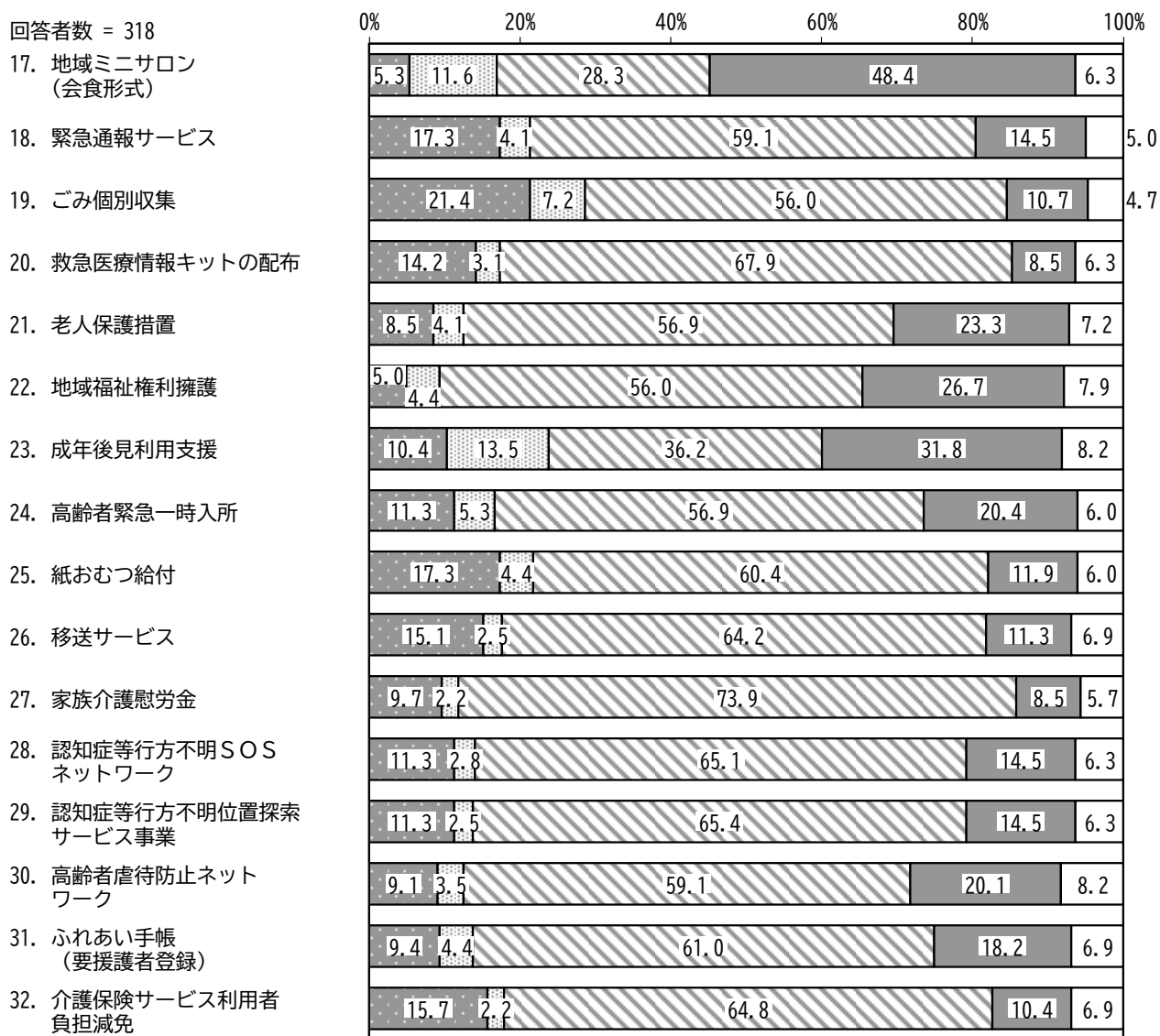
- 知っており、対象年齢になったら利用したい
- ▨ 知っているが、対象年齢になっても利用しない
- ▩ 知らなかったが、対象年齢になったら利用したい
- 知らなかった。対象年齢になっても利用しない
- 無回答

回答者数 = 318



- 知っており、対象年齢になったら利用したい
- ▨ 知っているが、対象年齢になっても利用しない
- ▩ 知らなかったが、対象年齢になったら利用したい
- 知らなかった。対象年齢になっても利用しない
- 無回答

回答者数 = 318



9 意見・要望

介護保険制度や保険者（綾瀬市）に対して、全体で 65 件のご意見・ご要望がありました（一部割愛）。内容としては、制度・行政に関するものが 29 件、将来への不安に関するものが 5 件、情報入手・提供に関するものが 11 件、日常生活・介護に関するものが 7 件、アンケート調査に関するものが 13 件となっています。

〈内訳〉

	分類	件数
1	制度・行政	29
2	将来への不安	5
3	情報入手・提供	11
4	日常生活・介護	7
5	アンケート調査	13
	合計	65

（1）制度・行政

- ・市外から転入してきた人と地元の人とで分かれている感じ。私は前者だが、可能な限り市外へ納税している。この市は駅もないし、市がどの様に動いて何をやってるのか全く見えない。故に、福祉事業にも保険事業にも興味もないし、協力しようと思わない。転出したい。
- ・自分の年齢がもっと上がってくると、求めるものも変わってくると思われます。どんな世の中になっているのかにもよると思います。このようなアンケートをとることはとても良いと思います。市民に必要な施策に力を入れてください。
- ・福祉事業に手厚い綾瀬市になってほしい。手厚い市であれば人口も多くなる。不安が多いと転入は多くなれないと思います。
- ・まだ想像がおいついていない状態で記入しました。孤独はやはりさけたいと思いました。子供にまかせず、高齢者が自分で行動できるシステムがありがたいと思います。市の方はみなさん親切ですが、やはり市の方も話のわかる、若い人に話をしがちだと思います。かんたんでわかりやすいシステムがありがたいです。
- ・一定年齢が来て、サービス利用したことがない人向けのサービス案内のセミナーのようなものを開催して欲しい（集団で）。困りごとが出た時点で役所に出向いた人に案内するのではなく、健康なうちに予防活動として教育、啓発しておけば、高齢者が早目にサービス利用にアクセスできる可能性が高まる。
- ・現在は一人暮らしで元気に働いています。自分とペットの寿命を考えながら飼っているつもりですが、高齢になり、自分に何かあった時、その時ペットがいた場合にペットの面倒をみてくれる所を斡旋してくだされば安心できると思います（紹介等でも）。
- ・高齢者に今よりも全てに優しい国、市になってもらいたい！
- ・対象年齢がだいぶ先なので実感がない項目があった。今後の高齢化に市が対応してくれれば住みやすいと思います。
- ・母が高齢、一人暮らし。生活支援が必要になった時、支援する身内への経済的支援等を充実させて負

担を軽くしてほしい。希望すれば施設への入所金助成など。

- ・今後とも高齢者の保健、福祉総合施策がより良い物になり、だれでもが利用出来やすくなる様期待しております。
- ・年金で対応できる介護支援を増して頂きたい。
- ・現在、地域包括支援センター、訪問診療（看護師の方、Dr）の方たちにお世話になっており、とてもよくしていただき感謝しております。新聞等で“介護”の事に関してはアンテナをはってきつつもりですが、いざ当事者になってみると、まずどこに連絡、相談すればいいのか。ハードルが高く、仕事をしながら担当の方とのやりとりは正直きつかった。大変でした。法律上仕方ない面もあると思うのですが、今後は私のような1人身（独身）も増えると思いますし、家族単位の介護のあり方から、家族がいるかどうか関係なく“1人”の人間として最期の迎え方をよりそってくれるようなシステムの構築が必要なのではと思っています。現場の皆さんのご苦勞もしらず勝手をいいましたが、このアンケートがお役にたてたのなら幸いです。
- ・ひとり暮らしでも高齢者が安心、安全な街づくりをして欲しいです。車の運転ができなくなったり、ひとりで歩けなくなったら綾瀬では生活できないので、もっと高齢者の生活にあった行政サービス、街づくりをしていくべきだと思います。子供の対策ばかりしても意味なし。子供は親がいるのだから。
- ・PCR検査キットを無料配布して、コロナを予防して下さい！
- ・65歳までパートをして、それからは高齢者住宅で暮らしたい。生活していく中で、停電や水もれなど困った事が多く、1人で対応するのが大変です。便利屋さんのように公共サービスで何かあれば訪問して欲しい。
- ・高齢者が気軽にあつまれる場所とコミュニティバスの本数を増やしてほしい。
- ・高齢者の運転について、自発的に免許返納をする人が増えるよう、移動手段の充実については頑張ってもらいたい。通勤時間帯に地域の皆さんが子供たちを守る活動をしている姿に感心しています。歳をとっても役に立ちたいと思う気持ちと、それを実現できる機会があるということは素敵だと思っています。20年後にできたらなと思います。
- ・今後、高齢者が希望を持ち、夢を持っていけるような支援、社会を作ってほしいです。
- ・話し相手の必要な高齢者。親が共働きで給料安いのに学童（有料）を利用、又はあずけ場がなく、共働きしたくてもできなかったり、時短をよぎなくされ…そういうのを両方ボランティア又は低料金でどうにかできないのか！学童有料は地域で異なるし、保育園だってまだまだ待機児童がいたり、上の子と下の子が別の保育園だったり、ムダが多いと思います。たしかどこか忘れましたが、幼稚園と老人ホームが一緒になっている、又、交流のあるところがあったかと思います。老人ホームに入るほどお金ない、又一応家がある、必ず行かなきゃはしんどい。共働きしないと生活がきびしい。でも子供を学童に入れないとムリ。でも、また学童代が高い。うまくこのふたつの施設を合わせたものをつくれなかな。ボランティア又は低料金で通える、老人と対話することでやさしさ等（道徳を）まなべる。低料金で参加できるなら行きやすい、子供と話すことで認知症予防につながる。お金がある高齢者は払えばいいし、運営費は対象者へは税金を投入できるはず。高齢者もボランティア参加であれば生活保護をうけてる人でも参加しやすいと思う。知人の生活保護の高齢者が働けないから家にとじこもり認知症になりました。なりますよ！まだまだ書きたいコトたくさんあります。
- ・子ども・子育て支援制度は充実しているように思いますが、親を介護するのにもお金や精神的負担が大きいので、子どもを持つ親ばかりでなく、親を介護する世代（50～60代）に対しても支援してもらえる制度があると助かります。

- ・介護保険など、介護認定が必要になった場合、独り暮らしの人はどうなるのか分からない。事前に申請できるような取り組みを将来に向けてお願いしたい。一人暮らしの人に関してのデータベースを構築してほしい。
- ・気軽に利用できるように色々な工夫をお願いいたします。
- ・近所で高齢者の一人暮らしが増えています。介護保険で補えないサービスを市で提供してもらいたい。
- ・綾瀬市が高齢者に優しい市町村であって欲しいです
- ・定年を止めて下さい。働けるうちは働くような社会に。
- ・所得税をはらっているのに、市はしっかりめんどうをしろ！月3万以上はらっている！
- ・病院受診する時に他市まで行っているのですが、綾瀬で探すとなかなかない（藤沢に通っています）。70代両親を病院につれてゆくととき不便です。駅までのアクセスがもう少し簡単だといいのですが…。
- ・何かに参加するにしても、バスの本数が…。せめて1時間に1本位で市役所に行くコミュニティバスを走らせて欲しいです。不便で、結局海老名駅方面のバスに乗り、海老名で用事を済ませる事になってます。電車が通らない綾瀬市ですからこそ、よりバスを増やして頂きたい。高齢者の運転問題も有ることですし…。
- ・子供や孫の居ない人の対応など考えて頂きたいです

（２）将来への不安

- ・今は人生100年と言われているので、75才以上の方への敬老祝品は必要なのか？傘寿や米寿の節目でも良いのではないのでしょうか。自分の周りの方が何に困っているのか分かる手立てがあれば買い物、ゴミ出し、犬の散歩等手伝えることはあるのだが…。家の中に入ってとなるとハードルが高い。外から見て「買い物お願い」「ゴミ出し頼む」があれば出来ます。
- ・介助や介護なく生活はできるが、腕に軽いマヒがあり、働けるに至らない。障がい者にも該当せず中途半端。収入を得たいのに得られない。チアノーゼ（喘息）ありながら両親の看護を10年以上していた。若い人で苦しい人もいる（親のことで）。その辺も助けてあげてほしい。情報を周知など。40代くらいになると、このようなことは耳に入るようになってくるが、10代、20代、30代は知らずに辛い日々を送っていたので。
- ・今後、高齢者の医療保険の負担など、お金がないと生活していけない世の中になって行く。長生きしたいとも思わないが、子や孫に迷惑、負担をかけない生活がしたいと思うが、先立つ物がないと不安しかない。
- ・これからの年金や老後の支金が不安です（国民年金のため）
- ・65歳になってとても不安です。地域包括センターが相談にのってくれる事を知り、とても心強く思っています。今後、ひとりで生きていきたいと考えています。今すぐにでも相談に行きたいと思いますが、あまりにも綾瀬市の活動を知らなすぎると感じました。

(3) 情報入手・提供

- ・今現在、介護する側です。介護する側に対し役立つ情報等、積極的に提供していただければ幸いです。特に、急な病気等でとまどった経験があり、支援を充実していただきたいです。また、綾瀬市以外の市との連携についても検討していただきたく思います。
- ・福祉サービスについて、今後わかりやく広められたら良いと思う。
- ・市の広報だけではなく、もっと情報を発信すべきだと思います。対象年齢になる前に知っていればスムーズにサービスを受けられるし、その場になって（いざ必要という時に）あわてて調べたりするのはとても難しい事もあるだろうから。
- ・自分の親が対象となる年齢で市内にいるので、利用できるサービスなどの情報が届いているのかなど今回の項目を見て思いました。せっかく色々な利用できる物があっても、認知されていなかったらもったいないなと思いました。
- ・すべての情報がネットなどSNSで提示され、申し込みなどもそこからしか申し込めない、予約も入れられないのではなく、郵送、電話など昔ながらのやり方も残して欲しいと思います。私の両親は（市外ですが）いつも申し込みなどで苦戦しています。
- ・保健福祉サービスが地域の方々に見近に感じ、周知出来る様な広報システムがあれば良いと思います。
- ・手伝うことのできる支援。今後の情報など、もっと市役所に行かなくとも理解が深まるように何か検討してほしいです。
- ・知らない事が多すぎる。困った…
- ・今回の福祉サービスについて知らない事が沢山ありました。ネット社会になり、年齢とともにパソコンや携帯が使えなくなった時の為に、その都度の情報提供が必要かと思います。今後、高齢者が増えていくのに対して、安心して過ごせる有料ではない施設も必要なのではないでしょうか。
- ・関心を持って見聞きしていなかったせいか、知らなかったサービスが多いことを知りました。広報にもっと力を入れてもよいかと思います。自分が介護が必要になる頃、おそらくは一人暮らしになると思います。できることなら安心して老後を向えられる行政サービスを期待します。
- ・高齢者福祉について知らないことだらけであった。直近1月に実父を亡くしたが、一緒に住んでいてもデイサービスを利用していたこと以外、詳しい事を分かっていなかったことが悔やまれる。自分と妻の将来を考えるにつけ、つくづく子供（家族内）とのコミュニケーションが大切であることを思い知らされた。

(4) 日常生活・介護

- ・現在、市外で介護士をしております。施設業務になりますが、慢性的な人材不足です。働き手の若者がおりません。福祉、介護事業が安心、夢のある事業になるよう切に願っております。
- ・年齢や体調に不安を持つようになった際に興味を深く、さまざまな理解できる学びの機会を作りたい。
- ・高齢者（おじいちゃん、おばあちゃん）を大切にする、敬う文化を。
- ・50代と言う事もあり、あまりピンとこない状態ですが、携わっている方々の努力はそうとうなものと感じております。
- ・今の段階で不明、わからない質問が多く、アンケート回答に役立つところが？できるか申し訳ないと思う。私は人生100年と思ってます。元気で年をとっていきが今後の人生で大事だと思います。病気があれば生活を改善して、良くなる方向で自分自身家族の協力だと思う。病気のために歩けない、

動けないが1番の原因と思う。家族も病気まではかかわらないので…協力は必要です。

- ・41才男性です。経済的な面で働けるうちは働いていきたいです。
- ・今はまだ実感のない高齢者サービスですが、初めて色々地域にはサービス支援があることを知ることが出来ました。周りに迷惑をかけない様生活して行きたいですが、対象年齢になったら利用するのか…と改めて老後について考えさせられました。

(5) アンケート調査

- ・今回アンケートをもらって、色々な活動をしている事を知りました。まだ元気で生活しているので意見、要望はよく分からないですが、何年後かはお世話になると思っています。
- ・介護、高齢者福祉事業について具体的に考えた事がまだ無いため、アンケートの回答が役に立つかどうかと思っています。これからは、高齢者福祉にもっと興味をもってみようと思いました。もう少し年齢の高い方へのアンケートの方が意味があるのでは？とってしまいました。
- ・このアンケートに対して、まだ実感が無い。
- ・保健福祉サービスについて知らない項目ばかりで、どちらに○をつけようか悩みました。今後調べていきたいと思います。
- ・WEB上に情報あればQRコード化して、図書館あたりに掲示しておいて下さい。広報あやせにプリントして頂くのも支援する側に届きやすいと思います。
- ・40代前半ではまだまだ介護の実感がなく、今回のアンケートが意味のないものになっているのでは？とってしまう。年齢をもう少し考慮した方が今後につながると思います。
- ・少しずつでも今後は関心が持てるようにしたいです
- ・定年を迎える60歳までに、問27のサービスを理解、知る必要があると感じた。1～32の項目が簡単にわかる冊子がありますか？なければ作って下さい。「ネットで見て下さい」の回答はやめて下さい。冊子を作っていただきたい！
- ・対象年齢が40～では質問の意図が不明な点も多く、もう少し60才～対応として考えた方が良いと思います。大切な事かもしれませんが、実感の無い事には参考になる様なアンケートは回答できないと思います。
- ・綾瀬市の保健福祉サービスについて、内容がわからないものは、利用するかしないかも答えられないものもある。
- ・問27は知らない事が多いが、今は分らない。
- ・問27の空欄はまだわからない。もしくは、どのような内容かわからないため。
- ・問27の保健福祉サービスが多いのでびっくりしました。対象年齢になったらお手紙とかの通知が来るとたすかります。そういう方向でおねがいしたいです。

Ⅲ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

Ⅲ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

1 回答者の属性

(1) 年齢構成（男女別）

単位：上段（件）、下段（％）

	65歳～74歳			75歳以上							無回答	全 体
	65歳～69歳	70歳～74歳	計	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計		
男性	40 12.4	92 28.5	132 40.9	89 27.6	69 21.4	29 9.0	2 0.6	0 0.0	0 0.0	189 58.5	2 0.6	323 100.0
女性	71 18.9	103 27.5	174 46.4	108 28.8	63 16.8	27 7.2	2 0.5	0 0.0	0 0.0	200 53.3	1 0.3	375 100.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	6 66.7	9 100.0
全 体	111 15.7	195 27.6	306 43.3	197 27.9	134 19.0	57 8.1	4 0.6	0 0.0	0 0.0	392 55.4	9 1.3	707 100.0

注：四捨五入の関係で、内訳の構成比の合計は、計の欄と一致しないことがある（以下同じ）。

(2) 認定状況（男女別）

単位：上段（件）、下段（％）

	要支援者・事業対象者				一般高齢者	無回答	全 体
	要支援1	要支援2	事業対象者	計			
男	5 1.5	7 2.2	1 0.3	13 4.0	309 95.7	1 0.3	323 100.0
女	11 2.9	11 2.9	1 0.3	23 6.1	347 92.5	5 1.3	375 100.0
無回答	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	8 88.9	0 0.0	9 100.0
全 体	17 2.4	18 2.5	2 0.3	37 5.2	664 93.9	6 0.8	707 100.0

(3) 年齢構成（認定状況別）

単位：上段（件）、下段（％）

	65歳～74歳			75歳以上							無回答	全 体
	65歳～69歳	70歳～74歳	計	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計		
要支援1	1 5.9	1 5.9	2 11.8	4 23.5	6 35.3	5 29.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 88.2	0 0.0	17 100.0
要支援2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 33.3	8 44.4	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 94.4	1 5.6	18 100.0
事業対象者	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
一般高齢者	108 16.3	191 28.8	299 45.0	186 28.0	120 18.1	47 7.1	4 0.6	0 0.0	0 0.0	357 53.8	8 1.2	664 100.0
無回答	2 33.3	3 50.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	6 100.0
全 体	111 15.7	195 27.6	306 43.3	197 27.9	134 19.0	57 8.1	4 0.6	0 0.0	0 0.0	392 55.4	9 1.3	707 100.0

(4) 日常生活圏域（男女別）

単位：上段（件）、下段（％）

	北部綾北 圏域	北部寺尾 圏域	西部圏域	中・南部 圏域	無回答	全 体
男性	58 18.0	81 25.1	75 23.2	108 33.4	1 0.3	323 100.0
女性	40 10.7	100 26.7	89 23.7	141 37.6	5 1.3	375 100.0
無回答	3 33.3	1 11.1	2 22.2	3 33.3	0 0.0	9 100.0
全 体	101 14.3	182 25.7	166 23.5	252 35.6	6 0.8	707 100.0

(5) 年齢構成（日常生活圏域別）

単位：上段（件）、下段（％）

	65歳～74歳			75歳以上							無回答	全 体
	65歳～69歳	70歳～74歳	計	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計		
北部綾北圏域	23 22.8	31 30.7	54 53.5	26 25.7	12 11.9	6 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	44 43.6	3 3.0	101 100.0
北部寺尾圏域	26 14.3	52 28.6	78 42.9	41 22.5	46 25.3	14 7.7	2 1.1	0 0.0	0 0.0	103 56.6	1 0.5	182 100.0
西部圏域	19 11.4	43 25.9	62 37.3	52 31.3	32 19.3	16 9.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	101 60.8	3 1.8	166 100.0
中・南部圏域	41 16.3	66 26.2	107 42.5	78 31.0	44 17.5	20 7.9	1 0.4	0 0.0	0 0.0	143 56.7	2 0.8	252 100.0
無回答	2 33.3	3 50.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	6 100.0
全 体	111 15.7	195 27.6	306 43.3	197 27.9	134 19.0	57 8.1	4 0.6	0 0.0	0 0.0	392 55.4	9 1.3	707 100.0

(6) 住宅の所有関係（男女別）

単位：上段（件）、下段（％）

	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答	全 体
男性	244 75.5	24 7.4	6 1.9	2 0.6	12 3.7	2 0.6	2 0.6	31 9.6	323 100.0
女性	284 75.7	19 5.1	6 1.6	5 1.3	13 3.5	3 0.8	3 0.8	42 11.2	375 100.0
無回答	6 66.7	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 100.0
全 体	534 75.5	45 6.4	13 1.8	7 1.0	25 3.5	5 0.7	5 0.7	73 10.3	707 100.0

(7) 世帯構成（男女別）

単位：上段（件）、下段（％）

	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答	全 体
男性	50 15.5	142 44.0	18 5.6	48 14.9	56 17.3	9 2.8	323 100.0
女性	65 17.3	142 37.9	6 1.6	79 21.1	67 17.9	16 4.3	375 100.0
無回答	4 44.4	0 0.0	1 11.1	1 11.1	3 33.3	0 0.0	9 100.0
全 体	119 16.8	284 40.2	25 3.5	128 18.1	126 17.8	25 3.5	707 100.0

(8) 年齢構成（世帯構成別）

単位：上段（件）、下段（％）

	65歳～74歳			75歳以上							無回答	全 体
	65歳～69歳	70歳～74歳	計	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	計		
1人暮らし	19 16.0	36 30.3	55 46.2	25 21.0	23 19.3	13 10.9	1 0.8	0 0.0	0 0.0	62 52.1	2 1.7	119 100.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	28 9.9	73 25.7	101 35.6	104 36.6	60 21.1	18 6.3	1 0.4	0 0.0	0 0.0	183 64.4	0 0.0	284 100.0
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	10 40.0	7 28.0	17 68.0	3 12.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 28.0	1 4.0	25 100.0
息子・娘との2世帯	22 17.2	38 29.7	60 46.9	34 26.6	19 14.8	14 10.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	67 52.3	1 0.8	128 100.0
その他	31 24.6	37 29.4	68 54.0	24 19.0	20 15.9	7 5.6	2 1.6	0 0.0	0 0.0	53 42.1	5 4.0	126 100.0
無回答	1 4.0	4 16.0	5 20.0	7 28.0	8 32.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 80.0	0 0.0	25 100.0
全 体	111 15.7	195 27.6	306 43.3	197 27.9	134 19.0	57 8.1	4 0.6	0 0.0	0 0.0	392 55.4	9 1.3	707 100.0

2 家族や生活状況

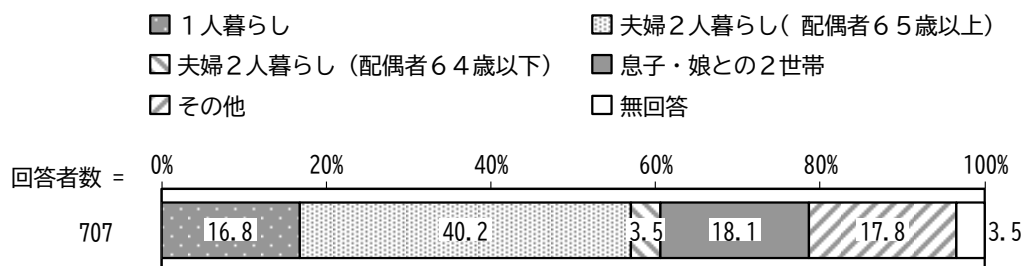
(1) 家族構成

問1 家族構成をお教えてください。(〇はひとつ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が40.2%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が18.1%、「1人暮らし」の割合が16.8%となっています。

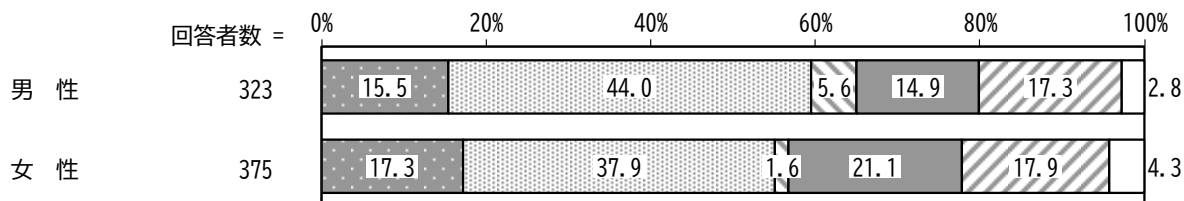
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「息子・娘との2世帯」が高くなる傾向がみられます。

圏域別にみると、北部綾北圏域で「1人暮らし」が19.5%と他圏域と比べ、やや高くなっています。



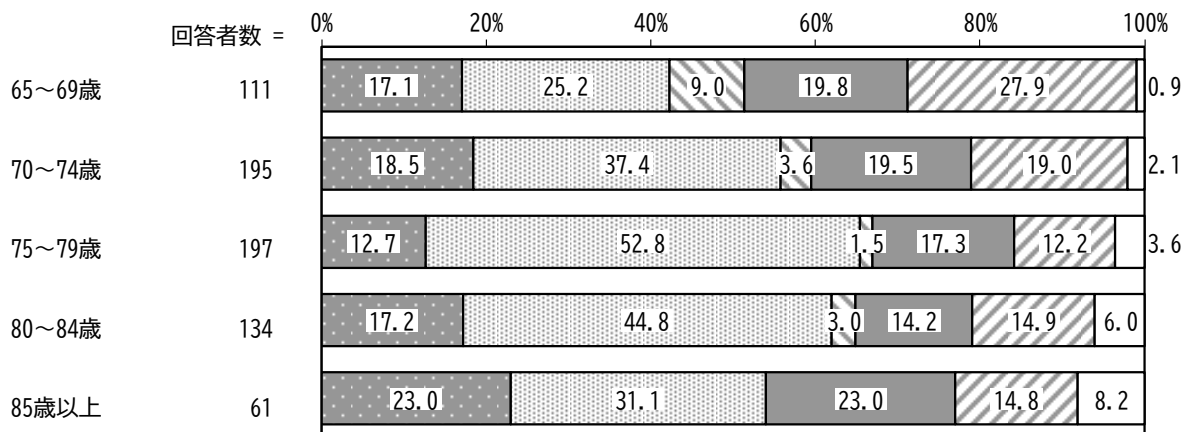
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

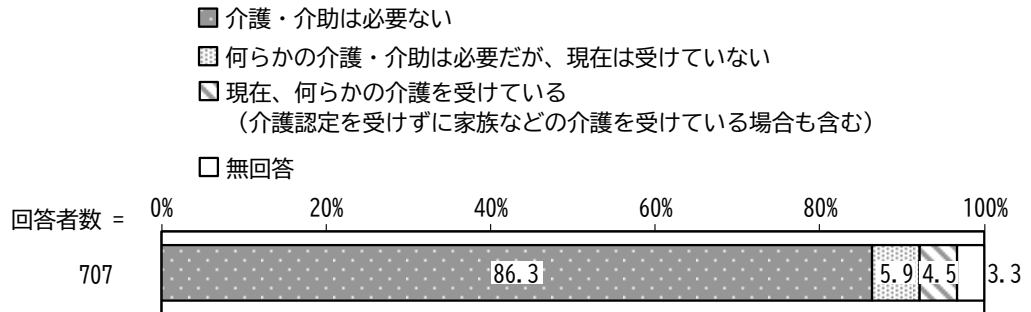
年齢別にみると、75歳～79歳で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が、85歳以上で「息子・娘との2世帯」「1人暮らし」の割合が高くなっています。



(2) 介護・介助の必要性

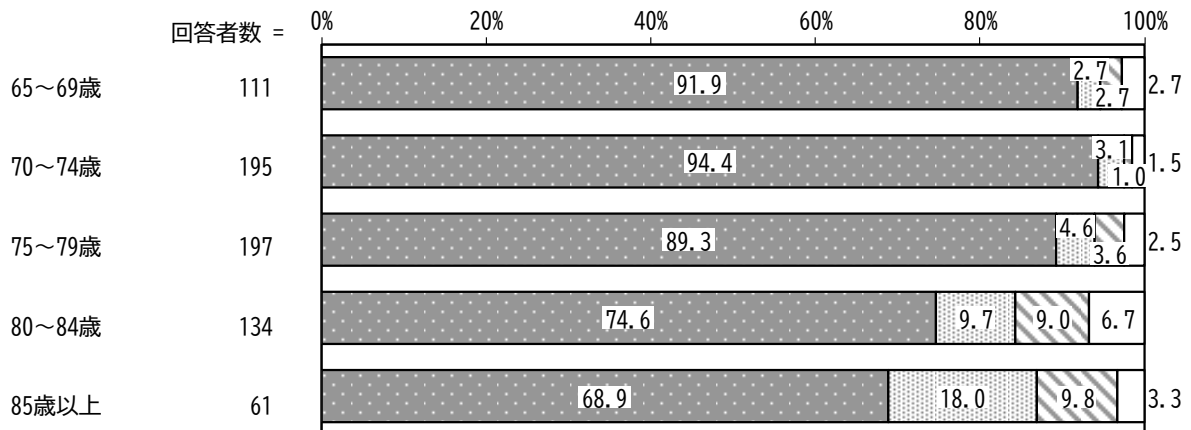
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

「介護・介助は必要ない」の割合が86.3%と最も高くなっています。



【年齢別】

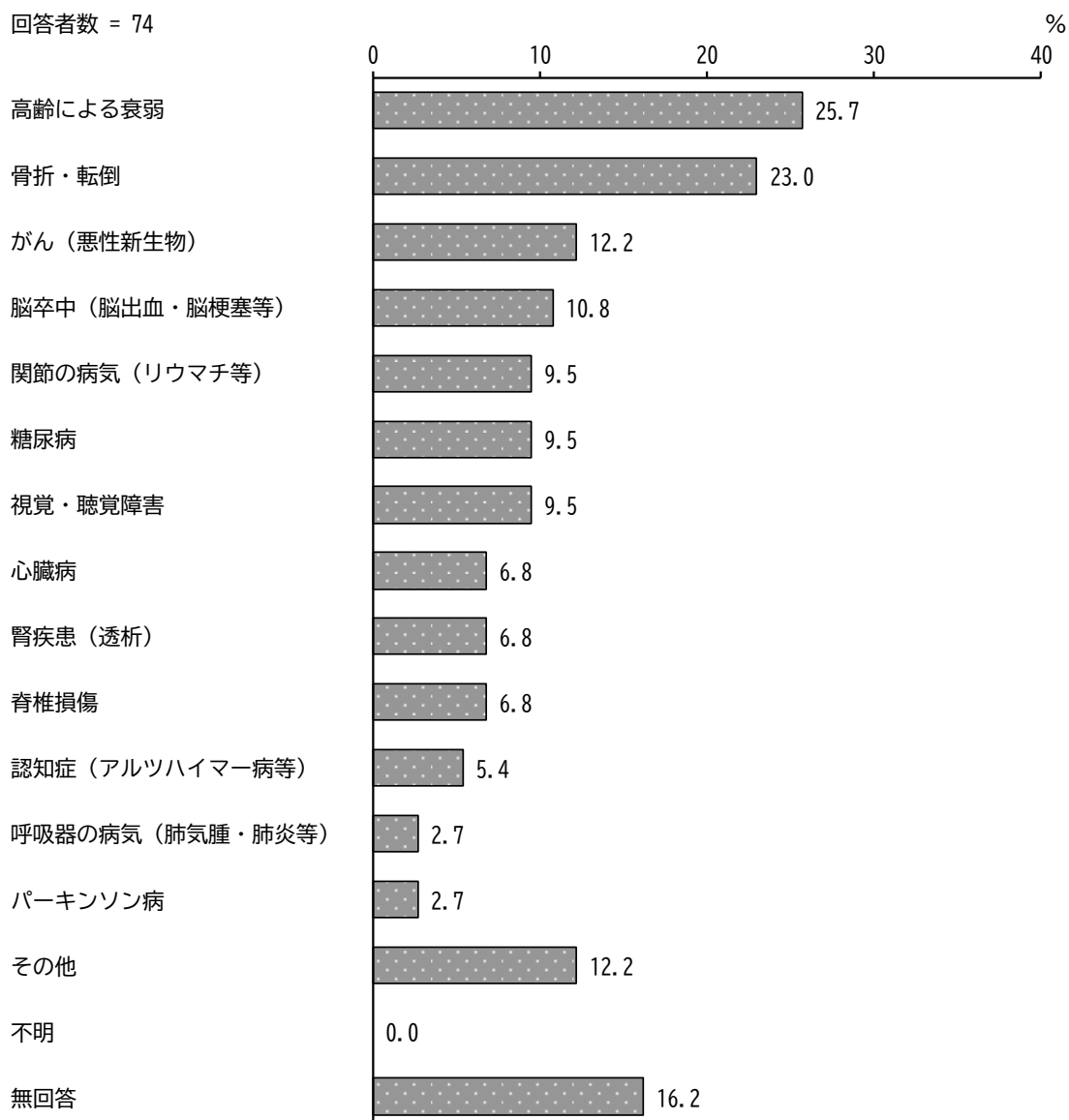
年齢別にみると、年齢が低くなるほど「介護・介助は必要ない」の割合が低くなる傾向がみられます。また、80歳以上で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。



問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方におたずねします

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

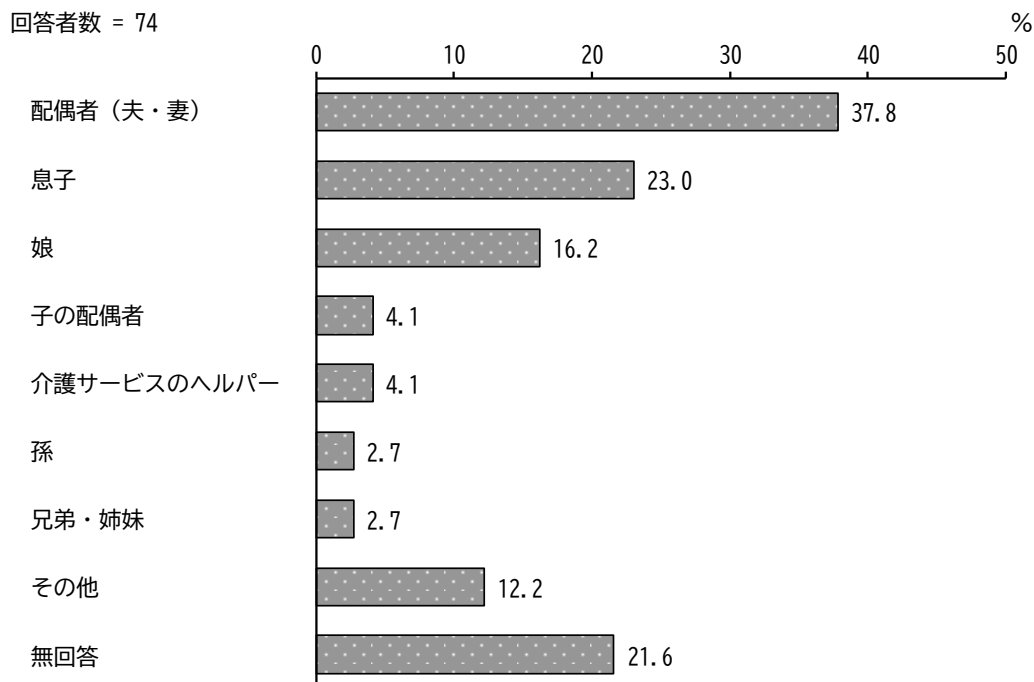
「高齢による衰弱」の割合が25.7%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が23.0%、「がん（悪性新生物）」の割合が12.2%となっています。



問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方におたずねします

問2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

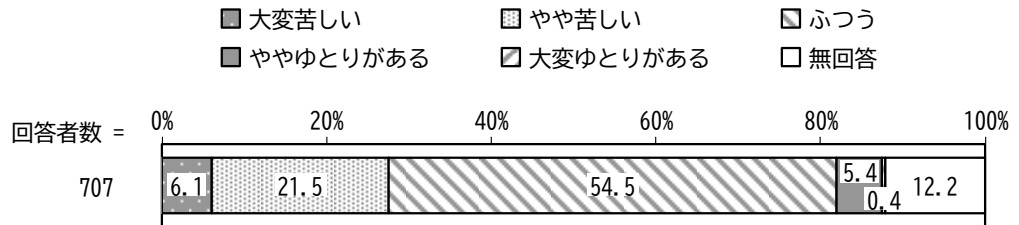
「配偶者（夫・妻）」の割合が37.8%と最も高く、次いで「息子」の割合が23.0%、「娘」の割合が16.2%となっています。



(3) 暮らしの状況

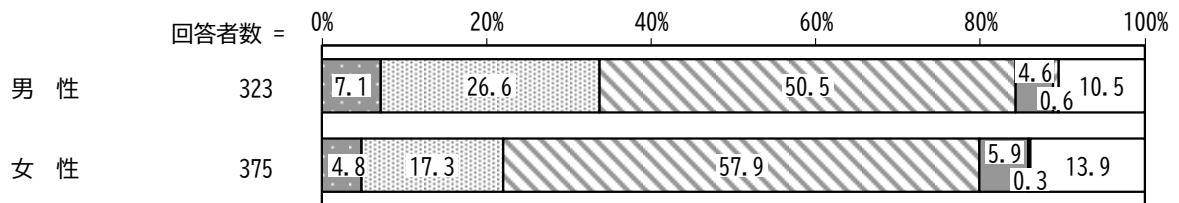
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が27.6%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”の割合が5.8%となっています。



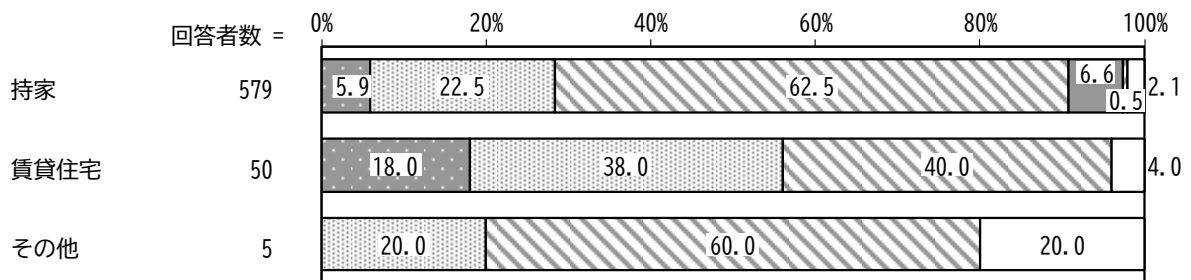
【性別】

性別にみると、男で「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が高くなっています。



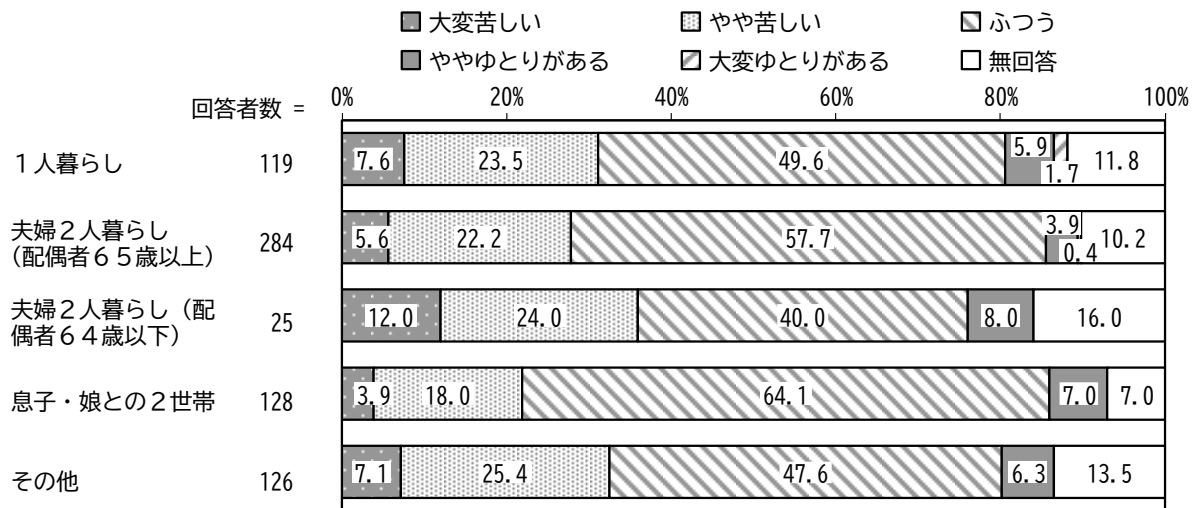
【住宅の所有関係別】

住宅の所有関係別にみると、賃貸住宅で「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

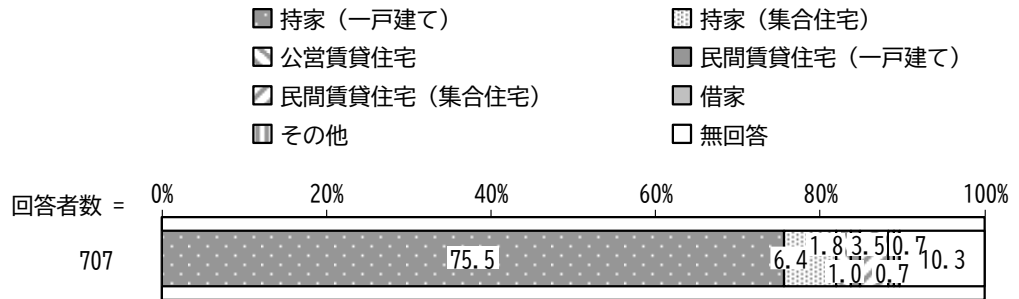
世帯構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）世帯で「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が高くなっています。



(4) 住まい

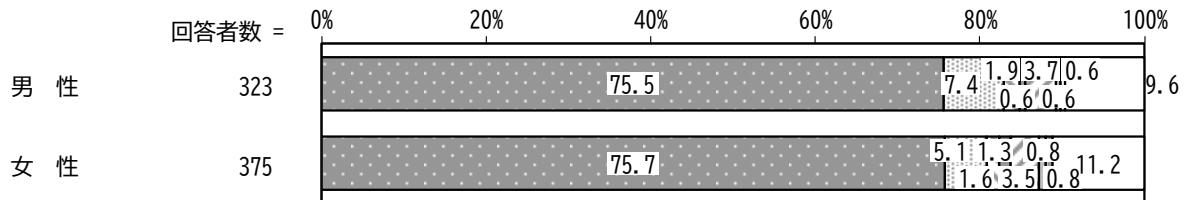
問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇はひとつ)

「持家（一戸建て）」の割合が75.5%と最も高くなっています。



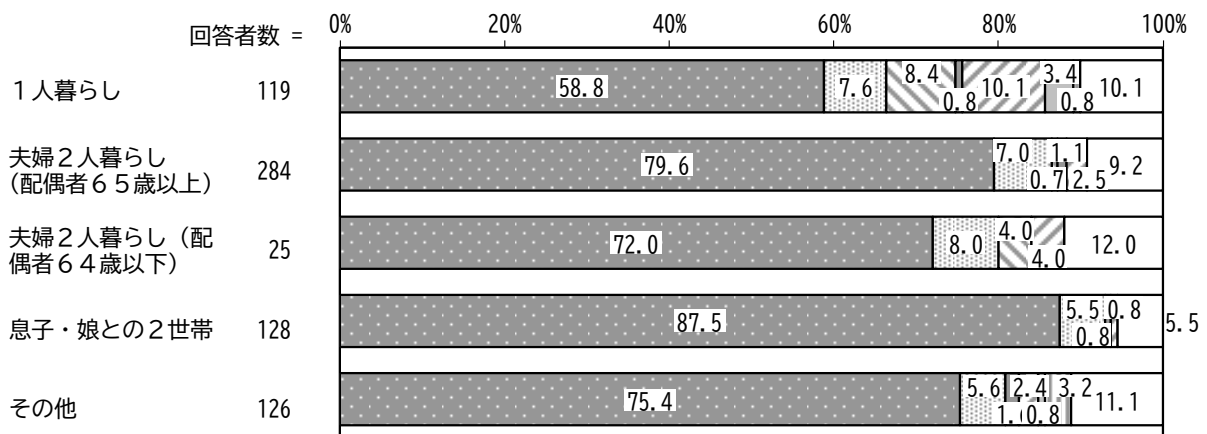
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【世帯構成別】

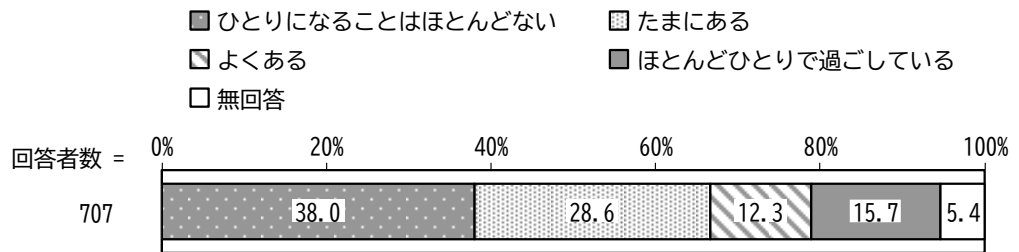
世帯構成別にみると、息子・娘との2世帯で「持家（一戸建て）」の割合が高くなっています。



(5) 家にひとりであることの有無

問5 あなたは、日中、家にひとりであることがどのくらいありますか。(○はひとつ)

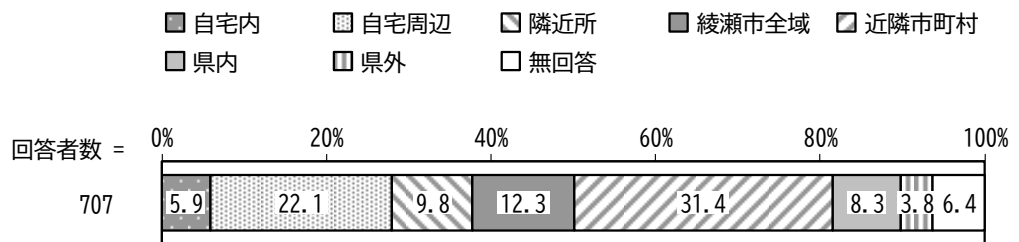
「ひとりになることはほとんどない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が28.6%、「ほとんどひとりで過ごしている」の割合が15.7%となっています。



(6) 行動範囲

問6 あなたは普段の生活でどのくらいの範囲を行動していますか。(○はひとつ)

「近隣市町村」の割合が31.4%と最も高く、次いで「自宅周辺」の割合が22.1%、「綾瀬市全域」の割合が12.3%となっています。

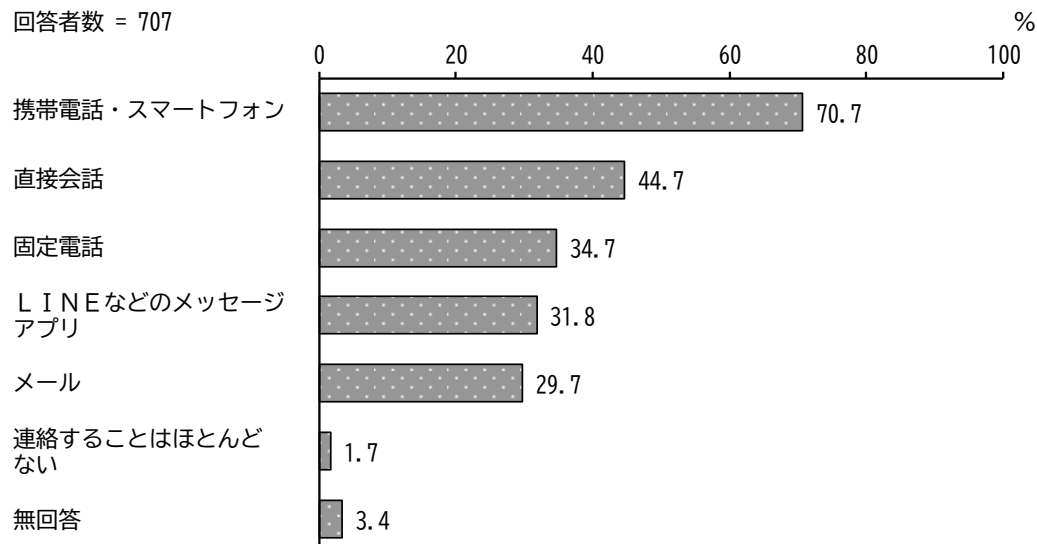


(7) よく使う連絡手段

問7 あなたが普段よく使う連絡手段はなんですか。(いくつでも)

「携帯電話・スマートフォン」の割合が70.7%と最も高く、次いで「直接会話」の割合が44.7%、「固定電話」の割合が34.7%となっています。

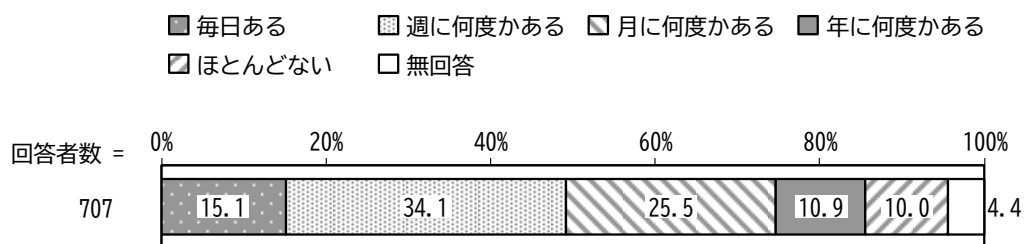
回答者数 = 707



(8) 友人・知人との連絡頻度

問8 友人・知人と、電話での会話（携帯、スマホ含む）をする頻度はどれくらいですか。(〇はひとつ)

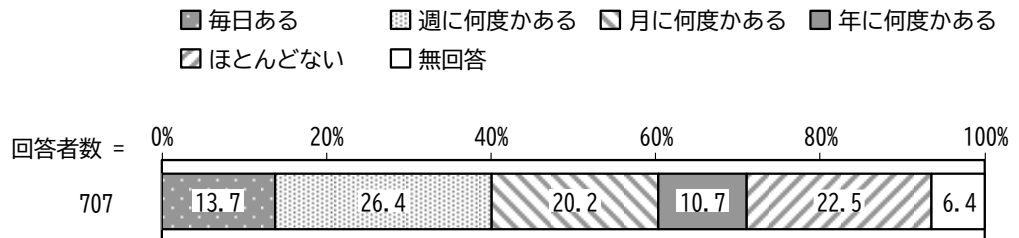
「週に何度かある」の割合が34.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が25.5%、「毎日ある」の割合が15.1%となっています。



(9) 友人・知人との交流頻度

問9 友人・知人と、メール、LINEなどで交流をする頻度はどれくらいですか。
(○はひとつ)

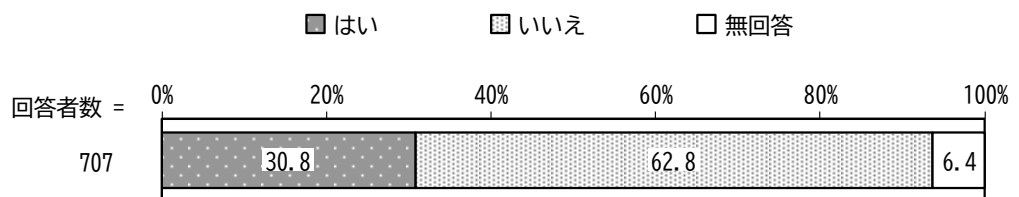
「週に何度かある」の割合が26.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が22.5%、「月に何度かある」の割合が20.2%となっています。



(10) スマホ教室・スマホ相談会の認知度

問14 綾瀬市が実施しているスマホ教室・スマホ相談会を知っていますか。
(○はひとつ)

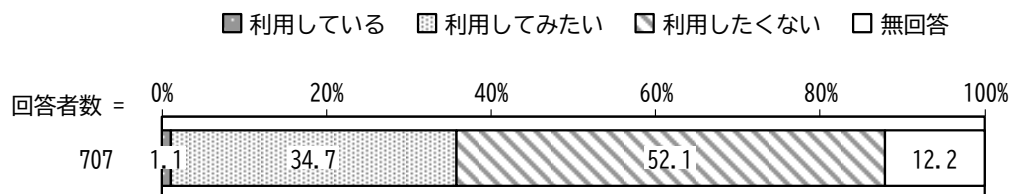
「はい」の割合が30.8%、「いいえ」の割合が62.8%となっています。



(11) スマホ教室・スマホ相談会の利用状況

問15 綾瀬市が実施しているスマホ教室・スマホ相談会の利用状況を教えてください。
(○はひとつ)

「利用したくない」の割合が52.1%と最も高く、次いで「利用してみたい」の割合が34.7%となっています。



3 運動

(1) 運動機能

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

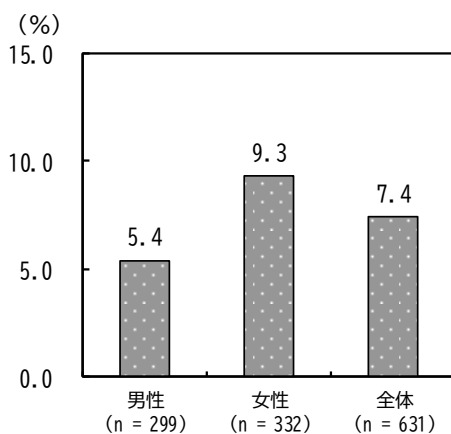
問番号	設問	該当する選択肢
問 16	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問 17	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問 18	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問 19	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問 20	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

イ 評価結果

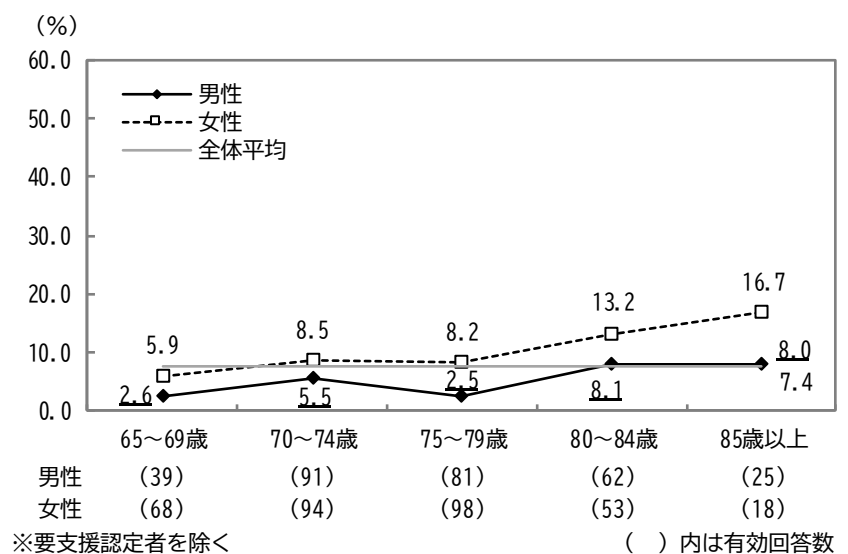
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 631 人のうち、7.4% (男性 5.4%、女性 9.3%) が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では16.7%と75~79歳に比べ8.5ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上では8.0%と75~79歳に比べ5.5ポイント上昇しています。したがって、男性、女性ともに75歳以降で運動器におけるリスクが顕在化し、特に女性でリスクが高くなっています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

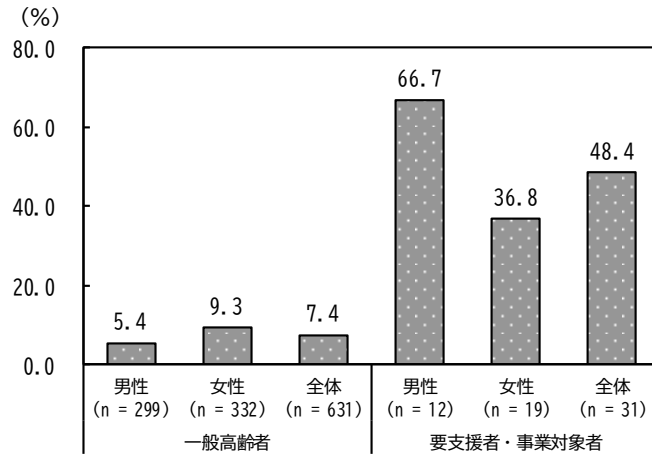


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が7.4%に対して、要支援者・事業対象者では48.4%となっており、55.8ポイント高くなっています。

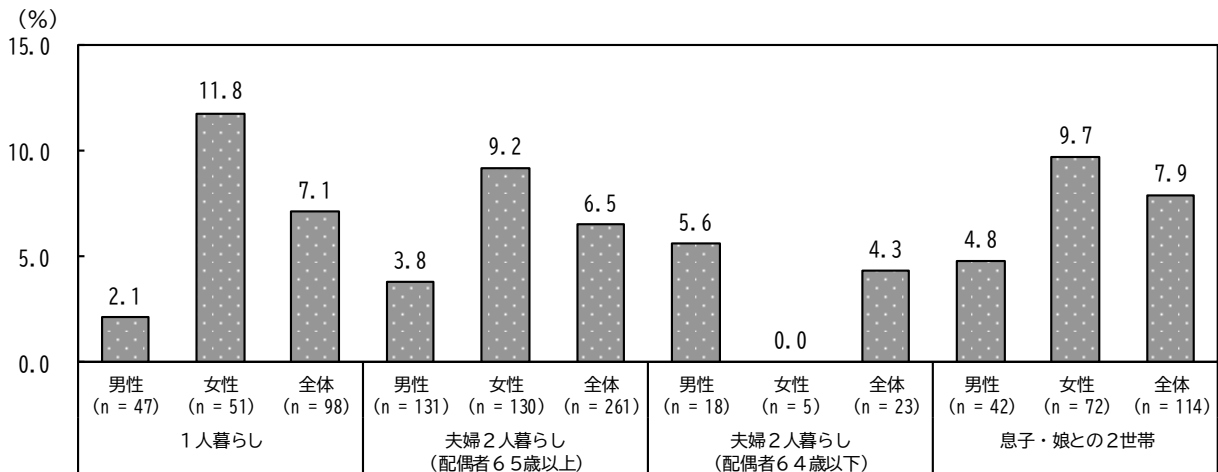
世帯構成別にみると、該当者割合は息子・娘との2世帯が7.9%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は中・南部圏域が9.4%と最も高くなっています。

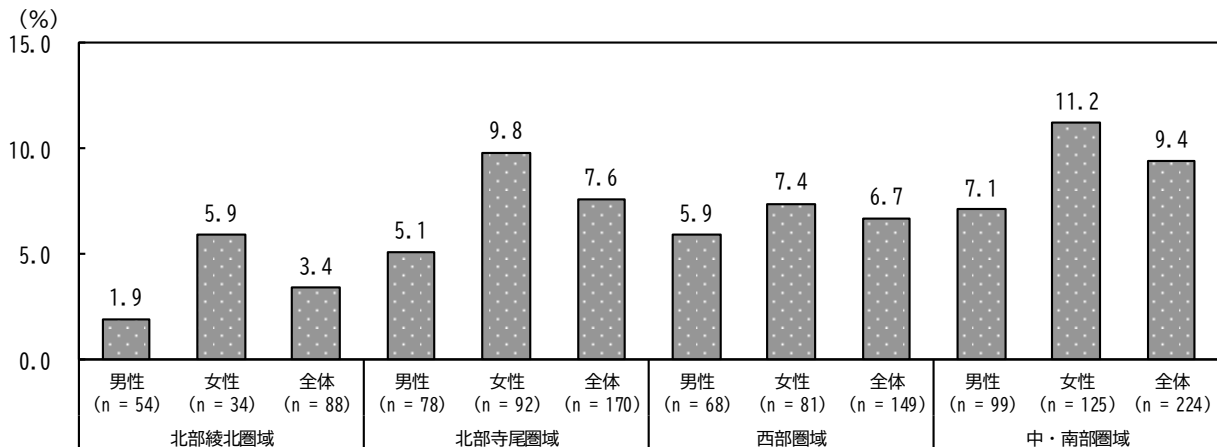
【認定状況別】



【世帯構成別】



【日常生活圏域別】

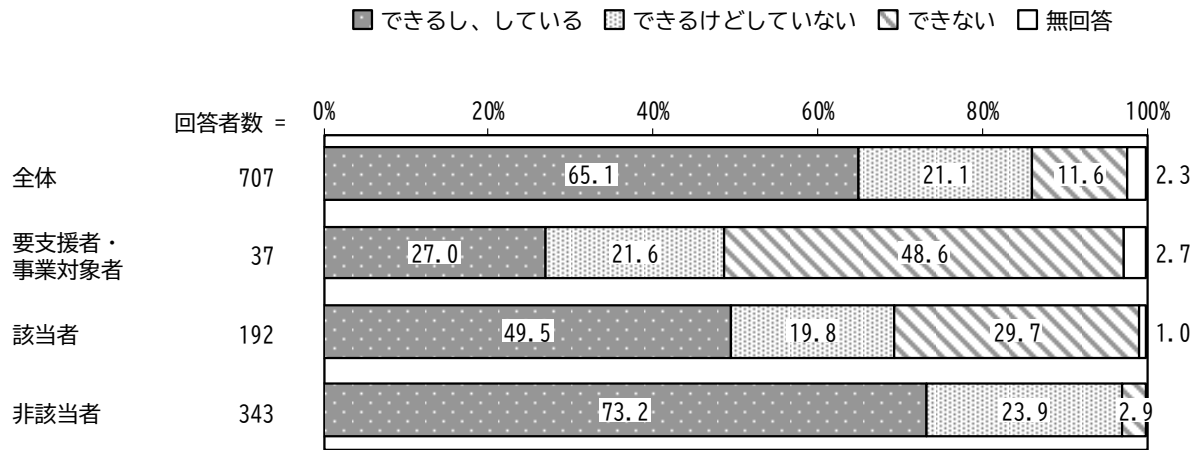


ウ 回答結果

問 16 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

「できるし、している」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 21.1%、「できない」の割合が 11.6%となっています。

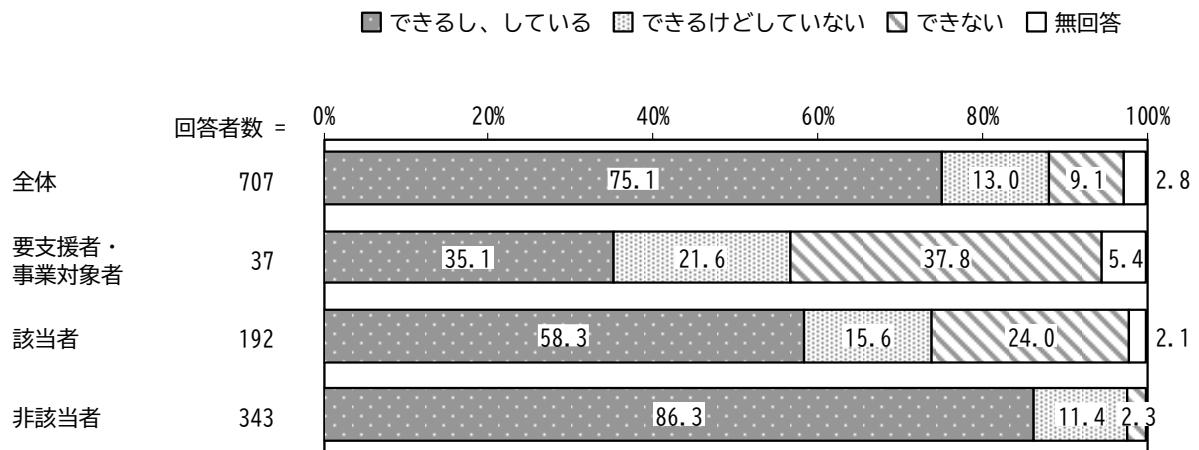
該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「できない」の割合が、該当者で「できない」の割合が、非該当者で「できるし、している」の割合が高くなっています。



問 17 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

「できるし、している」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 13.0%となっています。

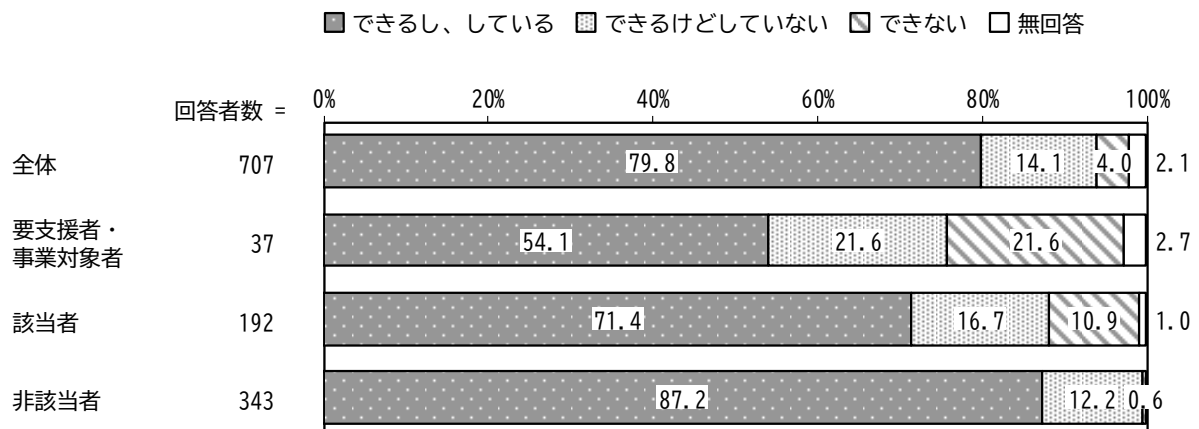
該当者別にみると、他に比べ、非該当者で「できるし、している」の割合が、要支援者・事業対象者で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



問 18 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

「できるし、している」の割合が 79.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が 14.1%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「できるけどしていない」の割合が、非該当者で「できるし、している」の割合が高くなっています。



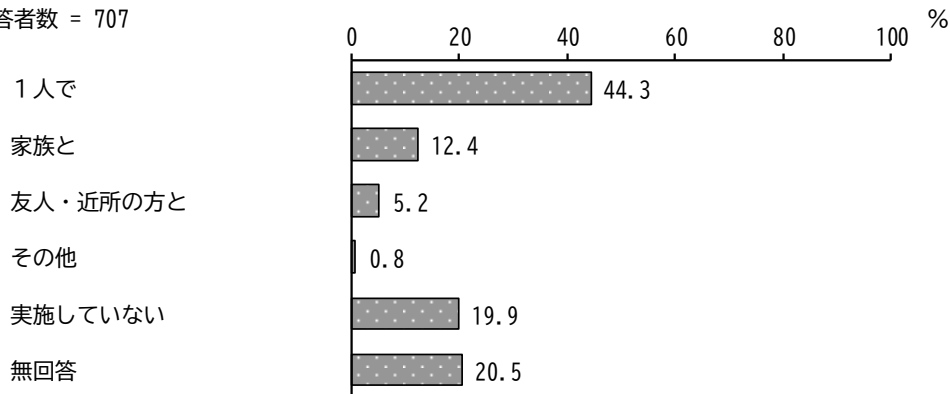
工 関連設問

問 67 あなたは最近どのような運動をしていますか。また、どなたと実施しましたか。

① ウォーキング

「1人で」の割合が44.3%と最も高く、次いで「実施していない」の割合が19.9%、「家族と」の割合が12.4%となっています。

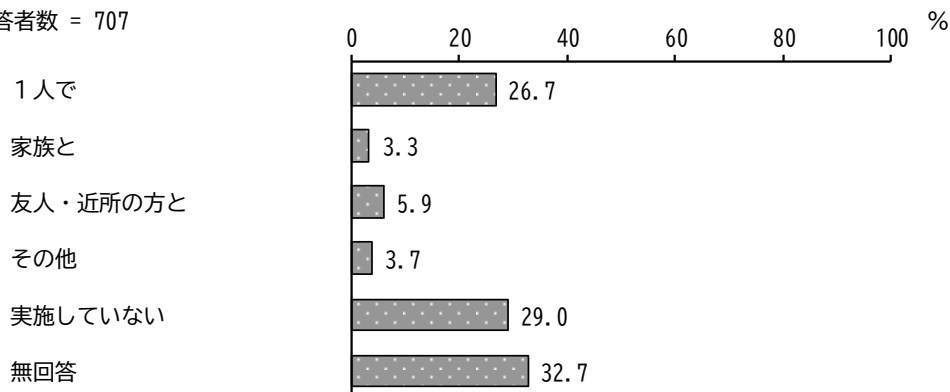
回答者数 = 707



② 体操

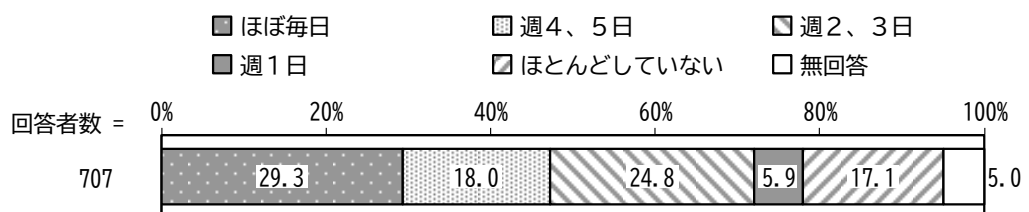
「実施していない」の割合が29.0%と最も高く、次いで「1人で」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 707



問 68 あなたが1週間の中で運動（散歩・体操などを含む）をする頻度はどれくらいですか。（○はひとつ）

「ほぼ毎日」の割合が29.3%と最も高く、次いで「週2、3日」の割合が24.8%、「週4、5日」の割合が18.0%となっています。



(2) 転倒

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

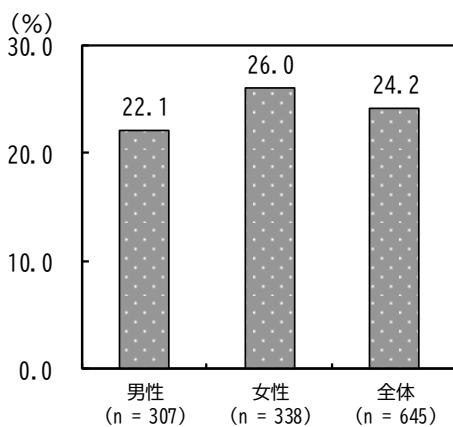
問番号	設問	該当する選択肢
問 19	過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある

イ 評価結果

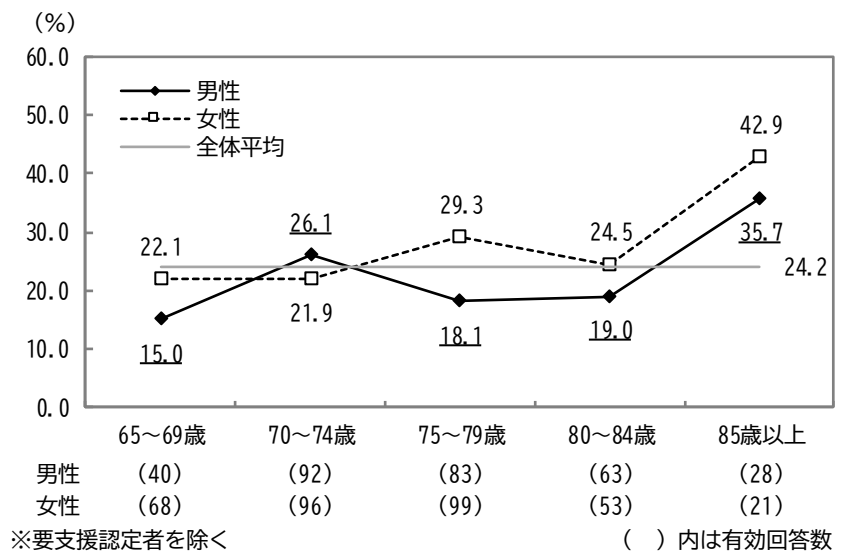
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 645 人のうち、24.2% (男性 22.1%、女性 26.0%) が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74 歳を除き、男性に比べ転倒リスクが高くなっており、75 歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。一方、男性では、85 歳以上で 35.7%と 75～79 歳に比べ 17.6 ポイント上昇しています。したがって女性では、転倒によるリスクは、75 歳以上で全体平均より高くなっており、男性に比べ 10 歳程度若い段階から全体平均を上回っています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

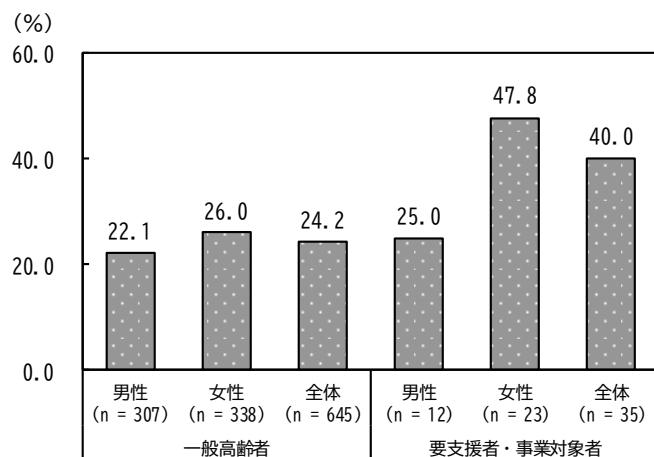


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が 24.2%に対して、要支援者・事業対象者では 40.0%となっており、15.8 ポイント高くなっています。

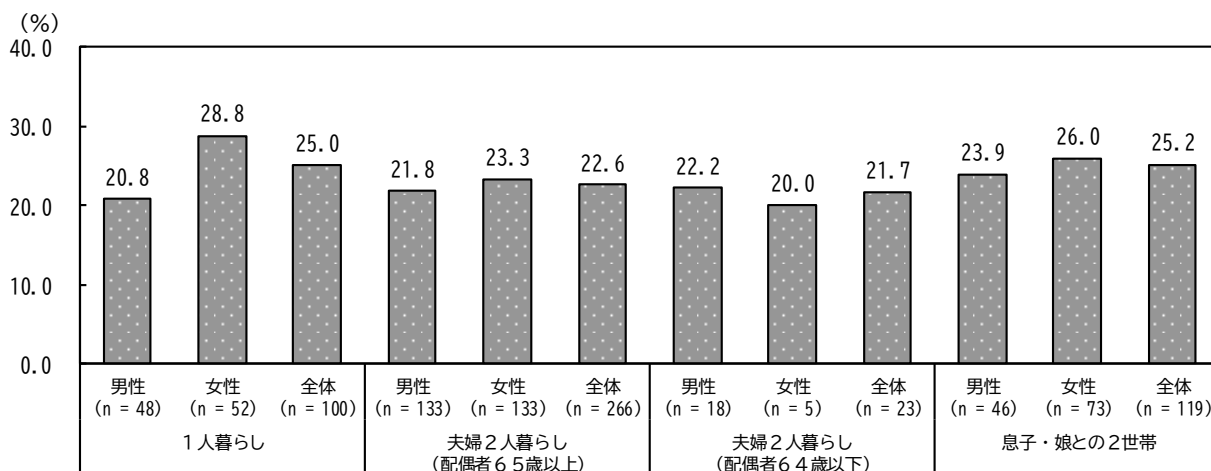
世帯構成別にみると、該当者割合は息子・娘との2世帯が 25.2%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は北部寺尾圏域が 29.3%と最も高くなっています。

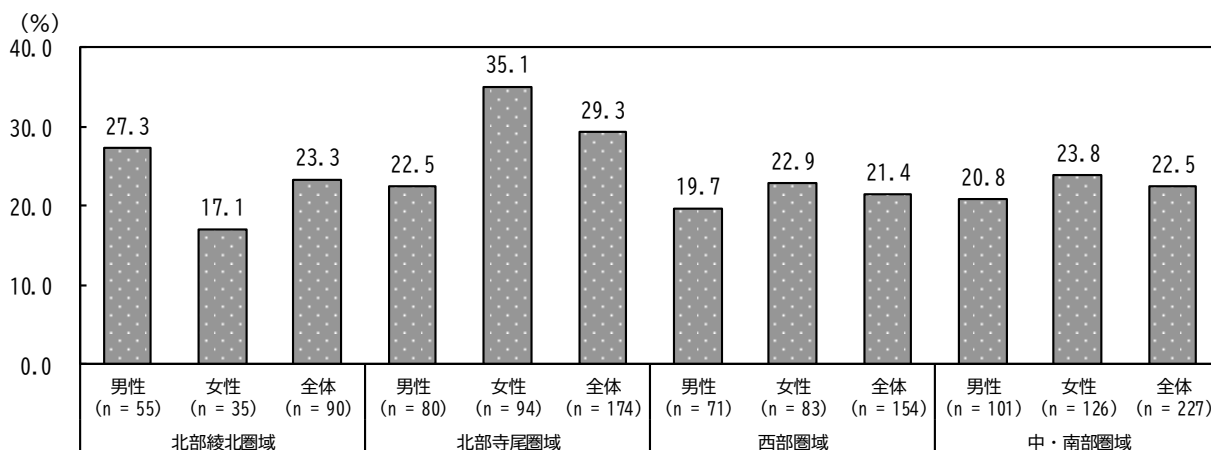
【認定状況別】



【世帯構成別】



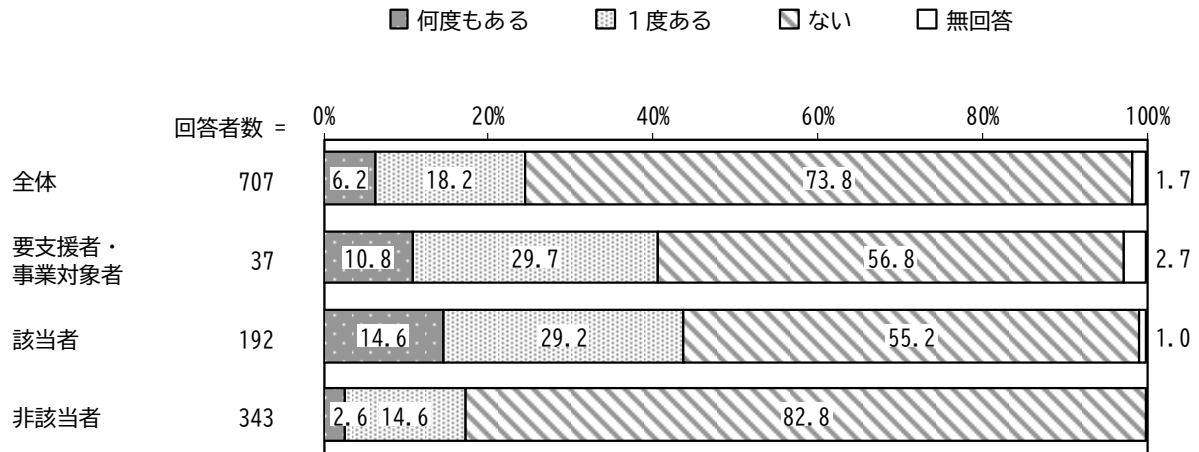
【日常生活圏域別】



ウ 回答結果

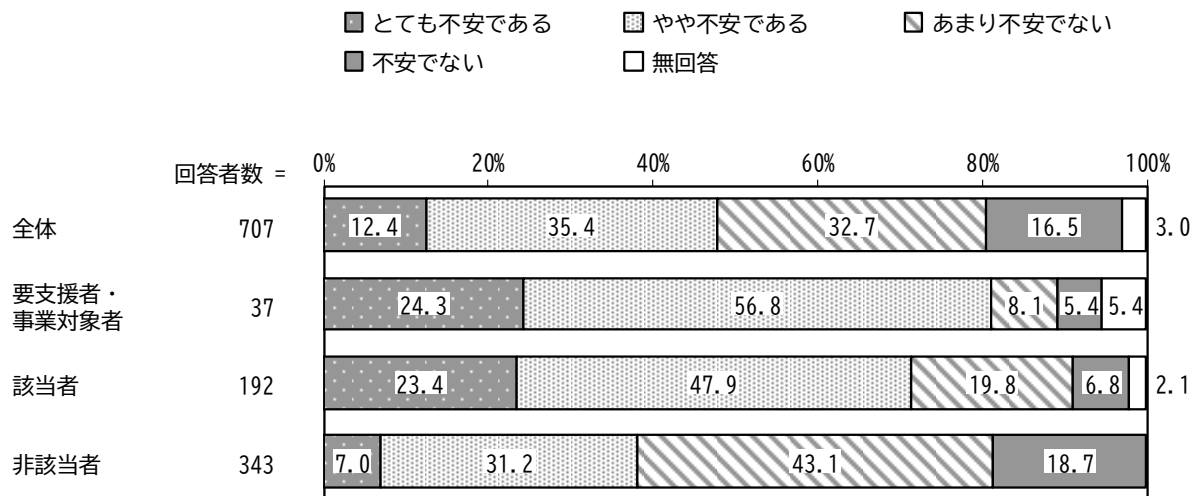
問 19 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

「ない」の割合が73.8%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が18.2%となっています。
 該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「1度ある」の割合が、該当者で「1度ある」の割合が、非該当者で「ない」の割合が高くなっています。



問 20 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

「やや不安である」の割合が35.4%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が32.7%、「不安でない」の割合が16.5%となっています。
 該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者と該当者で「とても不安である」「やや不安である」の割合が高くなっています。



(3) 閉じこもりについて

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 21	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

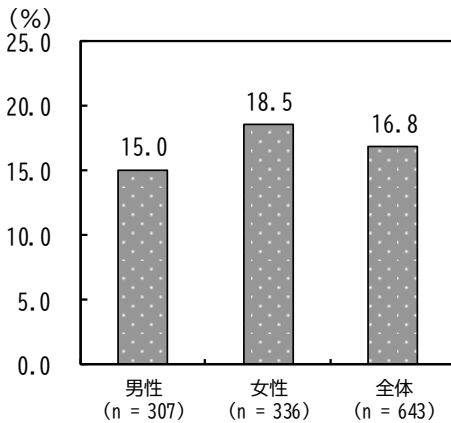
イ 評価結果

【リスク該当状況】

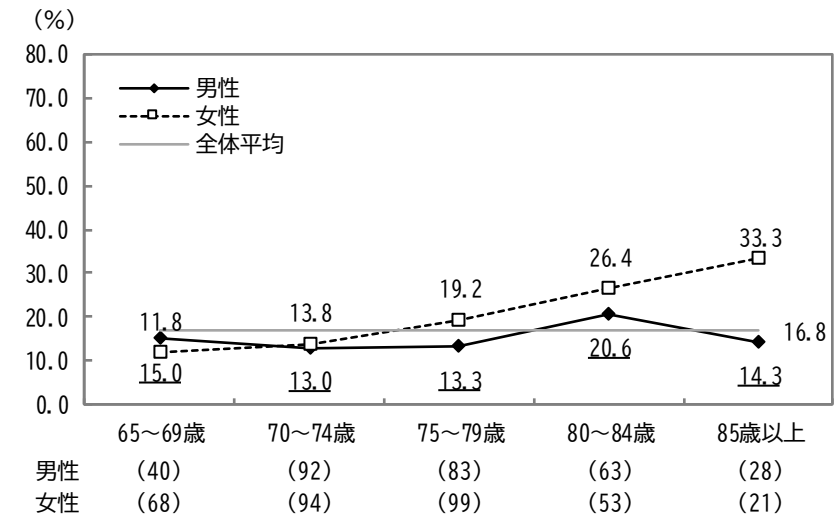
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 643 人のうち、16.8% (男性 15.0%、女性 18.5%) が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で 33.3%と、75～79歳に比べ 14.1ポイント上昇しています。また、65～69歳を除き、男性に比べて女性で割合が高く、85歳以上で 19.0ポイントの差となっています。男性では、80～84歳を除くと、大きな差はみられませんが、80～84歳で 20.6%と最も割合が高くなっています。

【該当者割合】

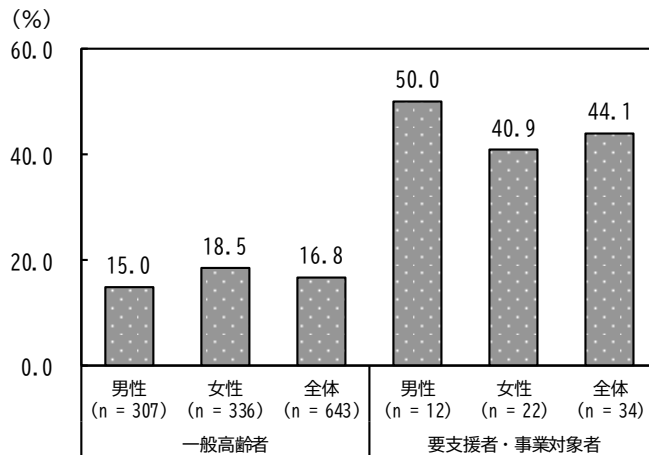


【性別・年齢階級別】

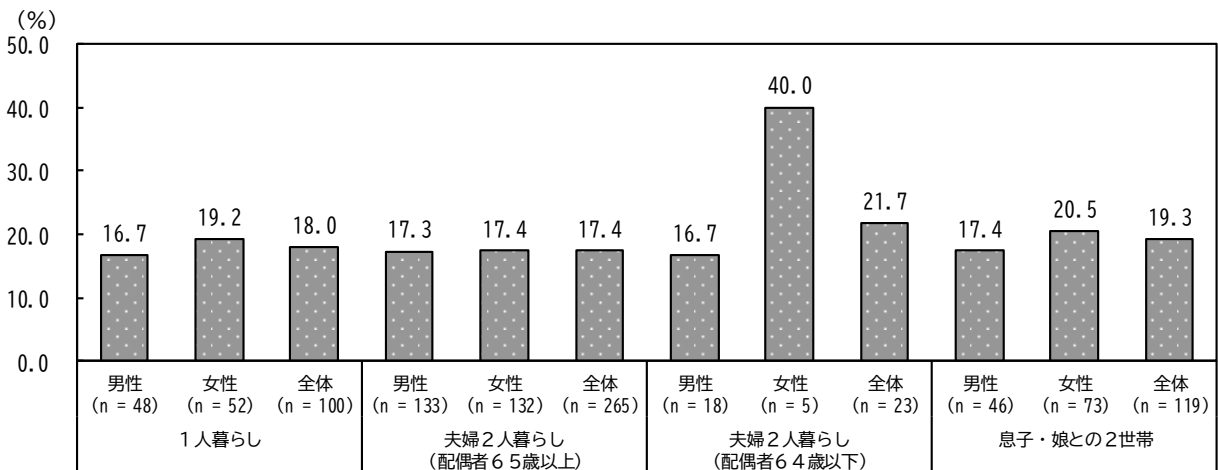


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が16.8%に対して、要支援者・事業対象者では44.1%となっており、27.3ポイント高くなっています。世帯構成別にみると、該当者割合は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が21.7%と最も高くなっています。圏域別にみると、該当者割合は北部寺尾圏域が19.0%と最も高くなっています。

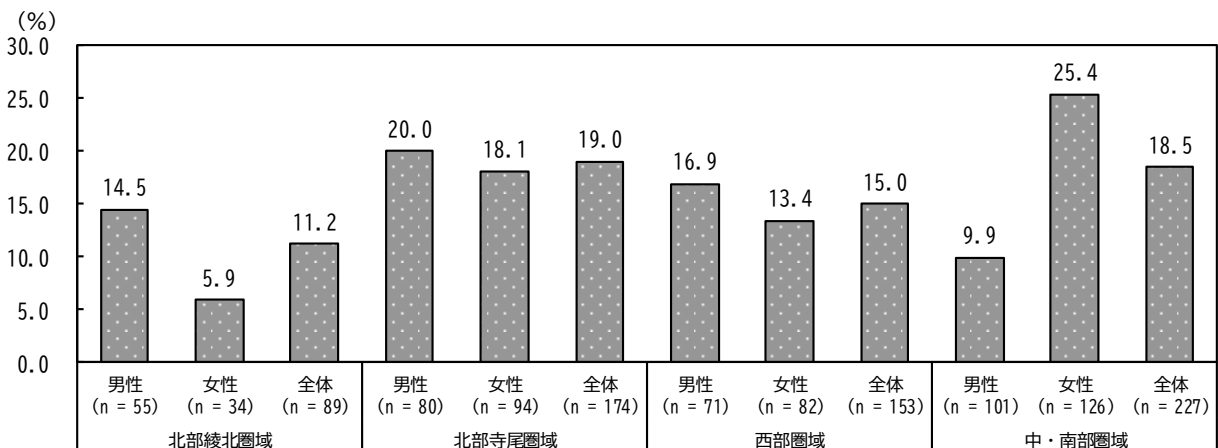
【認定状況別】



【世帯構成別】



【日常生活圏域別】

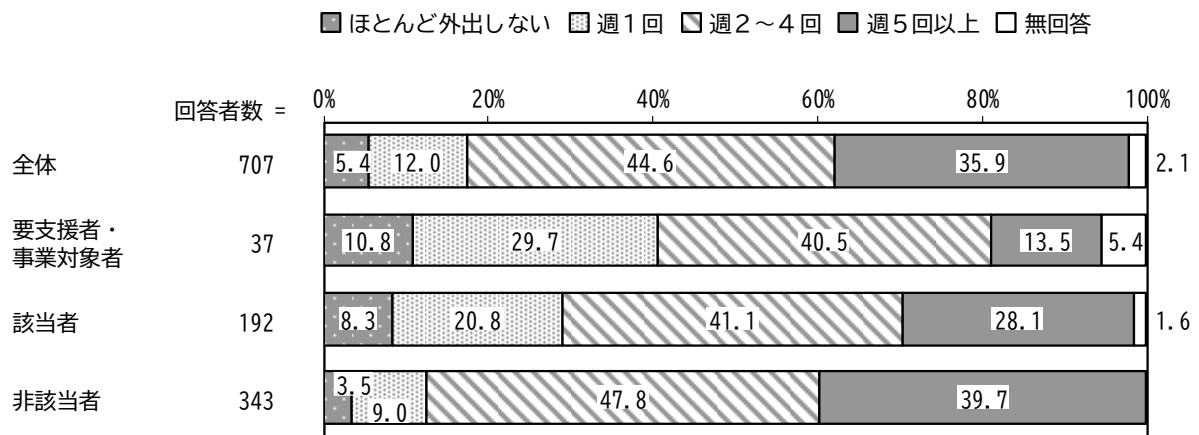


ウ 回答結果

問 21 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

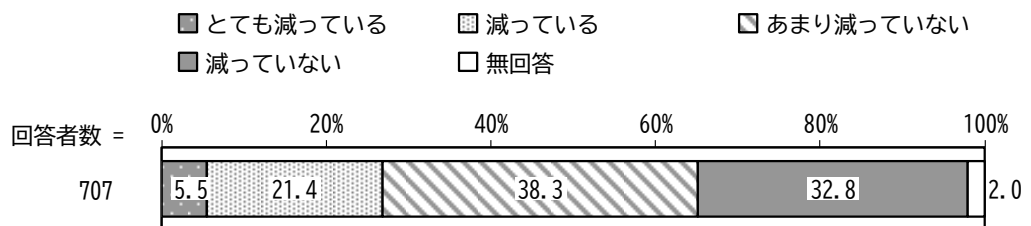
「週2～4回」の割合が44.6%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が35.9%、「週1回」の割合が12.0%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「週1回」の割合が、該当者で「週1回」の割合が高くなっています。



問 22 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

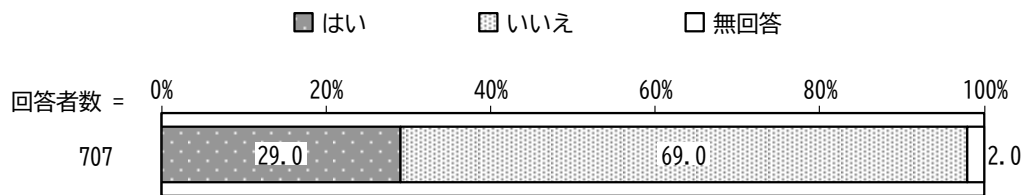
「あまり減っていない」の割合が38.3%と最も高く、次いで「減っていない」の割合が32.8%、「減っている」の割合が21.4%となっています。



工 関連設問

問 23 外出を控えていますか。(○はひとつ)

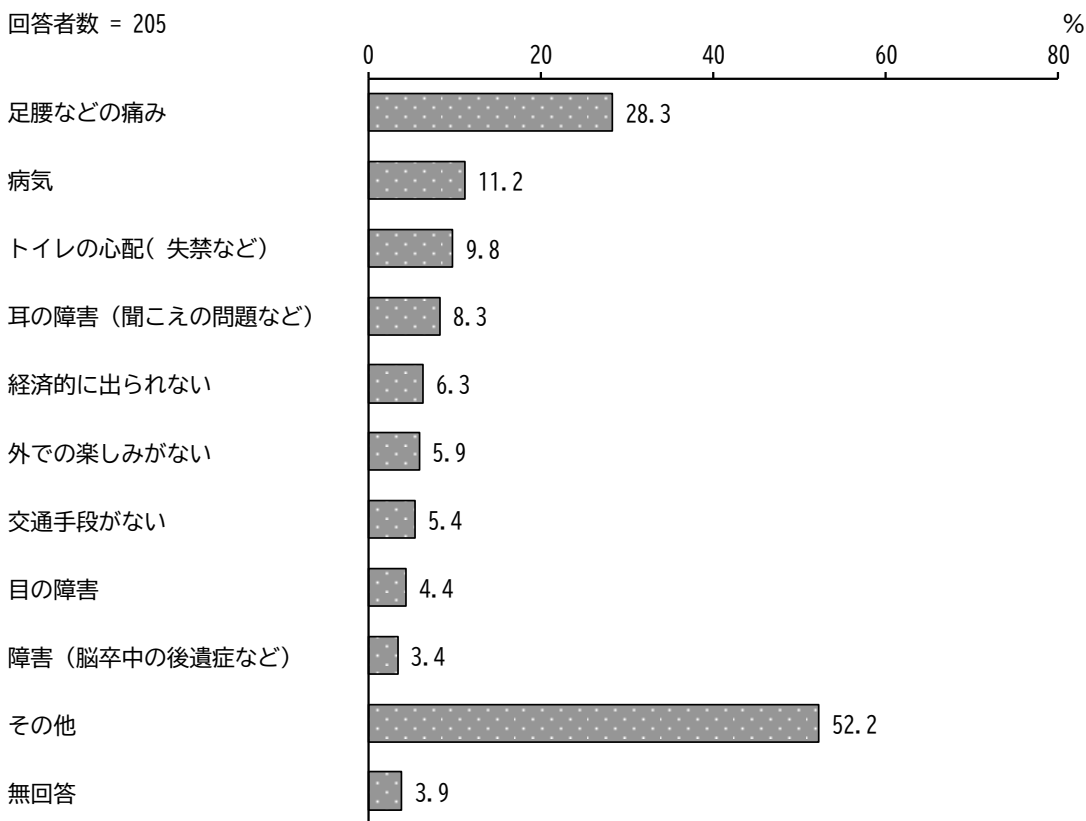
「はい」の割合が29.0%、「いいえ」の割合が69.0%となっています。



問 23 で「はい」とお答えの方におたずねします

問 23-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

「その他」の割合が52.2%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」の割合が28.3%となっています。



【その他の意見】

コロナのため(94件)
 約束事や用事がない
 散歩、買い物に行くぐらい
 あまり好きではない

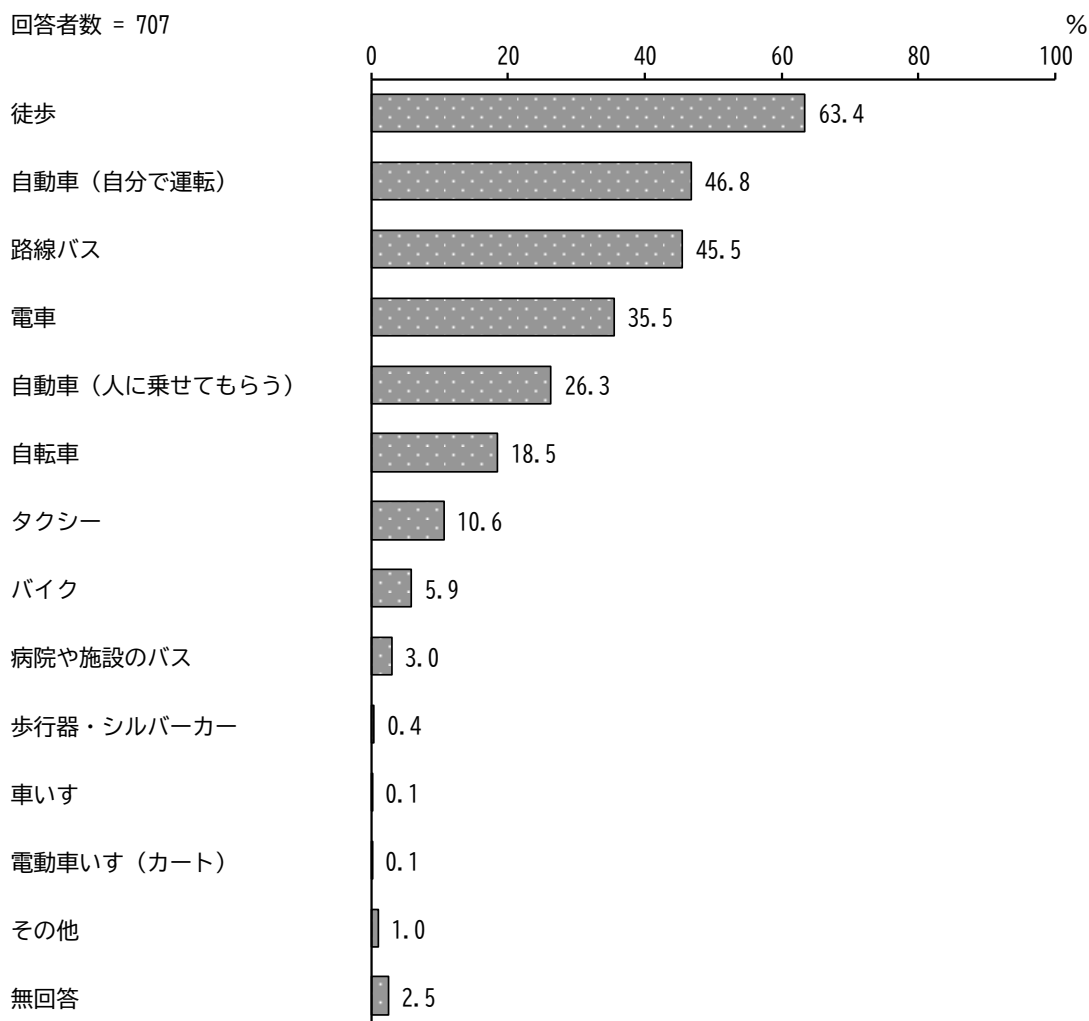
障こうそく
 自宅での仕事が増えた
 主人の介護など
 下半身のしびれ

歩行困難
 家事がいそがしい
 必要の方のみ

問 24 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

「徒歩」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が 46.8%、「路線バス」の割合が 45.5%となっています。

回答者数 = 707



4 栄養・口腔

(1) 栄養状態

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

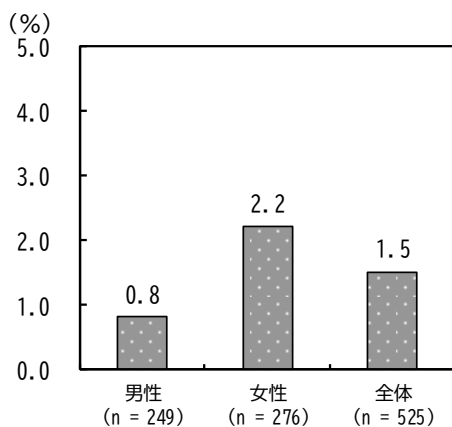
問番号	設問	該当する選択肢
問 25	身長・体重をご記入ください。	BMI 18.5 未満
問 32	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

イ 評価結果

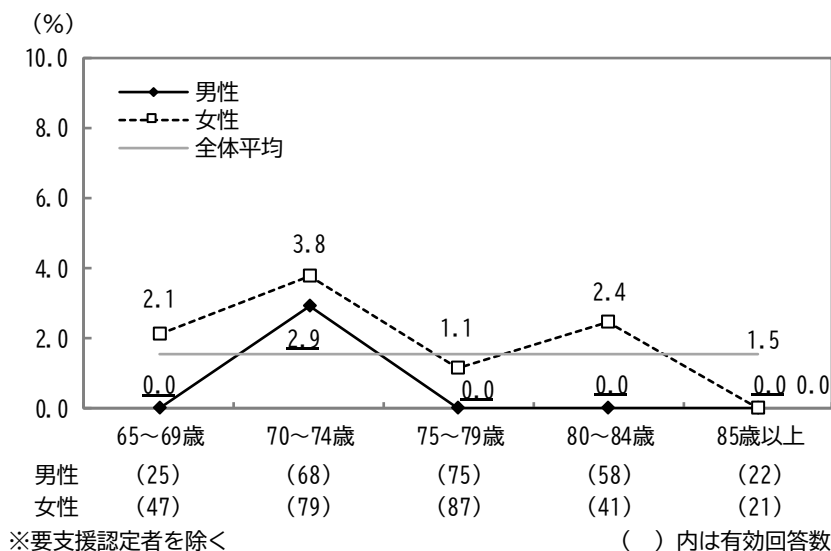
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 525 人のうち、1.5%（男性 0.8%、女性 2.2%）が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

性別・年齢階級別にみると、男性と女性を比べると 80～84 歳で 2.4 ポイントと大きな差はありません。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

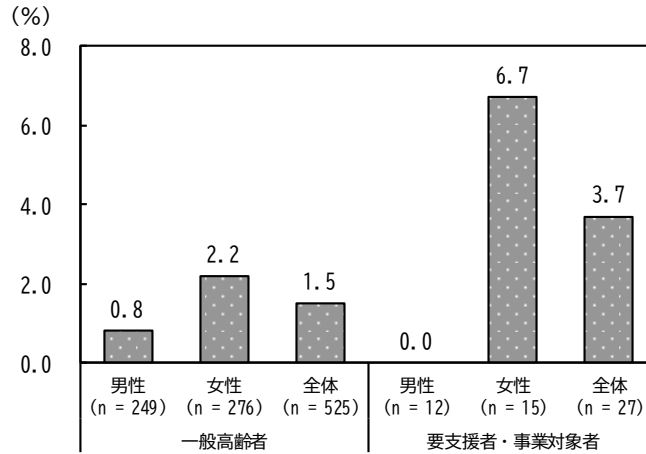


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が1.5%に対して、要支援者・事業対象者では3.7%となっており、2.2ポイント高くなっています。

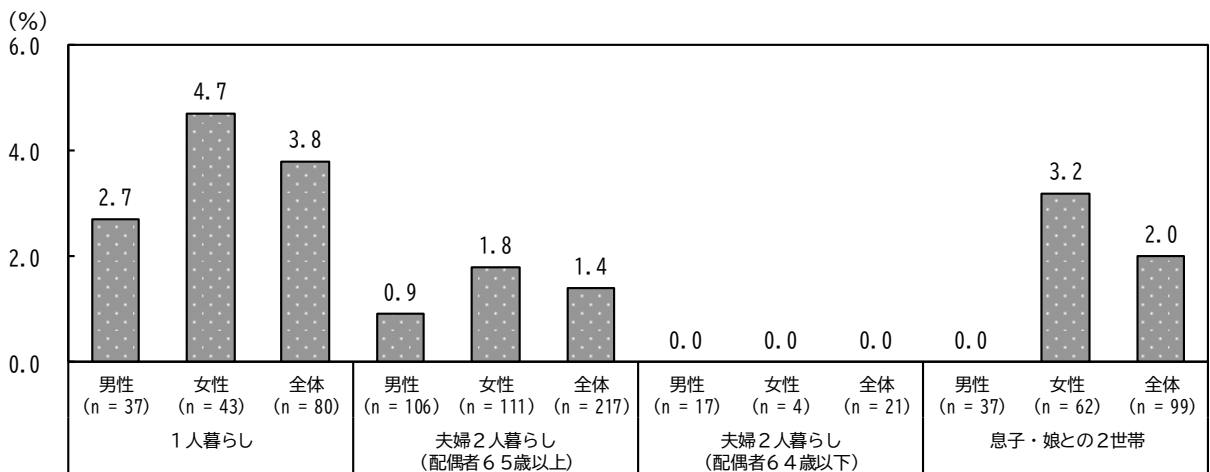
世帯構成別にみると、該当者割合は1人暮らしが3.8%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は北部綾北圏域が4.2%と最も高くなっています。

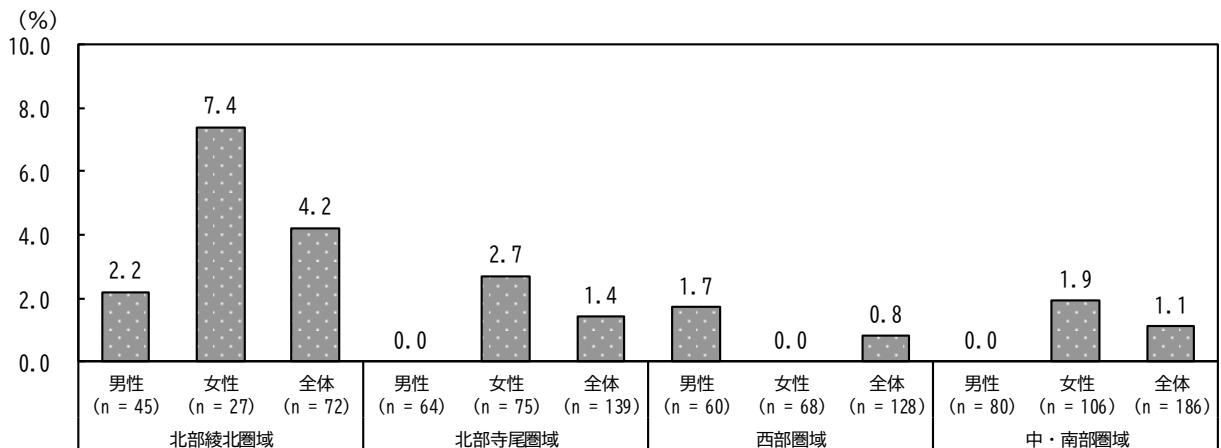
【認定状況別】



【世帯構成別】



【日常生活圏域別】



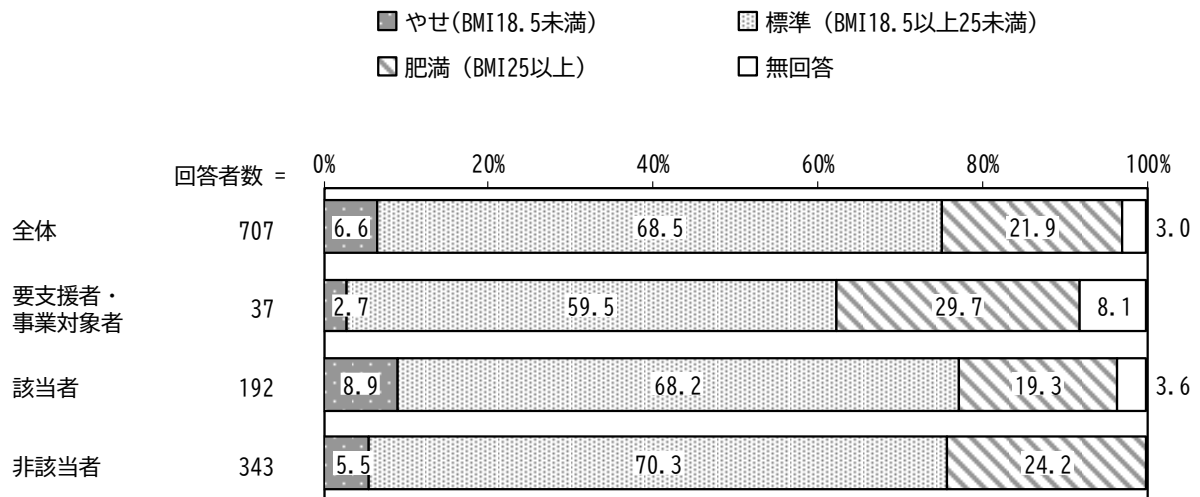
ウ 回答結果

問 25 身長・体重

BMI (BMI = 体重(kg) / 身長(m) / 身長(m))

「標準」の割合が68.5%と最も高く、次いで「肥満」の割合が21.9%となっています。

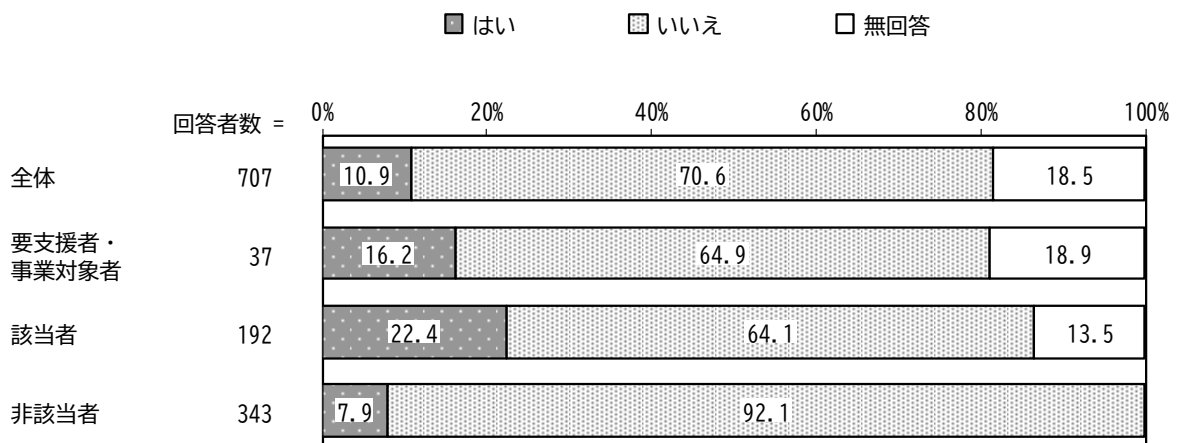
該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「肥満」の割合が高く、非該当者で「標準」の割合が高くなっています。一方、要支援者・事業対象者で「標準」の割合が低くなっています。また、非該当者と比べ、該当者で「やせ」の割合が高くなっています。



問 32 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○はひとつ)

「はい」の割合が10.9%、「いいえ」の割合が70.6%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、非該当者で「いいえ」の割合が、該当者で「はい」の割合が、要支援者・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



(2) 口腔機能

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

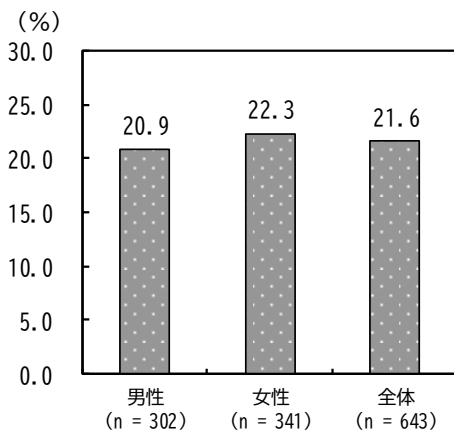
問番号	設問	該当する選択肢
問 26	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 27	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 28	口の渇きが気になりますか。	1. はい

イ 評価結果

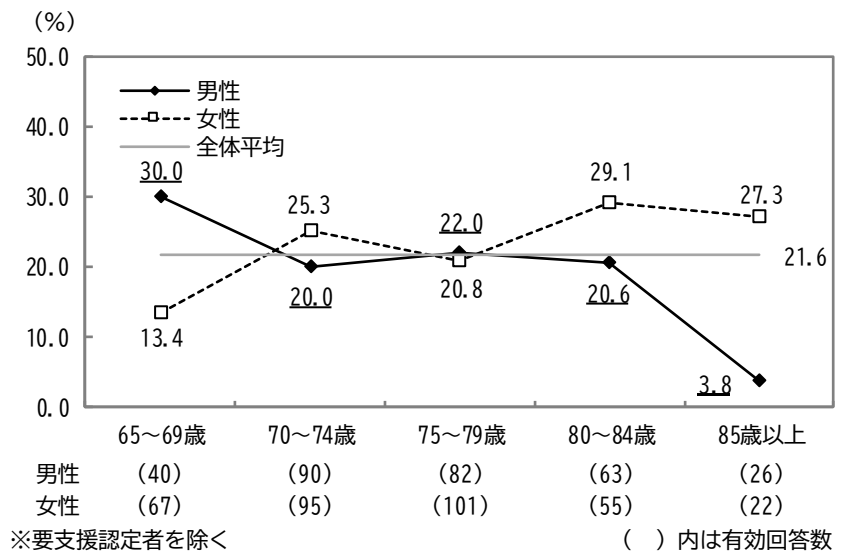
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 643 人のうち、21.6% (男性 20.9%、女性 22.3%) が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

女性では、65～69 歳、75～79 歳を除き、男性に比べ口腔リスクが高くなっております。また、85 歳以上では、男性に比べて女性で割合が高く、23.5 ポイントの差となっています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

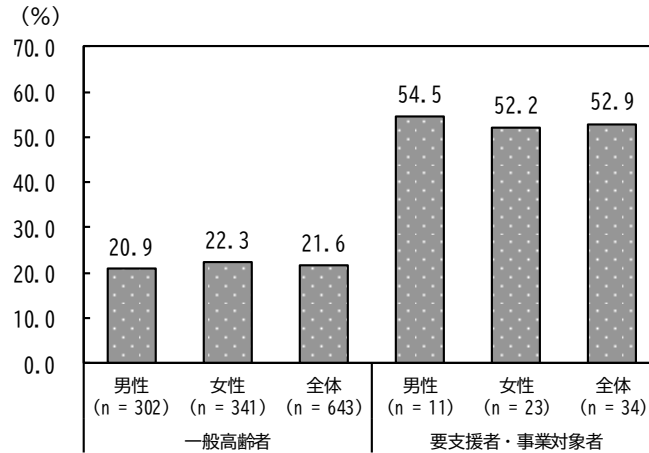


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が 21.6%に対して、要支援者・事業対象者では 52.9%となっており、31.3 ポイント高くなっています。

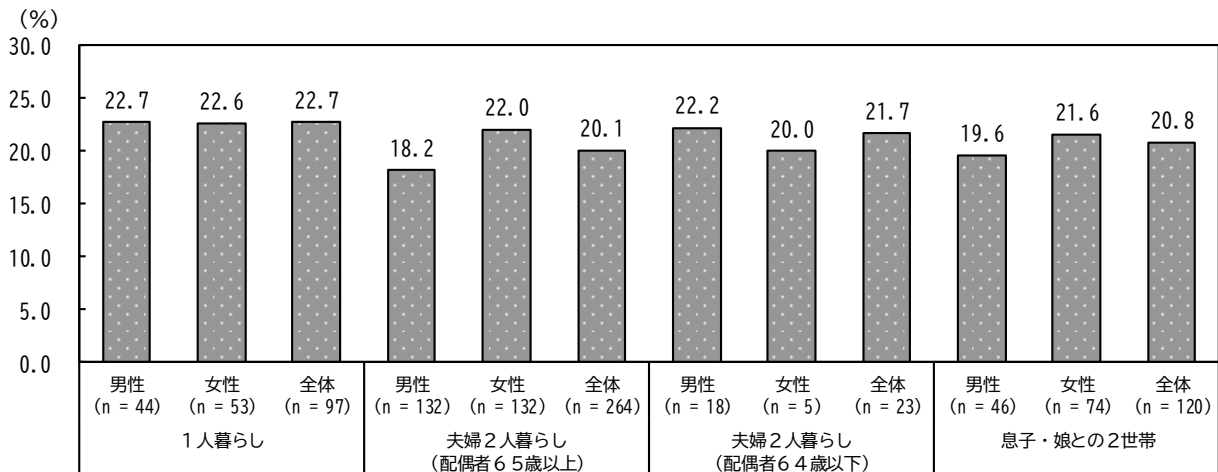
世帯構成別にみると、該当者割合は1人暮らしが 22.7%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は中・南部圏域が 23.6%と最も高くなっています。

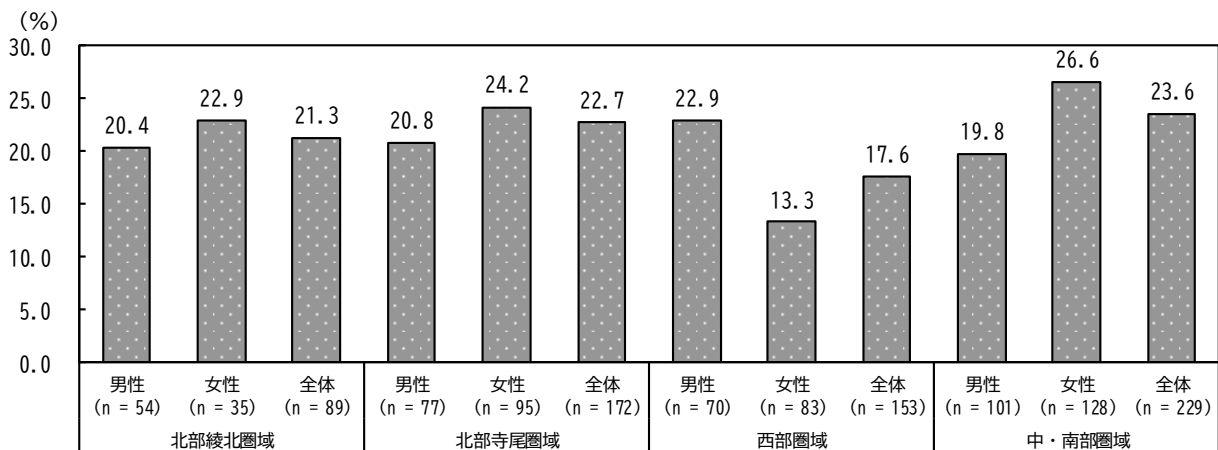
【認定状況別】



【世帯構成別】



【日常生活圏域別】

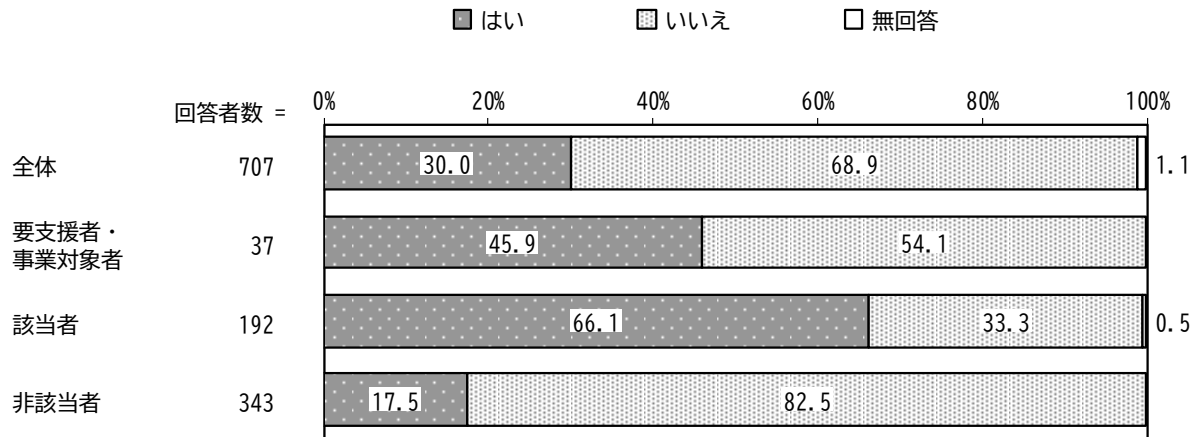


ウ 回答結果

問 26 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

「はい」の割合が30.0%、「いいえ」の割合が68.9%となっています。

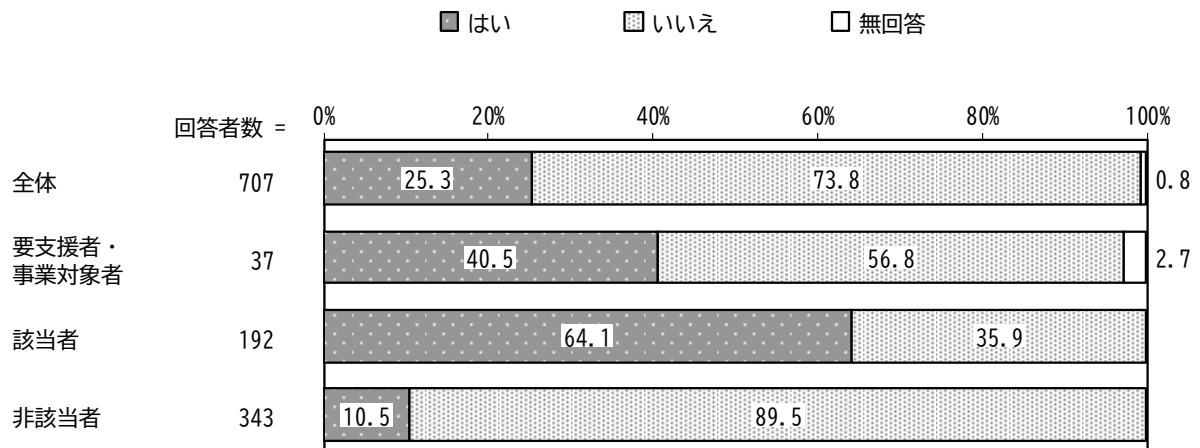
該当者別にみると、他に比べ、該当者と要支援者・事業対象者で「はい」の割合が、非該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 27 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が25.3%、「いいえ」の割合が73.8%となっています。

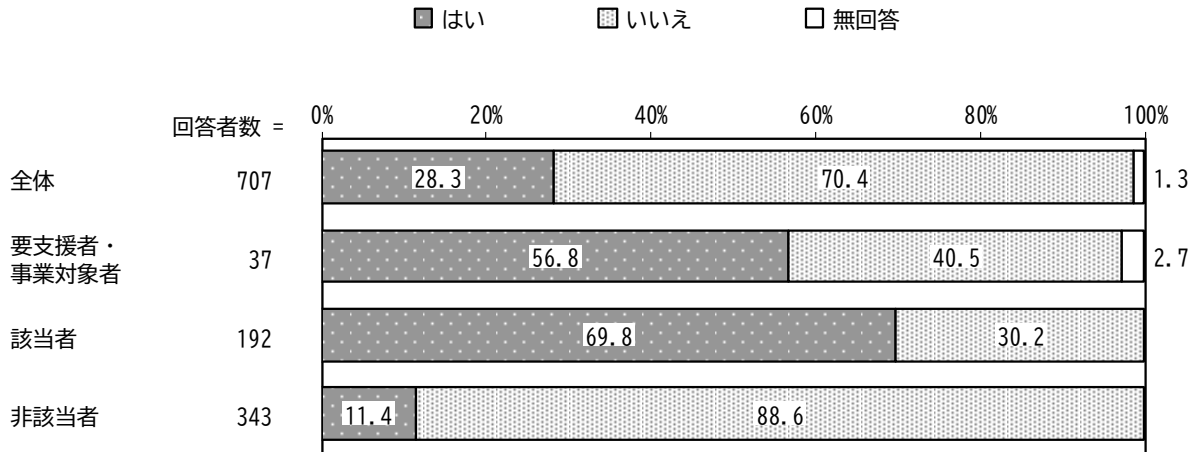
該当者別にみると、他に比べ、該当者と要支援者・事業対象者で「はい」の割合が、非該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 28 口の渴きが気になりますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が28.3%、「いいえ」の割合が70.4%となっています。

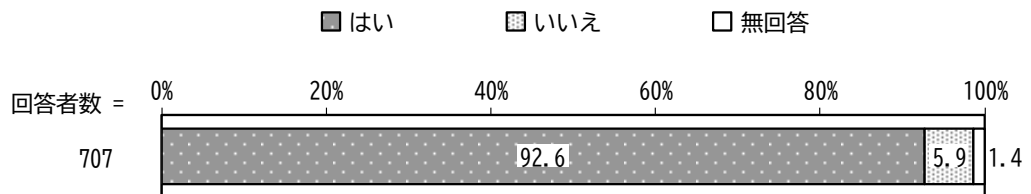
該当者別にみると、他に比べ、該当者と要支援者・事業対象者で「はい」の割合が、非該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



工 関連設問

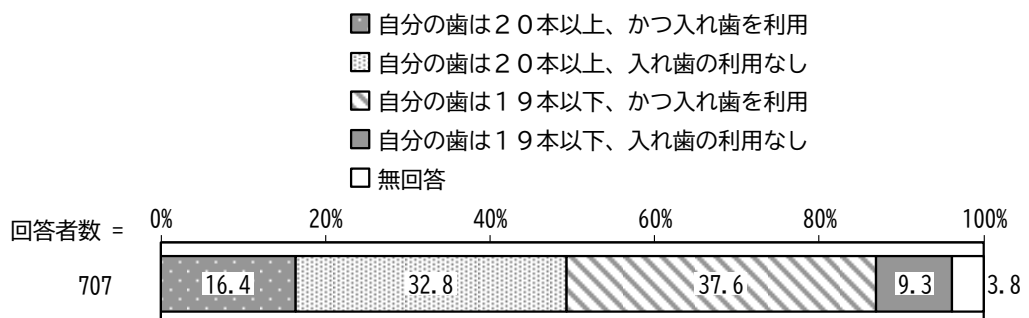
問 29 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が92.6%、「いいえ」の割合が5.9%となっています。



問 30 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○はひとつ)

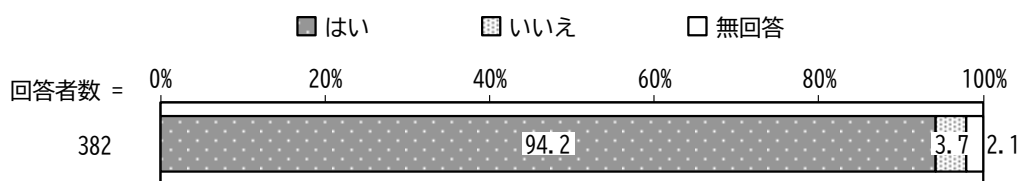
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が37.6%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が32.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が16.4%となっています。



問 30 で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」又は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方におたずねします

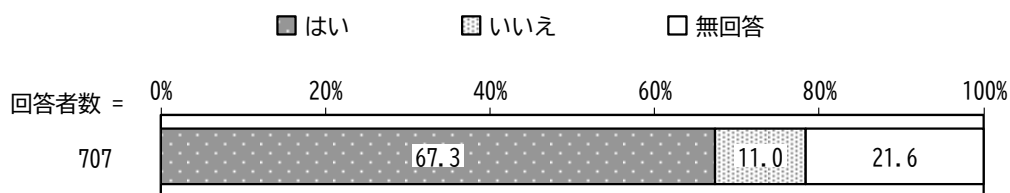
問 30-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が94.2%、「いいえ」の割合が3.7%となっています。



問 31 噛み合わせは良いですか。(○はひとつ)

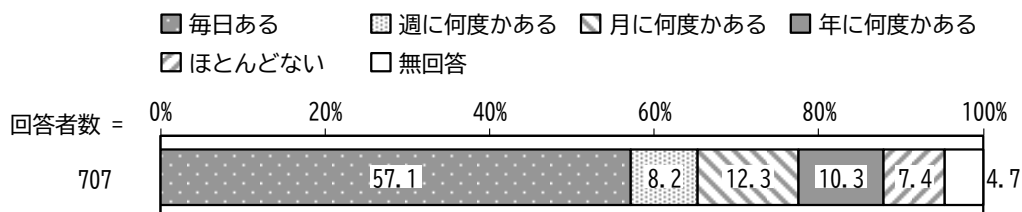
「はい」の割合が67.3%、「いいえ」の割合が11.0%となっています。



(3) 食事の状況

問 33 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○はひとつ)

「毎日ある」の割合が57.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が12.3%、「年に何度かある」の割合が10.3%となっています。



5 日常生活

(1) 認知機能

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

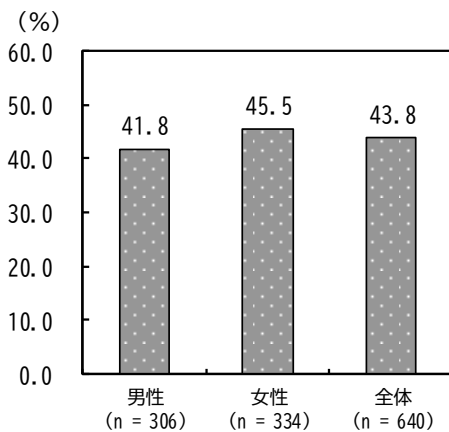
問番号	設問	該当する選択肢
問 34	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

イ 評価結果

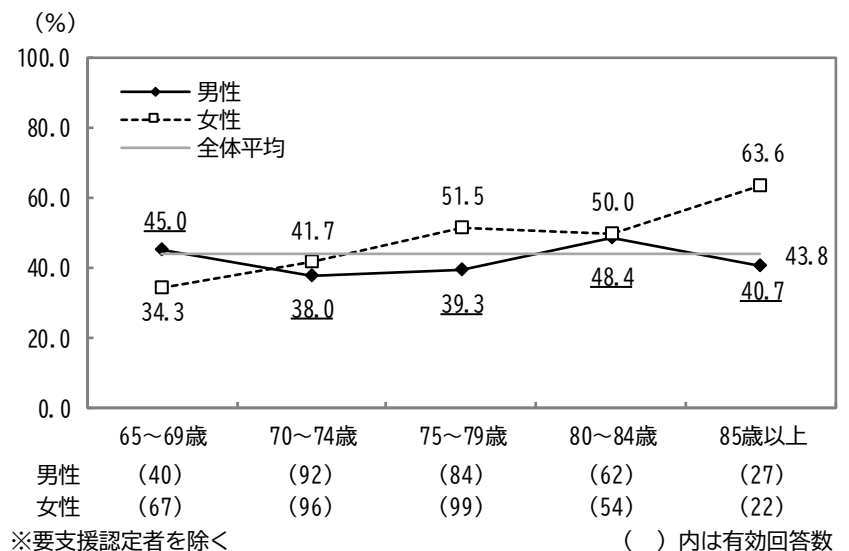
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 640 人のうち、43.8%（男性 41.8%、女性 45.5%）が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。また、70 歳以上では、男性に比べ、女性で割合が高くなっています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

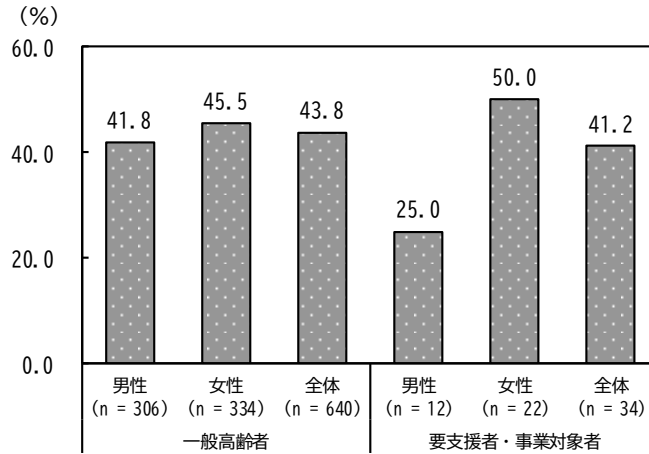


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が43.8%に対して、要支援者・事業対象者では41.2%となっており、2.6ポイント低くなっています。

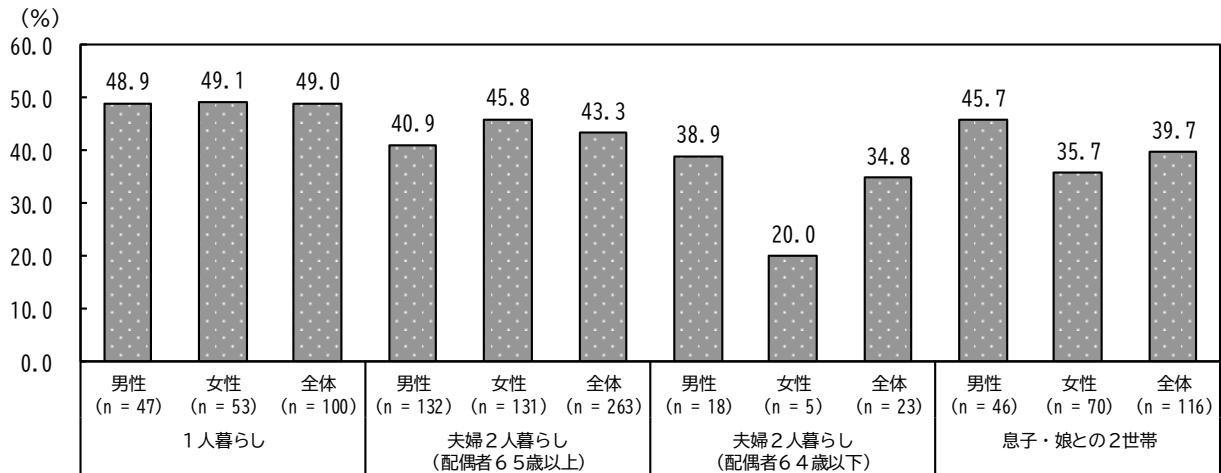
世帯構成別にみると、該当者割合は1人暮らしが49.0%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は中・南部圏域が48.7%と最も高くなっています。

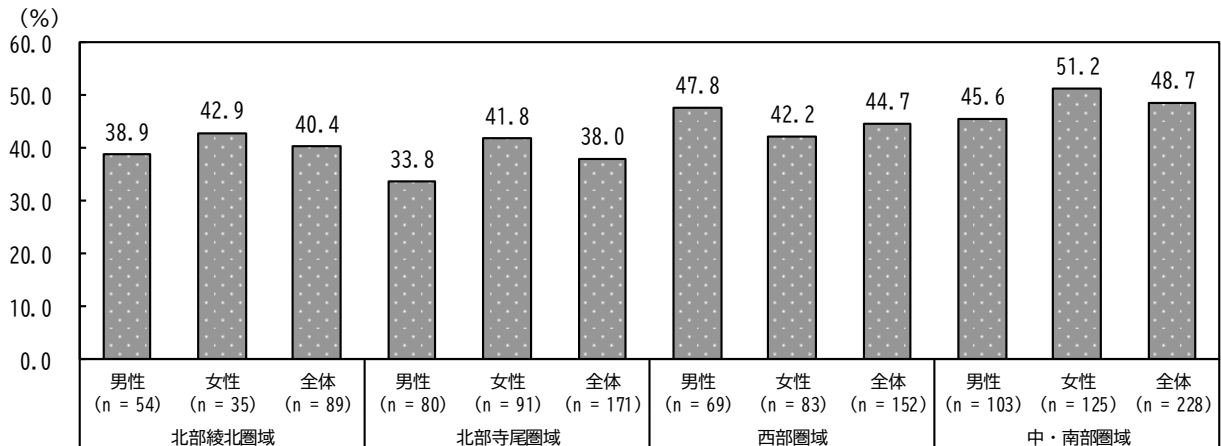
【認定状況別】



【世帯構成別】



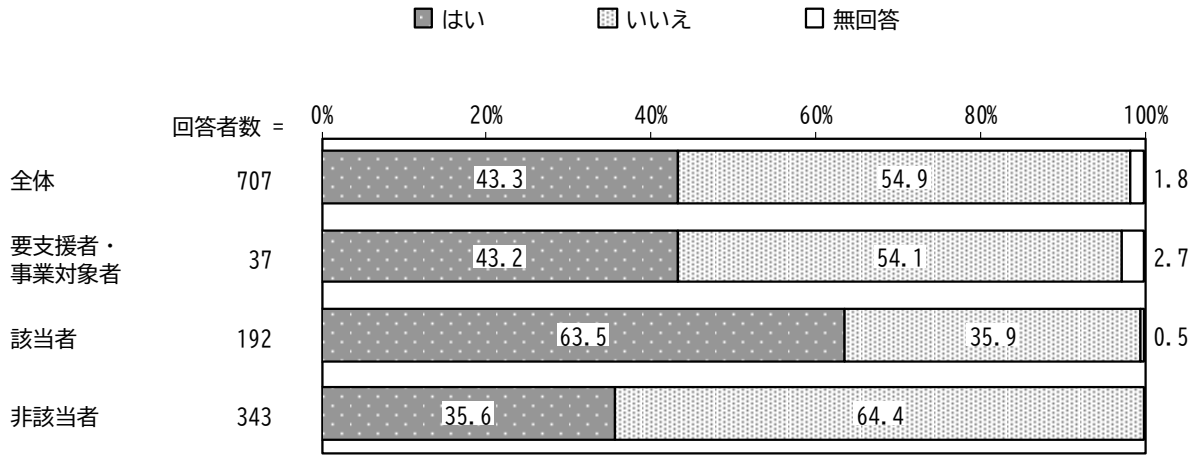
【日常生活圏域別】



ウ 回答結果

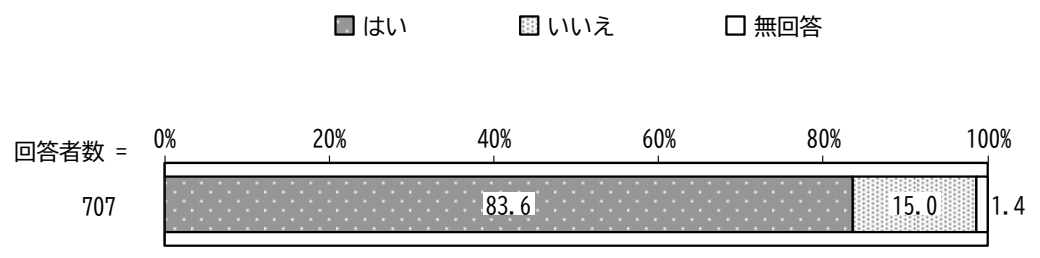
問 34 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が43.3%、「いいえ」の割合が54.9%となっています。
 該当者別にみると、他に比べ、該当者で「はい」の割合が、非該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



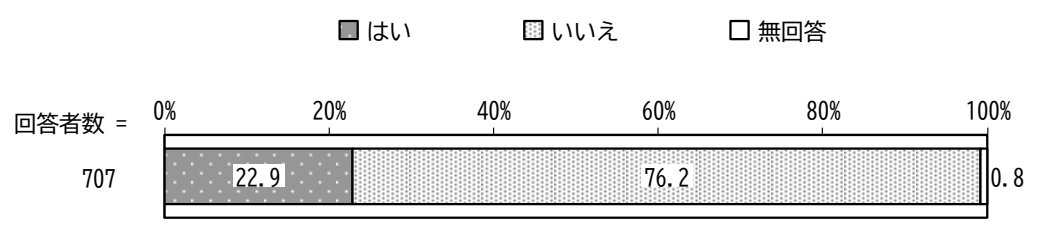
問 35 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が83.6%、「いいえ」の割合が15.0%となっています。



問 36 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が22.9%、「いいえ」の割合が76.2%となっています。

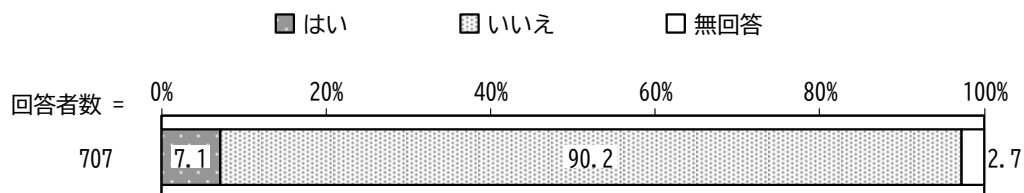


工 関連設問

①家族を含めた認知症の有無

問 73 認知症の症状がある場合又は家族に認知症の症状がある人がいますか。
(○はひとつ)

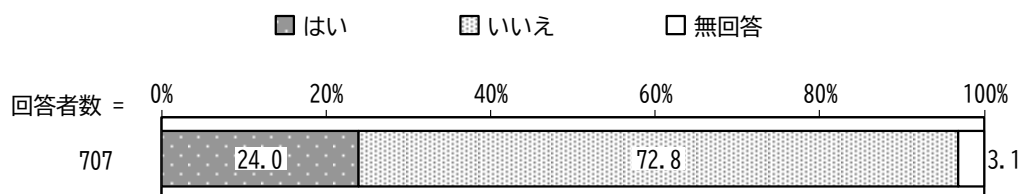
「はい」の割合が7.1%、「いいえ」の割合が90.2%となっています。



②認知症に関する相談窓口の認知度

問 74 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が24.0%、「いいえ」の割合が72.8%となっています。



(2) 手段的自立度 (IADL)

ア 設問と評価

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 37	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 38	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 39	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 40	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 41	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

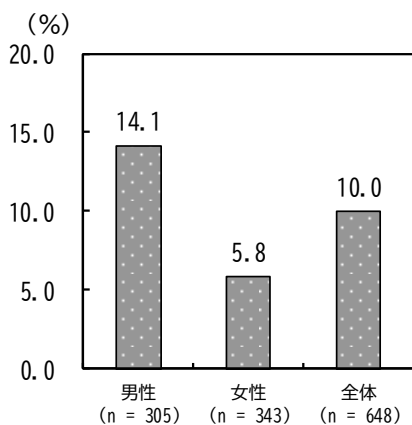
イ 評価結果

結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 648 人のうち、9.7% (男性 14.1%、女性 5.8%) が該当者となっています。男性の方が該当者割合は高くなっています。

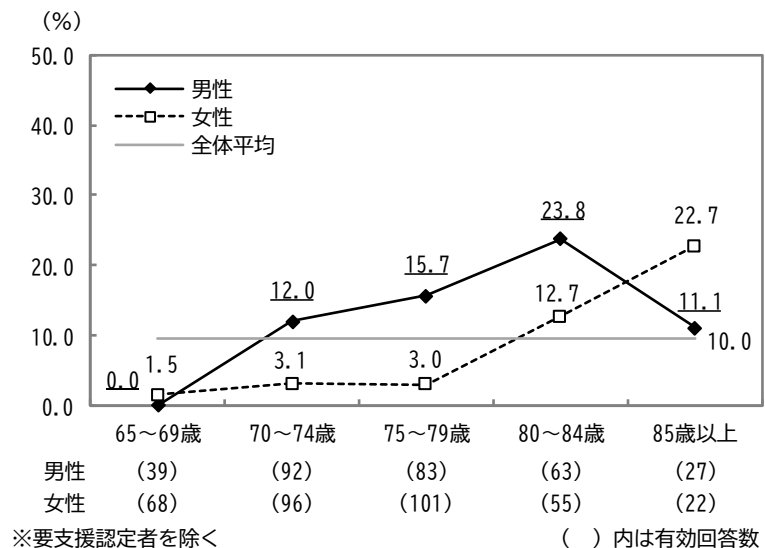
全体平均では 10.0% が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では、65～69 歳と 85 歳以上を除き女性に比べ高くなっており、70 歳以上になると全体平均より割合が高くなっています。また、75～79 歳では、女性に比べて男性で割合が特に高く、12.7 ポイントの差となっています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

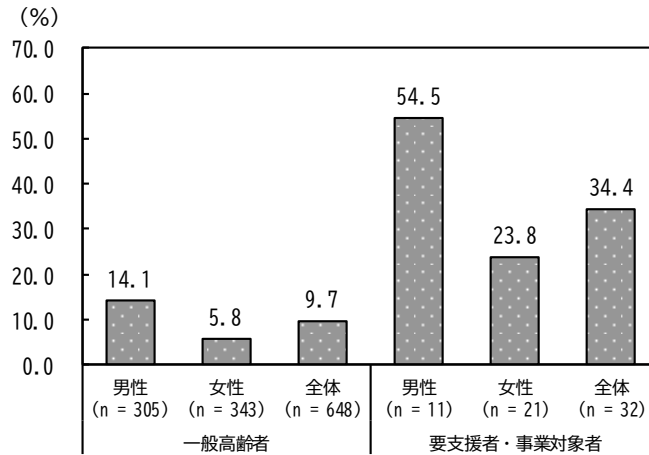


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が 9.7%に対して、要支援者・事業対象者では 34.4%となっており、24.7ポイント高くなっています。

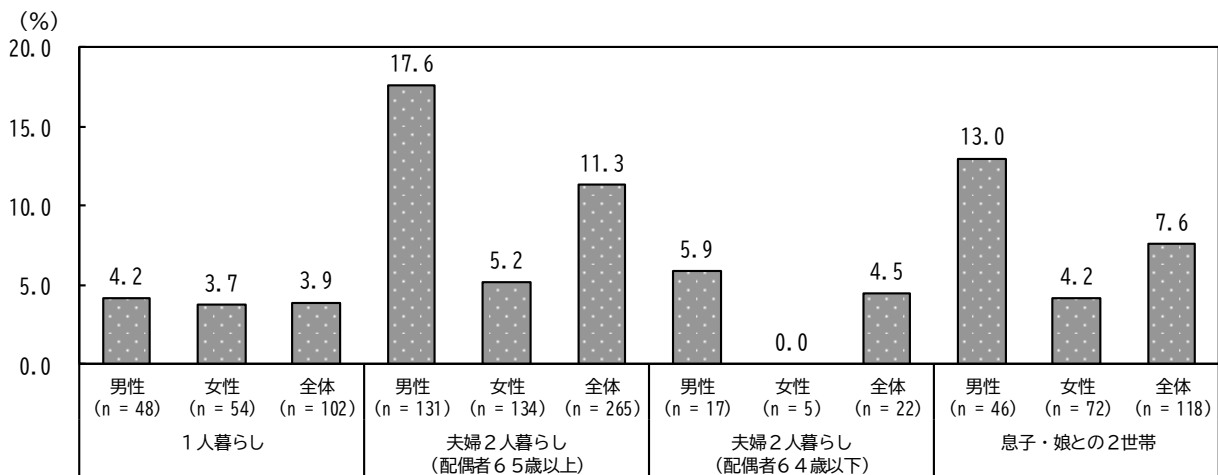
世帯構成別にみると、該当者割合は夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)が 11.3%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は中・南部圏域が 11.3%と最も高くなっています。

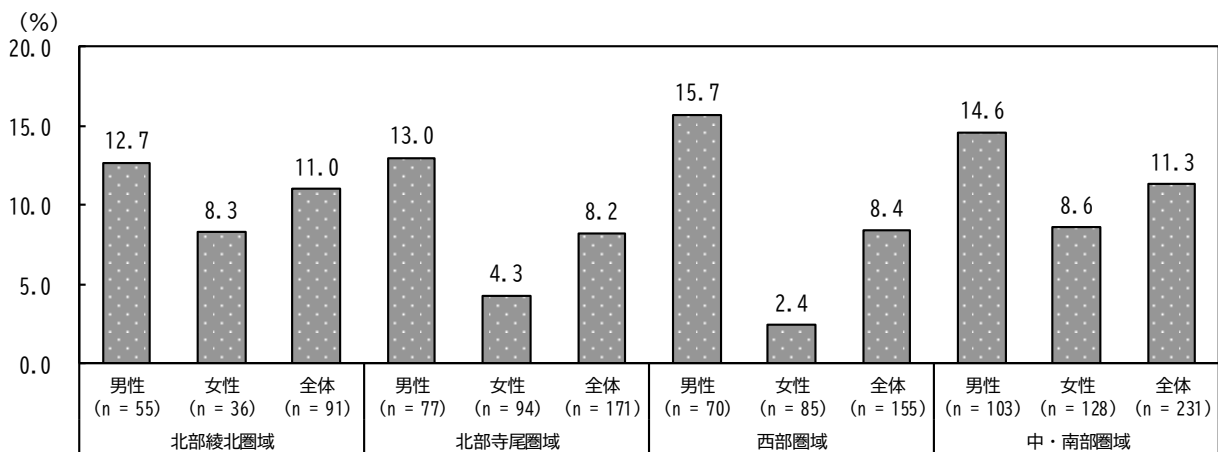
【認定状況別】



【世帯構成別】



【日常生活圏域別】

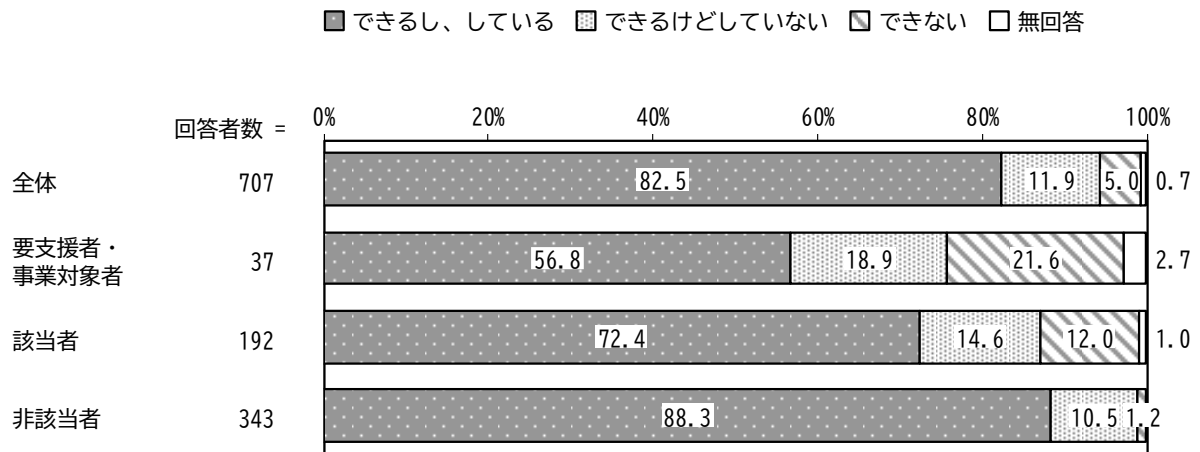


ウ 回答結果

問 37 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○はひとつ）

「できるし、している」の割合が82.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.9%となっています。

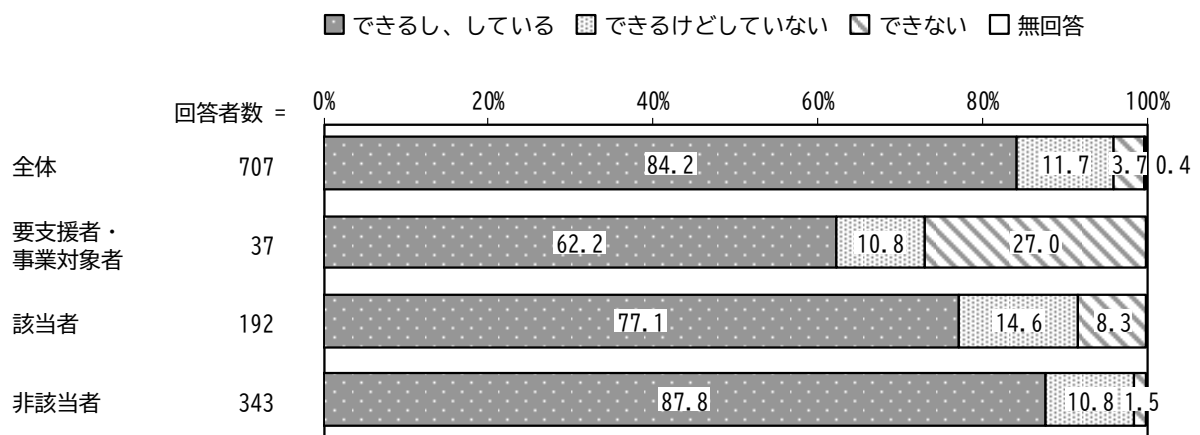
該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「できるけどしていない」の割合が、非該当者で「できるし、している」の割合が高くなっています。



問 38 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○はひとつ）

「できるし、している」の割合が84.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が11.7%となっています。

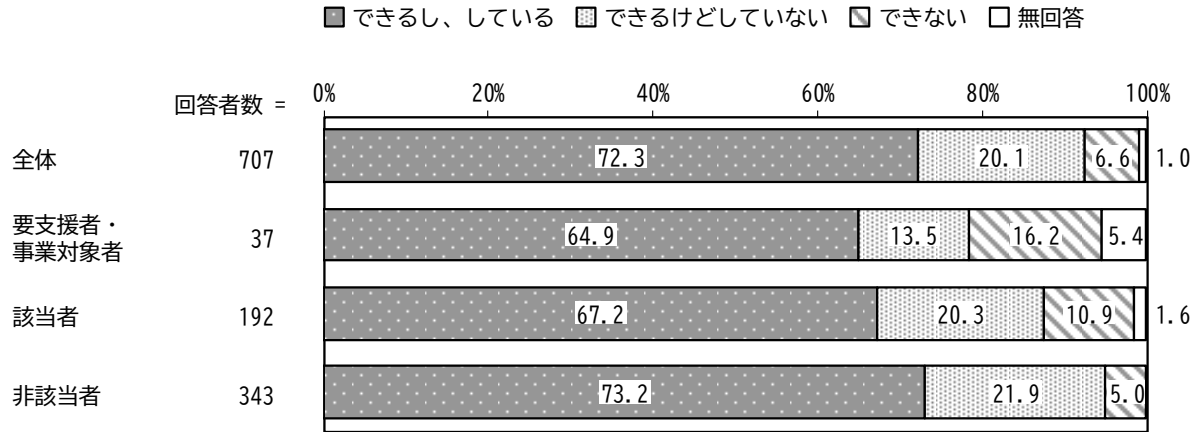
該当者別にみると、要支援者・事業対象者で「できるし、している」の割合が低くなっています。



問 39 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

「できるし、している」の割合が72.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が20.1%となっています。

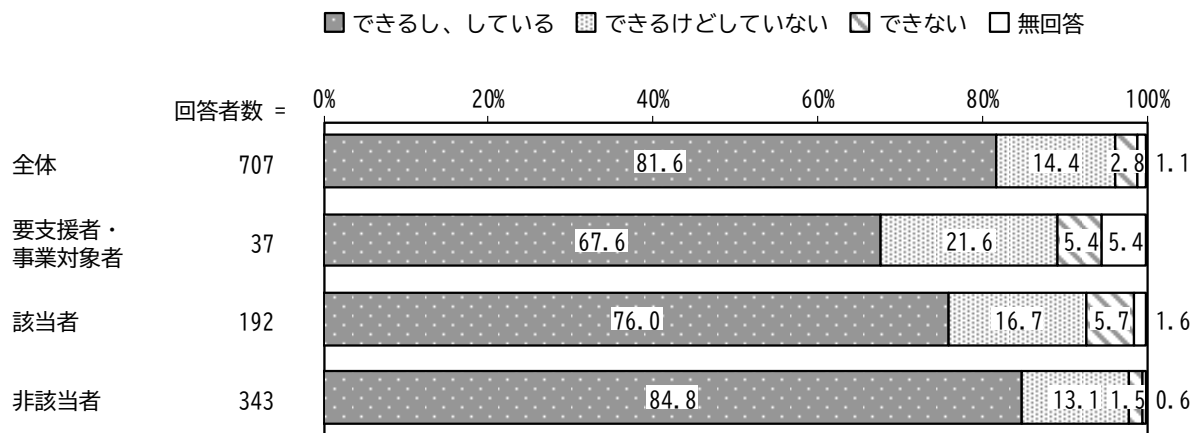
要支援者・事業対象者で「できるけど、していない」の割合が低くなっています。



問 40 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

「できるし、している」の割合が81.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.4%となっています。

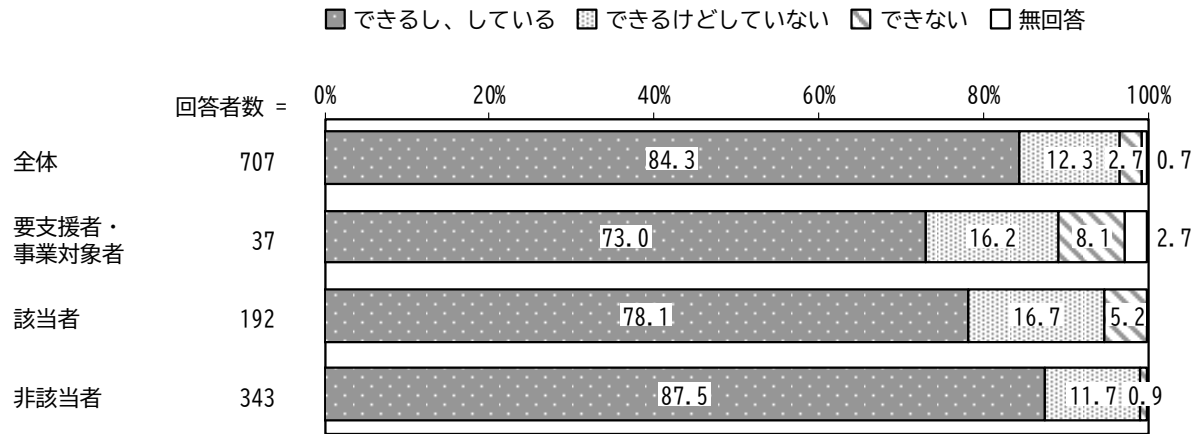
該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



問 41 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

「できるし、している」の割合が84.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.3%となっています。

要支援者・事業対象者で「できるし、している」の割合が低くなっています。



(3) 知的能動性

ア 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 42	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい：1点
問 43	新聞を読んでいますか。	1. はい：1点
問 44	本や雑誌を読んでいますか。	1. はい：1点
問 45	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい：1点

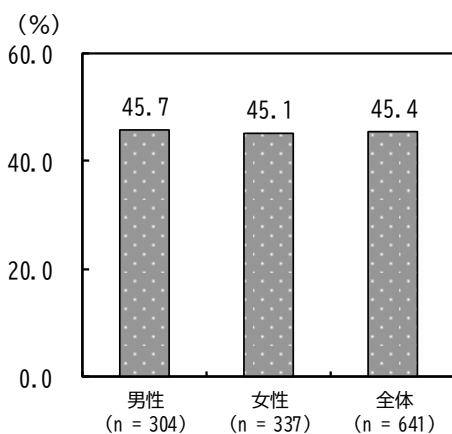
イ 評価結果

結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 641 人のうち、45.4%（男性 45.7%、女性 45.1%）が該当者となっています。男性の方が該当者割合は高くなっています。

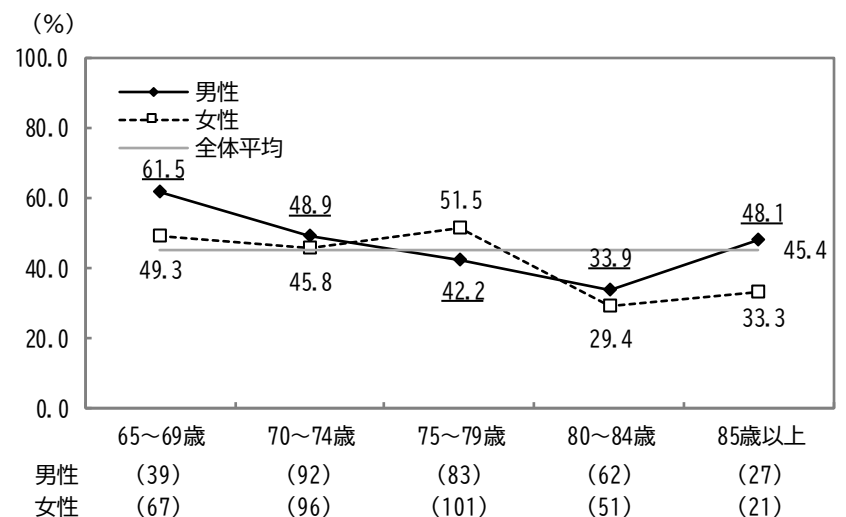
知的能動性の低下者は、全体平均では 45.4%となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性は 75～79 歳で女性を上回っています。女性では、85 歳以上で 48.1%と、80～84 歳に比べ、14.2 ポイント増加しています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

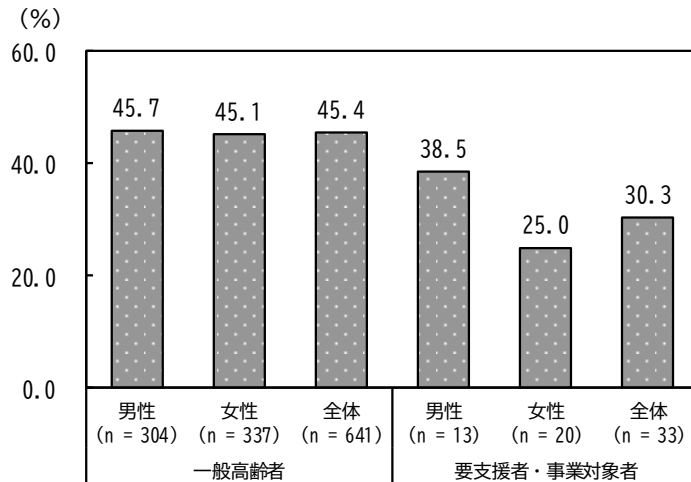
() 内は有効回答数

認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が 45.4%に対して、要支援者・事業対象者では 30.3%となっており、15.1ポイント低くなっています。

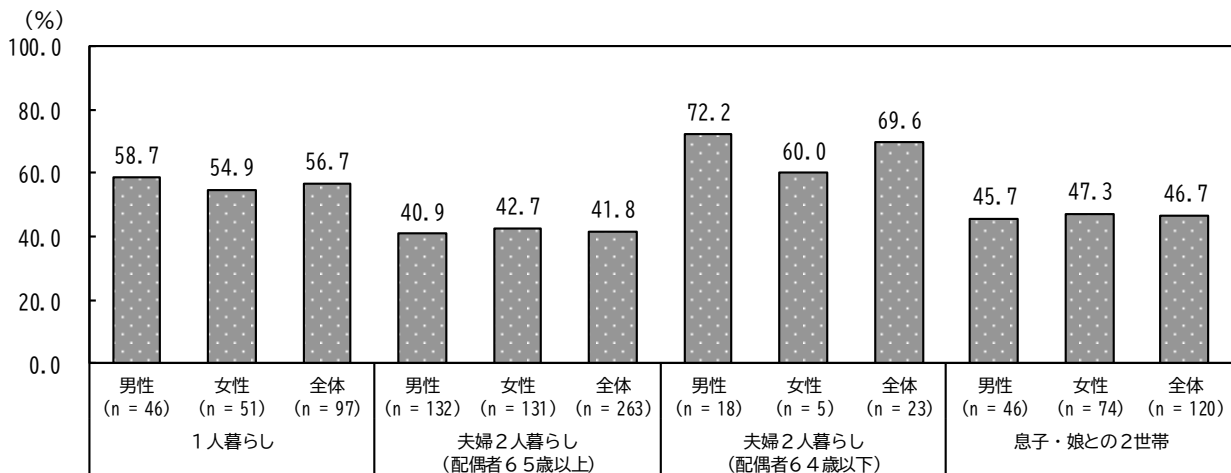
世帯構成別にみると、該当者割合は夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 69.6%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は北部綾北圏域が 50.0%と最も高くなっています。

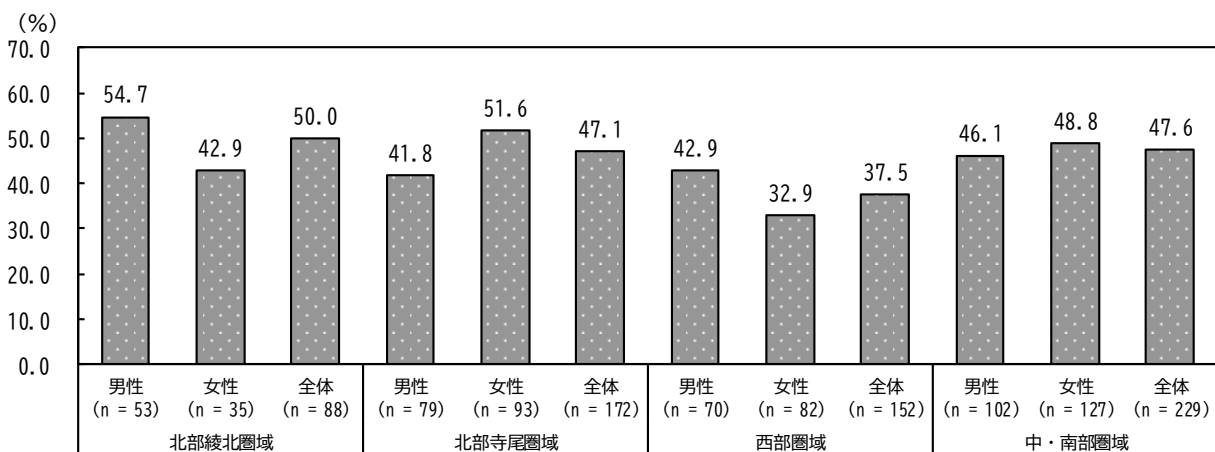
【認定状況別】



【世帯構成別】



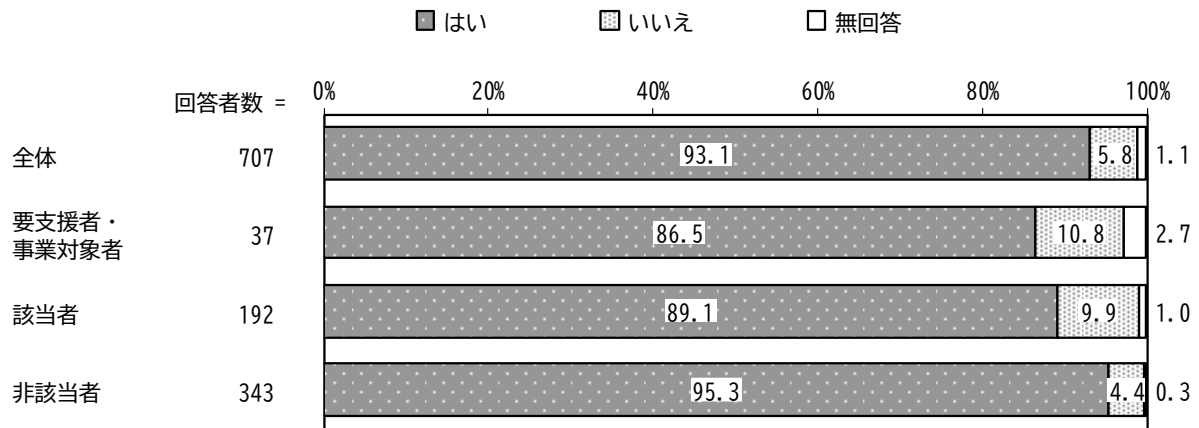
【日常生活圏域別】



ウ 回答結果

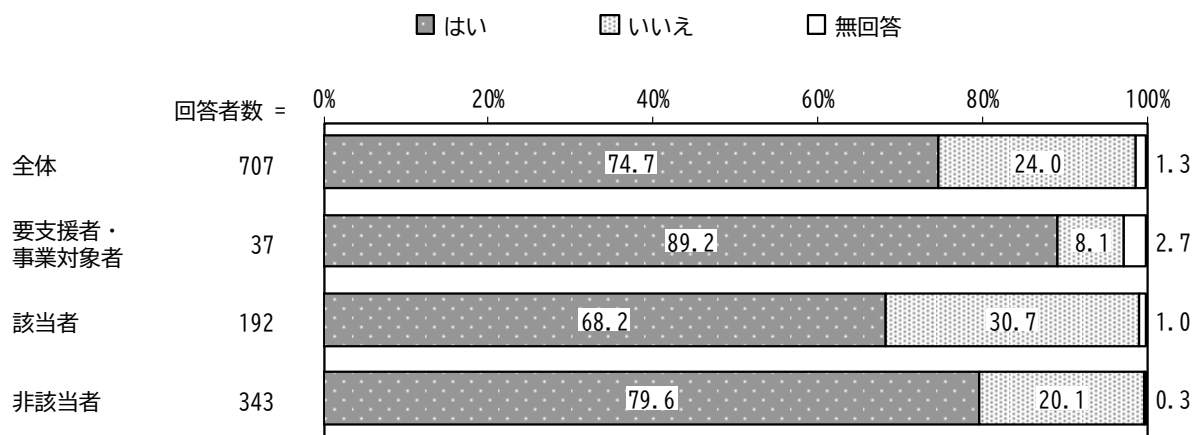
問 42 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○はひとつ）

「はい」の割合が93.1%、「いいえ」の割合が5.8%となっています。
 該当者別にみると、大きな差はみられません。



問 43 新聞を読んでいますか。（○はひとつ）

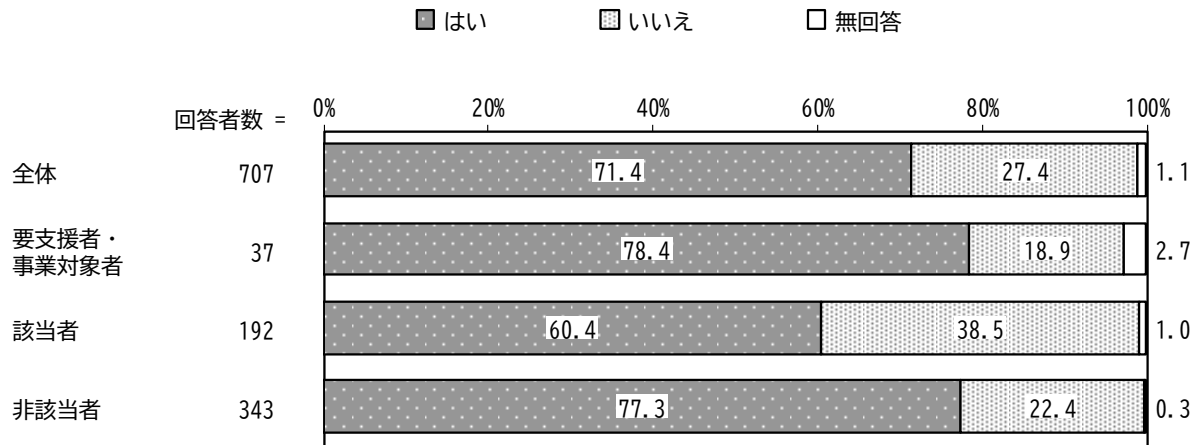
「はい」の割合が74.7%、「いいえ」の割合が24.0%となっています。
 該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「はい」の割合が、該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 44 本や雑誌を読んでいますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が71.4%、「いいえ」の割合が27.4%となっています。

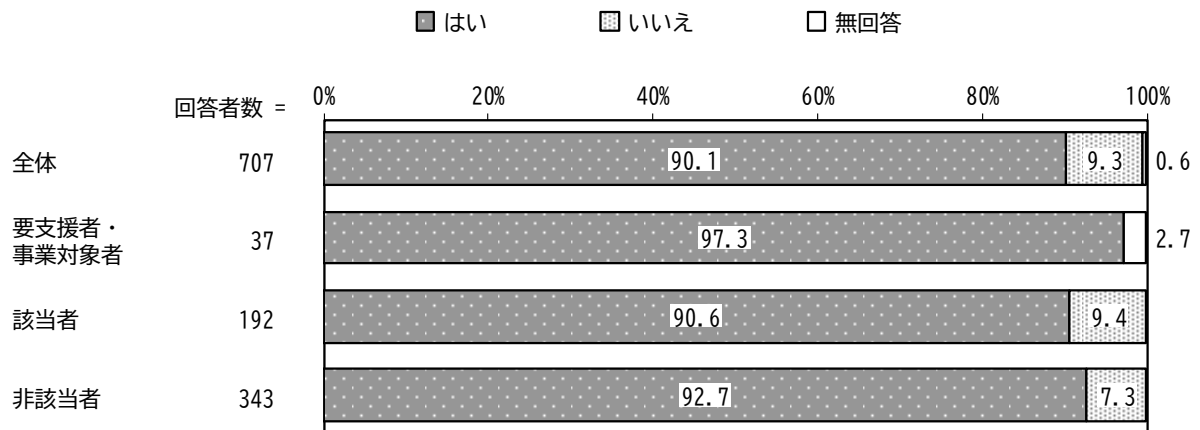
該当者別にみると、他に比べ、該当者で「いいえ」の割合が、要支援者・事業対象者で「はい」の割合が、非該当者で「はい」の割合が高くなっています。



問 45 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が90.1%、「いいえ」の割合が9.3%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



(4) 社会的役割

ア 設問と評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 46	友人の家を訪ねていますか。	1. はい：1点
問 47	家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい：1点
問 48	病人を見舞うことができますか。	1. はい：1点
問 49	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい：1点

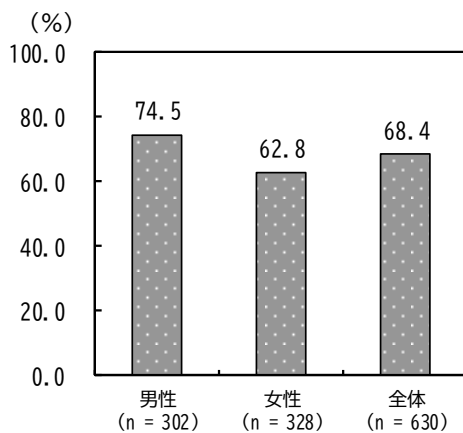
イ 評価結果

結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 630 人のうち、68.4% (男性 74.5%、女性 62.8%) が該当者となっています。男性の方が該当者割合は高くなっています。

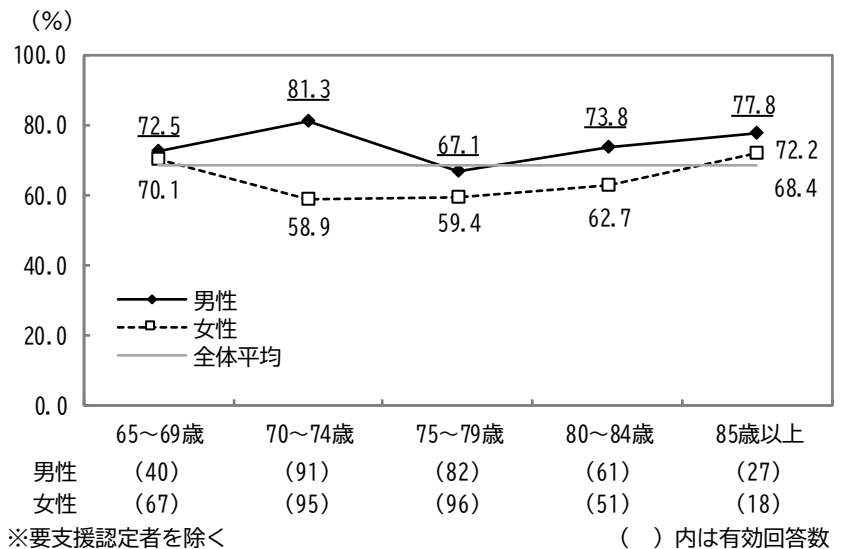
社会的役割の低下者は、全体平均では 68.4% となっています。

性別・年齢階級別でみると、男性では 75～79 歳を除いて全体平均を上回っており、70～74 歳で 81.3% となっています。女性では、70 歳以降徐々に上昇し、85 歳以上で 72.2% と 75～79 歳に比べ 9.5 ポイント上昇しています。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

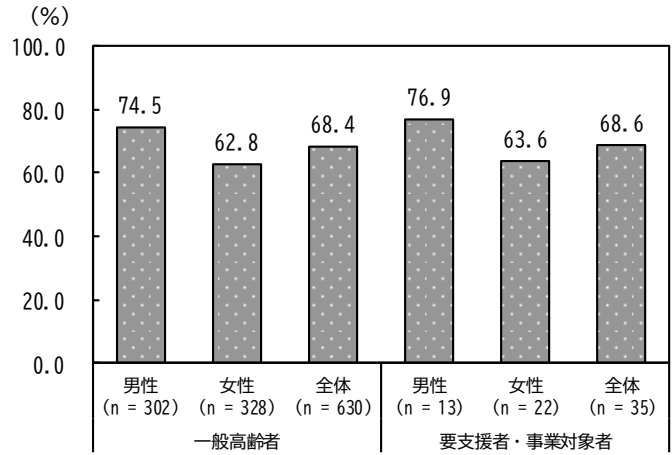


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が 68.4%に対して、要支援者・事業対象者では 68.6%となっており、0.2 ポイント高くなっています。

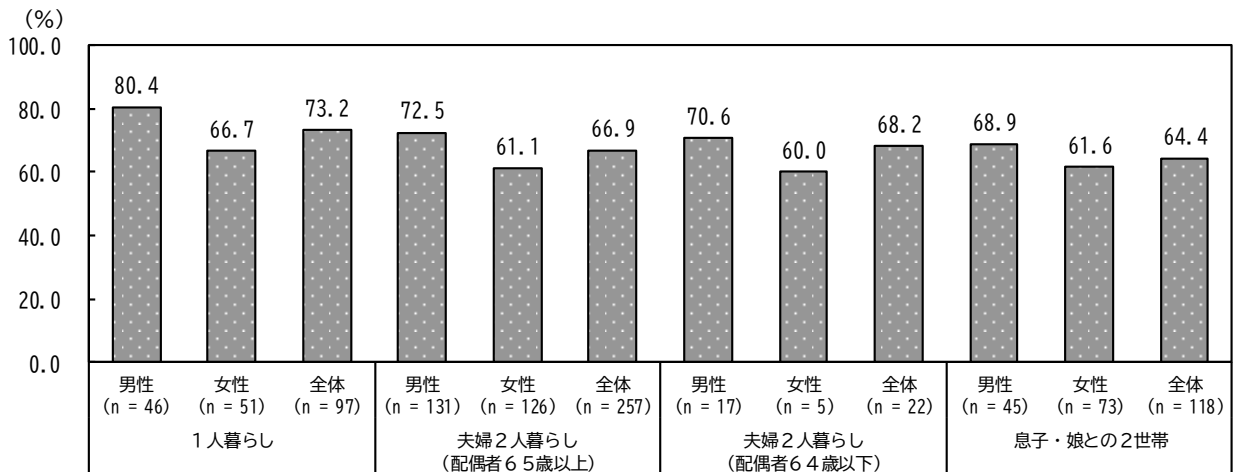
世帯構成別にみると、該当者割合は1人暮らしが 73.2%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は北部綾北圏域が 77.8%と最も高くなっています。

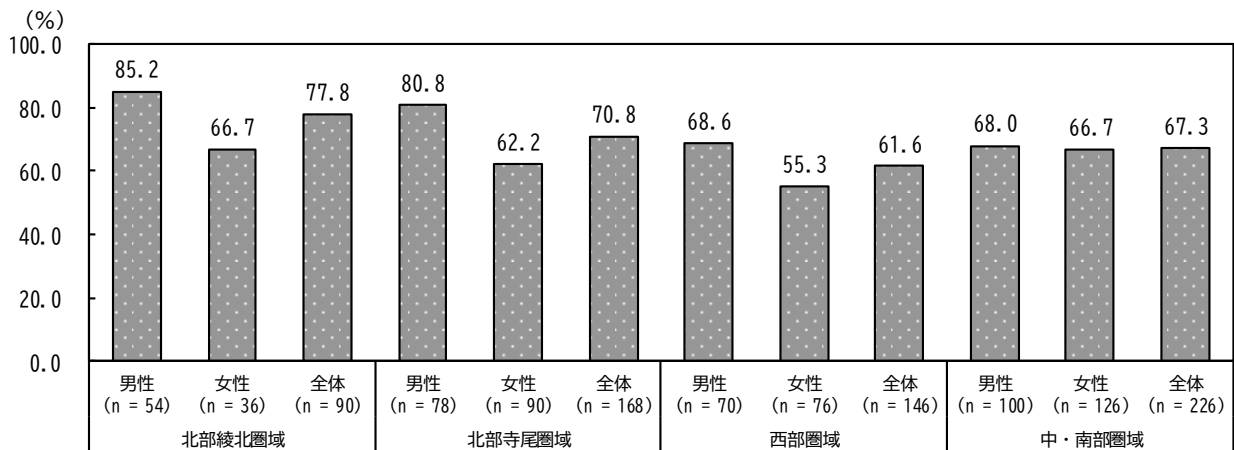
【認定状況別】



【世帯構成別】



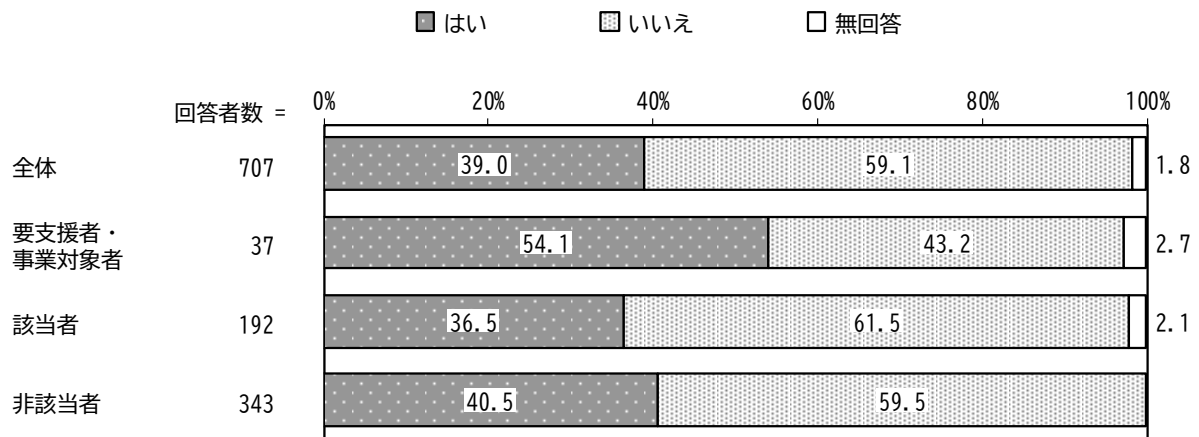
【日常生活圏域別】



ウ 回答結果

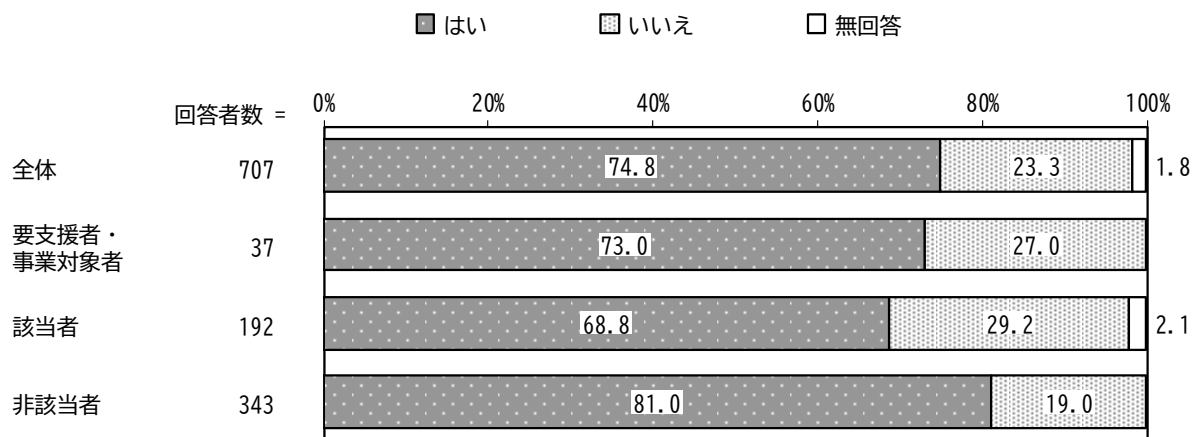
問 46 友人の家を訪ねていますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が39.0%、「いいえ」の割合が59.1%となっています。
 該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



問 47 家族や友人の相談にのっていますか。(○はひとつ)

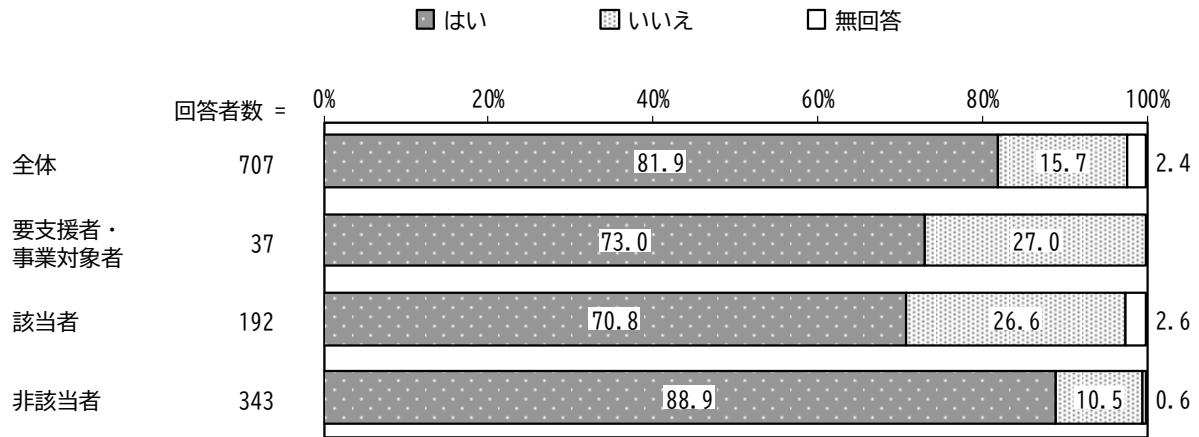
「はい」の割合が74.8%、「いいえ」の割合が23.3%となっています。
 該当者別にみると、他に比べ、非該当者で「はい」の割合が、該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 48 病人を見舞うことができますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が81.9%、「いいえ」の割合が15.7%となっています。

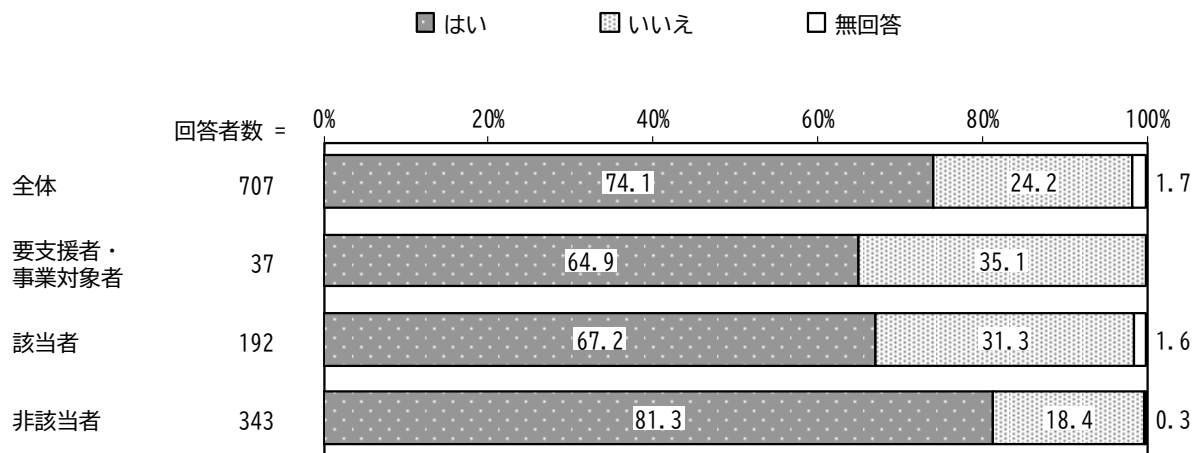
該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者で「いいえ」の割合が、該当者で「いいえ」の割合が、非該当者で「はい」の割合が高くなっています。



問 49 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が74.1%、「いいえ」の割合が24.2%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、要支援者・事業対象者と該当者で「いいえ」の割合が、非該当者で「はい」の割合が高くなっています。

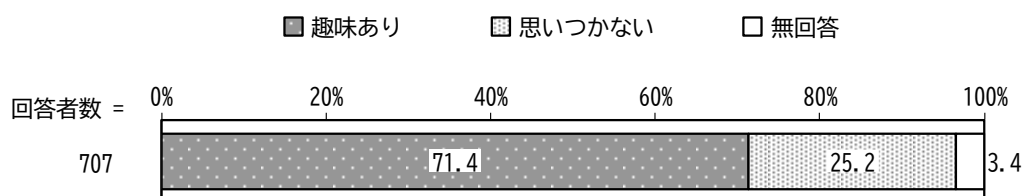


(5) 趣味・生きがい

①趣味の有無

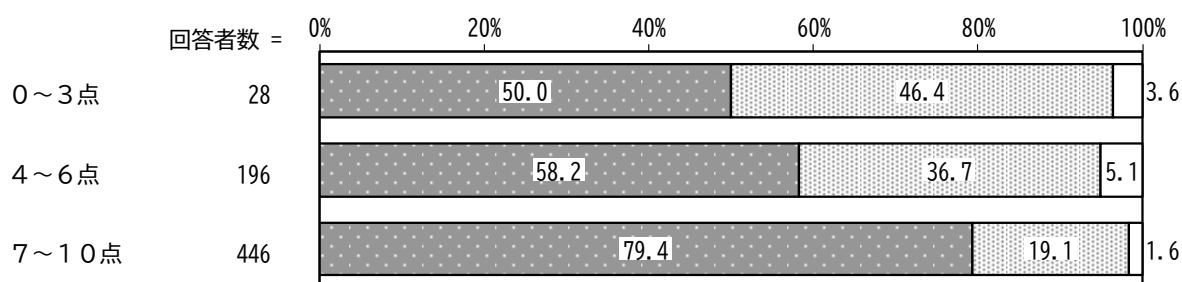
問 50 趣味はありますか。(○はひとつ)

「趣味あり」の割合が71.4%、「思いつかない」の割合が25.2%となっています。



【幸福度別】

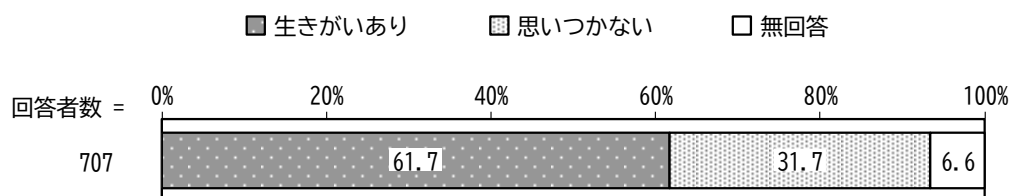
幸福度別にみると、0～6点で「思いつかない」の割合が、7～10点で「趣味あり」の割合が高くなっています。



②生きがいの有無

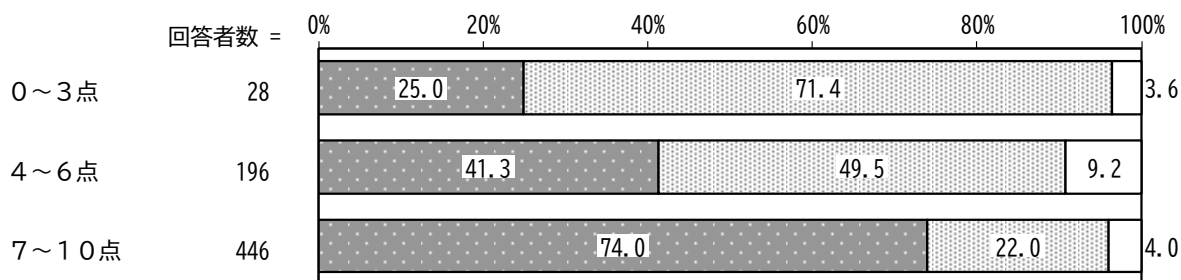
問 51 生きがいはありますか。(○はひとつ)

「生きがいあり」の割合が61.7%、「思いつかない」の割合が31.7%となっています。



【幸福度別】

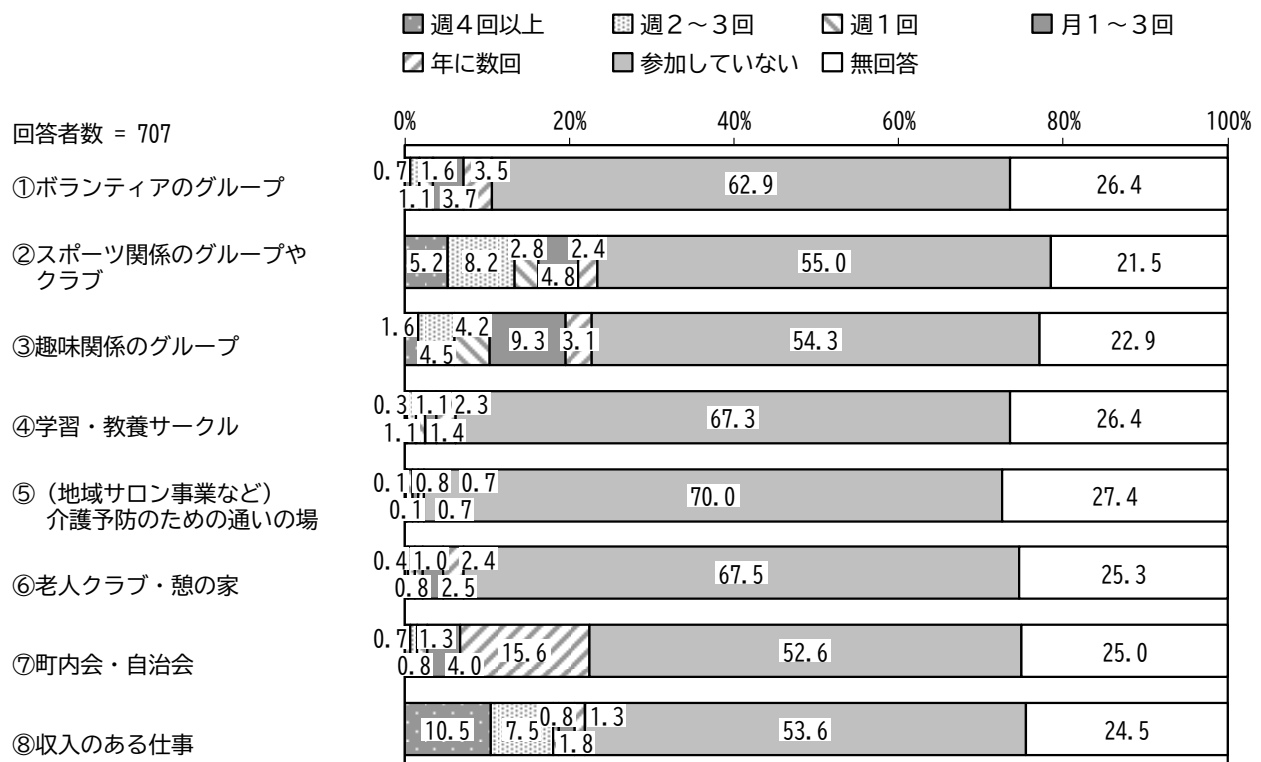
幸福度別にみると、0～6点で「思いつかない」の割合が、7～10点で「生きがいあり」の割合が高くなっています。



6 地域活動

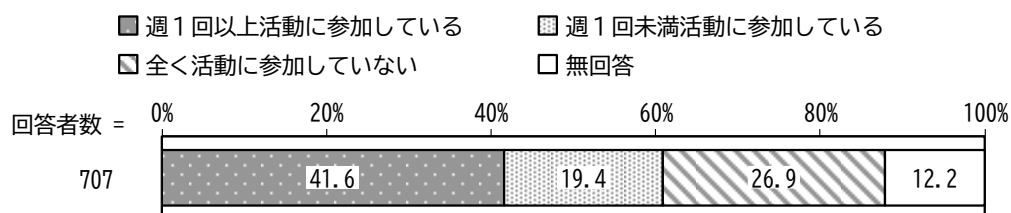
(1) 会・グループ活動への参加

問 52 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。



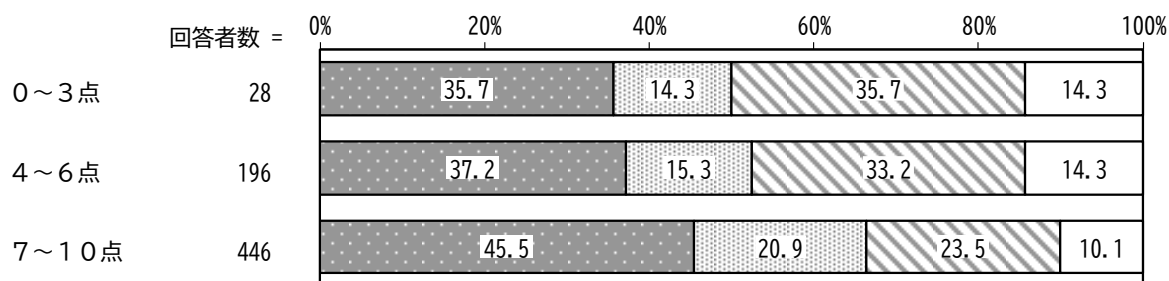
<地域活動の参加状況>

「週1回以上活動に参加している」の割合が41.6%と最も高く、次いで「全く活動に参加していない」の割合が26.9%、「週1回未満活動に参加している」の割合が19.4%となっています。



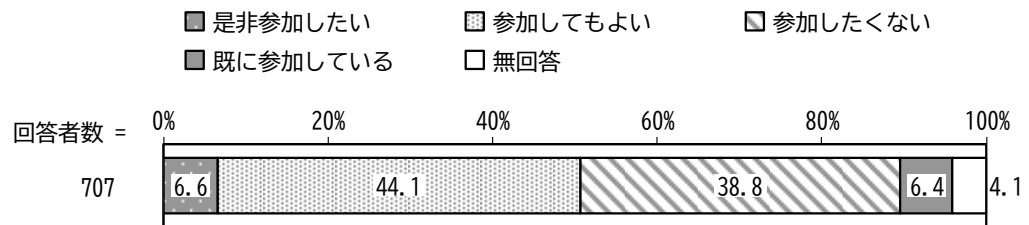
【幸福度別】

幸福度別にみると、0～6点で「全く活動に参加していない」の割合が高くなっています。



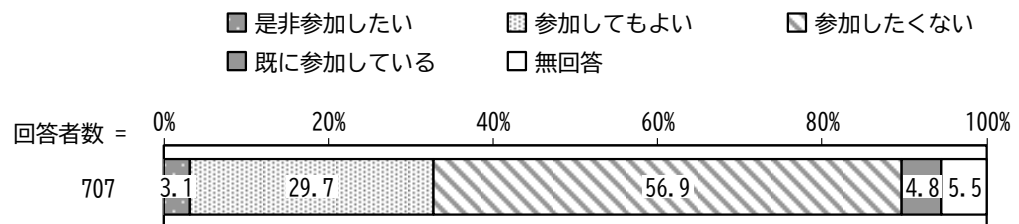
問 53 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

「参加してもよい」の割合が44.1%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が38.8%となっています。



問 54 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

「参加したくない」の割合が56.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が29.7%となっています。

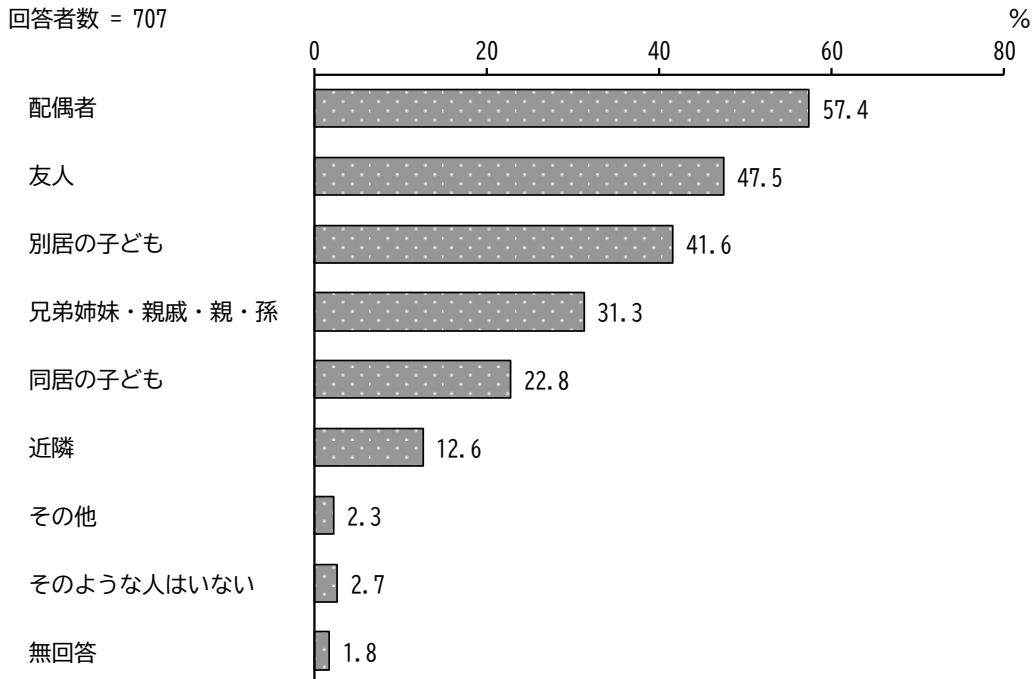


7 たすけあい

(1) 愚痴を聞いてくれる人、あげる人

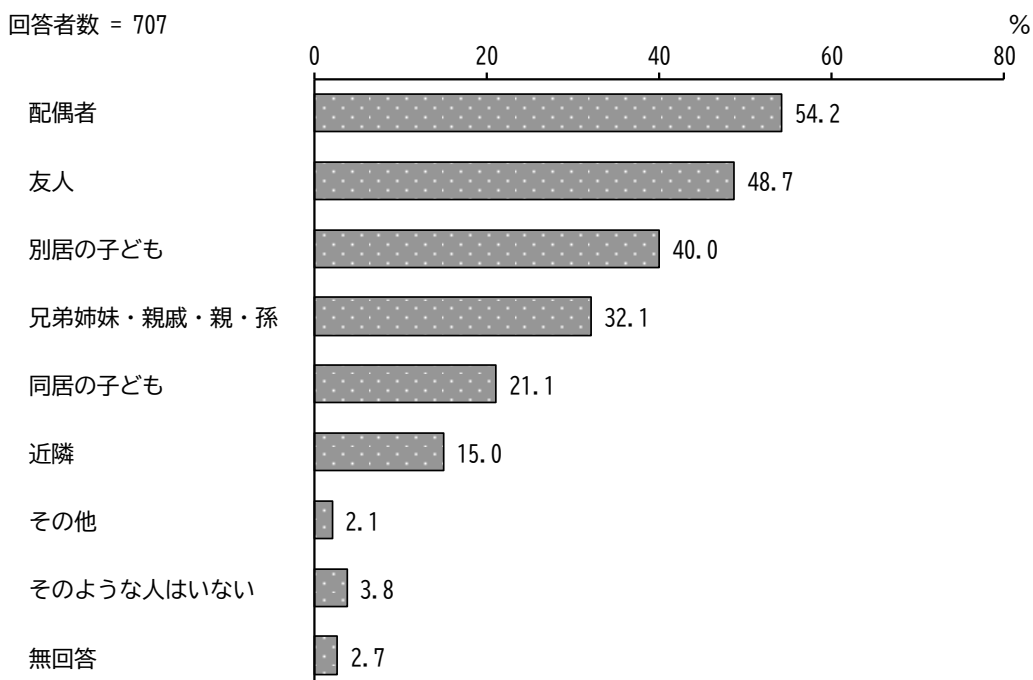
問 55 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が57.4%と最も高く、次いで「友人」の割合が47.5%、「別居の子ども」の割合が41.6%となっています。



問 56 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

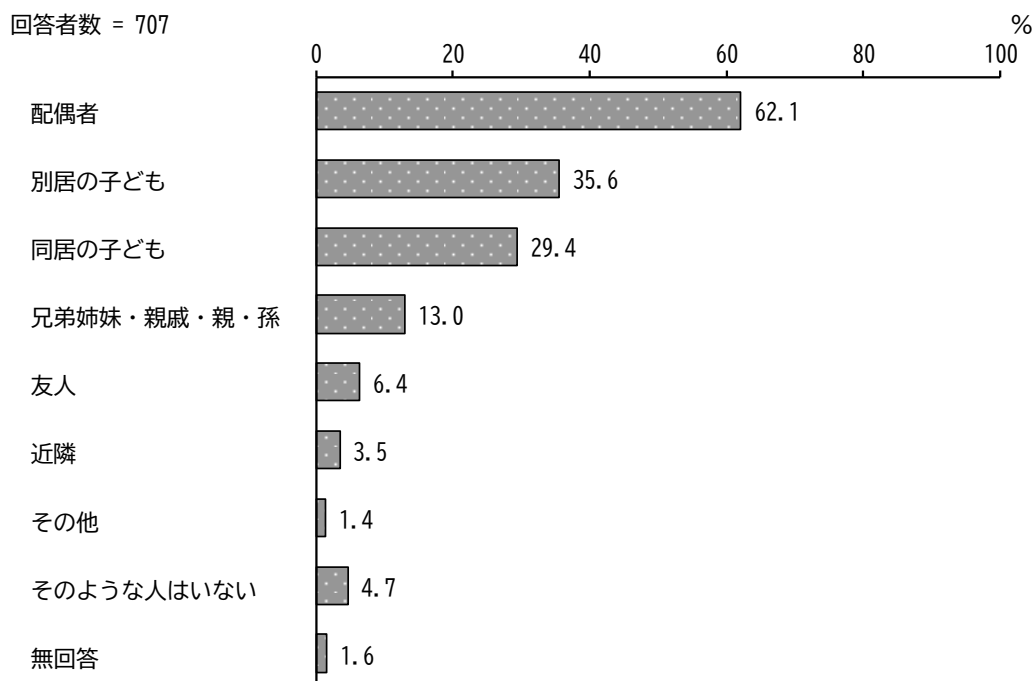
「配偶者」の割合が54.2%と最も高く、次いで「友人」の割合が48.7%、「別居の子ども」の割合が40.0%となっています。



(2) 看病や世話をしてくれる人、あげる人

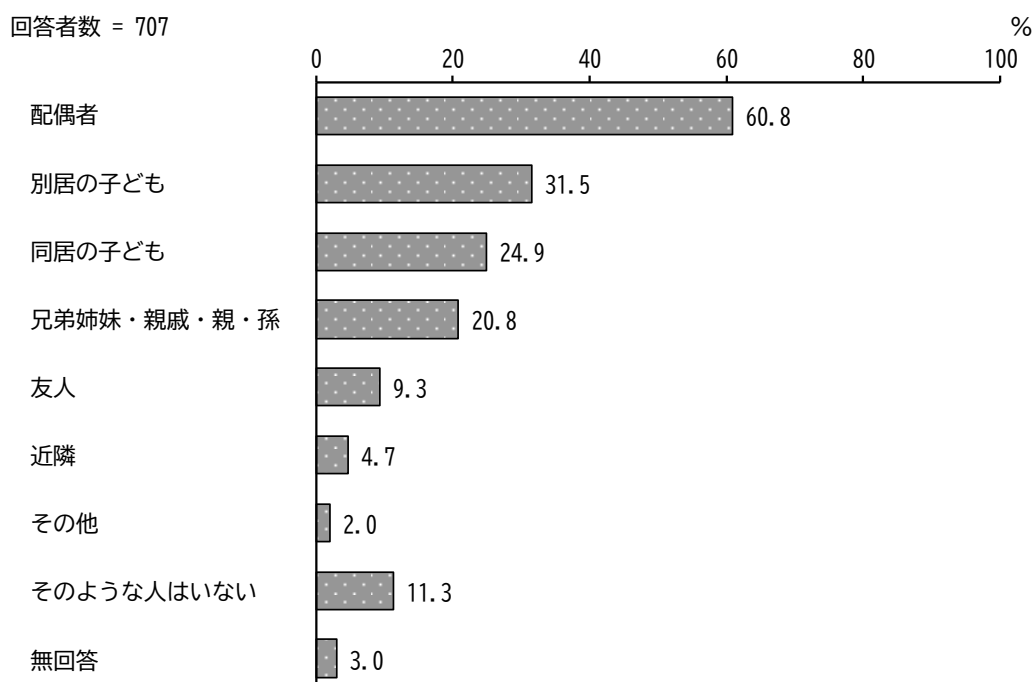
問 57 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

「配偶者」の割合が62.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が35.6%、「同居の子ども」の割合が29.4%となっています。



問 58 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)

「配偶者」の割合が60.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が31.5%、「同居の子ども」の割合が24.9%となっています。

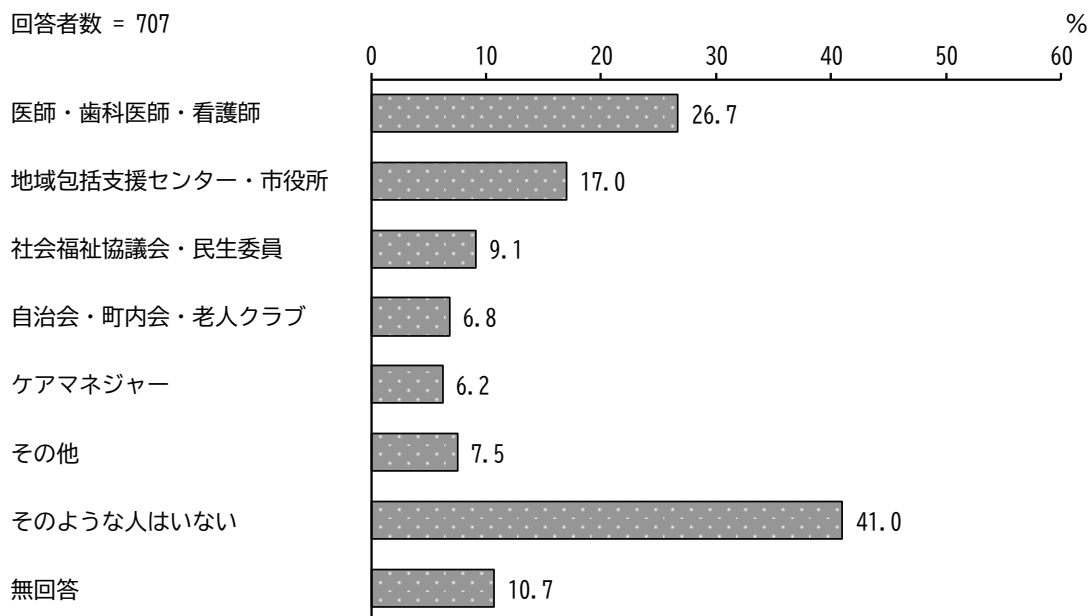


(3) 何かあったときの相談相手

問 59 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

「そのような人はいない」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 26.7%、「地域包括支援センター・市役所」の割合が 17.0%となっています。

回答者数 = 707

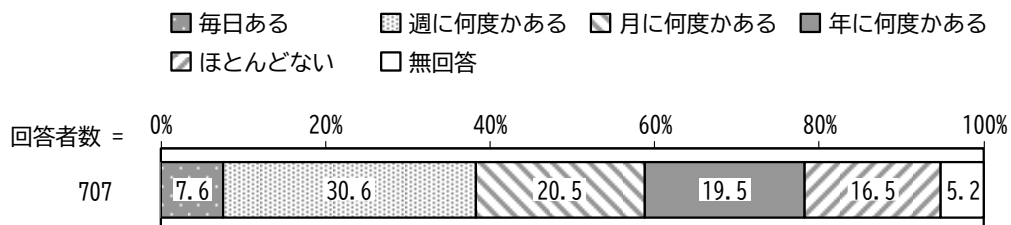


(4) 友人・知人

①会う頻度

問 60 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)

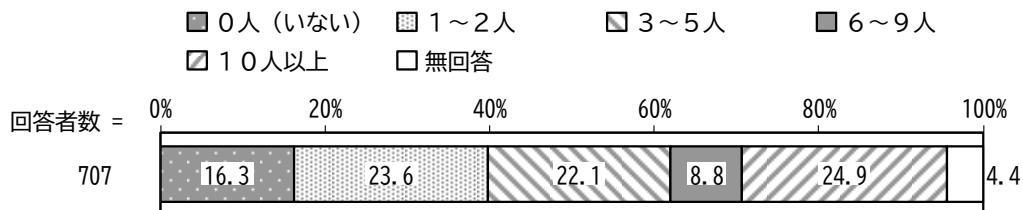
「週に何度かある」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 20.5%、「年に何度かある」の割合が 19.5%となっています。



②人数

問 61 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○はひとつ)

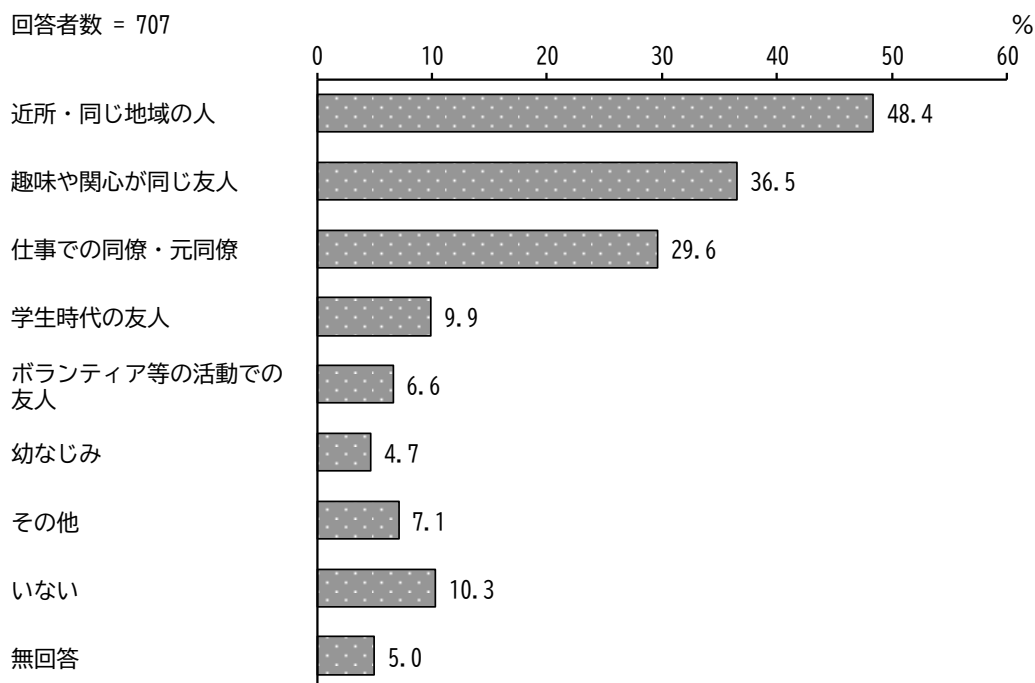
「10人以上」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「1～2人」の割合が 23.6%、「3～5人」の割合が 22.1%となっています。



③友人・知人の関係

問 62 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

「近所・同じ地域の人」の割合が48.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が36.5%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が29.6%となっています。

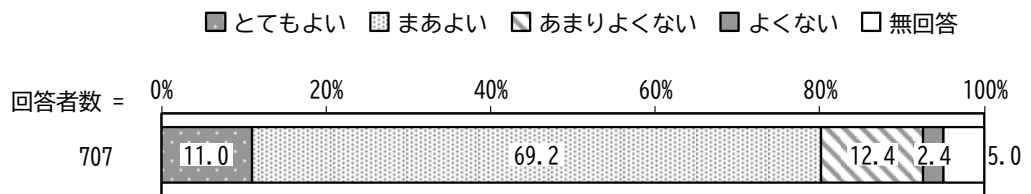


8 健康

(1) 健康状態

問 63 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

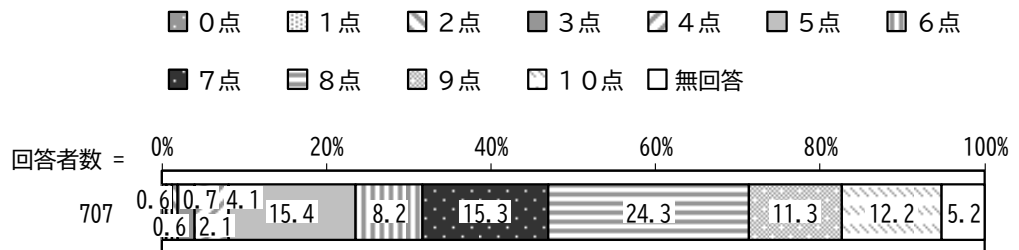
「まあよい」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が 12.4%、「とてもよい」の割合が 11.0%となっています。



(2) 幸福感

問 64 あなたは、現在どの程度幸せですか

「8点」の割合が 24.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が 15.4%、「7点」の割合が 15.3%となっています。



(3) うつ傾向

ア 設問と評価

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

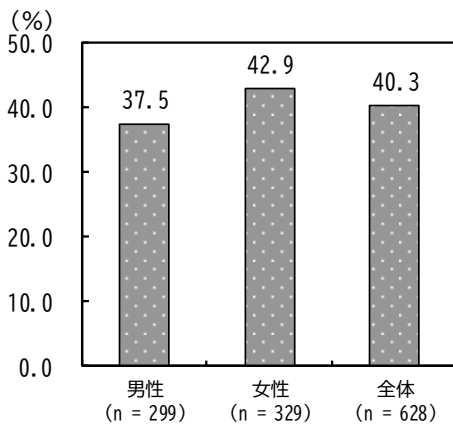
問番号	設問	該当する選択肢
問 65	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 66	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

イ 評価結果

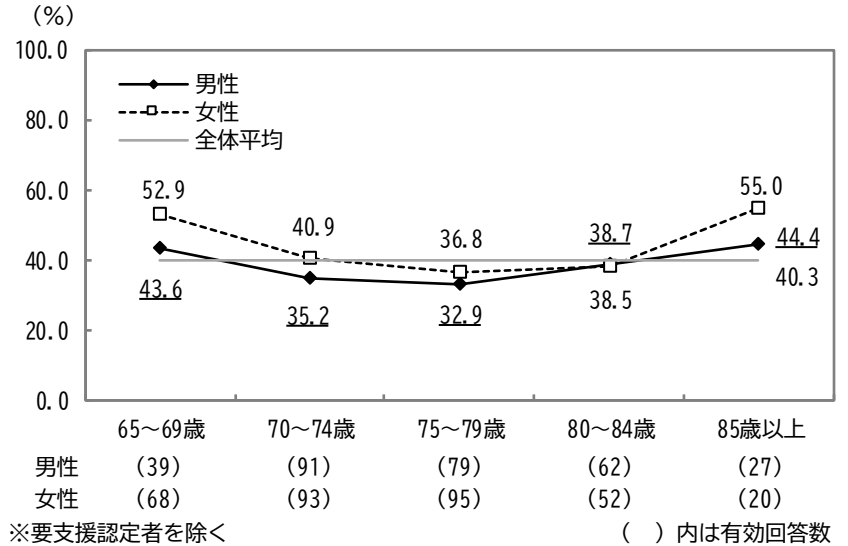
結果をみると、要支援認定を受けていない・事業対象者ではない回答者 628 人のうち、40.3% (男性 37.5%、女性 42.9%) が該当者となっています。女性の方が該当者割合は高くなっています。

性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で若干割合が高くなっていますが、どちらも年齢階級での大きな変化はありません。

【該当者割合】



【性別・年齢階級別】

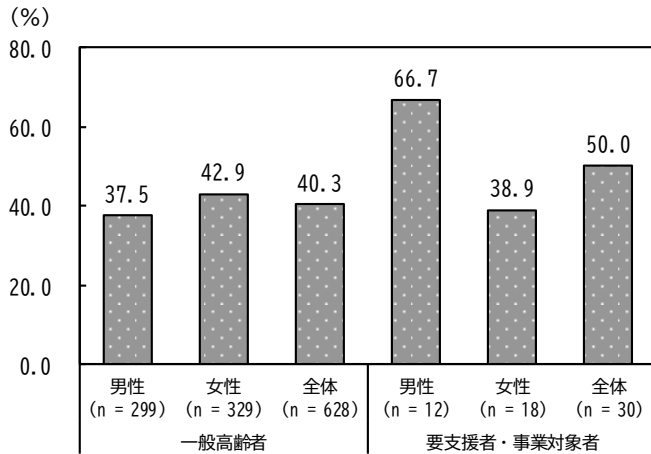


認定状況別にみると、該当者割合は一般高齢者が40.3%に対して、要支援者・事業対象者では50.0%となっており、9.7ポイント高くなっています。

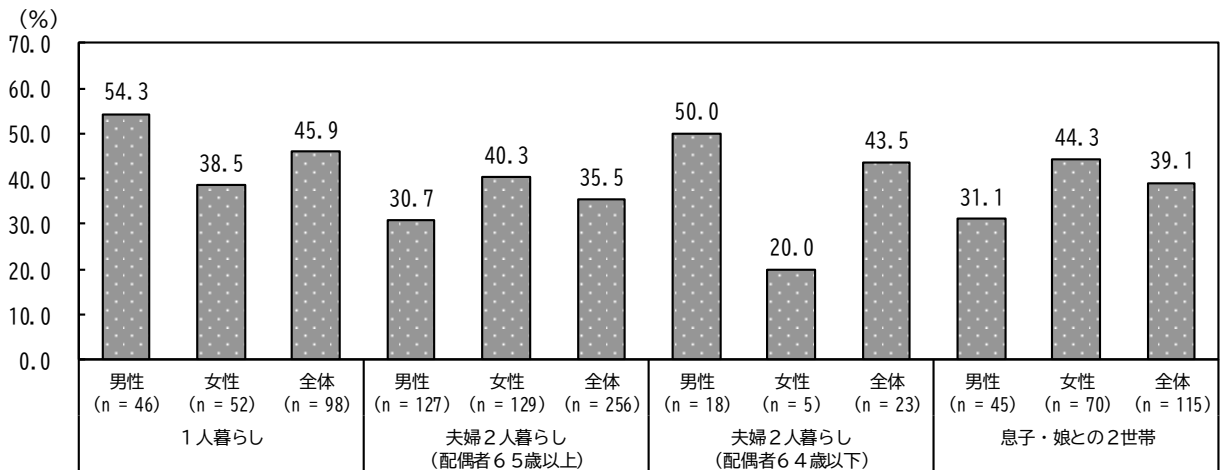
世帯構成別にみると、該当者割合は1人暮らしが45.9%と最も高くなっています。

圏域別にみると、該当者割合は中・南部圏域が44.4%と最も高くなっています。

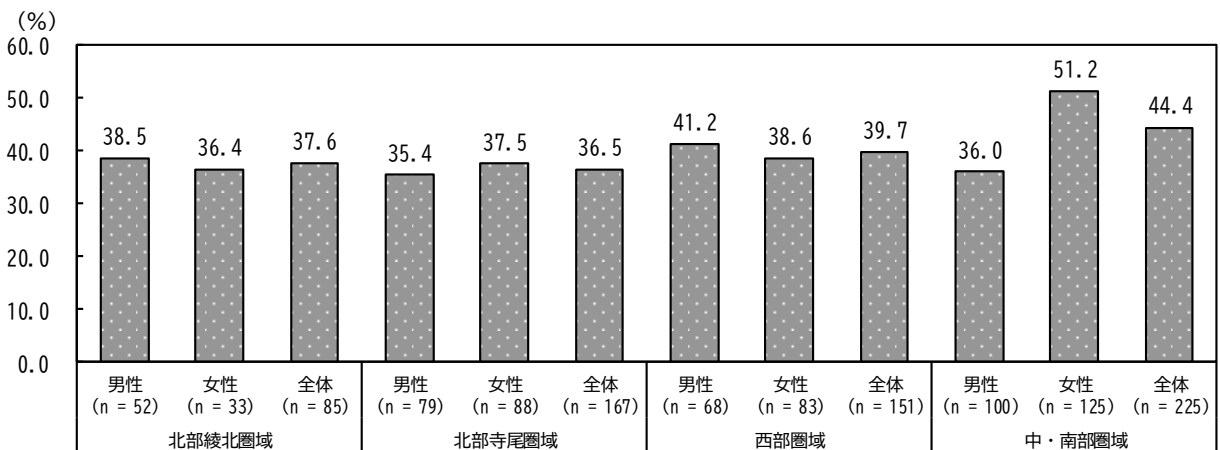
【認定状況別】



【世帯構成別】



【日常生活圏域別】

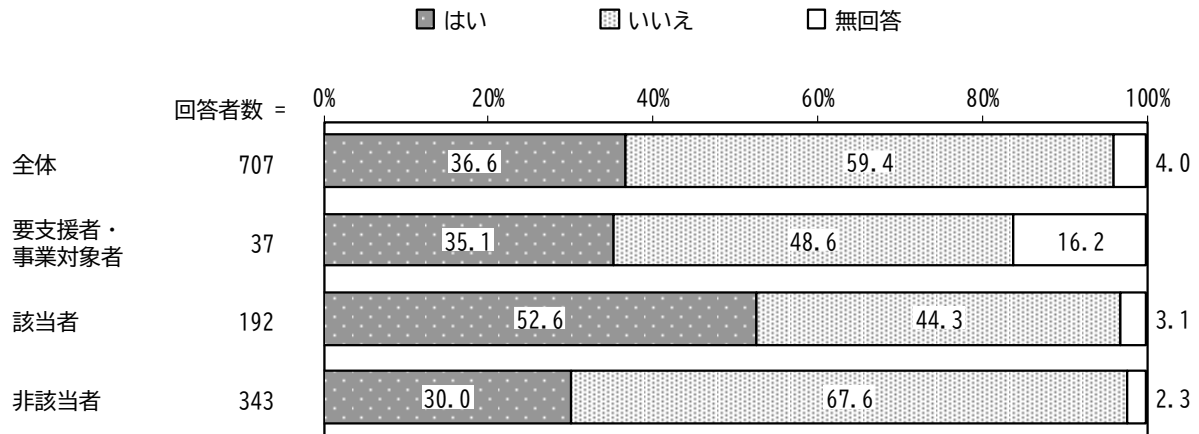


ウ 回答結果

問 65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

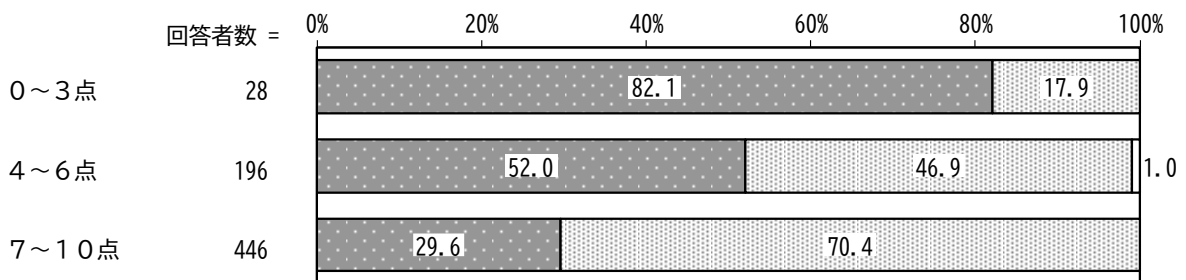
「はい」の割合が36.6%、「いいえ」の割合が59.4%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、該当者で「はい」の割合が、非該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

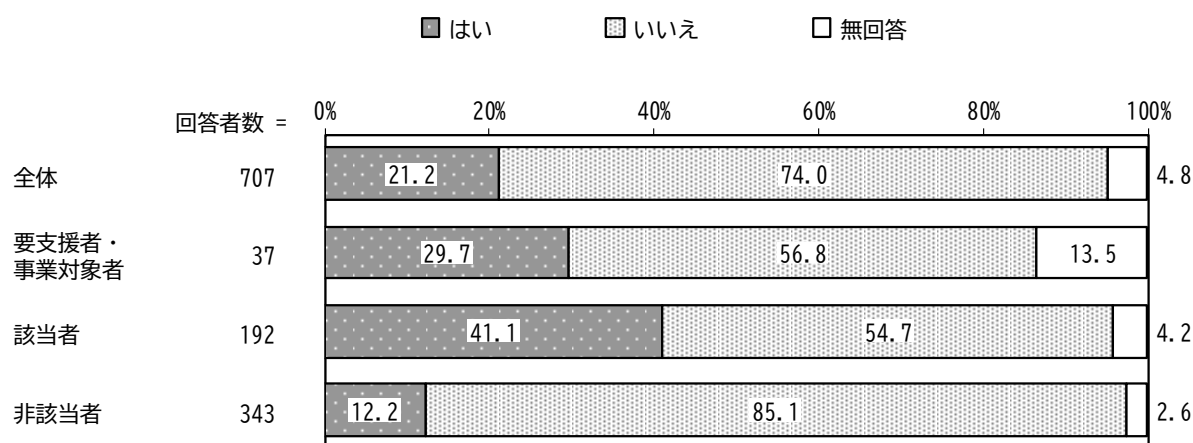
幸福度別にみると、0～3点で「はい」の割合が、7～10点で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 66 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

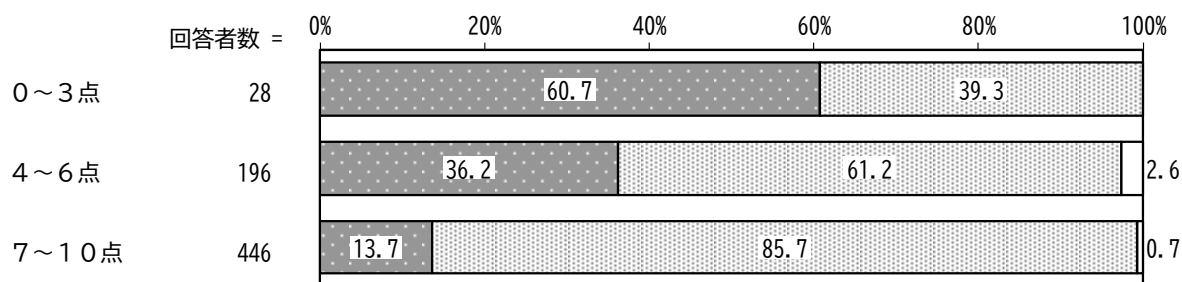
「はい」の割合が21.2%、「いいえ」の割合が74.0%となっています。

該当者別にみると、他に比べ、該当者、要支援者・事業対象者で「はい」の割合が、非該当者で「いいえ」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

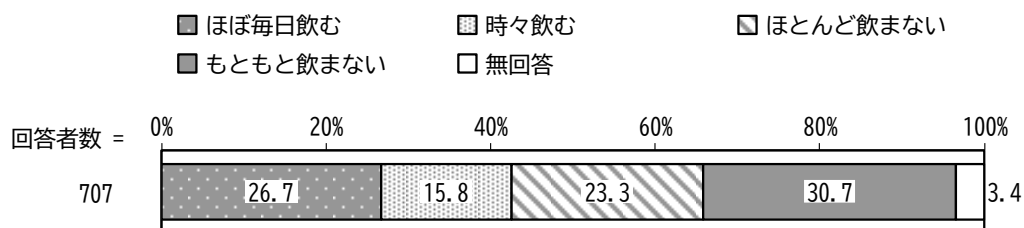
幸福度別にみると、0～3点で「はい」の割合が、7～10点で「いいえ」の割合が高くなっています。



(4) 飲酒習慣

問 69 お酒は飲みますか。(○はひとつ)

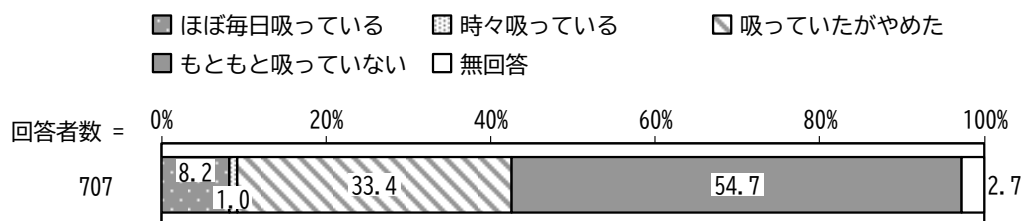
「もともと飲まない」の割合が30.7%と最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」の割合が26.7%、「ほとんど飲まない」の割合が23.3%となっています。



(5) 喫煙習慣

問 70 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

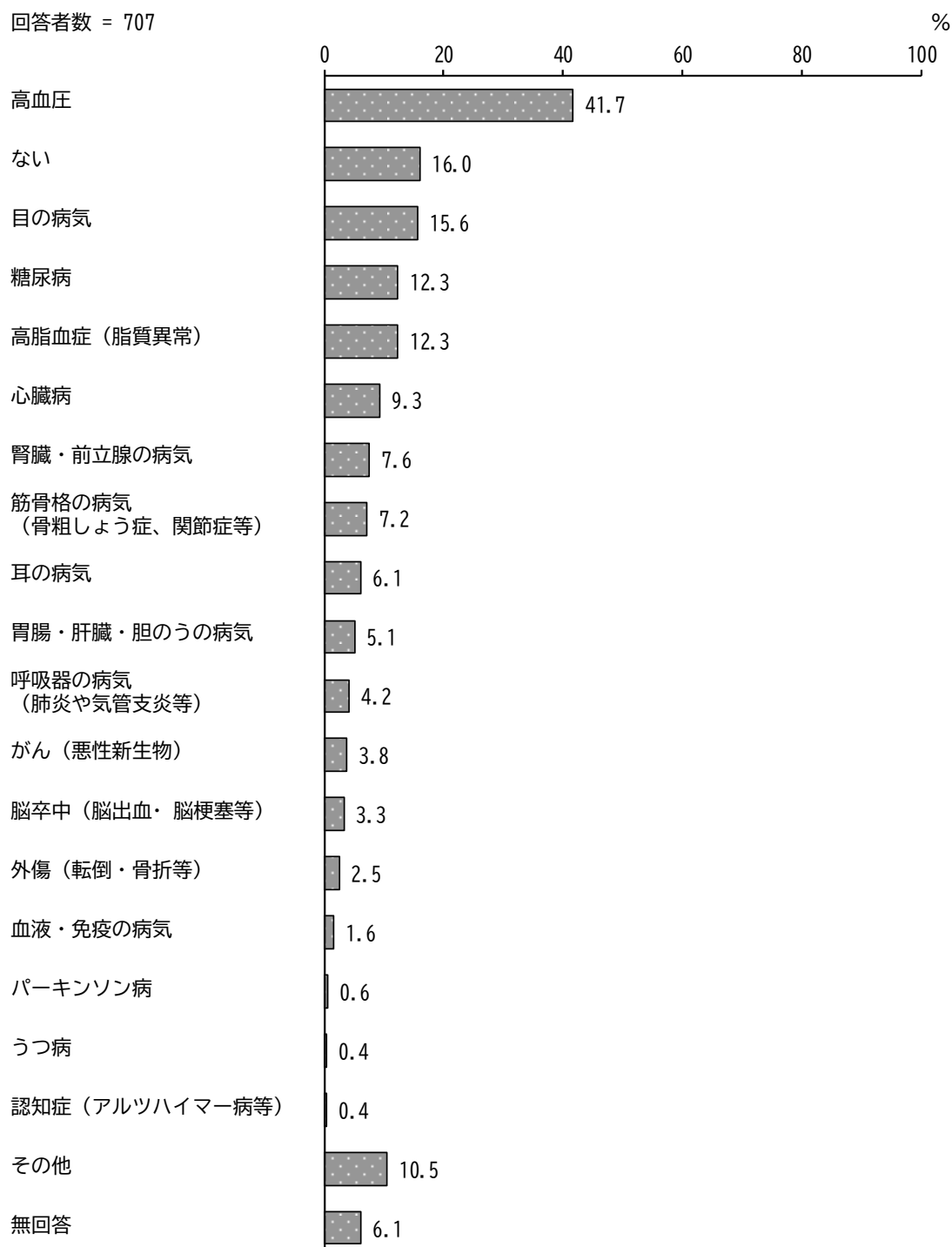
「もともと吸っていない」の割合が54.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が33.4%となっています。



(6) 現在治療中または後遺症のある病気

問 71 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

「高血圧」の割合が41.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が16.0%、「目の病気」の割合が15.6%となっています。

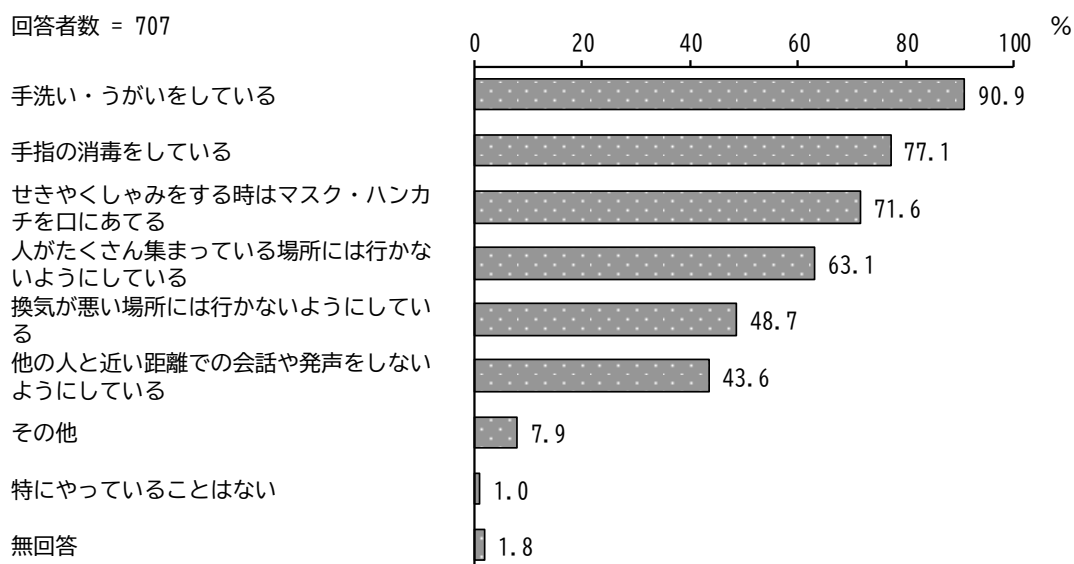


(7) 新型コロナウイルス感染症予防

問 72 新型コロナウイルス感染症予防のためどのようなことをしていますか。
(いくつでも)

「手洗い・うがいをしている」の割合が 90.9%と最も高く、次いで「手指の消毒をしている」の割合が 77.1%、「せきやくしゃみをする時はマスク・ハンカチを口にあてる」の割合が 71.6%となっています。

回答者数 = 707

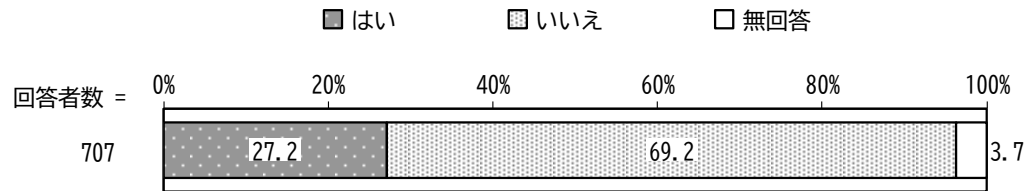


9 仕事

(1) 仕事の有無

問10 現在収入のある仕事をされていますか。(○はひとつ)

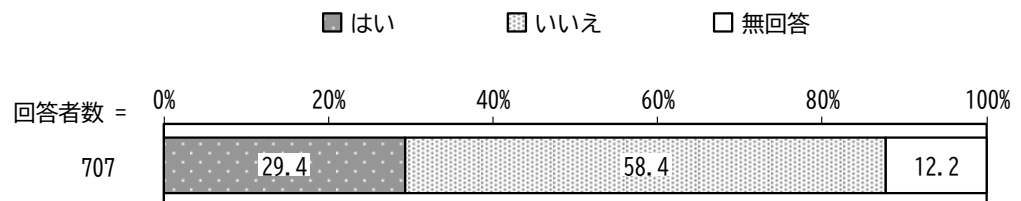
「はい」の割合が27.2%、「いいえ」の割合が69.2%となっています。



(2) 仕事の継続、再就職の希望

問11 今の仕事を継続して続けたい、または、新たにお仕事を始めたいと思いますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が29.4%、「いいえ」の割合が58.4%となっています。

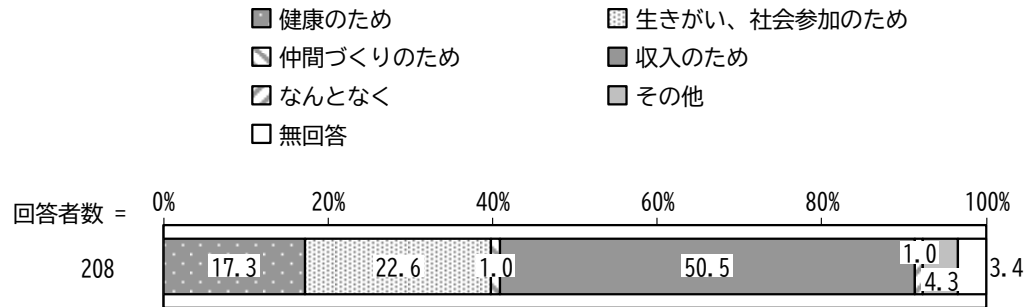


(3) 仕事を継続する、再就職を希望する理由

問11で「はい」とお答えの方におたずねします

問11-1 仕事をしたい、新たに仕事を始めたいと思われる理由は何ですか。
(○はひとつ)

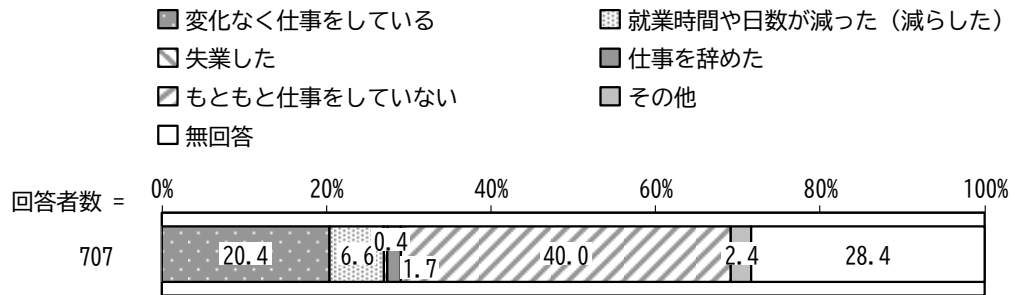
「収入のため」の割合が50.5%と最も高く、次いで「生きがい、社会参加のため」の割合が22.6%、「健康のため」の割合が17.3%となっています。



(4) 新型コロナウイルス感染症が与えた仕事への影響

問 12 新型コロナウイルス感染症の影響で収入のある仕事の状況に変化がありましたか。(○はひとつ)

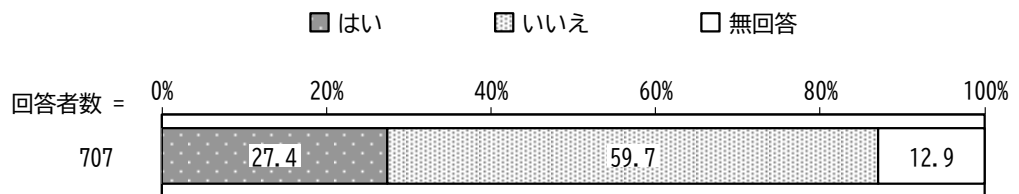
「もともと仕事をしていない」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「変化なく仕事をしている」の割合が 20.4%となっています。



(5) 「アクティブ・シニア応援窓口」の認知度

問 13 仕事やボランティア、地域活動、サークルなど活動・交流の場を紹介している「アクティブ・シニア応援窓口」を知っていますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が 27.4%、「いいえ」の割合が 59.7%となっています。

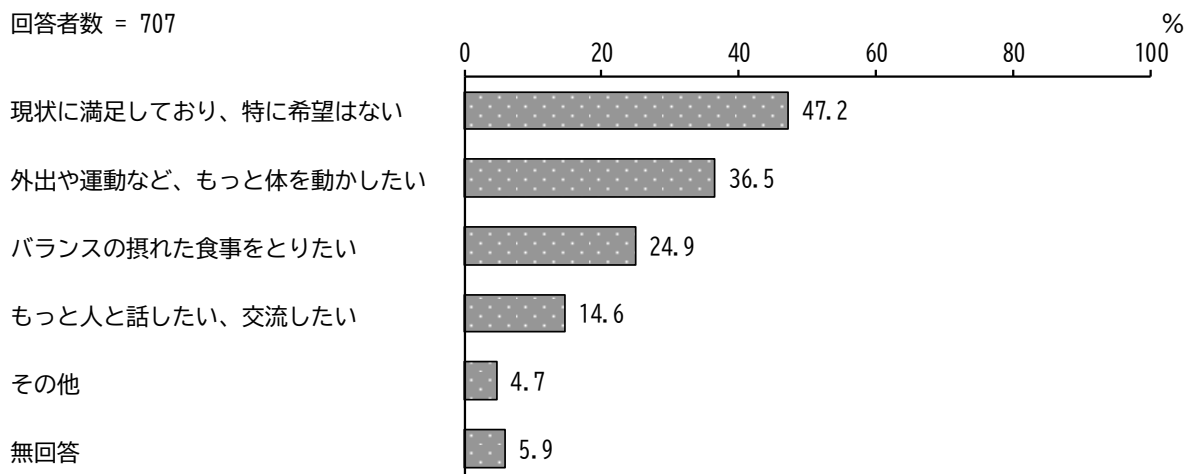


10 今後希望する暮らし

問 75 これからの生活において、心身の健康に関してどのような希望がありますか。
(いくつでも)

「現状に満足しており、特に希望はない」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「外出や運動など、もっと体を動かしたい」の割合が 36.5%、「バランスの摂れた食事をとりたい」の割合が 24.9%となっています。

回答者数 = 707



11 意見・要望

市の高齢者福祉事業等に対して、全体で 125 件のご意見・ご要望が寄せられました。（一部割愛）。内容としては、制度・行政に関することが 68 件、情報入手・提供に関することが 21 件、経済的支援・負担に関することが 11 件、将来への不安・問題に関することが 8 件、アンケート調査に関することが 6 件、その他が 11 件となっています。

〈内訳〉

	分類	件数
1	制度・行政	68
2	情報入手・提供	21
3	経済的支援・負担	11
4	将来への不安・問題	8
5	アンケート調査	6
6	その他	11
	合計	125

（1）制度・行政

- ・退職後、体を動かす事を目的にスポーツをする事を決めて卓球を週4日実施しています。その中で綾北小学校での利用で卓球台が古く5台中1台は壊れて市も認識。残り4台の内2台は老朽がひどく内1台は脚取付不良で練習中足が脚に当たり打撲。交換して欲しい旨スポーツ課に連絡するも計画でやっているのを待つて欲しい返事。見にも来ない、役所仕事です。残念です。
- ・買物や病院等へ行く足（マイクロやワンボックス）を地域の中まで入って利用しやすくしてほしい。コミュニティバスは大通りばかりで利用がほとんどない。（税金のムダだ）大和市はワンボックスで細かい場所まで入ってる。
- ・高齢者だけの集まりはどうなのかな？もっと勉強したいし、知識を深めたいと思っているのですが、何か学習会みたいな集まりに参加したい！
- ・スマホ教室の実施（内容が理解出来ない）
- ・我家にはパソコンがない為ホームページでの連絡等は意味が無い。他に方法が無いものか？
- ・マイナンバーカードの手続き面倒。
- ・緊急時の医療でニーズの高い（脳梗塞、心臓病）専門的な総合病院が市内に欲しいです。
- ・自治会活動を高齢化に合った活動にしてもらいたい。資源回収の立番、毎月の組長集会等。
- ・夫が介護必要となった時、地域包括センターのケアマネさん経由でデイサービス、老健、特養、介護用品レンタル、風呂への手摺付け、訪問介護等、お世話になりました。このようなバックアップがあることは、とても心強かったです。ありがとうございました。
- ・コミュニティバスを利用したいけどバス停までが時間がかかるので一度も利用したことがないので何とかありませんでしょうか。
- ・卓球もウクレレも全て海老名市にお世話になっています。綾瀬は老人会の話しも有りません。
- ・コミュニティバスかわせみの運行が増えてくれると助かります。

- ・音楽会、演劇、映画、講演会等の実施。
- ・年齢を考え、運転免許証の返納を考える年になり考えるに、綾瀬市スポーツセンターは勿論綾瀬スポーツ公園へのコミュニティバスの乗入れを働き掛けてほしい。利用する時間帯だけでも経路に入らないかな。医療機関への経路も必要ですね。働き掛けを希望！
- ・転倒防止等の為、筋力アップを図る設備を公園等に設置していただけたらと思っています。(実例：海老名市三川公園 e t c)
- ・老人に対すること、ケアマネは何の為に居るのか、そうした細かいことがわからない方が多くいらっしやると思いますのでマニュアルがあったらすごく助かると思います。
- ・現在は、介護なしで生活していますが、足が痛い等、年齢を重ねるといろいろな所に故障があり病院に行っても加齢ですねで終り、なのであまり病院には行かないようにしている。市役所の方は、よくやっていただいていると思う。
- ・母が 97 才で、低認知の為、心がまえや対応の指導を受ける事が出来れば、うれしいが。
- ・市による無料コンサートが開催されることが有りますが、もっとその機会を増やしてもらえるとありがたい。
- ・引越して来てまだ 1 年です。近所の方とのふれあいありません。週に 3 日 S S S の仕事をしています。何か趣味的な活動や健康運動等気楽に参加出来る場が欲しいです。私の住んでいる所にはそのような集いや場所がありません。病院も少ないです。
- ・交通機関の無料パスがあるといい。
- ・我々老人若者と一緒に話し合える場所を提供して頂けたら楽しいと思います。
- ・現状では、不自由を感じていませんが、将来は種々お世話になると思います。一人では生きていけないと思います。少しずつ福祉について勉強して、かかわっていきたくと思っています。
- ・市のバスは 70 才以上は無料にしてもらいたい。市に総合病院がほしい。
- ・今は週 5 日フルタイムで仕事をしていますがリタイヤした時に体を動かせる場を相談しに行きます。
- ・高齢者福祉会館内の入浴施設がコロナの為閉鎖になり、友達との交流がなくなり淋しい。早く再開して欲しい。
- ・かかりつけ医矢崎病院に月 1 回通院しておりますが年齢が 88 才になり片道だけでも市のコミュニティバスでも利用出来るようにしていただけたらありがたいと思っております(綾南小学校の近くまでも)。
- ・町内会のゴミ集積場所の管理が、粗大ゴミ・プラゴミ・再利用ゴミの当番は 70 才か 75 才か 80 才かの時免除してくれると有難い。私の意見は 80 才以上は免除。
- ・電動自転車の貸出しをお願いしたい。
- ・コロナ感染症の状況を綾瀬では神奈川版に出ていましたが今頃では人数が出ていませんが、私程は今日何人かを知りたくていますが、誰かが厚木保健課のかんかつだから今では綾瀬だけは出さないと言っていましたけど、住民は自分達の市がどれだけかかっているか心配ですのもう少し市は考えて欲しいです。
- ・綾西地区は交通の便が悪い。海老名駅方面に行くには相鉄バスが本数も多く便利だが、綾瀬市の活動に参加したいと思っても 1 日たった 4 便だけで思うようにいかず、結局参加を見送ってしまうことが多々ある。
- ・市内巡回バス(かわせみ)の増便及びコース、停留所の見直し。・綾瀬市は急な坂の区域があり、高齢者にはキツイ坂になっています。坂の途中で休む所(ベンチ)があると助かると思います。

- ・市役所周辺に行くのに、バスをふやしてほしい（相鉄等も）。
- ・義母が施設に入る時に、大変だったのでスムーズに入れる様になれば良いと思った。もう亡くなりましたけど。
- ・心配ごと相談（日常の不安・これから先の事）などをすぐ相談にのってくれる体制を作って欲しい。近所の高齢の人がご主人がなくなり不安が沢山あるのに、すぐ対応してくれない！
- ・少子高齢化の波が押し寄せ、地域でも高齢者が多くなっている。私の住む地域は坂が多く、皆さん買物が大変な様子。カート（買物）を押し何とかゆるい坂を捜しながら歩いている。（スーパーが近くにあるからまだ良いのかもしれないが。）一人住いで頑張っている方々に何か手を差し延べる方法はないか考えてほしい。
- ・交通の便が悪いので（特に吉岡地区）循環バスを通して欲しいです。よろしくお願い致します。
- ・南部ふれあい会館で3ヶ月程前高齢者向けのこうぎがありました。又お願いしたいです。
- ・市バスの本数を増やして欲しいです。
- ・団地内での一人暮らしで、民間の食材運搬車がいくつか通っています。いずれ買い物難民になりますが、空き家も増えており利用方法を考えてほしい。たとえば駐車場を利用してのスーパーの（ローゼン、イオン他）車での生活品が出れば少しはいいのではと思う。
- ・なんなりと気軽に相談できる窓口があると助かります。
- ・私自身は現在、何とか調査に返答できますが・・・、実際交わっている家庭について書かせてもらいます。ご夫婦共、何とか日常生活はしていますが、行政の手続き、他諸々の書類の記入、判断、日常の困り事の判断が難しくなり、個人的に交わっていますが、自分達からは行政等には相談は嫌がります（民生委員等も同様）。市内にそういった家庭について、どれくらい把握されているのでしょうか？
- ・公共交通機関の充実を計って欲しい。
- ・近くにスーパーが欲しい。
- ・一人暮らしになった時、近くの福祉会館を利用する場所があるといい。福祉事務所、寺尾。老人は車がないので。
- ・高齢者が気楽に楽しめる場所がもっと近くにあるといいと思います。
- ・私は67歳で独居ですが、今の所趣味もあり、運転もできまあゆとりがある生活をしています。近居の子供、孫達もいて交流もあり何かあれば手助けをしてくれると思いますが、出来るだけ自分の力で生活を続けたいと思っています。パソコンはなかなか使いこなせませんが、スマホで簡単に食材を注文、配達してくれる所が増えると安心です。将来動けなくなったら、ヘルパー等公的な機関を利用して在宅で看取りまでして頂きたいと思っています。あと10年、そういうサービスが充実してくれるとうれしいです。
- ・相鉄ストアが閉店し、買い物がたいへんです。今は運転出来ますが、ほとんど主人がいる時の運転で一人の時はあまりしません。
- ・少子高齢者増の時代、子どもと高齢者の交流事業があってもよいのでは。異なる部、課を越えた活動の検討を。
- ・介護をする家族が軽易に相談等できる窓口等があるとうれしい。
- ・高齢者が行事に参加するためのネックは移動手段です。コミュニティバスの増発、路線増など便利に利用出来る事（病院だけでなく）。開催場所を分散して移動しないで参加出来る方策など。多種類、少人数での開催。
- ・介護保険を利用している若年層が通いやすい機能訓練型デイサービスがあったらリハビリを継続しや

すいと思います。

- ・病気の場合に総合診療クリニックが最近あるように、高齢者に対して安心できる老後の施設を多くつくって欲しい。
- ・アクティブシニアに登録しているが、近ごろ出番がない（社会福祉協議会と重複しているのでは？）
- ・今年2月～5月神奈中バスのサブスクでほぼ全路線を走破した東京のパス（老人）があるところは高齢者の利用が多かった。外出機会を多くするには交通手段の見直しをすべきではないか。神奈中や相鉄バスの車庫が市内にあり、これを活用すべき。
- ・近隣すべての市町村でコロナ対策商品券を発行したが、買い物の外出機会を増やすためにも制度を設けるべき。
- ・市内の循環バスを通して頂きたい。各スーパーを廻るのに乗り替えなければいけないので。何科でもある総合病院を造って頂きたい。現在の厚生病院は科が少ないので。
- ・これから高齢になって色々な面で問題がでてきた時に、自分自身の心構えと周りの方のサポートで安心して心穏やかに過ごせる事ができれば最高ですね。
- ・一人暮らしの人への定期的な安否確認システムの確立を望みます。
- ・バス等の運行を充実させて欲しいです。市の体育館（ジム等）に行って運動したいのですが、交通手段がない為、できないのが残念です。
- ・現在はまだ大丈夫ですが、将来は病院行のマイクロバス等が運行して、利用できたら良いと思っております。費用等は支払したいと思っております。
- ・老老介護になり大変な時があります。介護の時の手軽に相談ができる所を増やしてほしい！
- ・なるべく施設に入らず、自宅で自由に暮らせるようヘルパーさんの利用を充実できることを望んでいます。
- ・おふろを始めてほしいです。よろしくお願いします。まちどおしいです。よろしくお願いします。介護が必要ななったら、老人ホーム（特養）に入りたいです。
- ・高齢者が行動しやすいよう、移動手段を整備してほしい。綾西地区を例にとれば、移動手段を持たない高齢者の大半の買い物先は、近い綾瀬より遠いが交通網の整備された海老名であり、心は海老名住民です。
- ・私が住んでいる隣近所を見ても高齢者の方が多い。すぐ近くに綾北小学校があり、そのもう一つの校舎があまり使用されていないように見受けられます。その教室で体操教室をやっていただけないものか、近くだったら参加したいという話をたびたび聞きます。
- ・日常の買物や病院に行くのに自家用車が無くても用はたせない。歩道が少ない。バスも少ない。
- ・レインボー体操に参加したかったので、再開してほしい。

（2）情報入手・提供

- ・このアンケートで“地域での活動”が色々ある事を知りました。もっと普及されると良いのではないかと、思います。
- ・市役所、病院など最近車をやめたため、自転車で行く様になりましたが雨とかの時、バス利用したいのですが、時間とか、利用方法がはっきり知りたいたいです。宜しくお願いします。
- ・広報だけの情報であり事業の内容が理解出来ない。市役所という壁があり、相談しにくい。地域事の相談員の方がどんな人でどんな行動をしているかわかると良いと思います。自治会の方は、良くやっていると、思います。

- ・エコノミーバスを走らせて下さい。買い物に困ってる方が多い。落葉が多いので（道路）滑る。その時病院に行った際の治療費は役所で出してくれるのですか？広報で知らせて下さい。
- ・市の高齢者福祉事業についてあまり知りません。まずは事業の内容を知る必要があると思います。
- ・コロナ禍もあって、地域で福祉、介護知識、障がいなどの理解についての啓発研修が激減しています。参加人数を制限しても再開できればありがたいです。また個人を特定されない範囲での貧困、生きづらさについて地域の現状を知りたく思います。
- ・相談窓口、応援窓口の一覧表（一目でわかる）の配布。
- ・自分が動き回っているのに市の色々の事業はまったくわかりません。
- ・ゴミ出し（戸別収集もしているようだが）に困っている人もいるのもっと周知してほしい。
- ・市の高齢者福祉事業自体について、何をしているのか、良く分からない。交通網、総合病院等が不備、不足にて高齢者には住み良い街とはいえないと思う。
- ・特にありません。ただ、どんな内容をしているのかをわかりません。
- ・普段日本舞踊を習っています。施設等に慰問の機会があれば連絡下さい。
- ・大手の市は高齢者施策のポスターを作成していた（10月頃）。広報を活用すべきである。
- ・認知症に関してもっと知識を知りたい。
- ・家の中、やる事いっぱいなので手助けする方法、その様なことがあればゆっくり落ち着けるようになりたいので、教えて下さい。
- ・介護施設を利用するにはどうしたらよいですか？
- ・福祉事業の内容を知らない。
- ・自分や配偶者が介護が必要となった時、本当に福祉事業者に介護を受けられるのかどうか、よく分からない。
- ・安否確認、黄色のハンカチ活動が広報誌などに記載もなく、ハンカチを毎月第2、第4日曜日に出すというシステム？事業について、広報や行政で何か市民に詳細な連絡がほしい。
- ・情報が少なすぎ！！コロナにしても地域がどうなっているかすら判らない。
- ・高齢課の窓口で解らない事があった時、私達に解りやすく説明してくれたら助かります。どの様な福祉事業があるのか等。

（3）経済的支援・負担

- ・介護保険料負担減で。
- ・年金が少なくなりたいへんです。年寄り、お金持ちばかりではないです。税金に持っていかれます。
- ・わかりません！今後、収入がなくなった時の事が不安です！
- ・高齢者で収入の少ない者に対して税金が多い。
- ・介護保険料高過ぎる。健康保険1割→2割、きつすぎる。
- ・老人クラブの役員をしていますが、老人クラブの助成金を増額して欲しい。
- ・年金だけでは生活ができないので、市営、県営住宅などはいれるようにしたいと思っています。
- ・認知症になる前、健康に生活できる体など予防の講習会があると参加してみたいと思います。
- ・綾瀬市にも安くて入居出来る施設を作してほしいです。年配者の方とお話していると、お金が無いのにどうしたらよいのか心配されている方々がいらっしゃいます。私も同感です。宜しく願い致します。
- ・主人がパーキンソン病で要介護2で世話になっており、有りがたく感じています。11月より病院代が

2割になり、今、月に1度4つの病院に通い費用が倍になり、今はどうにか払えるけれどこれがいつまで払えるのか考えたらとっても不安です。助けてほしい！

- ・高額な税金を毎月納めているが苦しい生活をしている人をもっともっと助けて下さい。

(4) 将来への不安・問題

- ・現在一人住まいの 88 才の男性老人です。今のところ週に4回以上の卓球をしておりますが将来が心配です。なるだけ健康で長生きしたいのですがこれからの人生にどのような対応したらよいか模範になる様な事があれば教えて頂きたいです。
- ・将来、老化が進んだ時に、どの程度、公的なものに頼れるのか。又、個人的に自分でやらなければならないのか不安が多い。特に、経済的な面。ある程度見通しがつく情報があればなと思っています。
- ・今後高齢になり、介護等必要になり、自宅の生活が出来なくなった場合、具体的行動として身の処し方に不安がある。金銭的管理、財産的管理も具体的方策が見えない。市役所での相談窓口があるのかも不明！
- ・現在は運転出来ていますので健康で楽しく過ごせていますが、免許返納後、買い物、病院等の事が心配です。
- ・現在は車の運転は出来ていますが、できなくなった時、主人の通院をどうしようと不安です。
- ・家事いっさいをまだやっています。年々きつくなってきたと感じてはいますが、動けているのが花なのか、先がよめません。ささいな事でも話を聞いていただける場所であってほしいと願っております。
- ・今後高齢者が増え、介護施設、介護士さん等々の不足に不安です。
- ・酸素吸入をしており、食事を少しとりあとは寝ているかいすに座っているかで、そうじ、洗濯、買物、食事、トイレの階段の介助、などすべて夫にやってもらっています。もし夫がいなかったら心配です。

(5) アンケート調査

- ・アンケートなので、用紙は、コピー用紙でよいのでは。
- ・何を目的に調査なさっているのでしょうか。認定の確認でしょうか。
- ・年齢的には後期高齢者ですが、年齢にかかわらず人はそれぞれです。今後の事は分かりませんが今回のアンケートに記入しながら、何だか悲しい気持ちになりました。
- ・コロナ下、外出や交流などが普段の状況と違っており、回答が本来のものとなっていないものがあります。
- ・公務員による個人情報流出に不安あり、万全の対策の詳細不明。セキュリティーポリシーもアンケートに添付して欲しい。
- ・無記名にしないと書きづらい質問があるアンケートだなと思いました。問 71 のことです。個人情報ですからね。アンケートに回答すると後からQUOカードとか送ってもらえるとうれしいです。

(6) その他

- ・特に今のところありません。綾瀬市に住んで間もなく 55 年、これから地元になんか貢献したく考えています。
- ・耳がきこえにくいため電話での対応が出来ない。
- ・私は人生の最期を迎えるまでは、病院に掛かることは、したくないと考えておりました。その為といいますが、体を造ることで健康体に向けて鍛えて来たのです。今その効果が現れ私をして抜群の安堵の内に高齢期を生きることが出来たのです。以上。
- ・家の中で身体を動かす等の機会があれば。たとえば、スマホ等を使って出来る事が有れば良いですね。車に乗って行く事が、困難に成った時に、そなえて。
- ・特にありません。現在仕事をしている為ただあまり市の世話には特にない。体が続くかぎり自分で行動すること。
- ・新聞はとっていないので、読まないが、テレビ、ネットでニュースを見たり、読んだりする。友人とリアルでは会わないが、毎日、F B、L I N E、メールなどネットで会話している。ネットに配慮が行っていないのは遅れている認識だと思う。
- ・あまり高齢者あつかいはやめてほしい。普通に話せる人がいい。
- ・現時点では、自分でジムに通えているので良いと思っています。通えなくなれば、いろいろお世話になると思います。家内はグランドゴルフで地域の人々にお世話になっています。
- ・自動車の運転をしています。もうやめよう、もうやめようと思いながら乗っています。43 年も乗っていると、生活の一部で、買物や、友人との付き合い、スポーツ参加等、必要でやめられません。
- ・今の所、頸椎、腰椎、股関節の痛みを感じながら仕事（家事を含む）をしているので、度をこさないようにと過ごしています。病院に通院しながら。
- ・今は車を運転していますが、この先できなくなった時、外出がやりにくくなり行動範囲がせまくなり、家にこもったら困ると思う。以前の病気の為長く歩けないので良い外出方法があると良いと思います。

IV 在宅介護実態調査

IV 在宅介護実態調査

1 回答者属性

(1) 年齢構成 (男女別)

【アンケート結果】

単位：人 (上段)、% (下段)

	65～74 歳			75 歳以上							無回答	全 体
	65～ 69 歳	70～ 74 歳	計	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95～ 99 歳	100 歳 以上	計		
男性	12 4.2	29 10.2	41 14.4	65 22.8	71 24.9	68 23.9	28 9.8	4 1.4	0 0.0	236 82.8	8 2.8	285 100.0
女性	10 2.7	28 7.4	38 10.1	42 11.1	99 26.3	108 28.6	45 11.9	32 8.5	5 1.3	331 87.7	8 2.1	377 100.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	3 100.0
全体	22 3.3	57 8.6	79 11.9	107 16.1	170 25.6	176 26.5	73 11.0	36 5.4	5 0.8	567 85.4	19 2.9	665 100.0

(2) 要介護度 (男女別)

【アンケート結果】

単位：人 (上段)、% (下段)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答	全 体
男性	2 0.7	4 1.4	100 35.1	103 36.1	36 12.6	24 8.4	14 4.9	2 0.7	285 100.0
女性	2 0.5	6 1.6	144 38.2	108 28.6	44 11.7	47 12.5	19 5.0	7 1.9	377 100.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
全体	4 0.6	10 1.5	244 36.7	213 32.0	80 12.0	72 10.8	33 5.0	9 1.4	665 100.0

(3) 年齢（要支援・要介護度別）

【アンケート結果】

単位：人（上段）、%（下段）

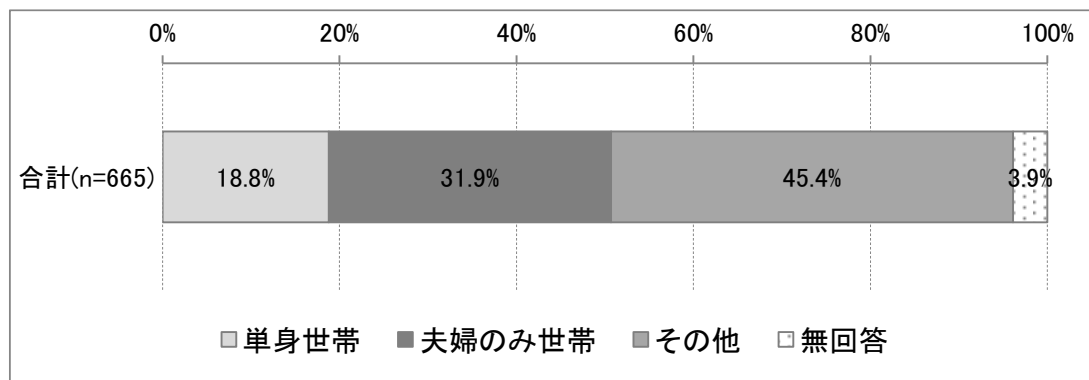
	65～74歳			75歳以上							無回答	全体
	65～69歳	70～74歳	計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計		
要支援 1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	4 100.0
要支援 2	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 80.0	0 0.0	10 100.0
要介護 1	8 3.3	18 7.4	26 10.7	41 16.8	68 27.9	72 29.5	26 10.7	7 2.9	0 0.0	214 87.8	4 1.6	244 100.0
要介護 2	7 3.3	16 7.5	23 10.8	34 16.0	62 29.1	52 24.4	25 11.7	7 3.3	2 0.9	182 85.4	8 3.8	213 100.0
要介護 3	5 6.3	8 10.0	13 16.3	12 15.0	19 23.8	16 20.0	6 7.5	9 11.3	1 1.3	63 78.9	4 5.0	80 100.0
要介護 4	0 0.0	9 12.5	9 12.5	10 13.9	11 15.3	22 30.6	10 13.9	7 9.7	1 1.4	61 84.8	2 2.8	72 100.0
要介護 5	0 0.0	4 12.1	4 12.1	7 21.2	3 9.1	9 27.3	4 12.1	4 12.1	1 3.0	28 84.8	1 3.0	33 100.0
無回答	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 22.2	2 0.0	0 0.0	7 77.7	0 0.0	9 100.0
全体	22 3.3	57 8.6	79 11.9	107 16.1	170 25.6	176 26.5	73 11.0	36 5.4	5 0.8	567 85.4	19 2.9	665 100.0

2 本人（介護を受ける側）の状況

(1) 世帯類型

ご本人の世帯構成は、全体では、「その他」の割合が最も高く 45.4%となっています。次いで「夫婦のみ世帯（31.9%）」、「単身世帯（18.8%）」となっています。

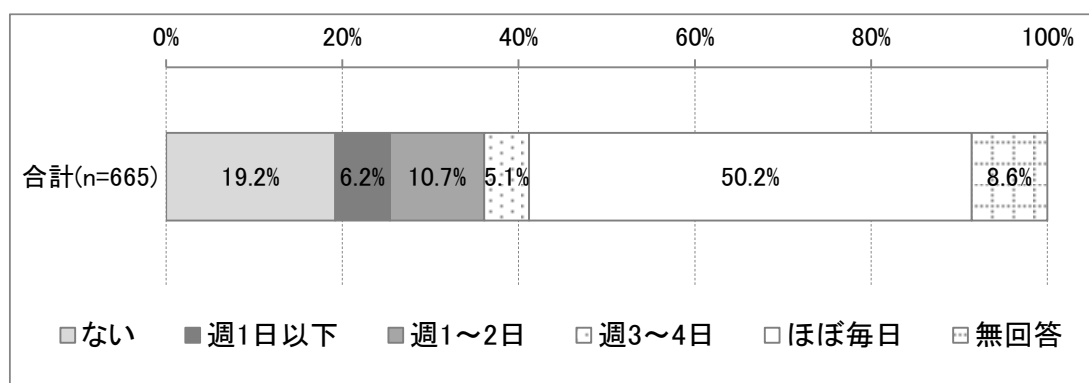
図表 問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）



(2) 家族や親族からの介護

家族や親族からの介護があるかについては、「ほぼ毎日」の割合が最も高く 50.2%となっています。次いで、「ない（19.2%）」、「週1～2日（10.7%）」となっています。

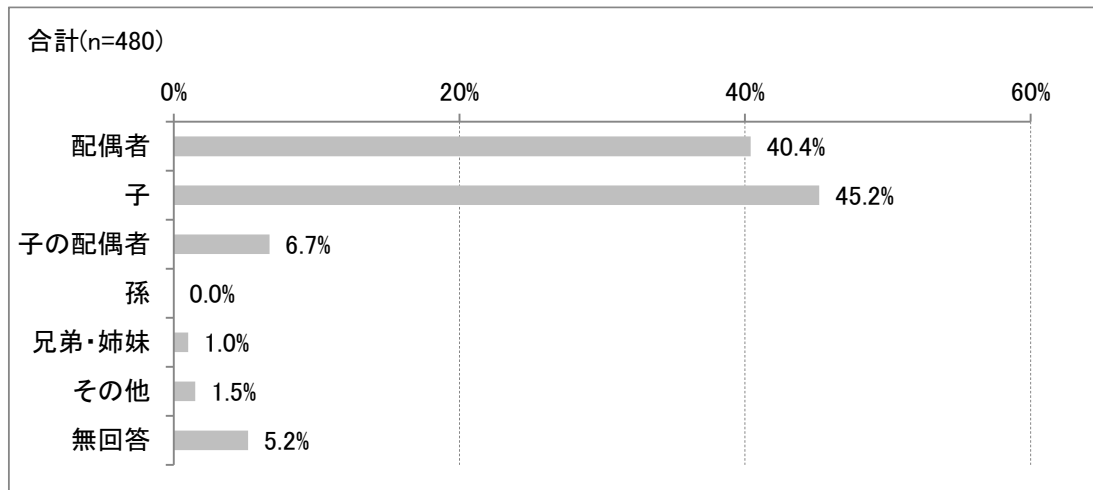
図表 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



(3) 主な介護者と回答者の関係

問2で「ない」以外を回答した 480 名を対象に、主な介護者と回答者の関係についてみると、「子」の割合が最も高く 45.2%となっています。次いで「配偶者(40.4%)」、「子の配偶者(6.7%)」となっています。

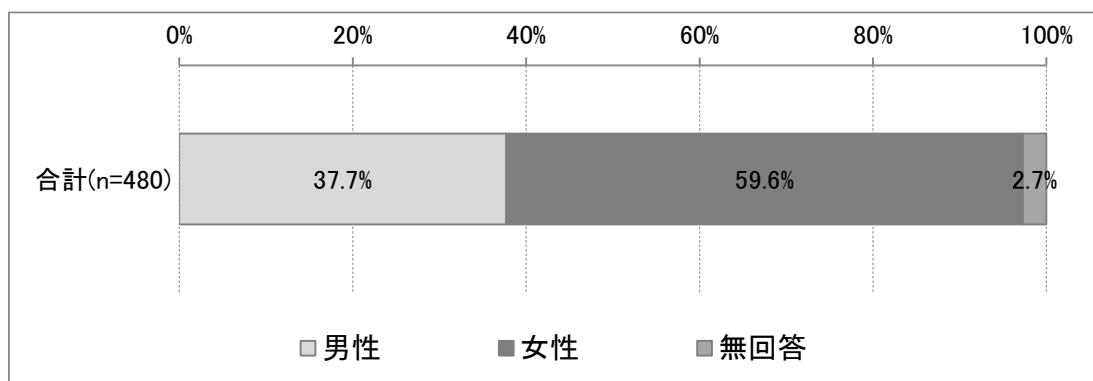
図表 問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)



(4) 主な介護者の性別

問2で「ない」以外を回答した 480 名を対象に、主な介護者の性別についてみると、「女性」の割合が最も高く 59.6%となっています。次いで「男性 (37.7%)」となっています。

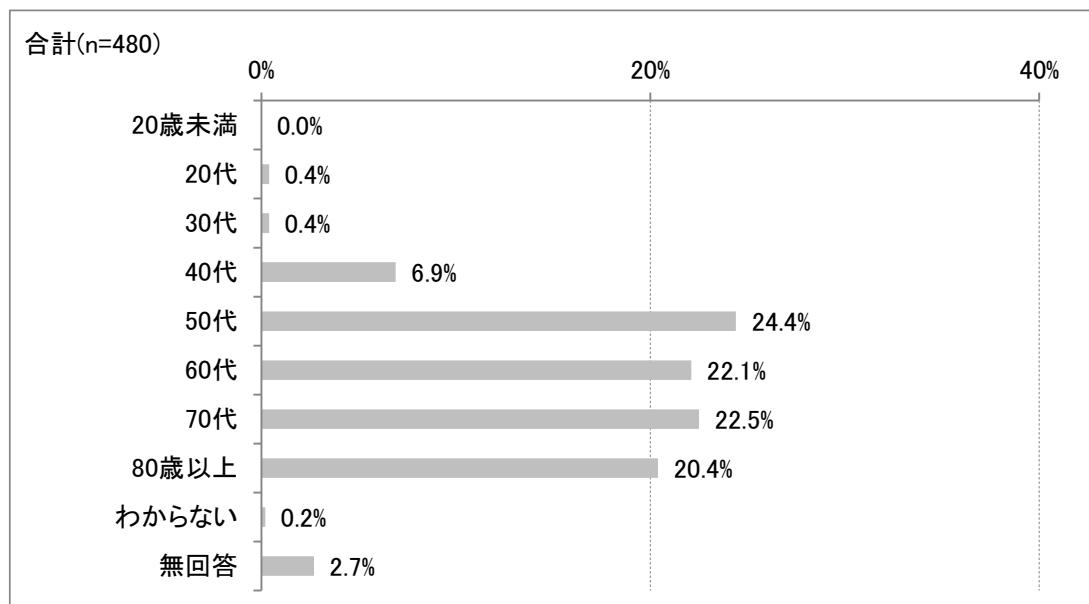
図表 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)



(5) 主な介護者の年齢

問2で「ない」以外を回答した 480 名を対象に、主な介護者の年齢についてみると、「50代」の割合が最も高く 24.4%となっています。次いで「70代 (22.5%)」、「60代 (22.1%)」となっています。

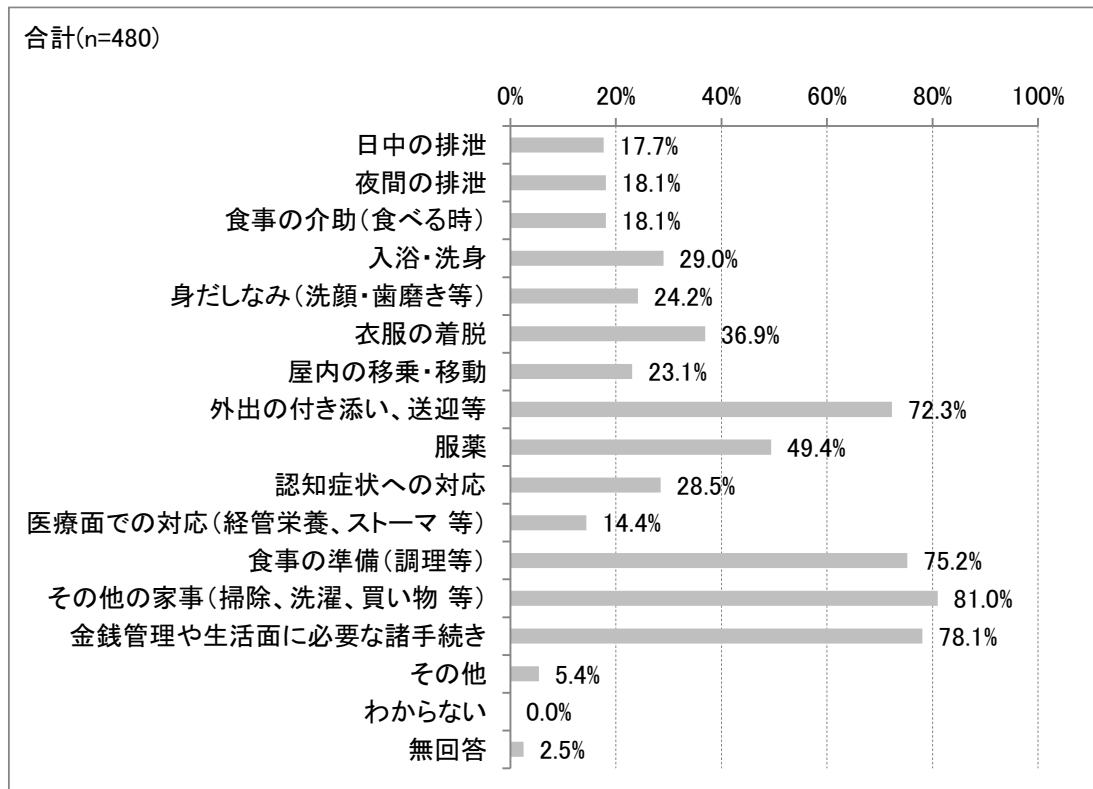
図表 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)



(6) 主な介護者が行っている介護等

問2で「ない」以外を回答した480名を対象に、主な介護者が行っている介護等についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く81.0%となっています。次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（78.1%）」、「食事の準備（調理等）（75.2%）」となっています。

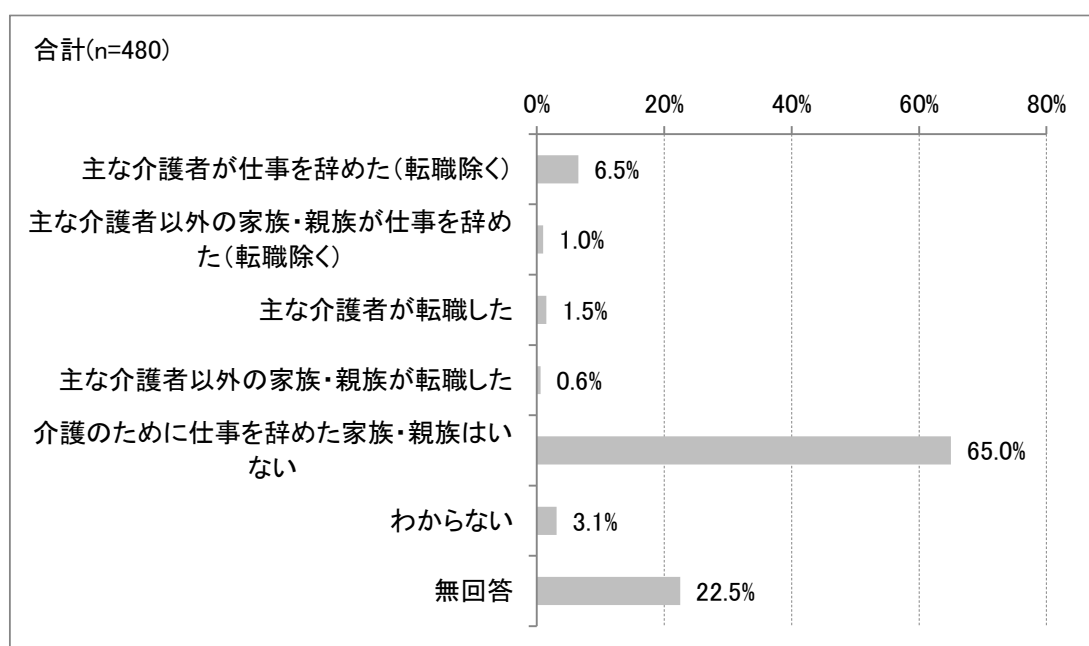
図表 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(複数選択可)



(7) 介護を理由とした退職

問2で「ない」以外を回答した480名を対象に、ご本人の介護を主な理由として仕事を辞めた方がいるかについてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く65.0%となっています。次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(6.5%)」、「わからない(3.1%)」となっています。

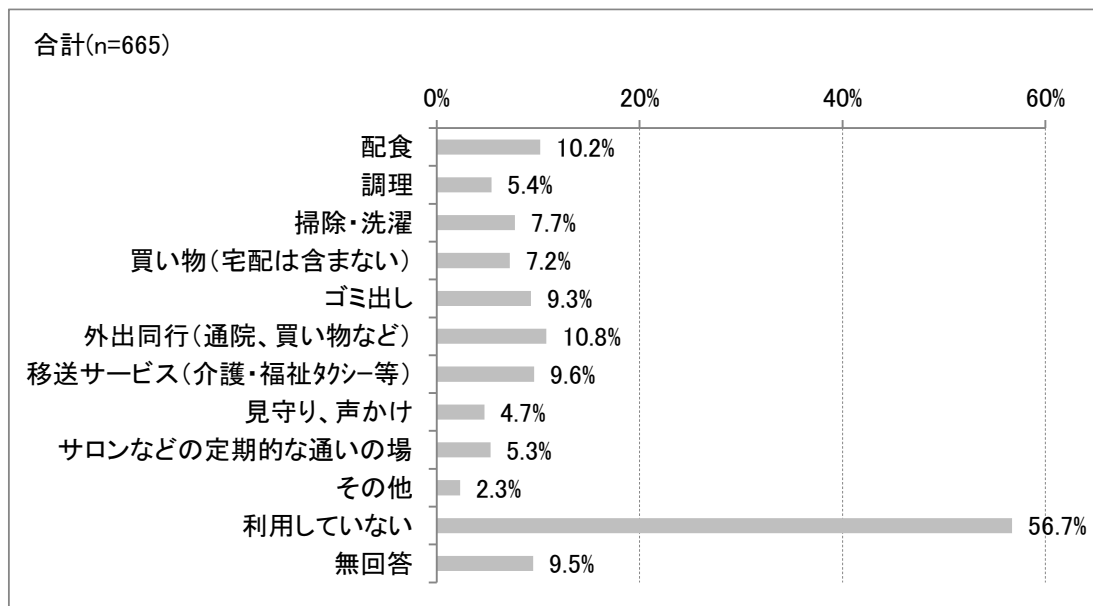
図表 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)



(8) 現在利用している介護保険外の支援・サービス

現在利用している介護保険外の支援・サービスとしては、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 10.8%となっています。次いで「配食（10.2%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等（9.6%）」となっています。

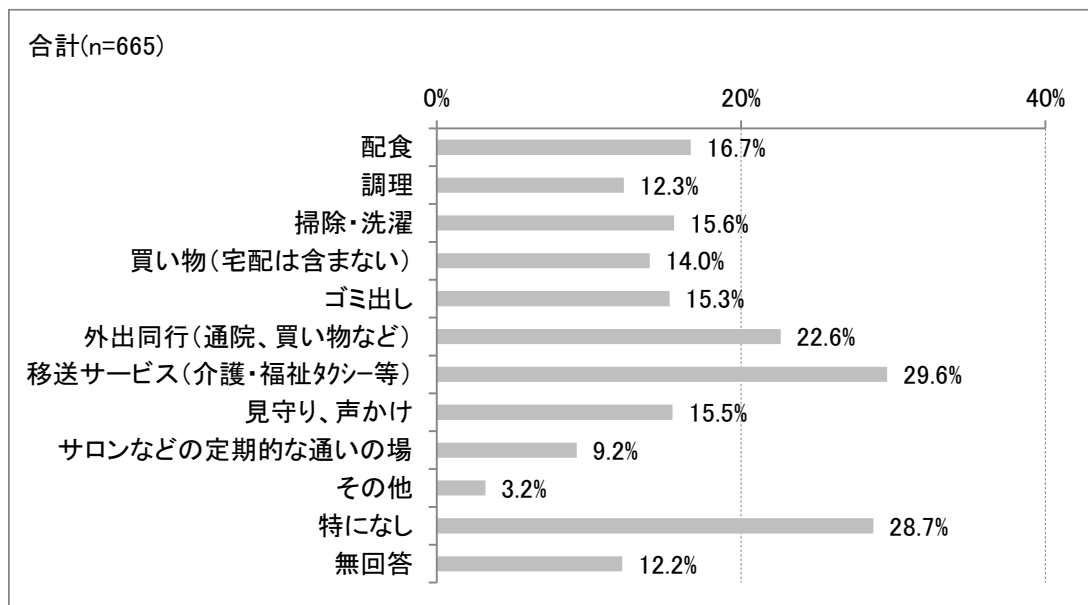
図表 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）



(9) 在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス

在宅生活に必要と感じる介護保険外サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く 29.6%となっています。次いで「外出同行（通院、買い物など）（22.6%）」、「配食（16.7%）」となっています。

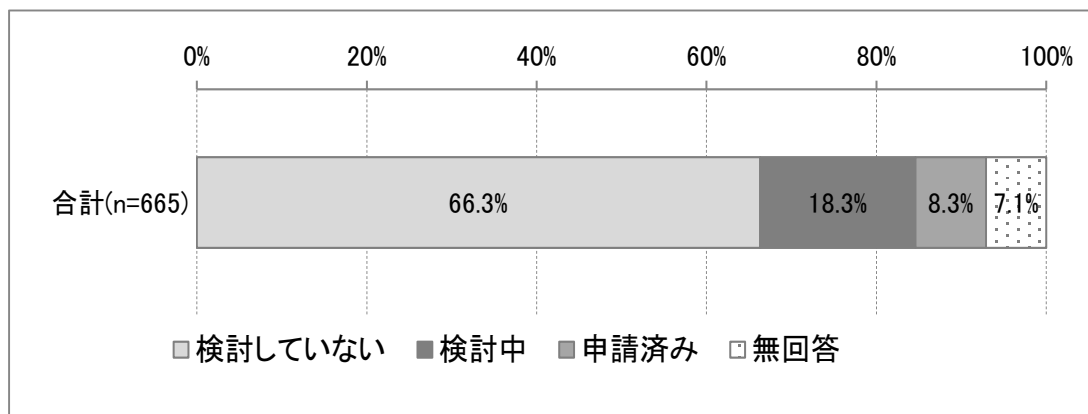
図表 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
（複数選択可）



(10) 入所の検討状況

現時点での施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「検討していない」の割合が最も高く 66.3%となっています。次いで、「検討中（18.3%）」、「申請済み（8.3%）」となっています。

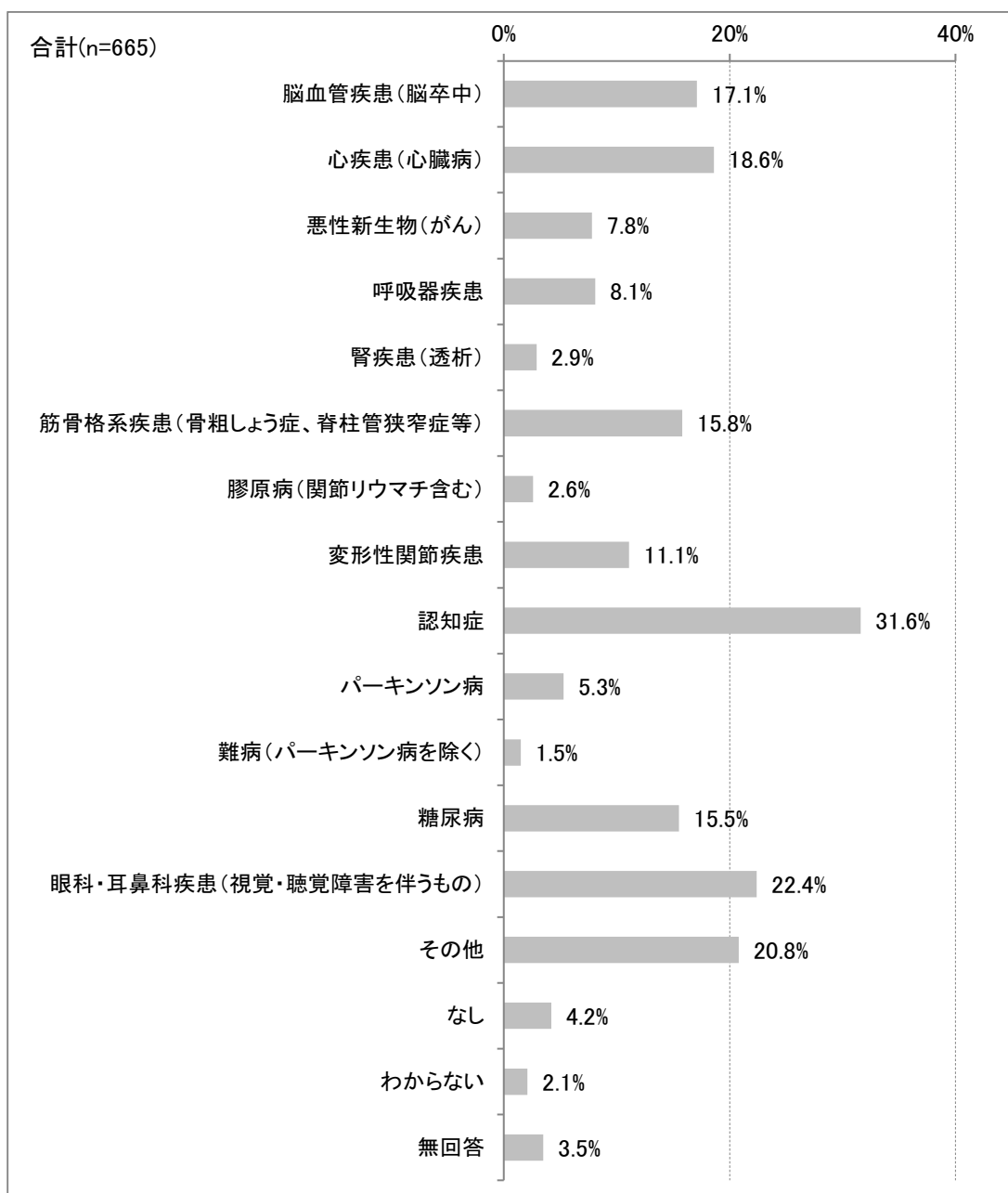
図表 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
（1つを選択）



(11) 現在抱えている病気

本人が抱えている病気についてみると、「認知症」の割合が最も高く 31.6%となっています。次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）（22.4%）」、「その他（20.8%）」となっています。

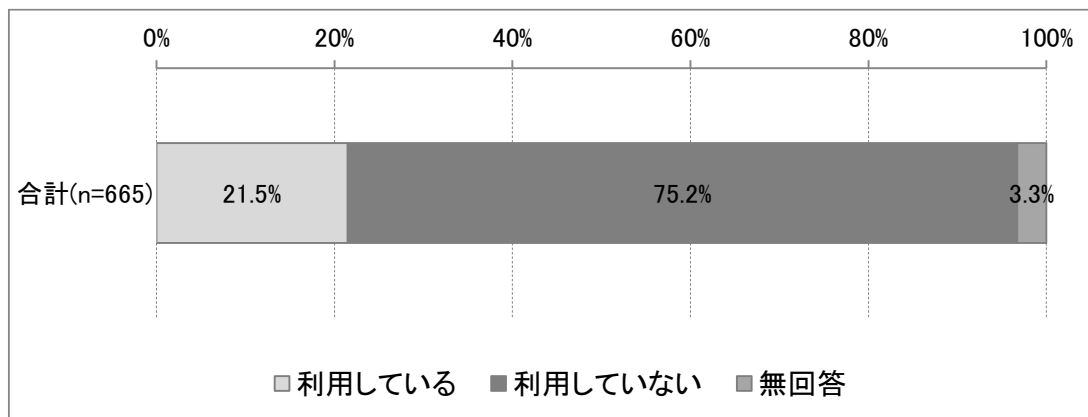
図表 問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（複数選択可）



(12) 訪問診療の利用

訪問診療の利用についてみると、「利用していない (75.2%)」、「利用している (21.5%)」となっています。

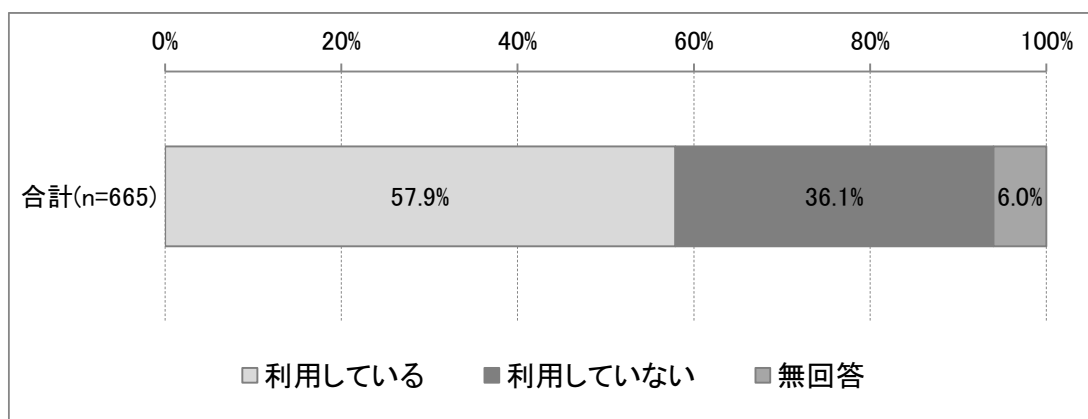
図表 問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）



(13) 介護保険サービスの利用

介護保険サービスの利用についてみると、「利用している (57.9%)」、「利用していない (36.1%)」となっています。

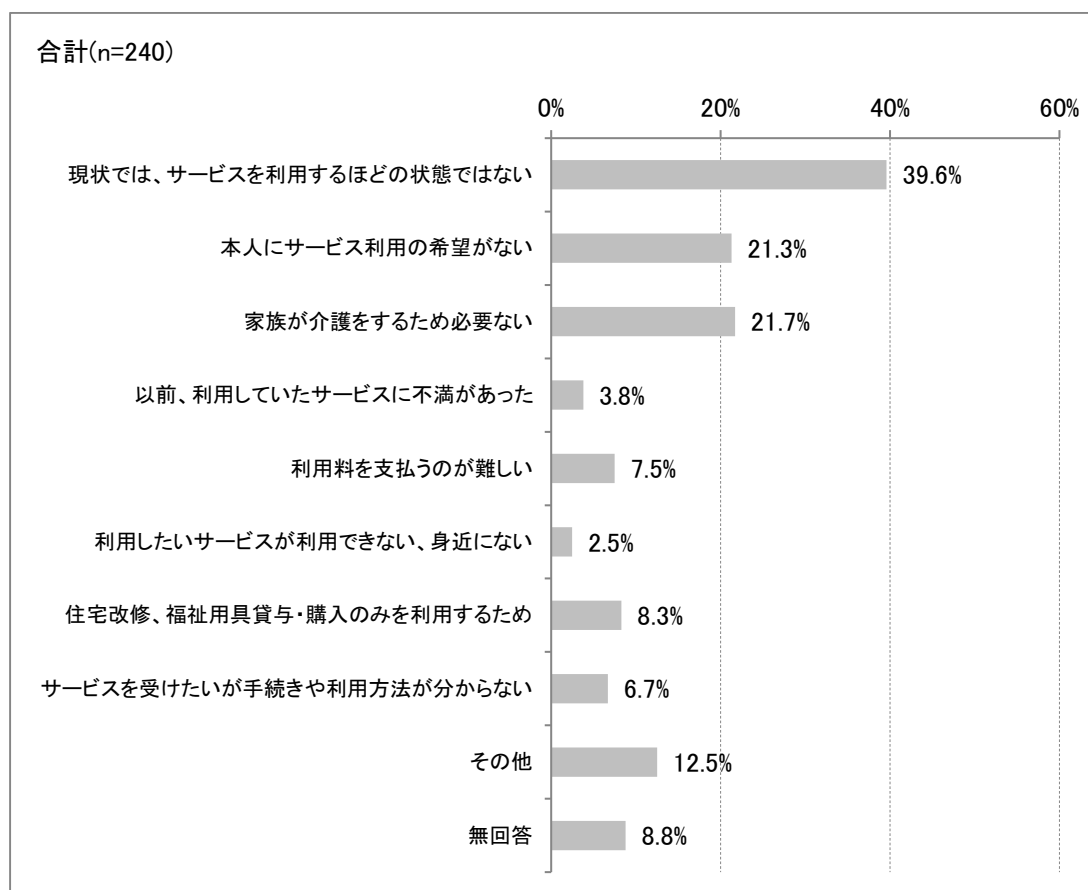
図表 問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）



(14) サービスを利用していない理由

問 13 で「利用していない」と回答した 240 名を対象に、サービスを利用していない理由についてみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 39.6%となっています。次いで「家族が介護をするため必要ない (21.7%)」、「本人にサービス利用の希望がない (21.3%)」となっています。

図表 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

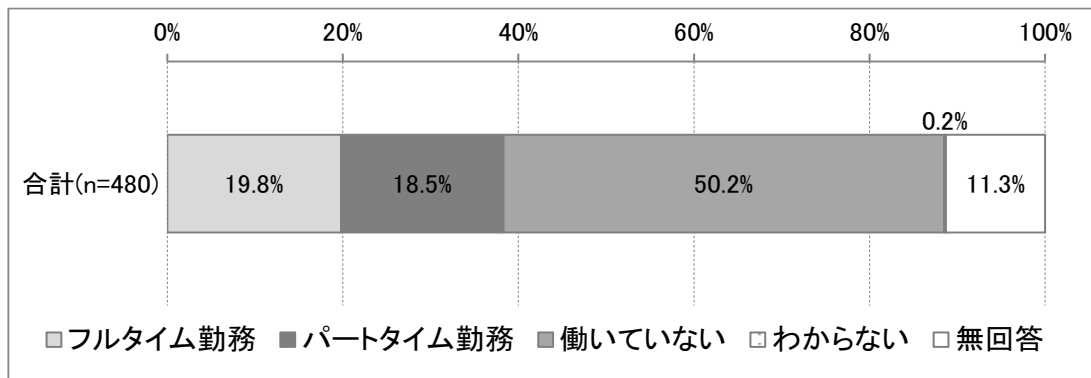


3 介護者の状況

(1) 主な介護者の勤務形態

問2で「ない」以外を回答した480名を対象に、主な介護者の勤務形態についてみると、「働いていない」の割合が最も高く50.2%となっています。次いで「フルタイム勤務(19.8%)」、「パートタイム勤務(18.5%)」となっています。

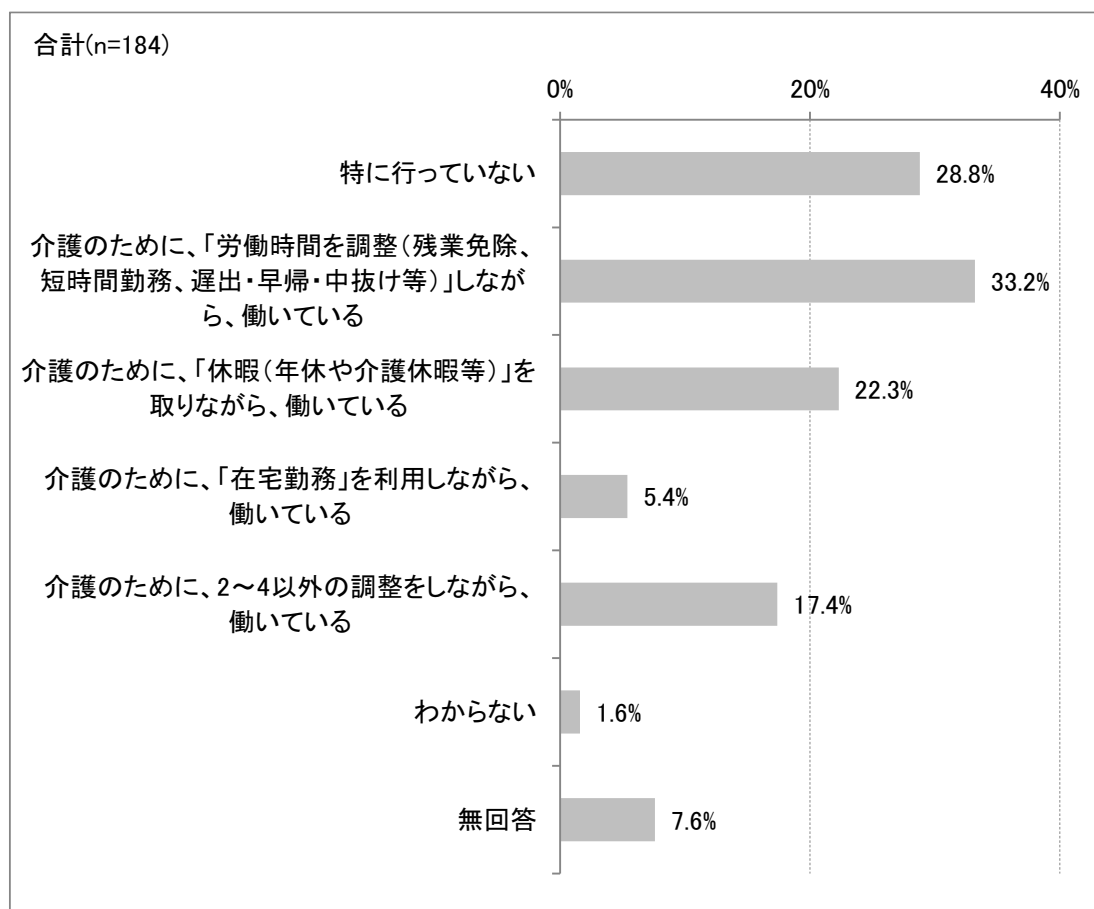
図表 問15 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)



(2) 主な介護者の働き方の調整

問15で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した184名を対象に、働いている主な介護者が介護をするにあたってしている働き方の調整等についてみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く33.2%となっています。次いで「特に行っていない（28.8%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（22.3%）」となっています。

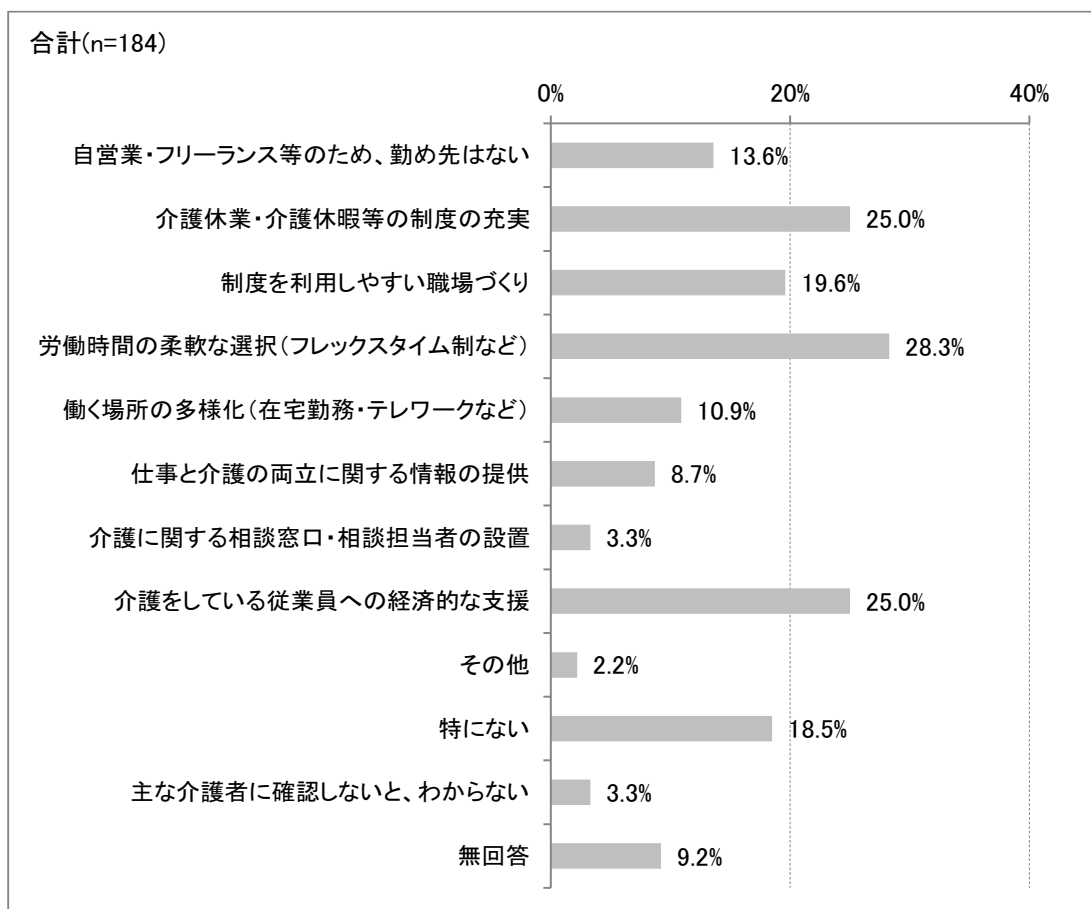
図表 問16-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（複数選択可）



(3) 勤め先からの支援

問15で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した184名を対象に、働いている主な介護者が考える、効果がある勤め先からの支援についてみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が最も高く28.3%となっています。次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実(25.0%)」、「介護をしている従業員への経済的な支援(25.0%)」、「制度を利用しやすい職場づくり（19.6%）」となっています。

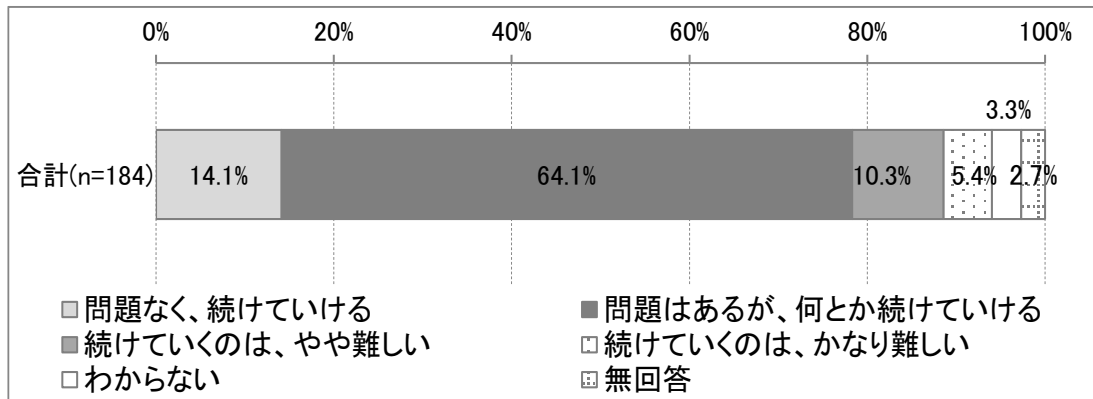
図表 問16-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）



(4) 就労継続の見込み

問15で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した184名を対象に、働いている主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く64.1%となっています。次いで「問題なく、続けていける(14.1%)」、「続けていくのは、やや難しい(10.3%)」となっています。

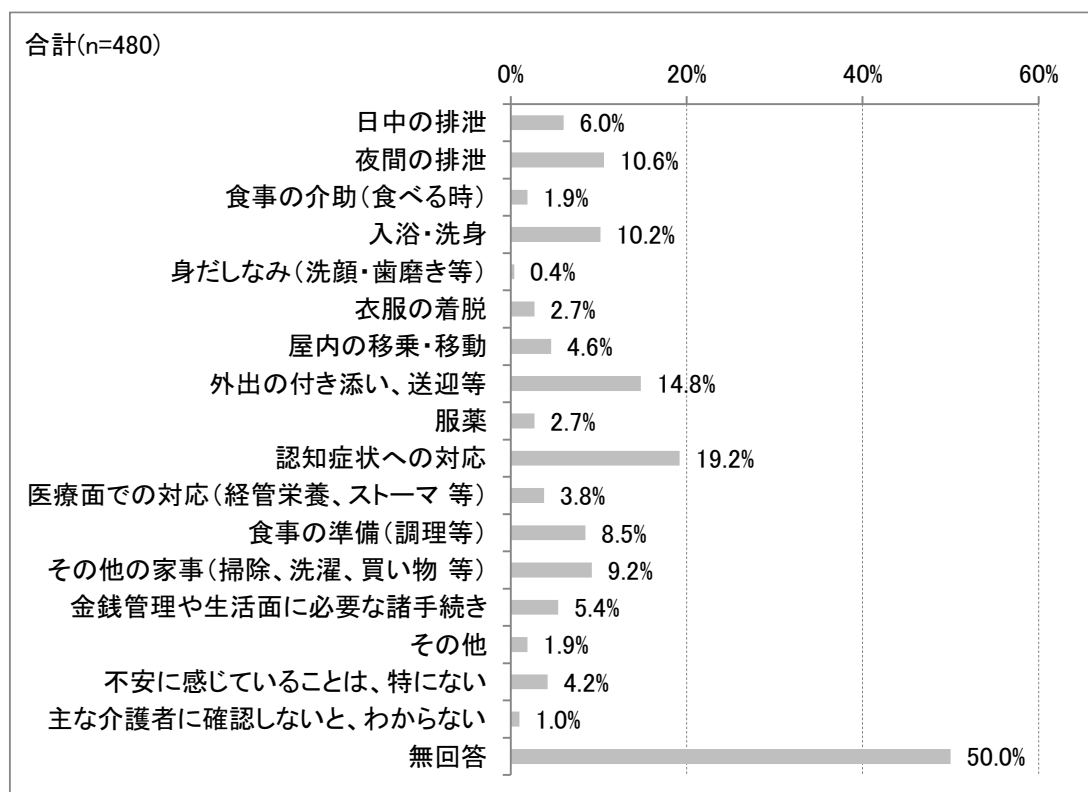
図表 問16-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(1つを選択)



(5) 主な介護者の方が不安に感じる介護等

問2で「ない」と回答した480名を対象に、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等をみると、「認知症状への対応」の割合が最も高く19.2%となっています。次いで、「外出の付き添い、送迎等(14.8%)」、「夜間の排泄(10.6%)」となっています。

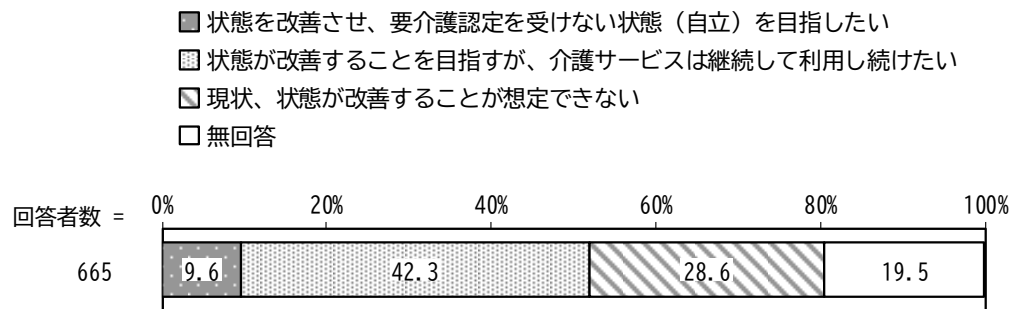
図表 問17 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)
(3つまで選択可)



(6) お身体の状態と介護サービスについて

「状態が改善することを目指す、介護サービスは継続して利用し続けたい」の割合が最も高く42.3%となっています。次いで、「現状、状態が改善することが想定できない(28.6%)」、「状態を改善させ、要介護認定を受けない状態(自立)を目指したい(9.6%)」となっています。

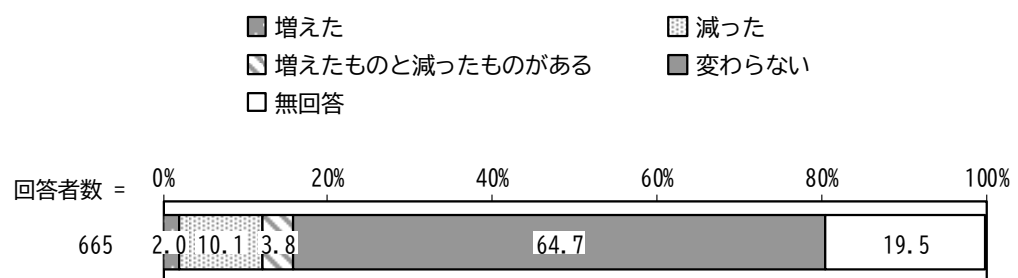
図表 問18 あなたのお身体の状態と介護サービスについて、最も考えが当てはまるものをお答えください。(1つを選択)



(7) 新型コロナウイルス感染症の影響

「変わらない」の割合が最も高く64.7%となっています。次いで、「減った(10.1%)」、「増えたものと減ったものがある(3.8%)」となっています。

図表 問19 新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用状況は変化しましたか。(1つを選択)

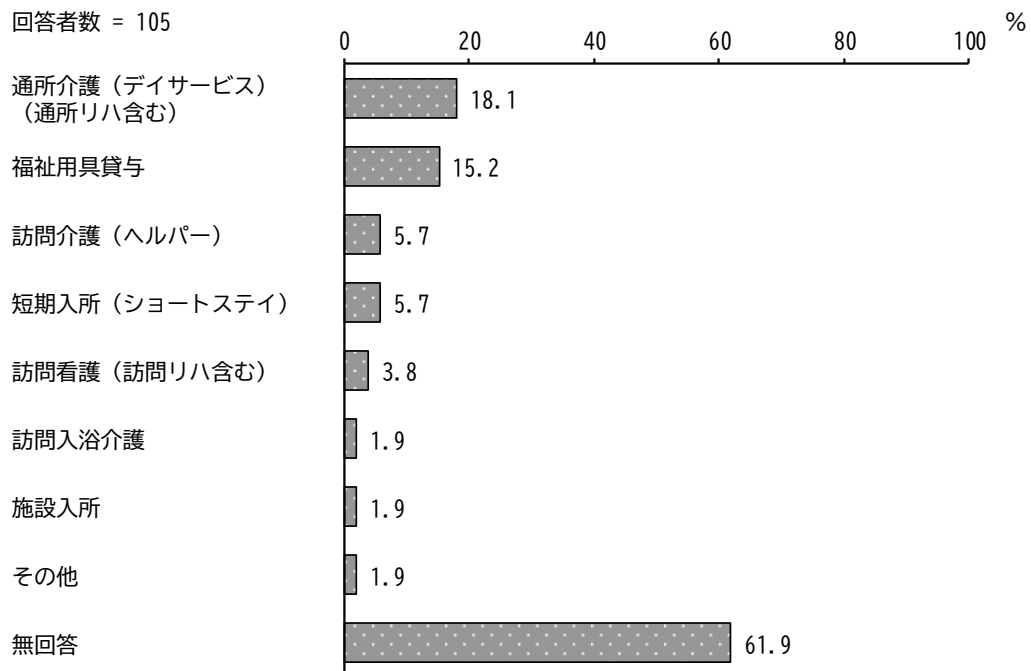


(8) 増えた又は減ったサービス

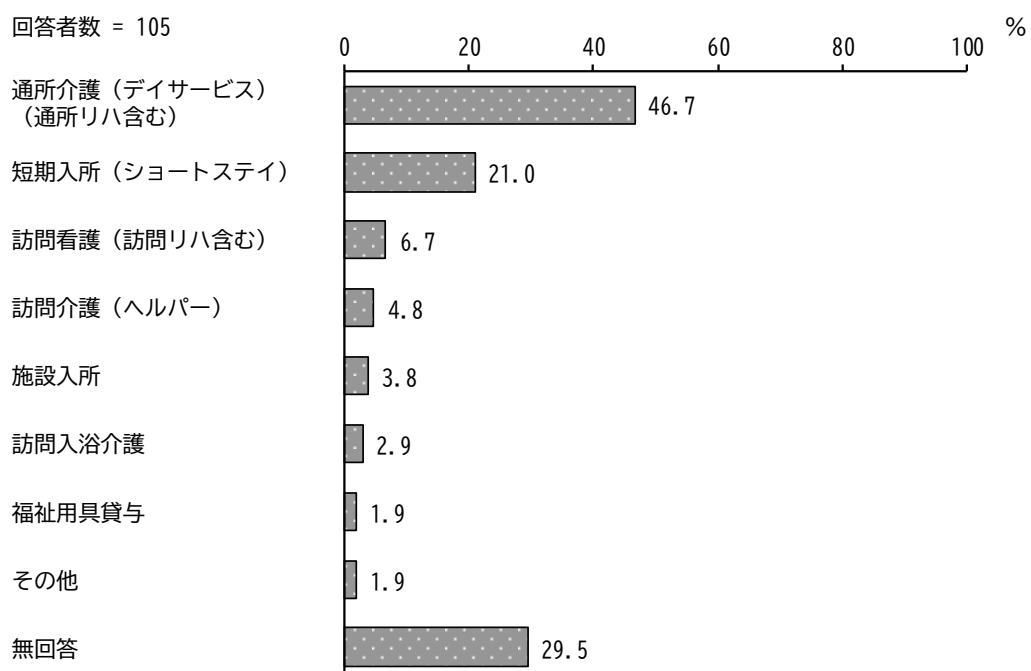
増えたサービスでは「通所介護（デイサービス）（通所リハ含む）」の割合が最も高く18.1%となっています。一方、減ったサービスでは「通所介護（デイサービス）（通所リハ含む）」の割合が46.7%と最も高くなっています。

図表 問20 増えた又は減ったサービスに○を付けてください。(複数選択可)

【増えたサービス】



【減ったサービス】

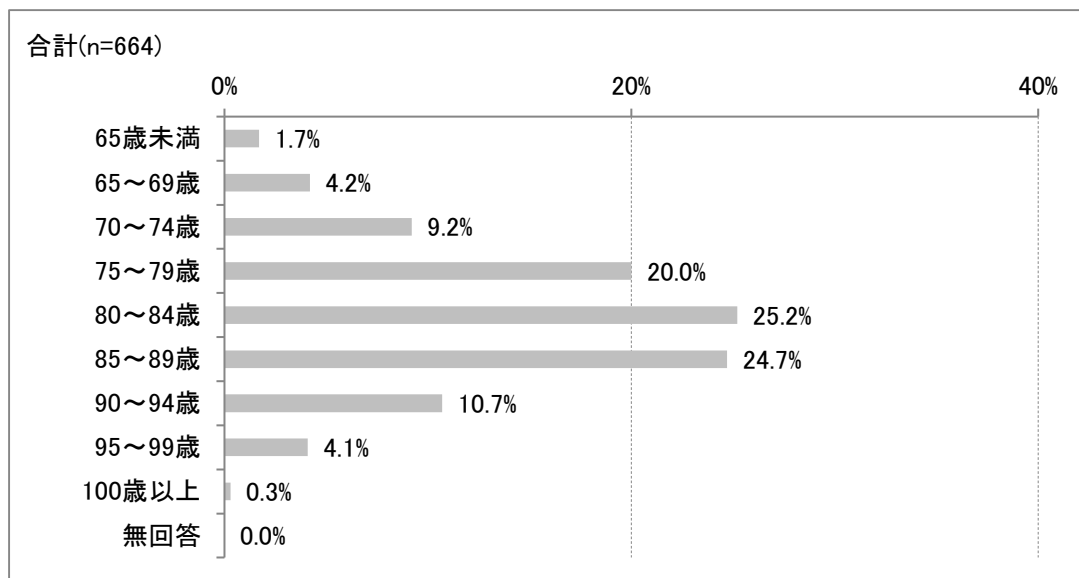


4 要介護認定データ

要介護者の在宅生活の継続支援や介護者の就労継続支援などのサービスについて、更なる提供体制の検討を行うために、要介護認定データに含まれる回答者の情報と在宅介護実態調査の集計結果でクロス集計を行っています。

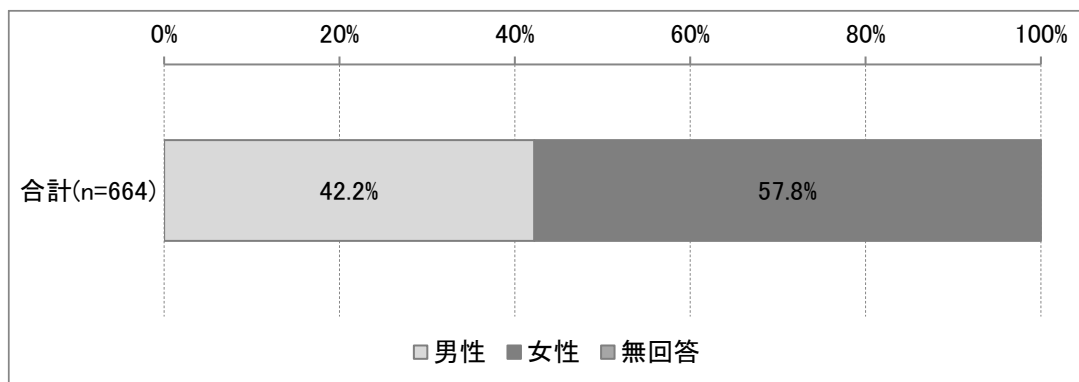
(1) 年齢

図表 要介護認定データ 年齢



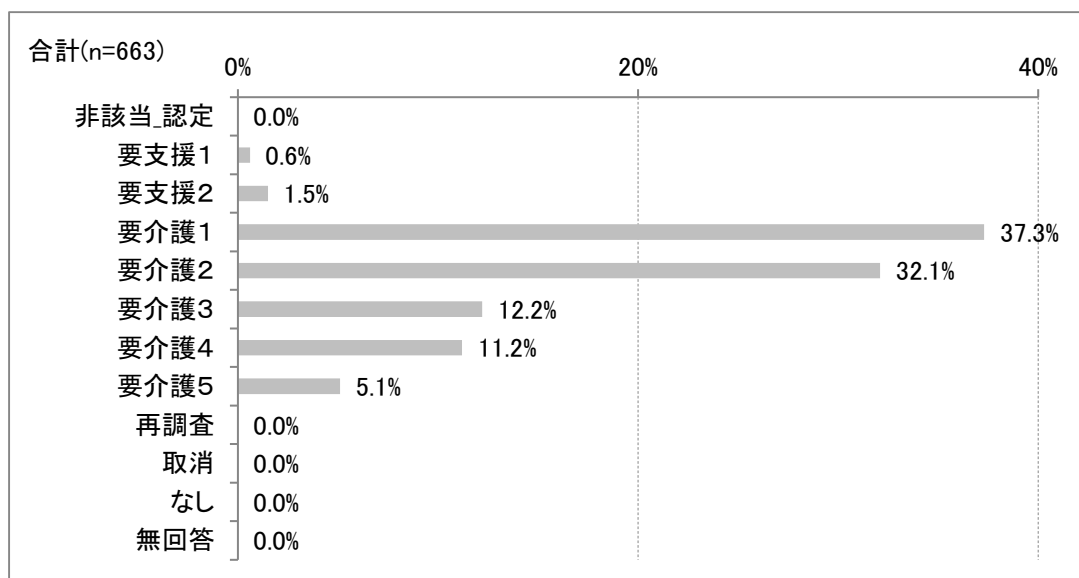
(2) 性別

図表 要介護認定データ 性別



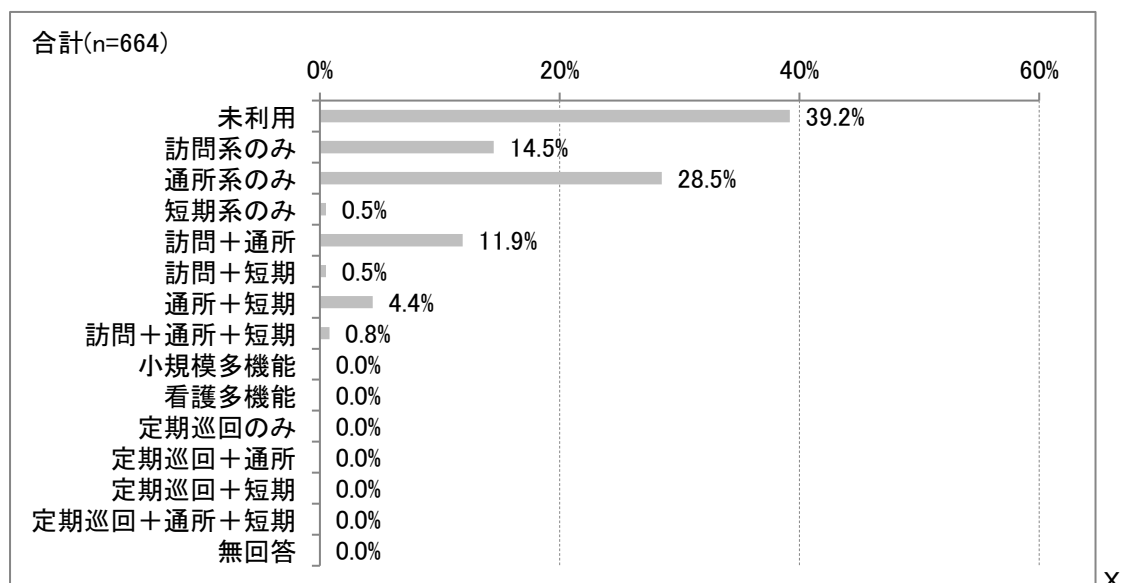
(3) 要介護度

図表 要介護認定データ 要介護度



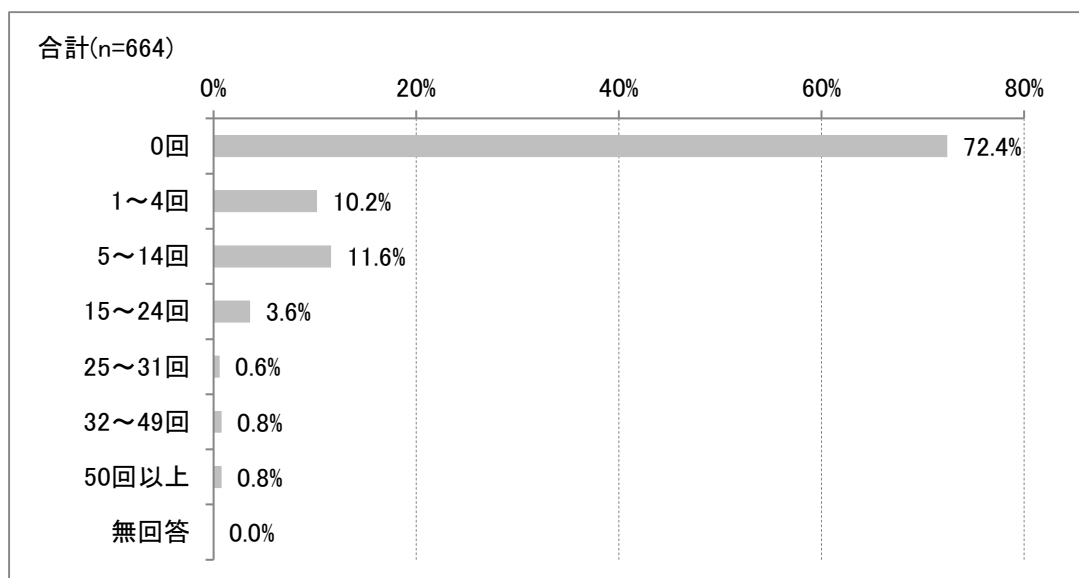
(4) サービス利用の組み合わせ

図表 要介護認定データ サービス利用の組み合わせ



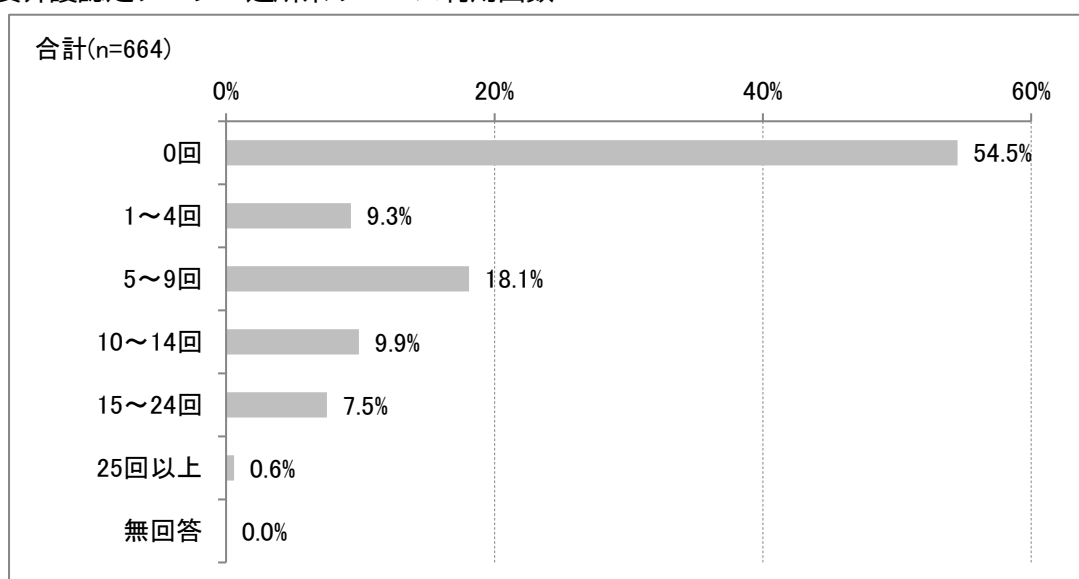
(5) 訪問系サービス利用回数

図表 要介護認定データ 訪問系サービス利用回数



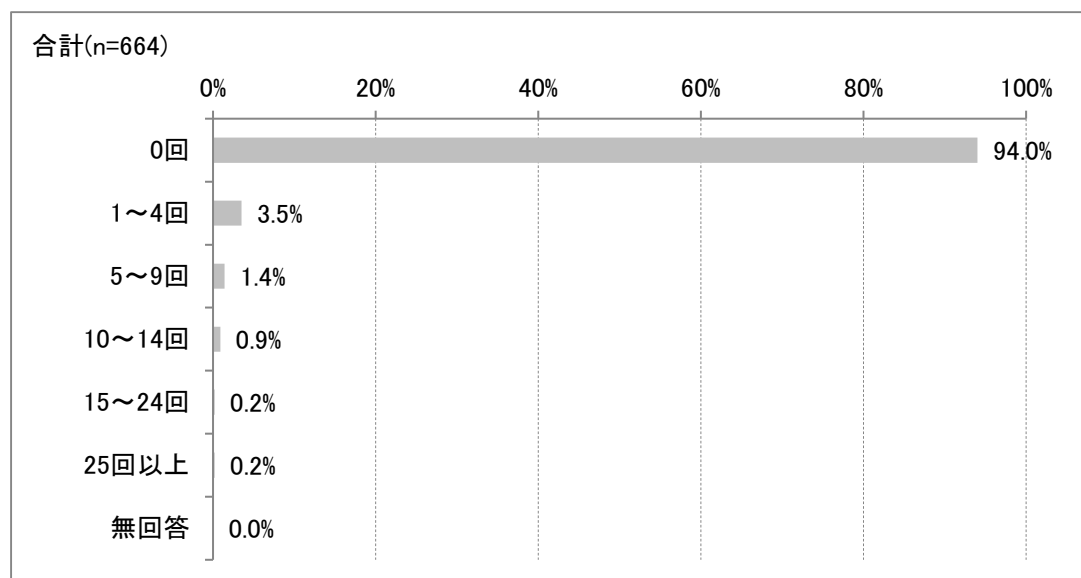
(6) 通所系サービス利用回数

図表 要介護認定データ 通所系サービス利用回数



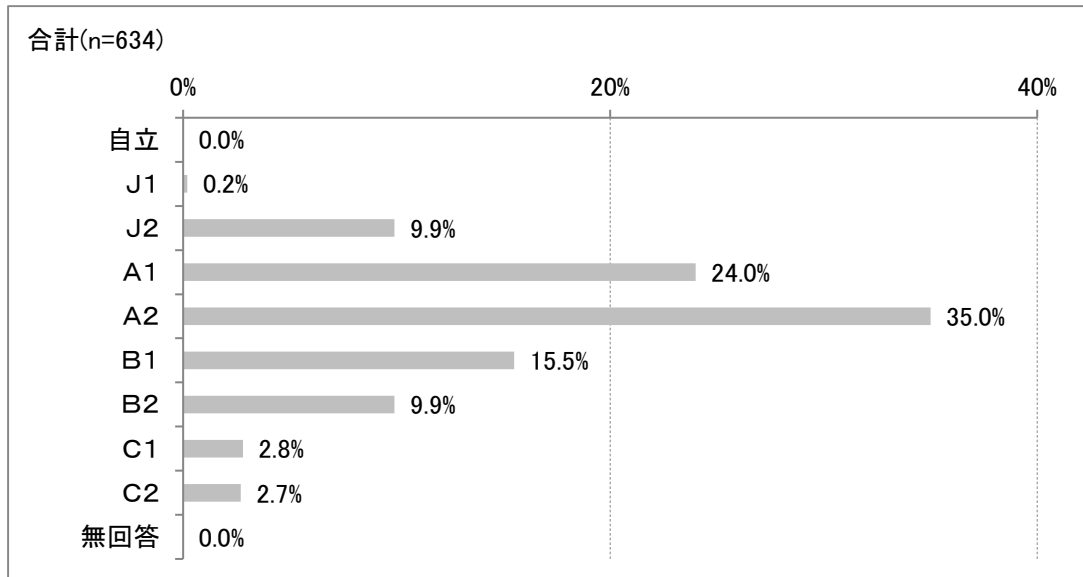
(7) 短期系サービス利用回数

図表 要介護認定データ 短期系サービス利用回数



(8) 日常生活自立度（障害高齢者）

図表 要介護認定データ 日常生活自立度（障害高齢者）

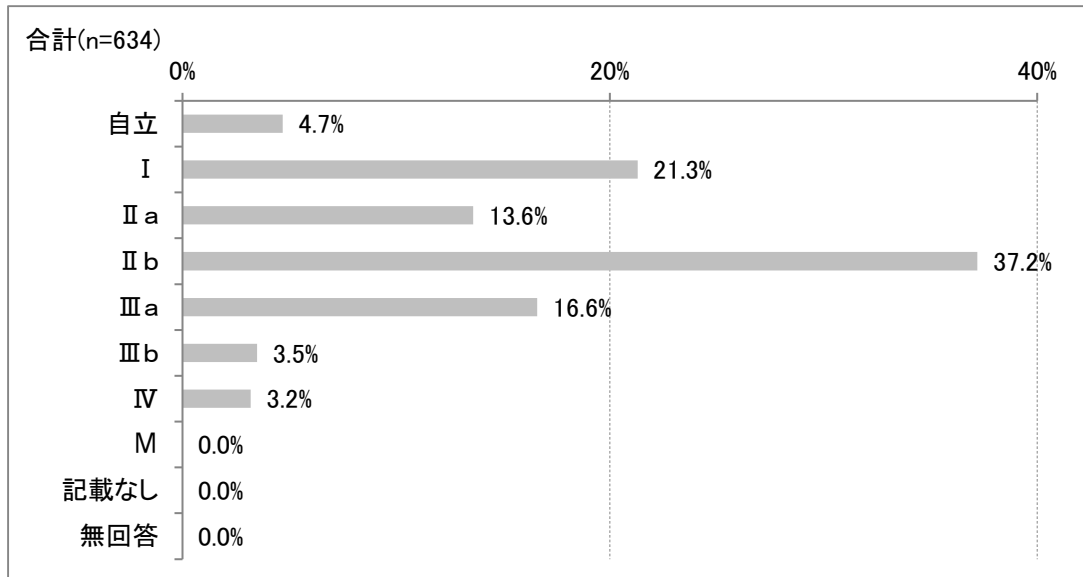


図表 日常生活自立度（障害高齢者） 判定基準

判定		詳細	
J	1	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており	交通期間等を利用して外出する
	2	独力で外出する	隣近所へなら外出する
A	1	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	2		外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
B	1	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ	車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う
	2		介助により車いすに移乗する
C	1	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する	自力で寝返りをうつ
	2		自力では寝返りもうてない

(9) 日常生活自立度（認知症高齢者）

図表 要介護認定データ 日常生活自立度（認知症高齢者）



図表 日常生活自立度（認知症高齢者） 判定基準

判定	詳細
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
II	1 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる 交通機関等を利用して外出する
	2 隣近所へなら外出する
III	1 日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする 日中を中心として、着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等が見られる
	2 上記症状が夜間を中心として見られる
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする IIIと同じ症状が見られる
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

5 クロス集計分析

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点から以下のクロス集計を行っています。

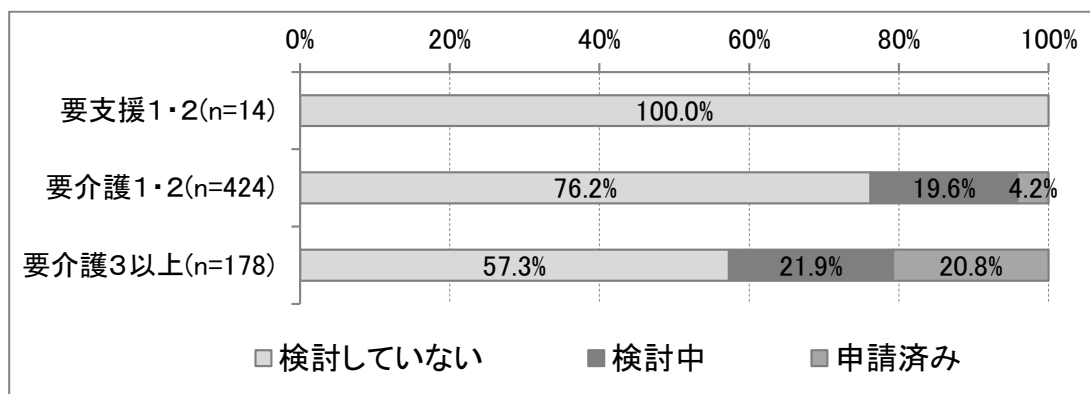
図表 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 クロス集計項目一覧

図表番号	概要	クロス項目
図表1-1	①基礎集計	要介護度×入所の検討状況
図表1-2		世帯類型×入所の検討状況
図表1-3	②要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化	要介護度×主な介護者の方が不安に感じる介護等
図表1-4		日常生活自立度（認知症高齢者）×主な介護者の方が不安に感じる介護等
図表1-5	③要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化	要介護度×サービス利用の組み合わせ
図表1-6		日常生活自立度（認知症高齢者）×サービスの利用の組み合わせ
図表1-7		要介護度×サービス利用の組み合わせ（集約）
図表1-8		日常生活自立度（認知症高齢者）×サービスの利用の組み合わせ（集約）
図表1-9	④「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係	サービスの利用の組み合わせ×入所の検討状況（要介護3以上）
図表1-10		サービスの利用の組み合わせ×入所の検討状況（要介護4以上）
図表1-11		サービスの利用の組み合わせ×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）
図表1-12		入所の検討状況×サービスの利用の組み合わせ（要介護3以上）
図表1-13		入所の検討状況×サービスの利用の組み合わせ（要介護4以上）
図表1-14		入所の検討状況×サービスの利用の組み合わせ（認知症Ⅲ以上）
図表1-15	⑤「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	主な介護者の方が不安に感じる介護等×サービスの利用の組み合わせ（要介護3以上）
図表1-16		主な介護者の方が不安に感じる介護等×サービスの利用の組み合わせ（認知症Ⅲ以上）
図表1-17	⑥「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係	訪問系サービス利用回数×入所の検討状況（要介護3以上）
図表1-18		訪問系サービス利用回数×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）
図表1-19		通所系サービス利用回数×入所の検討状況（要介護3以上）
図表1-20		通所系サービス利用回数×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）
図表1-21		短期系サービス利用回数×入所の検討状況（要介護3以上）
図表1-22		短期系サービス利用回数×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）
図表1-23	⑦「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	訪問系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（要介護3以上）
図表1-24		訪問系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（認知症Ⅲ以上）
図表1-25		通所系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（要介護3以上）
図表1-26		通所系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（認知症Ⅲ以上）
図表1-27		短期系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（要介護3以上）
図表1-28		短期系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（認知症Ⅲ以上）

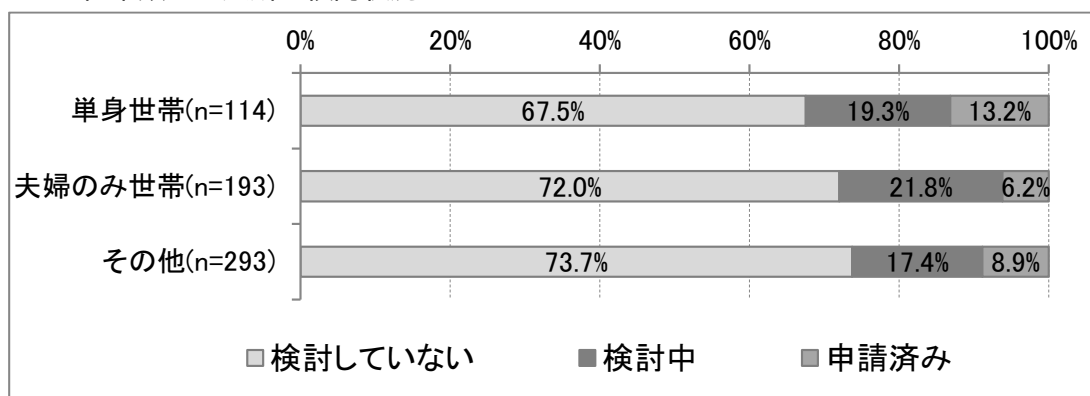
①基礎集計

入所の検討状況についてみると、「検討していない」の割合は要支援・要介護度が高くなるほど減少しています。

図表1-1 要介護度×入所の検討状況



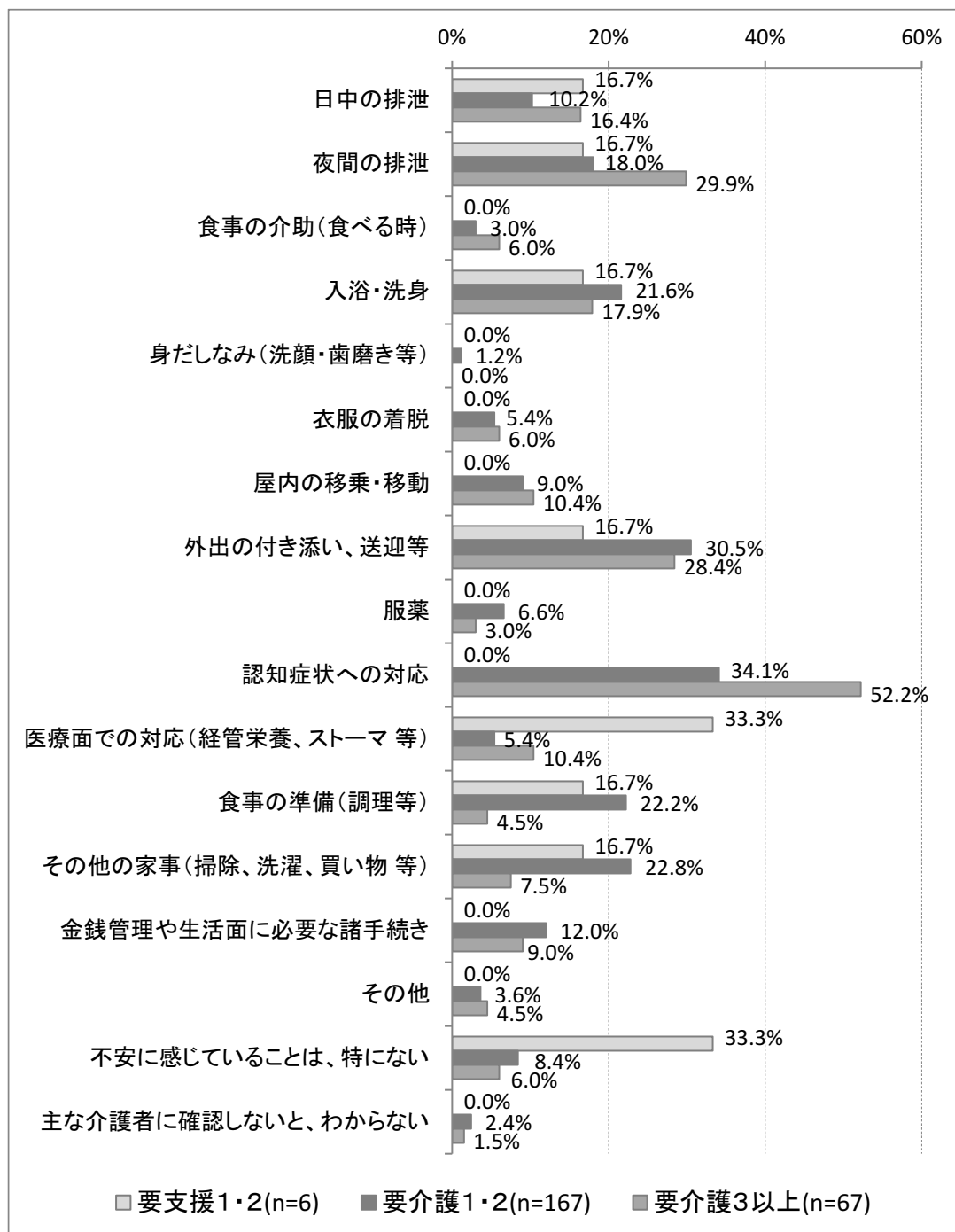
図表1-2 世帯類型×入所の検討状況



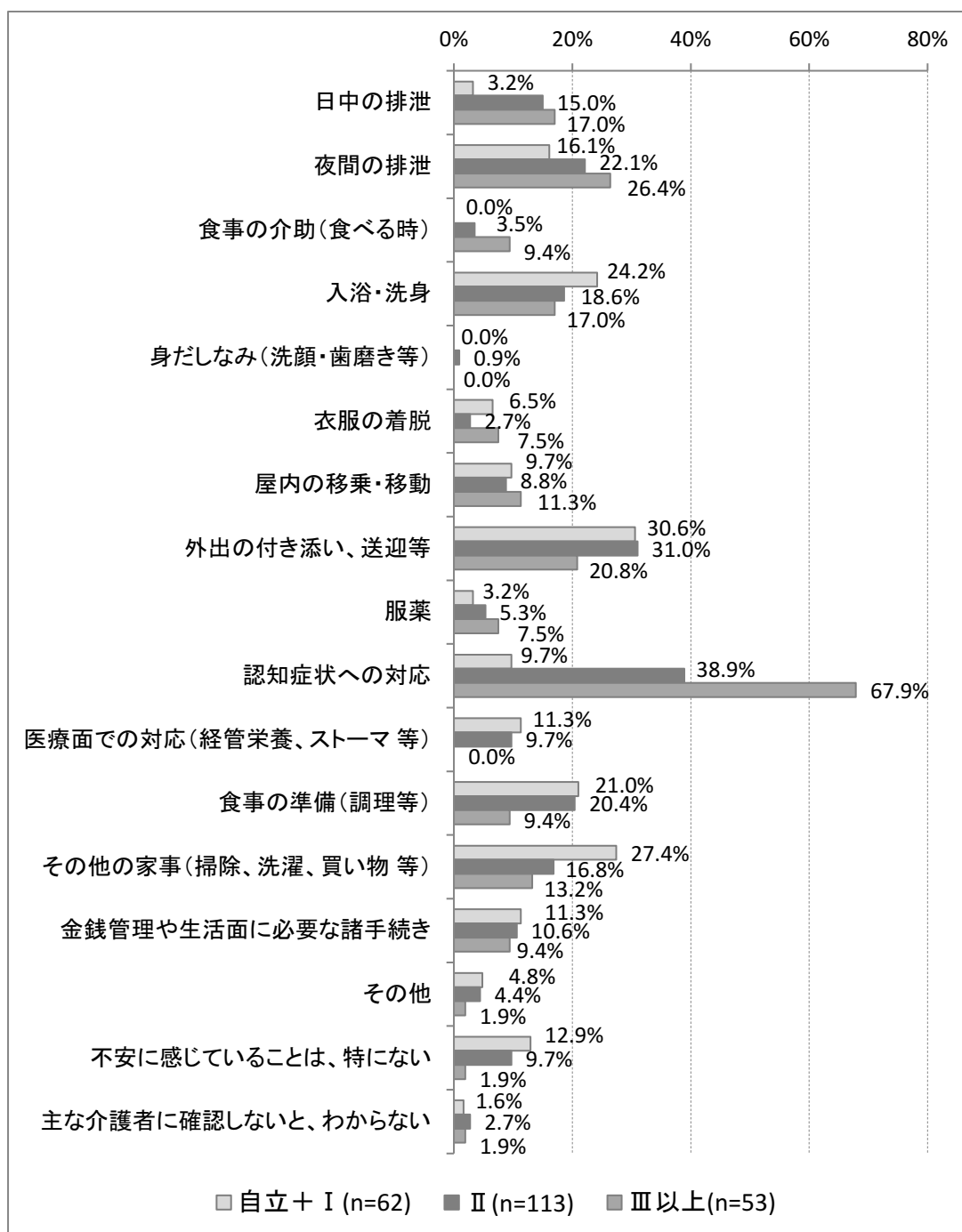
②要介護・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安を感じる介護」の変化

主な介護者の方が不安を感じる介護についてみると、「認知症状への対応」や「夜間の排泄」の割合は、要介護・日常生活自立度（認知症）が高くなるほど増加し、「不安を感じていることは、特にない」の割合は、低くなるほど増加しています。

図表1-3 要介護度×主な介護者の方が不安を感じる介護等



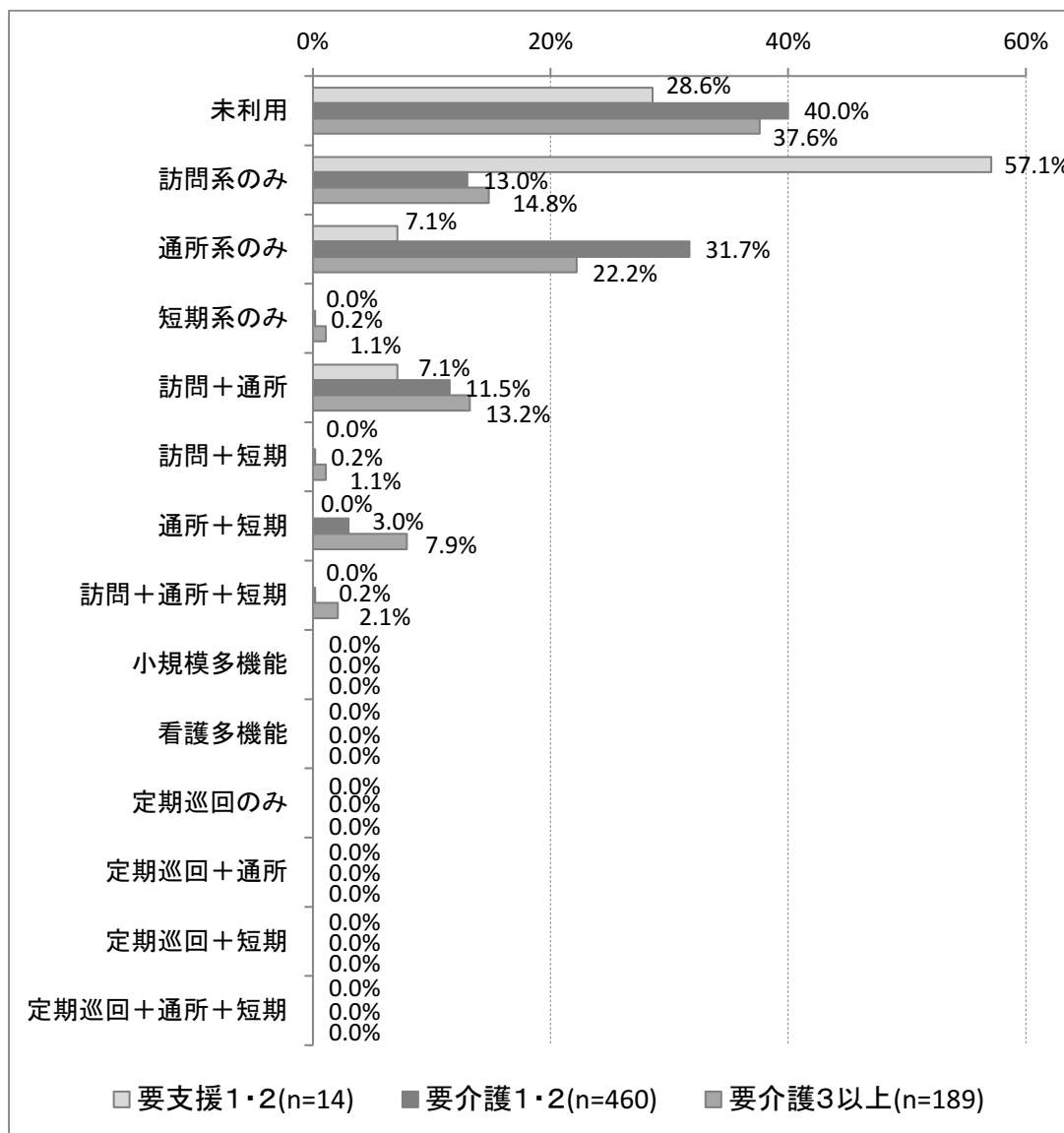
図表1-4 日常生活自立度（認知症高齢者）×主な介護者の方が不安を感じる介護等



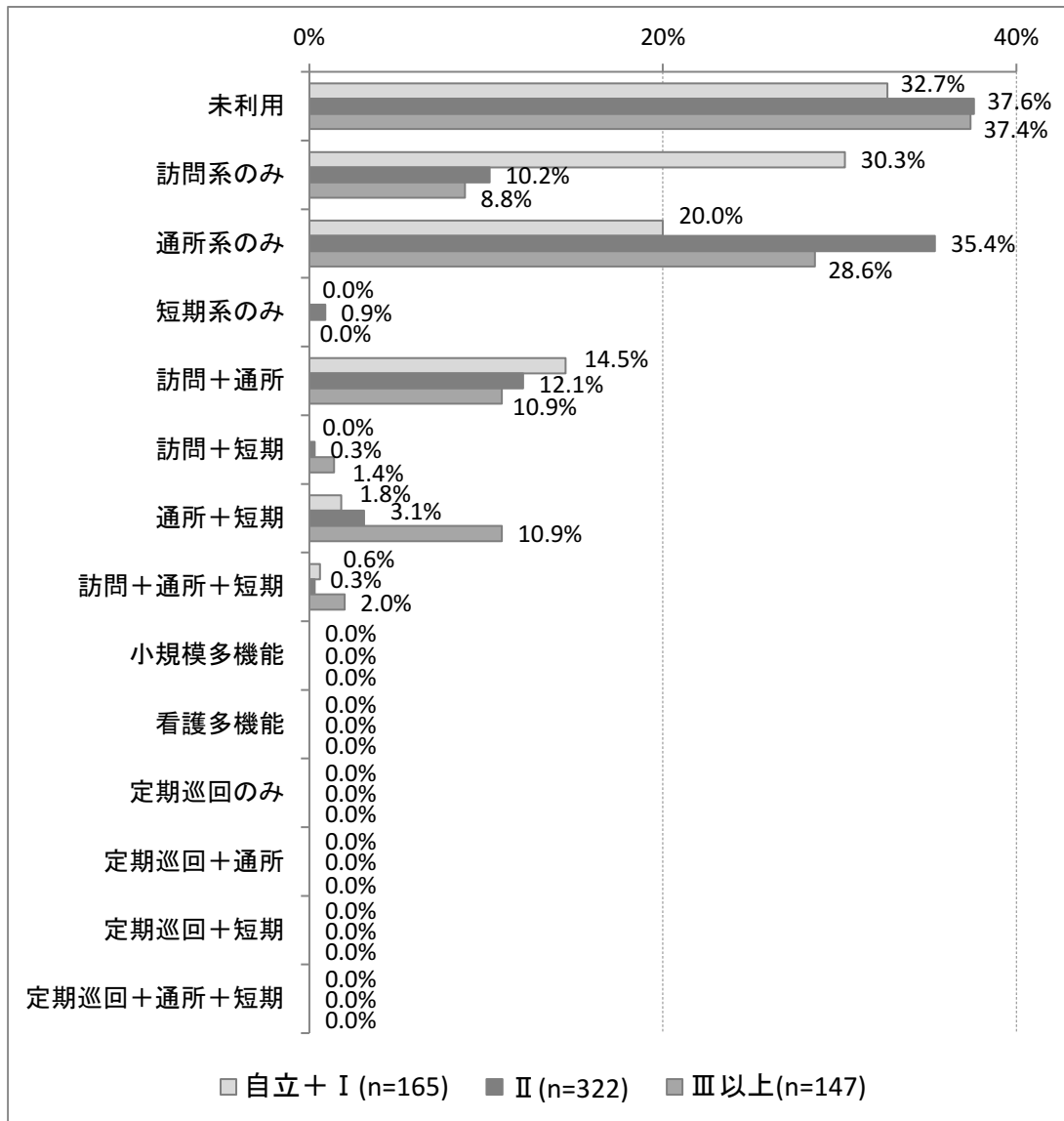
③要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

サービス利用の組み合わせについてみると、「訪問系のみ」を利用している割合は、要支援1・2、日常生活自立度（認知症）Iで高くなっており、「通所系のみ」を利用している割合は、要介護1・2、日常生活自立度（認知症）IIで高くなっています。

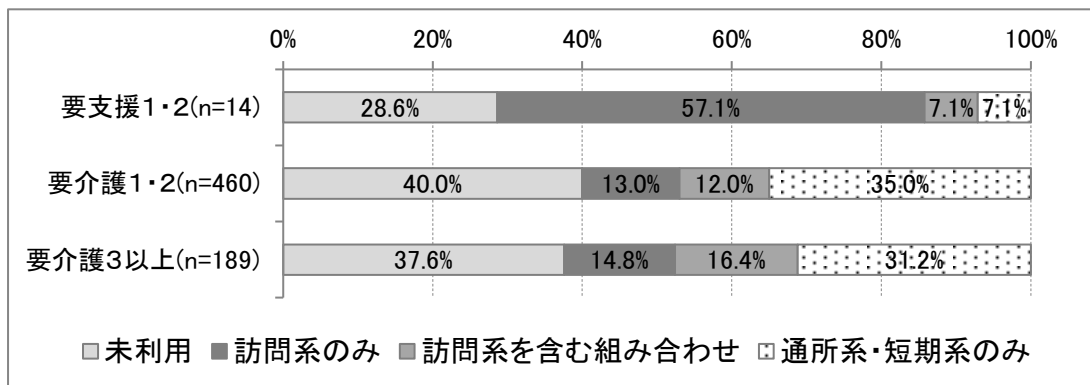
図表1-5 要介護度×サービス利用の組み合わせ



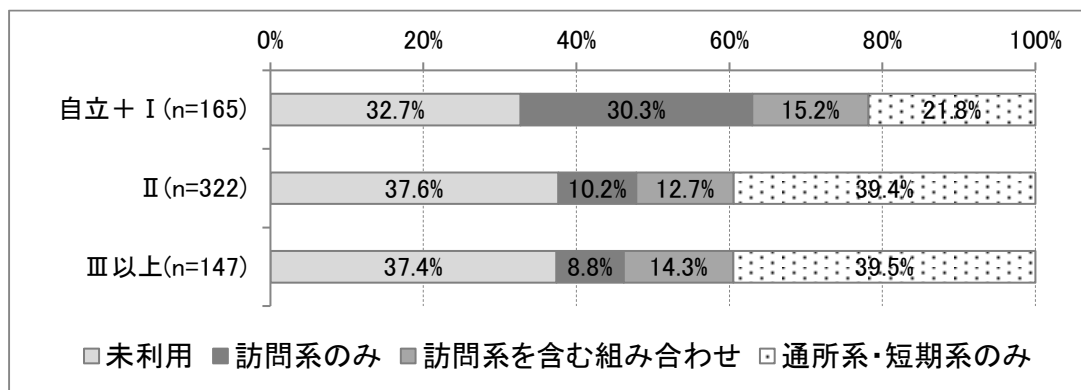
図表1-6 日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ



図表1-7 要介護度×サービス利用の組み合わせ（集約）



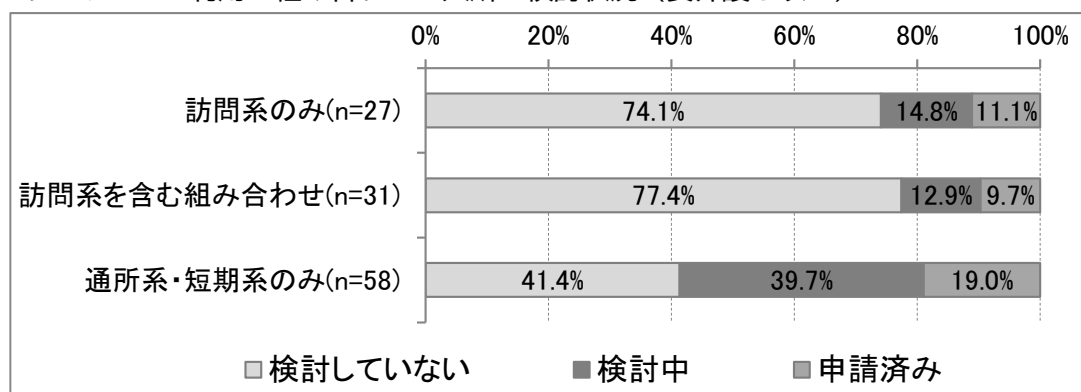
図表1-8 日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（集約）



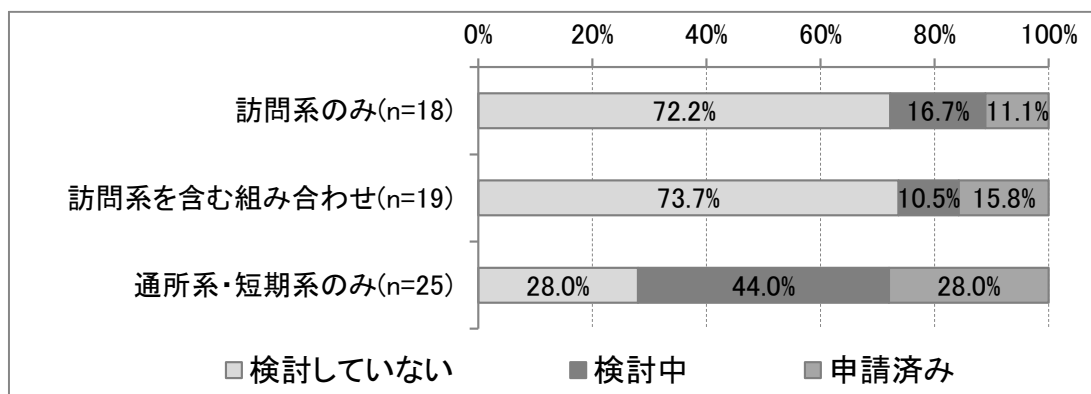
④「サービス利用の組み合わせ」と「施設系検討の状況」の関係

入所の検討状況についてみると、「検討していない」割合は、日常生活自立度（認知症）Ⅲ以上で、「訪問系のみ」を利用している人で最も高くなっており、次いで「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」と続いています。

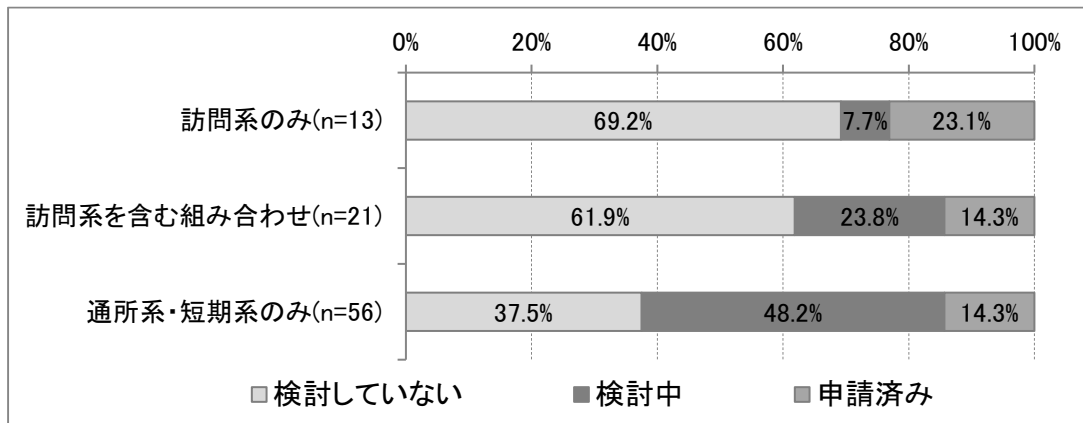
図表1-9 サービス利用の組み合わせ×入所の検討状況（要介護3以上）



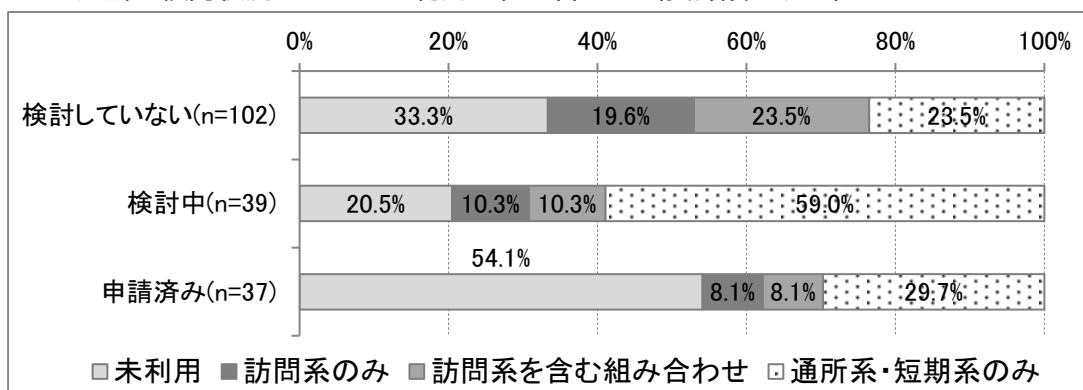
図表1-10 サービス利用の組み合わせ×入所の検討状況（要介護4以上）



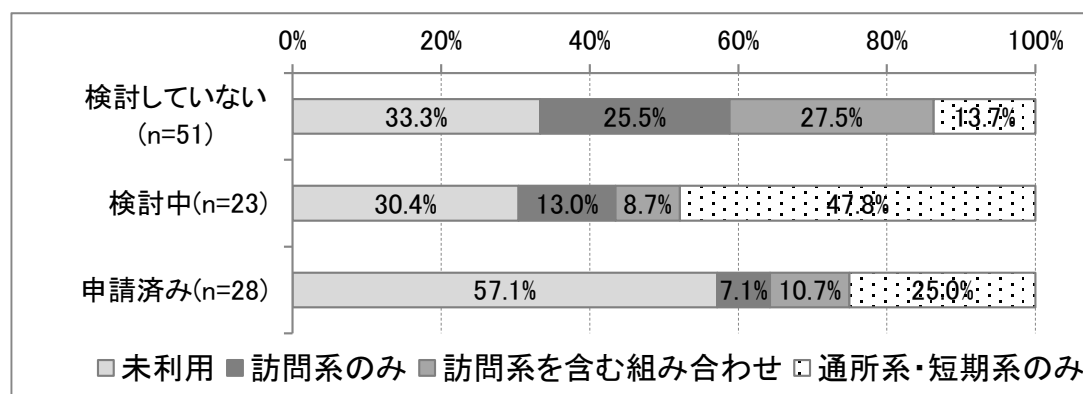
図表1-11 サービス利用の組み合わせ×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）



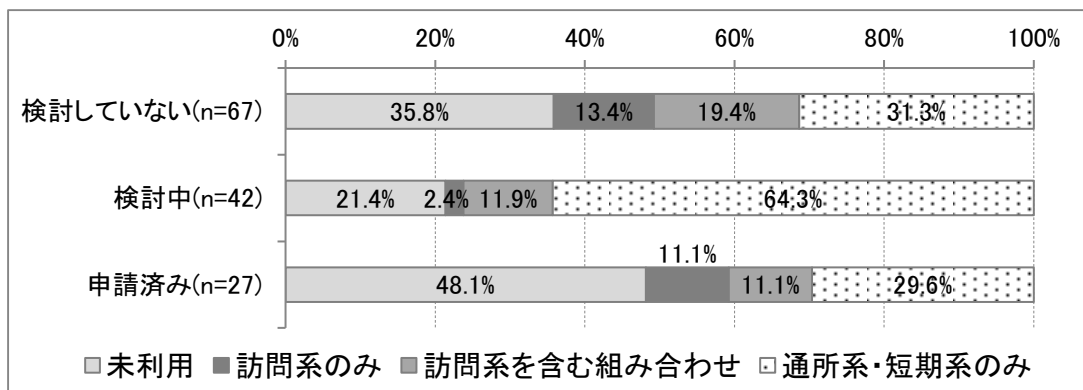
図表1-12 入所の検討状況×サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）



図表1-13 入所の検討状況×サービス利用の組み合わせ（要介護4以上）



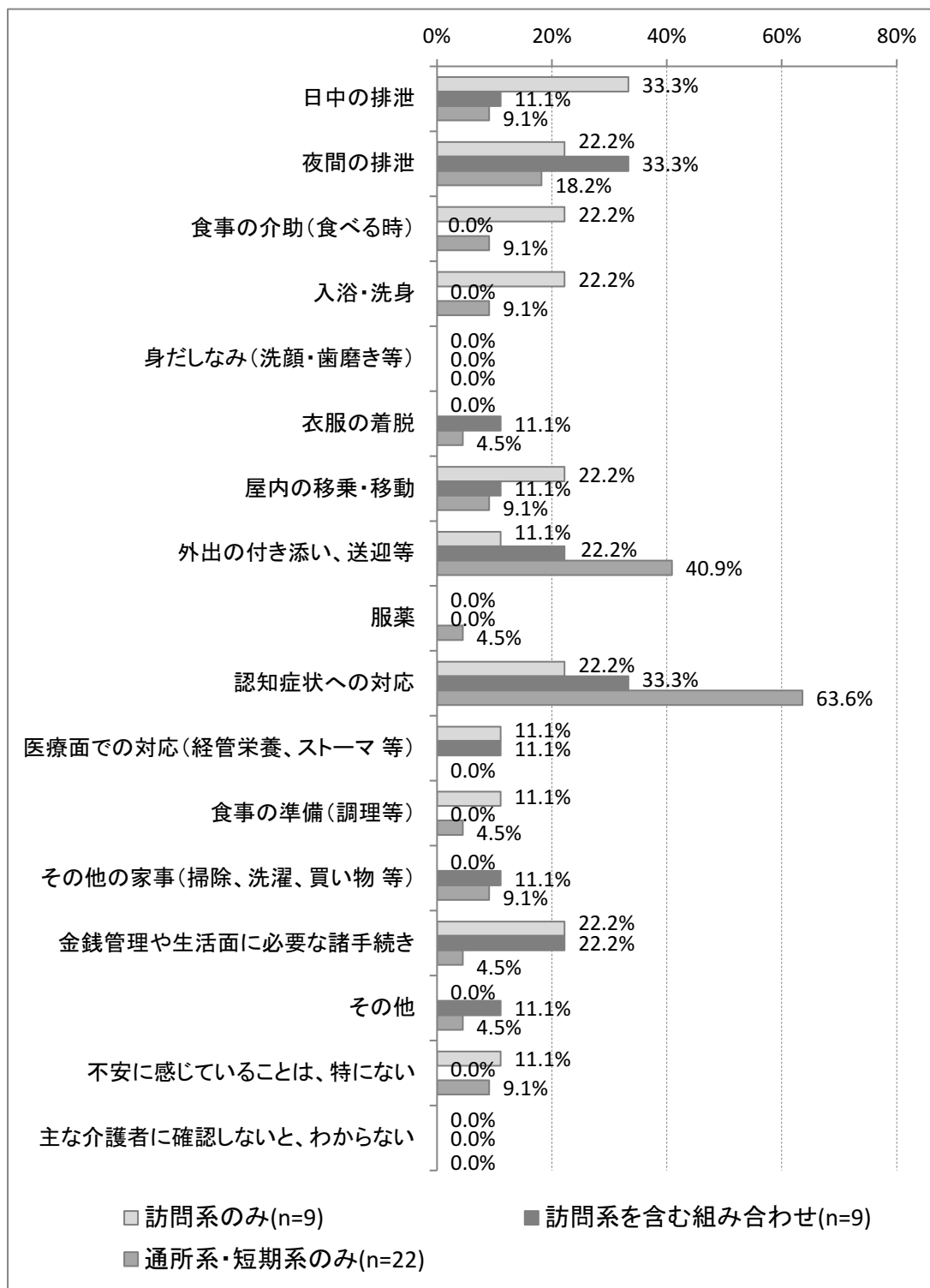
図表1-14 入所の検討状況×サービス利用の組み合わせ（認知症Ⅲ以上）



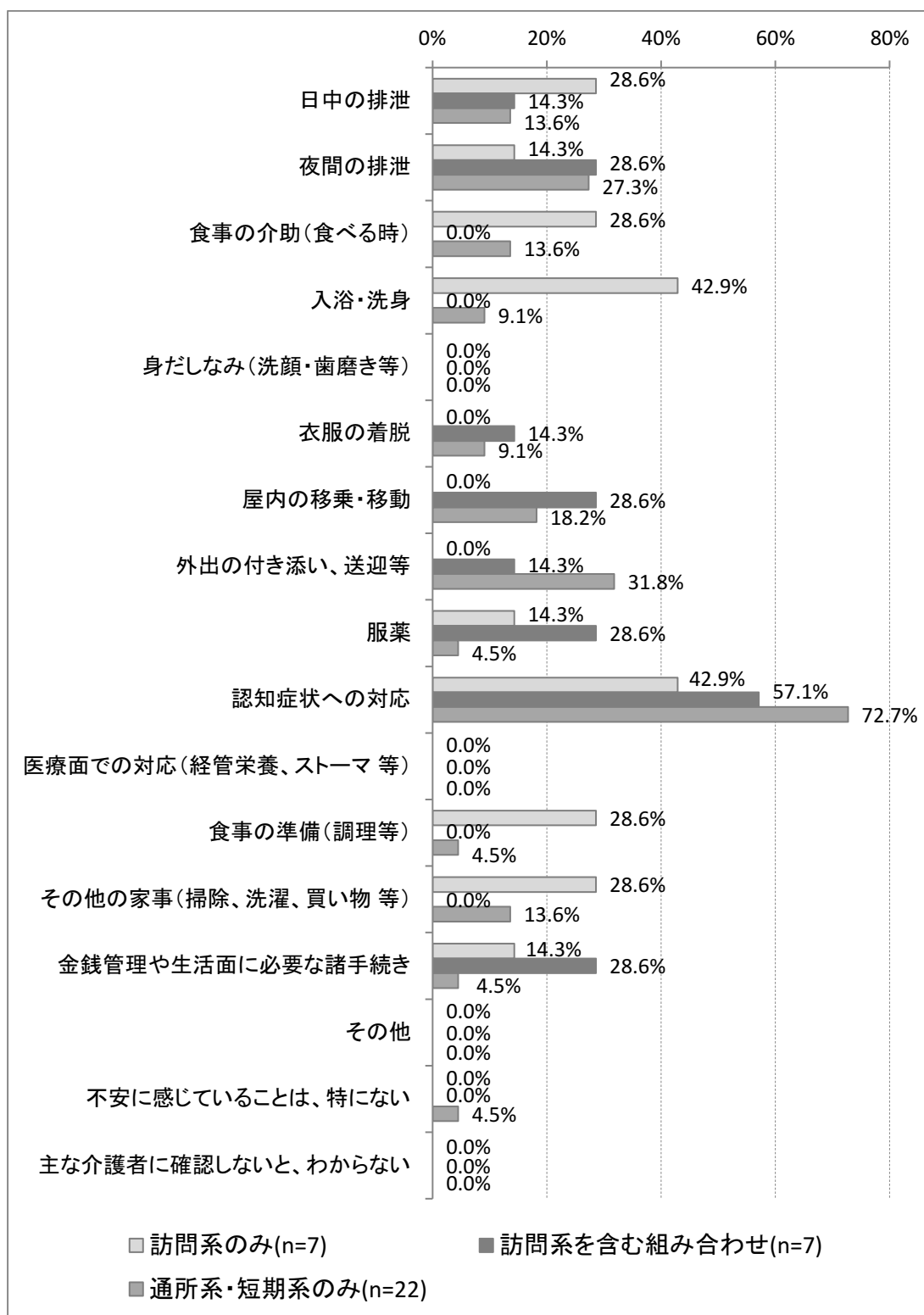
⑤ 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

主な介護者の方が不安を感じる介護等についてみると、「外出の付き添い、送迎等」や「認知症状への対応」などの割合は、要介護3以上と日常生活自立度（認知症）Ⅲ以上で共に、「訪問系のみ」を利用している人より「通所系・短期系のみ」を利用している人の方が割合は高くなっています。

図表1-15 主な介護者の方が不安を感じる介護等×サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）



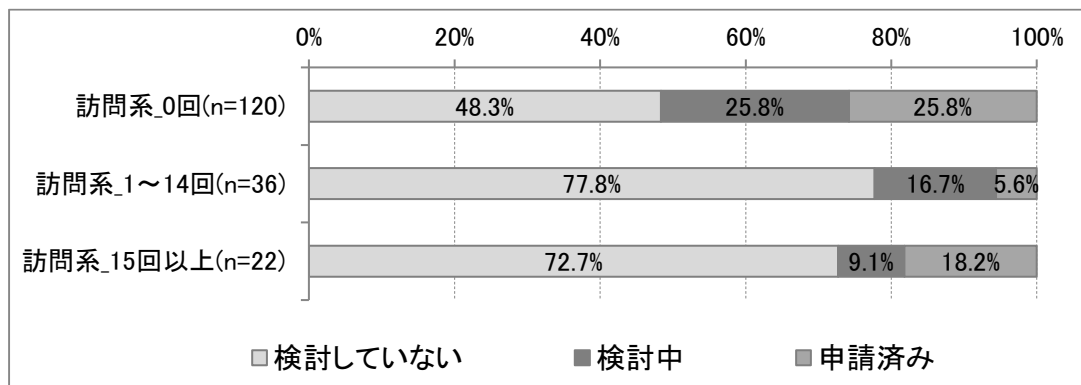
図表1-16 主な介護者の方が不安に感じる介護等×サービス利用の組み合わせ（認知症Ⅲ以上）



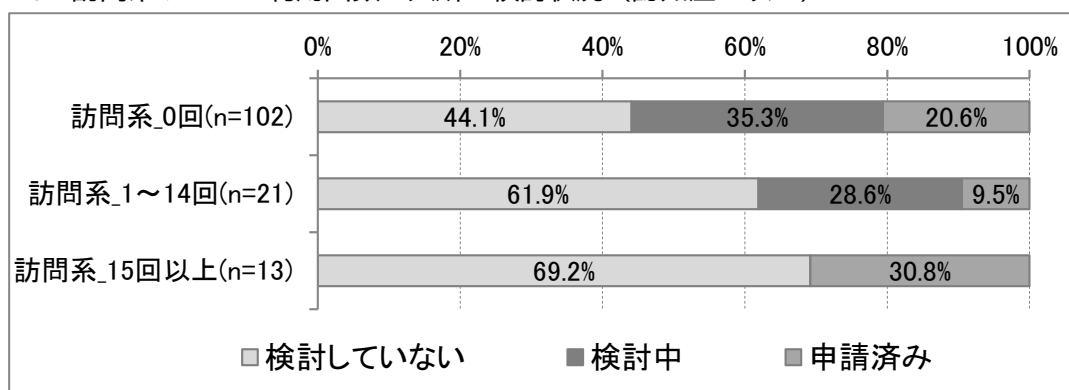
⑥ 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

入所の検討状況についてみると、「検討していない」の割合は、要介護3以上と日常生活自立度（認知症）Ⅲ以上で共に、訪問系の利用回数が「0回」の人より「1～14回」「15回以上」の人で高く、通所系と短期系の利用回数が「0回」の人より「1～14回」の人で低くなっています。

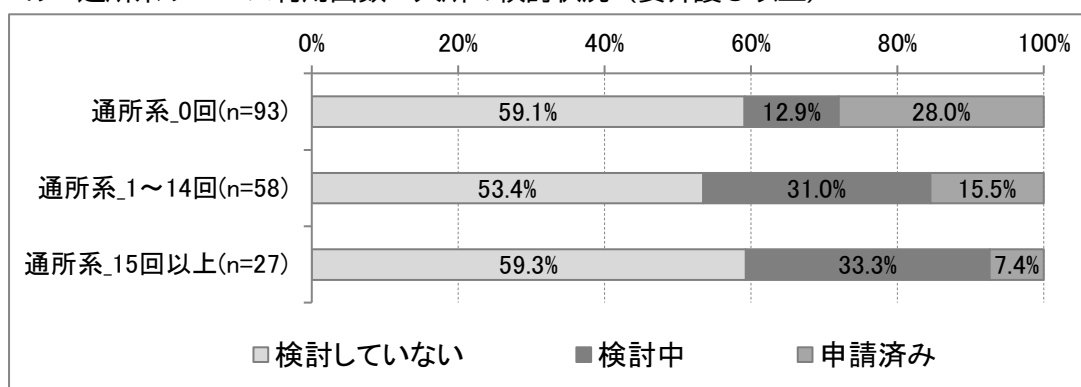
図表1-17 訪問系サービス利用回数×入所の検討状況（要介護3以上）



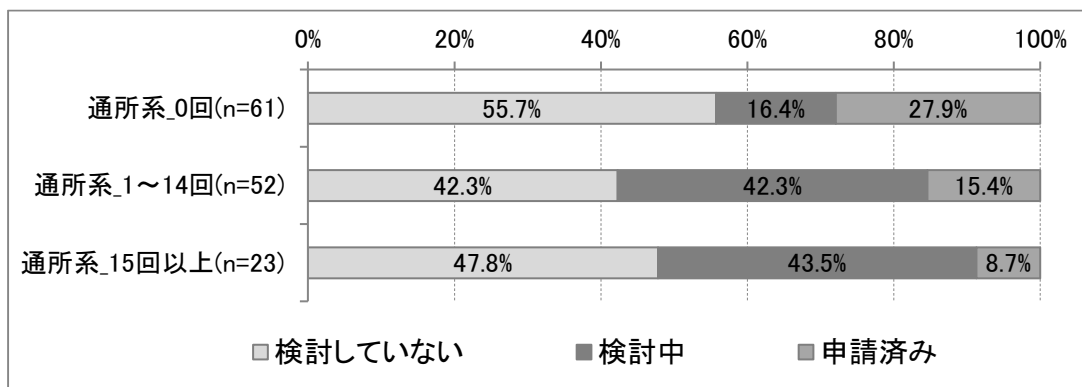
図表1-18 訪問系サービス利用回数×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）



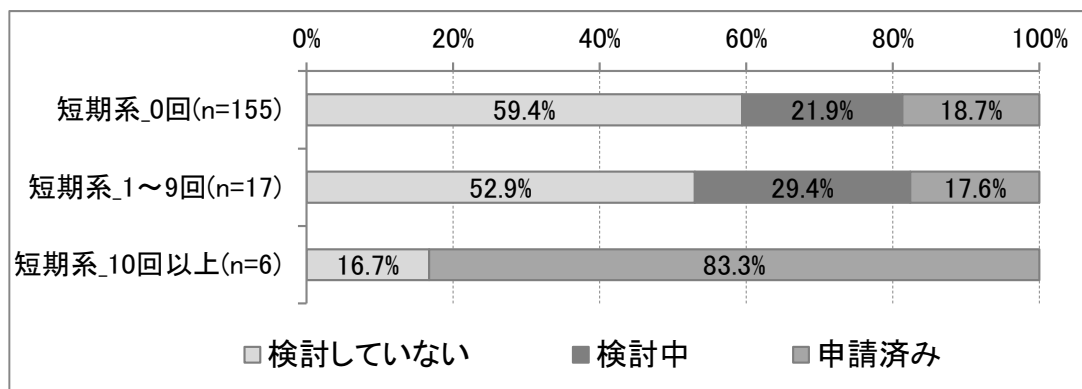
図表1-19 通所系サービス利用回数×入所の検討状況（要介護3以上）



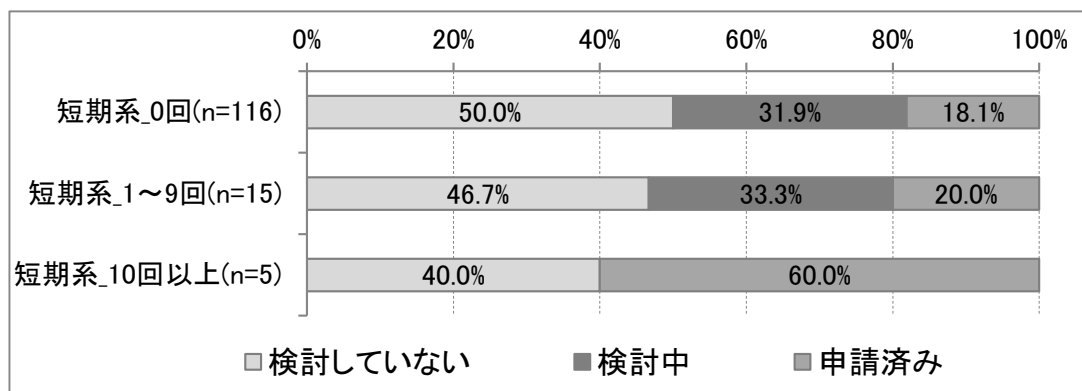
図表1-20 通所系サービス利用回数×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）



図表1-21 短期系サービス利用回数×入所の検討状況（要介護3以上）



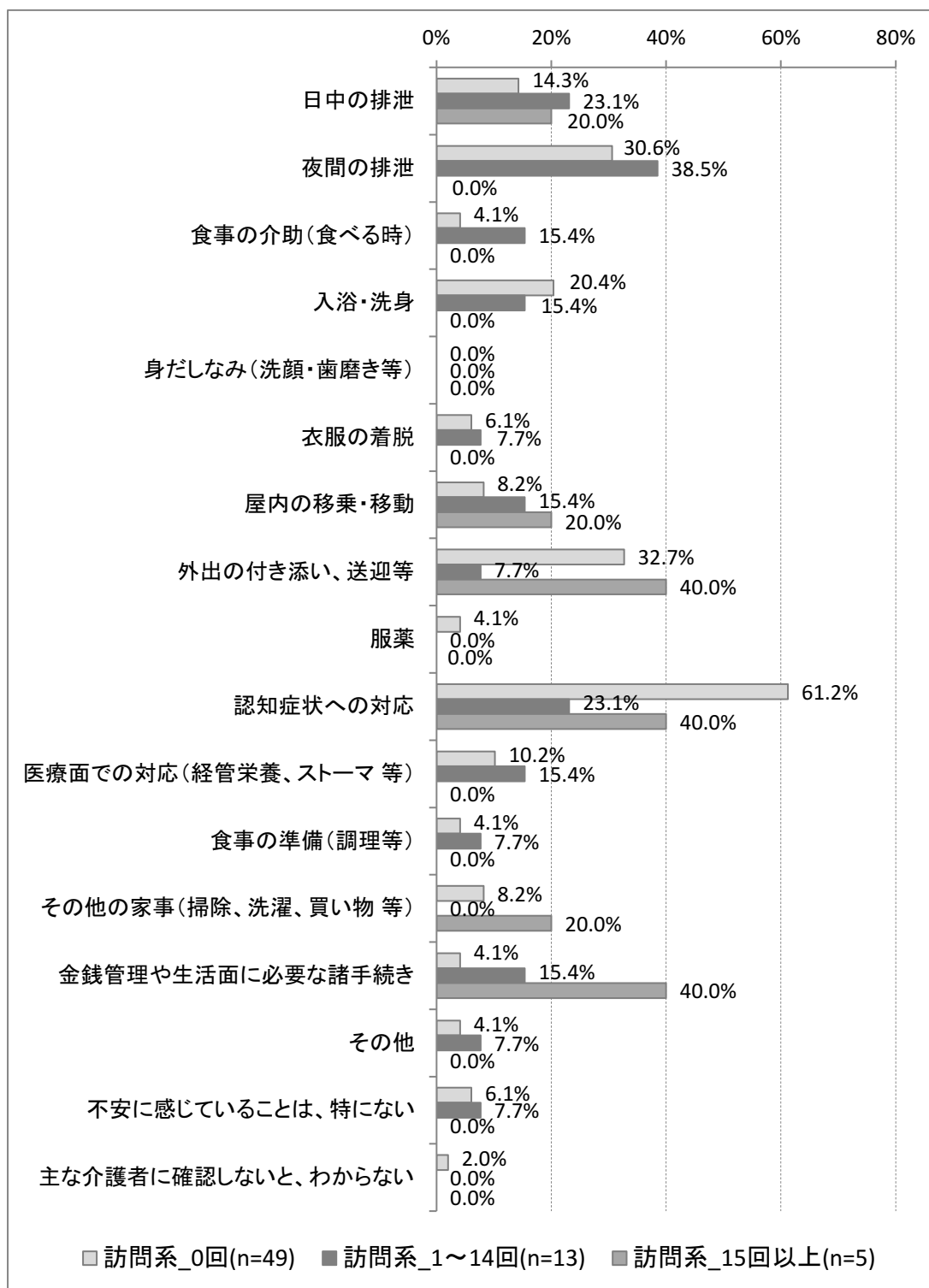
図表1-22 短期系サービス利用回数×入所の検討状況（認知症Ⅲ以上）



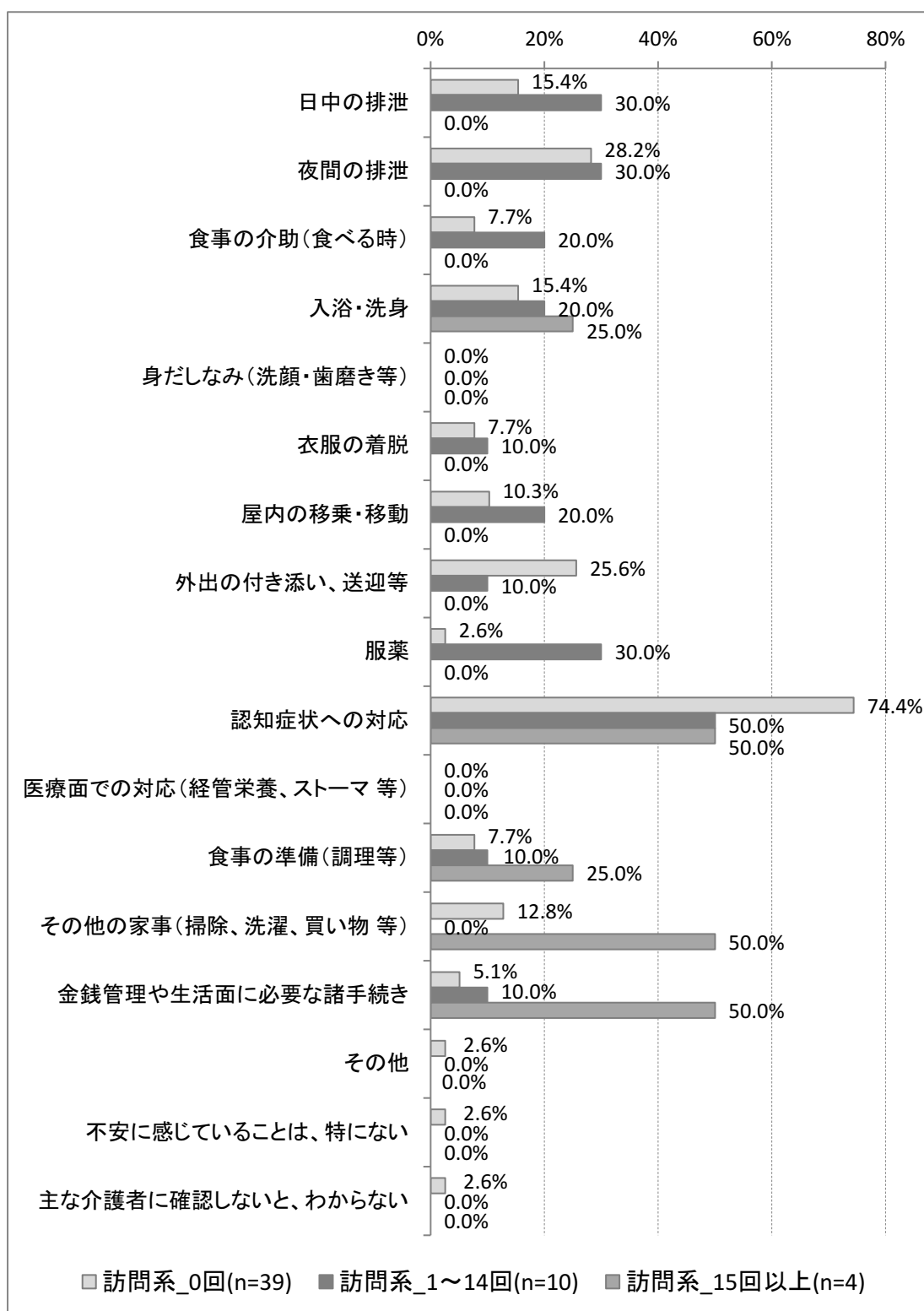
⑦「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

主な介護者の方が不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」の割合は、要介護3以上と日常生活自立度（認知症）Ⅲ以上で共に、訪問系の利用回数が「0回」の人より「1～14回」「15回以上」の人で低く、通所系の利用回数が「0回」の人より「1～14回」の人で高くなっています。

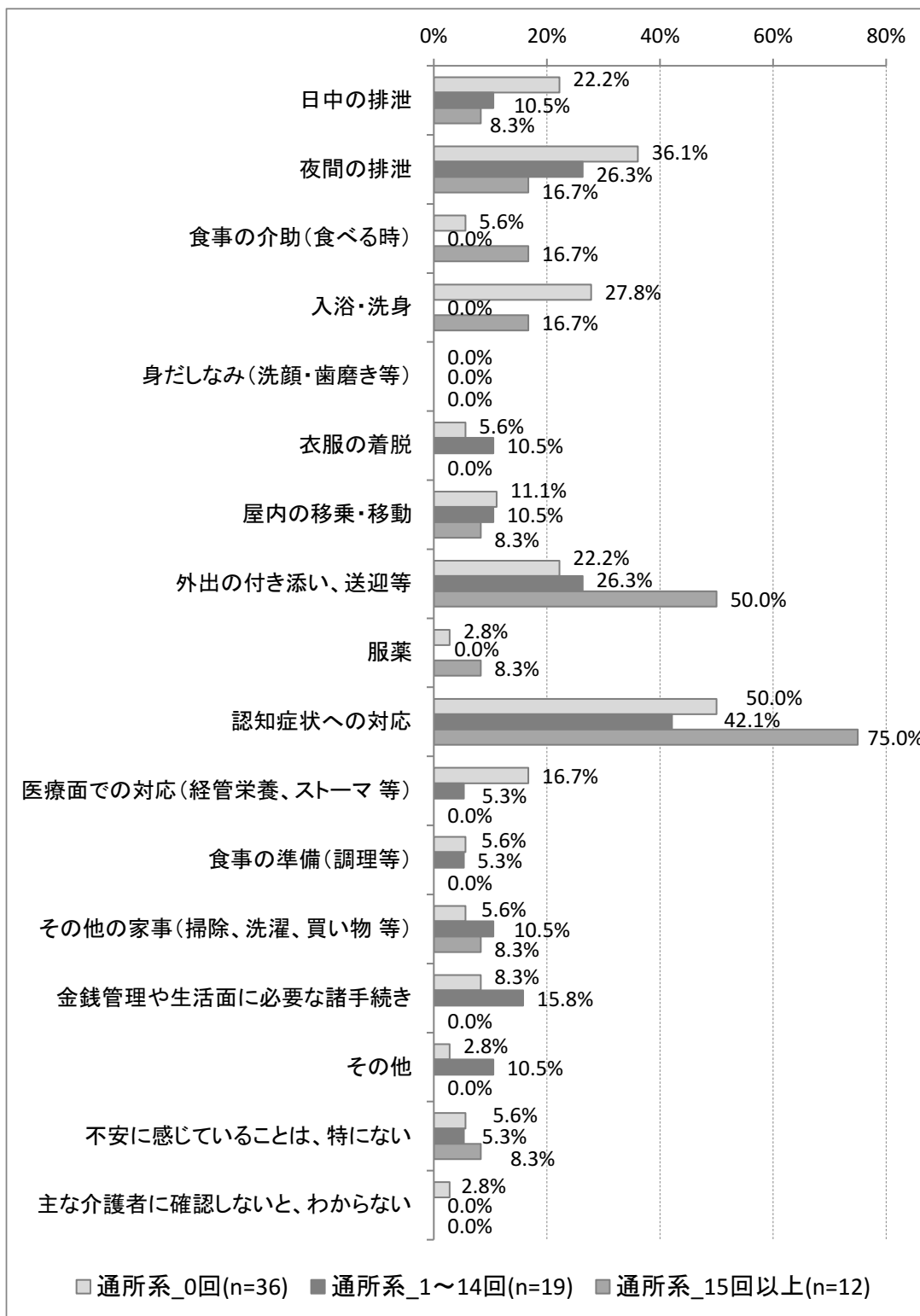
図表1-23 訪問系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（要介護3以上）



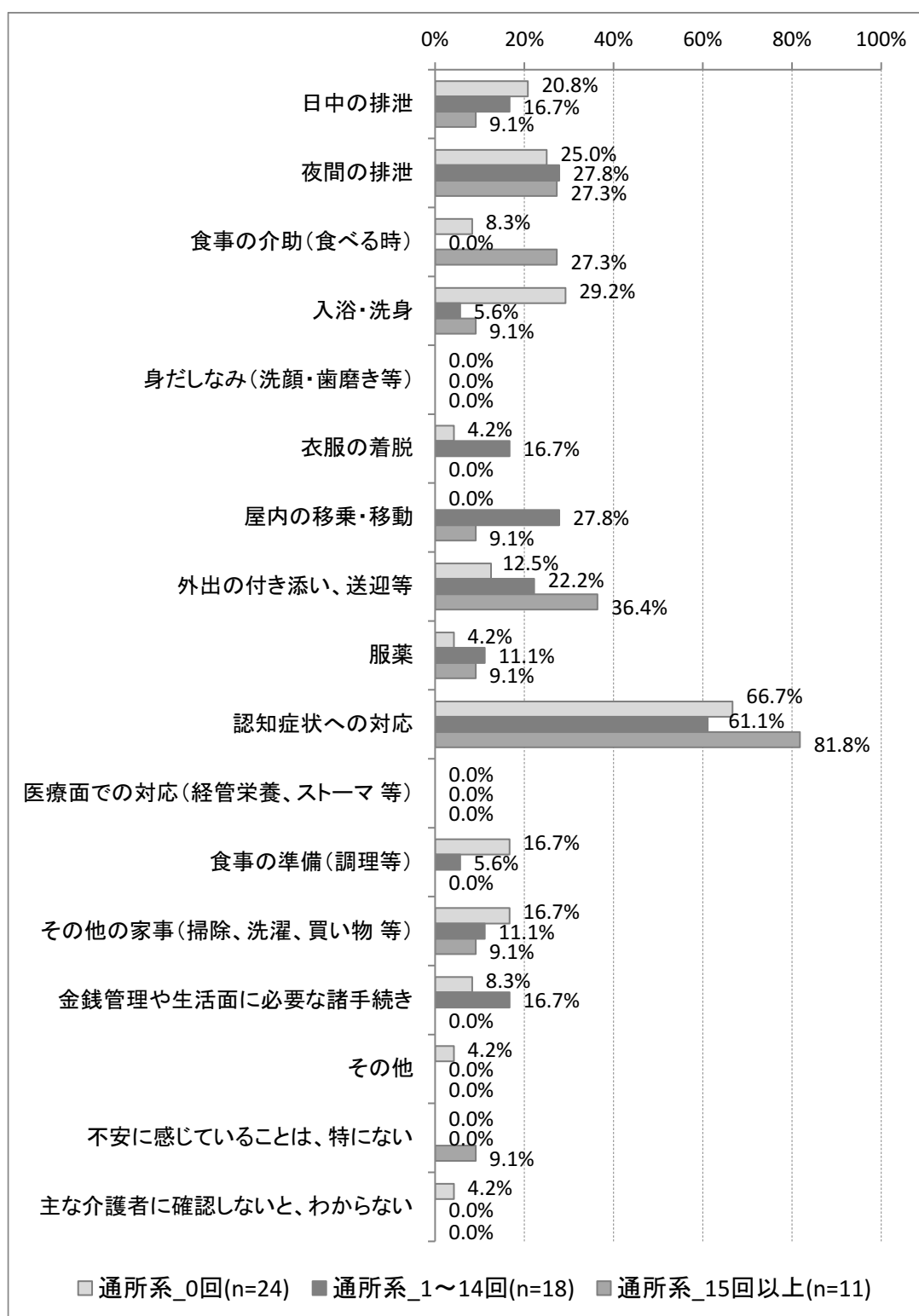
図表1-24 訪問系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（認知症Ⅲ以上）



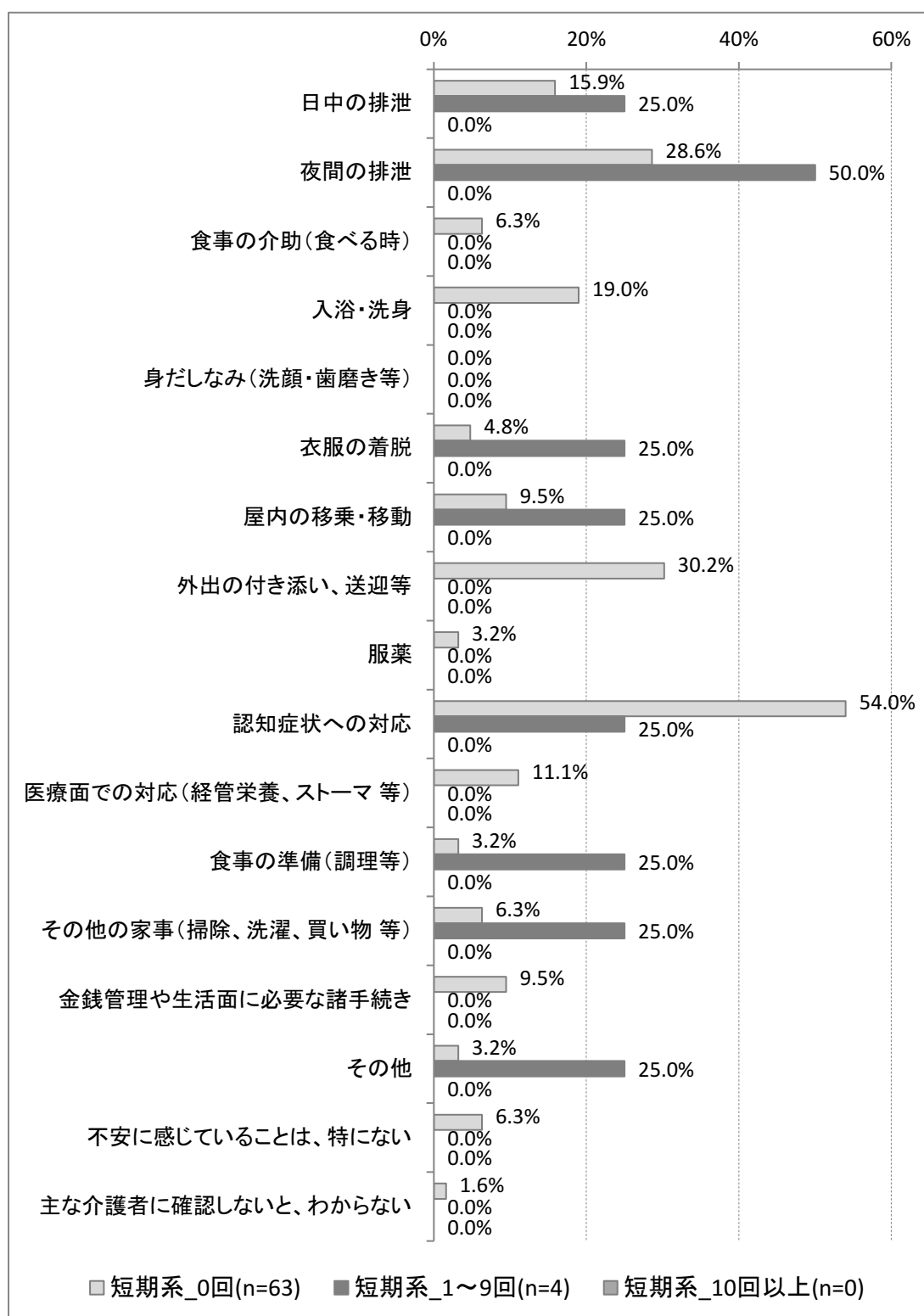
図表1-25 通所系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（要介護3以上）



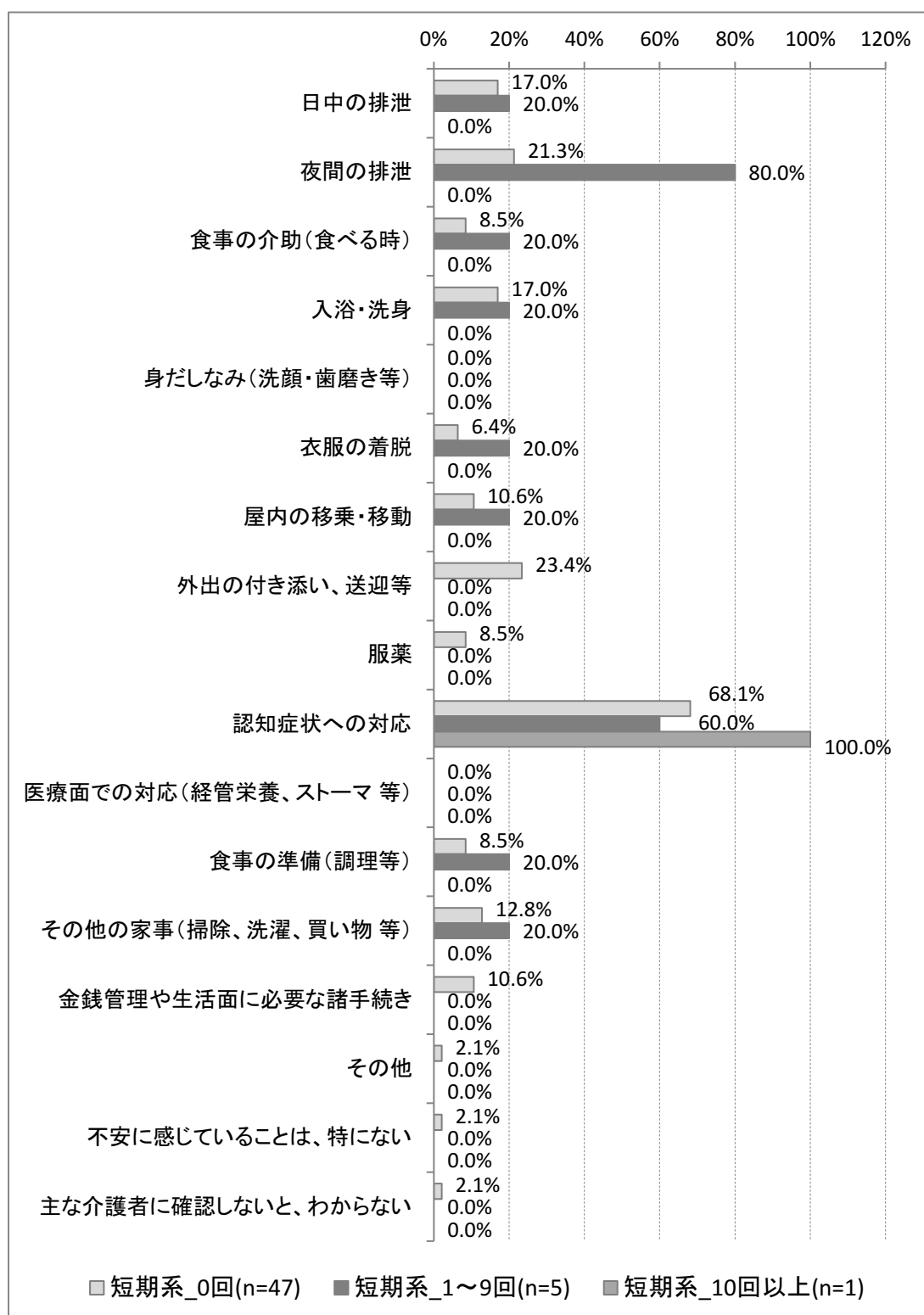
図表1-26 通所系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（認知症Ⅲ以上）



図表1-27 短期系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（要介護3以上）



図表1-28 短期系サービス利用回数×主な介護者の方が不安に感じる介護等（認知症Ⅲ以上）



(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

介護者の就労継続に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点から以下のクロス集計を行っています。

図表 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 クロス集計項目一覧

図表番号	概要	クロス項目
図表2-1	①基礎集計	世帯類型×介護者の勤務形態
図表2-2		主な介護者×介護者の勤務形態
図表2-3		主な介護者の年齢×介護者の勤務形態
図表2-4		主な介護者の性別×介護者の勤務形態
図表2-5		要介護度×介護者の勤務形態
図表2-6		日常生活自立度（認知症高齢者）×介護者の勤務形態
図表2-7		家族や親族からの介護×介護者の勤務形態
図表2-8	②就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み	主な介護者が行っている介護等×介護者の勤務形態
図表2-9		介護者の勤務形態×就労継続の見込み
図表2-10		要介護度×就労継続の見込み
図表2-11		日常生活自立度（認知症高齢者）×就労継続の見込み
図表2-12	③「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係	介護者の勤務形態×介護保険サービスの利用
図表2-13		就労継続の見込み×介護保険サービスの利用
図表2-14		サービスを利用していない理由×就労継続の見込み
図表2-15		主な介護者の方が不安に感じる介護等×就労継続の見込み
図表2-16	④「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係	介護者の勤務形態×サービス利用の組み合わせ
図表2-17		訪問系サービスの利用回数×就労継続の見込み(要介護2以上)
図表2-18		訪問系サービスの利用回数×就労継続の見込み(日常生活自立度(認知症高齢者)Ⅱ以上)
図表2-19	⑤就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況	介護者の勤務形態×訪問診療の利用
図表2-20		介護者の勤務形態×入所の検討状況
図表2-21		介護者の勤務形態×入所の検討状況(要介護2以上)
図表2-22	⑥就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援	主な介護者の働き方の調整×介護者の勤務形態
図表2-23		主な介護者の働き方の調整×就労継続の見込み
図表2-24		勤め先からの支援×介護者の勤務形態
図表2-25		勤め先からの支援×就労継続の見込み

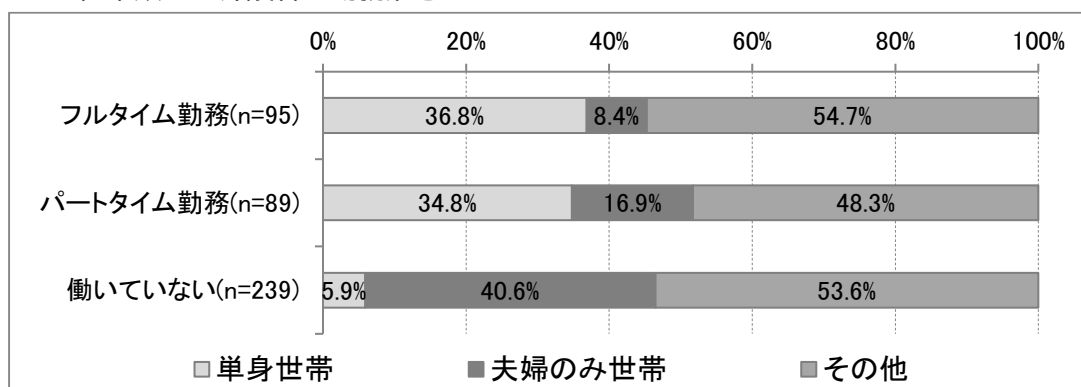
①基礎集計

介護者の勤務形態についてみると、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」の割合は、回答者の世帯類型が「単身世帯」、主な介護者と回答者の関係が「子」、主な介護者の年齢が「50歳代」で高くなっており、いずれも「フルタイム勤務」の方が高い割合を示しています。

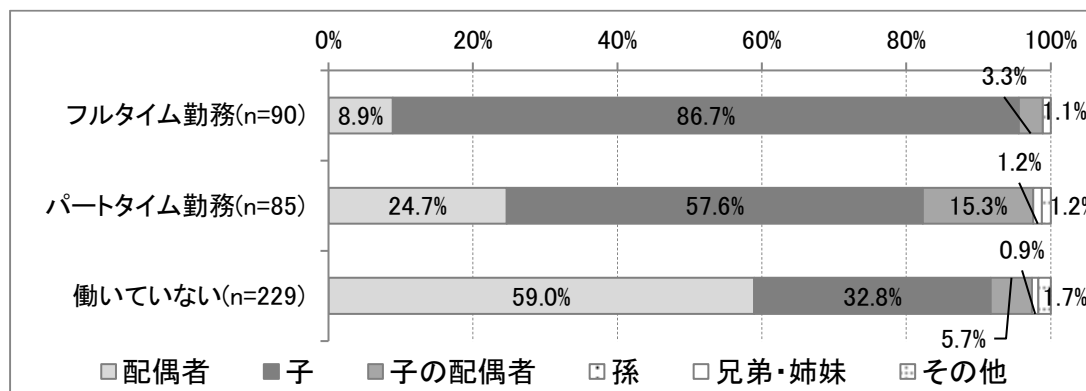
介護者の性別ごとにもみると、「フルタイム勤務」では「男性」、「パートタイム勤務」「働いていない」では「女性」の割合が高くなっています。

要介護度と日常生活自立度（認知症高齢者）別にみると、「フルタイム勤務」の割合が「要介護2」、「パートタイム勤務」の割合が「要介護1」で高くなっており、日常生活自立度は認知症Ⅱで最も高くなっています。

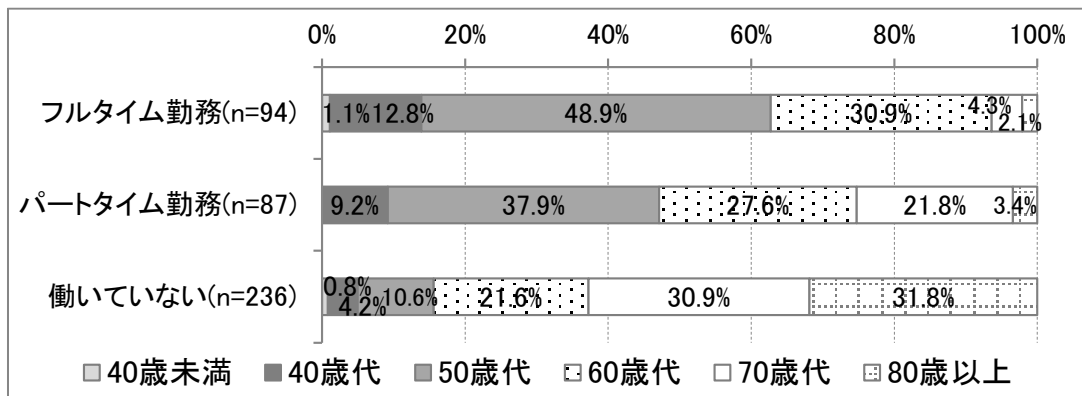
図表2-1 世帯類型×介護者の勤務形態



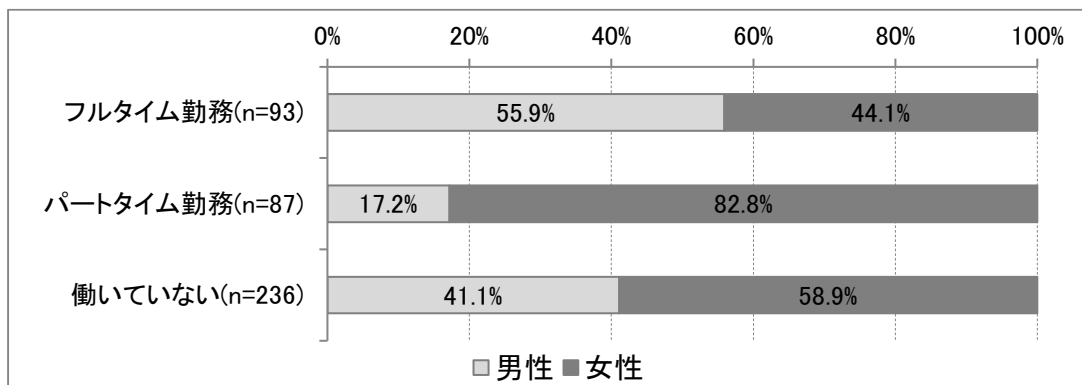
図表2-2 主な介護者と回答者の関係×介護者の勤務形態



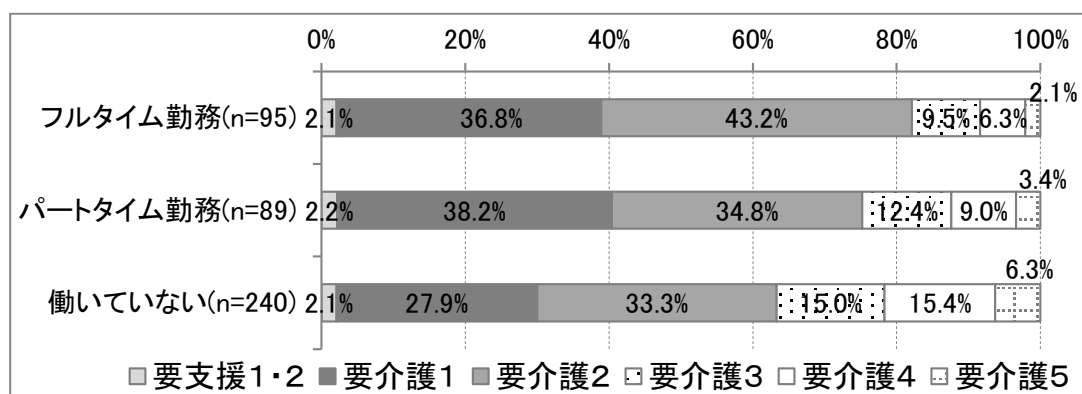
図表2-3 主な介護者の年齢×介護者の勤務形態



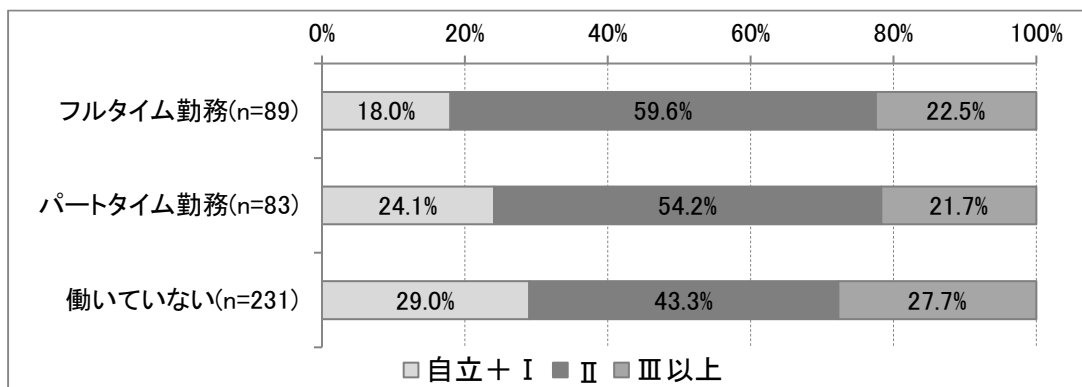
図表2-4 主な介護者の性別×介護者の勤務形態



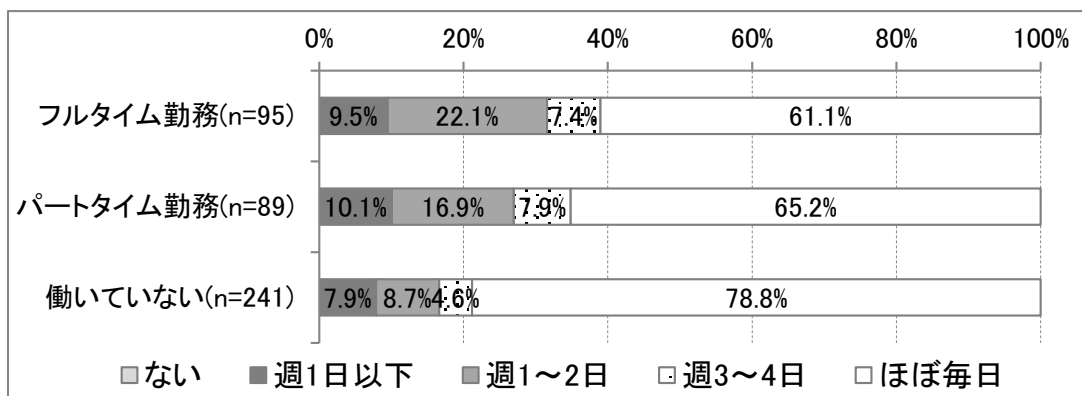
図表2-5 要介護度×介護者の勤務形態



図表2-6 日常生活自立度（認知症高齢者）×介護者の勤務形態



図表2-7 家族や親族からの介護×介護者の勤務形態

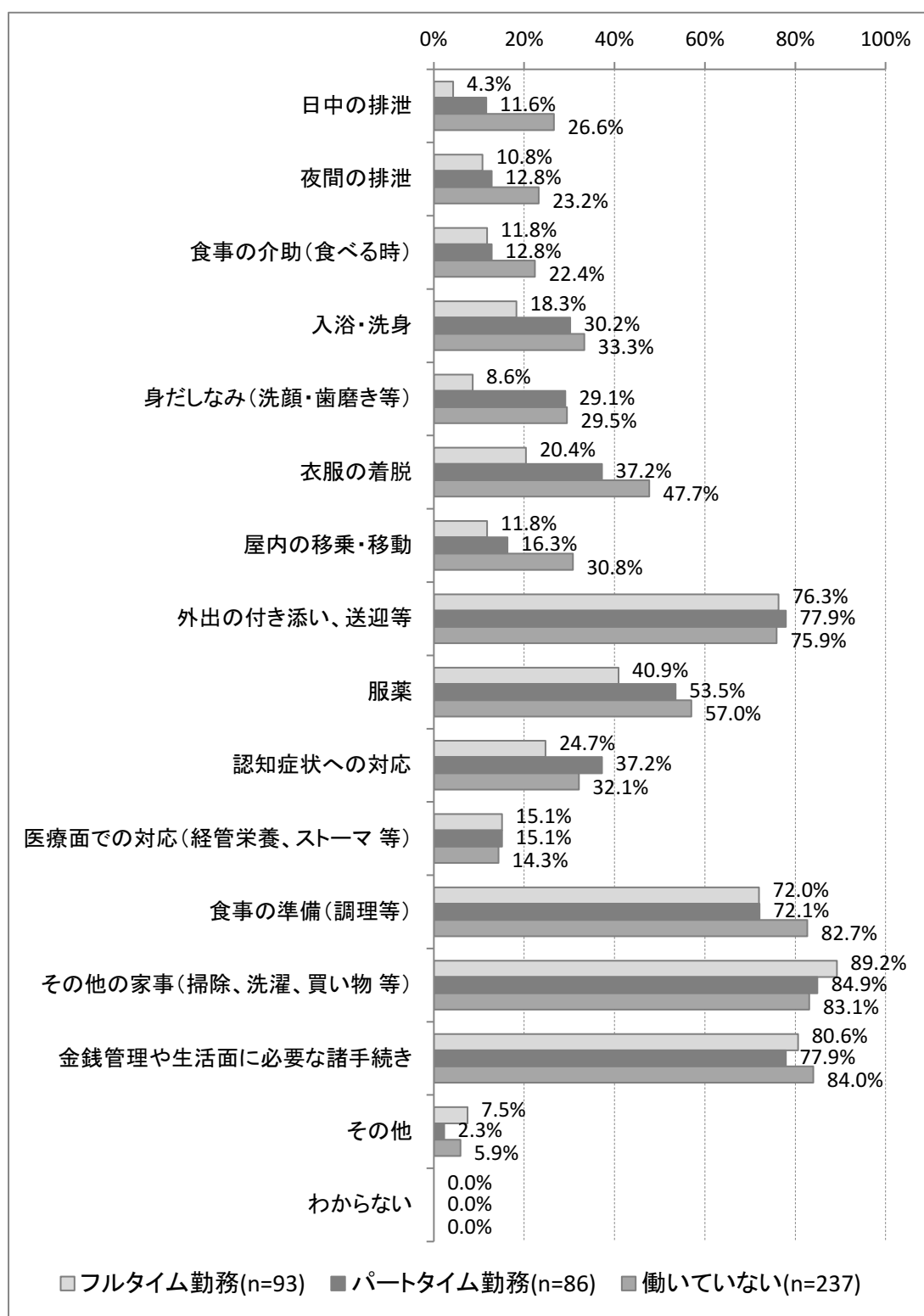


②就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

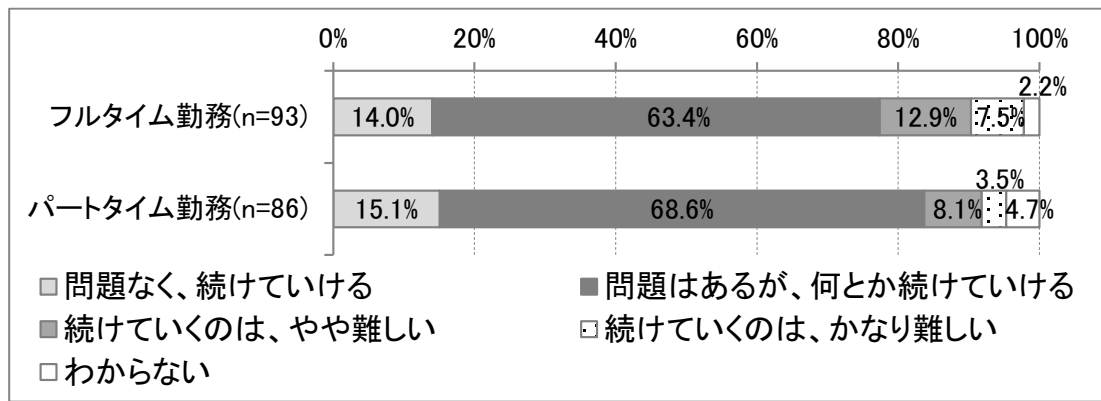
主な介護者が行っている介護等についてみると、「働いていない」介護者は「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」の介護者に比べ、行っている介護の割合が全体的に高くなっています。

就労継続の見込みについてみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の割合の合計は、「パートタイム勤務」より「フルタイム勤務」で、「要支援1～要介護1」より「要介護2以上」で高くなっています。

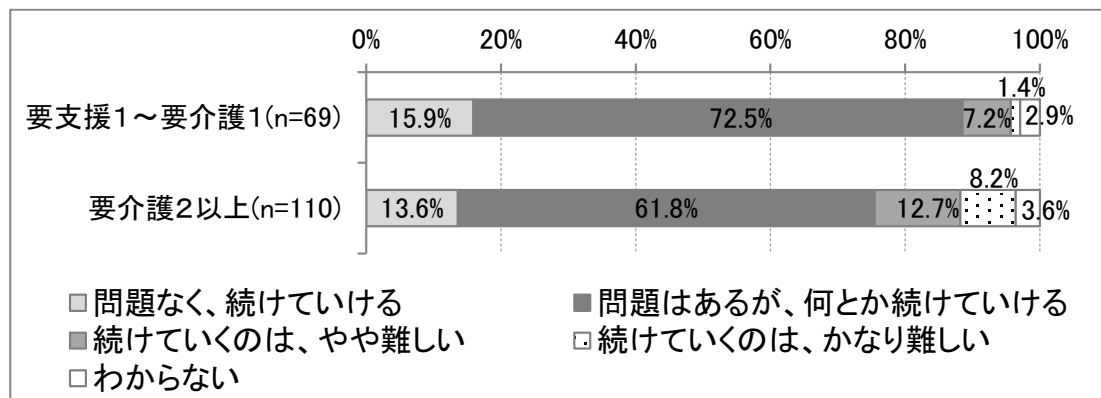
図表2-8 主な介護者が行っている介護等×介護者の勤務形態



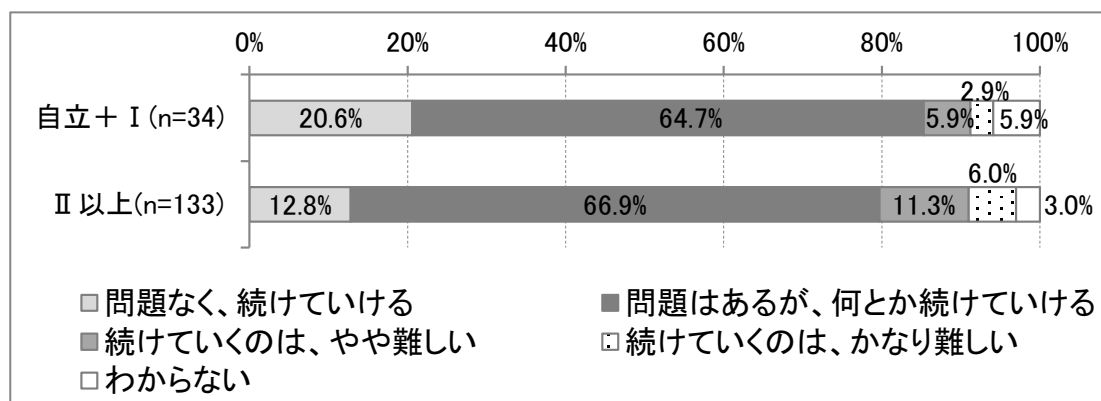
図表2-9 介護者の勤務形態×就労継続の見込み



図表2-10 要介護度×就労継続の見込み



図表2-11 日常生活自立度（認知症高齢者）×就労継続の見込み

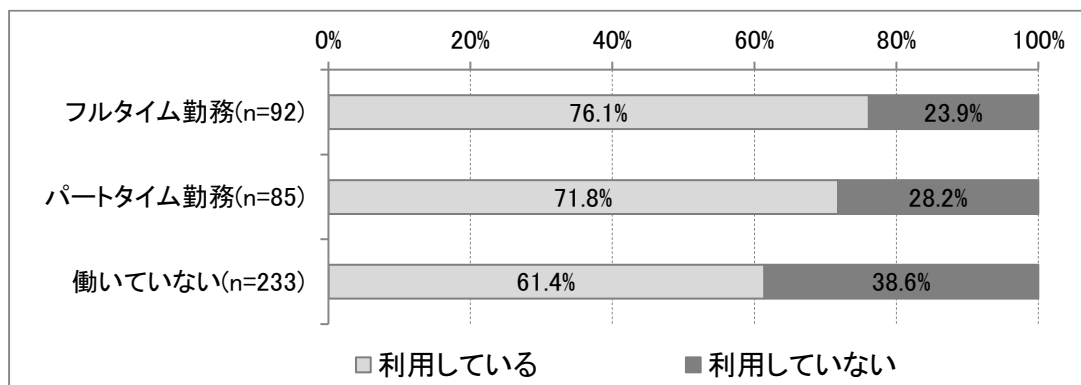


③ 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

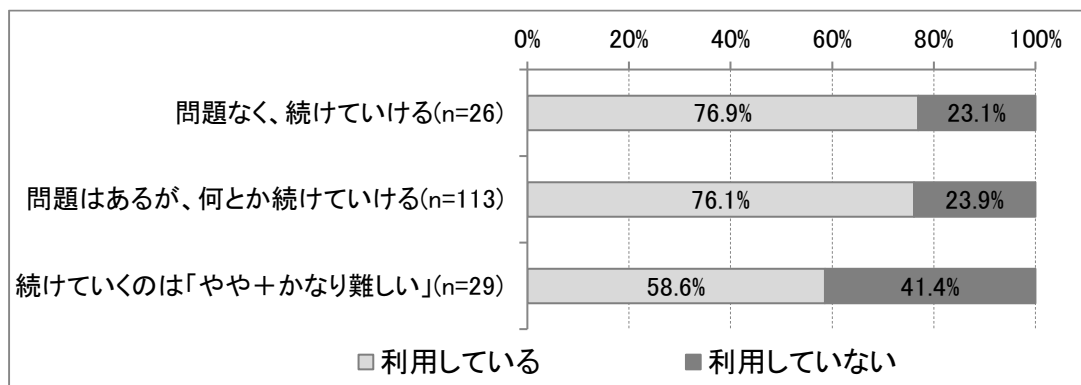
介護保険サービスの利用についてみると、「利用している」の割合は、介護者の勤務形態が「フルタイム勤務」、就労継続の見込みが「問題なく、続けていける」で高くなっています。

主な介護者の方が不安に感じる介護等についてみると、就労継続の見込みとして「続けていくのは、『やや+かなり難しい』」と考えている介護者では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」「認知症上への対応」などの割合が高くなっています。

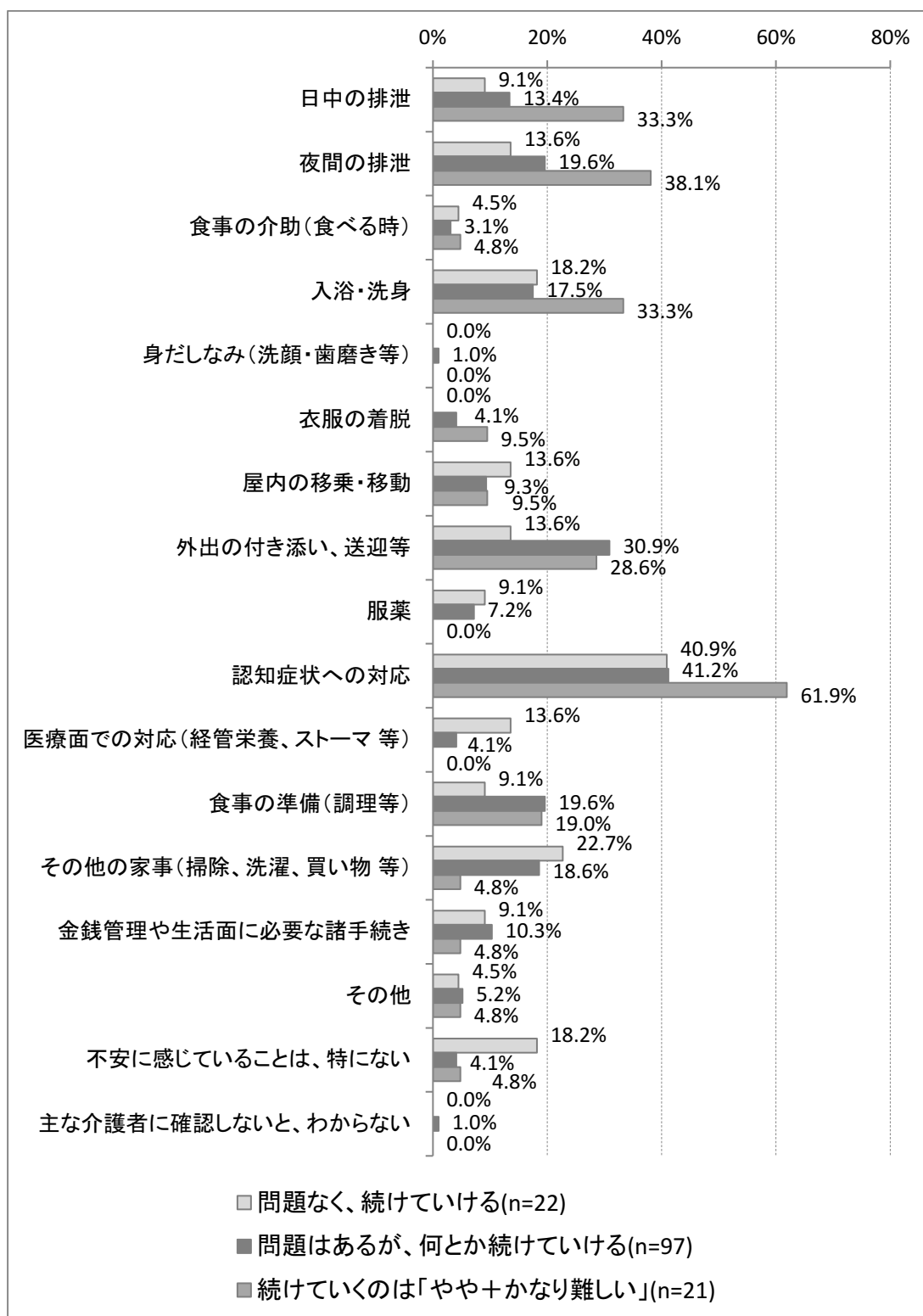
図表2-12 介護者の勤務形態×介護保険サービスの利用



図表2-13 就労継続の見込み×介護保険サービスの利用



図表2-15 主な介護者の方が不安に感じる介護等×就労継続の見込み

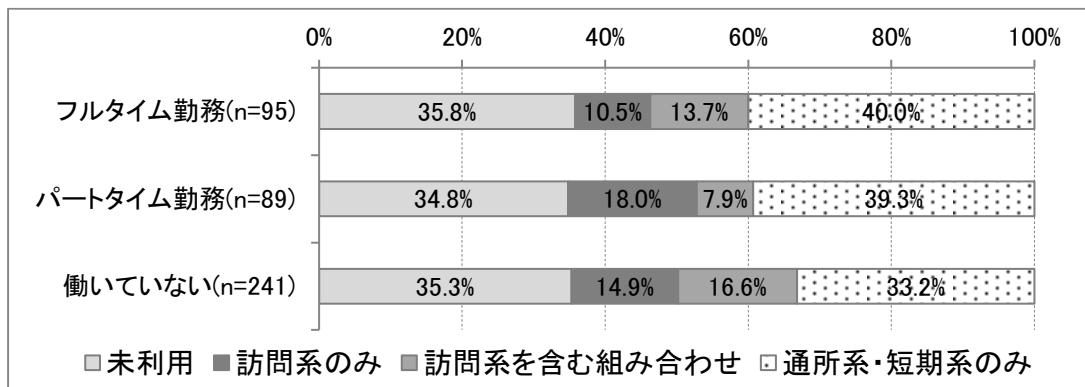


④「サービスの組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

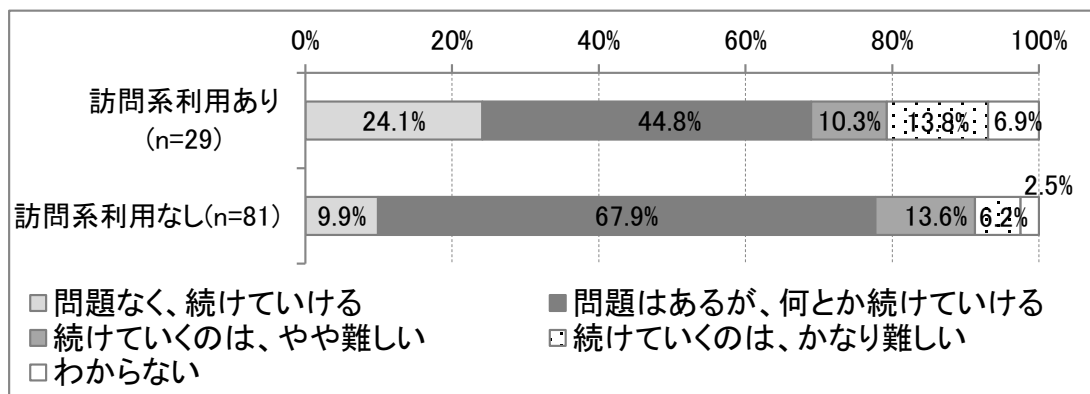
サービス利用の組み合わせについてみると、他勤務形態に比べ、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」の割合が高く、「訪問系のみ」が低く、「パートタイム勤務」では「訪問系のみ」の割合が高く、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が低く、「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高く、「短期系・通所系のみ」が低くなっており、勤務形態ごとに特徴が異なります。

就労継続の見込みについてみると、要介護2以上、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の割合の合計は、「訪問系利用あり」が「訪問系利用なし」より高くなっている一方、「問題なく、続けている」の割合も「訪問系利用あり」が「訪問系利用なし」より高くなっており、就労継続を難しいと考えている介護者と就労継続することに余裕がある介護者の双方が増加しています。

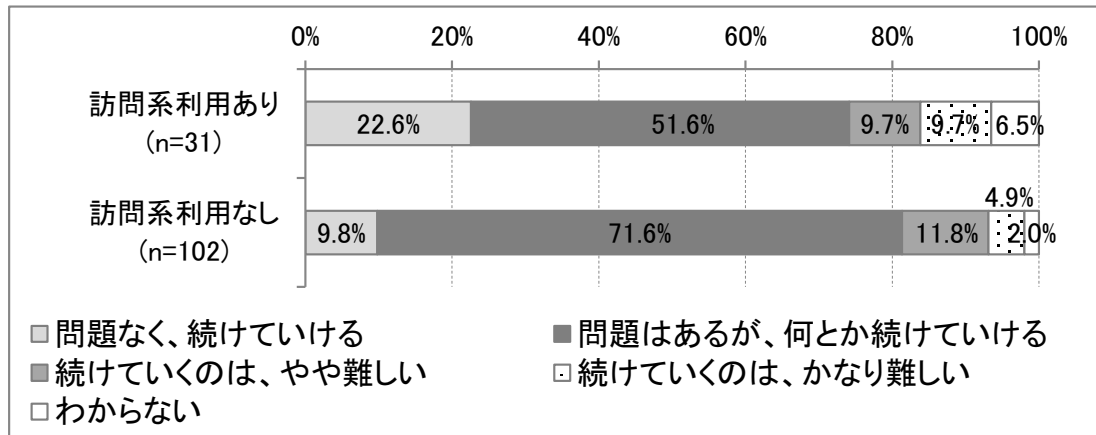
図表2-16 介護者の勤務形態×サービス利用の組み合わせ



図表2-17 サービス利用の組み合わせ（集約）×就労継続の見込み（要介護2以上）



図表2-18 サービス利用の組み合わせ（集約）×就労継続の見込み（認知症Ⅱ以上）

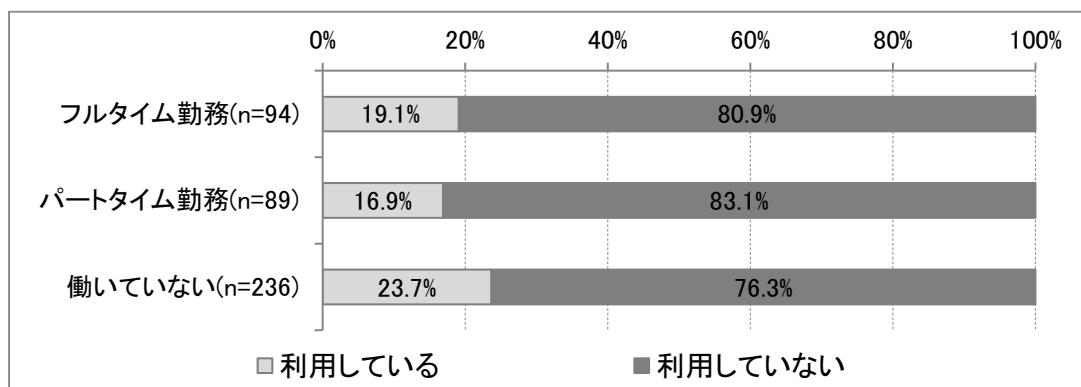


⑤就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

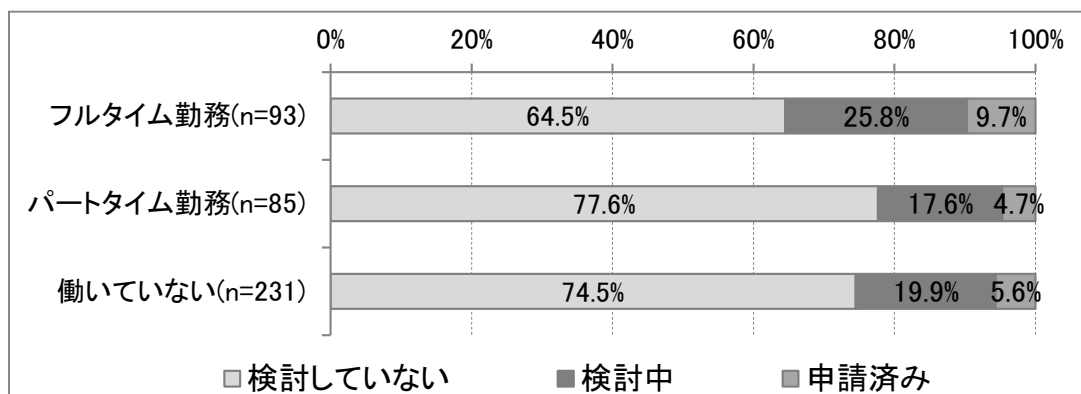
訪問診療の利用についてみると、介護者の勤務形態ごとに大きな差はありません。

入所の検討状況についてみると、「検討していない」の割合は「パートタイム勤務」で最も高くなっています。また、回答者が要介護2以上で、介護者が就労をしており、介護者が就労継続を「続けていくのは、『やや+かなり難しい』」と考えている場合についてみると、「検討していない」の割合がかなり低くなっています。

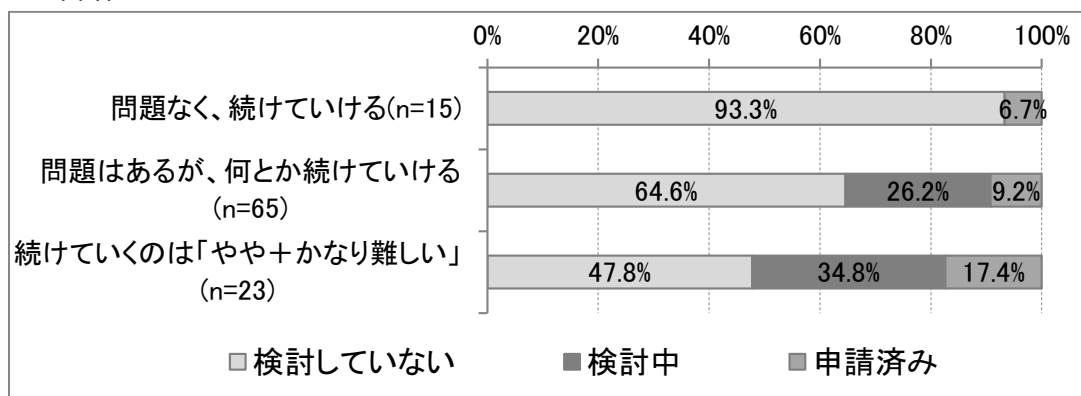
図表2-19 介護者の勤務形態×訪問診療の利用



図表2-20 介護者の勤務形態×入所の検討状況



図表2-21 就労継続の見込み×入所の検討状況（要介護2以上、フルタイム・パートタイム勤務の介護者のみ集計）

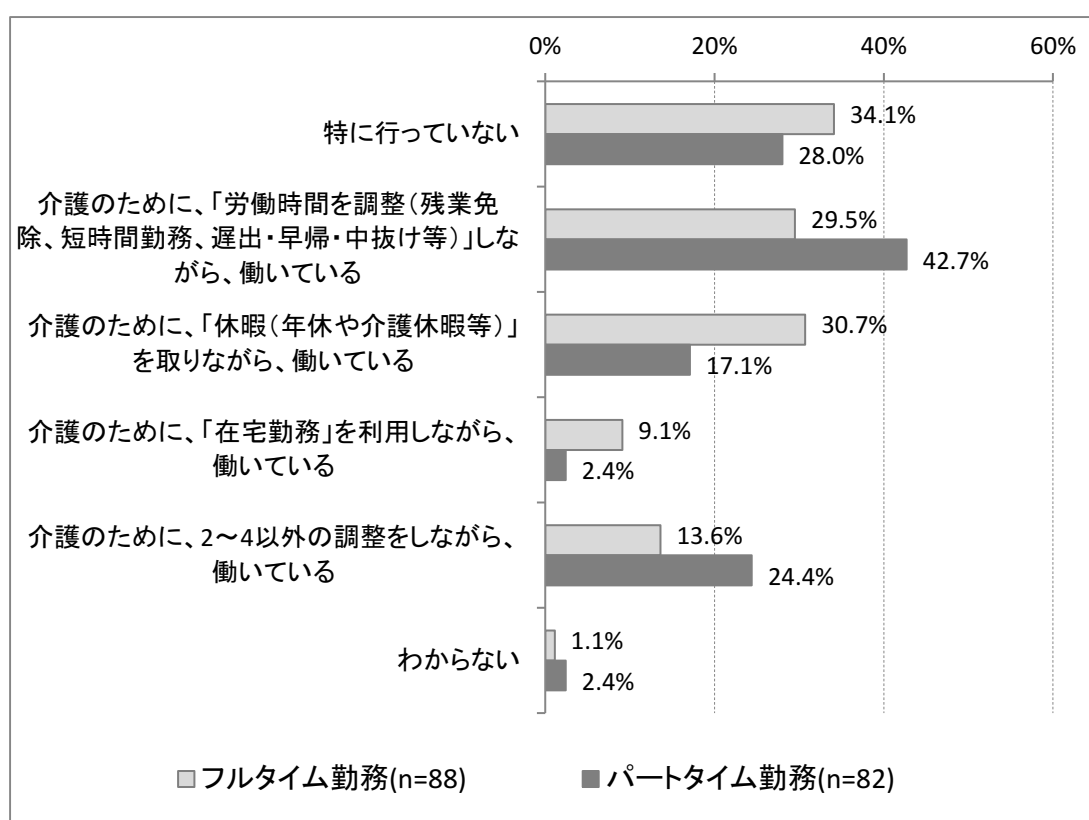


⑥就労状況別、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

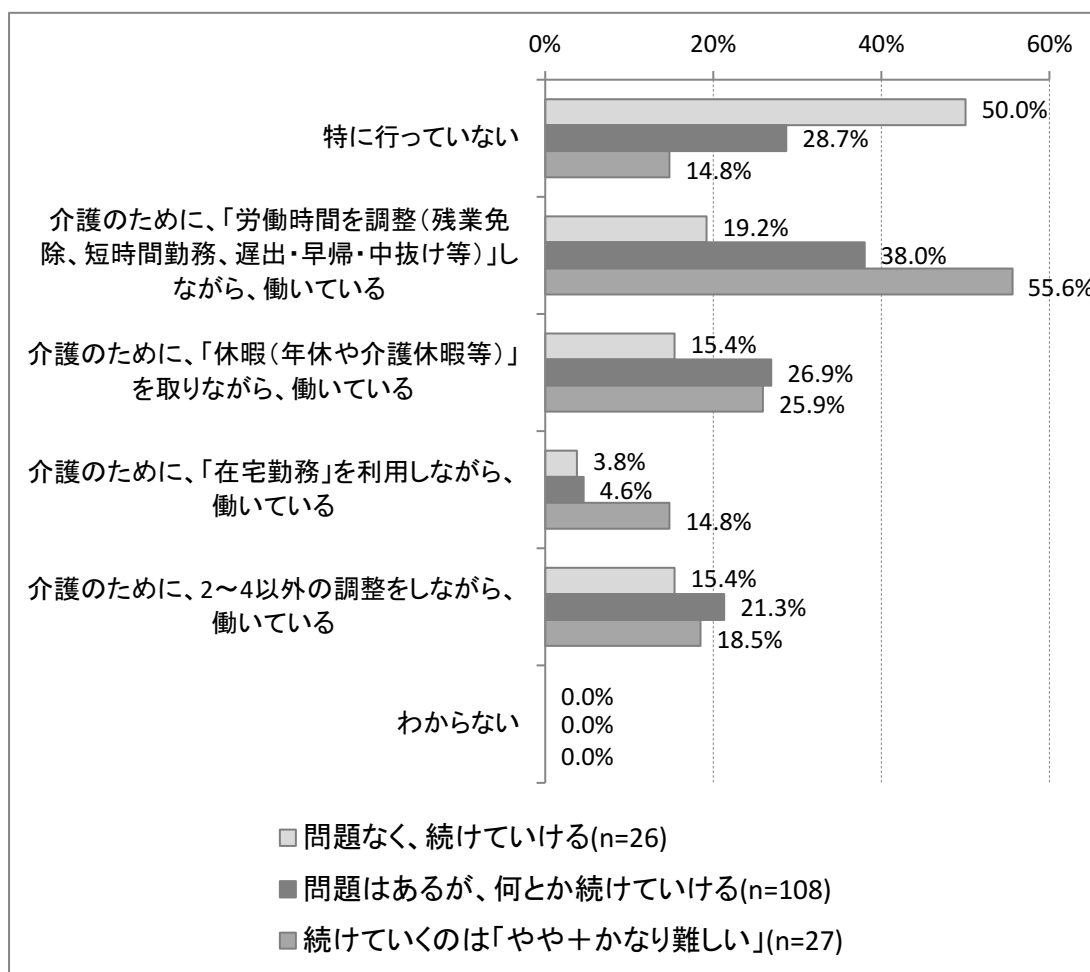
主な介護者の働き方の調整についてみると、「介護のために『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」の割合は、「パートタイム勤務」より「フルタイム勤務」で高く、就労継続を「続けていくのは、『やや+かなり難しい』」と考えている介護者では、「介護のために『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」の割合が高くなっています。

介護者の考えた効果的な勤め先からの支援についてみると、「介護休業、介護休暇等の制度の充実」や「介護をしている従業員への経済的な支援」等の割合は、「パートタイム勤務」より「フルタイム勤務」で高く、「パートタイム勤務」では「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」がやや高く、「特にない」がかなり高くなっています。

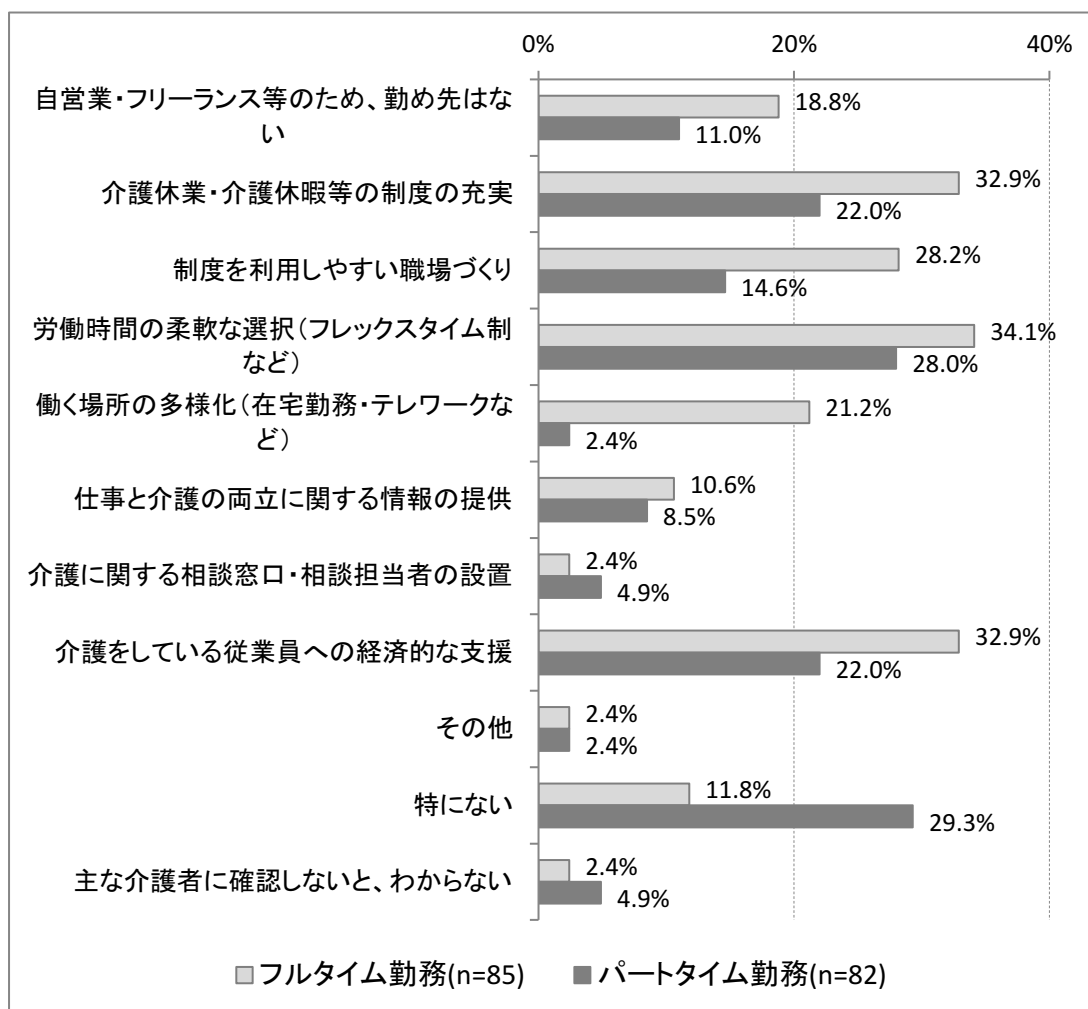
図表2-22 主な介護者の働き方の調整×介護者の勤務形態



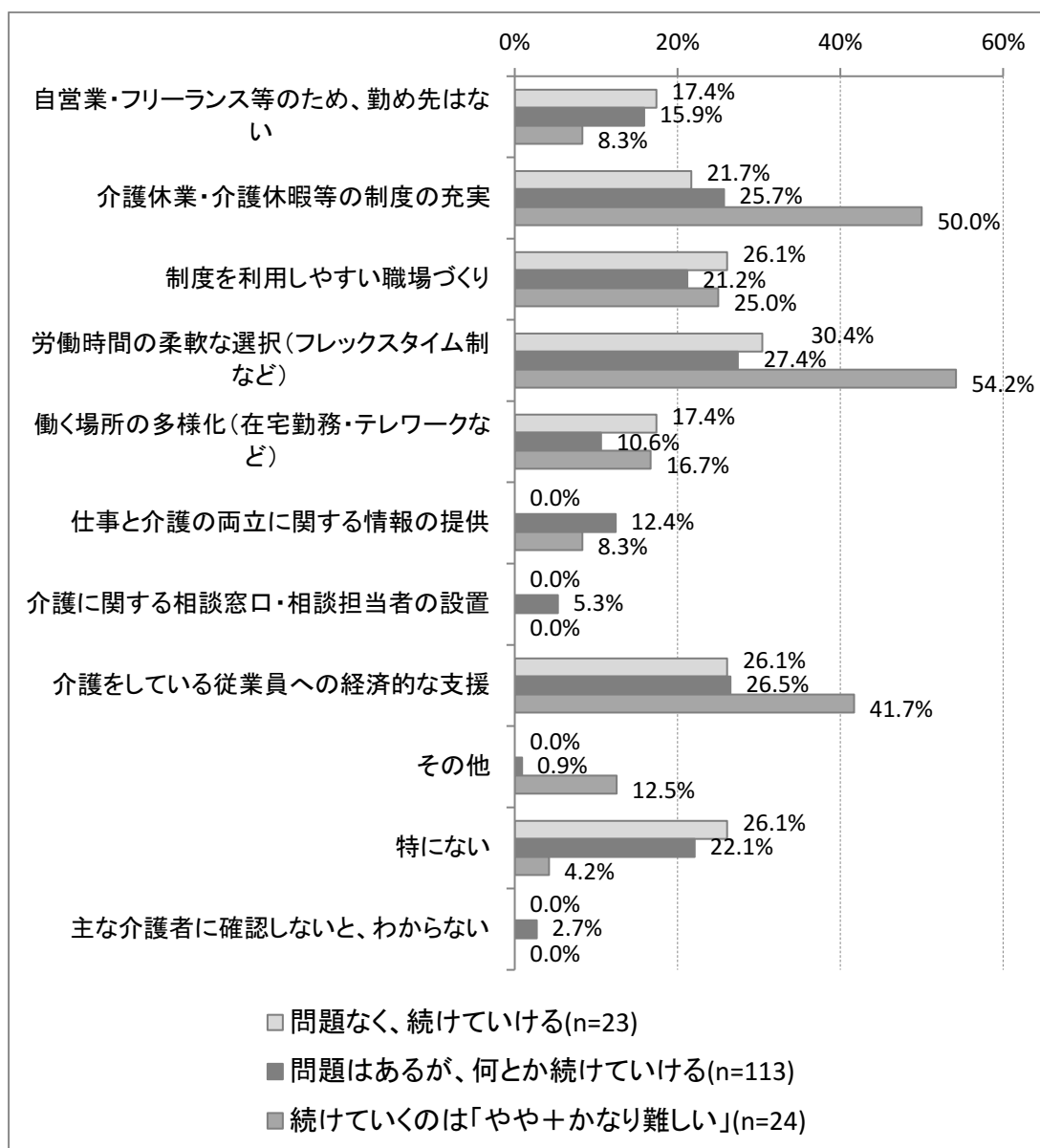
図表2-23 主な介護者の働き方の調整×就労継続の見込み



図表2-24 勤め先からの支援×介護者の勤務形態



図表2-25 勤め先からの支援×就労継続の見込み



(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「保険外の支援・サービス」に焦点を当て、以下のクロス集計を行っています。

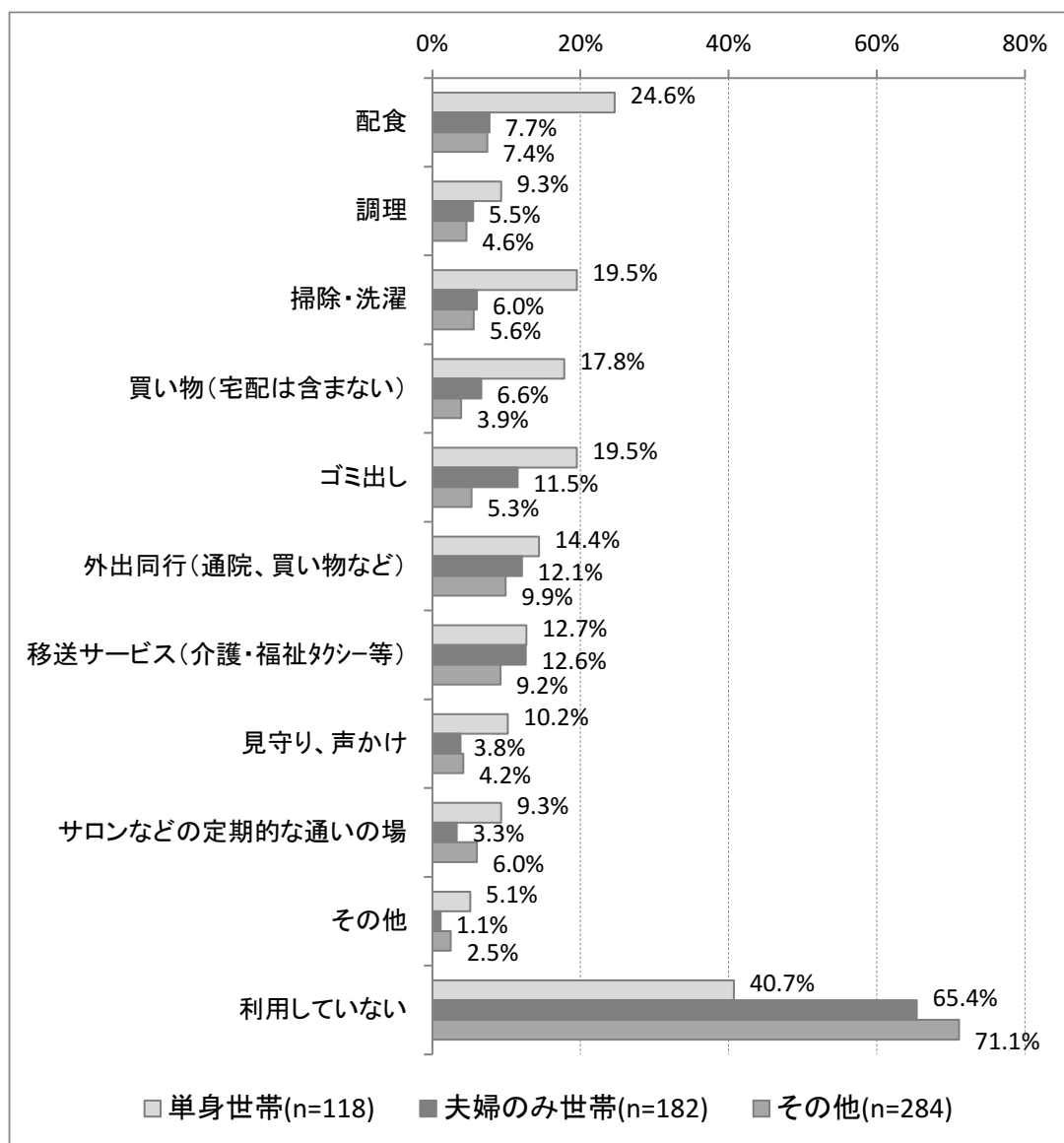
図表 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 クロス集計項目

図表番号	概要	クロス項目
図表3-1	①世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス	現在利用している介護保険外の支援・サービス×世帯類型
図表3-2		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×世帯類型
図表3-3	②「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」	現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度
図表3-4		現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度（単身世帯）
図表3-5		現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度（夫婦のみ世帯）
図表3-6		現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度（その他世帯）
図表3-7	③「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」	在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度
図表3-8		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度（単身世帯）
図表3-9		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度（夫婦のみ世帯）
図表3-10		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度（その他世帯）

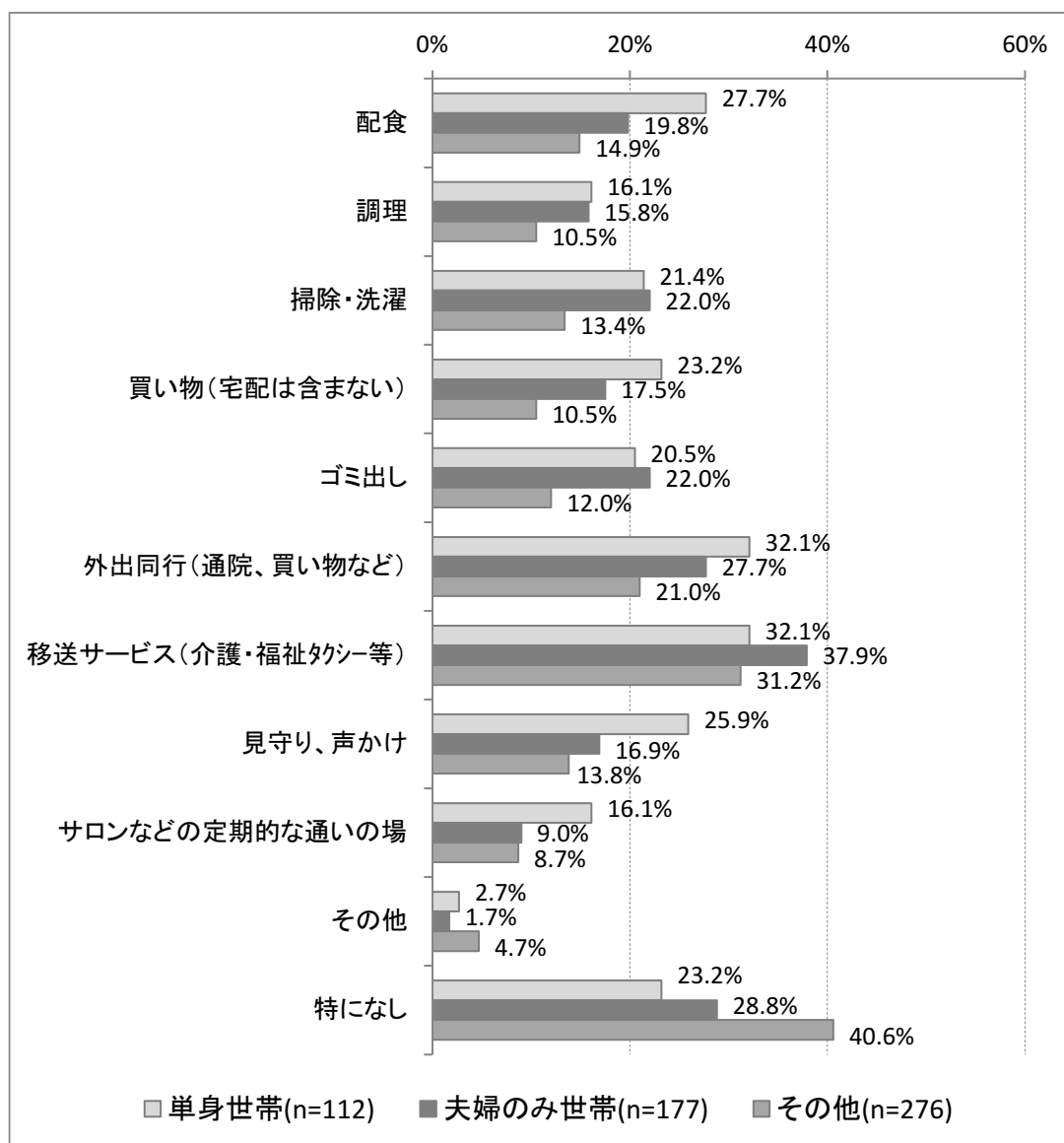
①世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

現在利用している介護保険外の支援・サービスと在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービスについてみると、いずれのサービスの割合も「単身世帯」は「夫婦のみ世帯」より高くなっています。

図表3-1 現在利用している介護保険外の支援・サービス×世帯類型



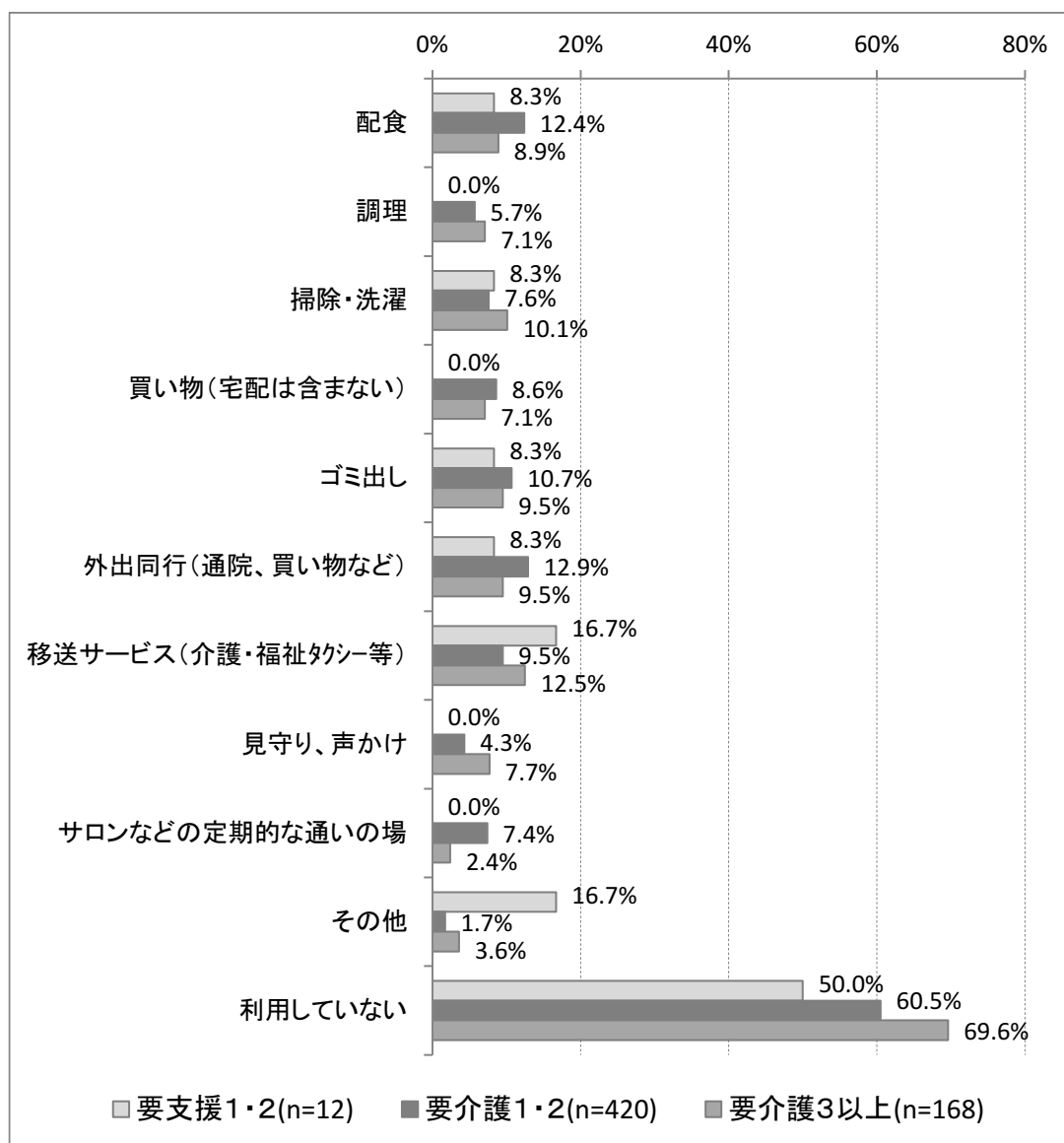
図表3-2 在宅生活に必要なと感じる介護保険外の支援・サービス×世帯類型



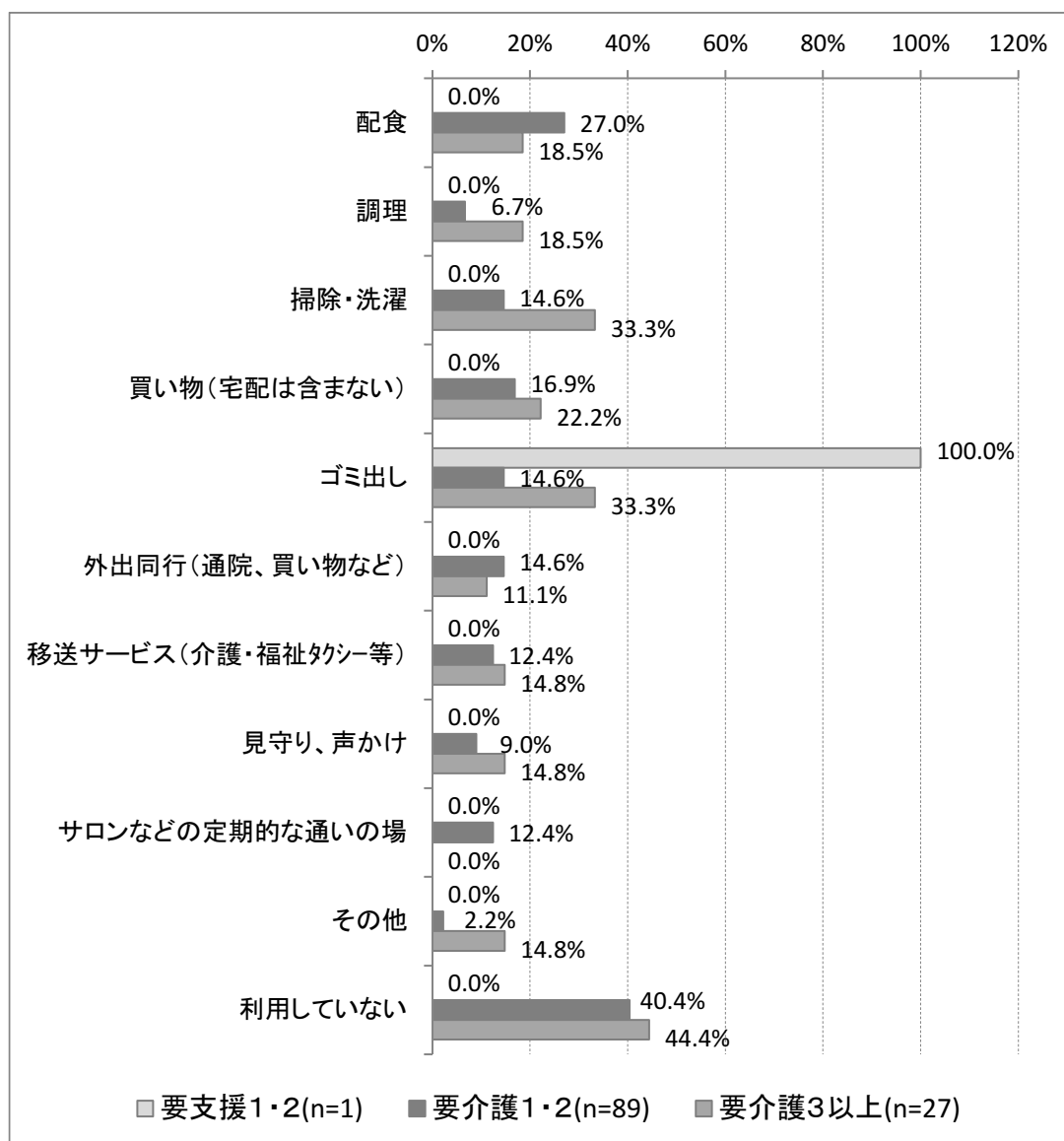
②「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

現在利用している介護保険外の支援・サービスについてみると、「利用していない」の割合は、要介護度の上昇と共に高くなる傾向があり、その傾向は「夫婦のみ世帯」で最も強くなっています。

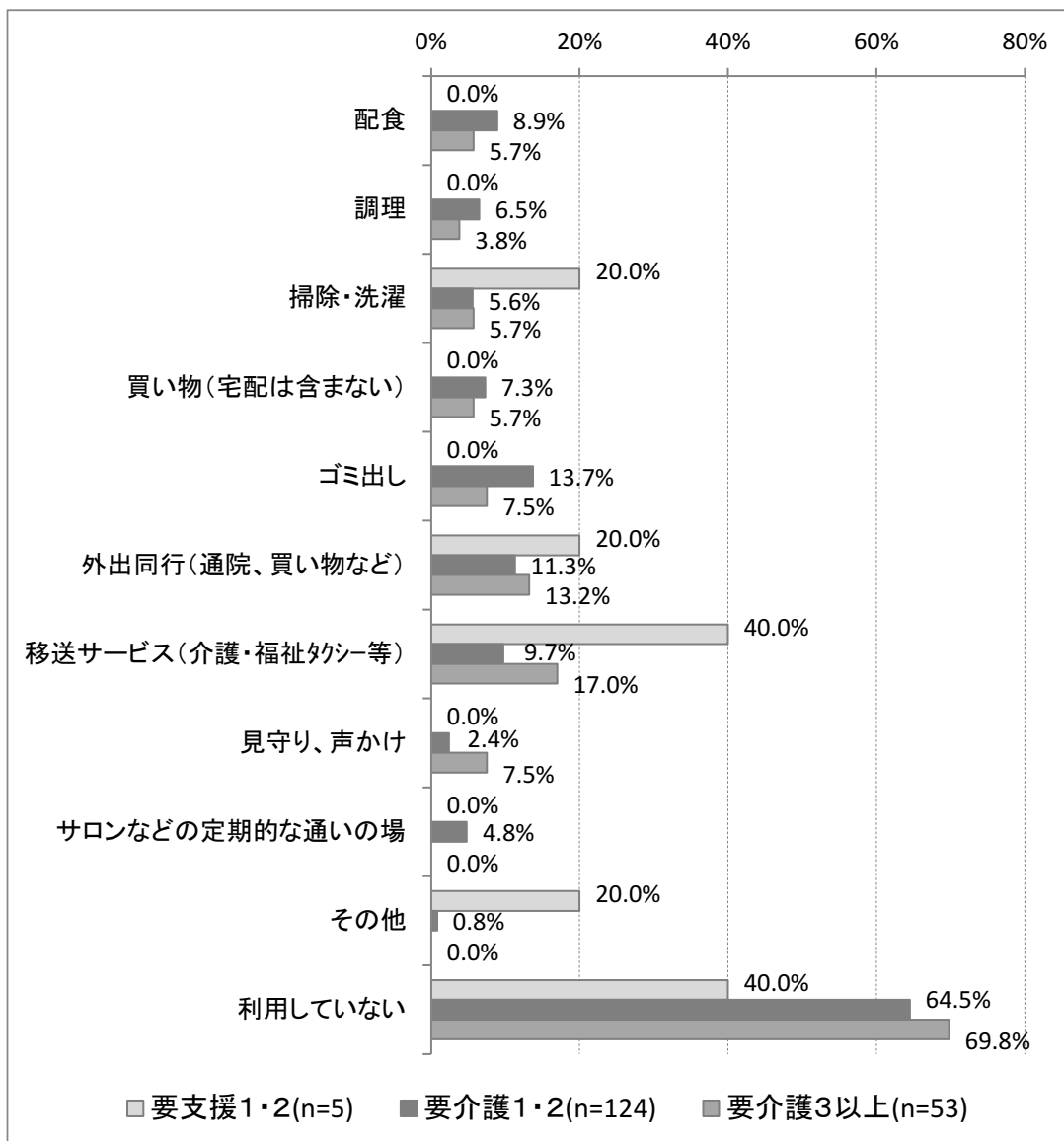
図表3-3 現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度



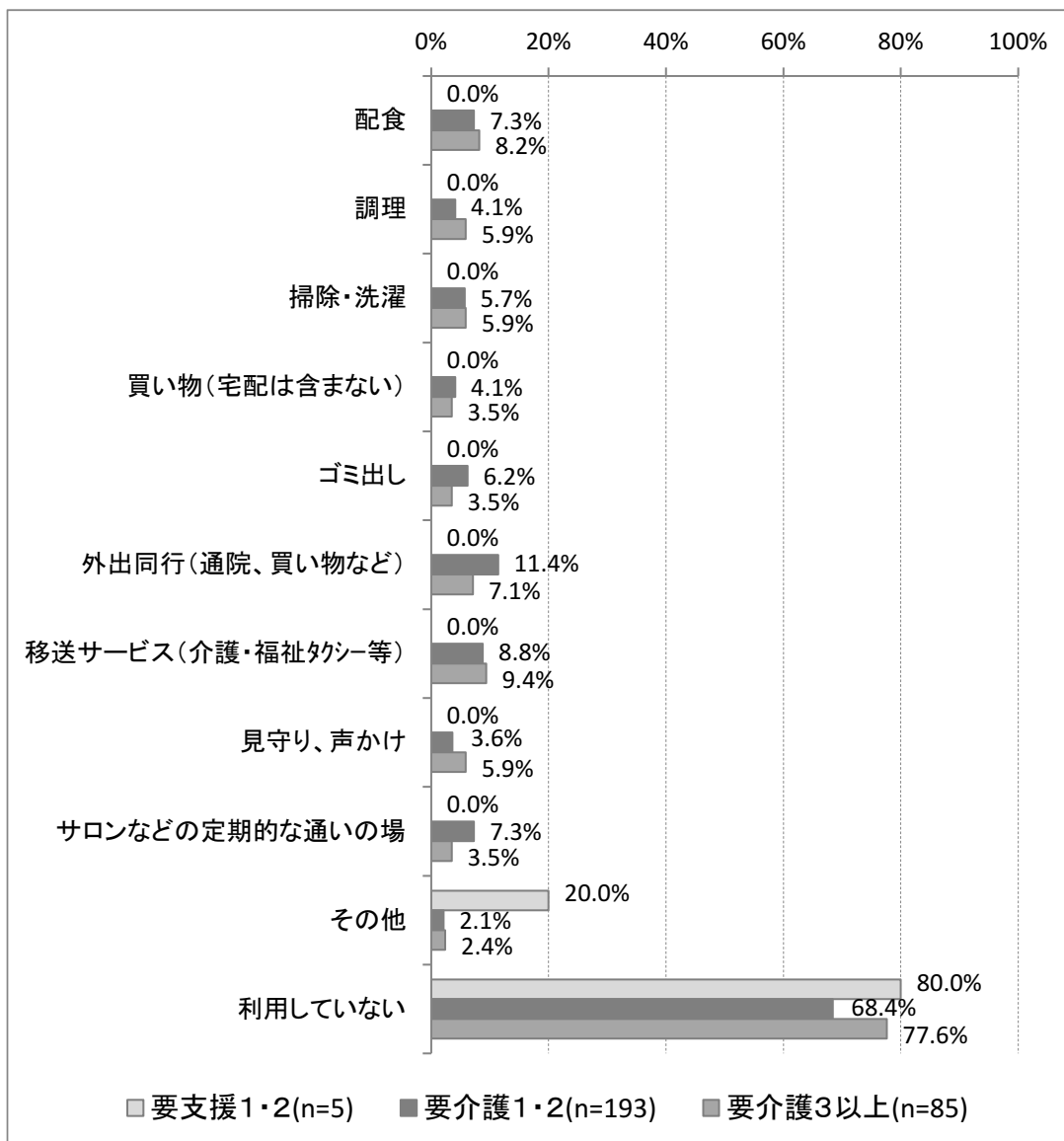
図表3-4 現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度（単身世帯）



図表3-5 現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度（夫婦のみ世帯）



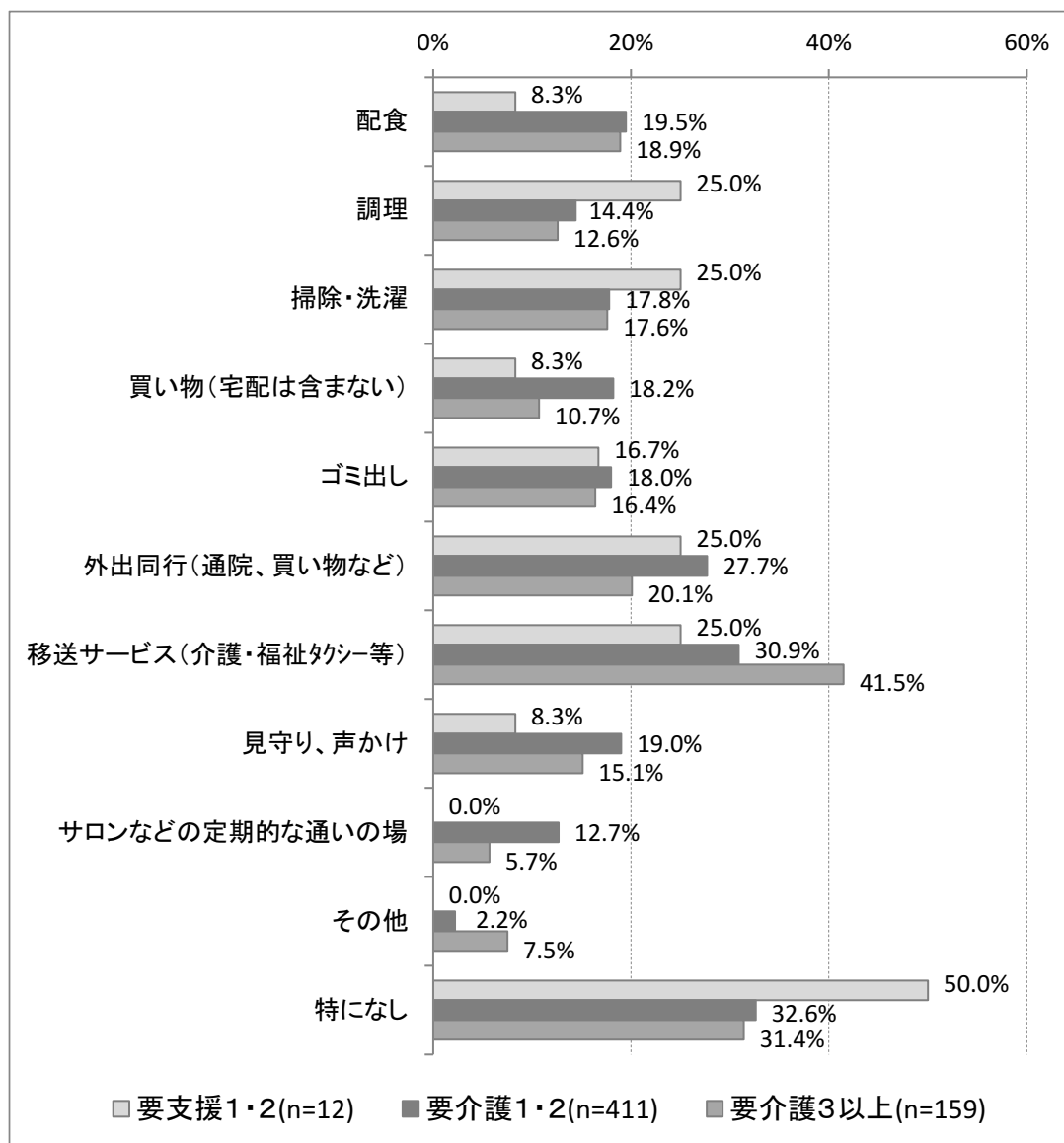
図表3-6 現在利用している介護保険外の支援・サービス×要介護度（その他世帯）



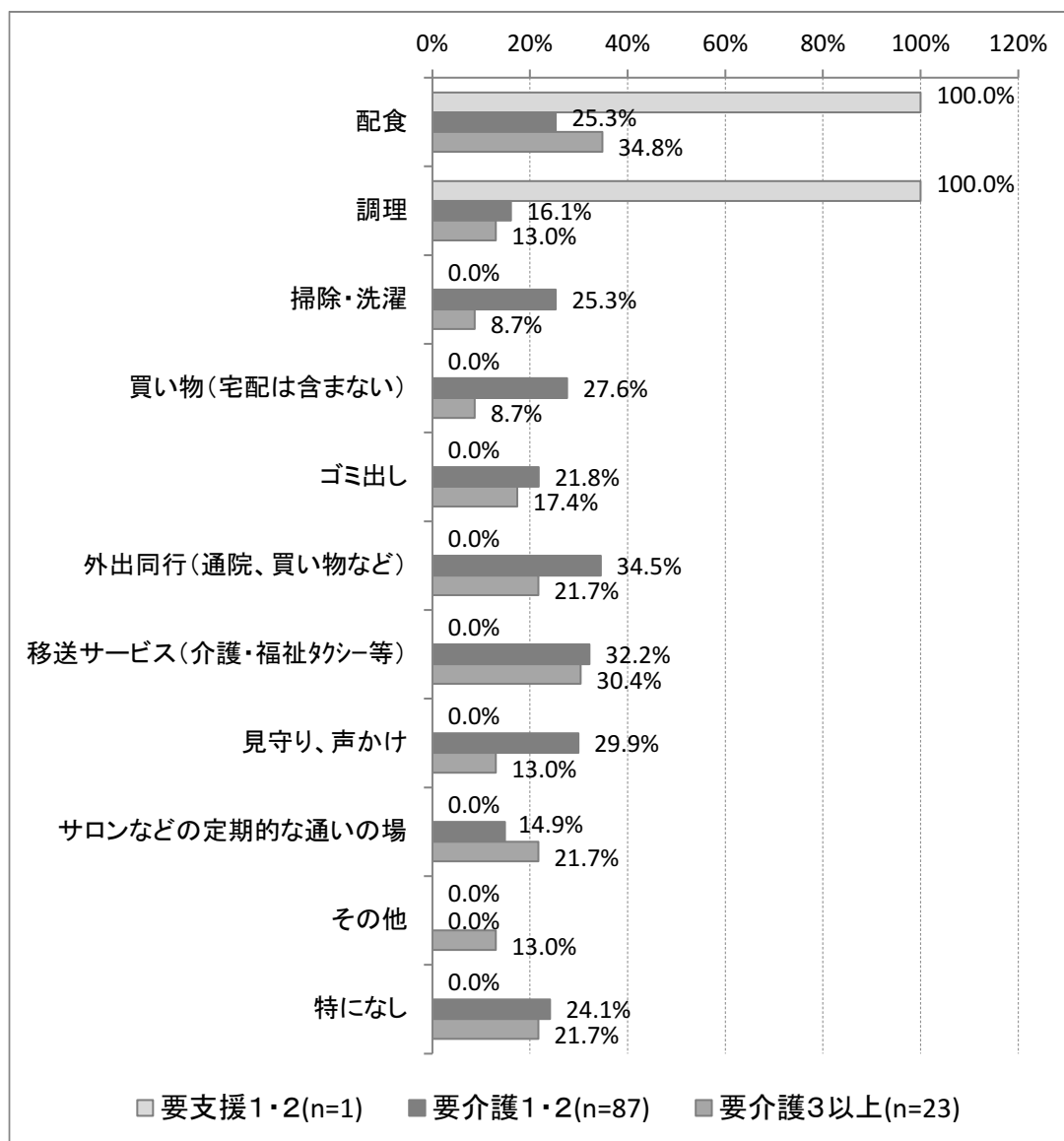
③ 「世帯類型」 × 「要介護度」 × 「必要と感じる支援・サービス」

在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービスについてみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」では、要介護度の上昇と共に高くなる傾向があります。

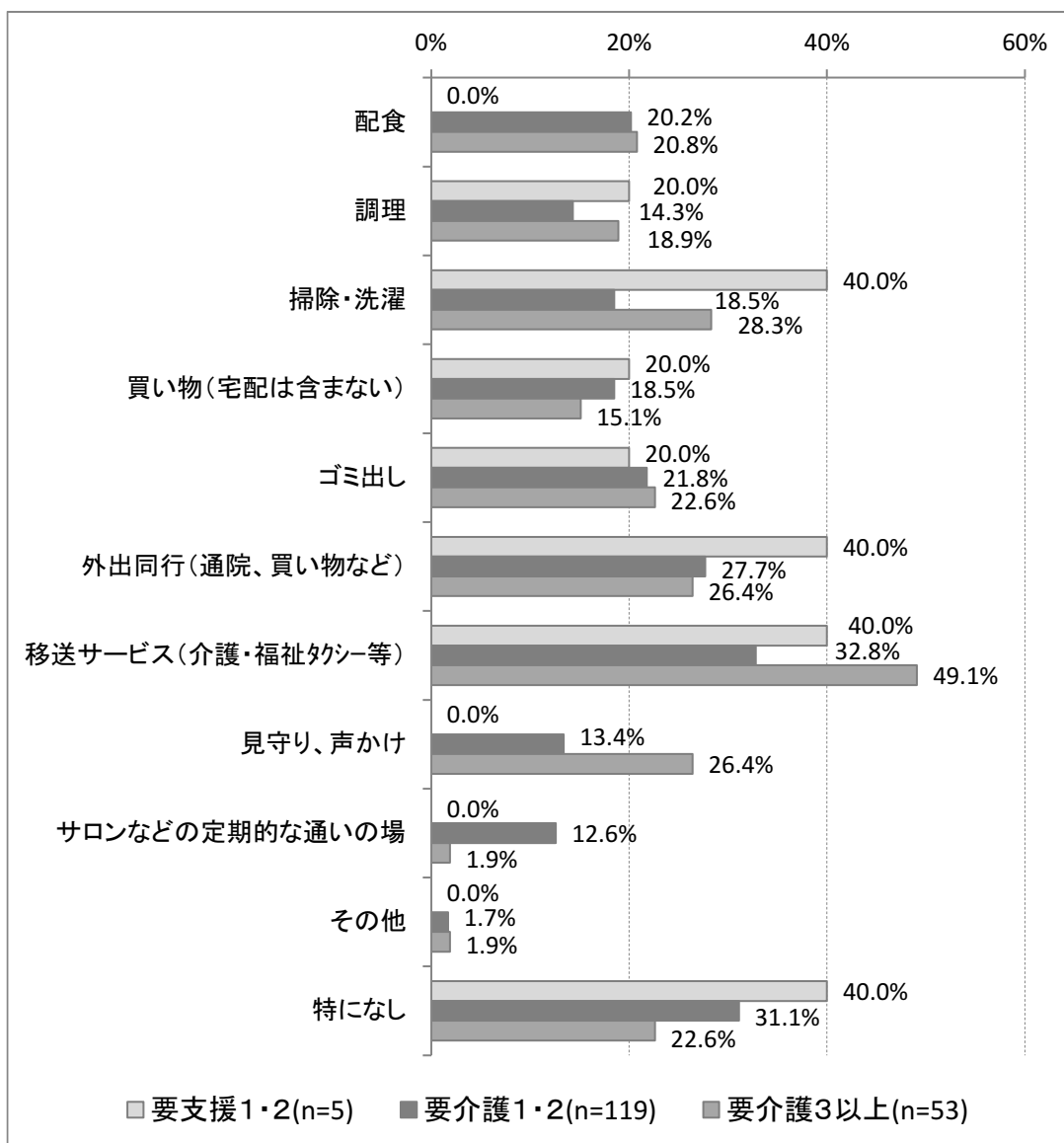
図表3-7 在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス × 要介護度



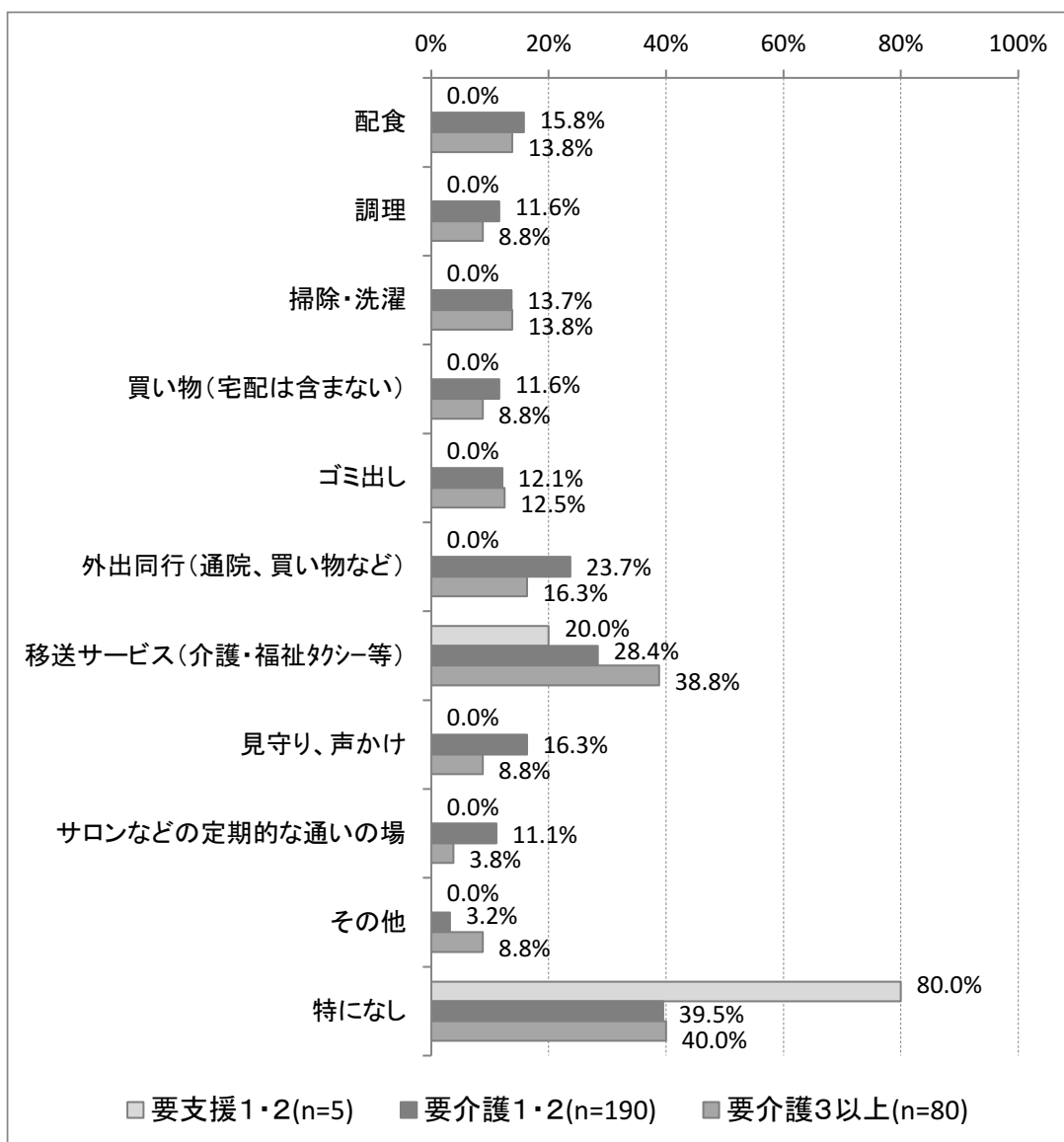
図表3-8 在宅生活に必要なと感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度（単身世帯）



図表3-9 在宅生活に必要なと感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度（夫婦のみ世帯）



図表3-10 在宅生活に必要なと感じる介護保険外の支援・サービス×要介護度（その他世帯）



(4) 従来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

在宅限界点の向上のための、従来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当て、以下のクロス集計を行っています。

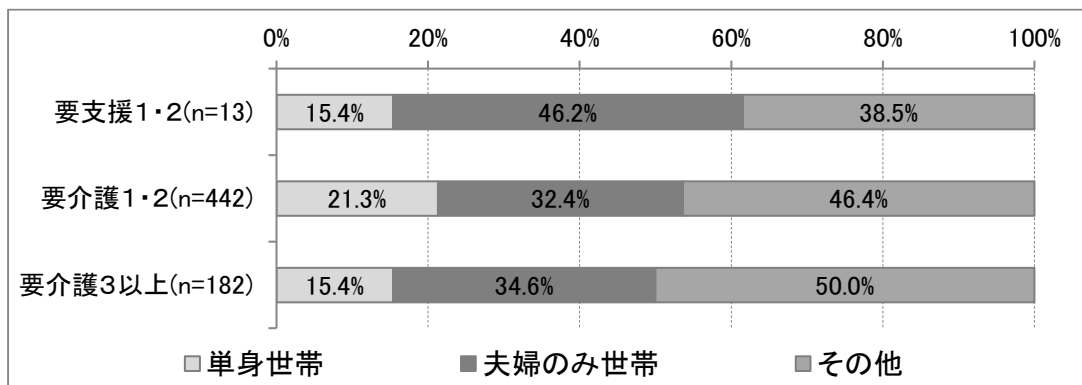
図表 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 クロス集計項目

図表番号	概要	クロス項目
図表4-1	①属性クロス	要介護度×世帯類型
図表4-2		世帯類型×要介護度
図表4-3	②「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」	世帯類型×家族や親族からの介護
図表4-4		要介護度×家族や親族からの介護（単身世帯）
図表4-5		要介護度×家族や親族からの介護（夫婦のみ世帯）
図表4-6		要介護度×家族や親族からの介護（その他世帯）
図表4-7	③「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」	要介護度×サービス利用の組み合わせ（単身世帯）
図表4-8		要介護度×サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）
図表4-9		要介護度×サービス利用の組み合わせ（その他世帯）
図表4-10		日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（単身世帯）
図表4-11		日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）
図表4-12		日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（その他世帯）
図表4-13	④「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」	世帯類型×入所の検討状況
図表4-14		要介護度×入所の検討状況（単身世帯）
図表4-15		要介護度×入所の検討状況（夫婦のみ世帯）
図表4-16		要介護度×入所の検討状況（その他世帯）
図表4-17		日常生活自立度（認知症高齢者）×入所の検討状況（単身世帯）
図表4-18		日常生活自立度（認知症高齢者）×入所の検討状況（夫婦のみ世帯）
図表4-19		日常生活自立度（認知症高齢者）×入所の検討状況（その他世帯）

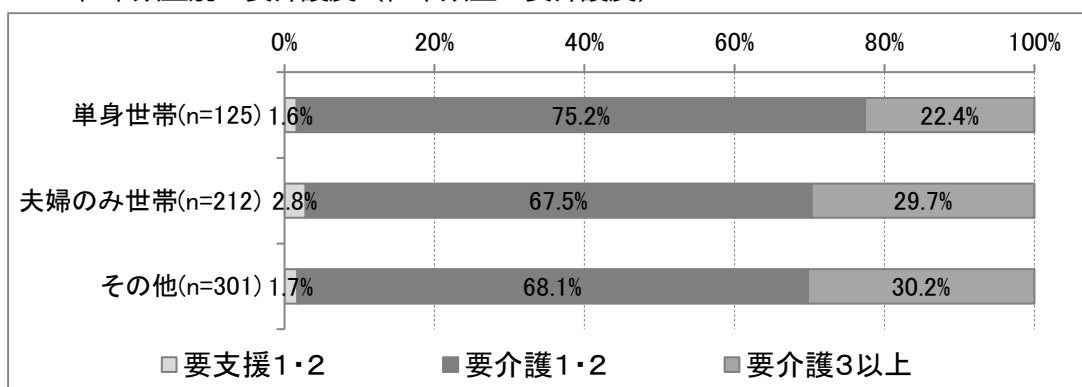
①基礎集計

要介護度についてみると、要支援1・2は「単身世帯」「その他」より「夫婦のみ世帯」で高くなっています。

図表4-1 要介護度×世帯類型



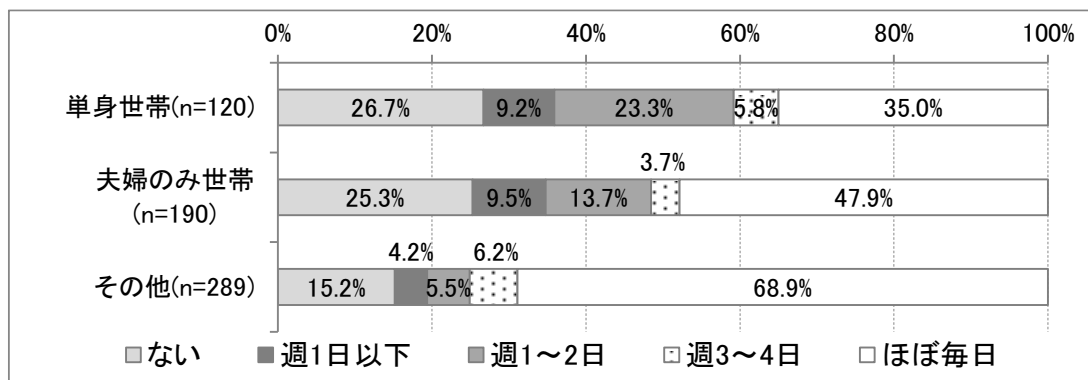
図表4-2 世帯類型別・要介護度 (世帯類型×要介護度)



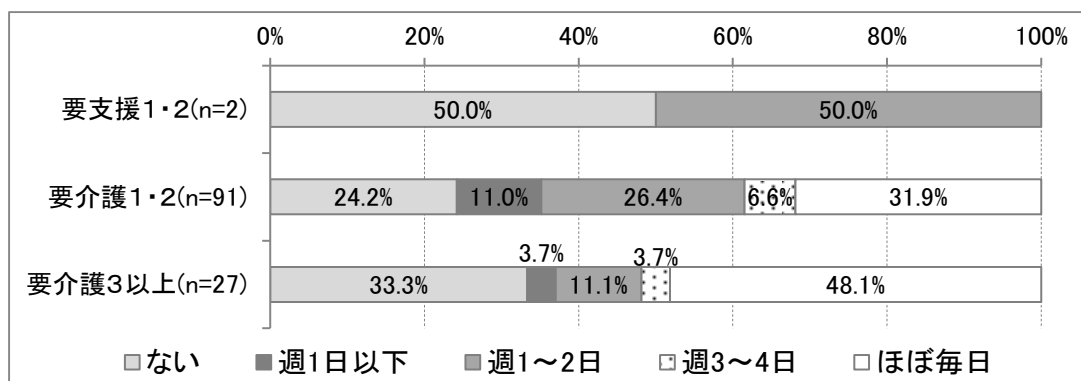
②「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

家族や親族からの介護についてみると、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」より「夫婦のみ世帯」「その他」が高く、いずれの世帯も要介護度の上昇と共に高くなる傾向があります。

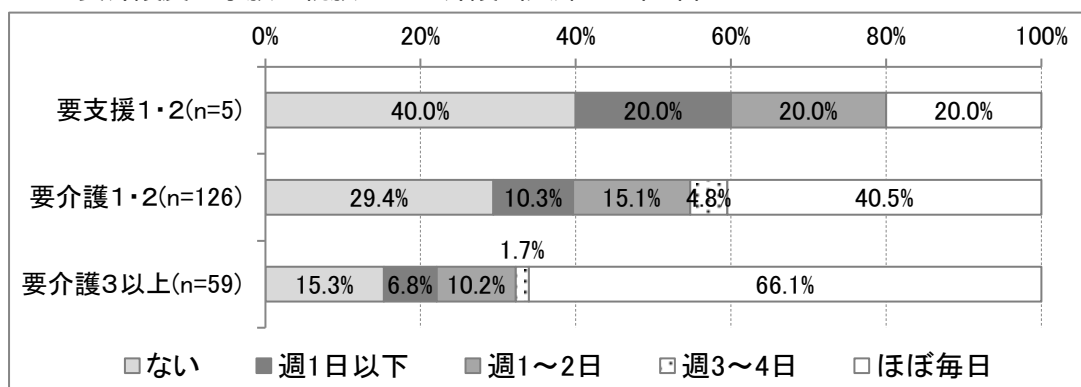
図表4-3 世帯類型×家族や親族からの介護



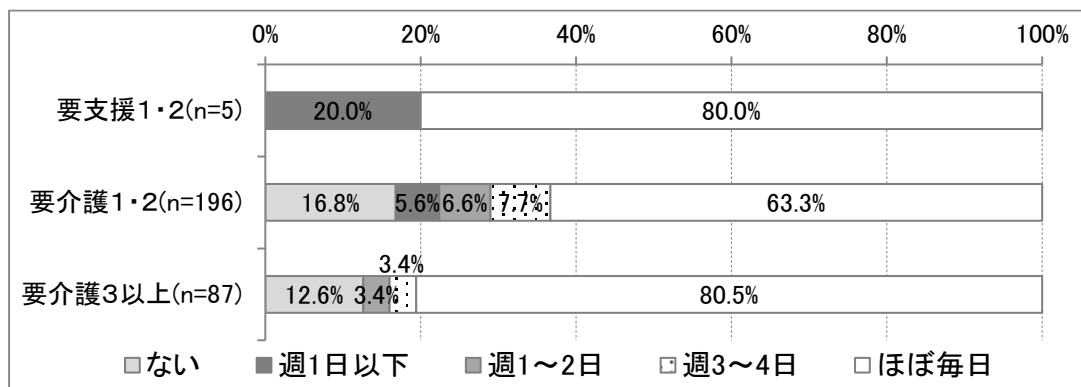
図表4-4 要介護度×家族や親族からの介護（単身世帯）



図表4-5 要介護度×家族や親族からの介護（夫婦のみ世帯）



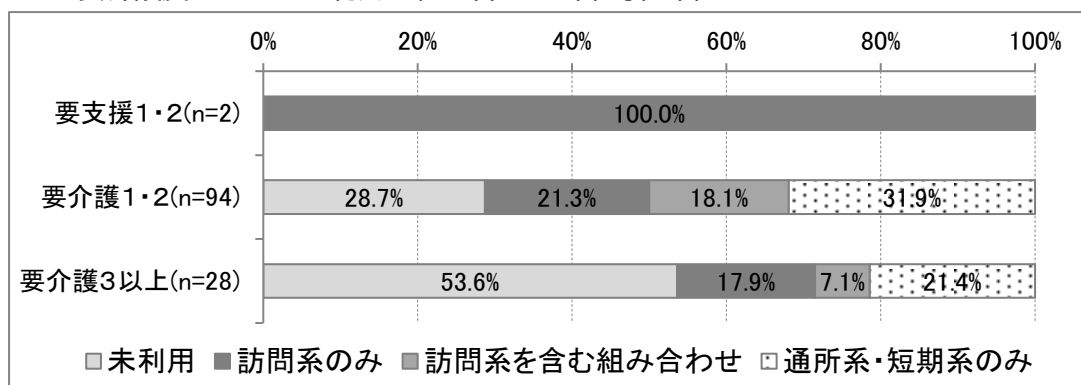
図表4-6 要介護度×家族や親族からの介護（その他世帯）



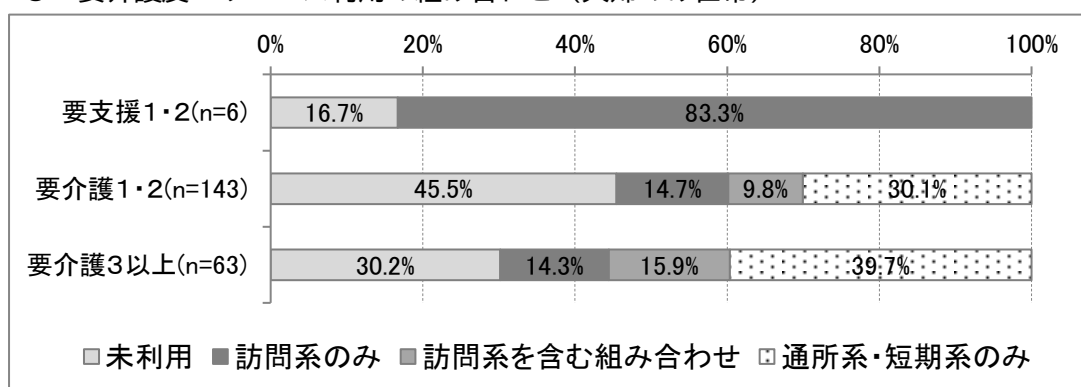
③「要介護度別・世帯類型別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

サービス利用の組み合わせについてみると、「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」を合わせた割合は、他世帯類型に比べ「単身世帯」で高くなっています。

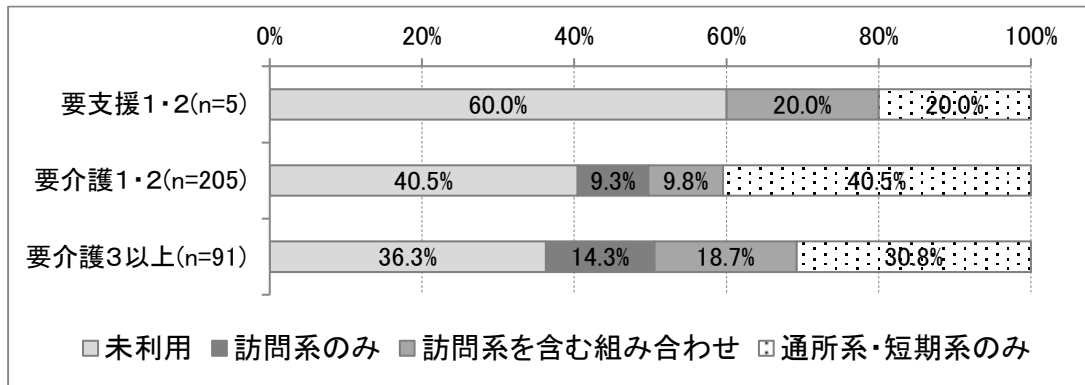
図表4-7 要介護度×サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



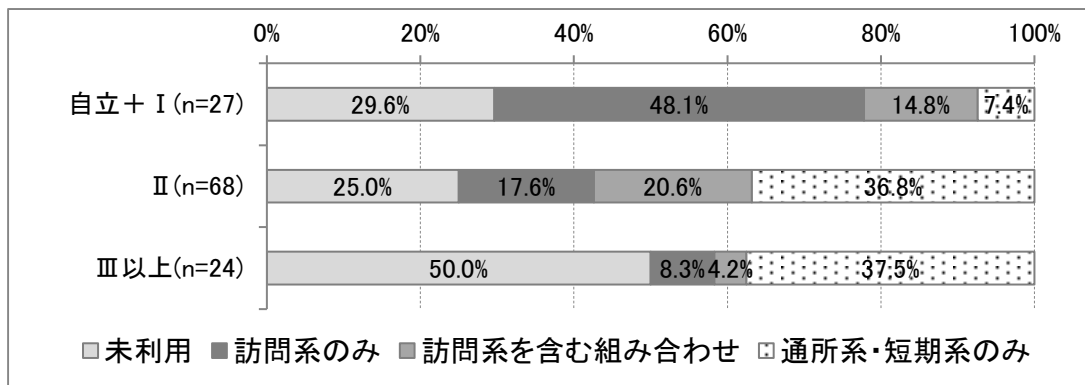
図表4-8 要介護度×サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



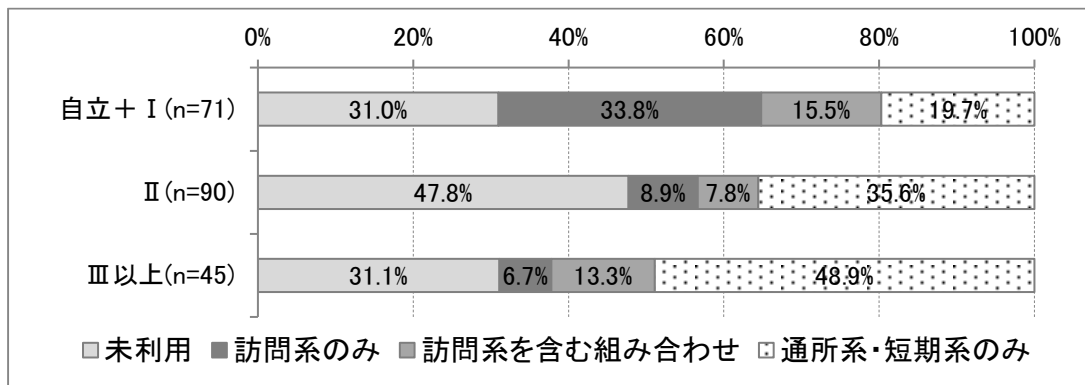
図表4-9 要介護度×サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



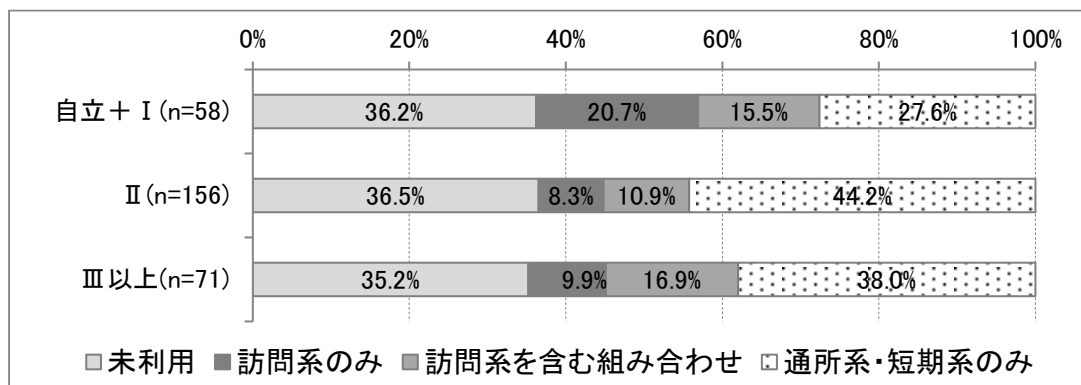
図表4-10 日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



図表4-11 日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



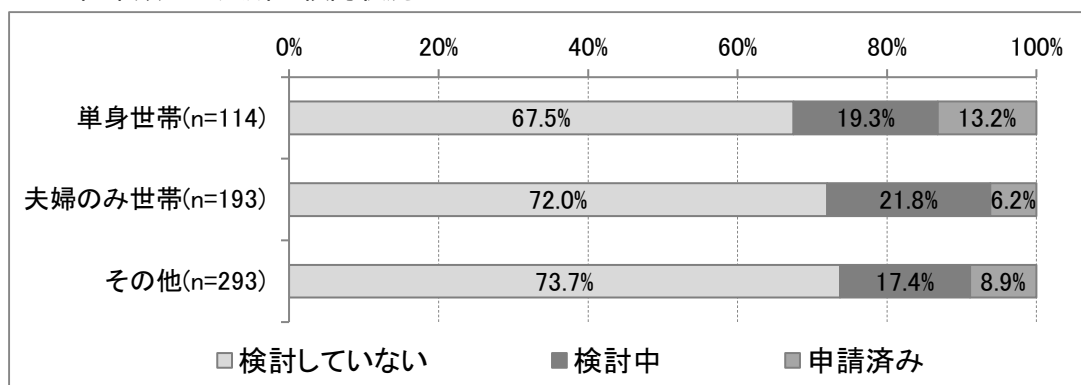
図表4-12 日常生活自立度（認知症高齢者）×サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



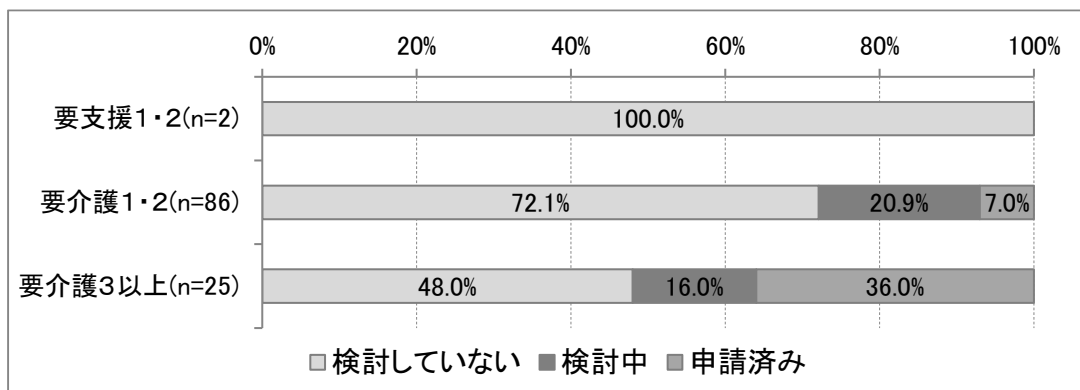
④「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

入所の検討状況についてみると、「検討していない」の割合は世帯類型ごとの大きな差はなく、いずれの世帯も要介護度と日常生活自立度（認知症高齢者）の上昇と共に低くなる傾向があります。

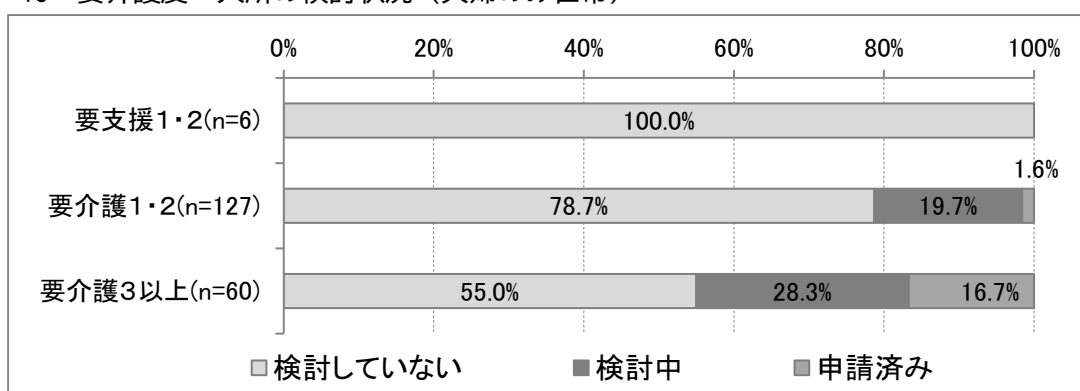
図表4-13 世帯類型×入所の検討状況



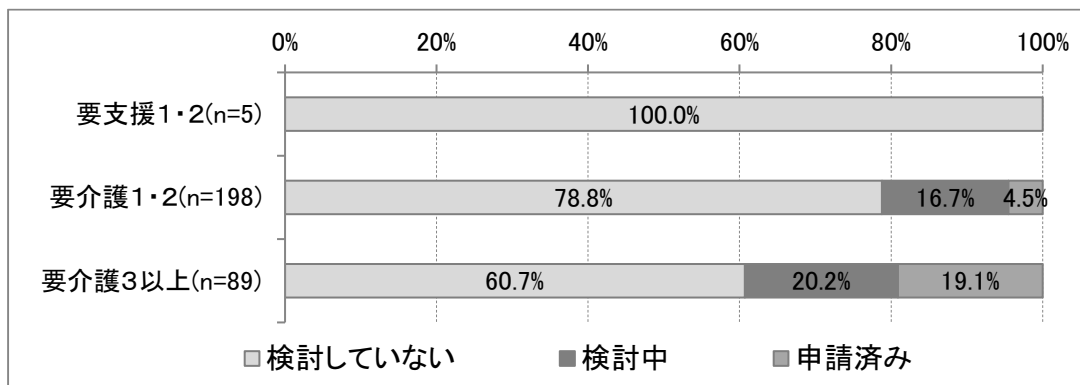
図表4-14 要介護度×入所の検討状況（単身世帯）



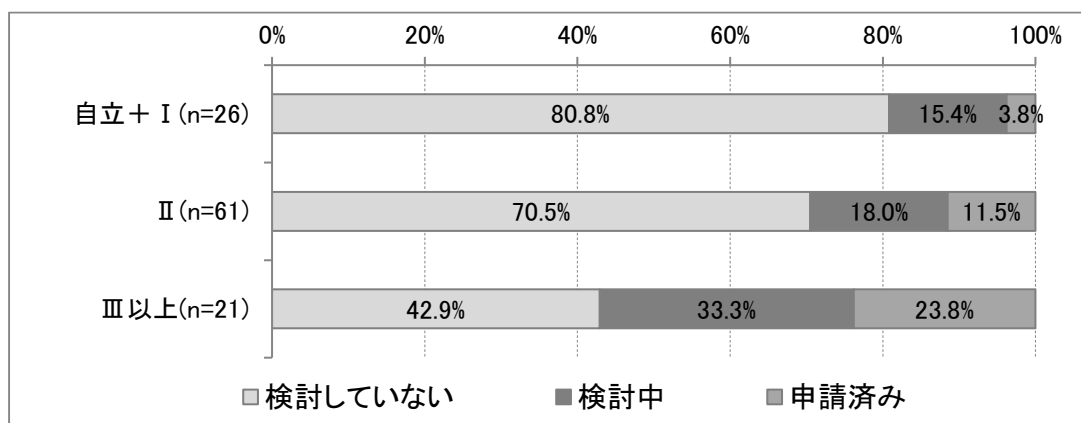
図表4-15 要介護度×入所の検討状況（夫婦のみ世帯）



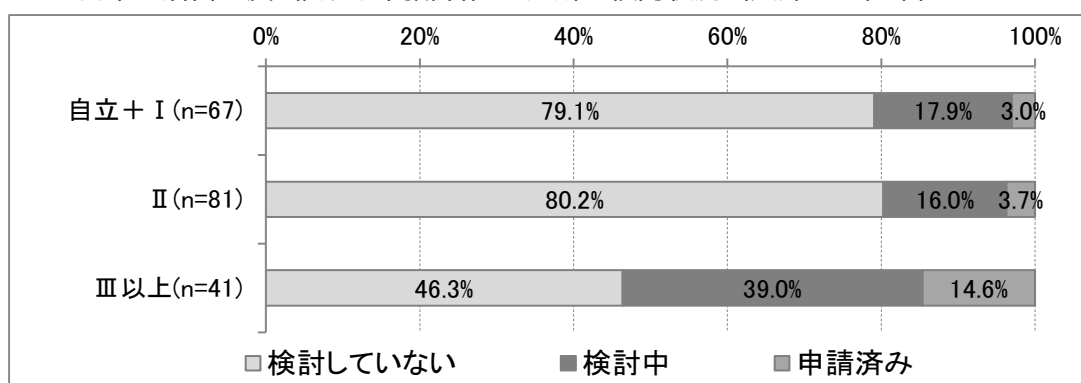
図表4-16 要介護度×入所の検討状況（その他世帯）



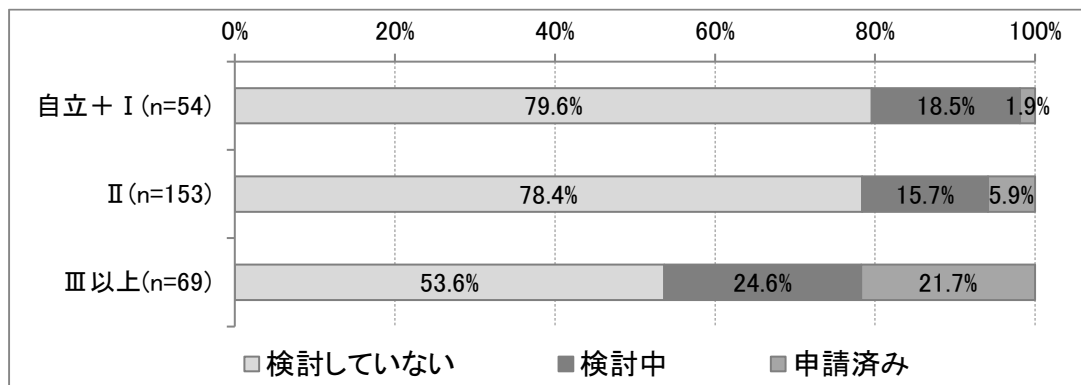
図表4-17 日常生活自立度（認知症高齢者）×入所の検討状況（単身世帯）



図表4-18 日常生活自立度（認知症高齢者）×入所の検討状況（夫婦のみ世帯）



図表4-19 日常生活自立度（認知症高齢者）×入所の検討状況（その他世帯）



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるため、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」など、以下のクロス集計を行っています。

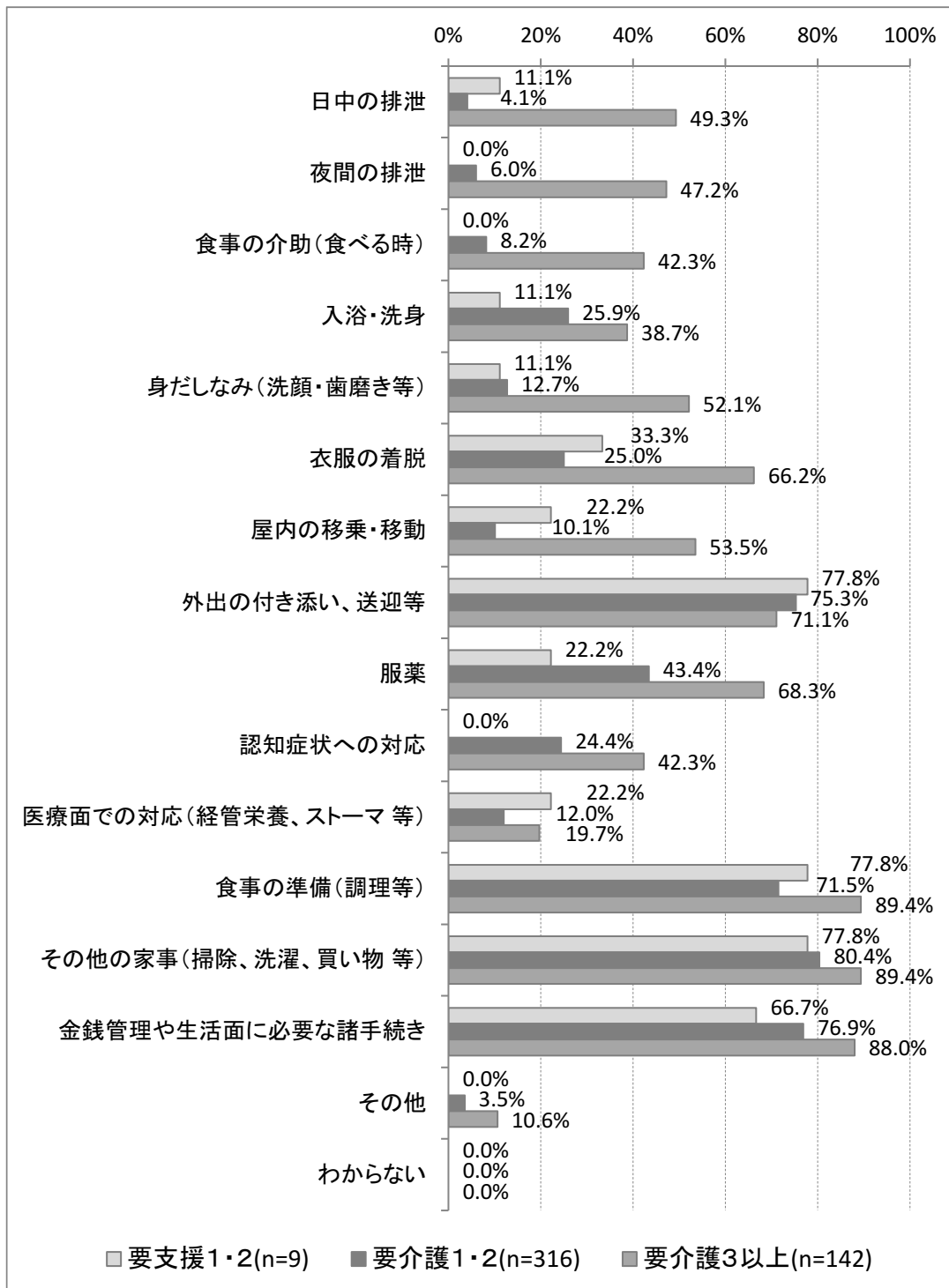
図表 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 クロス集計項目

図表番号	概要	クロス項目
図表5-1	①属性クロス	要介護度×主な介護者が行っている介護等
図表5-2		世帯類型×主な介護者が行っている介護等(要介護3以上)
図表5-3	②訪問診療の利用割合	世帯類型×訪問診療の利用
図表5-4		要介護度×訪問診療の利用
図表5-5	③訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ	訪問診療の利用×サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)
図表5-6	④訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無	訪問診療の利用×訪問系サービス利用回数(集約、要介護3以上)
図表5-7		訪問診療の利用×通所系サービス利用回数(集約、要介護3以上)
図表5-8		訪問診療の利用×短期系サービス利用回数(集約、要介護3以上)

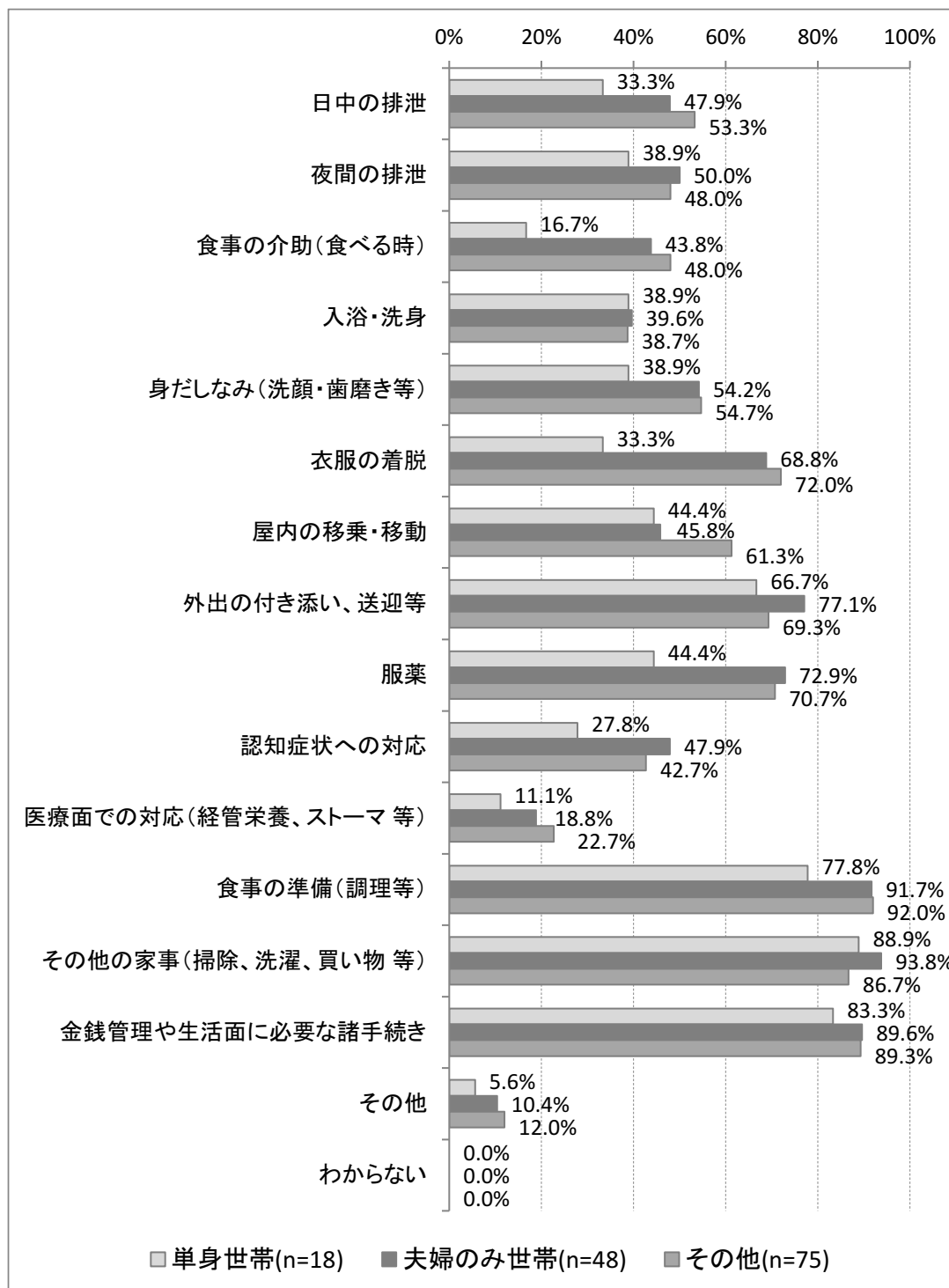
①基礎集計

主な介護者が行っている介護等についてみると、いずれの割合も要介護3以上が要介護1・2より高くなっている一方、「外出の付き添い、送迎等」は要介護度による差は大きくありません。

図表5-1 要介護度×主な介護者が行っている介護等



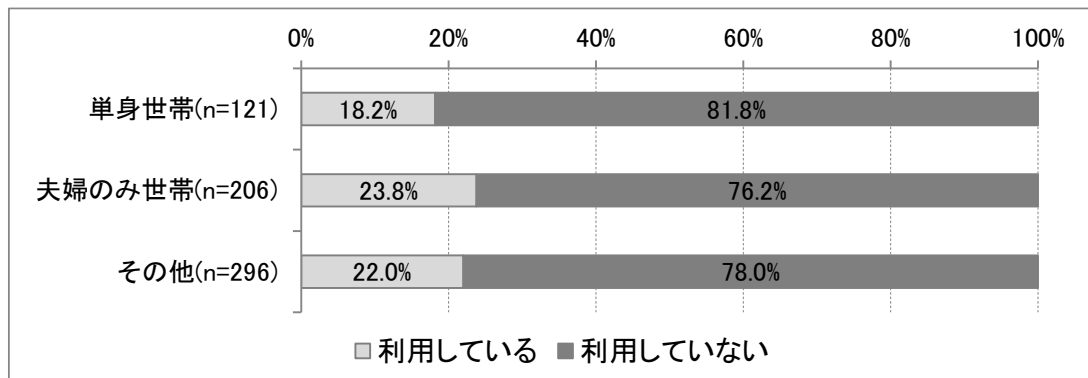
図表5-2 世帯類型×主な介護者が行っている介護等（要介護3以上）



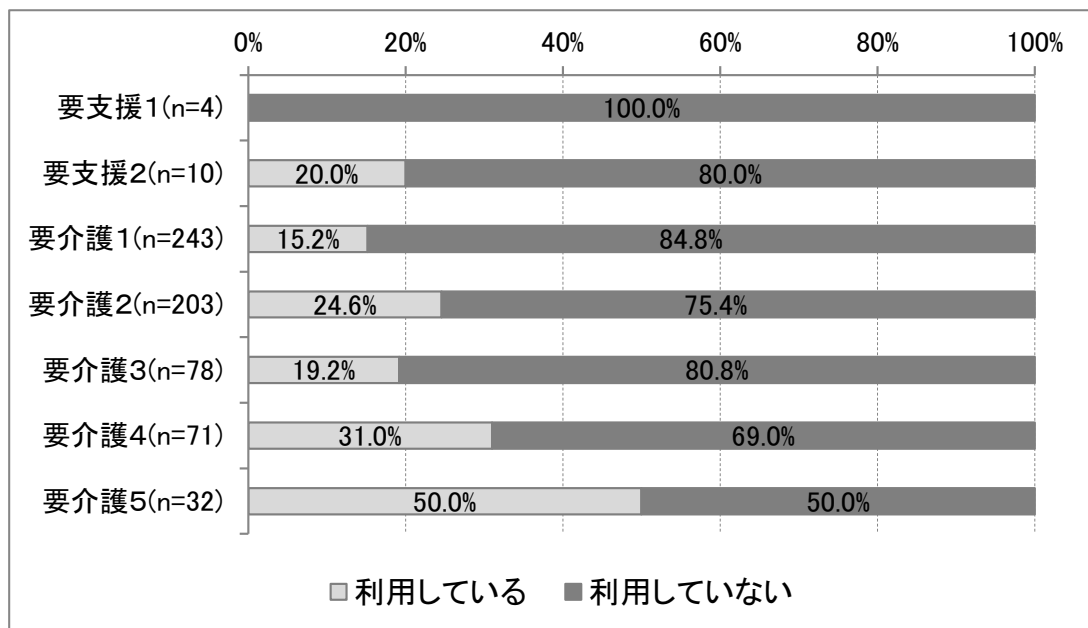
②訪問診療の利用割合

訪問診療の利用についてみると、「利用している」の割合は、「単身世帯」で最も高く、要介護度の上昇と共に高くなる傾向があります。

図表5-3 世帯類型×訪問診療の利用



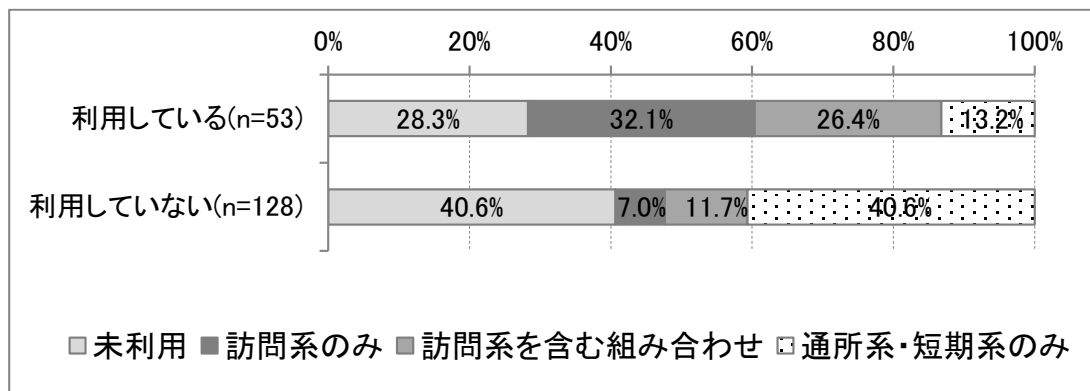
図表5-4 要介護度×訪問診療の利用



③訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

要介護3以上のサービス利用の組み合わせについてみると、「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」を合わせた割合は、訪問診療を「利用していない」人より「利用している」人で高くなっています。

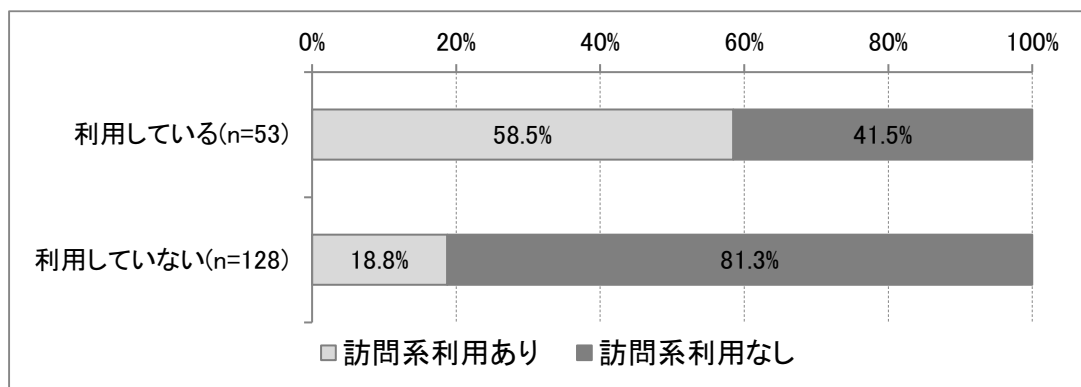
図表5-5 訪問診療の利用×サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）



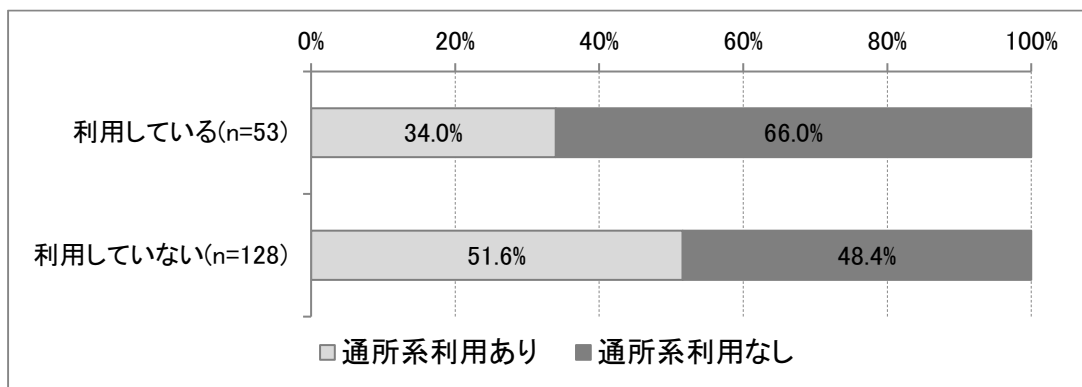
④訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

各種サービスの利用の有無についてみると、訪問診療を「利用している」人では、「訪問系利用あり」の割合が最も高くなっており、訪問診療を「利用していない」人との割合の差は、他サービスに比べ大きくなっています。

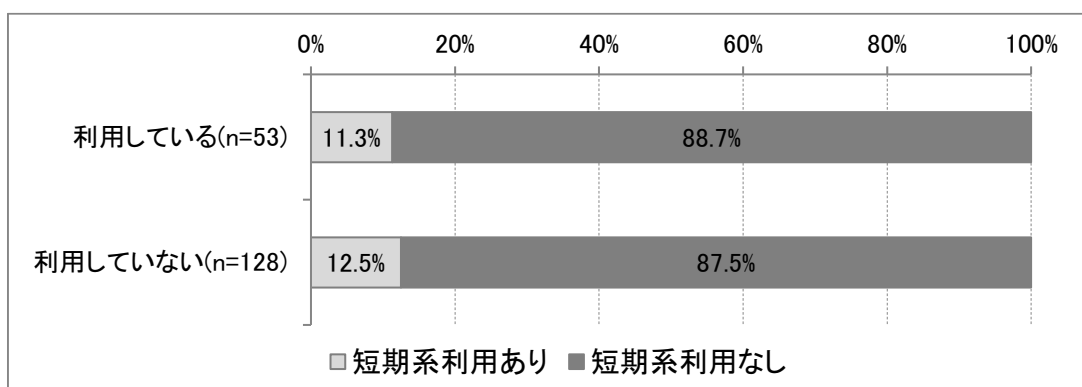
図表5-6 訪問診療の利用×訪問系サービス利用回数（集約、要介護3以上）



図表5-7 訪問診療の利用×通所系サービス利用回数（集約、要介護3以上）



図表5-8 訪問診療の利用×短期系サービス利用回数（集約、要介護3以上）



(6) サービス未利用の理由など

サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるその他の項目について、以下のクロス集計を行っています。

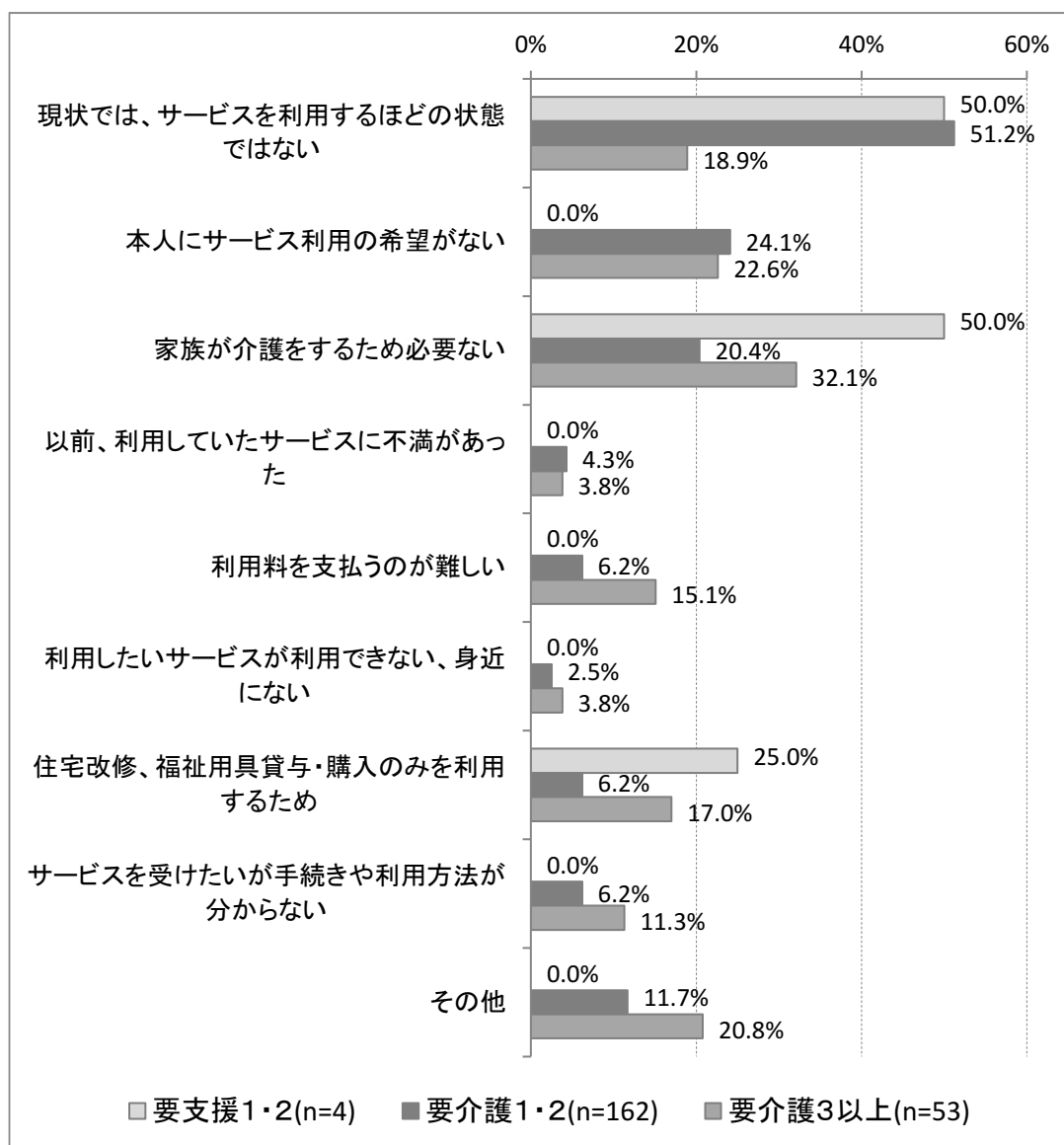
図表 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 クロス集計項目

図表番号	概要	クロス項目
図表6-1	①要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由	サービスを利用していない理由×要介護度
図表6-2		サービスを利用していない理由×要介護度（単身世帯）
図表6-3		サービスを利用していない理由×要介護度（夫婦のみ世帯）
図表6-4		サービスを利用していない理由×要介護度（その他世帯）
図表6-5	②認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由	サービスを利用していない理由×認知症自立度
図表6-6		サービスを利用していない理由×認知症自立度（単身世帯）
図表6-7		サービスを利用していない理由×認知症自立度（夫婦のみ世帯）
図表6-8		サービスを利用していない理由×認知症自立度（その他世帯）
図表6-9	③認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス	在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度
図表6-10		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度（単身世帯）
図表6-11		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度（夫婦のみ世帯）
図表6-12		在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度（その他世帯）
図表6-13	④本人の年齢別・主な介護者の年齢	年齢×主な介護者の年齢
図表6-14	⑤要介護度別・抱えている傷病	現在抱えている病気×要介護度
図表6-15	⑥訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病	現在抱えている病気×訪問診療の利用

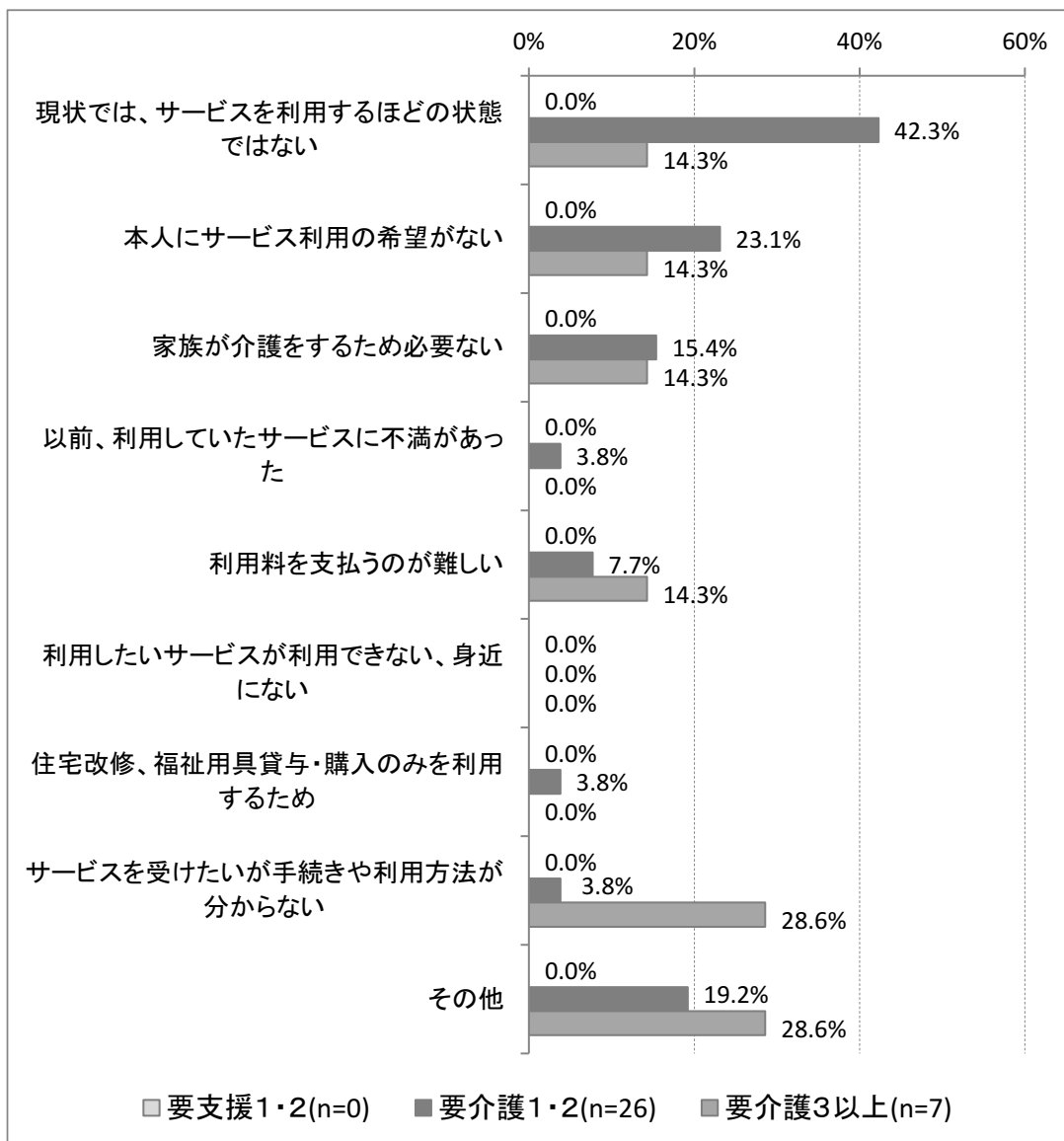
①要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

サービスを利用していない理由についてみると、要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高く、要介護3以上では「家族が介護をするため必要ない」の割合が高くなっています。

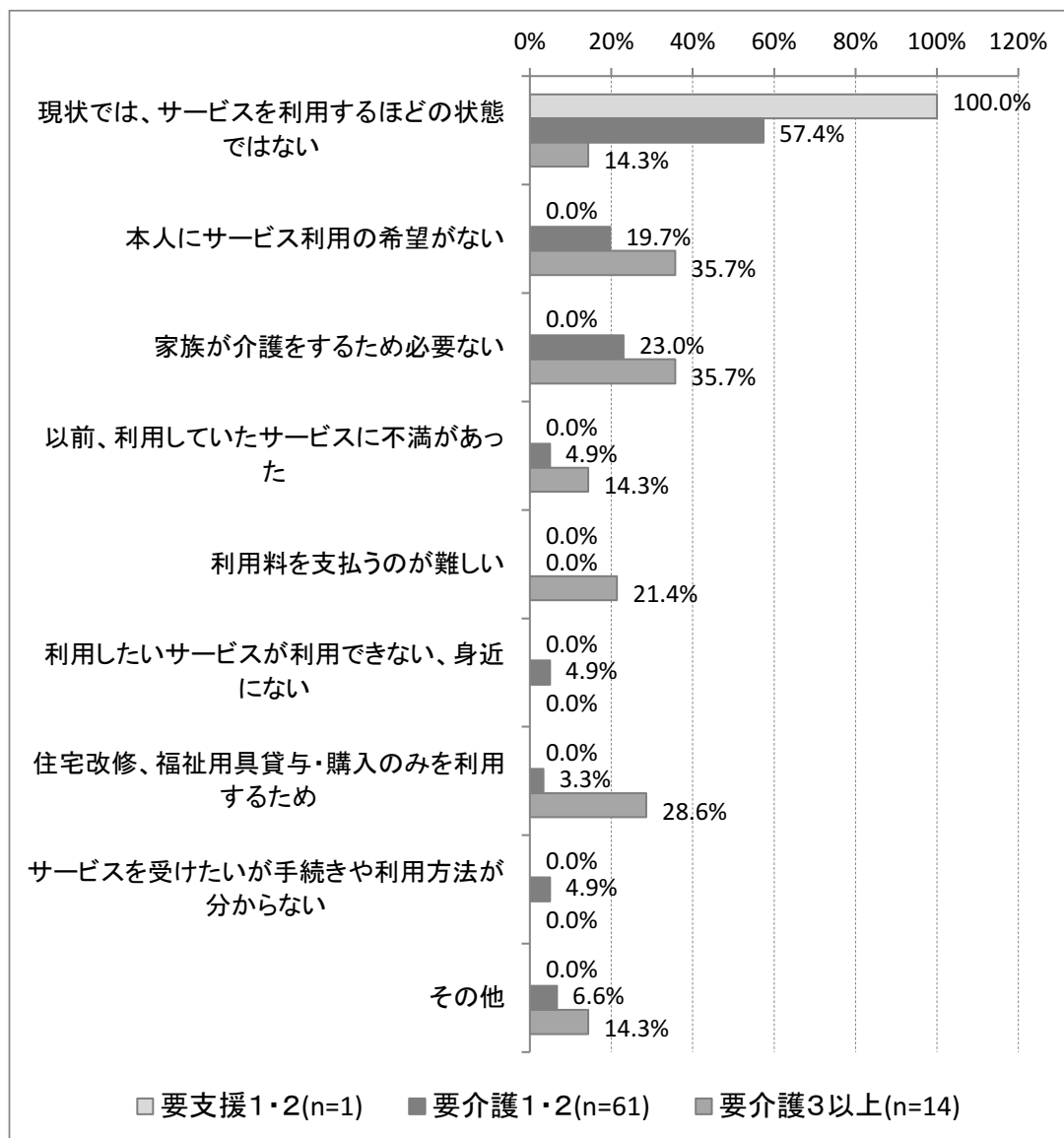
図表6-1 サービスを利用していない理由×要介護度



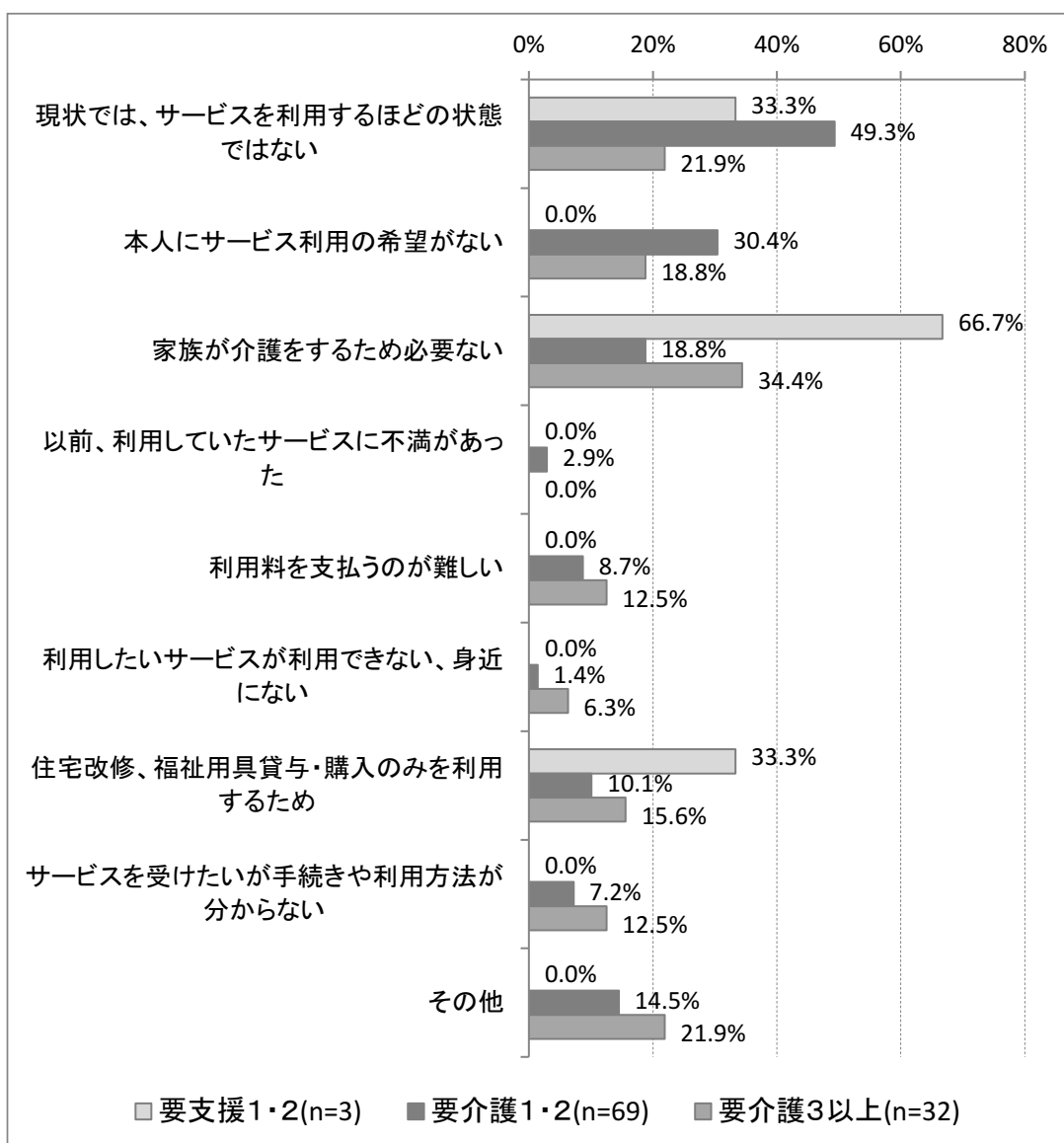
図表6-2 サービスを利用していない理由×要介護度（単身世帯）



図表6-3 サービスを利用していない理由×要介護度（夫婦のみ世帯）



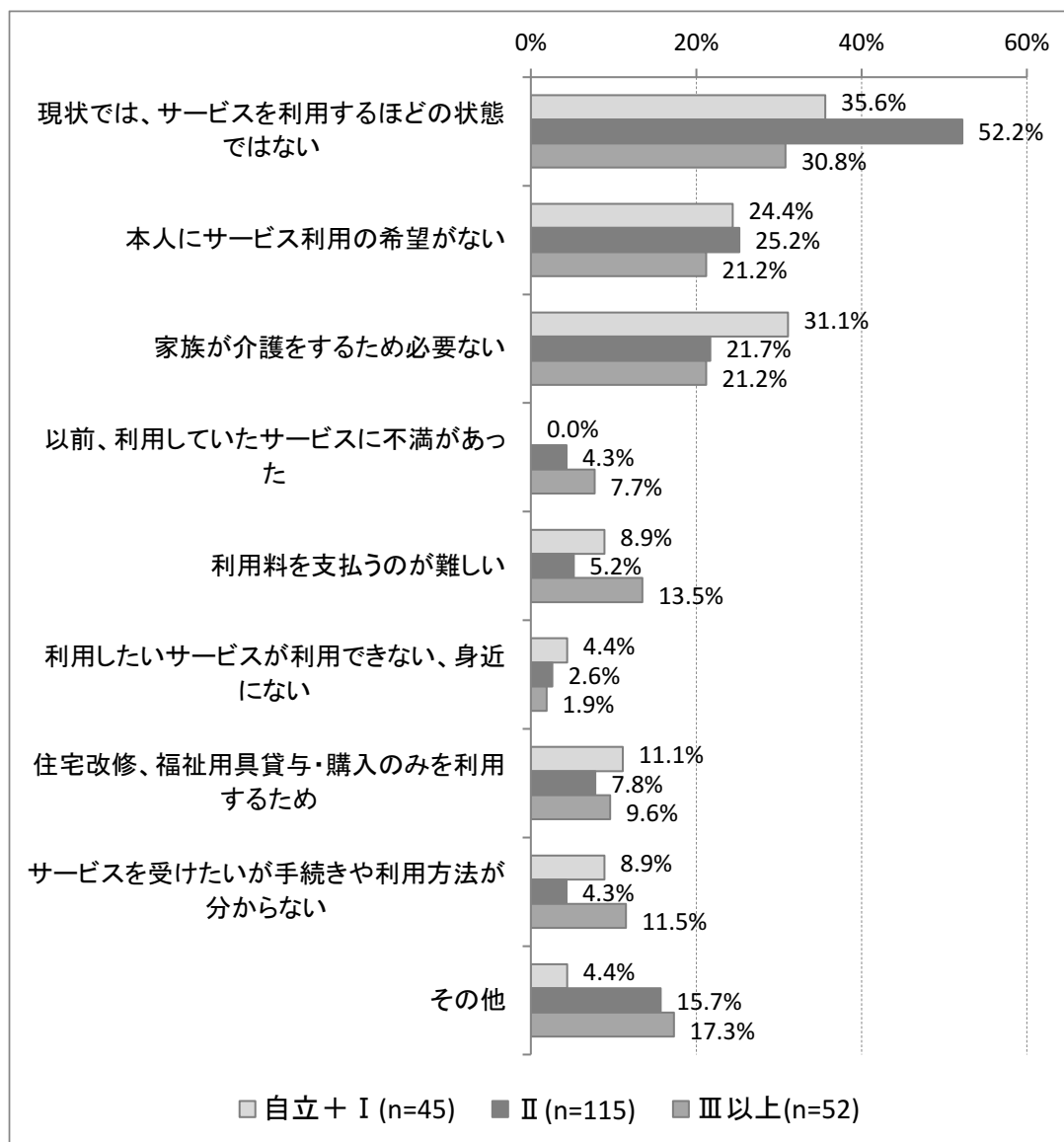
図表6-4 サービスを利用していない理由×要介護度（その他世帯）



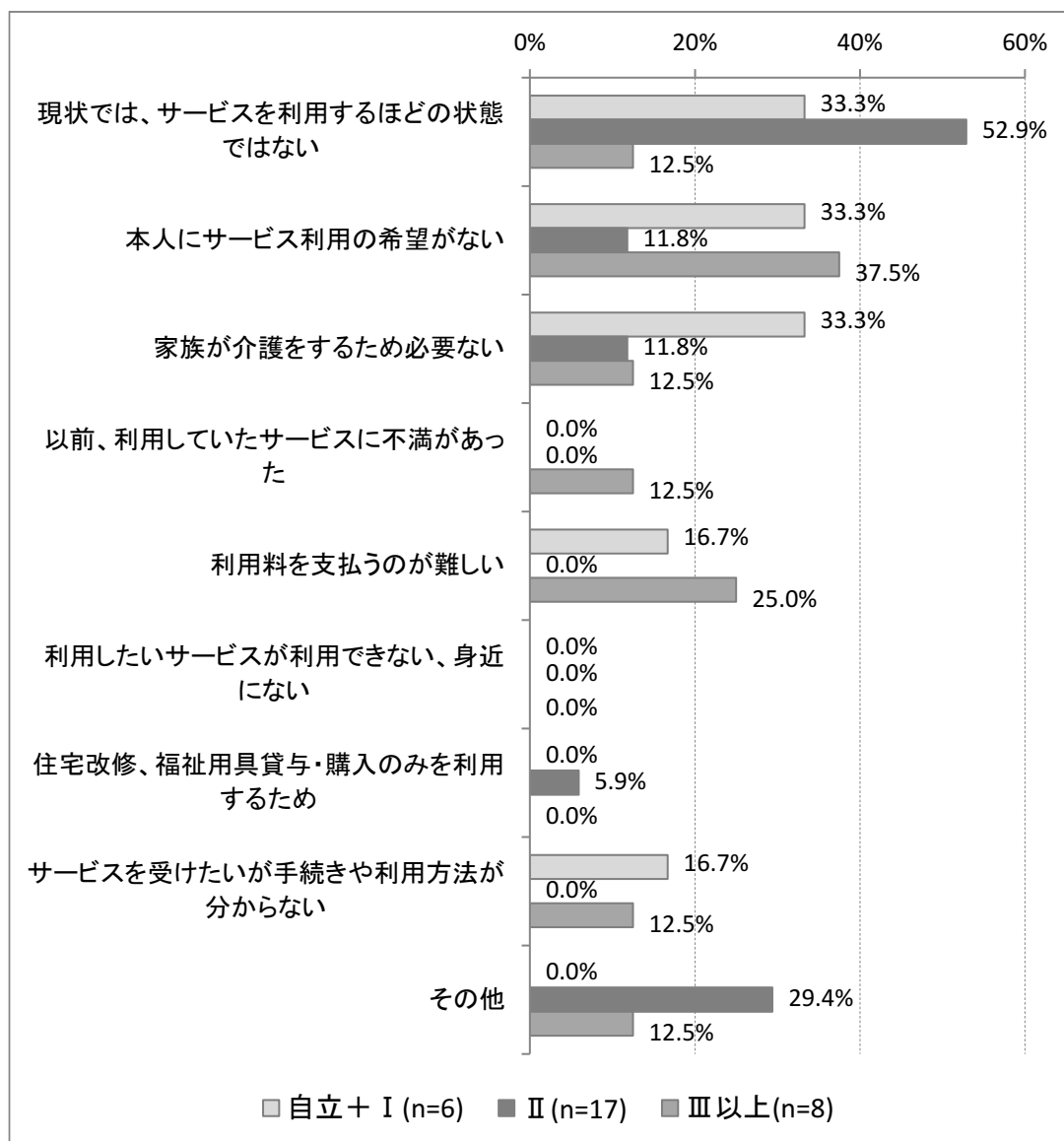
②認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

サービスを利用していない理由についてみると、日常生活自立度が認知症Ⅱでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く、自立、認知症Ⅰでは「家族が介護をするため必要ない」の割合が最も高くなっています。

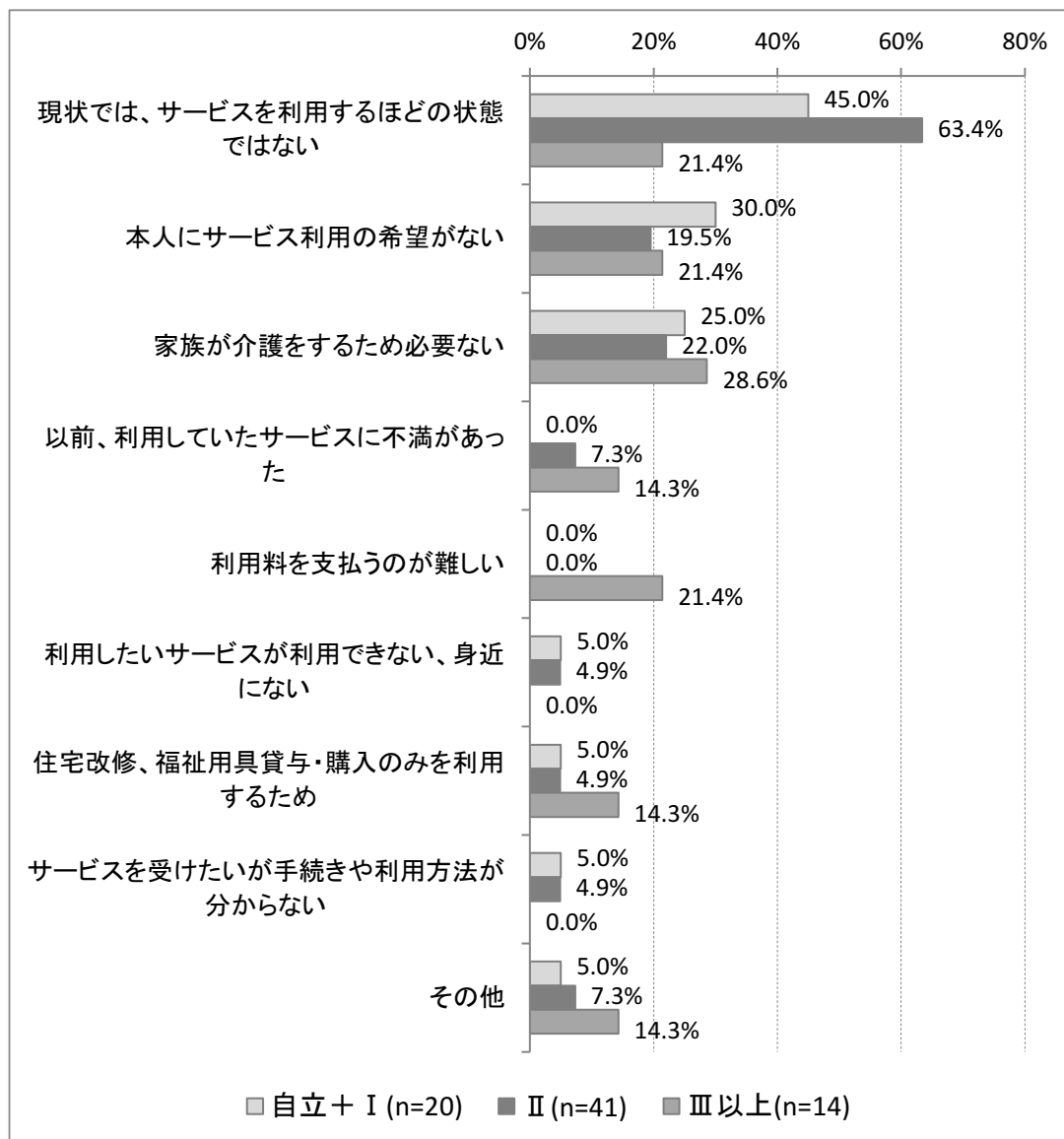
図表6-5 サービスを利用していない理由×認知症自立度



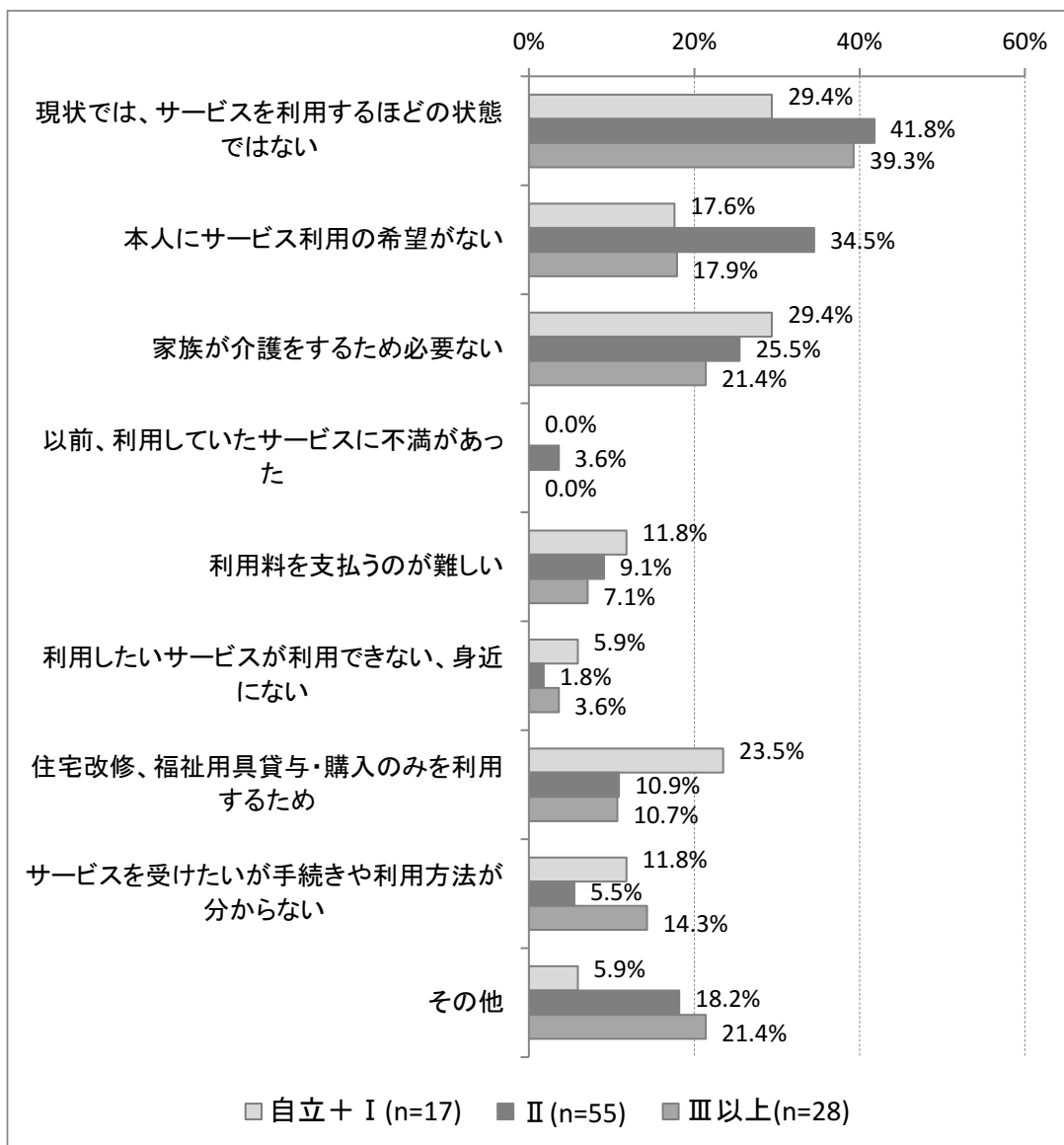
図表6-6 サービスを利用していない理由×認知症自立度（単身世帯）



図表6-7 サービスを利用していない理由×認知症自立度（夫婦のみ世帯）



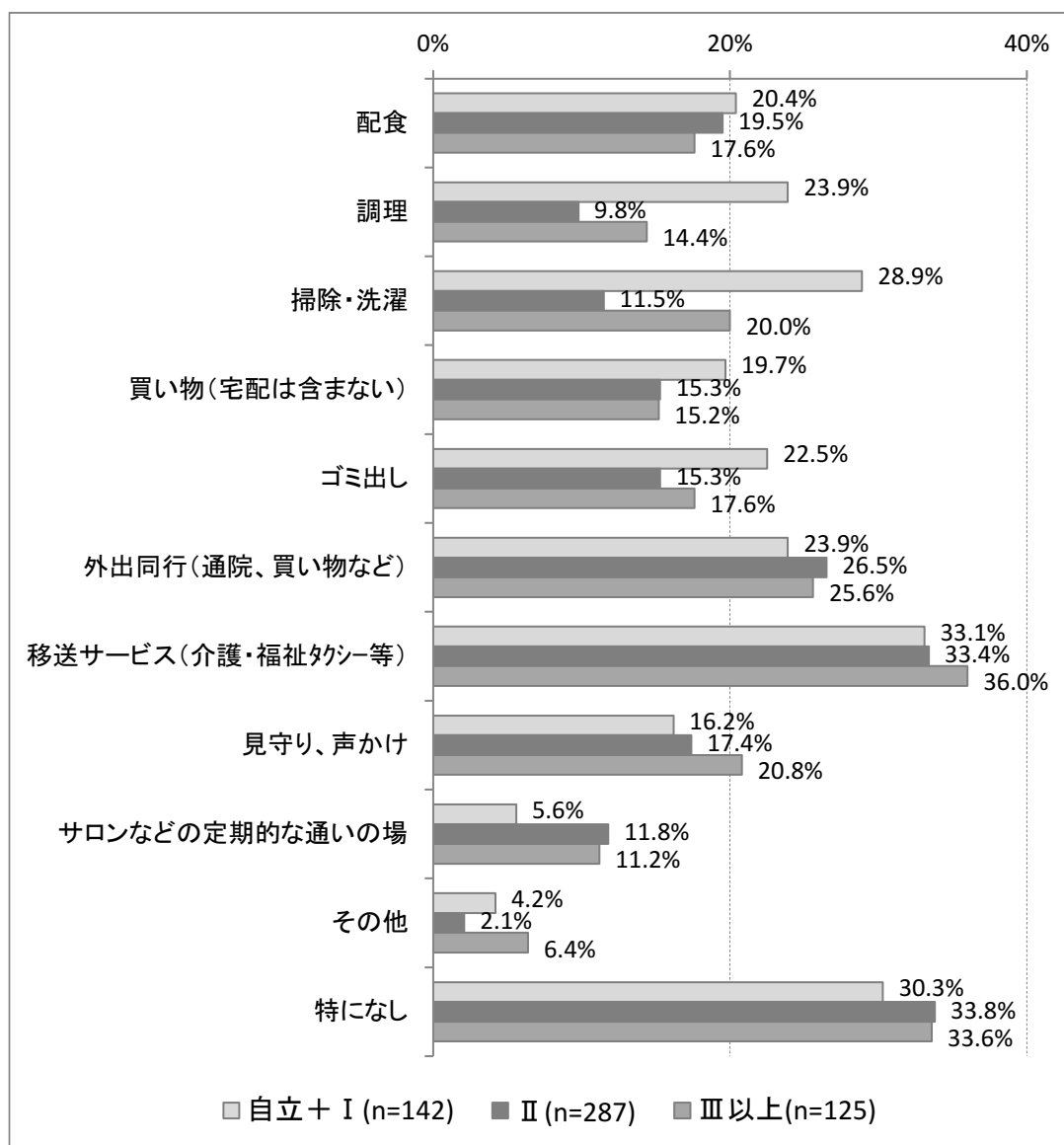
図表6-8 サービスを利用していない理由×認知症自立度（その他世帯）



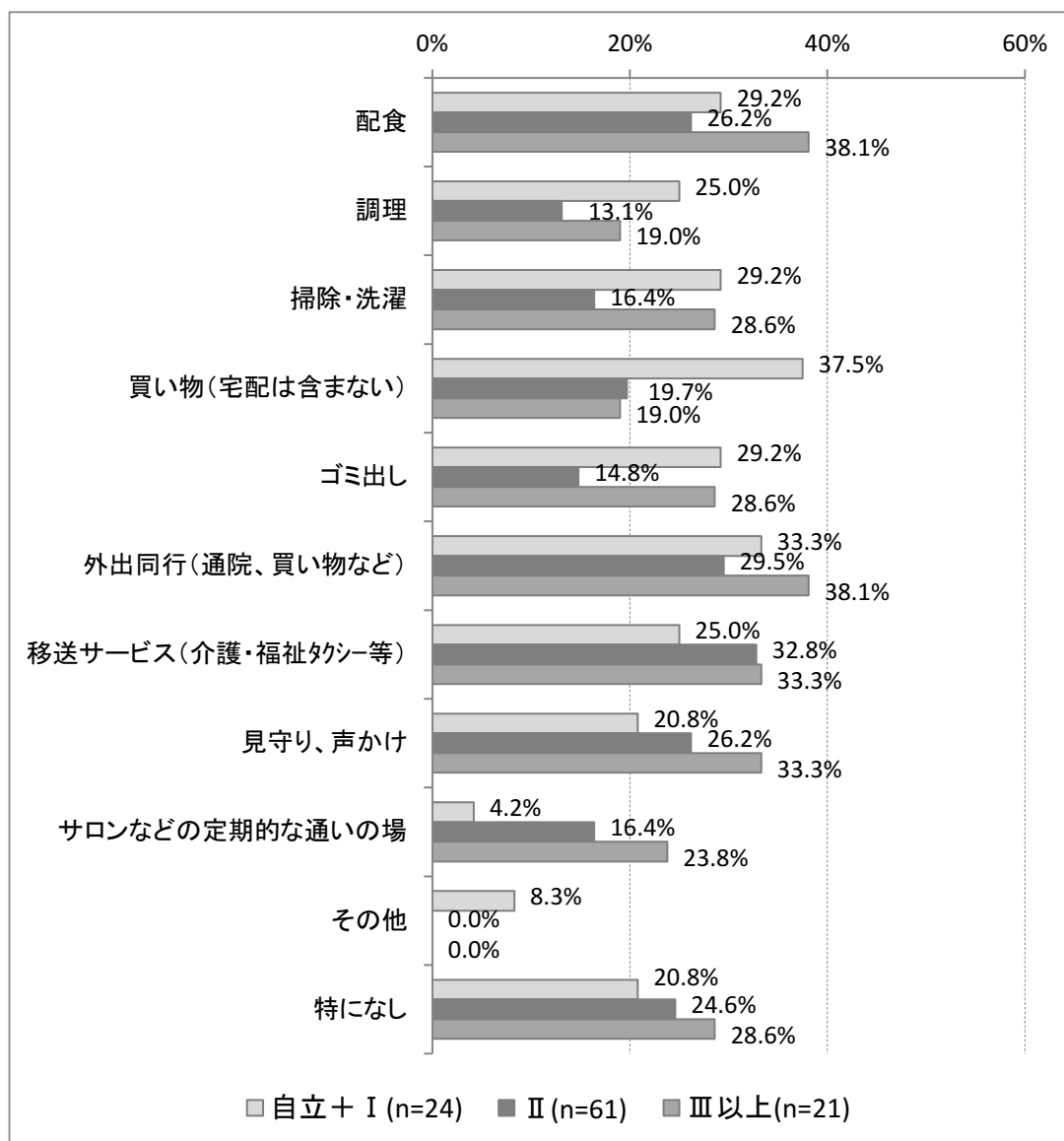
③認知症自立度別の今度の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービスについてみると、いずれの認知症高齢者の日常生活自立度でも「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「外出同行（通院、買い物など）」の割合が高くなっており、自立や認知症Ⅰでは「掃除・選択」の割合が他自立度に比べ高くなっています。

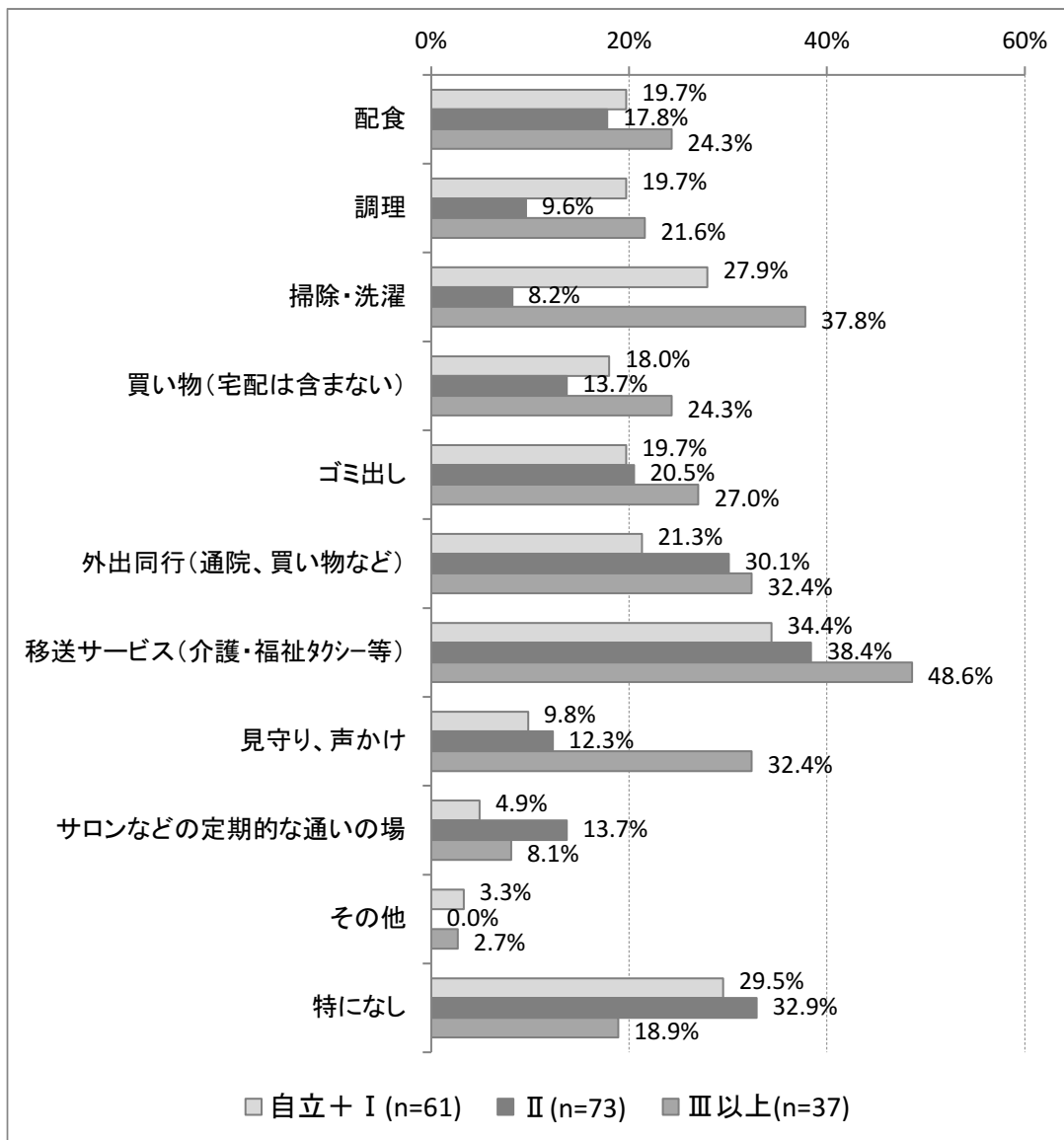
図表6-9 在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度



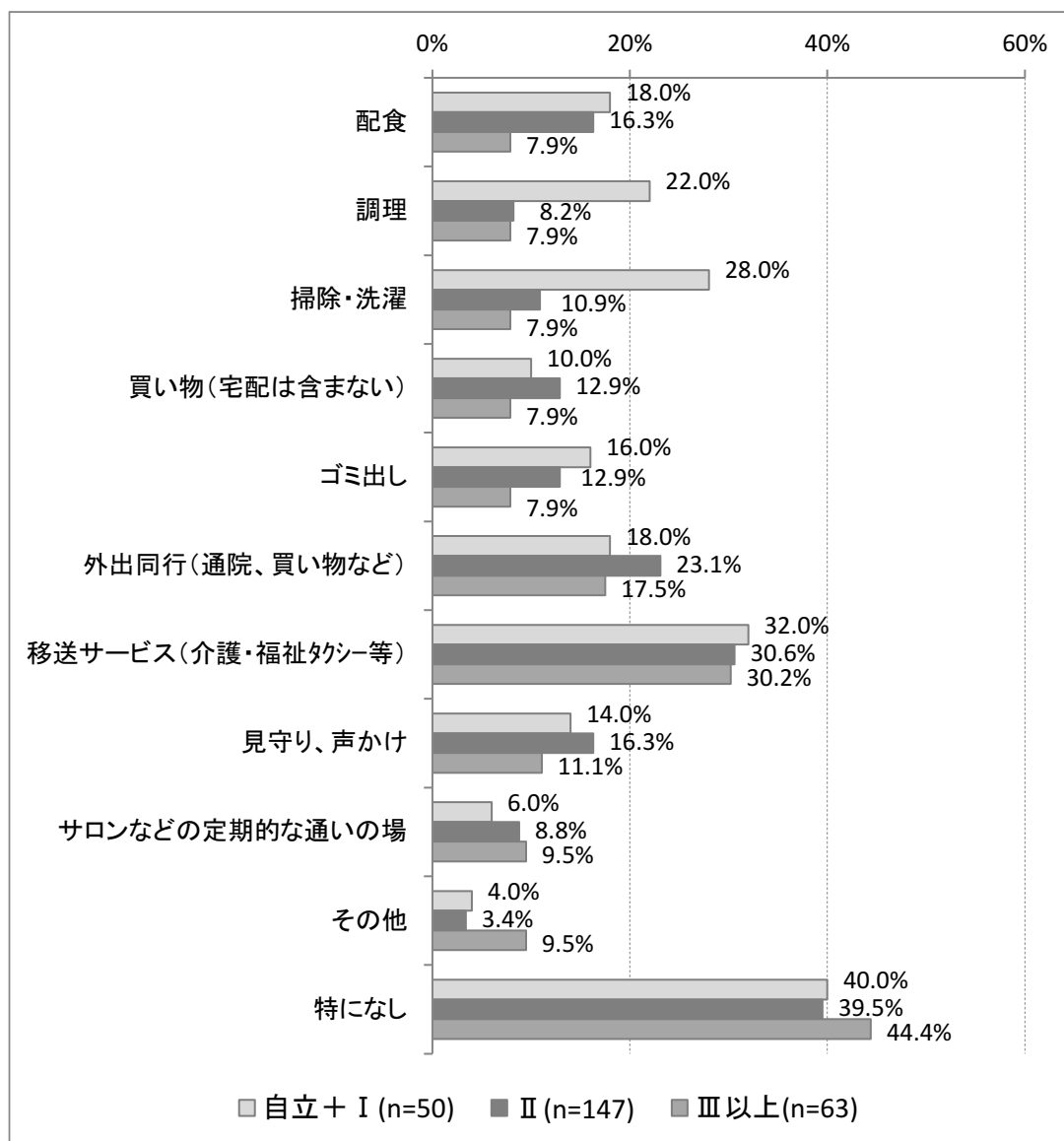
図表6-10 在宅生活に必要なと感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度（単身世帯）



図表6-11 在宅生活に必要と感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度（夫婦のみ世帯）



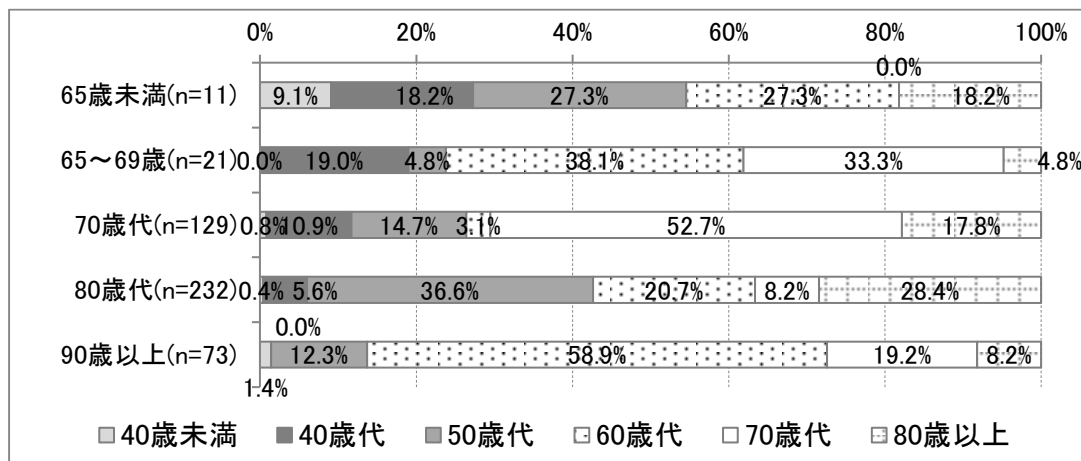
図表6-12 在宅生活に必要なと感じる介護保険外の支援・サービス×認知症自立度（その他世帯）



④本人の年齢別・主な介護者の年齢

介護者の年齢についてみると、介護をされる側の年齢が70歳代では「70歳代」、80歳代では「50歳代」、90歳以上では「60歳代」の割合がそれぞれ高くなっており、70歳代以下では同年代、それ以上では下の年代が介護を行っている傾向が見られます。

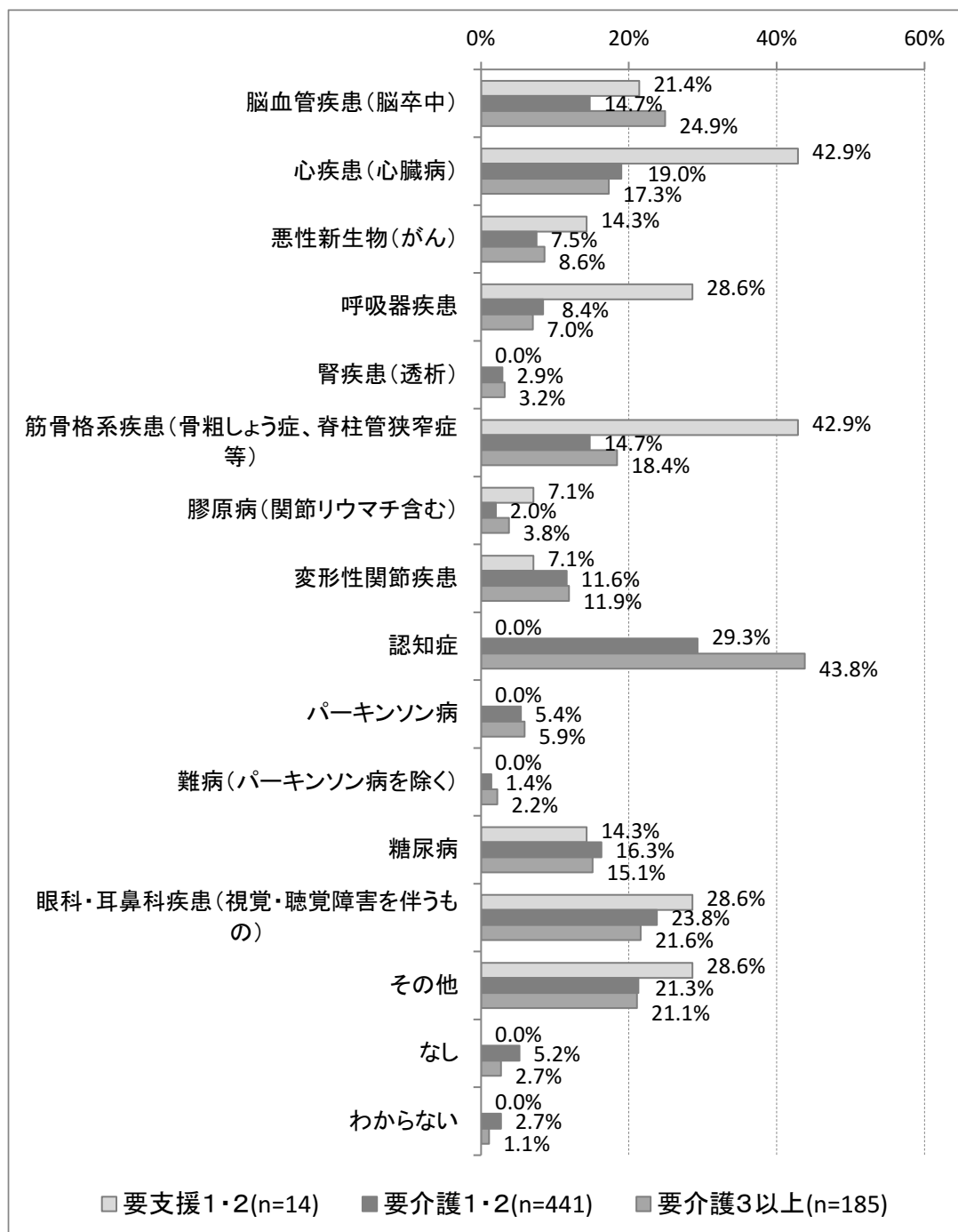
図表6-13 年齢×主な介護者の年齢



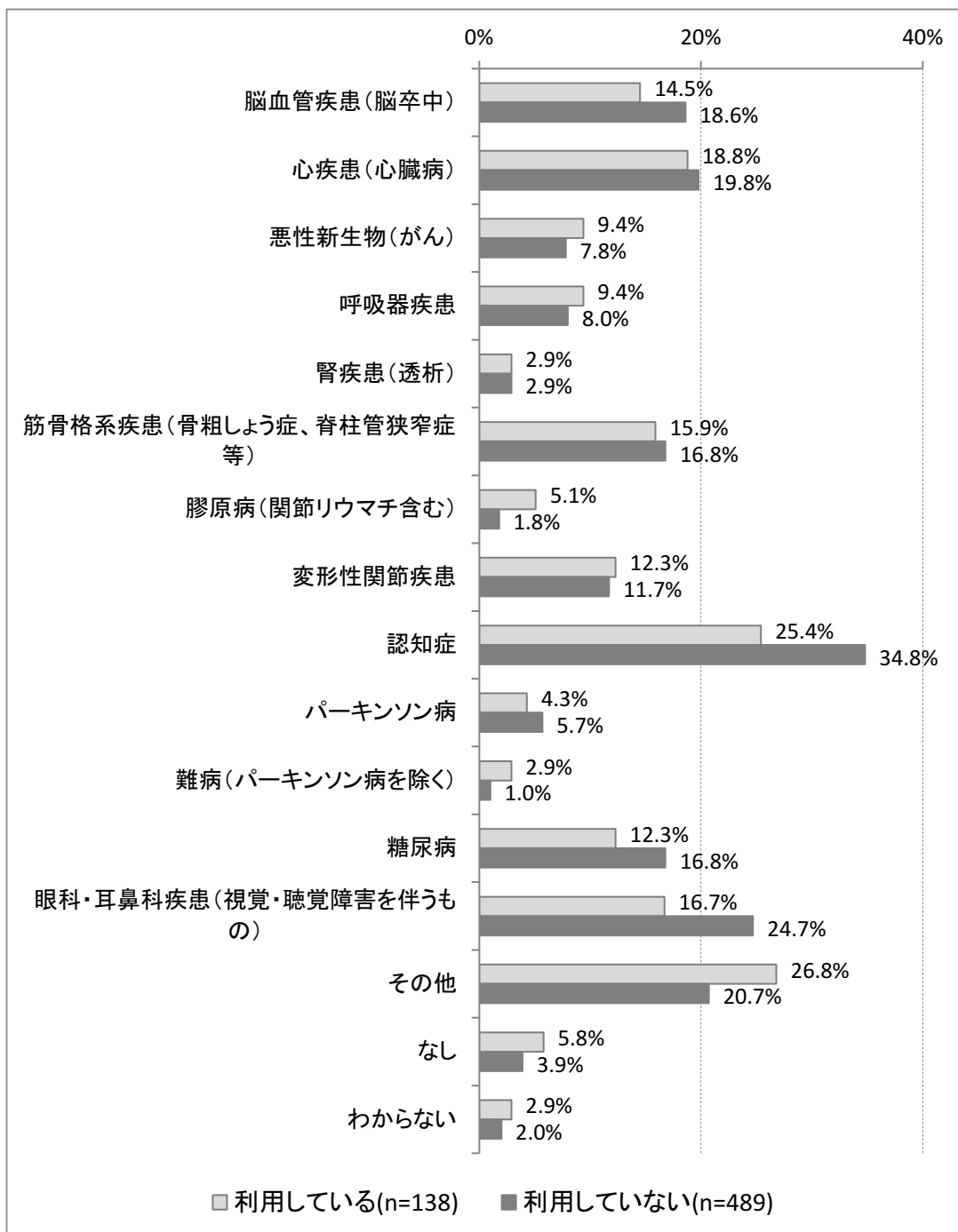
⑤要介護別・訪問診療の利用の有無別の抱えている病気

現在抱えている病気についてみると、「認知症」の割合は要介護度の上昇と共に高くなっています。また、訪問診療の利用の有無別にみると、「認知症」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の病気は「利用していない」人の方が高い割合を示しています。

図表6-14 現在抱えている病気×要介護度



図表6-15 現在抱えている病気×訪問診療



6 意見・要望

(1) 本人（介護を受ける側）

宛名ご本人の市の高齢者福祉事業等へのご意見やご要望として、全体で 59 件のご意見・ご要望がありました（一部割愛・伏せ字）。内容としては、制度・行政に関するものが 20 件、将来への不安に関するものが 5 件、情報入手・提供に関するものが 2 件、日常生活・介護に関するものが 30 件、アンケート調査に関するものが 1 件となっています。

〈内訳〉

	分類	件数
1	制度・行政	20
2	将来への不安	5
3	情報入手・提供	2
4	日常生活・介護	30
5	アンケート調査	1
	合計	58

①制度・行政

- ・現在、病院内の療養科に入院中なので、全く介護保険サービスを利用できない。そういう人にも使えるサービスを考えてほしいです。
- ・車椅子のため外出もできない。病院に行く時は家の入口が階段のため、介護タクシーを呼んで利用しています。その金額が高額のため、料金の援助があればと思っています。
- ・私はオムツが少し安くなってほしいです。
- ・介護料金、できればもう少し安くなると助かるのですが。
- ・①保険料の低減化、②特養の増設
- ・見守り制度の充実
- ・ショートステイや施設入居費用を安くしてほしい。
- ・市の特別養護老人ホームを沢山作って頂きたいと思います。
- ・市内に1日通所リハビリを増してほしいです。
- ・現在は食事の仕度、用意をすることはできておりますが、いずれそれらも人様に頼ることが宿命みたいなものと考えており、現在の高価格の宅配弁当。宅配弁当が安価なものの提供もあってほしいです。
- ・世話になります、介護保険料がもう少し安くなるよう希望します。現在、家族（妻）が助けてくれているので心配がないが、この先はもっと利用させて頂きたいです。
- ・移送サービスを利用したい。
- ・介護の度合いが変わった場合、速やかに対応して戴きたい。事務的手続きして1か月要すると聴きました。（現在は脳梗塞で歩行困難の状態です）
- ・介護申請を受けている人にもタクシーの支援があると良い（病院へ外出時、雨等（遠い所）など必要）。免許返納したら「かわせみ」の回数券を受け取ったが、市役所から海老名駅まで出ていけないと使用できない。無意味であり無駄である。バスの回数券が良い。

- ・老人ホームの良い所を希望しています。あとは値段がどれくらい知りたいです。
- ・施設への入所、入居費用が高く、補助などないのでしょうか。
- ・車椅子送迎サービスを利用して頂いておりますが、2台の為利用することが困難な状態です。更なる増台をご検討願います。
- ・車イスが必要な時のみ使用したいのですが、自宅まで届けてほしい。
- ・通報ボタンを取り付けてほしい。
- ・介護保険サービスは1回使ったらダメなのか。2回、3回でも使えるか。

②将来への不安

- ・主人がどうして分らなくなってしまったのだろうとつづやきました。胸が痛くなりました。不安ですががんばります。
- ・デイサービスに通所していますが、年金の中からはなかなか大変です。施設への入所を検討しているが、お金がないので家族がやるしかないのが現状です。もっともっと家族がいる人でも色々な問題をかかえています。見る人がいるからではなく、色々考えていただきたい。
- ・現在、海外に住む娘に見てもらっているが、一時帰国にあたり、その間一人生活が不安。
- ・私が入院した時の心配。
- ・排泄等自分で動けている間はよいが、今後デイサービスに行けなくなる場合が不安。

③情報入手・提供

- ・配食サービスってどんなのがあるのか知りたいです。
- ・与えられている介護サービスの情報が乏しいので、助かっている実感がない。介護するものの負担が多く、病気でもしたら共倒れしてしまう。身体障害2級、要介護2で利用できるサービスを具体的に知りたい。

④日常生活・介護

- ・自宅介護を始めて2年半余りになります。入所申し込みはしてありますが、コロナ、本人の自宅希望が強く、ショート、デイを使わせて頂き、なんとか生活しています。私の健康管理を第1にして、少しでも長く介護できたらと思っています。これからも色々なサービス等を利用させて頂きたいと思えます。
- ・現在入院中のためサービスは使えないが、体調の良い時などにデイサービスなど使えれば良いのではないかと思う。
- ・歩行訓練等、病院のリハビリテーション科レベルのリハビリが受けられる場所が欲しい。介護サービスのリハビリは効果が感じられない。
- ・来客を玄関で接待し、終了同時にTELが鳴り、急いでTELに出ようとして床へスベってしまい「尾骶骨」を打ち、●●病院に救急車で入院し、3ヶ月後に退院し、元の元気を取り戻し、健康の私に回復でき感謝です。
- ・3ヶ月1回脳神経外科、皮膚科（●●病院へ）、通院しています。
- ・今、週1回ふきそうじ、お風呂、40分位。まともにそうじしていかない。言ってもなおさない。
- ・認知症の程度がかなり進んでおり、介護サービスを受けたいと（介護者は）考えているが、本人がサ

ービス利用を好まない、集団生活（活動）が苦手。本人は認知症である認識は全々なく、介護者に反抗的な言動が日常化している。

- ・ 家内はガンで介護3以上ですので、私自身が面倒を見ることができませんので、訪問看護を受けましたが、横浜市の娘（長女）の所に住所変更して、娘夫婦の家で横浜市からの訪問看護等を受けています。
- ・ 既に入院しています
- ・ 宛名の本人は施設に入所しております。10月までは子供2人で交代しながら泊り込みで母を介護していましたが、認知が進んで、家で面倒を見る事が本人にとって良いのかわからなくなりました。しかし、施設に入れた罪悪感で母に申し訳ない気持ちでいっぱいになります。在宅介護と施設介護を交互に行いながら見て行こうと思っております。私と妹との考え方の相違も問題があります。
- ・ 外出時、お手洗いで方向がわからない事が数回あり。GPSを購入の時、市の書類は持って来て下さいましたが、GPSのメリット、デメリット（機種）等細かい説明が必要だと思う。今後進んだ時、どの様なものがあるかわかりやすくカタログ等必要だと思います。
- ・ ゴミ出しが大変です。
- ・ 外出の（主に病院）時にタクシーを利用しているが、診察が終わる迄待ってもらうとタクシー料金が上がるので、割引券とかが利用出来ると助かります。現在、家の中では車椅子を利用しており、外出の時はささえていただくか杖。杖をついていても右足がガクっとなり、転倒しそうです。買物（主に野菜）等頼んでおくとしまいには使えなくなります（葉が枯れたりくさったりします）。
- ・ ペースメーカー有り。車いす生活です。老人ホーム、ヘルパー、ケアマネにお世話になっています。少々心くばりがなく不安です。
- ・ 介護者は高齢なので、資源ゴミの分別、その搬入等場所的に遠いと運搬が大変。なんとかならないかと考えてます。
- ・ 車の免許証更新3月迄ですが、返還する様にしたいと思いますが、バス、タクシー等の補助があれば助かります。病院等遠いので、往復利用すると1回8千円程、月に4回かかります。その他の移動にもかかりますので。
- ・ 薬を取りに行く時は本人でないとダメ。20年も行っているので何とかならないか。
- ・ ゴミの自宅回収等、こんなサービスがあったことにおどろきでした。
- ・ 足がわるいので困ります。
- ・ 年相応の健康状態を維持出来ればと思いながら過ごしていますが、今の介護保険を利用させていただいています。日々の老いを感じ、けがをせぬようと毎日が大変です。
- ・ ケアマネジャーが月1回見舞ってくれている。介護1なので、ヘルパーが週2回清掃に来てくれる。
- ・ 今のところ、主人も私も何とか家の中、又は庭は手入れをしています。だんだん年をかさねると大変になって行くと思います。その時はよろしく願い申し上げます。
- ・ 介護1だと特別老人ホームに入居ができず、しかたなく有料老人ホームに入居しています。私も80歳以上ですので心配しています。
- ・ 1人生活ですので、自由に生活していますので、この先どうしてよいかわかりません。寝込んだら考えます。
- ・ 半年前から療養型医療施設に入っています。それまではデイサービスを利用していました。もっとデイサービス以外の利用を検討してもよかったかなと知識不足を反省しました。いずれにしても費用がかかるので、デイサービス（週2回の利用）が限界かなとも思いますが。

- ・ききめの無い薬を飲ませる事に疑問がありました。薬以外の方法はないのですか。
- ・入浴せずに困っています。サービスを利用したくても本人が嫌がる。
- ・今感じている事は、約18万円～19万円程の所を感じている。男（息子）一人では何も出来ない。少しでも金銭面で感えてほしい。
- ・介護保険の（介護、要支援）の内容の境がわかりません。家庭内でなるべく解決しようと思っています。
- ・今は妻が自分の用は全部できます（ただし私が指示）。下の方ができなくなった時は入居介護を希望ですが、だめな時は自分と家を出て、むすめ2人を呼んで一緒に対応を考えていきます。

⑤アンケート調査

- ・認知症の為、回答不可

(2) 介護者

本人の介護者から市の高齢者福祉事業等へのご意見やご要望として、全体で 158 件のご意見・ご要望が寄せられました（一部伏せ字）。内容としては、制度・行政に関することが 70 件、将来への不安に関することが 20 件、情報入手・提供に関することが 5 件、日常生活・介護に関することが 61 件、アンケート調査に関することが 2 件となっています。

〈内訳〉

	分類	件数
1	制度・行政	70
2	将来への不安	20
3	情報入手・提供	5
4	日常生活・介護	61
5	アンケート調査	2
	合計	158

①制度・行政

- ・現在足を骨折し、完治してから間がなく、車イスを利用しています。本人には自分で歩けるようにしてもらいたが、段差等つまづく場所があり、歩行者の利用しやすい環境づくりを充実させてほしいと思います。
- ・介護タクシーのチケット。
- ・車がなく、移動手段がない。コロナ罹患の際はどうしたら良いか悩んでいます。移送サービスの充実をお願いしたい。
- ・すべての人に目をむけてほしいです
- ・介護に要する時間は今後も増えていくと実感しているので、ショートステイやデイサービス（長時間）の利用が安易にできると、仕事の時間調整が少なくて済むので助かる。
- ・もっと介護者の意見を聞いてくれる場所がほしい。
- ・本人に認知症である認識をさせ、家族の負担を軽減するといった自覚を持たせる為に、どのような方法、指導が必要か教えてほしい。本人が自覚さえすれば自然と介護サービスを受けられるようになると思う。
- ・介護者が病気、入院等 1 カ月余り介護できない状態の時のマニュアル等。（ショートステイ）では足りない時は。
- ・パーキンソン、認知症があり、身体のこわばり認知症の進行が日に日に変わります。病院への行き帰りが大変負担に感じております。何か利用出来る物があるとありがたいです。
- ・タクシー代の補助が多くあればうれしいです
- ・介護タクシー無料。
- ・妻は現在社会福祉士の方が担当だが、こちらから動かない限り電話の一本もくれない。社会福祉士はそういう対応なのでしょうか。
- ・特老がもっと安く、入居しやすいと良い。
- ・現在休職中なので、金銭的な補助があれば良いと思います。
- ・配食サービスの補助金を再開して欲しい。

- ・介護保険事業サービスのガイドブックがあれば良い（サービス、連絡先、施設、ケアマネジャー、認定などの案内）。通所介護（対応施設）の増加（充実）。用途案内があればよいもの（介護保険負担割合証、介護保険被保険者証、綾瀬市重度障害者医療費受給者証、後期高齢者医療被保険者証の4点の違い、適用サービスなどの案内）。
- ・介護認定まで3ヶ月もかかりました。近所でサービスは受けられないようです。ドラッグストアまで1km弱でしたが、ひとりで買い物に行けなくなり、本人も家族もストレス。年をとっても自分でできる町だと嬉しいです。
- ・自宅で暮らす希望が強い本人が、1人でも過ごせるような24時間体制（住み込み）の福祉サービス。期間限定でも良いと思います。
- ・要介護1と2の保険を外すと話題になっている件、とても心配しています。今通っている通所リハが使えなくなる事（せつかく慣れた環境になった）、公共サービスのサービスレベルの不安があります。綾瀬市で、もし総合事業としてきちんと運用されるのか、早めに情報が知りたいです。
- ・福祉用具貸与や介護負担への金銭的補助や援助があれば良いと思う（アンケートは本人聞きとりにて対応）。
- ・現在、徘徊SOSネットワークに登録は済ませてありますが、介護者が市外に住んでいる為、実際に利用したいと思った時に上手に使うことが出来なかった。警察も綾瀬市内の交番ではなく、大和警察署に連絡しなければならなかった事もよく分からず利用しにくかった。県の出しているパンフレットだけでなく、綾瀬市の徘徊SOSネットワークシステムの使い方が分かるリーフレットの様なものが欲しいです。
- ・これからの高齢が進むことが考えられると、移送サービスの向上をお願いしたいと思います（タクシー、バス）。
- ・介護に関するサービスを保険対応の中を広げて欲しい。又は市の助成を増やして欲しい。介護するには本人の年金等の経済では払いきれない。介護する者が働けなくなると、される人もする人も生活が出来なくなります。
- ・デイサービスでリハビリを増やして欲しい
- ・長引く様でしたら相談に乗ってほしい
- ・身体障害者2級、要介護2認定を受けているが、役立っているサービスがない。高い介護保険料を払っているのに何の見返りもない。利用できるサービスの情報が乏しい。介護者が健康確保（精神的ストレスのない）できるよう考えてほしい。
- ・問10での施設を増やして欲しい。入りたい所に入れる様になりたいです。
- ・おむつ給付の限度額を千円単位で上げて欲しい。寝具のクリーニングを復活して欲しい（一番清潔にしたいものだと思います）。
- ・介護をする者もだんだん年を取り、車の運転がきびしくなります。タクシーなどの補助が少しでもあると幸です（母は足が悪し、バスなどには乗れないので車が必須です）。
- ・同居家族がいるからとショートステイの利用負担が多いのはやめてほしい。パートなので給料はとても少ないです。年金生活とかわりないです。
- ・綾瀬市で運営する老人ホームを作って頂きたいと思う。有料のホームはあちこちにあるが、月に20万以上、その他にも経費がかかって、とても入る事が出来ない。是非低料金の老人ホームをお願いします。今町は至る所老人であふれてる状態です。元気な老人も居ますが。
- ・夜間SOSに対し、相談出来る施設、場所があれば良いと思います。

- ・今後の問題について、市の介護施設入所を考えているが、なかなか難しい様に思いますが、市で安く入所出来る施設を検討願いたい（安い有料施設）。
- ・配食の選択肢が多くあればいい。外出の付き添い等もっとネット等で利用出来る体制であってほしい。配食補助はあってほしい（経済的に）利用者本人と介護者が利用しやすい体制であってほしい。サービスを利用した時に介護者にSNS、LINE等知らせが来ると安心する。
- ・病院に通院する際にタクシーをとるのですが、タクシー代が高いのでコロナのワクチン時のように500円券を支給してほしいと思います（高齢者補助対策の一環として考慮してほしい）。
- ・市内には「通所リハビリ」が少ないので、もっと市内に「通所リハ」（1日）が増えてほしいです。海老名市には何カ所かあるが、綾瀬の吉岡だと送迎の対象外だったり、そもそも綾瀬市が対象外で中々「通所リハ」が見つかりませんでした。お風呂も入れてリハビリもしてくれる場所を増やしてください。
- ・徘徊などで行方不明を防ぐため小型GPSを持たせていますが、高齢者は子供向けの割引が適用されず、月額料金が家計を圧迫しています。補助や貸与があると助かります。よろしくご検討下さいませ。
- ・保険料が高いです
- ・車いすの為、2ヶ月に1回の病院通院時介護タクシーを利用しているが、もっと安く利用出来る様に検討願いたい。
- ・施設等利用費軽減
- ・経済的な負担の軽減が大きいので、給与金等の増額をお願いしたいです。
- ・紙パンツ、紙オムツ、パット等の自己負担が厳しいので、金額の援助がもう少し多いと助かります。
- ・現在、家出徘徊等に至ってませんが、左記の場合、現在地を確認出来る器具の貸し出し等はないんでしょうか。
- ・特別養護老人ホームを増やし、安価に安心して利用できるように努力してほしい。
- ・投薬ロボット(?)のレンタルの充実、金銭的補助。家で1人のときがほとんどな状態が心配なので、室内の見守りカメラの設置に対する補助。
- ・金銭的な負担が大きく、介護を受ける状況ではない。老人介護、医療費も含め改善してほしい。
- ・ふとんのクリーニングがあったほうが良かった。車イスのタクシーを年1回でも必要な時使用出来るとう助かる。デイやショートを体験してみたい。
- ・入院費用が手続きをしたことにより、かなりおさえられました。市役所ですぐに対応して頂き、大変助かりました。制度がなかったら生きていけなかったくらい大変だったと思います。なんとか母の年金で費用がまかなえているので、心おだやかに暮らせています。
- ・買物、医療機関へ行く際の交通機関を使い易いバス、タクシーを考えてほしい。例えば、タクシーなどの使用の際、料金を安く出来るように。
- ・近くに夫婦で入れるサービス付高齢者住宅を増やして欲しい。一人室ばかりで二人室が少ない。室に風呂が無い。室代が高過ぎ。
- ・この先を考えた時の訪問診療、看護の充実。日中独居へのサービス。利用出来るサービスが増えれば離職しづらくなる。
- ・4週間に1回通院で、自家用車を運転して45分~50分/片道運転するが、高齢(78才)の為、体調が悪い時は介護タクシー使いたい。一般タクシーではサービス対応に不安あり。介護タクシーの紹介欲しい。
- ・介護者が長く介護を続けられる様、施策を考えて下さい。休息や趣味を続けられれば明るく長続きで

きます。

- ・●●病院等通院の時、社協の移動支援（ボランティア）のお世話になっています。一週間以上前の申し込みなので、急の時に利用出来ません。市のサービスを希望します。
- ・綾西は「かわせみ」が少なすぎて生活が困難。スーパーもなくなり、コンビニもない。「かわせみ」が1時間に1本あれば利用して別のスーパーへ行きたい。
- ・希望すれば種々のサービスがあり助かります。
- ・入所料金の安い老人施設を増やしてほしい。
- ・介護認定の審査が良くわからないが、介護1からはなかなか2には上がらず、サービスを受けられない。介護度が1とかでも必要とするサービスを受けるにはどうしたら良いか。
- ・2割負担になってしまい、通所介護費用が増えてしまった。リハパンツの支給もなくなり、私のパートタイム、収入のほとんどを使っている。
- ・相談先がわからない。数ヶ所連絡したが、これと言った改善策が見つからない。「紙おむつ給付事業」はとても助かっております。今後とも続けて頂きたい事業です。
- ・相談窓口の係わり方を理解していないので、相談方法が分らない。介護保険で使用出来る内容が良く分らない。
- ・コロナの件は早くすばやくやっていると思います。介護の方はもっと住民の方はたいへんだと思います。できれば介護の方も少し安く、安全な対応を望んでいます。
- ・介護保険には限度額があります。その為に、サービスを受けられなくなり退職する人も増えていると思います。行政と会社が一体化しないと介護の負担は減らないと思います。
- ・緊急時の対応についての手順を知りたいと思います。病院や施設から帰って来た時点での家族の対応について市に報告するのか、しないといけないと思いますが、その状態の対応を知りたいと思います。
- ・入院費の補助。
- ・介護をしやすくするにはお金がかかるが、何か援助してもらえる所があるのか。不透明な部分が多いと思います。
- ・夜間帯のサービスの充実を望みます。
- ・介護者が他の理由で本人の病院等に同行できない場合、タクシーを利用する事になります。障がい者福祉で行っている月2回の送迎車の利用を介護保険で利用出来る事は不可能でしょうか？
- ・軽度の認知症の方が活動できる（ものづくりなどが出来るところ。半日くらいで）場所が欲しいです（デイサービス以外で）（送迎ありで）
- ・医療関係に勤めていた関係上、重症になる前になんらかの予防（認知症や筋力や骨の脆弱を防ぐ）ができ、人生100年健康でいられるコミュニティの建てなおしをはかる。聞きにくるのを待っている介護サービスでなく、介護サービスの利用方法、認知度をあげる工夫。

②将来への不安

- ・急に体調を崩した時に、離れて住んでおり、他家族の介護もしているため、すぐに病院に連れて行く事が出来ずこまっている。服薬管理が出来ず、朝一回にしてヘルパーさんにみてもらっているが、抗生剤などの臨時薬が処方された時、昼や夜の服薬管理が出来ない。臨時で対応してもらえるサービスがあると助かります。
- ・介護者がいない状況で1人暮らしが心配。
- ・コロナの為、施設に入所する事が世間や家族からの隔離になってしまい、認知は進んでしまう。それ

が悩みで心配が増えてしまう。

- ・1人介護の為、私の具合の悪い時に変わってもらう人がいません。私も70才代なので、これから先が不安になります。介護者が病気になった時に少しの間でも施設に入れるとありがたい。本人はイヤがるのですが。
- ・現在奥さんは72才で認知症です。それに私はパーキンソンです。この先とても不安です。
- ・脳出血で倒れ、水頭症、高血圧であり、介護の妻も腰が悪く、毎日リハビリに通っています。家で介護できないため、リハビリの病院を退院後、リハビリ付介護老人保健施設に入所しています。金銭面でとても不安です。
- ・視覚障がい者対応のデイサービスはありますか？（視力減少中、まだ見えています）
- ・主たる介助者も85才と高齢で、膀胱ガンで治療中なので、今後が心配です（抗ガン剤での治療中です）。
- ・今は週4回デイサービスでお世話になっておりますが、何分高齢で動けなくなった時の事を考えますと不安です。
- ・介護は大変。どこまでがんばれるのか。自分の家もあるのに「老人ホームに入れたら？」とも思うが、母の精神が退化するのが目にみえるのに、犬もいるし、夫に悪いと思いながら、妹と二人交代で寝とまりの毎日。そんなぐちが言える、気がるな場が自分には一番必要かな？妹となぐさめあってますけど。
- ・私（介護者）の老化で介護できない状態になることの不安
- ・夫婦共々高齢なので、役所との書類提出や出向く事が大変になってきた。車を手ばなしたあと移動に不安がある。
- ・認知症ではないですが、物忘れが増えたので、入所して食事のサービスを受けています。風呂・洗濯はできるものの、忘れたり、おっくうになったり。事業所で声かけたけでもしてもらえると助かります。
- ・要支援と要介護の区別を一般の人は知らないなので、ケアマネさんの対応に市民として違和感を感じます。両方の問題や要望をスピーディーに連携して親身になって対応してほしいです。具体的にいうと、要介護2の本人を介護している介護者が高齢で、ケガをして要支援になったとき、すぐに対応してもらえず、要介護の方も要支援の方も生活に支障が生じたことがあり、今後も起こりうることなので検討しておいてもらいたい。
- ・介護者として、もし自分が介護に支障が出た時に特養等への入所がスムーズにできるか不安になります。介護される者もする者も健康で生活できるよう、ケアやサポート課を設けて欲しい。
- ・ケアマネをどこの誰にするか相談できる所がほしい。用紙だけもらって困ってしまった。
- ・アンケートの用紙をいただくたびに、私のまわりの方々がよくして下さるので、パーキンソンという難病をもって歩けないことが毎日大変なのですが、苦病して感じるようなことが今までなかったことがお陰様です。でも、進行性ですのでこれからが不安です。
- ・介護保険で通所サービス、機能訓練型デイサービス（半日）をそれぞれ利用しているが、施設によってコロナ感染対策が全く異なり、1ヶ所は感染対策が万全ではなく、とても不安がある。なかなか施設側にはその旨を伝えにくい。
- ・施設内を出て、体操や散歩を特別多く取入れて欲しいです。今後、電気、ガスの消し忘れが心配です。
- ・現在はまだなんとか自分で排泄にも行けるが、今後、今以上動けなくなったらと不安です。経済的に特養にすぐに入所できればよいのですが。

③情報入手・提供

- ・訪問診療（医師、歯科、看護ステーション）の綾瀬市内での選択肢が（どこにあって、いくつあるのか）分かり易くて検討出来るような情報をプッシュして欲しいです。定期的な通院で治療・処置・フォローを継続するのは大変です。
- ・紙おむつ給付は助かっており、良い事業と思いますが、事前に対象者に該当しても市側から案内される事はなく、ホームページをたまたま見て利用できる給付サービスとわかり申請をしました。事前に対象者になった時に連絡等があれば良いと思いますが、今後の検討対象にしていただければと思います。又は給付の告知の方法も合せて検討いただければと思いますが。
- ・宅食の援助廃止の理由が知りたい。市内の施設の情報が知りたい。
- ・介護サービスの情報提供と、少ない費用で対応できるサービスを活用できるように考えて頂きたい。いろいろな手続の簡素化を考えて頂きたい。
- ・床屋さん（訪問）の情報がほしい。特養の使用状況や入居待ち年数等の情報がほしい。民生委員と要介護者との接点は何かあるの？名前も知らない、会った事もない。

④日常生活・介護

- ・現在、老々介護の状態です。夜中の排尿、認知症、妄想等々で神経が痛んでいます。薬は飲用していますが…。食事は取れていますが、排便の介助も大変です。
- ・配食サービスの市からの援助があり、大変助かっておりました。再開を強く希望します。
- ・車いすでの通院で現在2回使用させて頂いておりますが、診察が増え、車使用回数を増していただくと助かります。3回以上は使用代金を少し負担するなど、なかなか外にできません。現在は他にもお願いしていますが、当日などは使用できません（1週間前に予約です）。
- ・介護者が2～3時間の睡眠時間で無休で過ごしている状態が改善されるよう希望。
- ・とても助かっています。すぐに対応してくださって、おかげさまで要介護認定が4から2になる事ができました。
- ・高齢者の外出、通院の交通手段がなく、自家用車（家族運転）、タクシーに頼る他ない。
- ・二世帯で生活しておりますので、私も高齢ですが、又不自由が生じた場合は息子、お嫁さんに世話になるからねと二人で話し合いが来ています。良い理解ある若い二人なので、楽しく過ごしています。感謝。
- ・耳が遠く、会話も少なくなってきた。聞く耳が遠く、相談も出来る状態にないので。尿が漏れする様になってきた。
- ・本人は週3回火、木、土にデイサービスに行くので、その間買い物など色々と用事を済ませています。
- ・主人が認知症になり、デイサービスと月1回ショートステイでお世話になっております。認知症も進んできており、この先が心配ですが、御指導を受けながら行きたいと思っておりますので、宜しく願い致します。
- ・食事は妻がつくってくれています。
- ・介護保険事業に助けていただいておりますので、大変ありがたく思います。
- ・現状ではサービスを受けるほどではないので特段ない。
- ・自分●●●は脊髄の骨折が完治しないので、歩く事が出来ません

- ・介護保険を利用させていただきありがとうございます。ケアマネさんに色々ご相談させてもらって、安心して生活することができます。感謝しています。
- ・認知症以外、歩行が長い距離出来ず（大動脈瘤で6ヶ所接で、背中にプレート2枚、ボルト6本有）ワクチン接種会場迄タクシー利用しました。障がい者ではないのですので援助は受けられず、会場を誰でも場所にバス利用して行ける様、配慮があると受けやすいと思ってます。
- ・介護している自分も高齢（79才）なので、いつまでできるか心配している。しかし、サービス依頼は全てお金がかかる。余裕のある人はいいかもしれないが、そうでない者は結局自分で何とかしなければいけないし、最後は野倒れ死になるのではないか？自分は子供もいないし！！
- ・家族だけでは介護は難しいと日々思っております。通所介護を利用させていただき、本人の楽しみになっています（家族以外の方と接することで）。又、訪問介護も利用する時があると思いますが、介護者の負担が大きくなならない様に、本人と介護者に寄り添った事業が増えることを望んでおります。
- ・市のご配慮に感謝しております。ケアマネジャーさん、デイサービスの方々のご親切にもありがとうございます。今の高齢者は幸せだと思っております。今後共宜しくお願い致します。
- ・アルコール依存症で、肝臓の数値が悪くなると入院したりして改善されますが、退院したらまた元の生活で、本人の気持ち次第なので、家族としては今現在は何とも言えません。
- ・人見知りがあり、嫌いな人に口のきき方が悪かったと。その為、今はリハビリに行ってません。
- ・●●●のケアマネ担当が対応が悪い
- ・主人の収入がないので経済的にきびしい状況です
- ・2021年12月に転倒し、頭を打ち、脳内出血を起こして入院中です。自身で食事をとれず、鼻よりチューブにて栄養分を採っています。
- ・主人は糖尿病でインスリン投薬しているが、食事カロリー等に気をつかう。私が不在の時は台所で食べ物（菓子類）をあさり困っている！自分の体に対してどれだけ注意しているのかわからない！！目も緑内障もあり、自分（本人）がその気にならねばと思う。私も76才高齢者であるので、とても不安だ！今のところ身体は年、健康診断でも異常ないのでよいが、近くに居る娘は子育て（1才、5才）保育園に通園フルタイムで働いているので、あてにできない！主人もこれ以上病状が進まぬ様祈っている。
- ・今年になって利用させてもらっています。迅速な対応をしていただき感謝いたします。これからもよろしく願います。
- ・現在のところ、お陰さまで食事、掃除、お金の管理、買物、すべて自分で行えます。ありがとうございました。今後共よろしく御指導下さい。
- ・ヘルパーさん、訪問リハビリ、看護師さん、デイサービスなど、いろんな方達に支えられ介護することもありました。人との触れ合いを大切にすることで、個人の自由ではありますが「タバコ」だけは相手に配慮に、もう少し気をつけて頂けたらと思いました。
- ・薬を貰いに行くにも本人でないとだめ。本人は足が悪く行けない。タクシーを利用。買い物は良くしてくれます（食べ物）。
- ・記入者は50代女性ですが、介護については60代男性（兄）と半々で行っています。私1人でもムリです。兄1人でもムリです。
- ・両足がわるいのでこまります。
- ・無職で収入がないので、少し働きたいが無理である。介護保険も払い利用料も払うのはツライ。自分が病気（現在带状疱疹です（涙））の時に助けてもらえる人がいない。お金をかけずに生活して行きた

い。

- ・個人事業主の職場に勤めていると、職場の体制や人手不足で休みが確保しづらく、介護との両立が難かしいと感じています。
- ・手、足が不自由なので、お風呂、リハビリを受けさせて下さい。宜しくお願い致します。
- ・超高齢世帯であり、週2回の清掃（計2Hr）でも助かります
- ・自宅でも場所がわからず、トイレが台所で使用しようとズボンをおろしたり、便器に座れなくて床にやったり、今までは日中は普通でしたが、最近認知が進んだよう。夜もシートとか床に…紙パンははいているのですが、出してやってしまい、どう対処が出来るのか。
- ・高齢者二人で生活しているので、商店が近所になく、買い物が困難になって来た。
- ・介護についての将来への不安はありますが、ケアマネへの相談や助言、デイサービス利用など大変助かっています。
- ・自宅での介護サービスを利用する前に12/12に施設への入所をしました
- ・綾瀬市介護課の職員の皆様の適切な処理に感謝しています。私共家族も希望をもって毎日介護に当たっています。ありがとうございます。
- ・現在デイサービス（●●●）を利用中。本人も良くしてもらっていると喜んでおりますが、今後増々体調が悪くなった先を考えると不安です。
- ・宛名の妻ですが、一人暮らしをしています。介護、要支援1ですが、私にはケアマネジャーいません。
- ・コロナや体調不良でデイサービスを休んで1年になります。現在体調も良くなり、来春からデイサービスを受けたい旨を通知しております。家にばかりおり（少し散歩はしています）人との接触がなく、表情もとぼしく、この先が心配です。体調が少しでも良い時に介護保険を利用させて頂きたいと思っております。
- ・移動サービスが思う様にいかない。バスかタクシーを利用しています。
- ・デイサービスを利用させたい気持ちは以前からあるのですが、母は大勢の所に行くのがとても苦手でストレスになります。短時間で入浴も利用できるデイサービスがあれば助かるのに…と思っています。認知症にもなってしまったこともあり、ストレスはかけないようにと医師に言われているので、現在も利用できずにいます。
- ・二人共高齢のため、買い物に行く時は手車やリュックサックで行きますが、食べ物は重い物が多いので大変です。子供達に本人の都合で来てくれますが、買う物も忘れてたりする時がありますから、そんな時は大変です。本当に買物難民です。そんな時にはどうすれば良いのか、よろしく願い申し上げます。
- ・認知症に対して理解して頂きたい。病院等に行かずに家族で他人に言わずに対処している家族がいる事も考えてほしい。
- ・デイサービスに行っているのもとても助かります
- ・私も来年80才になります。病院に行く時いつまでも車イスを持ってバスに乗る事が出来るか心配です。主人よりも歩ける人が障がい者でいるのに、私達はもらえません。もっと調べてもらいたい。100mやっとな歩くの20分位かかります。
- ・4泊5日のショートステイを利用しているが、帰宅した2日間は非常に大変…老いた身体と戦いながら介護です。早くに入居できたらと思います。話をする事、理解する事ができないので、意思の疎通がとれない。介護する側が限界です。
- ・（病院へはバイク、買物へはバイク）何とか自分で行なっています。現在は腰痛以外、自力で生活して

います。妻の介護を少々。

- ・(問17)の身体介護は、日々の生活の中で記憶の面が心配で不安を感じます。生活援助は従来通りの介護でやっていきます。(問18) 昨年緊急入院から退院出来て、介護サービスを利用後1年以上経過し、認定が1ランク良くなりましたので…②を選択します。
- ・訪問看護を利用しているのですが、先生にすすめられたので肺炎球菌予防接種を申し込んだのですが、藤沢の先生なので、綾瀬の方は手続が4～5回あるそうだと説明を受け、やめてしまいました。もっと簡単に出来ないでしょうか？
- ・2、3カ月に1度で良いので、皆集まってお茶しながら顔見知りになり、雑談でも出来たら楽しいかなと思います。
- ・現在●●の施設にお世話になっています。バスで送り迎えをしていただき助かっています。但し、入所方々の度合いが人によりだいぶ異なるようなので、本人がもう少し同程度の人と一緒にとうれしいと申しております。(年齢ではなく、ぼけ具合等似た方)。隣同志話が合わない方が多いそうです。(例)無口な方、本ばかり読んでいる方等。
- ・97才で多少に認知があり、寝ている事が多くなっています。老健でお世話になっておりますが、大変ありがたく思っています。色々としからの援助もありますので、今のところ特に要望はありません。
- ・私(介護者・妻)は70才代で、夫の(主にパーキンソン病)の介護をしています。父母を東京まで介護に通いました。当然のことと思っております。4年前に妹を1年前に兄を病気で亡くしました。それにも係りました。今は夫の介護で一日のほとんどの時間使っています。今までは夫がしていた事(灯油を買ったり、植木、車検など)全部私一人で行なっています。誰も代わってくれる人がいないので当り前のことです。4月から介護保険を利用することになり、やっと自分の身体を考える時間が取れました。介護をしている人は誰でもそうと思いますが、自分のことは後まわしです。別に不満には思っておりません。現実ですから。
- ・脳出血の後遺症による体のマヒ、統合失調症(障害者2級ランク)の症状対応あり。要介護1の認定は続けてもらいたい。介護者(夫)現在67才であり、今後は老々介護が見込まれる。
- ・ケアマネさんのこまかな心配りで大変たすかっております。1つショートステイの入所期間の柔軟な対応をしていただければと思います。比較的綾瀬市の介護は良いときいています。いつもありがとうございます。
- ・現在介護者が元気なので、すべて自分達で行えている。介護者の体調の継続を願っている。
- ・今のところ週に1回のヘルパーで事足りているようです。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

⑤アンケート調査

- ・アンケート項目に多少重複している気がするものがあります。問17の日中、夜間の排泄は1つにまとめても良いのではないのでしょうか？設問項目の十分な検討を願います。
- ・現在デイサービス申請中。母は介護を必要としていないので、このアンケートの質問は意味不明で回答が出来ない！！

V 居所変更実態調査

V 居所変更実態調査

1 回答事業所の属性

(1) サービス種別

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

23事業所からの回答があり、その内訳は、「特定施設」が5件、「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」が4件、「グループホーム」が4件、「特別養護老人ホーム」が3件、「住宅型有料老人ホーム」、「軽費老人ホーム（特定施設除く）」が2件、「老人保健施設」が1件となっています。

種別	件数
特定施設	5
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	4
グループホーム	4
特別養護老人ホーム	3
住宅型有料老人ホーム	2
軽費老人ホーム（特定施設除く）	2
老人保健施設	1
無回答	2

(2) 施設の概要

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

23事業所のうち記入のあった21事業所の概要を下記に示します。待機者数は「特別養護老人ホーム」の177人が最も多くなっています。「特別養護老人ホーム」の待機者数は、「介護老人保健施設」で3人、「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」「住宅型有料老人ホーム」で2人、「グループホーム」「特定施設」で1人の施設があります。

No	種別	定員	入所・入居者数	待機者数	特養の待機者数
1	特別養護老人ホームA	90人	82人	95人	0人
2	特別養護老人ホームB	58人	55人	177人	—
3	特別養護老人ホームC	90人	89人	55人	—
4	介護老人保健施設	87人	81人	2人	3人
5	グループホームA	18人	17人	3人	1人
6	グループホームB	18人	18人	3人	—
7	グループホームC	18人	17人	0人	1人
8	グループホームD	18人	18人	0人	0人
9	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）A	34戸	34人	0人	0人
10	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）B	40戸	34人	0人	2人
11	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）C	52戸	51人	0人	—
12	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）D	45室	47人	0人	0人
13	軽費老人ホーム（特定施設除く）A	30人	27人	0人	0人
14	軽費老人ホーム（特定施設除く）B	15人	10人	2人	—
15	特定施設A	78室	73人	0人	1人
16	特定施設B	55人	53人	8人	—
17	特定施設C	72室	71人	5人	0人
18	特定施設D	91室	83人	0人	—
19	特定施設E	56室	56人	3人	0人
20	住宅型有料老人ホームA	30室	29人	2人	2人
21	住宅型有料老人ホームB	35室	33人	0人	0人
22	無回答A	135人	68人	0人	0人
23	無回答B	—	—	—	—

(3) 入所・入居者の要支援・要介護度

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。
(数値を記入)

全体では、「要介護4」が208人と最も多く、次いで「要介護3」が195人、「要介護5」が170人と続いています。

種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中 不明	合計
住宅型有料老人ホーム	0	3	3	19	15	10	8	4	0	62
軽費老人ホーム	1	5	7	10	4	1	0	0	9	37
サービス付き高齢者向け住宅	5	3	2	34	31	22	23	12	0	132
グループホーム	0	0	1	25	11	17	9	4	4	71
特定施設	0	9	8	70	55	58	79	55	1	335
介護老人保健施設	-	-	-	4	15	24	18	20	-	81
特別養護老人ホーム	0	0	0	4	8	63	71	75	4	225
全体	6	20	21	166	139	195	208	170	18	943

(4) 医療処置

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

医療処置を受けている人の人数は、「特定施設」が145人、「特別養護老人ホーム」が39人となっています。

	住宅型有料 老人ホーム	軽費老人 ホーム	サ高住	グループ ホーム	特定施設	特別養護 老人ホーム	無回答
点滴の管理	0	0	0	0	31	0	0
中心静脈栄養	0	0	0	0	1	0	0
透析	0	0	0	0	2	0	0
ストーマの処置	0	0	1	1	1	5	0
酸素療法	0	0	6	0	12	1	2
レスピレーター	0	0	0	0	1	0	0
気管切開の処置	0	0	0	0	1	1	0
疼痛の看護	0	0	0	0	20	0	0
経管栄養	0	0	2	0	13	11	0
モニター測定	0	0	0	0	0	0	0
褥瘡の処置	1	0	0	0	18	8	0
カテーテル	0	0	1	0	26	10	2
喀痰吸引	0	0	0	0	11	0	0
インスリン注射	1	0	0	0	8	3	0
合計	2	0	10	1	145	39	4

(5) 地域内の居所移動の実態

問5～問9 ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者、退去者についてお伺いします。

「住宅型有料老人ホーム」は、「新規入居」が10人で、このうち5人が「住宅型有料老人ホーム」、2人が「サービス付き高齢者向け住宅」からの入居となっています。「退去」については、「居所変更」が13人で、このうち6人が「地域密着型特定施設」、3人が「グループホーム」、2人が「軽費老人ホーム」となっています。

「軽費老人ホーム」は、「新規入居」が4人で、このうち2人が「自宅」、1人が「グループホーム」からの入居となっています。「退去」については、「居所変更」が6人、「死亡」が2人となっています。「居所変更」の行き先は、「住宅型有料老人ホーム」「軽費老人ホーム」「グループホーム」「特定施設」「介護老人保健施設」「療養型・介護医療院」のそれぞれ1人となっています。

「サービス付き高齢者向け住宅」は、「新規入居」が77人で、このうち46人が「住宅型有料老人ホーム」、13人が「自宅」、8人が「サービス付き高齢者向け住宅」からの入居となっています。

「退去」については、「居所変更」が13人、「死亡」が18人となっています。「居所変更」の行き先は、4人が「地域密着型特定施設」、「住宅型有料老人ホーム」「介護老人保健施設」のそれぞれ3人、2人が「療養型・介護医療院」、1人が「把握していない」となっています。

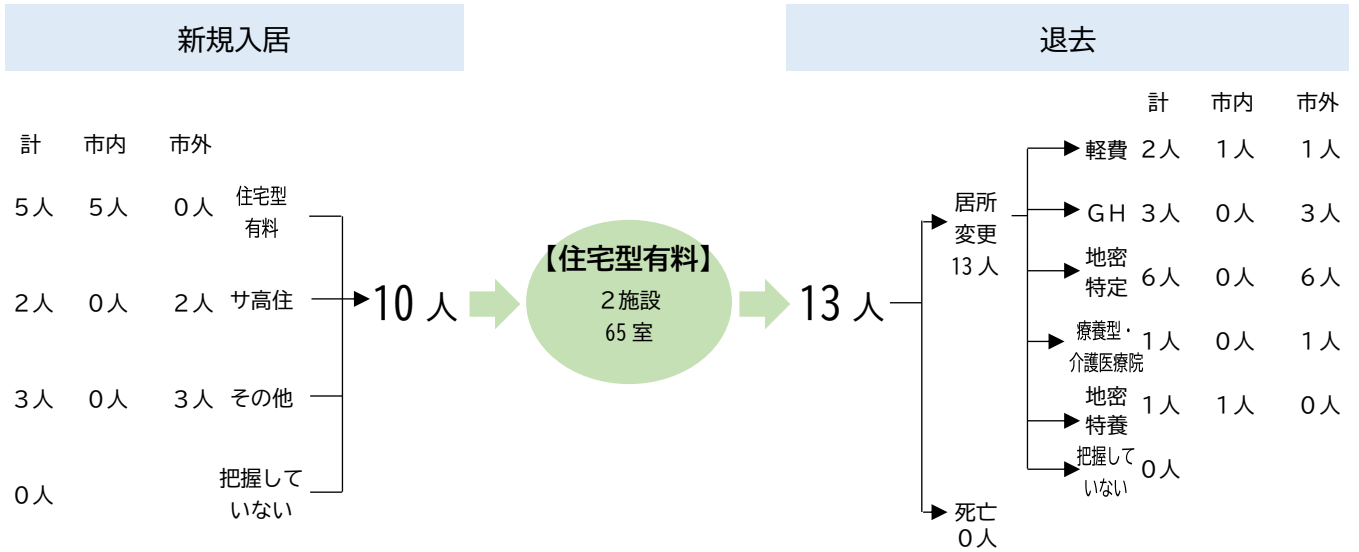
「グループホーム」は、「新規入居」が16人で、このうち9人が「自宅」、3人が「地域密着型特別養護老人ホーム」となっており、「住宅型有料老人ホーム」「軽費老人ホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」からの入居、「把握していない」がそれぞれ1人となっています。「退去」については、「居所変更」が5人、「死亡」が10人となっています。「居所変更」の行き先は、2人が「住宅型有料老人ホーム」、「特定施設」「地域密着型特定施設」「療養型・介護医療院」のそれぞれ1人となっています。

「特定施設」は、「新規入居」が108人で、このうち54人が「住宅型有料老人ホーム」、33人が「自宅」、8人が「サービス付き高齢者向け住宅」からの入居となっています。「退去」については、「居所変更」が30人、「死亡」が78人となっています。「居所変更」の行き先は、10人が「地域密着型特定施設」、7人が「グループホーム」、「特定施設」「地域密着型特別養護老人ホーム」のそれぞれ3人となっています。

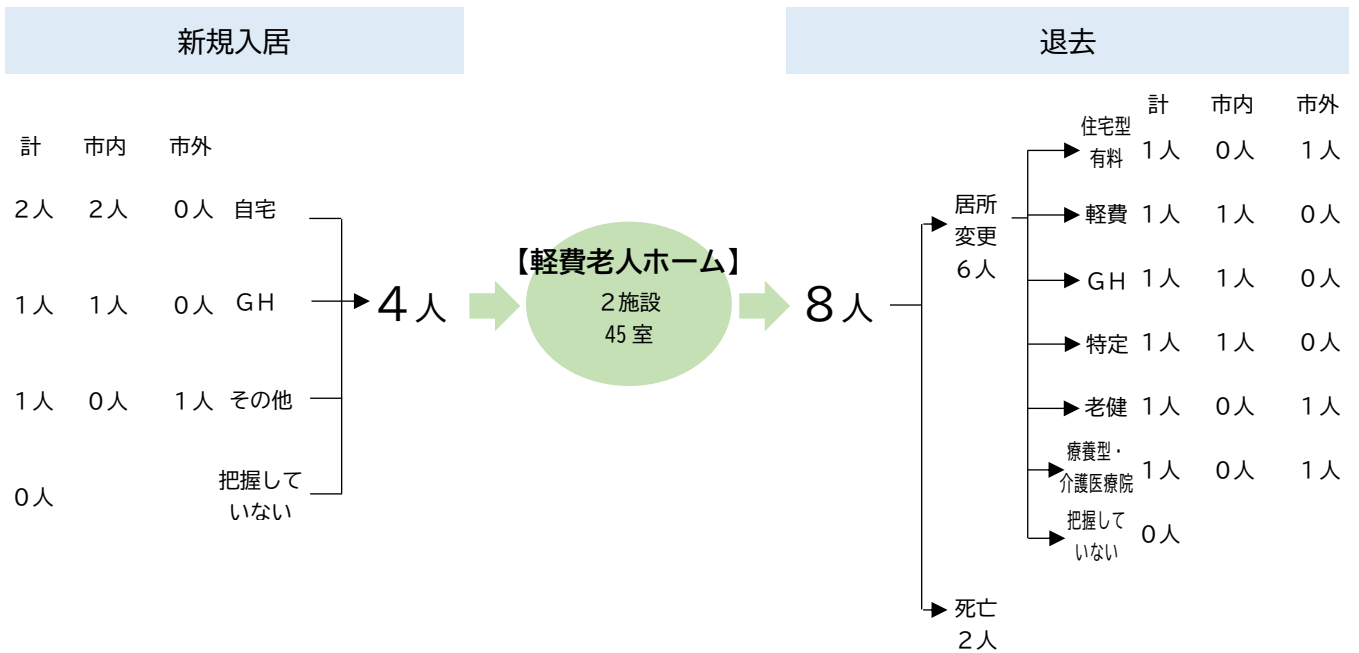
「介護老人保健施設」は、「新規入居」が90人で、このうち50人が「地域密着型特別養護老人ホーム」、20人が「自宅」、6人が「住宅型有料老人ホーム」からの入居となっています。「退去」については、「居所変更」が89人、「死亡」が5人となっています。「居所変更」の行き先は、33人が「自宅」、26人が「地域密着型特別養護老人ホーム」、21人が「介護老人保健施設」となっています。

「特別養護老人ホーム」は、「新規入居」が68人で、このうち42人が「自宅」、13人が「軽費老人ホーム」、4人が「サービス付き高齢者向け住宅」からの入居となっています。「退去」については、「居所変更」が30人、「死亡」が15人となっています。「居所変更」の行き先は、11人が「サービス付き高齢者向け住宅」、7人が「特別養護老人ホーム」、「住宅型有料老人ホーム」「グループホーム」がそれぞれ5人となっています。

過去1年間の住宅型有料老人ホームの入居及び退居の流れ

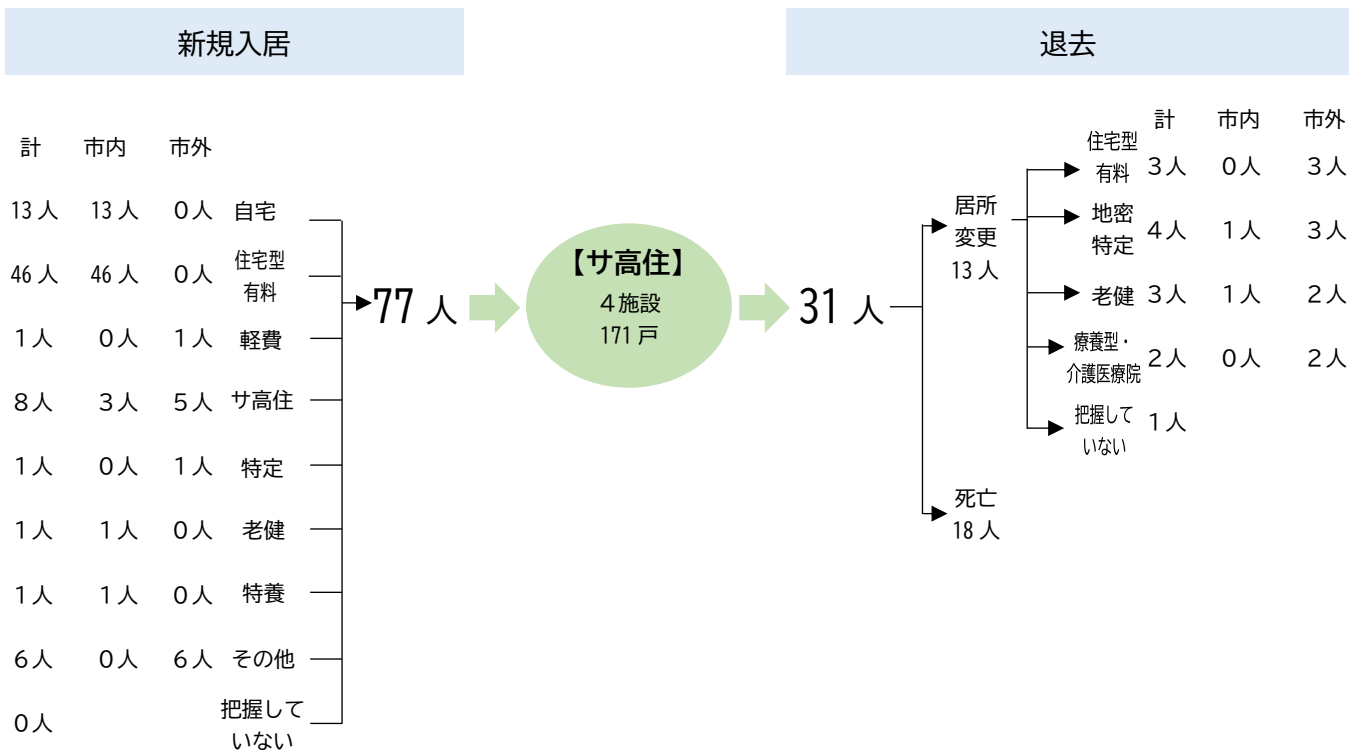


過去1年間の軽費老人ホームの入居及び退居の流れ

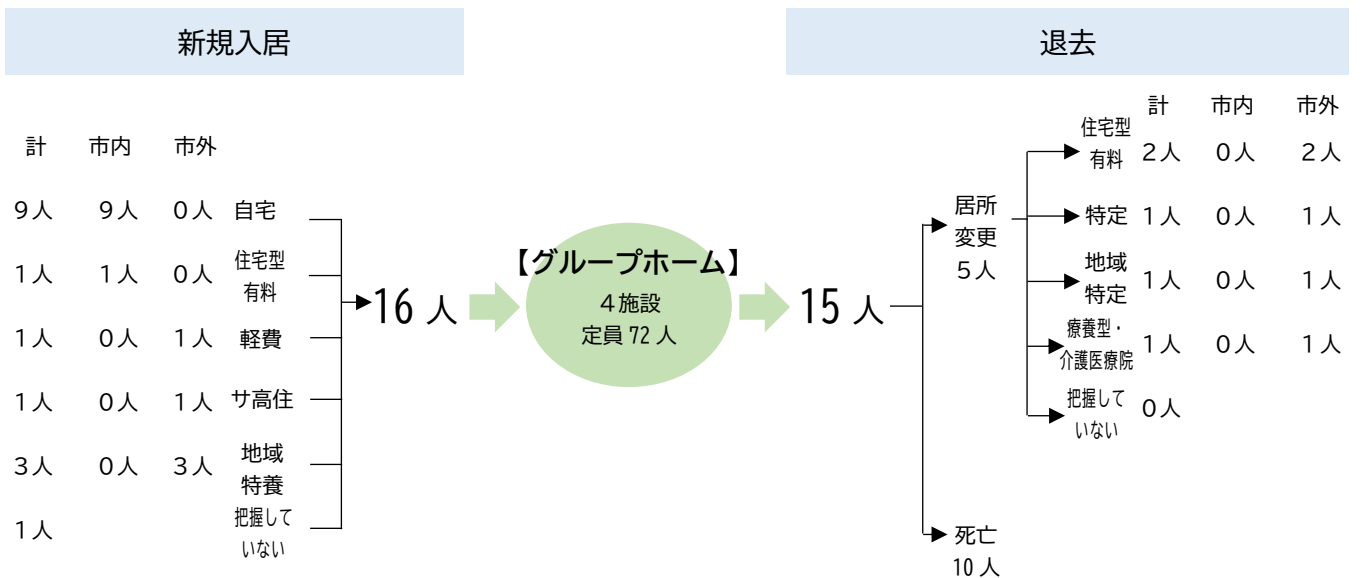


※住宅型有料：住宅型有料老人ホーム、軽費：軽費老人ホーム、
サ高住：サービス付き高齢者向け住宅、GH：グループホーム、特定：特定施設、
地密特定：地域密着型特定施設、老健：介護老人保健施設、
特養：特別養護老人ホーム、地密特養：地域密着型特別養護老人ホーム

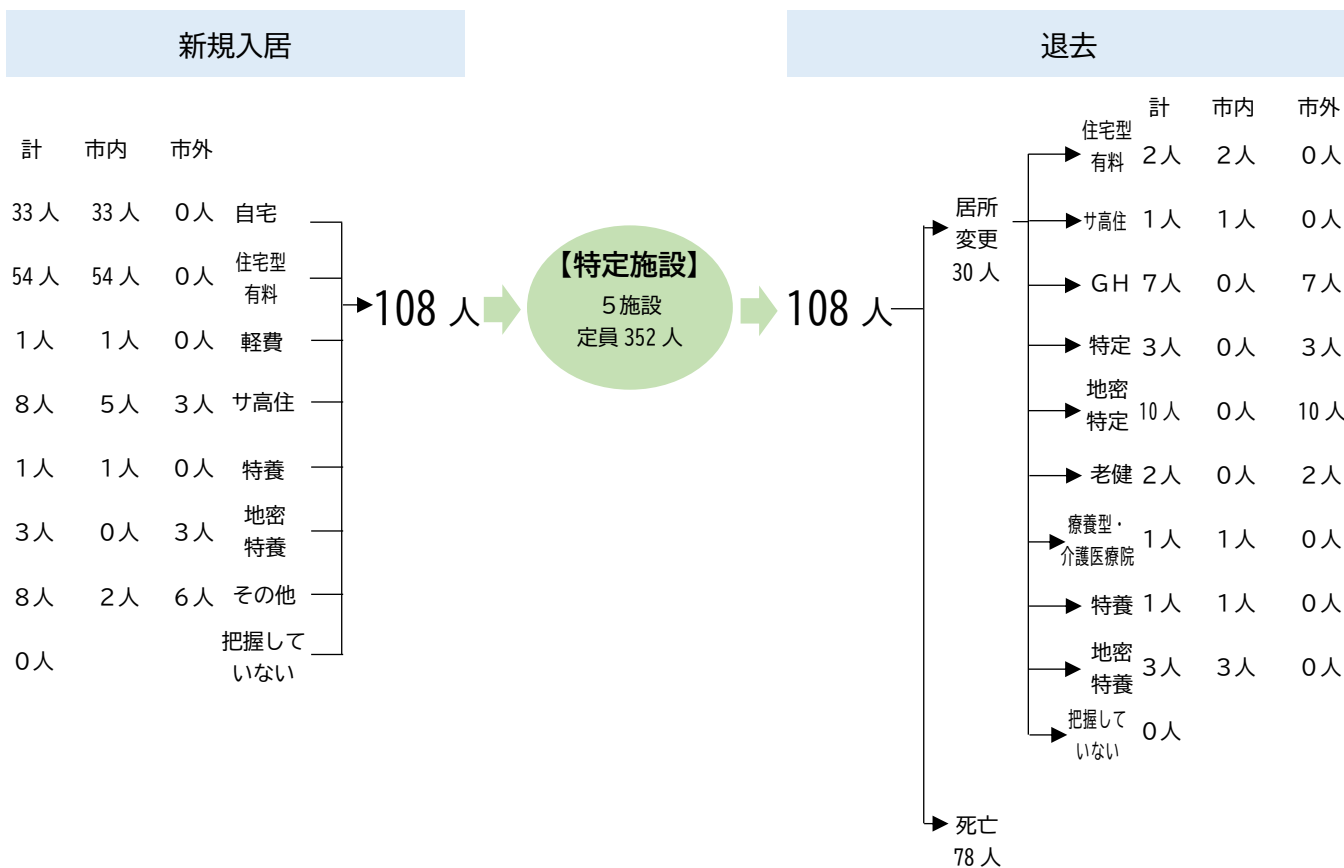
過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ



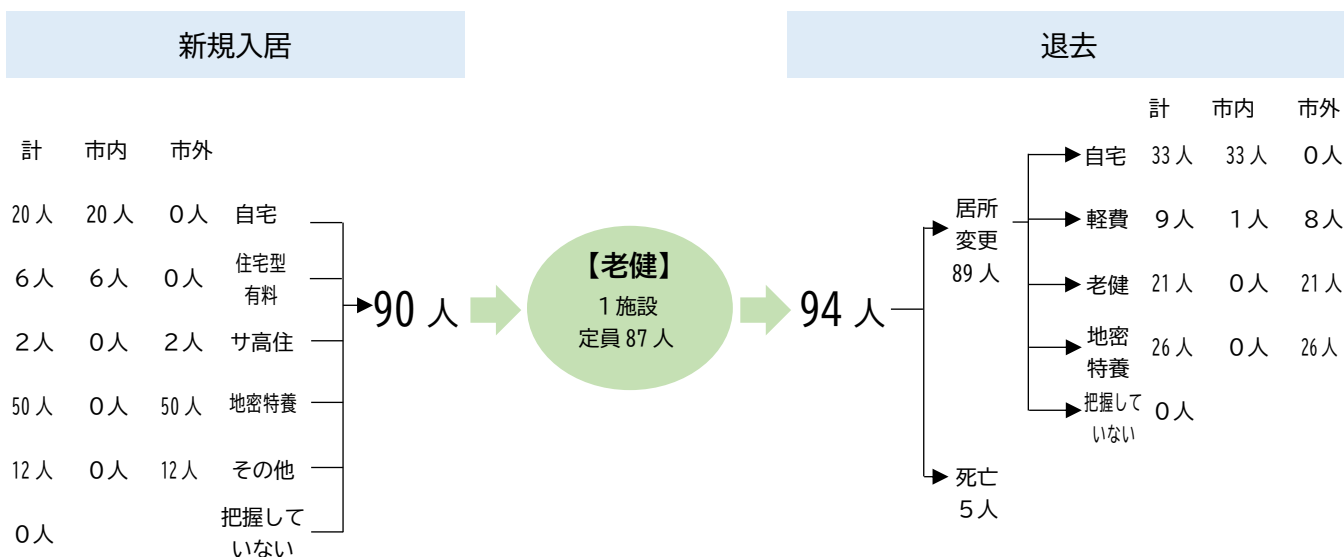
過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ



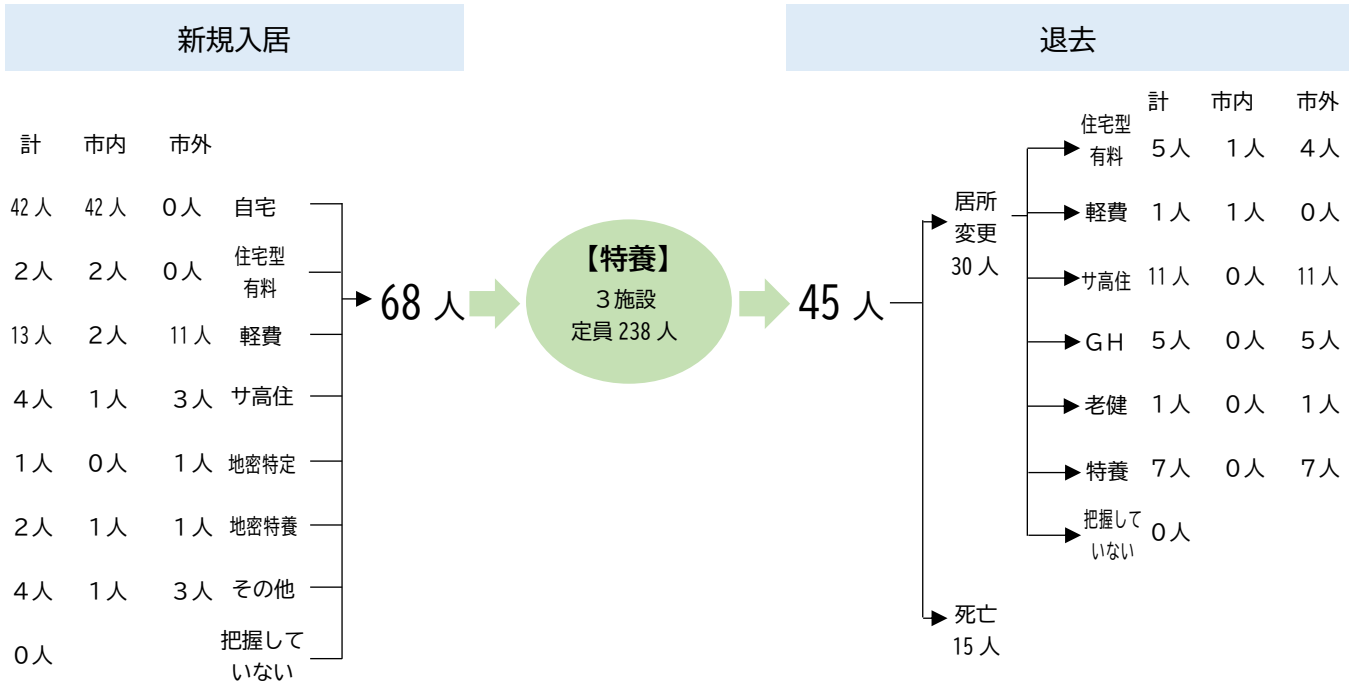
過去1年間の特定施設の入所及び退所の流れ



過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ



過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



(6) 退去者の要介護度

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

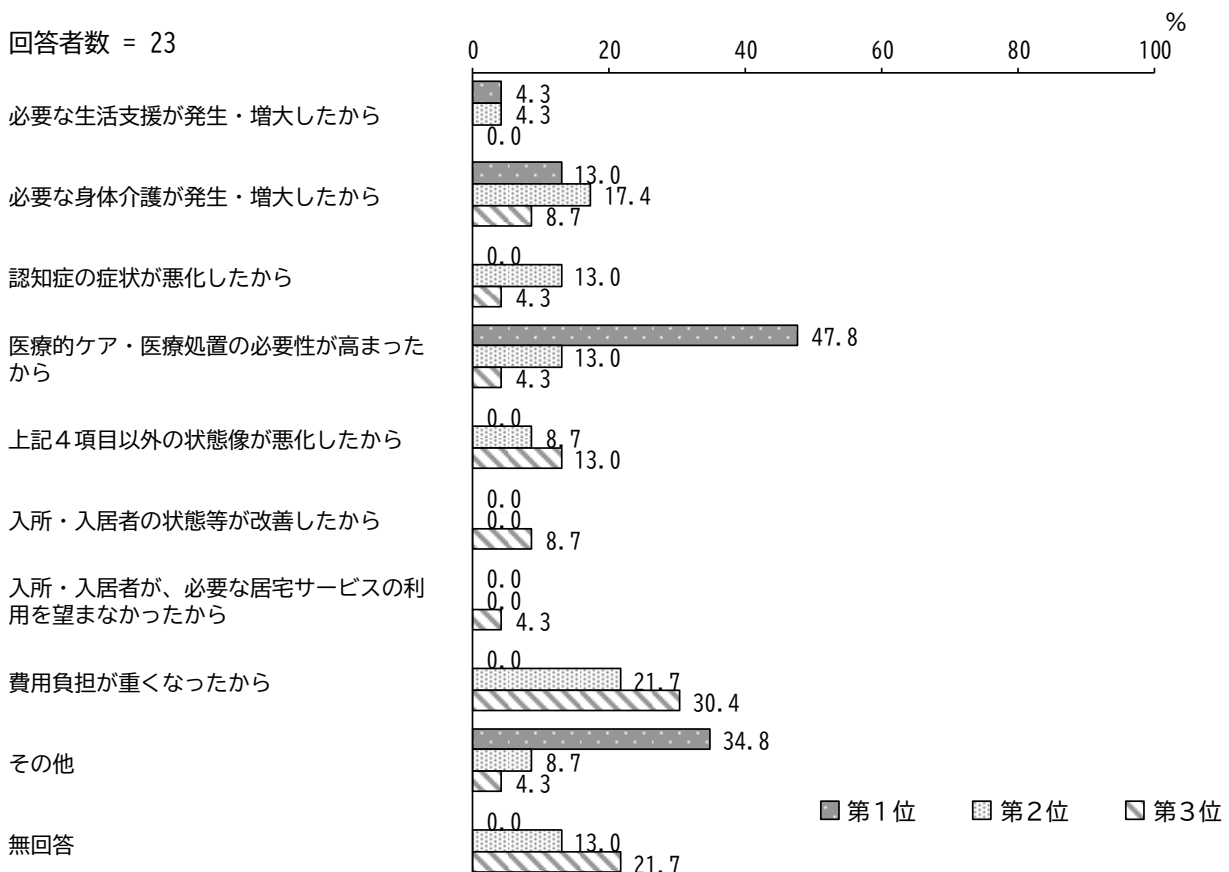
全体では、「死亡」が101人と最も多く、次いで「要介護4」が70人、「要介護5」が69人、「要介護3」が68人と続いています。

種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	新規申請中	死亡	合計
住宅型有料老人ホーム	0人	0人	2人	1人	2人	6人	2人	0人	0人	0人	13人
軽費老人ホーム(特定施設除く)	1人	0人	1人	0人	2人	1人	1人	0人	0人	2人	8人
サービス付き高齢者向け住宅	1人	1人	0人	1人	4人	6人	4人	10人	0人	24人	51人
グループホーム	0人	0人	0人	1人	0人	4人	1人	3人	0人	6人	15人
特定施設	0人	0人	1人	7人	5人	11人	21人	17人	0人	49人	111人
介護老人保健施設	0人	0人	0人	7人	12人	34人	16人	20人	0人	5人	94人
特別養護老人ホーム	0人	0人	0人	0人	2人	6人	25人	19人	1人	15人	68人
全体	2人	1人	4人	17人	27人	68人	70人	69人	1人	101人	360人

(7) 退去の理由

問10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください。

入所・入居者の退去の理由については、第1位では「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が47.8%と最も高くなっています。第2位、第3位では「費用負担が重くなったから」の割合が最も高くなっています。



2 意見・要望

- ・問10に関しましては、人生の最期までお世話させていただいており、重大な体調不良による病院への入院、また、当施設でのお看取り等の退居がほとんどです。皆様が穏やかに末ながく●●●でお暮らしいただけるよう、ご支援よろしく願いいたします。

VI 介護人材実態調査

VI 介護人材実態調査

1 回答者の属性

(1) 事業所数・職員数

問 該当するサービス種別（介護予防を含む）をご回答ください。

問 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

【施設系・通所系事業所 問1・問2-1、訪問系事業所 問1・問2-1】

介護人材実態調査の調査票へ回答した事業所・職員について、サービス種別ごとに回答数を見ると、以下の表になります。

事業所・サービス種別		回答事業所数	在籍職員数
訪問系事業所	訪問系サービス	5件	64人
	小規模多機能型居宅介護	1件	6人
施設系・通所系事業所	施設・居住系サービス	21件	429人
	通所系サービス	12件	143人
	無回答	7件	109人
合計		46件	751人

※事業所・サービス種別が無回答の事業所につきまして、集計の都合上、結果から省いている場合があります。

(2) 事業所の開設時期

問 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

【施設系・通所系事業所 問2-2、訪問系事業所 問2-2】

事業所の開設時期についてみると、全体では「2010年代」が23件と最も高く、全ての訪問系事業所は2000年代以降に開設しています。

	訪問系事業所		施設系・通所系事業所		合計
	訪問系サービス	小規模多機能型居宅介護	施設・居住系サービス	通所系サービス	
1989年以前	0件	0件	1件	1件	2件
1990年代	0件	0件	5件	1件	6件
2000年代	1件	0件	2件	2件	5件
2010年代	3件	1件	12件	7件	23件
2020年代	1件	0件	1件	1件	3件
合計	5件	1件	21件	12件	39件

(3) 職員の性別

問 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。

【施設系・通所系事業所 問2-3、訪問系事業所 問2-3】

職員の性別についてみると、全体で「男性」が27.3%、「女性」が72.7%となっています。サービス系統別にみると、いずれのサービスも「男性」より「女性」の割合が高くなっています。

	訪問系事業所				施設系・通所系事業所				合計	
	訪問系サービス		小規模多機能型 居宅介護		施設・居住系 サービス		通所系サービス			
男性	8人	12.5%	1人	16.7%	140人	32.6%	26人	18.2%	175人	27.3%
女性	56人	87.5%	5人	83.3%	289人	67.4%	117人	81.8%	467人	72.7%
合計	64人	100.0%	6人	100.0%	429人	100.0%	143人	100.0%	642人	100.0%

(4) 職員の年齢

問 前問の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

【施設系・通所系事業所 問2-4、訪問系事業所 問2-4】

職員の年齢についてみると、全体で「50歳代」が28.7%と最も高く、次いで「40歳代」が22.0%、「60歳代」が15.0%と続いています。

サービス系統別でみると、いずれのサービスも「50歳代」「40歳代」の割合が高くなっている一方、「20歳未満」は施設・居住系サービスの6人のみとなっています。

	訪問系事業所				施設系・通所系事業所				合計	
	訪問系サービス		小規模多機能型 居宅介護		施設・居住系 サービス		通所系サービス			
70歳以上	4人	6.3%	0人	0.0%	21人	4.9%	11人	7.7%	36件	5.6%
60歳代	18人	28.1%	0人	0.0%	52人	12.1%	26人	18.2%	96件	15.0%
50歳代	16人	25.0%	4人	66.7%	120人	28.0%	44人	30.8%	184件	28.7%
40歳代	12人	18.8%	2人	33.3%	94人	21.9%	33人	23.1%	141件	22.0%
30歳代	12人	18.8%	0人	0.0%	65人	15.2%	17人	11.9%	94件	14.6%
20歳代	1人	1.6%	0人	0.0%	71人	16.6%	12人	8.4%	84件	13.1%
20歳未満	0人	0.0%	0人	0.0%	6人	1.4%	0人	0.0%	6件	0.9%
無回答	1人	1.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1件	0.2%
合計	64人	100.0%	6人	100.0%	429人	100.0%	143人	100.0%	642件	100.0%

2 介護職員の勤務状況

(1) 資格保有状況

問 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(1つに○)

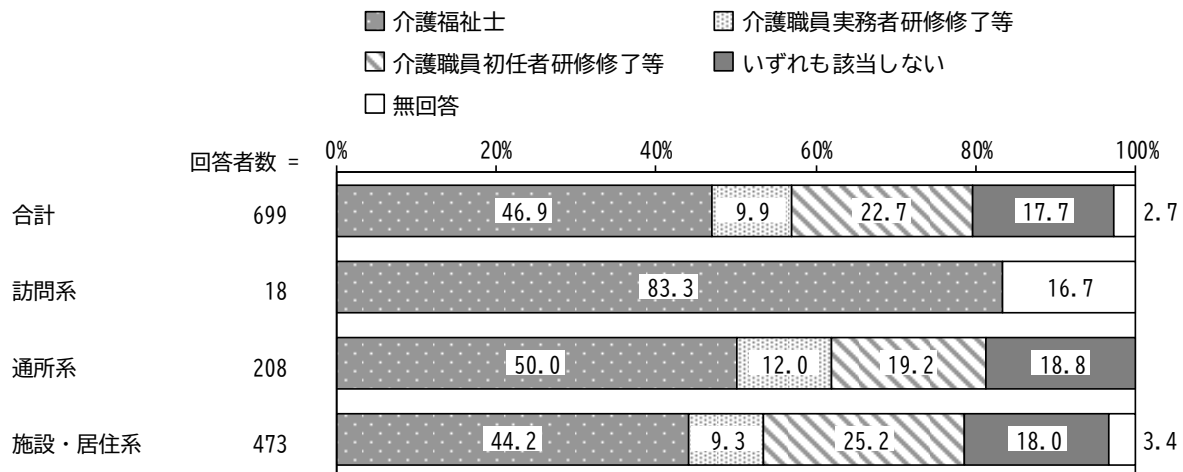
【施設系・通所系事業所 問3、訪問系職員 問2】

介護職員の資格保有状況についてみると、「介護福祉士」が46.9%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了等」が22.7%、「介護職員実務者研修修了等」が9.9%となっており、「いずれも該当しない」は17.7%となっています。

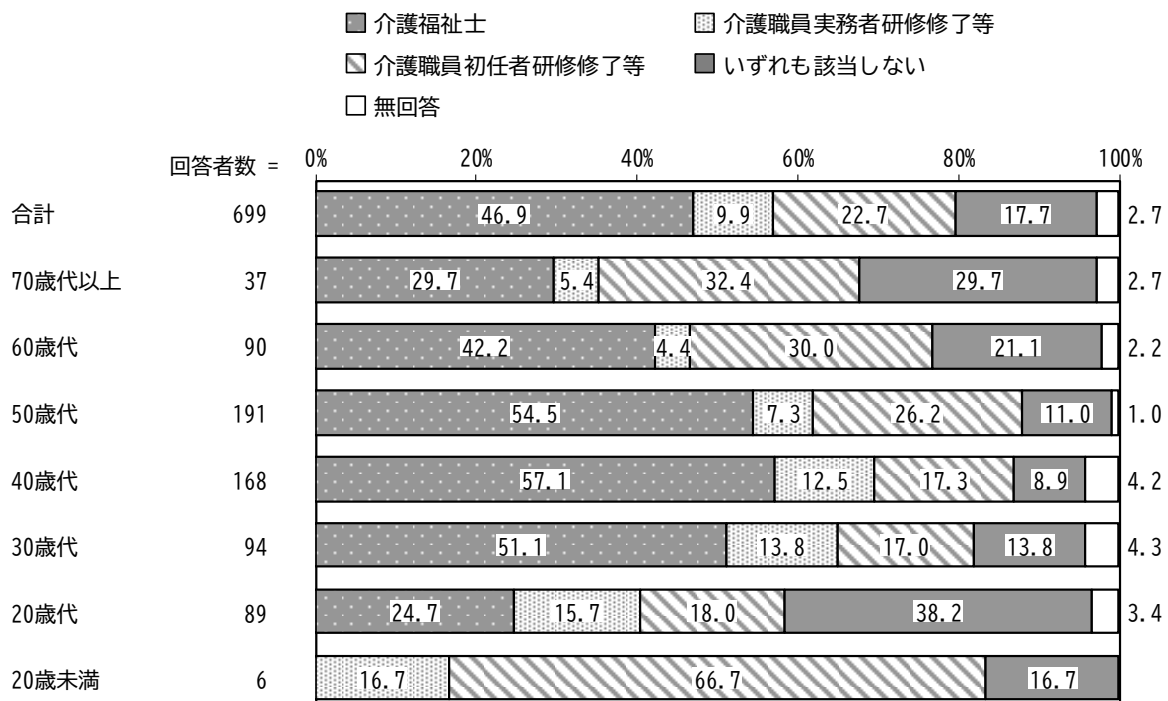
サービス系統別にみると「介護福祉士」の割合は、訪問系では83.3%、通所系では50.0%、施設・居住系では44.2%となっています。

年齢別にみると、20歳代では「いずれも該当しない」が38.2%と他年代と比べ高くなっています。また、60歳代以降では「介護福祉士」の割合が減少しています。

【サービス系統別】



【年齢別】



(2) 雇用形態

問 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

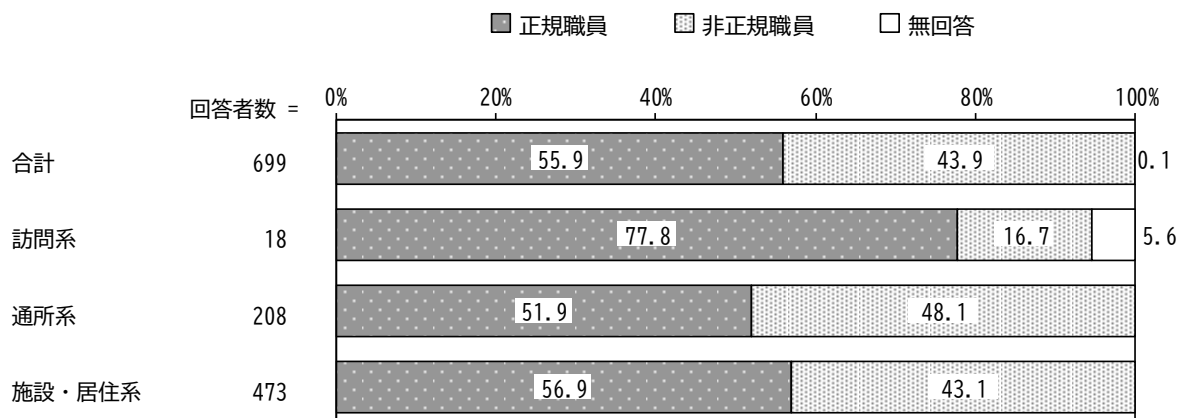
【施設系・通所系事業所 問3、訪問系職員 問3】

介護職員の雇用形態についてみると、「正規職員」が55.9%、「非正規職員」が43.9%となっています。

サービス系統別にみると、「正規職員」の割合は、訪問系で77.8%と最も高く、次いで通所系が施設・居住系で56.9%、通所系が51.9%となっています。

性別・年齢別にみると、「非正規職員」が「正規職員」に比べ、男女ともに50歳代以上で5割を超えています。

【サービス系統別】



【性・年齢別（全サービス系統合計）】

		20代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	正規職員	2	39	30	33	31	5	3	143
	非正規職員	0	4	8	9	11	11	7	50
女性	正規職員	4	23	31	65	90	25	5	243
	非正規職員	0	24	34	69	74	61	26	288
合計		6	90	103	176	206	102	41	724

【性・年齢別（訪問系）】

		20代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	正規職員	2	39	26	32	31	5	3	138
	非正規職員	0	4	6	9	10	10	7	46
女性	正規職員	4	23	28	63	82	23	5	228
	非正規職員	0	23	31	58	63	49	21	245
合計		6	89	91	162	186	87	36	657

【性・年齢別（通所系）】

		20代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	正規職員	0	2	2	4	3	1	1	13
	非正規職員	0	1	0	0	3	3	6	13
女性	正規職員	0	2	5	13	13	4	2	39
	非正規職員	0	7	10	16	25	18	2	78
合計		0	12	17	33	44	26	11	143

【性・年齢別（施設・居住系）】

		20代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	正規職員	2	33	23	24	26	4	2	114
	非正規職員	0	3	6	7	5	5	0	26
女性	正規職員	4	20	20	31	58	17	3	153
	非正規職員	0	15	16	32	31	26	16	136
合計		6	71	65	94	120	52	21	429

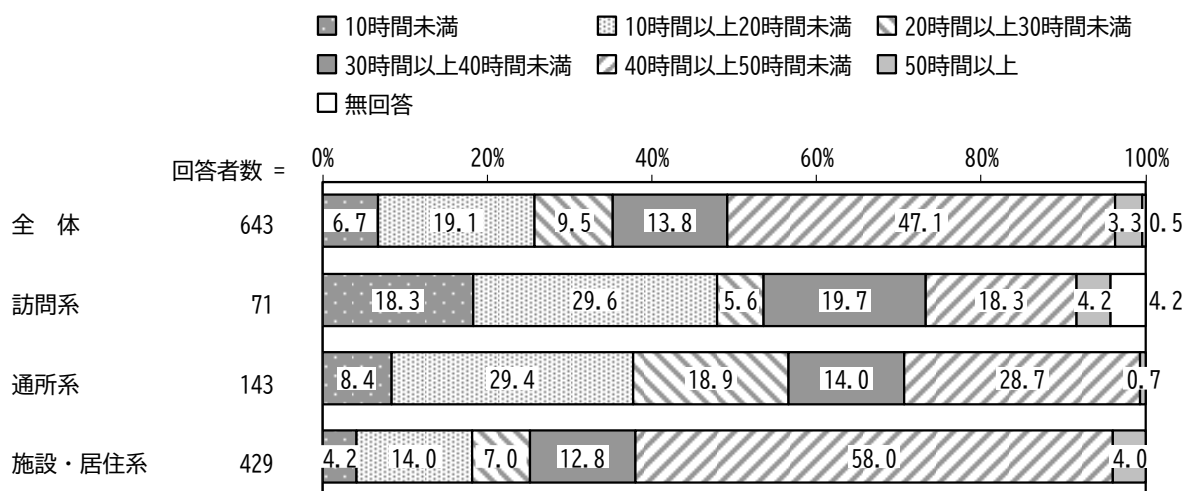
(3) 勤務時間

問 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

【施設系・通所系事業所 問3、訪問系職員 問3】

介護職員の1週間の勤務時間についてみると、「40時間以上50時間未満」が47.1%と最も高く、次いで「10時間以上20時間未満」の割合が19.1%、「30時間以上40時間未満」の割合が13.8%となっています。

サービス系統別にみると、訪問系では「10時間未満」の割合が高くなっている一方、施設・居住系で「40時間以上50時間未満」の割合が高くなっています。



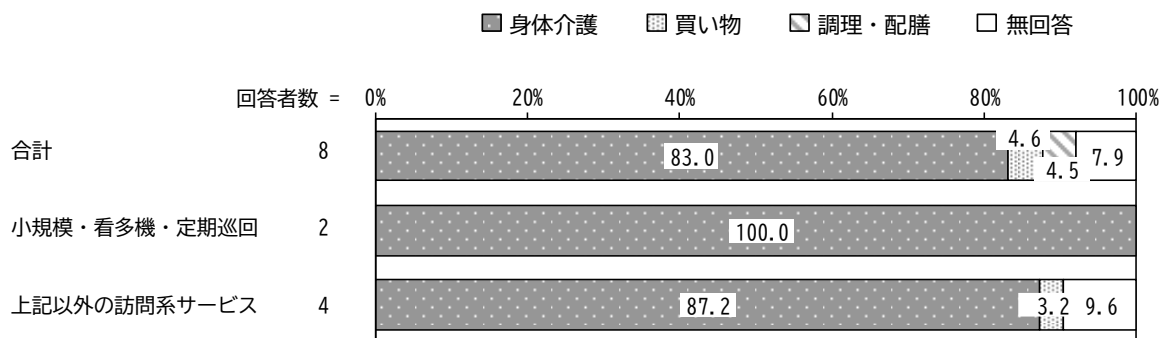
(4) 訪問介護サービス提供状況

問 「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください。

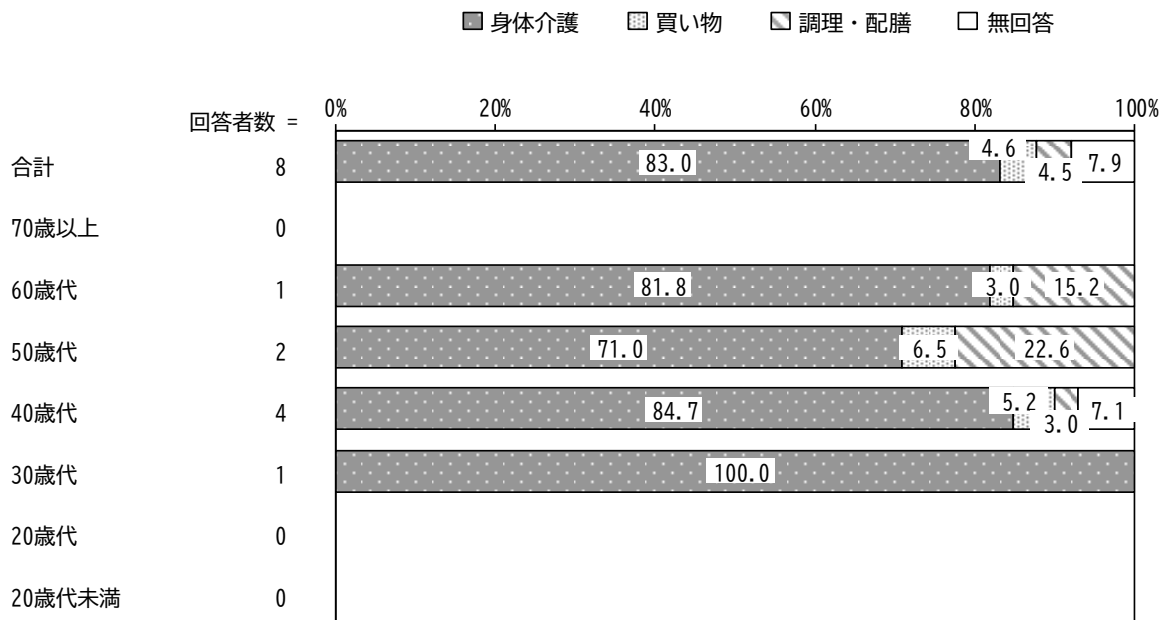
【訪問系職員 問6】

①訪問介護サービス提供時間の内訳

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳をみると、「身体介護」の割合が83.0%と最も高くなっています。また、「買い物」は4.6%、「調理・配膳」は4.5%となっています。

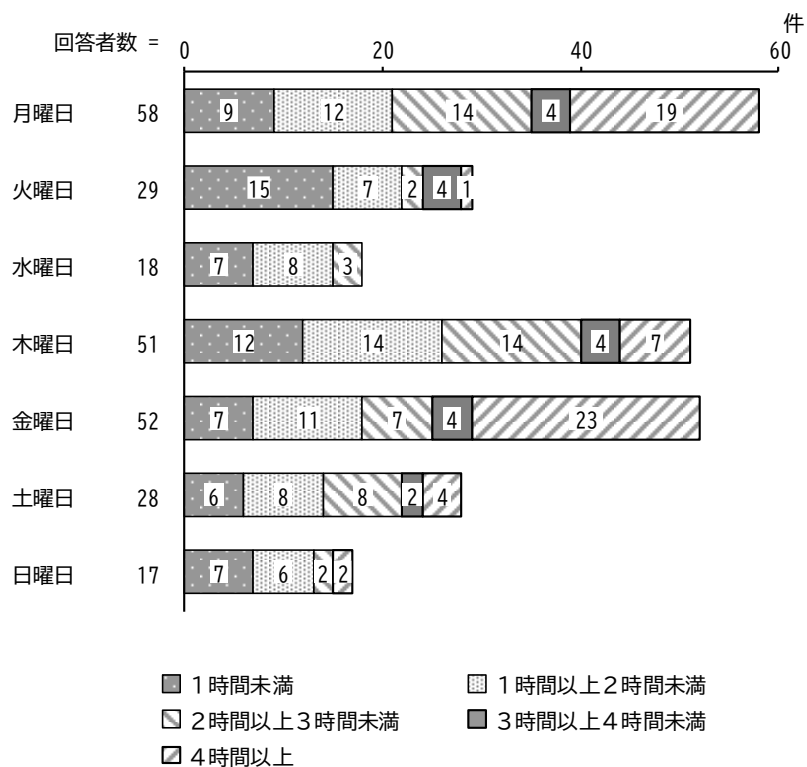


【年齢別】



②曜日別の訪問介護サービス提供状況

曜日別に訪問介護サービスを行った件数と時間についてみると、月曜日から金曜日までにサービス提供を行った件数は、月曜日、木曜日、金曜日では50件を超えています。



3 介護職員の流入

(1) 勤務年数

問 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

【施設系・通所系事業所 問3、訪問系職員 問3】

介護職員の勤務年数についてみると、全体では「1年以上」が75.5%、「1年未満」が24.3%となっています。

サービス系統別にみると、施設系・通所系事業所では、「1年未満」の割合が施設・居住系サービス、通所系サービスともに20%を超えています。

	訪問系事業所				施設系・通所系事業所				合計	
	訪問系サービス		小規模多機能型 居宅介護		施設・居住系 サービス		通所系サービス			
1年以上	53人	82.8%	5人	83.3%	316人	73.7%	111人	77.6%	485人	75.5%
1年未満	10人	15.6%	1人	16.7%	113人	26.3%	32人	22.4%	156人	24.3%
無回答	1人	1.6%	-	-	-	-	-	-	1人	0.2%
合計	64人	100.0%	6人	100.0%	429人	100.0%	143人	100.0%	642人	100.0%

問 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

【施設系・通所系事業所 問2-3、訪問系事業所 問2-3】

(2) 採用者数・離職者数

過去1年間の介護職員の採用者と離職者についてみると、全体では採用者数が210人、離職者数が164人となっています。

	採用者	離職者
	数(人)	数(人)
施設・居住系	142	118
通所系	38	22
訪問系	30	24
合計	210	164

(3) 採用者の直前の職場

問 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

【施設系・通所系事業所 問3、訪問系職員 問4】

勤務1年未満の介護職員の直前の職場の種類についてみると、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」といった施設・居住系で働いていた37人が異なる「施設・居住系」へ職場を変え、「現在の職場が初めての勤務先」「介護以外の職場」といった、介護職員として初めて働く60人が「施設・居住系」で採用されており、「施設・居住系」への流入が高くなっています。一方で、現在の職場が初めての勤務先の方は「訪問系」で1人も採用されておらず、他サービス系統からも流入が少なくなっています。

勤務1年未満の介護職員の直前の職場の場所についてみると、全体で同一市区町村が14人、他市区町村が52人と他市区町村からの流入が高くなっています。

勤務1年未満	施設・居住系 (人)	通所系 (人)	訪問系 (人)	合計(人)
現在の職場が初めての勤務先	21	6	-	27
介護以外の職場	39	3	4	46
特養、老健、療養型・介護医療院、 ショートステイ、グループホーム、特定施設	37	4	1	42
訪問介護・入浴、夜間対応型	1	3	2	6
小多機、看多機、定期巡回サービス	1	1	-	2
通所介護、通所リハ、認知症デイ	3	7	1	11
住宅型有料、サ高住(特定施設以外)	3	1	-	4
その他の介護サービス	1	1	2	4
合計	106	26	10	142

	施設・居住系 (人)	通所系 (人)	訪問系 (人)	合計(人)
同一市区町村	9	3	2	14
他市区町村	36	13	3	52
合計	45	16	5	66

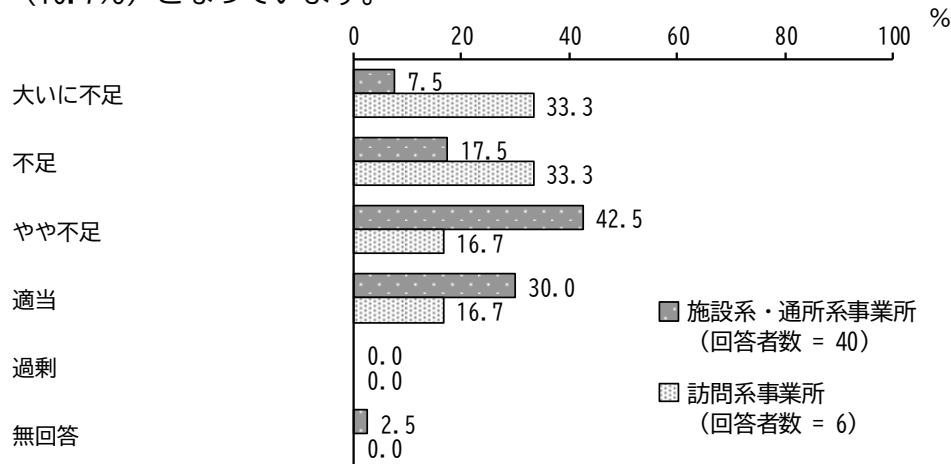
(4) 従業員の過不足状況

問 貴施設等の従業員の介護職員の過不足の状況について該当するものに○を付けてください。

【施設系・通所系事業所 問4、訪問系事業所 問3】

施設系・通所系事業所で「やや不足」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「適当」の割合が 30.0%、「不足」の割合が 17.5%となっています。

訪問系事業所で「大いに不足」、「不足」が 2 件 (33.3%) となっています。「やや不足」、「適当」が 1 件 (16.7%) となっています。

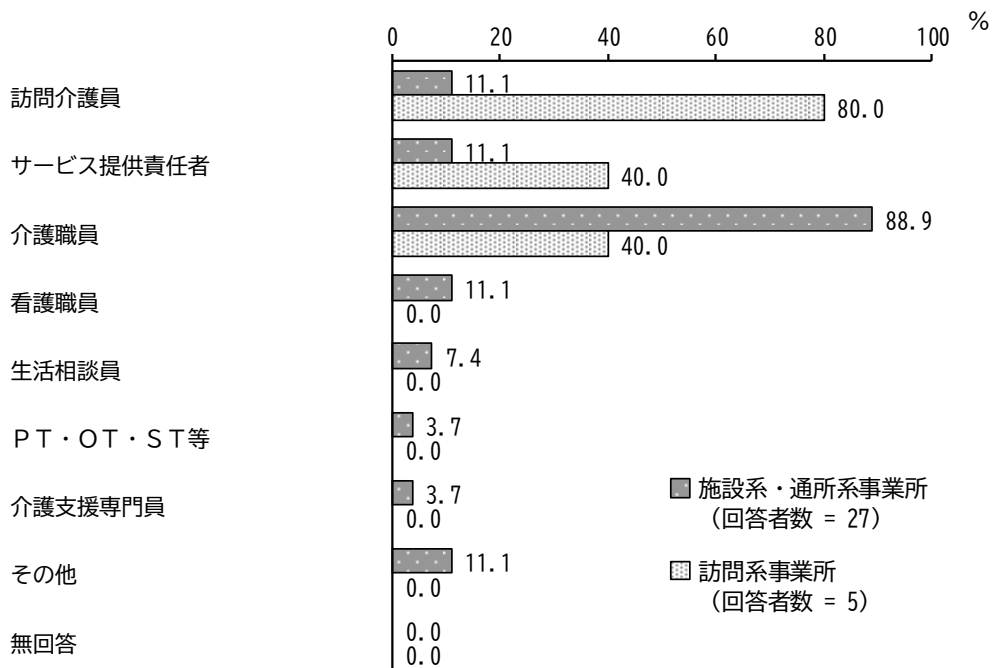


問 不足している職種に○を付けてください。(複数選択可)

【施設系・通所系事業所 問4-1、訪問系事業所 問3-1】

施設系・通所系事業所で「介護職員」の割合が 88.9%と最も高く、次いで「訪問介護員」、「サービス提供責任者」、「看護職員」の割合が 11.1%となっています。

訪問系事業所で「訪問介護員」が 4 件 (80.0%) となっています。「サービス提供責任者」、「介護職員」が 2 件 (40.0%) となっています。

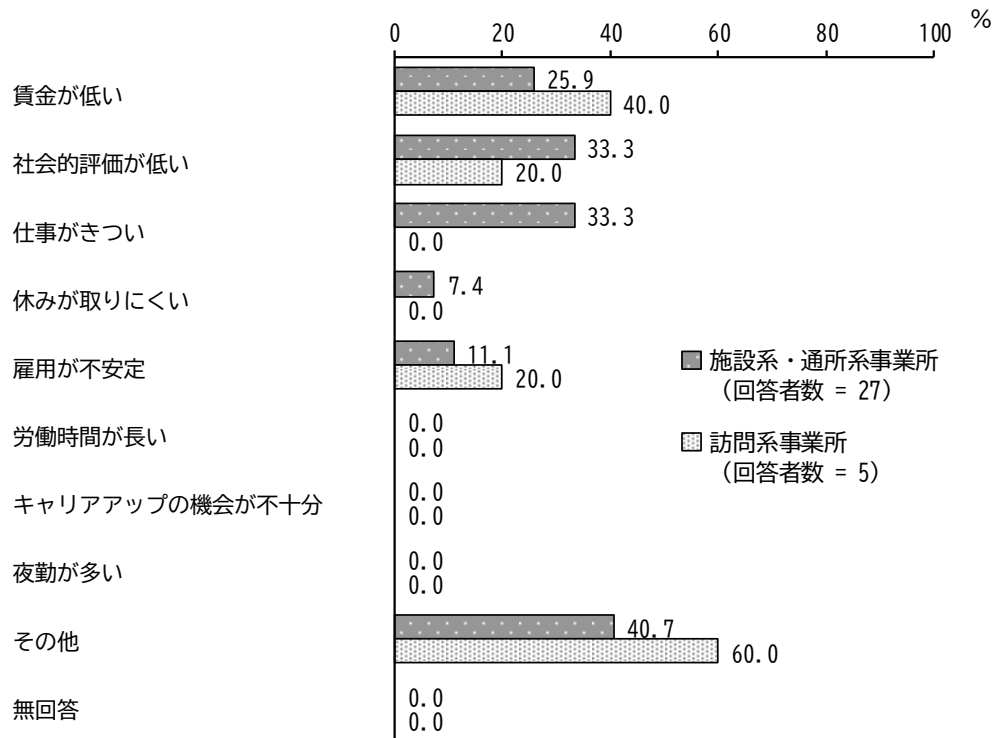


問 不足している理由は何ですか。(複数選択可)

【施設系・通所系事業所 問4-2、訪問系事業所 問3-2】

施設系・通所系事業所で「社会的評価が低い」、「仕事がつい」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「賃金が低い」の割合が 25.9%となっています。

訪問系事業所で「賃金が低い」が 2件 (40.0%) となっています。「社会的評価が低い」、「雇用が不安定」が 1件 (20.0%) となっています。



4 意見・要望

(1) 施設系・通所系事業所

- ・認知症の方のご利用が多くなり、前からご利用の方々との交流が図れません。認知症を理解してはいますが、声かけする事は難しいのが現状です。受け入れる施設の見直しを行い、どのような認知症の方でも、その方に適した施設があれば良いと考えるのは難しいのですが、今後5人に1人認知症と言う事を考えると、早めの対策をしてほしいです。物価高騰の中、介護報酬の見直しが求められます。
- ・当施設の最寄り駅が小田急線長後駅のための為、他市町村の交通網（複線）と比べアクセスが悪く、応募者数が少ない現状がございます。行政による介護資格取得促進（補助金含む）を、引き続き継続的に実施をお願い致します。
- ・厚生労働省は、2025年度に介護職員が全国で約38万人不足するという推計を出しています。関東エリアに介護職員の不足が集中するという予測記事を見ると、不安になります。
- ・紹介会社に高い成功報酬を払わずとも採用できる仕組みを作って頂きたいです。求職者が紹介会社に抱え込まれず、一般応募をして頂けたらとてもありがたいのですが、現状はほぼ全てが紹介であり、また、その電話対応に時間を割かれることも困っていることのひとつです。

(2) 訪問系職員

- ・人材不足が深刻です。資格取得に対する補助金など、興味を持った人が積極的に行動できるしくみ作りをして頂きたいです。
- ・当事業所は訪問介護が主になっておりますが、ヘルパー全般において勤続年数の長い方が多いのが特徴ではと思います。安心、安全に仕事が継続できております。時に禁止事項サービス等をお客様に要望された場合、希望に応じられず心が痛みます。ヘルパー不足が懸念されている現在、今後の介護事業が不安に感じます。
- ・介護予防と言いながら、一緒に掃除を行なわない人が増えて来ている。体調を維持するには、訪問型Aばかりではどうなのでしょう。
- ・ヘルパーの人材が足りないので、新規の依頼を断る状態になっています。現在働いているヘルパーさん達も、10年～22年位勤務しているので高齢化になってきています。このまま人材が増えていかないと、仕事を退職する人が増える一方で、利用者さまが増えても対応できません。市で研修等を行って、人材を確保して頂きたいです。至急お願いします。

VII 在宅生活改善調査

Ⅶ 在宅生活改善調査

1 事業所票

(1) 所属するケアマネジャーの人数、および利用者数

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

「所属するケアマネジャーの人数」は、最も多い事業所で9人、最も少ない事業所で1人となっています。

自宅等に居住する利用者は、最も多い事業所で300人、もっとも少ない事業所で2人となっています。

サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームに居住する利用者数は、最も多い事業所で19人、最も少ない事業所で1人となっています。

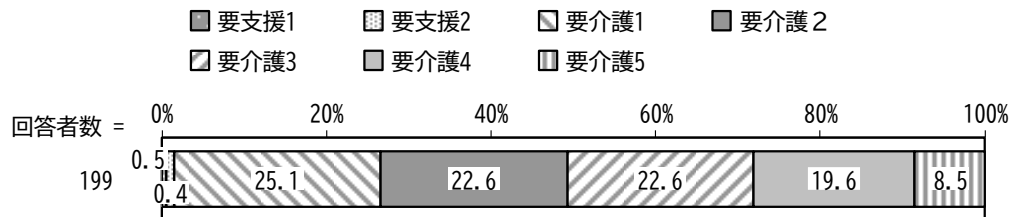
No	所属する ケアマネジャーの人数	利用者数	
		自宅等に居住	サ高住、住宅型有料、 軽費老人ホームに居住
1	1人	2人	—
2	7人	254人	10人
3	3人	65人	2人
4	9人	300人	7人
5	4人	37人	1人
6	4人	40人	—
7	1人	23人	1人
8	4人	37人	13人
9	4人	157人	9人
10	2人	—	—
11	3人	108人	4人
12	7人	130人	19人
13	6人	182人	3人
14	1人	—	6人
合計	56人	1,335人	75人
		1,410人	

※サ高住：サービス付き高齢者向け住宅
住宅型有料：住宅型有料老人ホーム

(2) 居場所を変更した利用者数の要介護度

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に、自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数を介護度別にみると、「要介護1」が25.1%と最も高く、次いで「要介護2」「要介護3」がともに22.6%となっています。



(3) 居場所を変更した利用者の行き先

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者の行き先をみると、「地域密着型特定施設」が42人と最も多く、次いで「軽費老人ホーム（特定施設除く）」が38人と続いています。

「療養型・介護医療院」「地域密着型特別養護老人ホーム」は市内施設が多い一方、「軽費老人ホーム（特定施設除く）」「地域密着型特定施設」「介護老人保健施設」は市外が多くなっています。

	兄弟・子ども・親戚等の家	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム (特定施設除く)	サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	療養型・介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	合計
市内	2	6	10	13	0	0	13	5	11	1	9	2	72
市外	1	0	28	12	3	3	29	15	0	0	0	1	92
合計	3	6	38	25	3	3	42	20	11	1	9	3	164

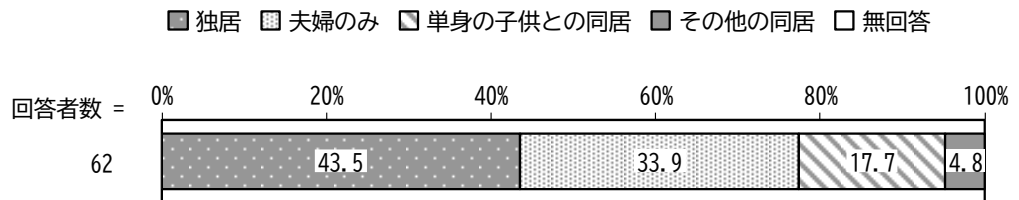
2 利用者票

(1) 自宅での生活の維持が難しくなっている人の属性

問1-1 世帯類型

①世帯類型

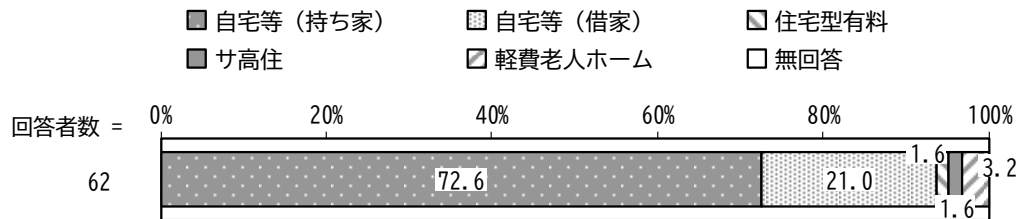
世帯類型については、「独居」の割合が43.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が33.9%、「単身の子供との同居」の割合が17.7%となっています。



問1-2 現在の居所

②現在の居所

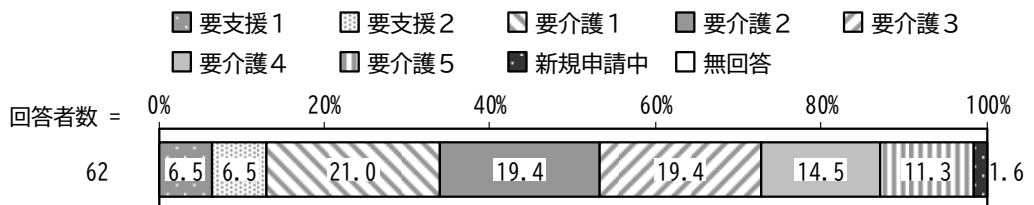
現在の居所については、「自宅等（持ち家）」の割合が72.6%と最も高く、次いで「自宅等（借家）」の割合が21.0%となっています。



問1-3 要支援・要介護度

③要支援・要介護度

要支援・要介護度については、「要介護1」の割合が21.0%と最も高く、次いで「要介護2」「要介護3」の割合が19.4%となっています。



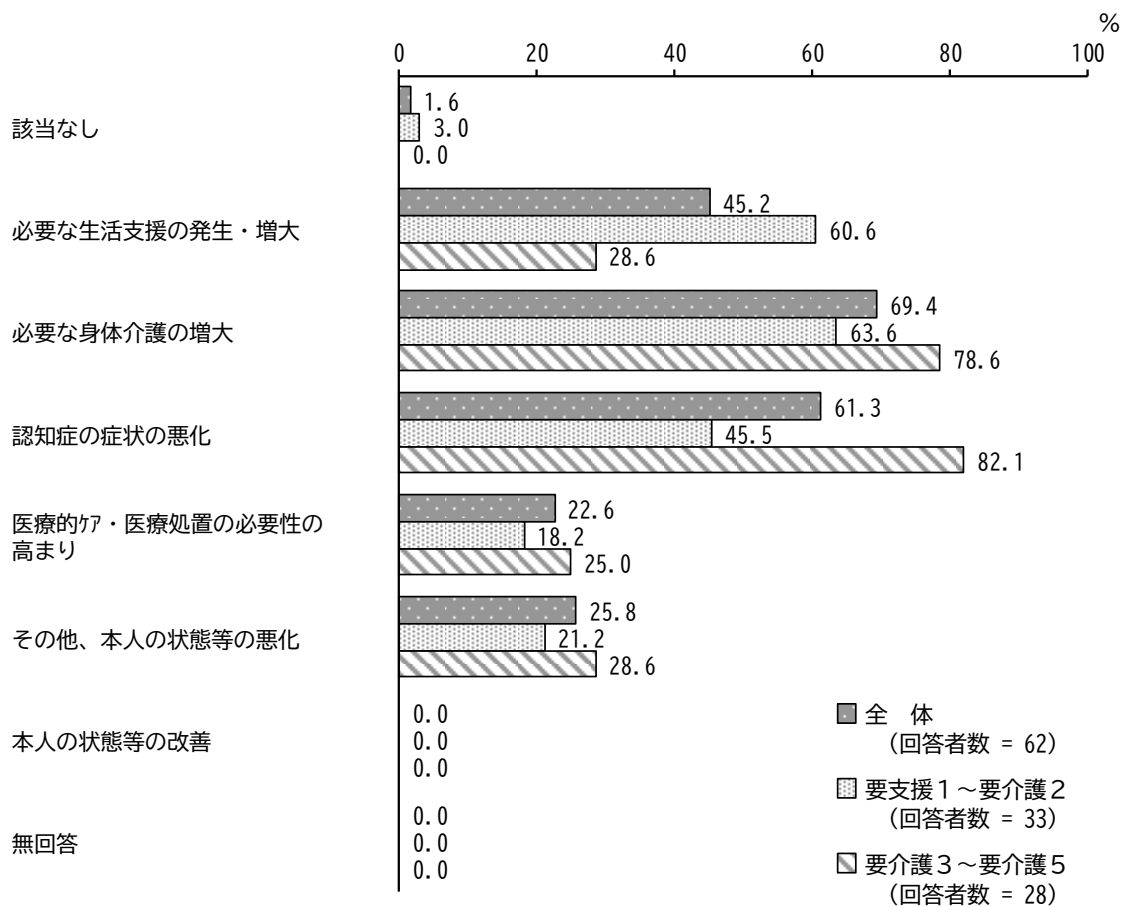
(2) 自宅での生活の維持が難しくなっている理由

問2-1 (1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください

①本人の状態

本人の状態については、「必要な身体介護の増大」の割合が69.4%と最も高く、次いで「認知症の症状の悪化」の割合が61.3%、「必要な生活支援の発生・増大」の割合が45.2%となっています。

要介護度別にみると、「必要な身体介護の増大」は、要支援1～要介護2では63.6%、要介護3～要介護5では78.6%となっています。

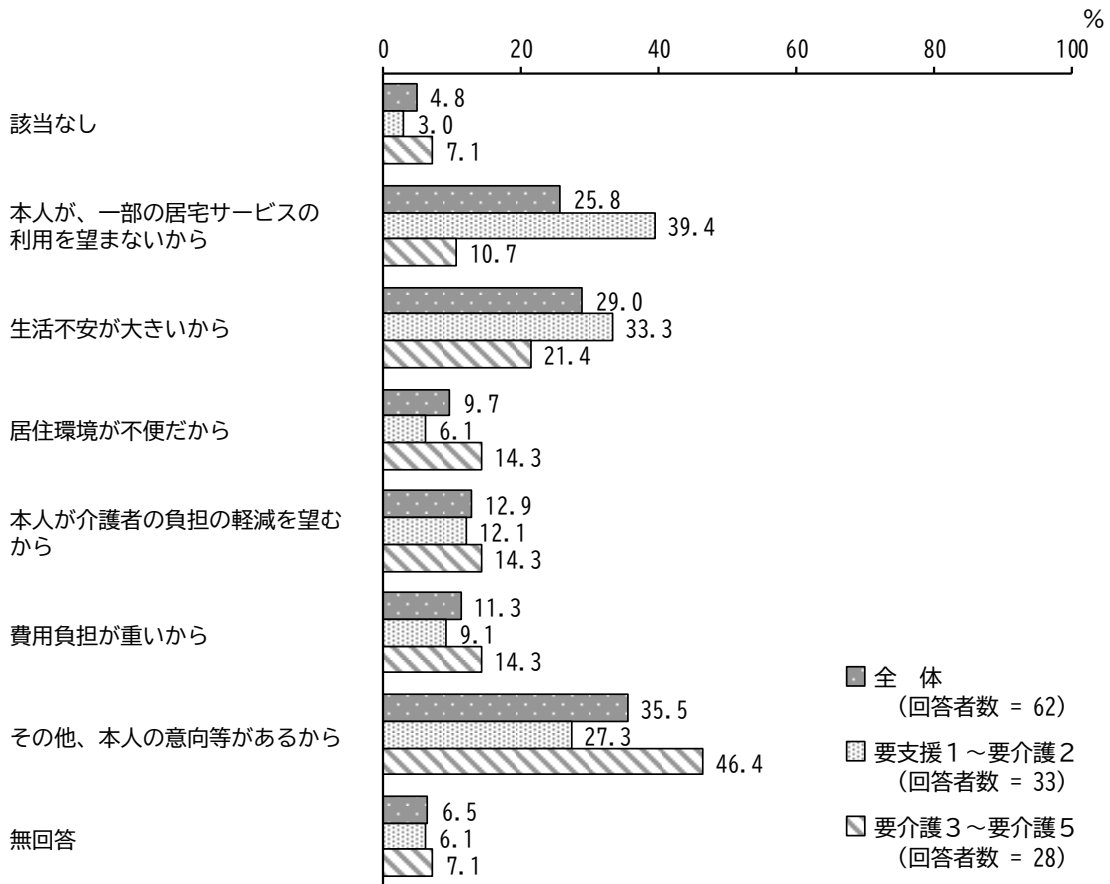


問2-2 (2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

②本人の意向

本人の意向については、「生活不安が大きいから」の割合が29.0%と最も高く、次いで「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」の割合が25.8%、「本人が介護者の負担の軽減を望むから」の割合が12.9%となっています。

要介護度別にみると、要支援1～要介護2では「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」の割合が、要介護3～要介護5では「生活不安が大きいから」が最も高くなっています。

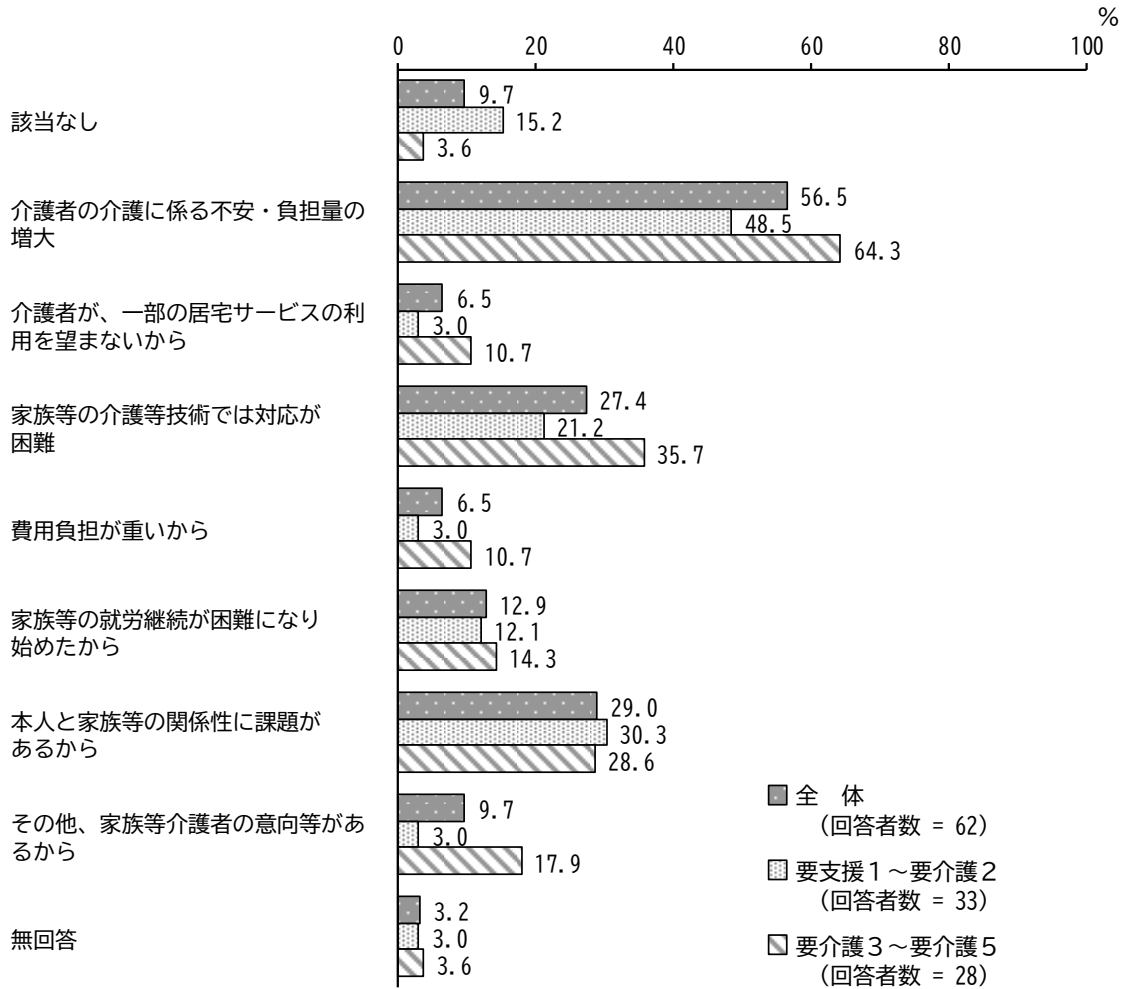


問2-3 (3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください

③家族等介護者の意向

家族等介護者の意向については、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」の割合が56.5%と最も高く、次いで「本人と家族等の関係性に課題があるから」の割合が29.0%、「家族等の介護等技術では対応が困難」の割合が27.4%となっています。

要介護度別にみると、要支援1～要介護2、要介護3～要介護5ともに「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」の割合が最も高くなっています。

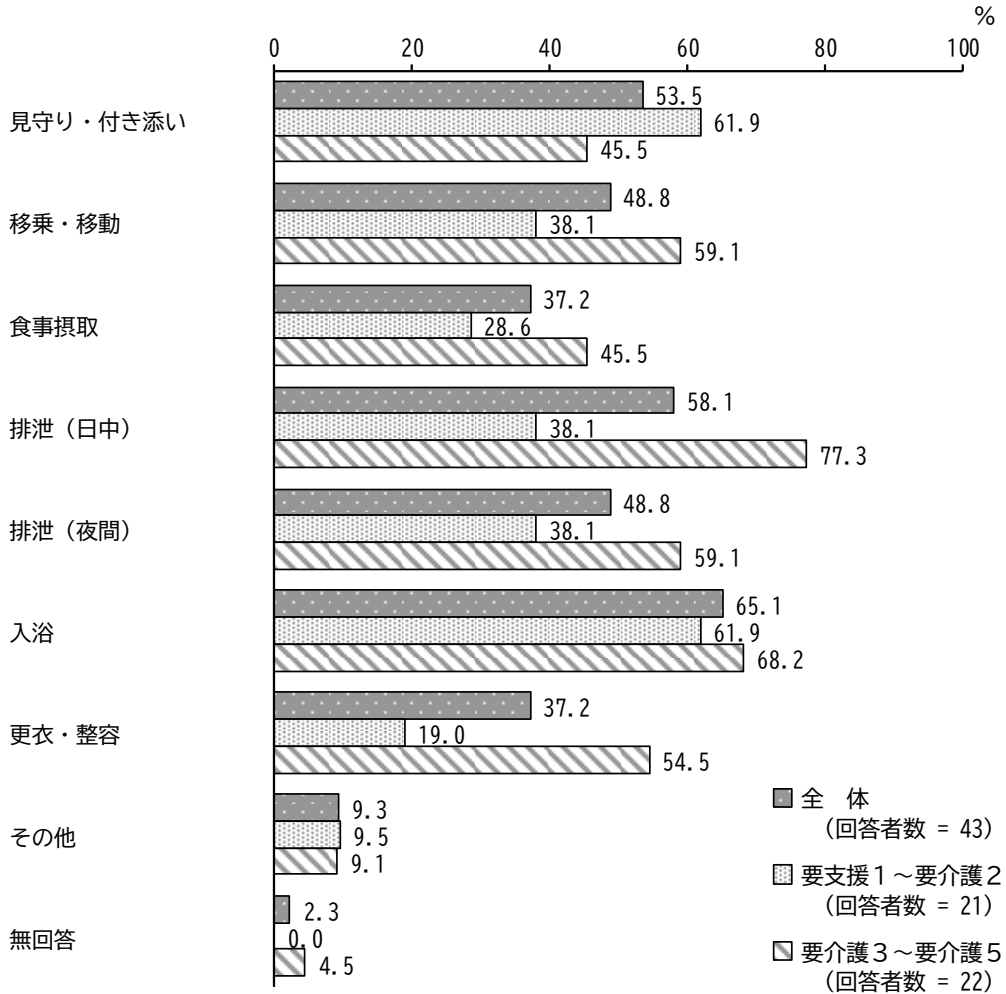


問2-4 【問2-1で【「3.」を選択の場合】
理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください

④増大している身体介護

本人の状態で「必要な身体介護の増大」と回答した43人を対象に、増大している身体介護の種類をきいたところ、「入浴」の割合が65.1%と最も高く、次いで「排泄(日中)」の割合が58.1%、「見守り・付き添い」の割合が53.5%となっています。

要介護度別では、要支援1～要介護2では「見守り・付き添い」「入浴」の割合が高い一方、要介護3～要介護5では「排泄(日中)」の割合が高くなっています。

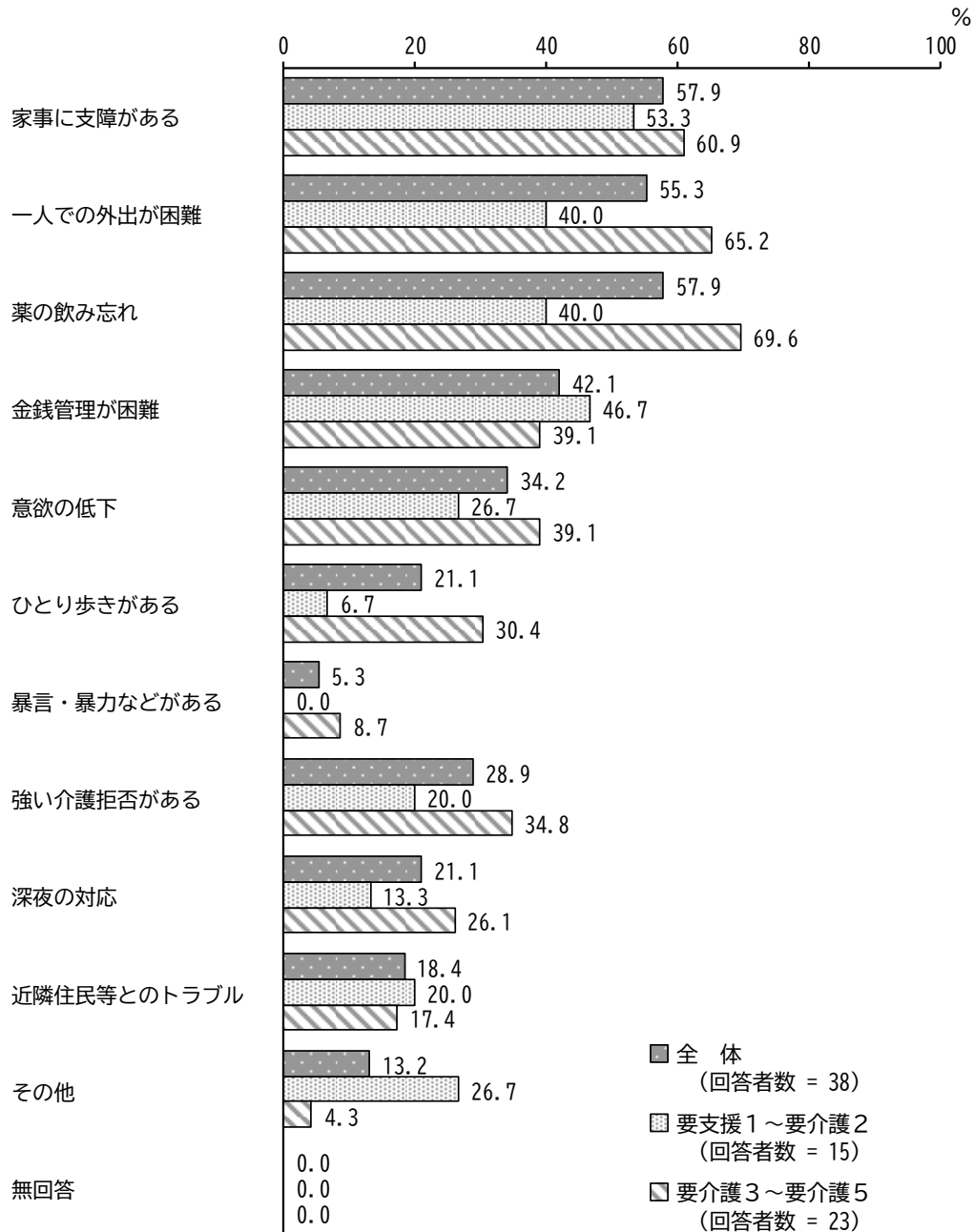


問2-5 【問2-1で【「4.」を選択の場合】
理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください

⑤認知症の症状

本人の状態で「認知症の症状の悪化」と回答した38人を対象に、認知症の症状についてきいたところ、「家事に支障がある」「薬の飲み忘れ」の割合が57.9%と最も高く、次いで「一人での外出が困難」の割合が55.3%、「金銭管理が困難」の割合が42.1%となっています。

要介護度別にみると、要支援1～要介護2では「金銭管理が困難」の割合が高く、要介護3～要介護5では「薬の飲み忘れ」の割合が高くなっています。



問2-6 【問2-1で【「5.」を選択の場合】

理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

⑥必要性が高まっている医療的ケア、医療処置

本人の状態で「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」と回答した14人を対象に、必要性が高まっている医療的ケア、医療処置についてきいたところ、「インスリン注射」の割合が21.4%と最も高く、次いで「酸素療法」「疼痛の看護」の割合が14.3%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射	その他	無回答
全体	14	7.1	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	21.4	21.4	14.3
要支援1～ 要介護2	6	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
要介護3～ 要介護5	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください

問3-3 【問3-2で「10.」～「17.」を選択の場合】
利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

(3) 在宅生活の維持が難しくなっている人に必要な支援・サービス

以下の表は、現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている利用者について、生活の改善に必要な支援・サービス、施設・住まい等、および入所・入居の緊急性についてまとめたものです。

これによると、「より適切な住まい・施設等」を必要としている人が約半数の31人となっており、需要が高くなっていることがうかがえます。

在宅生活者		改善できるサービス	入所・入居の緊急性、特養への申し込みの状況など		
在宅生活者数 1410人	在宅生活の維持が 難しくなっている人 51人	より適切な住まい・施設等 31人	特養のみ 7人	緊急 5人 非緊急 2人	特養 待機者 7人
			特養 or その他の施設等 11人	緊急 3人 非緊急 8人	その他 施設等の 待機者 24人
				その他の施設等 13人	
		より適切な在宅サービス or 住まい・施設等 12人	3サービス 8人	在宅 サービス 待機者 17人	
			その他在宅 4人		
		より適切な在宅サービス 5人	3サービス 3人		
	その他在宅 2人				
上記では改善は困難 3人					
その他 1359人					

以下の表は、特養以外の「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービスを整理したものです。

「その他施設等の待機者」の必要な住まい・施設等は「グループホーム」が13人と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が11人、「特定施設」が8人となっています。

「在宅サービス待機者」の必要な住まい・施設等は「療養型・介護医療院」と「特別養護老人ホーム」が3人と最も高くなっています。必要な在宅サービスは「ショートステイ」が7人と最も高く、次いで「定期巡回サービス」が6人、「看護小規模多機能」が5人となっています。

	その他施設等の待機者(24人)			在宅サービス待機者(17人)		
住まい・施設等	住宅型有料	3人	12.5%	住宅型有料	2人	11.8%
	サ高住	5人	20.8%	サ高住	2人	11.8%
	軽費老人ホーム	2人	8.3%	軽費老人ホーム	0人	0.0%
	グループホーム	13人	54.2%	グループホーム	2人	11.8%
	特定施設	8人	33.3%	特定施設	2人	11.8%
	介護老人保健施設	4人	16.7%	介護老人保健施設	0人	0.0%
	療養型・介護医療院	1人	4.2%	療養型・介護医療院	3人	17.6%
	特別養護老人ホーム	11人	45.8%	特別養護老人ホーム	3人	17.6%
在宅サービス	-			ショートステイ	7人	41.2%
				訪問介護、訪問入浴	2人	11.8%
				夜間対応型訪問介護	2人	11.8%
				訪問看護	3人	17.6%
				訪問リハ	1人	5.9%
				通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	4人	23.5%
				定期巡回サービス	6人	35.3%
				小規模多機能	4人	23.5%
				看護小規模多機能	5人	29.4%

(4) 特養やその他施設等に入所・入居できていない理由

問3-4 【問3-2で「10.」～「16.」(※特養以外)を選択の場合】
入所・入居できていない理由をお答えください

①その他の施設に入所・入居できていない理由

より適切な住まい・施設等を必要としている人で、具体的な施設サービスで「特養」以外を回答した34人を対象に、入所・入居できていない理由を聞いたところ、「まだ、申込をしていない」が14人、「申込済みだが、空きがない」が7人となっています。

	まだ、申込をしていない	申込済みだが、空きがない	その他
全体	14人	7人	8人
要支援1～要介護2	8人	3人	3人
要介護3～要介護5	5人	4人	5人

問3-5 【問3-2で「17.」(※特養)を選択の場合】
特養に入所できていない理由をお答えください

②特別養護老人ホームに入所・入居できていない理由

より適切な住まい・施設等を必要としている人で、具体的な施設サービスで「特養」と回答した30人を対象に、入所・入居できていない理由を聞いたところ、「まだ、申込をしていない」が11人、「申込済みだが、空きがない」が9人となっています。

	まだ、申込をしていない	申込済みだが、空きがない	申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない	その他
全体	11人	9人	1人	7人
要支援1～要介護2	5人	0人	0人	1人
要介護3～要介護5	5人	9人	1人	6人

3 意見・要望

(1) 事業所票

- ・ささいな事でも相談にのって頂け助かっています。今後も色々な面でご指導お願い致します。この1年で在宅では困難と思われる方は入所されました。
- ・介護認定がおりののが遅いので、もう少し早く認定がおりのようにしてほしい。担当CMが認定調査をするなど検討してほしい。

(2) 利用者票

- ・特養、老健が少なすぎる。問い合わせをしても、良い返事が返ってきたことがあまりない。特に老健。1件しかないから感じが悪い。
- ・選択できるサービスが少なすぎる。需要が無いのではなく、利用者が我慢せざるを得ない状況ではないかなと感じています。
- ・小規模多機能、定期巡回必要です。
- ・夜間対応型訪問介護や定期巡回サービスが、綾瀬市や近隣の市にもなく残念である→施設入所を考えなくてはいけなくなる。小規模多機能も力が弱く、他市のように力を入れて欲しい。

VIII 調査票

Ⅶ 調査票

(1) 一般調査(40～64歳)

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【40歳以上64歳以下の方】

綾瀬市
市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂上厚くお礼申し上げます。

綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、市民の皆様が保健福祉に関わる生活状況やご意向を踏まえ、計画づくりを進めるために、40歳以上64歳以下の市民の中から無作為に抽出させていただき、アンケート調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただけますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

- この調査は、令和4年11月1日現在、綾瀬市内に住所を持つ40歳以上64歳以下の方の中から無作為に抽出した方を対象に実施しています。
- この調査はお名前を書き必要はありません。個人の秘密は守られますから、普段思っていることをありのままに回答してください。回答したくないことは無理に答えなくてもかまいません。
- 封筒の宛名のご本人について、以下の方法で質問に回答してください。
 - 宛名のご本人が回答できる場合は、ご本人が回答してください。
 - 宛名のご本人が入院中など、自分で回答することが難しい場合は、ご家族等がお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わりに回答してください。
 - 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。この場合「あなた」とは、宛名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が回答された場合でも、宛名のご本人に関して回答してください。あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。「その他」を回答される場合には、番号に○をした上で、記入欄がある場合には内容を()に、具体的に書きください。
- あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。なお、ご回答は令和4年11月1日時点での状況について作成をお願い致します。ご記入いただきました調査票は、**令和4年11月28日(水)までに、同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずにポストへ投函してください。**

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。

綾瀬市福祉部高齢介護課 電話0467-70-5616(直通)

※次のページから質問がはじまります。

ご本人とご家族の状況について、伺います。

問1 あなたの性別と令和4年11月1日現在の満年齢をお答えください。

1. 男性 2. 女性 満()歳 ※年齢を記入してください

問2 ご家族の構成について、あてはまるものをお選びください。(1つに○)

1. ひとり暮らし 3. 子や孫と同居
2. 夫婦ふたり暮らし 4. その他の世帯

問3 あなたのお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 一戸建て(持ち家) 4. 民間賃貸アパート・マンション
2. 一戸建て(借家) 5. 県営・市営・公団等の公営賃貸住宅
3. 分譲マンション 6. その他()

問4 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

1. 蓼川 5. 落合 9. 小園 13. 市外
2. 大上 6. 上土棚 10. 早川
3. 寺尾 7. 本蓼川 11. 綾西
4. 深谷 8. 厚木基地内 12. 吉岡

仕事や社会参加活動について、伺います。

問5 あなたは、現在、収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

1. 仕事をしていない 3. 週2～3回
2. 週1回以下 4. 週4回以上

問6 あなたは、現在仕事をしているかどうかにかかわらず、65歳以降に収入を伴う仕事をしたいですか。仕事をしたい場合は、何歳までしたいかを合わせてお答えください。(1つに○)

1. 70歳くらいまで 4. 働けるうちはいつまでも
2. 75歳くらいまで 5. 65歳以降は仕事をしたくない
3. 76歳以上 6. わからない

問7 あなたは、人との交流を伴う自主的な活動のうち、現在のどのようなものに参加していますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. ボランティアのグループ 5. 自治会
2. スポーツ関係のグループやクラブ 6. その他()
3. 趣味関係のグループや習い事 7. 特になし
4. 学習・教養サークル

問8 あなたは、65歳以降、どのような社会参加活動をおこないたいと思いますか。
(あてはまるものいくつかでも○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. ボランティアのグループ | 5. 自治会 |
| 2. スポーツ関係のグループやクラブ | 6. 老人クラブ |
| 3. 趣味関係のグループや習い事 | 7. その他 () |
| 4. 学習・教養サークル | 8. 特になし |

身体と健康の状況について、伺います。

問9 あなたは、ご自分の健康状態について、どのように感じていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. とても健康だと思ふ | 3. あまり健康ではないと思ふ |
| 2. まあまあ健康だと思ふ | 4. 健康ではないと思ふ |

問9で「1. とても健康だと思ふ」「2. まあまあ健康だと思ふ」と回答された方に伺います。

問9-1 あなたが健康だと感じることができるのはどのような理由からですか。
(主な理由としてあてはまるものを3つお選びください)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 休養、睡眠など規則正しい生活を送るよう心掛けているから | |
| 2. ストレスをできるだけためないようにはしているから | |
| 3. 偏食や過食など、食生活が乱れないように気をつけているから | |
| 4. 日常生活の中で意識的に身体を動かすようにしているから | |
| 5. 健康診断や診療を定期的に行うなど、健康管理をしているから | |
| 6. 飲酒をしない、もしくは飲酒量が多くなりにくいように気をつけているから | |
| 7. 喫煙をしない、もしくは喫煙量が多くなりにくいように気をつけているから | |
| 8. もの忘れをしないようにするなど、認知症の予防に気をつけているから | |
| 9. その他 () | |
| 10. 特に理由はない | |

問9で「3. あまり健康ではないと思ふ」または「4. 健康ではないと思ふ」と回答された方に伺います。

問9-2 あなたが健康だと感じることができないのはどのような理由からですか。
(主な理由としてあてはまるものを3つお選びください)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 生活のリズムが不規則だから | |
| 2. ストレスをためてしまうから | |
| 3. 偏食は過食など食生活が乱れているから | |
| 4. 日常生活の中であまり身体を動かしていないから | |
| 5. 健康診断や診療を受けていないなど健康管理をしていないから | |
| 6. 飲酒をするから | |
| 7. 喫煙をするから | |
| 8. もの忘れが多くなったから | |
| 9. その他 () | |
| 10. 特に理由はない | |

問10 あなたには、日常生活の健康について相談するかかりつけの医師はいますか。
(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

※1項から自分または家族の健康状態をよく知っていて、日常的な健康管理を任せられる医師

問11 あなたには、現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。
(あてはまるものいくつかでも○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 高血圧 | 11. がん(悪性新生物) |
| 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 3. 心臓病 | 13. うつ病 |
| 4. 糖尿病 | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 5. 高脂血症(脂質異常) | 15. パーキンソン病 |
| 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 16. 目の病気(白内障、緑内障等) |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 17. 耳の病気(難聴等) |
| 8. 腎臓・前立腺の病気 | 18. 一過性の意識障害(せん妄、一過性の脳虚血等) |
| 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 19. その他 () |
| 10. 外傷(転倒・骨折等) | 20. ない |

介護予防について、伺います。

問12 あなたは、この1年間に、健康診査を受けましたか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 国民健康保険の特定健康診査を受けた |
| 2. 社会保険の特定健康診査あるいは人間ドック等を受けた |
| 3. 受けなかった |

問12で「3. 受けなかった」と回答された方におうかがいします。

問12-1 その理由は何か。(あてはまるものいくつでも○)

1. 健康なので受診する必要を感じない
2. 病院等に通院している
3. 日程の都合が合わなかった
4. めんどく
5. 実施されていることを知らなかった
6. 様子を受けるのが嫌
7. 付き添ってくれる人(介助者)がいない
8. その他 ()

問13 あなたは、現在、運動や栄養改善をしていますか。(1つに○)

1. 既に行っている(6ヶ月以上)
2. 既に行っている(6ヶ月未満)
3. 今後1ヶ月以内に予定である
4. 今後6ヶ月以内に予定である
5. 関心はあるが、今後6ヶ月以内予定はない
6. 関心がない

問14 あなたは、介護予防について、どのような取り組みに興味がありますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 適切な栄養や食事のとり方を知り、栄養の改善を図る
2. 体力を維持・向上するための体操や運動をする
3. おいしく食べるために歯や入れ歯、口の健康を維持・改善する
4. 認知症を予防する
5. 趣味のサークルやボランティアなど地域社会と関わる
6. 収入のある仕事をする
7. その他 ()
8. 特に興味のある取り組みはない

問15 どのような条件があれば、介護予防のための取り組みに参加しやすい・参加したいと思えますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 介護予防の必要性や効果等について広く情報提供されている
2. 楽しみながら参加できる活動である(例えば、)
3. からだの機能の回復が実感できる
4. 市民センター、文化センター等、身近な場所で活動できる
5. いっしょに取り組む仲間がいる
6. 自主的な取り組みに対して活動費の助成がある
7. 活動に継続して取り組むと特典が得られる
8. その他 ()
9. 特になし

日常生活の状況について、伺います。

問16 以下の(ア)～(ヒ)のすべてについて、あなたに「あてはまる」ものに○をしてください。(それぞれの質問ごとに1つに○)

(ア) バスや電車でひとり外出していますか(自家用車でも可)

1. している
2. できるけどしていない
3. できない

(イ) 日用品の買い物をしていますか

1. している
2. できるけどしていない
3. できない

(ウ) 自分で食事の用意をしていますか

1. している
2. できるけどしていない
3. できない

(エ) 預貯金の出し入れをしていますか

1. している
2. できるけどしていない
3. できない

(オ) 健康についての記事や番組に関心がありますか

1. はい
2. いいえ

(カ) 友人の家を訪ねていますか

1. はい
2. いいえ

(キ) 家族や友人の相談にのっていますか

1. はい
2. いいえ

(ク) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. はい
2. いいえ

(ケ) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. はい
2. いいえ

(コ) 15分位続けて歩いていますか

1. はい
2. いいえ

(サ) この1年間に転んだことがありますか

1. はい
2. いいえ

(シ) 転倒に対する不安は大きいですか

1. はい
2. いいえ

(ス) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. はい 2. いいえ

(セ) 週に1回以上は外出をしていますか

1. はい 2. いいえ

(ソ) 6ヶ月間で2～3kgの体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(タ) 身長と体重をお伺いします

身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----	----	----------------------	----

(チ) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(ツ) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(テ) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(ト) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるといわれますか

1. はい 2. いいえ

(ナ) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

1. はい 2. いいえ

(ニ) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい 2. いいえ

(ヌ) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない

1. はい 2. いいえ

(ネ) (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

1. はい 2. いいえ

(ノ) (ここ2週間) 以前は案にできていたことが、今ではおっくうに感じられる

1. はい 2. いいえ

(ハ) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない

1. はい 2. いいえ

(ヒ) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

1. はい 2. いいえ

問17 あなたは、日常生活の中で、手助けしてほしいと思うことがありますか。
(あてはまるものいくつでも○)

1. 買い物	7. 外出のつきそい(通院・散歩等)
2. 食事のしたくや後片付け	8. 話し相手
3. 掃除・洗濯・布団干し	9. 定期的な声かけや見守り
4. コミ出しや電球の交換	10. 急病・災害時の手助け
5. 大掃除・草むしり・衣替え	11. その他()
6. 預貯金の出し入れや支払い手続き	12. 特になし

地域とのかかわりについて、伺います。

問18 あなたが今後参加し(続け)たいと思う支援が必要な方への支援活動はどれですか。
(あてはまるものいくつでも○)

1. 家事の手伝い	3. 買物の代行	5. 特になし
2. 外出の付添・送迎	4. 定期的な声かけや話し相手	

問19 あなたは、ご近所の方との程度のつきあいをしていますか。(1つに○)

1. 家を行き来する等、親しいつきあひがある	3. あいさつをする程度
2. 立ち話をする程度	4. 近所つきあひほとんどない

問20 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)

1. 毎日ある	3. 月に何度がある	5. ほとんどない
2. 週に何度がある	4. 年に何度がある	

問21 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はだれですか。
(あてはまるものいくつでも○)

1. 配偶者	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	7. その他()
2. 同居の子ども	5. 近隣	8. そのような人はいない
3. 別居の子ども	6. 友人	

問22 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人は誰ですか。
(あてはまるものいくつでも○)

1. 配偶者	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	7. その他()
2. 同居の子ども	5. 近隣	8. そのような人はいない
3. 別居の子ども	6. 友人	

問 23 あなたは、高齢者にかかる総合的な相談窓口として「地域包括支援センター」が市内に4ヶ所あることや、必要に応じた支援・サービスを提供してくれることを知っていますか。(1つに○)

1. 存在を知っているし、どのようなことをする機関かも知っている
2. 名前を聞いたことがある程度で、どのようなことをしているかは知らない
3. 名前を聞いたことはないが、そういう機関があることは知っていた
4. 知らない・名前も聞いたことはない

今後希望する暮らしについて、伺います。

問 24 あなたは、今後、万が一介護が必要となった場合のお住まいの希望は次のどれにあたりますか。(1つに○)

1. 今の住まい(現状のまま)
2. 今の住まい(リフォーム予定)
3. 子どもや親族などの家に住み替え
4. サービス付き高齢者向け住宅
5. 有料老人ホーム
6. 特別養護老人ホーム等の介護施設
7. グループホーム等の教人で暮らす家庭的な介護付きホーム
8. その他()
9. 分からない

問 25 どのようなサービスや条件を整えば、介護が必要になっても在宅で安心して暮らし続けることができると思いますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 24時間必要に応じて、ヘルパーや看護師が来てくれる
2. 24時間必要に応じて、医師が往診してくれる
3. デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる
4. 服薬管理を支援してくれる
5. 配食や買い物、ゴミ出し等の生活を支援してくれる
6. 認知症に配慮した介護サービスが整っている
7. 段差がない等、住まいの構造や設備が整っている
8. 介護や医療費に対する経済的負担が軽減される
9. 困ったときにいつでも相談できる場が身近にある
10. 声かけや見守りをしてくれる等、地域の支えがある
11. 家族が理解・協力してくれる
12. その他()
13. わからない

問 26 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

1. 自宅
2. 病院などの医療施設
3. 子どもの家
4. 兄弟姉妹など親族の家
5. サービス付き高齢者向け住宅
6. 有料老人ホーム
7. 特別養護老人ホームやグループホーム等の介護施設
8. その他()
9. 分からない

綾瀬市の保健福祉サービス等について、伺います。

問 27 以下の保健福祉サービスについて、該当する項目に○をつけてください。(それぞれ項目ごとに1つに○)

項目	たいらげたい利用しな	知ってありな	利用しな	利用しな	利用しな
1. 高齢者スポーツ大会 (グラウンドゴルフ)					
2. 高齢者福祉会館					
3. 高齢者憩の家					
4. 敬老祝金品					
5. 老人クラブ					
6. 敬老会					
7. シルバー人材センター					
8. アクティブ・シニア応援窓口					
9. コミュニティバス割引カード					
10. 訪問指導					
11. 健康手帳					
12. 健康診断					
13. がん検診					
14. 健康教育(集団・個別・介護予防)					
15. 健康相談(総合・重点・介護家族)					
16. 栄養改善配食					

(2) 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

介護予防・日常生活 圏域二一ス調査

綾瀬市

日頃より綾瀬市の高齢者福祉事業及び介護保険事業にご理解・ご協力を賜りお礼申し上げます。

このたび綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の改定に活用するため、アンケート調査を実施することといたしました。本調査は、厚生労働省が作成した「介護予防・日常生活圏域二一ス調査」の項目に、綾瀬市民の二一スを把握するための質問項目を加えて実施するものです。

調査結果は、同計画策定及び介護予防政策の立案に活用させていただきますとともに、個人情報取扱扱いにつきましては、万全を期してまいりますので、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

◇調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れて、
令和4年12月28日（水）までに投函してください。

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○を付けてください。	
1. 宛名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人から見た続柄)	
3. その他	

以下は宛名のご本人の情報を記入してください。

電話番号	— —
性別	男 ・ 女
生年月日	明治・大正・昭和 年 月 日

ご記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、令和4年11月1日現在、綾瀬市内に住所を持つ65歳以上の方を無作為に抽出させていただきました。ただし、要介護認定1～5を受けている方及び施設に入所している方は除きます。
- ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答に当たっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例 kg）でご記入ください。
- 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。この場合「あなた」とは、宛名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が回答された場合でも、宛名のご本人に関して回答してください。
- 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにポストに投函してください。
- この調査についてのお問合せは以下までお願いいたします。

【お問合せ先】

綾瀬市 福祉部 地域包括ケア推進課
電話0467-77-1116

あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えください。(○はひとつ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問2で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
5. 関節の病気(リウマチ等)
6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患(透析)
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他()
15. 不明

問2で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他()

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○はひとつ)

1. 持家(一戸建て)
2. 持家(集合住宅)
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 借家
7. その他

問5 あなたは、日中、家にひとりであることがどのくらいありますか。(○はひとつ)

1. ひとりになることはほとんどない
2. たまにある
3. よくある
4. ほとんどひとりで過ごしている

問6 あなたは普段の生活でどのくらいの範囲を行動していますか。(○はひとつ)

1. 自宅内
2. 自宅周辺
3. 隣近所
4. 隣縣市全域
5. 近隣市町村
6. 県内
7. 県外

問7 あなたが普段よく使う連絡手段はなんですか。(いくつでも)

1. 直接会話
2. 固定電話
3. 携帯電話・スマートフォン
4. メール
5. LINEなどのメッセージアプリ
6. 連絡することはほとんどない

問8 友人・知人と、電話での会話(携帯、スマホ含む)をする頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問9 友人・知人と、メール、LINEなどで交流をする頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない

問10 現在収入のある仕事をされていますか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問11 今の仕事を継続して続けたい、または、新たにお仕事を始めたいと思いますか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問11で「1. はい」とお答えの方におたずねします

問11-1 仕事をしたい、新たに仕事を始めたいと思われる理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 健康のため
2. 生きがい、社会参加のため
3. 仲間づくりのため
4. 収入のため
5. などなく
6. その他()

問12 新型コロナウイルス感染症の影響で収入のある仕事の状況に変化がありましたか。(○はひとつ)

1. 変化なく仕事をしている
2. 就業時間や日数が減った(減らした)
3. 失業した
4. 仕事を辞めた
5. もともと仕事をしていない
6. その他()

問13 仕事やボランティア、地域活動、サークルなど活動・交流の場を紹介している「アクティフ・シニア応援窓口」を知っていますか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問14 綾瀬市が実施しているスマホ教室・スマホ相談会を知っていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問15 綾瀬市が実施しているスマホ教室・スマホ相談会の利用状況を教えてください。(○はひとつ)

1. 利用している 2. 利用してみたい 3. 利用したくない

からだを動かすことについて

問16 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

問17 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

問18 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてない 3. できない

問19 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

問20 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

問21 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

問22 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

問23 外出を控えていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問23で「1. はい」(外出を控えている)とお答えの方におたずねします

問23-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

1. 病氣 2. 障害(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他()

問24 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のパス 9. 車いす
10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
13. その他()

食べることについて

問25 身長・体重

身長	cm	体重	kg
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

問26 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問27 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問28 口の渇きが気になりますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問29 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問30 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○はひとつ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問30で「1」又は「3」とお答えの方におたずねします

問30-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問31 噛み合わせは良いですか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問32 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問33 どちらかと食事をもににする機会がありますか。(○はひとつ)

1. 毎日ある 2. 週に何回かある 3. 月に何回かある
4. 年に何回かある 5. ほとんどない

毎日の生活について

問34 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問35 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問36 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問37 バスや電車をを使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてはいない 3. できない

問38 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてはいない 3. できない

問39 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてはいない 3. できない

問40 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてはいない 3. できない

問41 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしてはいない 3. できない

問42 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問43 新聞を読んでいますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問44 本や雑誌を読んでいますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問45 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問46 友人の家を訪ねていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問47 家族や友人の相談にのっていますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問48 病人を見舞うことができますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問49 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

問50 趣味はありますか。(○はひとつ)

1. 趣味あり 2. 思いつかない

問51 生きがいがありますか。(○はひとつ)

1. 生きがいあり 2. 思いつかない

地域での活動について

問52 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(○はひとつ)

項目	週 4回 以上	週 2 ～ 3回	週 1 回	月 1 ～ 3回	年 に 数回	参 加 し て い ない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 「地域サロン事業など」介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ・憩の家	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 53 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

問 54 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問 55 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

問 56 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげてくれる人（いくつでも）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

問 57 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

問 58 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

問 59 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・市役所 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | |

問 60 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問 61 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○はひとつ)

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人（いない） | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

問 62 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ |
| 3. 学生時代の友人 | 4. 仕事での同僚・元同僚 |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 | 8. いない |

健康について

問 63 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問 64 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点を○で囲んでください）

とても不幸 ← ○ 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 幸せ

問 65 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 66 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくありましたか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 67 あなたは最近どのような運動をしていますか。また、どなたと実施しましたか。
 ※①～④の運動それぞれに回答してください。実施している場合は1～4から選択（いくつでも）、実施していない場合は「5」を選択
 ※①～②以外の運動をしている場合は、③④に「③（ゴルフ）」のように記入してください。

	1人で	家族と	友人・近所の方と	その他	実施していない
①ウォーキング	1	2	3	4	5
②体操	1	2	3	4	5
③その他（ ）	1	2	3	4	
④その他（ ）	1	2	3	4	

問 68 あなたが1週間の中で運動（散歩・体操などを含む）をする頻度はどれくらいですか。（〇はひとつ）

1. ほぼ毎日 2. 週4,5日 3. 週2,3日
 4. 週1日 5. ほとんどしていない

問 69 お酒は飲みますか。（〇はひとつ）

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
 4. もともと飲まない

問 70 タバコは吸っていますか。（〇はひとつ）

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
 4. もともと吸っていない

問 71 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症（脂質異常）
 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
 11. 外傷（転倒・骨折等） 12. がん（悪性新生物）
 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病
 15. 認知症（アルツハイマー病等） 16. パーキンソン病
 17. 目の病気 18. 耳の病気
 19. その他（具体的に： ）

問 72 新型コロナウイルス感染症予防のためどのようなことをしていますか。（いくつでも）

1. 手洗い・うがいをしている
 2. 手指の消毒をしている
 3. せきやくしゃみをする時はマスク・ハンカチを口にあてる
 4. 人がたくさん集まっている場所には行かないようにしている
 5. 換気が悪い場所には行かないようにしている
 6. 他の人と近い距離での会話や発声をしないようにしている
 7. その他（ ）
 8. 特にやっていることはない

認知症にかかるとかかる相談窓口の把握について

問 73 認知症の症状がある場合又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（〇はひとつ）

1. はい 2. いいえ

問 74 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（〇はひとつ）

1. はい 2. いいえ

今後希望する暮らしについて

問 75 これからの生活において、心身の健康に関してどのような希望がありますか。（いくつでも）

1. もっと人と話したい、交流したい 2. 外出や運動など、もっと体を動かしたい
 3. パランスの摂れた食事をとりたい 4. その他（ ）
 5. 現状に満足しており、特に希望はない

問 76 市の高齢者福祉事業等へのご意見やご要望がございましたら、なんでも結構ですので、自由に記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました

(3) 在宅介護実態調査

在宅介護実態調査

【調査票】

ご記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、令和4年11月1日現在、綾瀬市内に住所を持つ要介護認定1～5を受けている方の中から無作為に抽出させていただきました。ただし、ケアハウス、サービス付高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム以外の施設に入所している方は除きます。
- ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- ご回答に当たっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例

0	6	2
---	---	---

）でご記入ください。
- 「あなたの～」と尋ねている質問項目がいくつかあります。この場合「あなた」とは、宛名のご本人を指しますので、ご本人以外のご家族が回答された場合でも、宛名のご本人に関して回答してください。
- 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにお送りください。
- この調査についてのお問合せは以下までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

綾瀬市 福祉部 高齢介護課
電話0467-70-5636

(宛名ラベルははかさないで下さい)

綾瀬市
日頃より綾瀬市の高齢者福祉事業及び介護保険事業にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の改定に活用するため、介護サービスの在り方を検討することを目的としたアンケート調査を実施することといたしました。

調査結果は、同計画策定及び介護予防施策の立案に活用させていただきますとともに個人情報取扱いにつきましては、万全を期してまいりますので、調査の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れて、
令和4年12月28日(水)までに投函してください。

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○を付けてください。	
1. 宛名のご本人	
2. 主な介護者となっている家族・親族	
3. 主な介護者以外の家族・親族	
4. 宛名のご本人のケアマネジャー	
5. その他	

※以下は宛名のご本人の情報を記入してください。

電話番号	— —
年齢・性別	() 歳 男 ・ 女
生年月日	明治・大正・昭和 年 月 日

宛名のご本人などにご回答、ご記入いただく項目

問1 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない⇒問8A.(2ページへ)
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
 3. 週に1~2日ある
 4. 週に3~4日ある
 5. ほほ毎日ある
- ⇒問3~問7へ

問3~問7は問2で「1. ない」以外をお答えの方になった方にお伺いします

問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者
 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代
 4. 40代 5. 50代 6. 60代
 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

- 〔身体介護〕
1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時)
 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱
 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬
 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経営栄養、ストーマ等)
 〔生活援助〕
12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き
 〔その他〕
15. その他 16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)

(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
 3. 主な介護者が転職した
 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
 6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

ここから再び、全員にうかがいます。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。

(複数選択可)

1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯
 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し
 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場
 10. その他 11. 利用していない

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯
 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し
 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
 8. 見守り、声かけ 9. サロンなどの定期的な通いの場
 10. その他 11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している
 3. すでに入所・入居申し込みをしている

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、骨柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を併うもの）
14. その他
15. なし
16. わからない

問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

1. 利用している
2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、（住宅改修・福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）

1. 利用している⇒次ページ△
2. 利用していない⇒問14△

問13で「2. 利用していない」とお答えになった方にお伺いします。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

■宛名のご本人様がお考えの市の介護保険事業等へのご意見やご要望がございましたら、何でも結構ですので、ご自由にご記入ください。

主な介護者様、もしくは宛名のご本人様にご回答・ご記入頂く項目

- 問2で「2.」「5.」を選択された場合、問15～20は「主な介護者」の方にご回答・ご記入をお願いいたします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

問15 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている ⇒問16～問19△
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない ⇒問18△（5ページ△）
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を言います。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問15で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えになった方にお伺いします。

問16-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

1. 特に行っていません
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、退勤・早帰・中抜け等）」しなから、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問16-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 16-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 17 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

【身体介護】		
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬
10. 認知症への対応	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
【生活援助】		
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、洗い物等)	
14. 金銭管理や生活面に必要な手続き		
【その他】		
15. その他	16. 不安に感じていることは、特になし	
17. 主な介護者に確認しないと、わからない		

問 18 あなたのお身体の状態と介護サービスについて、最も考えが当てはまるものをお答えください。(1つを選択)

1. 状態を改善させ、要介護認定を受けない状態(自立)を目指したい
2. 状態が改善することを目指すが、介護サービスは継続して利用し続けたい
3. 現状、状態が改善することが想定できない

問 19 新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用状況は変化しましたか。(1つを選択)

1. 増えた
2. 減った
3. 増えたものと減ったものがある
4. 変わらない

問 19 で「1.」「2.」「3.」とお答えになった方にお伺いします。

問 20 増えた又は減ったサービスに○を付けてください。(複数選択可)

【増えたサービス】	
1. 訪問介護(ヘルパー)	2. 訪問看護(訪問リハ含む)
3. 訪問入浴介護	4. 通所介護(デイサービス)(通所リハ含む)
5. 短期入所(ショートステイ)	6. 福祉用具貸与
7. 施設入所	
8. その他()	
【減ったサービス】	
1. 訪問介護(ヘルパー)	2. 訪問看護(訪問リハ含む)
3. 訪問入浴介護	4. 通所介護(デイサービス)(通所リハ含む)
5. 短期入所(ショートステイ)	6. 福祉用具貸与
7. 施設入所	
8. その他()	

■ 介護者様がお考えの市の介護保険事業等へのご意見やご要望がございましたら、何でも結構ですので、ご自由にご記入ください。

■■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【居所変更実態調査】

綾瀬市
皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
さて、綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉

計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討することを目的として、市内の介護施設等を対象に、アンケート調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお願いしますようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

1. ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、事業所が特定される形で公表することはございません。
2. 事業所の管理者または代表者に回答をしていただく質問です。
3. あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。「その他」を回答される場合には、番号に○をした上で、記入欄がある場合には内容を()に、具体的に書きください。なお、ご回答は**令和4年12月1日時点での状況について**作成をお願いします。
4. ご記入いただきました調査票は、**令和5年1月16日(月)**までに、同封した返信用封筒に入れて**切手を貼らず**にポストへ投函してください。
5. 本アンケートは、各事業所宛てに電子メールでもお送りします。ご回答については、郵送・メールどちらからいただいたにもかかわらずお送りしません。
※本市で最新のメールアドレスを把握できないなど、メールをお送りできない場合があります。メールが届いていない場合は、お手数ですがお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。

綾瀬市福祉部高齢介護課 電話0467-70-5636 (直通)

※次のページから質問がはじまります。

(4) 居所変更実態調査

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 住宅型有料老人ホーム | 2. 軽費老人ホーム(特定施設除く) |
| 3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く) | 4. グループホーム |
| 5. 特定施設 | 6. 地域密着型特定施設 |
| 7. 介護老人保健施設 | 8. 介護療養型医療施設・介護医療院 |
| 9. 特別養護老人ホーム | 10. 地域密着型特別養護老人ホーム |

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	[]
2) 定員数など	[] [人・戸・室] ※該当する単位に○
3) 入所・入居者数	[] 人
4) (貴施設等の) 待機者数	[] 人
5) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	[] 人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※ 「2) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。
※ 4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3) 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

1) 点滴の管理	[] 人	2) 中心静脈栄養	[] 人
3) 透析	[] 人	4) ストーマの処置	[] 人
5) 酸素療法	[] 人	6) レスピレーター	[] 人
7) 気管切開の処置	[] 人	8) 疼痛の看護	[] 人
9) 経管栄養	[] 人	10) モニター測定	[] 人
11) 褥瘡の処置	[] 人	12) カテーテル	[] 人
13) 嚥痰吸引	[] 人	14) インスリン注射	[] 人

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問5 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めなくてください。

新規の入所・入居者数（合計） 人 ★

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「14」合計と、問5でご記入いただいた「新規の入所・入居者数（合計）」（★欄）が一致することを確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の含む）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5) グループホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
6) 特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
7) 地域密着型特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
8) 介護老人保健施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
9) 療養型・介護医療院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
10) 特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
12) その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
13) 入居・入所する前の居場所を把握していない	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
14) 合計	<input type="text"/> 人 ★	<input type="text"/> 人

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問7 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めなくてください。

退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む） 人 ☆

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数（合計）」（★欄）が一致することを確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人 ☆

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「16」合計と、問7でご記入いただいた「退去者数（合計）」（★欄）が一致することを確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の含む）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5) グループホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
6) 特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
7) 地域密着型特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
8) 介護老人保健施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
9) 療養型・介護医療院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
10) 「9」を除く病室・診療所（一時的な入院を除く）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
11) 特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
13) その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
14) 行先を把握していない	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
16) 合計	<input type="text"/> 人 ☆	<input type="text"/> 人 ☆

(5) 介護人材実態調査

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）をご回答ください。※本調査の送付先（郵便の宛名）となっている事業所です。

- 1. 施設・居住系サービス（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）
- 2. 通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	[] 人	非正規職員	[] 人
------	-------	-------	-------

問2-2 施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 [] 年 [] 月
------	----------------

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。
過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を
ご記入ください。

採用者数	[] 人	離職者数	[] 人
------	-------	------	-------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。
（数値を記入）

年齢 (採用、退職当分)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
20～29歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
30～39歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
40～49歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
50～59歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
60～69歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
70～79歳	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
年齢不明	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【介護人材実態調査 施設系・通所系事業所】

綾瀬市

皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
さて、綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討するため、市内の施設系・通所系サービス事業所を対象に、アンケート調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

- 1 ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、事業所が特定される形で公表することはございません。
- 2 事業所の管理者または代表者に回答をしていただく質問です。
- 3 あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。「その他」を回答される場合には、番号に○をした上で、記入欄がある場合には内容を（ ）に、具体的に書きください。なお、ご回答は令和4年12月1日時点での状況について作成をお願い致します。
- 4 ご記入いただきました調査票は、令和5年1月16日(月)までに、同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずにポストへ投函してください。
- 5 本アンケートは、各事業所宛てに電子メールでもお送りします。ご回答については、郵送・メールどちらでもいただいてもかまいません。
※本市で最新のメールアドレスを把握できていないなど、メールをお送りできない場合があります。メールが届いていない場合は、お手数ですがお問合わせくださいようお願いいたします。

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。

綾瀬市福祉部高齢介護課 電話0467-70-5636（直通）

※次のページから質問がまいります。

図3 共催施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む、ボランティアの方を除く）について、お答えください。

調査方法	※ 職歴記入		※ 年齢		※ 性別		※ 職歴		※ 勤務時間		※ 勤務時間		※ 勤務時間	
	(1) 専任の期間 専任の終了の状況	(2) 専任の期間 (※ 専任の期間 が不明な場合は 「専任の期間 が不明な期間」 と記入)	(3) 性別	(4) 年齢	(5) 性別	(6) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(7) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(8) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(9) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(10) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(11) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(12) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(13) 勤務時間 1日あたり 勤務時間	(14) 勤務時間 1日あたり 勤務時間
1.介護福祉士 (専任介護福祉士) 2.介護福祉士 (非常勤介護福祉士) 3.介護福祉士 (パート・アルバイト) 4.上記のいずれでもない	1.専任期間 (※ 専任の期間 が不明な場合は 「専任の期間 が不明な期間」 と記入)	1.専任期間 (※ 専任の期間 が不明な場合は 「専任の期間 が不明な期間」 と記入)	1.男性 2.女性	1.20歳 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代 8.その他	1.男性 2.女性	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間	1.1日あたり 勤務時間 2.1週間あたり 勤務時間
01														
02														
03														
04														
05														
06														
07														
08														
09														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														

問4 貴施設等の従業員の介護職員の過不足の状況について該当するものに○を付けてください。

- 1. 大いに不足
- 2. 不足
- 3. やや不足
- 4. 適当
- 5. 過剰

問4-1 問4で「1.」「2.」「3.」とお答えになった方にお聞きします。不足している職種に○を付けてください。(複数選択可)

- 1. 訪問介護員
- 2. サービス提供責任者
- 3. 介護職員
- 4. 看護職員
- 5. 生活相談員
- 6. PT・OT・ST等
- 7. 介護支援専門員
- 8. その他 ()

問4-2 問4で「1.」「2.」「3.」とお答えになった方にお聞きします。不足している理由は何ですか。(複数選択可)

- 1. 賃金が低い
- 2. 社会的評価が低い
- 3. 仕事がつらい
- 4. 休みが取りにくい
- 5. 雇用が不安定
- 6. 労働時間が長い
- 7. キャリアアップの機会が不十分
- 8. 夜勤が多い
- 9. その他 ()

問5 市の高齢者福祉事業等へのご意見やご要望がございましたら、なんでも結構ですので、ご自由に記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【介護人材実態調査 訪問系事業所】

綾瀬市

皆様には、日頃よりの市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討するため、市内の訪問系サービス事業所を対象に、アンケート調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけするとはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

- ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、事業所が特定される形で公表することはございません。
- 事業所の管理者または代表者に回答していただく質問です。
- あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。「その他」を回答される場合には、番号に○をした上で、記入欄がある場合には内容を()に、具体的に○を書きください。なお、ご回答は**令和4年12月1日時点での状況について**作成をお願いいたします。
- お手数ですが、同封した「介護人材実態調査 訪問系職員」について、貴事業所で訪問介護、訪問サービスを行っている介護職員（非常勤含む、ポランティア除く）への配布、取りまとめをお願いします。
- ご記入いただきました調査票は、介護職員別調査票（介護人材実態調査 訪問系職員）とまとめて、**令和5年1月16日(月)**までに、同封した返信用封筒に入れて**切手を貼らずに**ポストへ投函してください。
- 本アンケートは、各事業所宛てに電子メールでもお送りします。御回答については、郵送・メールどちらでいただいただけでもかまいません。
※本市で最新のメールアドレスを把握できないなど、メールをお送りできない場合があります。メールが届いていない場合は、お手数ですがお問い合わせくださいますようお願いいたします。

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。

綾瀬市福祉部高齢介護課 電話0467-70-5636（直通）

※次のページから質問がはじまります。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛先となる事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

- 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ このでの「介護職員」は、資金の支払いを受けている方に限ります。（ポランティアの方は含みません。）
※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	〔 〕人	非正規職員	〔 〕人
------	------	-------	------

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦〔 〕年〔 〕月
------	------------

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。

採用者数	〔 〕人	離職者数	〔 〕人
------	------	------	------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
20～29歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
30～39歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
40～49歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
50～59歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
60～69歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
70～79歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
年齢不明	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人

問3 貴施設等の従業員の介護職員の過不足の状況について該当するものに○を付けてください。

1. 大いに不足	2. 不足	3. やや不足
4. 適当	5. 過剰	

問3-1 問3で「1.」「2.」「3.」とお答えになった方にお聞きします。不足している職種に○を付けてください。(複数選択可)

1. 訪問介護員	2. サービス提供責任者	3. 介護職員
4. 看護職員	5. 生活相談員	6. PT・OT・ST等
7. 介護支援専門員	8. その他 ()	

問3-2 問3で「1.」「2.」「3.」とお答えになった方にお聞きします。不足している理由は何ですか。(複数選択可)

1. 賃金が低い	2. 社会的評価が低い
3. 仕事がきつい	4. 休みが取りにくい
5. 雇用が不安定	6. 労働時間が長い
7. キャリアアップの機会が不十分	8. 夜勤が多い
9. その他 ()	

問4 市の介護保険事業等へのご意見やご要望がございましたら、なんでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【介護人材実態調査 訪問系職員】

綾瀬市

皆様には、日頃の市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
 さて、綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討するため、市内の訪問系サービス事業所で勤務する介護職員の方を対象に、アンケート調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査結果はすべて無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけするとはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

- この調査はお名前を書く必要はありません。個人の秘密は守られますから、普段思っていることをありのままに回答してください。回答したくないことは無理に答えずともかまいません。
- 事業所で訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む、ボランティア除く）に回答をしていただく質問です。
- あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。記入欄がある場合には内容を()に、具体的にお書きください。なお、ご回答は令和4年12月1日時点での状況について作成をお願いします。
- ご記入いただきました調査票は、事業所の管理者または代表者に提出してください。

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございます際は下記までお問い合わせください。

綾瀬市福祉高齢介護課 電話0467-70-5636（直通）

※次のページから質問がはじまります。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）

- 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つに○）

- 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
- 介護職員実務者研修修了、または旧介護職員基礎研修修了、または旧ヘルパー1級
- 介護職員初任者研修修了、または旧ヘルパー2級
- 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態 (1つに○)	1. 正規職員（※ 期限の定めのない契約） 2. 非正規職員（※ 期限の定めのある契約）
2) 性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
3) 年齢 (数値を記入)	[] 歳
4) 過去1週間の勤務時間 (数値を記入) ※ 問1で回答した勤務先における時間 ※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。	[] 時間
5) 現在の事業所での勤務年数 (数値を記入)	1. 1年以上 ⇒ 問6へ 2. 1年未満 ⇒ 問4と裏面に回答

問4 問3の5)で「2.」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。（1つに○）

- 現在の職場が初めての勤務先⇒【問6へ】
- 介護以外の職場 ⇒【問6へ】
- 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
- 訪問介護・入浴、夜間対応型
- 小規模、看多機、定期巡回サービス
- 通所介護、通所リハ、認知症デイ
- 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）
- その他の介護サービス
⇒【3.】～【8.】の場合は問5へ

問5 問4で「3.」～「8.」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所 (1つに○)	1. 現在の事業所と、同一の市区町村内 2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人 (1つに○)	1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

問6 「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス(総合事業)」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。直近の1週間(7日間)について、提供した時間(分)を記入してください。

(例：水曜日を開始日とする場合、水曜日(開始日)から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください)

※ 移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります。(移動時間は含まない)

※ 障害サービスの提供は除いてください。

※ 介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※ 記入する時間は「5分単位」とします。(例)32分→30分と記入。

※ 自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助(自立支援、ADL・IADL・00L 向上の観点から安全を確保しつつ常時介助で行う見守り等)は身体介護に含まれます。

■ 介護給付による訪問について

曜日	身体介護		生活援助	
	買い物 (移動時間含まない)	調理・配膳	調理・配膳	その他の生活援助
記入例	30	分	45	分
月		分		分
火		分		分
水		分		分
木		分		分
金		分		分
土		分		分
日		分		分
週の合計		分		分

■ 介護予防給付・総合事業による訪問について

曜日	身体介護		生活援助	
	買い物 (移動時間含まない)	調理・配膳	調理・配膳	その他の生活援助
記入例	30	分	45	分
月		分		分
火		分		分
水		分		分
木		分		分
金		分		分
土		分		分
日		分		分
週の合計		分		分

問7 市の介護保険事業等へのご意見やご要望がございましたら、なんでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(6) 在宅生活改善調査

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【在宅生活改善調査（事業所票）】

綾瀬市
皆様には、日頃よりの市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
さて、綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、地域に不足する介護サービスを検討するため、市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所を対象に、アンケート調査を行うことになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。
なお、調査結果は全て無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

- この調査票はお名前を書く必要はありません。個人の秘密は守られますから、筆段誤っていることをありのままに回答してください。回答したくないことは無理に答えなくてもかまいません。
- 綾瀬市介護保険被保険者のケアマネジメントを担当していただいている介護支援専門員が所属する事務所の管理者に回答していただく質問です。
- あらかじめ選択除か用意されている設問については、番号に○をしてください。数字を記入する欄が設けられている設問については、数字を記入してください。なお、ご回答は**令和4年12月1日時点での状況について**作成をお願いします。
- お手数ですが、同封した在宅生活改善調査票（利用者票）について、貴事業所の介護支援専門員への配布・とりまとめをお願いします。
- ご記入いただきました調査票は、在宅生活改善調査（利用者用）とまとめて、**令和5年1月16日（月）**までに、同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずにポストへ投函してください。
- 本アンケートは、各事業所宛てに電子メールでもお送りします。御回答については、郵送・メールどちらからいただいたりもかまいません。
※本市で最新のメールアドレスを把握できていないなど、メールをお送りできない場合があります。メールが届いていない場合は、お手数ですがお問合わせくださいますようお願いいたします。

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。
綾瀬市福祉部高齢介護課 電話0467-70-5636（直通）
※次のページから質問がはじまります。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。
1) 所属するケアマネジャーの人数 ()人
2) 「自宅等（3）を除く」にお住まいの利用者数 ()人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数 ()人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含まないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
()人	()人	()人	()人	()人	()人	()人	()人★

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ 1)～13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数（★欄）が一致することをご確認ください。

変更場所	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	()人	()人
2) 住宅型有料老人ホーム	()人	()人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	()人	()人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	()人	()人
5) グループホーム	()人	()人
6) 特定施設	()人	()人
7) 地域密着型特定施設	()人	()人
8) 介護老人保健施設	()人	()人
9) 療養型・介護医療院	()人	()人
10) 特別介護老人ホーム	()人	()人
11) 地域密着型特別介護老人ホーム	()人	()人
12) その他	()人	()人
13) 行先を把握していない	()人	()人
14) 死亡（※ 搬送先の死亡を含む）	()人	()人

綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関するアンケート

【在宅生活改善調査（利用者票）】

綾瀬市

皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、綾瀬市では、高齢者の保健福祉の総合的な施策の方向性を示す「綾瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を改定する予定です。そこで、市民の皆様の保健福祉に関わる生活状況やご意向を踏まえ、計画づくりを進めるために、綾瀬市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所に所属している介護支援専門員の方に、アンケート調査を行うことにいたしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は全て無記名で統計処理するため、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

【ご記入に当たってのお願い】

1. この調査票はお名前を書く必要はありません。個人の秘密は守られますから、普段思っていることをありのままに回答してください。回答したくないことは無理に答えなくてもかまいません。
2. 介護支援専門員に回答していただく質問です。
3. あらかじめ選択肢が用意されている設問については、番号に○をしてください。「その他」を回答される場合には、番号に○をした上で、記入欄がある場合には内容を（ ）内に、具体的にお書きください。なお、ご回答は令和4年12月1日時点での状況について作成をお願い致します。
4. ご記入いただきました調査票は、事業所の管理者または代表者に提出してください。

このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら下記までお問い合わせください。

綾瀬市福祉部高齢介護課

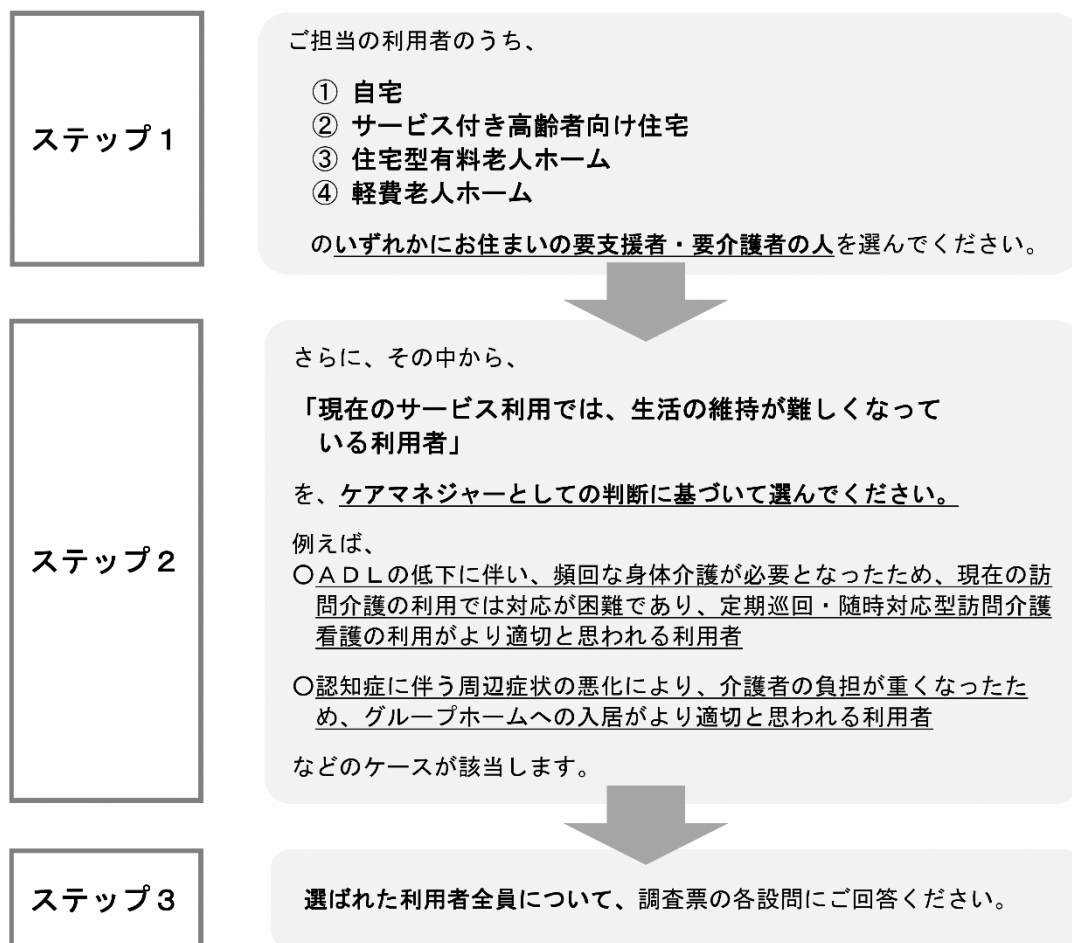
電話0467-70-5636（直通）

※次のページから質問がはじまります。

● 「利用者票」の対象者の抽出方法

「利用者票」は、ケアマネジャーの視点からみた「(自宅等にお住まいの方で)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。

各ケアマネジャーの方は、ご担当の利用者のうち、調査への回答の対象となる利用者を以下のフローにしたがって抽出し、「利用者票」の各設問にご回答ください。



問4 市の介護保険事業等へのご意見やご要望がございましたら、なんでも結構ですので、ご自由にご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

綾瀬市
高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画に
関するアンケート調査結果
報告書
令和5年3月

発行：綾瀬市 福祉部 高齢介護課
〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川 550 番地
TEL 0467-70-5616
FAX 0467-70-5702